

(案)

京都市
子育て支援に関する市民ニーズ調査
【結果報告書】

平成 31 年 1 月

京都市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II. 調査結果（小学校入学前児童調査）	2
1 お子さまとご家族の状況について	2
2 お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について	23
3 お子さまの平日の幼稚園・保育施設等の利用について	39
4 土曜日や日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	75
5 お子さまの病気・病後時の対応について	80
6 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて	88
7 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて	95
8 地域の子育て支援のための事業の利用等について	98
9 小学校入学後の放課後の過ごし方について	116
10 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度について	130
11 子育て支援・相談などについて	137
III. 調査結果（小学生児童調査）	221
1 お子さまとご家族の状況について	221
2 お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について	246
3 お子さまの状況について	262
4 お子さまの病気・病後時の対応について	269
5 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて	276
6 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて	283
7 ファミリーサポート事業の利用について	287
8 子育て支援・相談などについて	292

I. 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、小学校入学前および小学生のお子さまがおられるご家庭の子育ての状況や子どもや子育て支援に関するご意見等をうかがい、今後の京都市の子育て支援施策の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査設計

- 調査対象者：京都市内在住の小学校入学前児童の保護者（小学校入学前児童調査）
京都市在住の小学生児童の保護者（小学生児童調査）
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：平成30年9月7日～9月21日
- 調査方法：郵送による配布・回収

3 回収結果

小学校入学前児童調査			6,500 件	3,191 件	49.1%
小学生児童調査			6,500 件	3,202 件	49.3%
(参考)	平成 25 年 調査	小学校入学前児童調査	6,500 件	3,008 件	46.3%
		小学生児童調査	6,500 件	2,649 件	40.8%
	平成 20 年 調査	小学校入学前児童調査	6,100 件	2,742 件	45.0%
		小学生児童調査	4,200 件	1,747 件	41.6%

4 報告書の見方

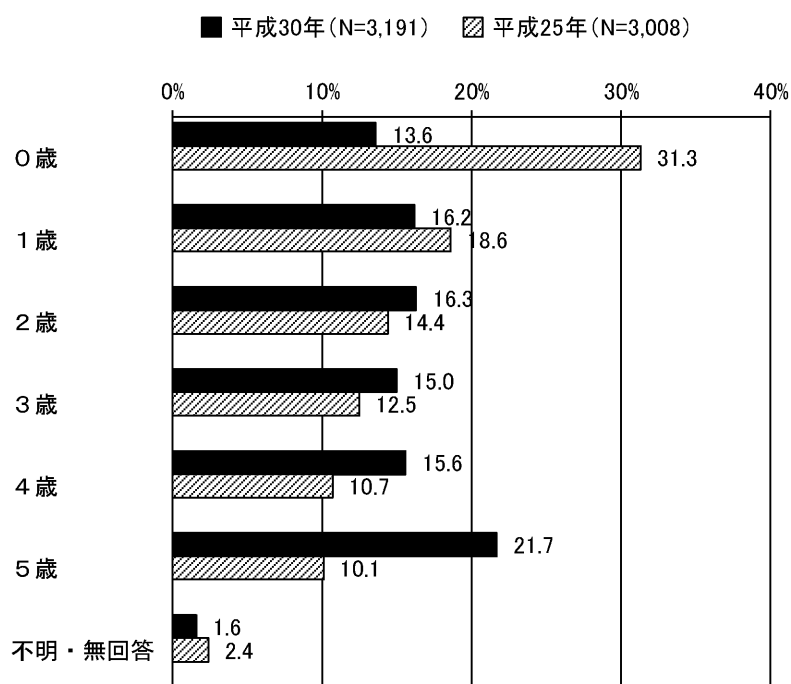
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 設問によっては、結果を詳細に分析するため、クロス集計表を掲載しています。

II. 調査結果（小学校入学前児童調査）

1 お子さまとご家族の状況について

問1 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。

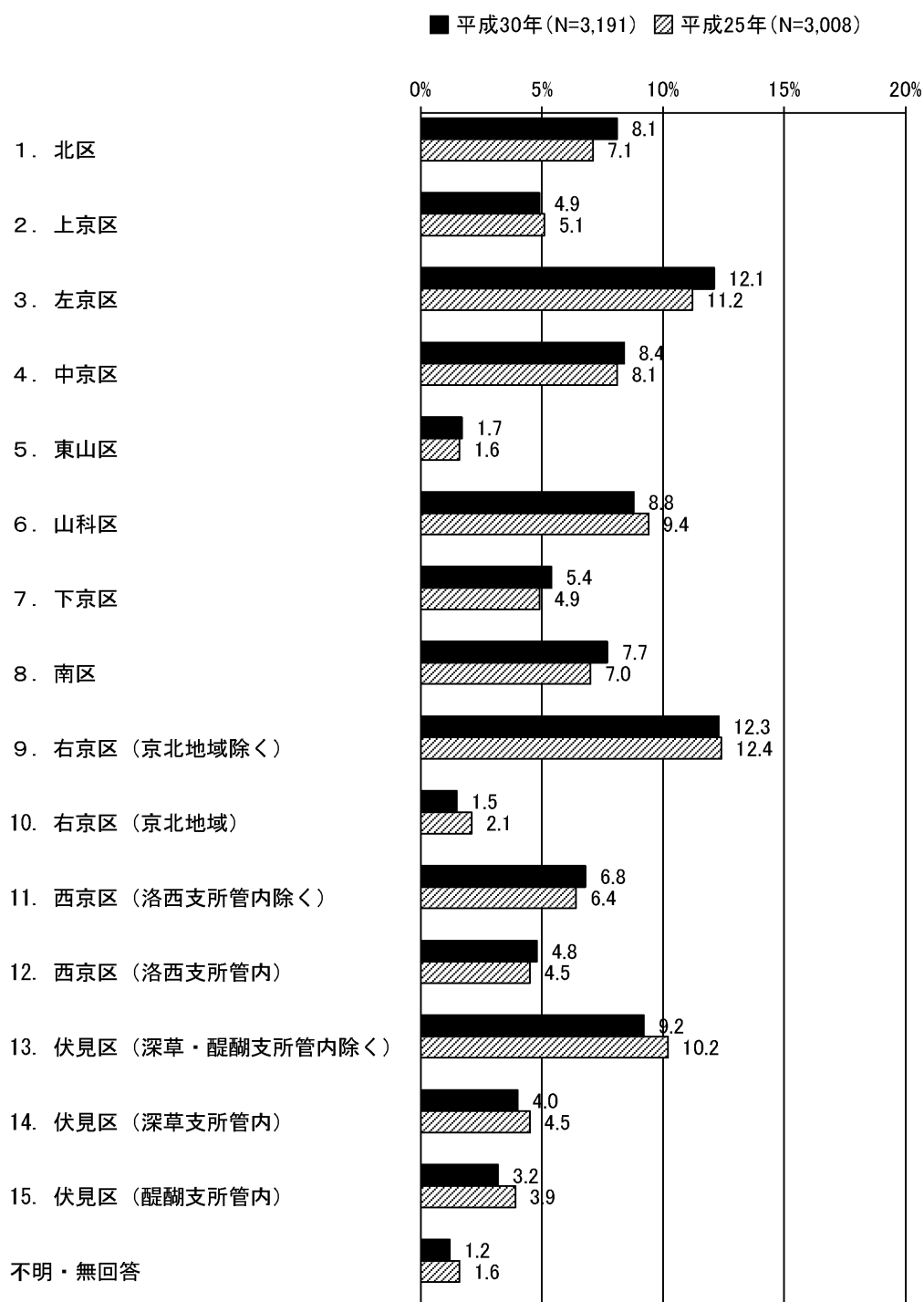
「5歳」が21.7%と最も高く、次いで「2歳」が16.3%、「1歳」が16.2%となっています。
平成25年と比較すると、「0歳」が17.7ポイント低く、「5歳」が11.6ポイント高くなっています。



問2 お住まいの区等はどちらですか。(〇は1つ)

「9. 右京区(京北地域を除く)」が12.3%と最も高く、次いで「3. 左京区」が12.1%、「13. 伏見区(深草・醍醐地区を除く)」が9.2%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

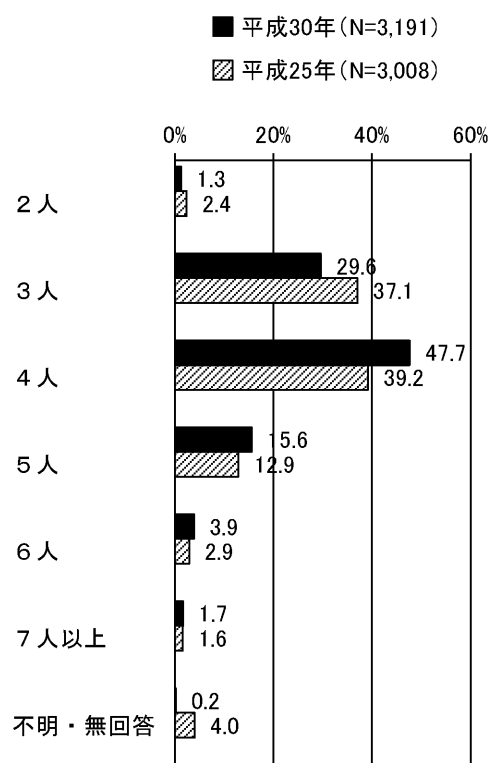


問3 家族の人数（ご自身や宛名のお子さまも含む。）をご記入ください。

家族の人数は、「4人」が47.7%と最も高く、次いで「3人」が29.6%、「5人」が15.6%となっています。

平成25年と比較すると、「4人」が8.5ポイント高く、「3人」が7.5ポイント低くなっています。

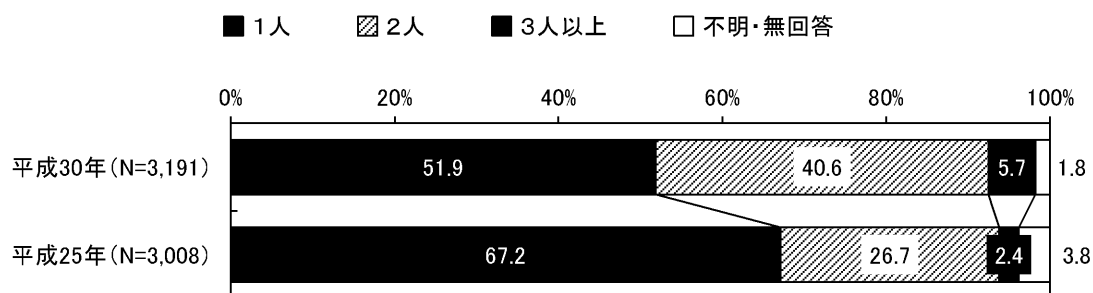
◆家族の人数



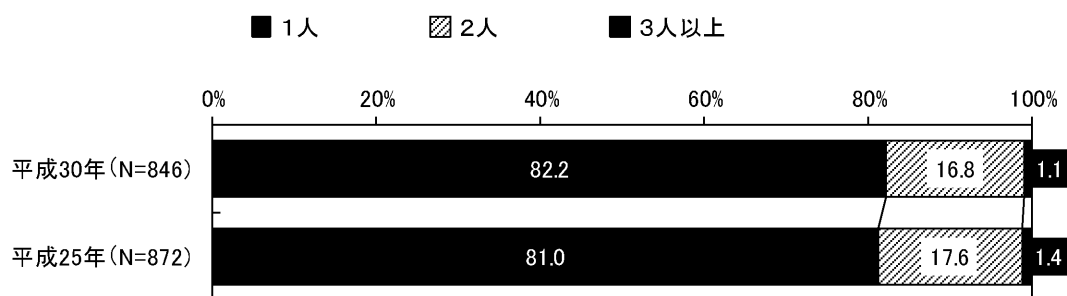
子どもの数は、小学校入学前の子ども、小学生の子ども、中学生以上の子どもいずれも「1人」の割合が最も高くなっています。

平成25年と比較すると、小学校入学前の子どもの数は「1人」が15.3ポイント低く、「2人」が13.9ポイント高くなっています。

◆小学校入学前の子どもの数

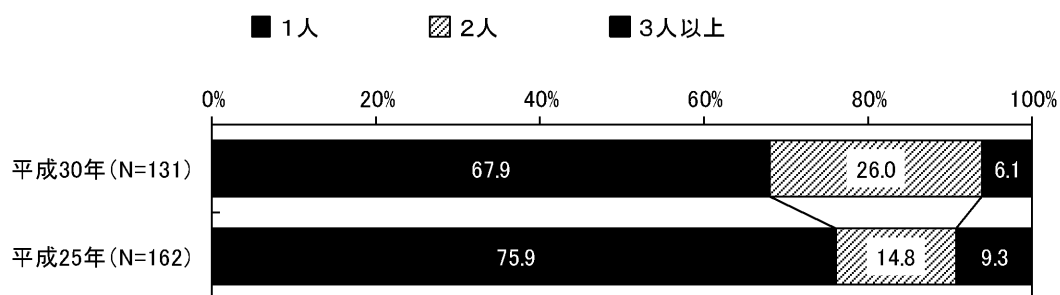


◆小学生の子どもの数



※不明・無回答除く

◆中学生以上の子どもの数

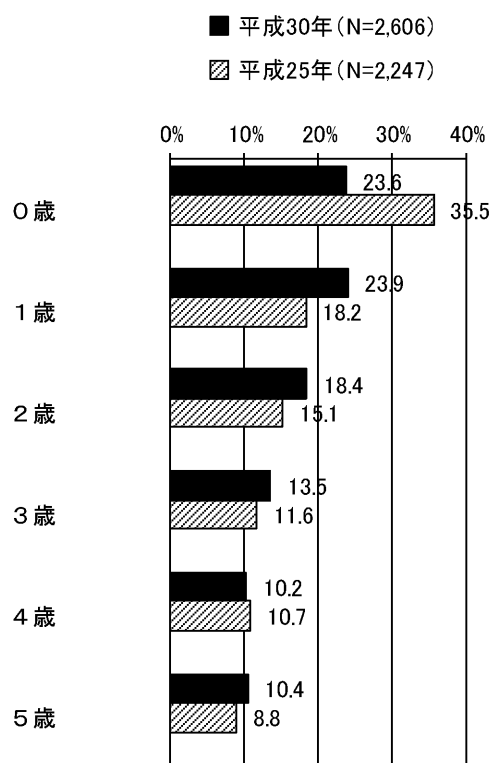


※不明・無回答除く

末子の年齢は、「1歳」が23.9%と最も高く、次いで「0歳」が23.6%、「2歳」が18.4%となっています。

平成25年と比較すると、「0歳」が11.9ポイント低く、「1歳」が5.7ポイント高くなっています。

◆末子の年齢

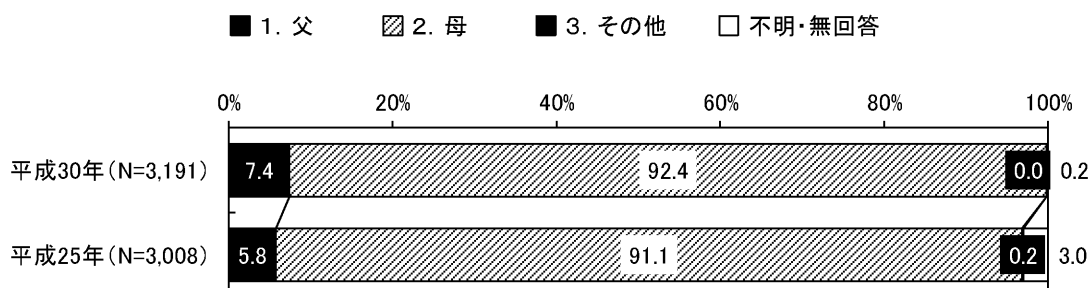


※不明・無回答除く

問4 この調査票に記入されている方はどなたですか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○は1つ）

「2. 母」が92.4%、「1. 父」が7.4%となっています。

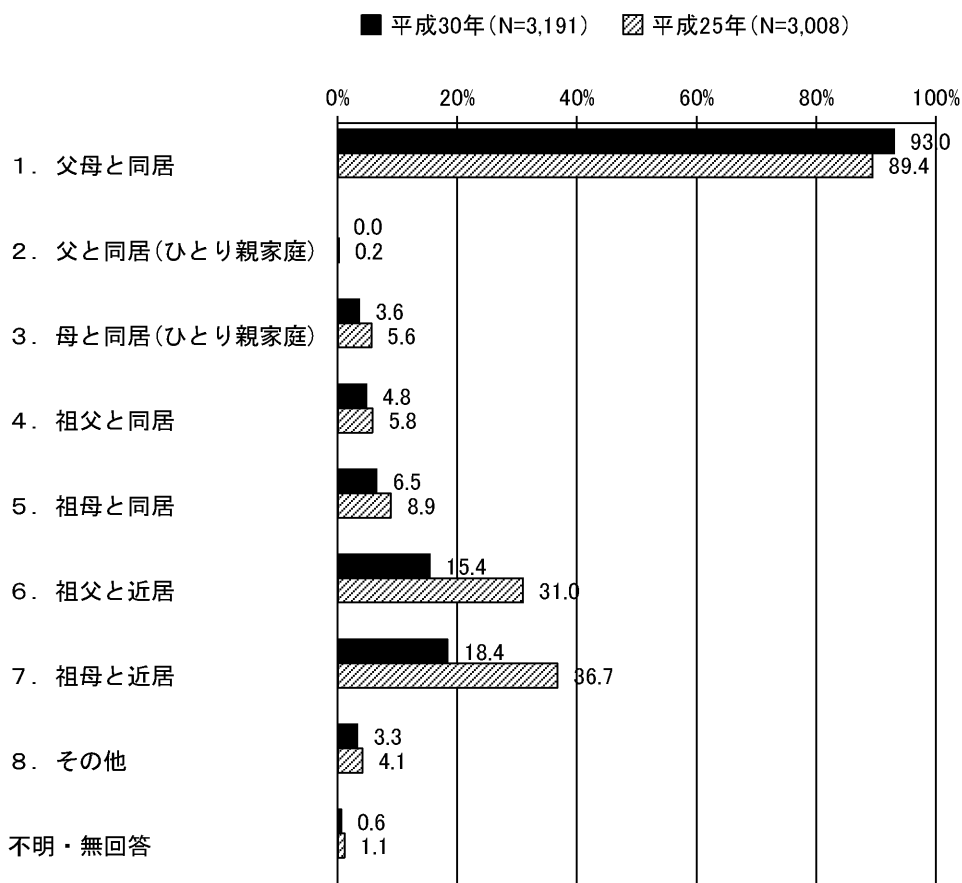
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問5(1) 宛名のお子さまとの同居・近居の状況についてお答えください（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○はいくつでも）※「近居」は、概ね徒歩30分以内で行き来できる範囲。

「1. 父母と同居」が93.0%と最も高く、次いで「7. 祖母と近居」が18.4%、「6. 祖父と近居」が15.4%となっています。

平成25年と比較すると、「7. 祖母と近居」が18.3ポイント、「6. 祖父と近居」が15.6ポイント低くなっています。

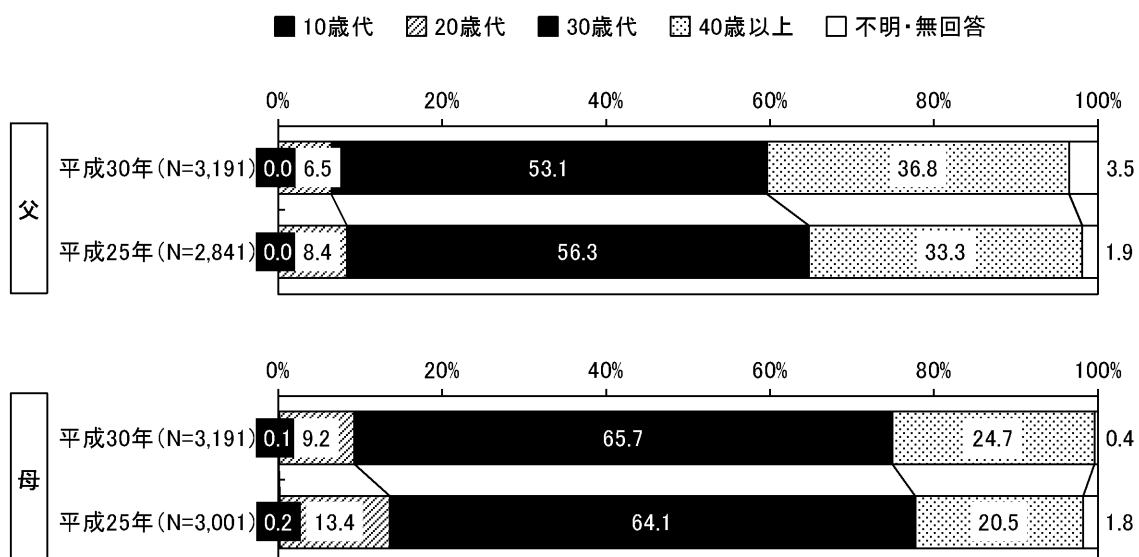


問5(2) 宛名のお子さまの父母の年齢をご記入ください。(平成30年9月1日現在)

父親では、「30歳代」が53.1%と最も高く、次いで「40歳以上」が36.8%、「20歳代」が6.5%となっています。

母親では、「30歳代」が65.7%と最も高く、次いで「40歳以上」が24.7%、「20歳代」が9.2%となっています。

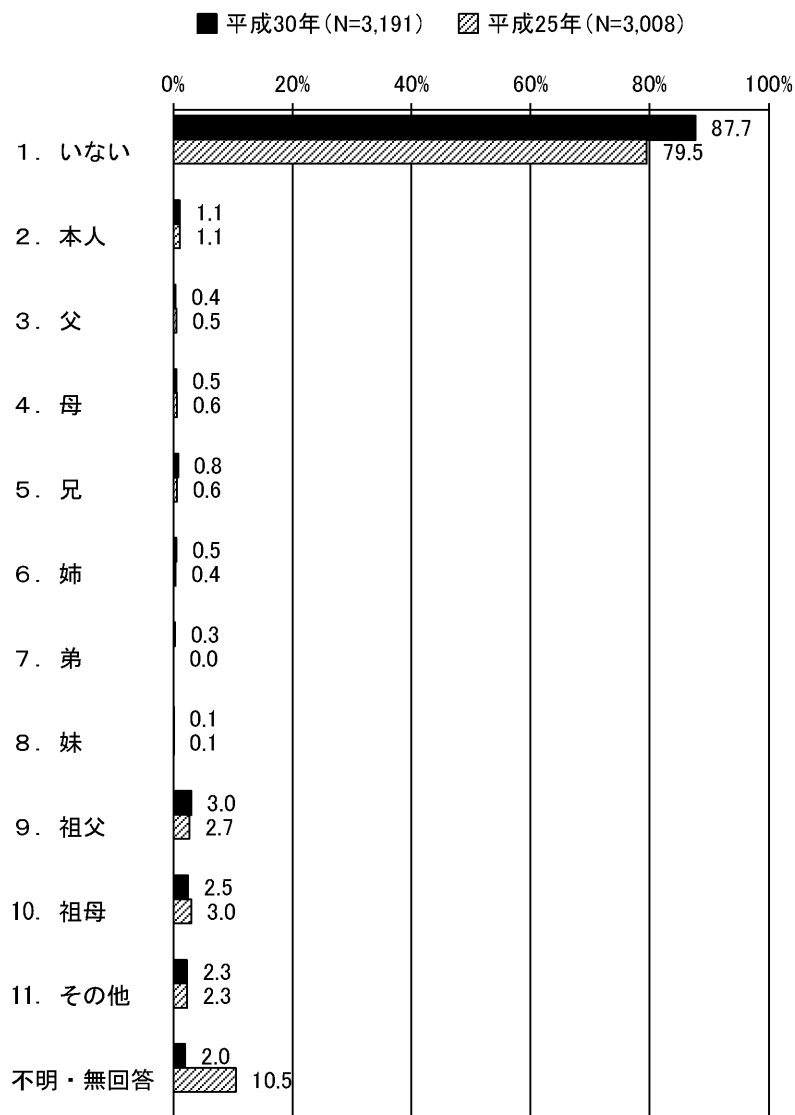
平成25年と比較すると、父親、母親ともに特に大きな差はみられません。



問6 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方はおられますか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○はいくつでも）

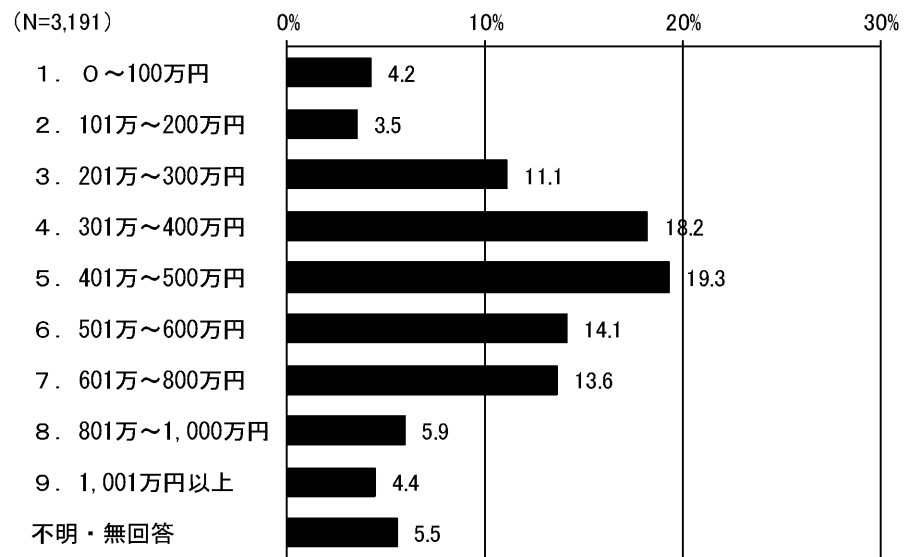
「1. いない」が87.7%と最も高く、次いで「9. 祖父」が3.0%、「10. 祖母」が2.5%となっています。

平成25年と比較すると、「1. いない」が8.2ポイント高くなっています。



問7 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（○は1つ）

「5. 401万～500万円」が19.3%と最も高く、次いで「4. 301万～400万円」が18.2%, 「6. 501万～600万円」が14.1%となっています。



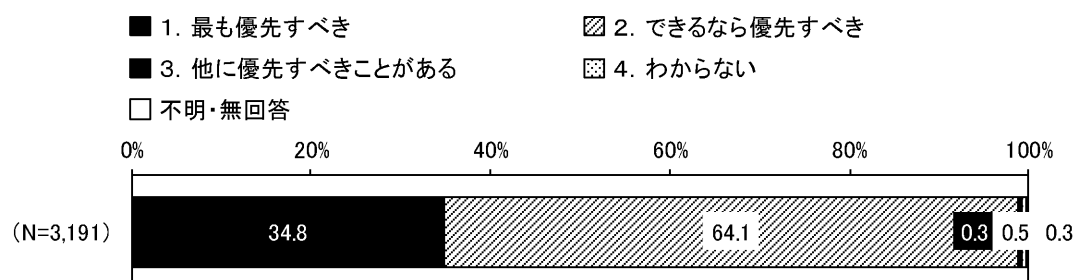
＜問7×家族類型別＞

『ひとり親』では「0～100万円」, 『共働き（両親ともフルタイム）』『専業主婦(夫)』では「401万～500万円」, 『フルタイム・パート』では「301万～400万円」の割合が最も高くなっています。

	3,191	135	113	354	582	617	450	435	189	140	176
	100.0	4.2	3.5	11.1	18.2	19.3	14.1	13.6	5.9	4.4	5.5
117		42	21	23	8	7	3	3	0	2	8
100.0		35.9	17.9	19.7	6.8	6.0	2.6	2.6	0.0	1.7	6.8
1,050		24	34	92	143	194	170	187	102	64	40
100.0		2.3	3.2	8.8	13.6	18.5	16.2	17.8	9.7	6.1	3.8
835		23	25	127	197	157	117	89	36	24	40
100.0		2.8	3.0	15.2	23.6	18.8	14.0	10.7	4.3	2.9	4.8
1,140		36	26	106	226	255	158	155	48	48	82
100.0		3.2	2.3	9.3	19.8	22.4	13.9	13.6	4.2	4.2	7.2
14		2	4	2	1	1	1	0	2	1	0
100.0		14.3	28.6	14.3	7.1	7.1	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0
3		1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
100.0		33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

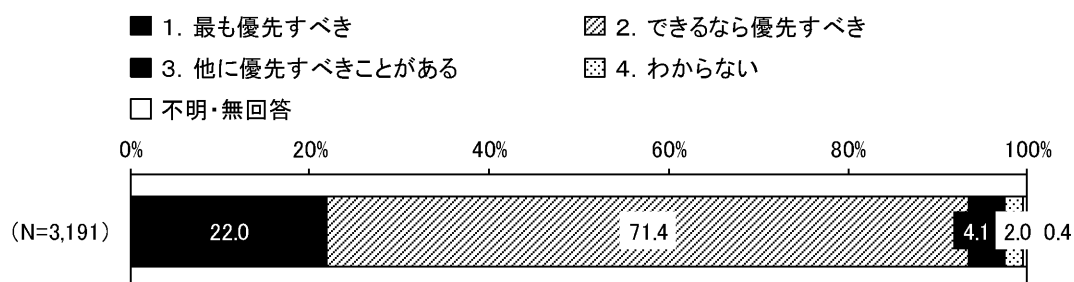
問8(1) 日々の生活の中で、子育てにける時間は優先すべきだと思いますか。(〇は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が64.1%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が34.8%となっています。



問8(2) 日々の生活の中で、子育てにけるお金は優先すべきだと思いますか。(〇は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が71.4%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が22.0%, 「3. 他に優先すべきことがある」が4.1%となっています。



問8(3) 世帯のお子さま全員の子育てについて、1か月にどのくらいの費用がかかりますか。

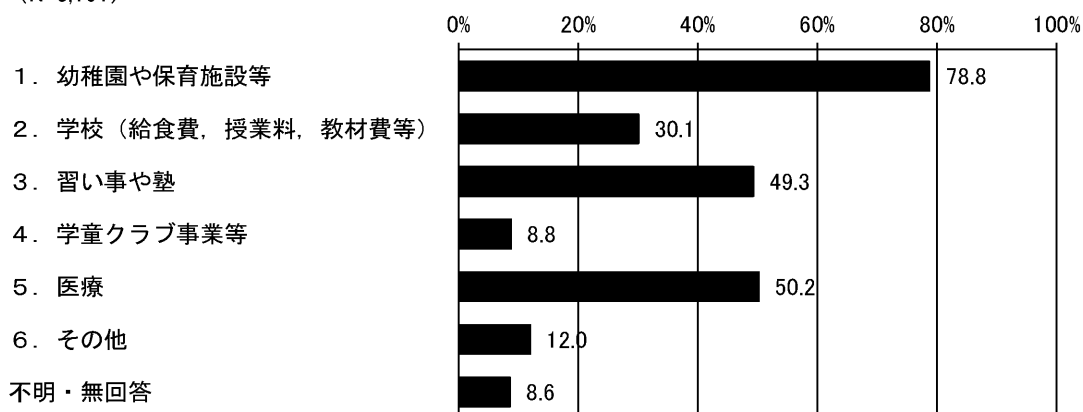
(〇はいくつでも)

また、おおよその金額(幼稚園の就園奨励費や子ども医療費支給制度による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実際に負担した額)をご記入ください。

「1. 幼稚園や保育施設等」が78.8%と最も高く、次いで「5. 医療」が50.2%, 「3. 習い事や塾」が49.3%となっています。

1か月あたりの費用については、『1. 幼稚園や保育施設等』では「5万円以上」, 『2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)』『3. 習い事や塾』『5. 医療』では「1万円未満」, 『4. 学童クラブ事業等』では「1万円台」の割合が最も高くなっています。

(N=3,191)

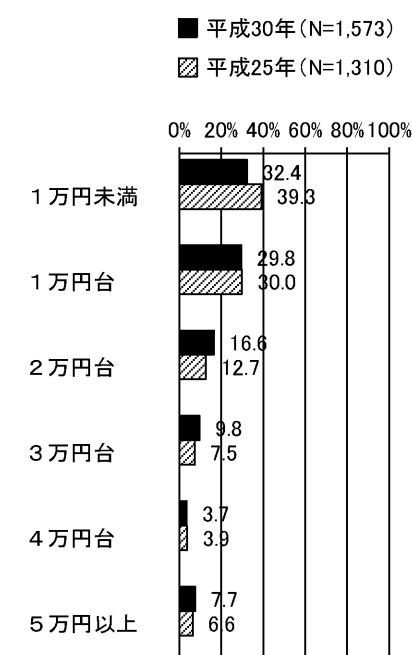
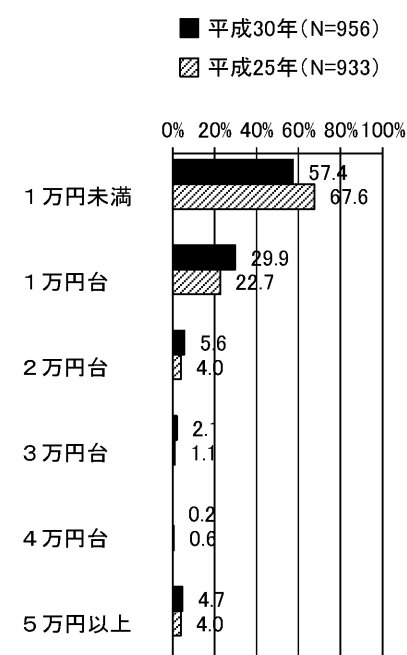
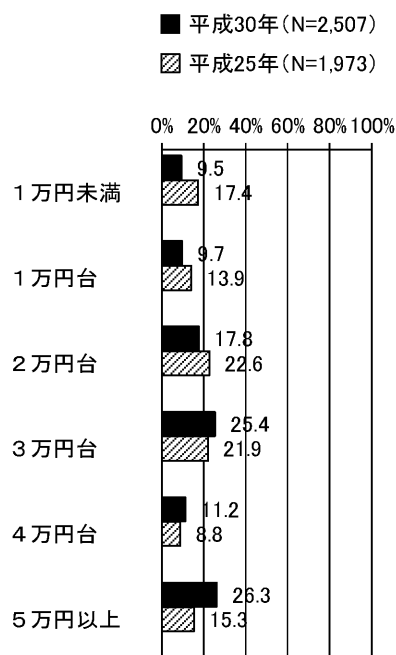


◆1か月あたりの費用

1. 幼稚園や保育施設等

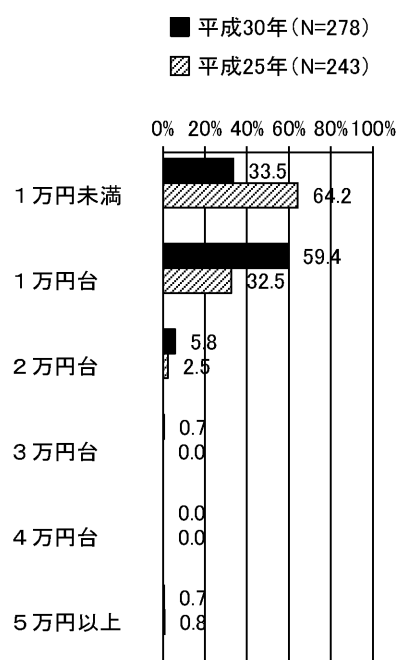
2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)

3. 習い事や塾



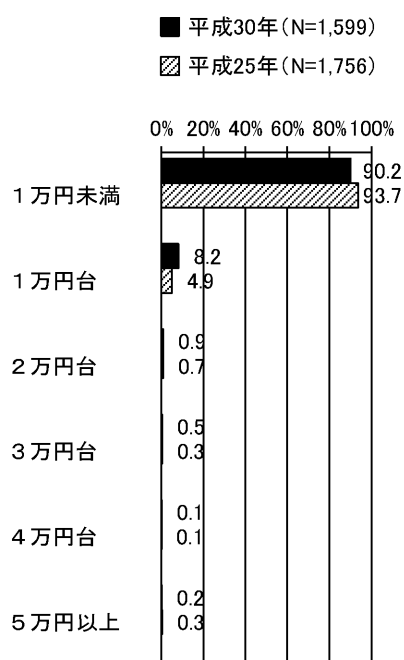
※不明・無回答除く

4. 学童クラブ事業等



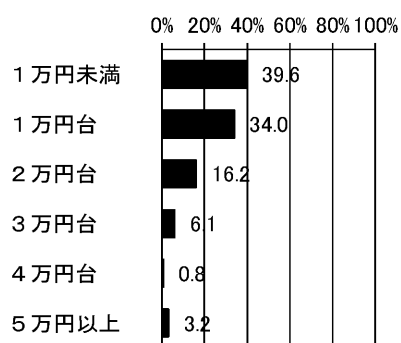
※不明・無回答除く

5. 医療



6. その他

平成30年(N=376)

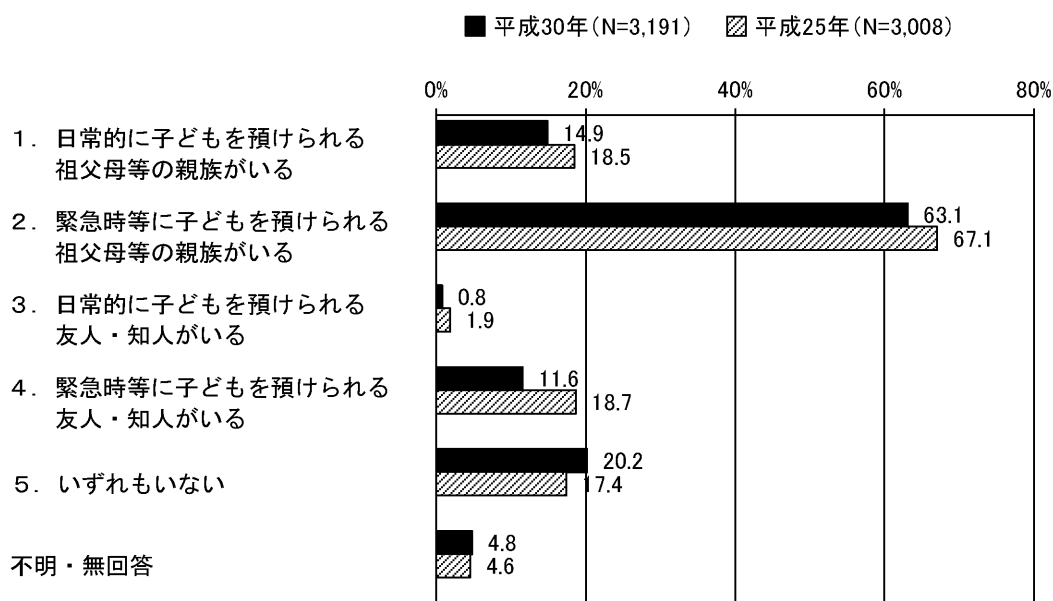


問9(1) 日頃、お子さまを預けられる人についてお答えください。(〇はいくつでも)

また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯(「9時～18時」のように24時間制で)をご記入ください。

「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が63.1%と最も高く、次いで「5. いずれもない」が20.2%, 「1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が14.9%となっています。

平成25年と比較すると、「4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がある」が7.1ポイント低くなっています。



《問9(1)×家族類型別》

すべての区分で「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

	3,191			2,014			25			369			644			153	
	100.0	476		100.0	476		100.0	25		100.0	116		100.0	202		100.0	153
1	117	27	58	2	15	27	7										
2	1,050	146	690	5	83	211	41										
3	835	150	535	9	99	163	35										
4	1,140	148	703	9	167	232	65										
5	14	2	8	0	2	3	1										
6	3	0	2	0	0	1	0										
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	
41																	
42																	
43																	
44																	
45																	
46																	
47																	
48																	
49																	
50																	
51																	
52																	
53																	
54																	
55																	
56																	
57																	
58																	
59																	
60																	
61																	
62																	
63																	
64																	
65																	
66																	
67																	
68																	
69																	
70																	
71																	
72																	
73																	
74																	
75																	
76																	
77																	
78																	
79																	
80																	
81																	
82																	
83																	
84																	
85																	
86																	
87																	
88																	
89																	
90																	
91																	
92																	
93																	
94																	
95																	
96																	
97																	
98																	
99																	
100																	

《問 9(1)×問 5(1)同居・近居の状況別》

『父と同居(ひとり親家庭)』を除き、「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

3,191	476	2,014	25	369	644	153
100.0	14.9	63.1	0.8	11.6	20.2	4.8
2,969	432	1,885	23	345	602	140
100.0	14.6	63.5	0.8	11.6	20.3	4.7
1	1	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
116	26	58	2	15	27	7
100.0	22.4	50.0	1.7	12.9	23.3	6.0
152	61	95	3	16	10	4
100.0	40.1	62.5	2.0	10.5	6.6	2.6
209	86	135	4	18	11	8
100.0	41.1	64.6	1.9	8.6	5.3	3.8
492	130	398	4	55	19	15
100.0	26.4	80.9	0.8	11.2	3.9	3.0
587	153	467	6	65	23	21
100.0	26.1	79.6	1.0	11.1	3.9	3.6
106	20	73	1	10	17	3
100.0	18.9	68.9	0.9	9.4	16.0	2.8

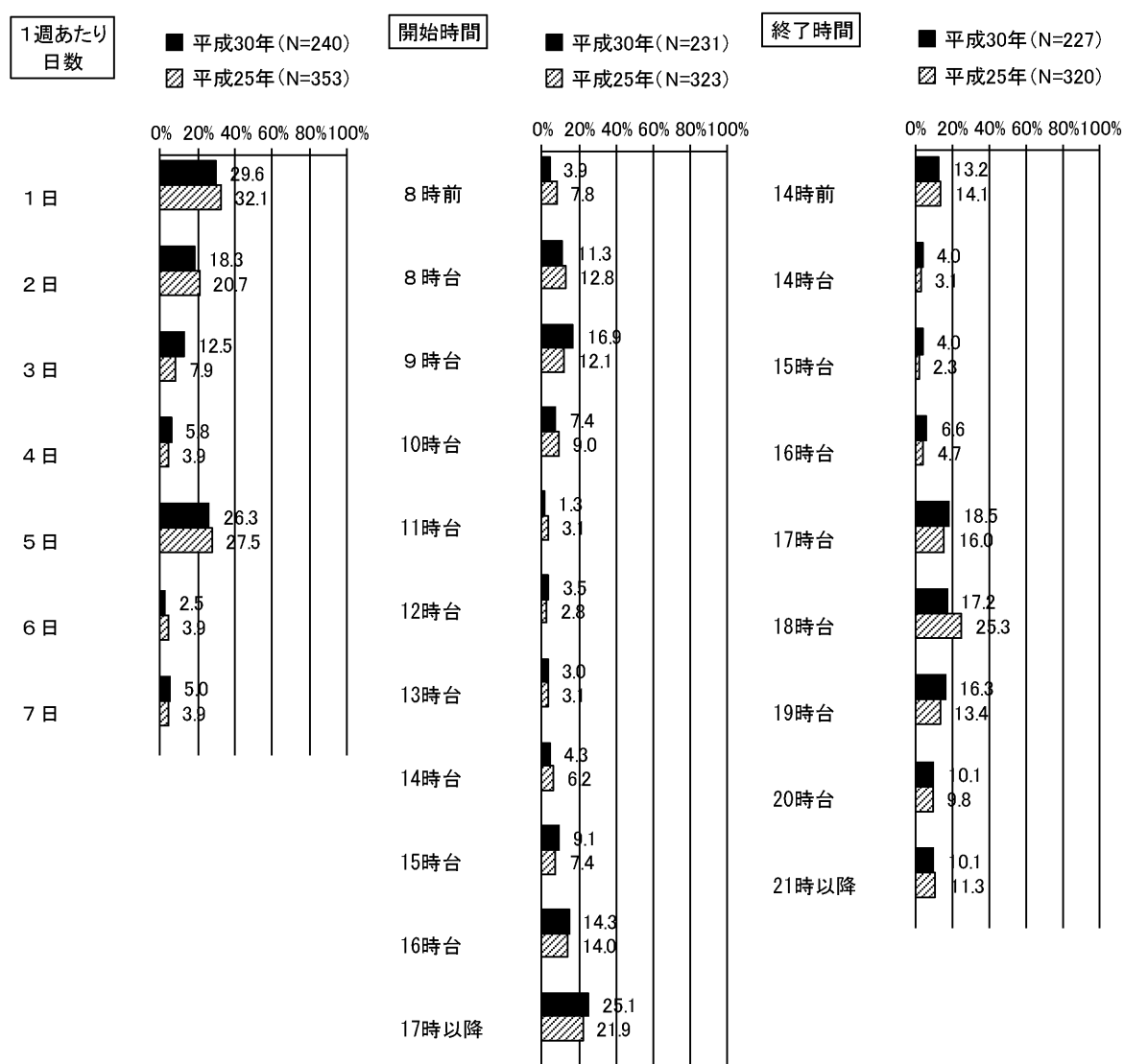
預けている日数・時間帯について、『1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる』方の1週あたりの日数は「1日」が29.6%と最も高く、次いで「5日」が26.3%、「2日」が18.3%となっています。

開始時間は、「17時以降」が25.1%と最も高く、次いで「9時台」が16.9%、「16時台」が14.3%となっています。

終了時間は、「17時台」が18.5%と最も高く、次いで「18時台」が17.2%、「19時台」が16.3%となっています。

◆預けている日数・時間帯

1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる



※不明・無回答除く

預けている日数・時間帯について、『3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる』方の1週あたりの日数は「1日」が4件、「2日」が2件、「5日」が1件となっています。

開始時間は、「17時以降」が4件、「8時前」「9時台」がともに1件ずつとなっています。

終了時間は、「21時以降」が3件、「14時前」「19時台」がともに1件ずつとなっています。

3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる

【1週あたり日数】

平成30年(N=7)

	件数
1日	4
2日	2
5日	1

【開始時間】

平成30年(N=6)

	件数
8時前	1
9時台	1
17時以降	4

【終了時間】

平成30年(N=5)

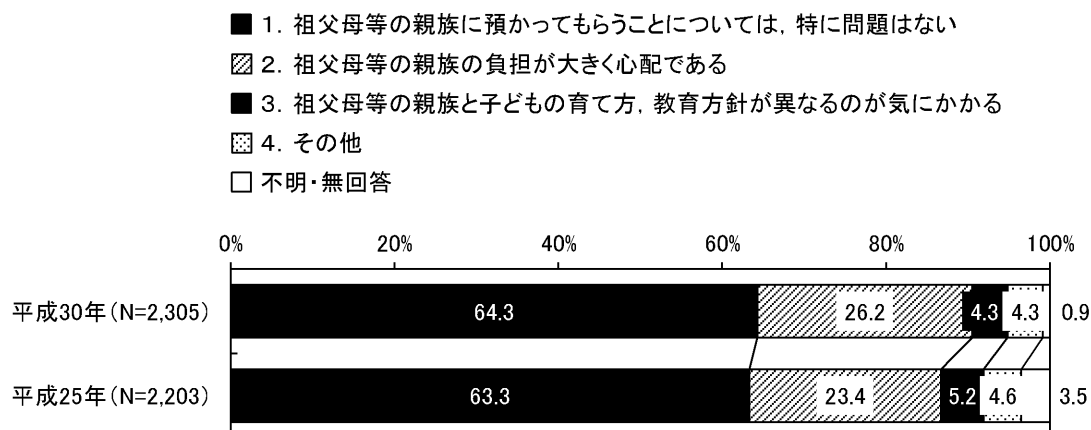
	件数
14時前	1
19時台	1
21時以降	3

※不明・無回答除く

問 9(2) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

「1. 祖父母等の親族に預かってもらうことについては、特に問題はない」が 64.3%と最も高く、次いで「2. 祖父母等の親族の負担が大きく心配である」が 26.2%となっています。

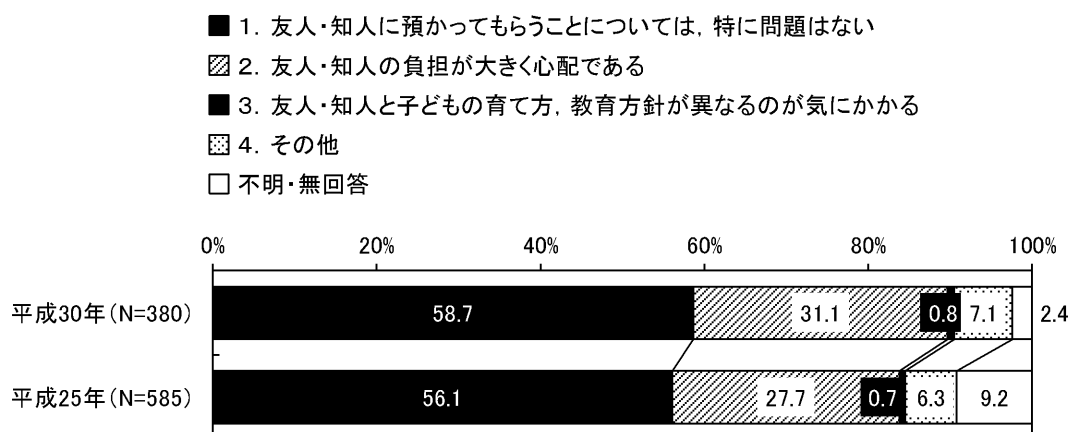
平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 9(3) 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

「1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が 58.7%と最も高く、次いで「2. 友人・知人の負担が大きく心配である」が 31.1%となっています。

平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。



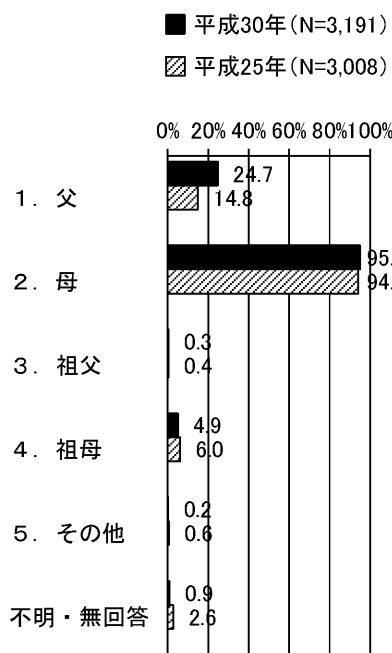
問 10 宛名のお子さまの育児や家事等に関わっている方はどなたですか。

(○はそれぞれいくつでも)

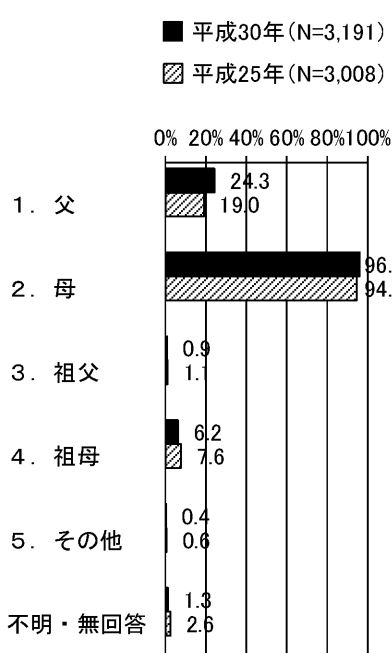
すべての項目において「2. 母」の割合が最も高くなっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 父」の割合はすべての項目で高くなっており、特に『⑭子ども会や子育てサークル、町内会や地蔵盆等の子どもに関する地域活動に参加する』で 21.6 ポイント、『①洗濯をする』で 9.9 ポイント高くなっています。

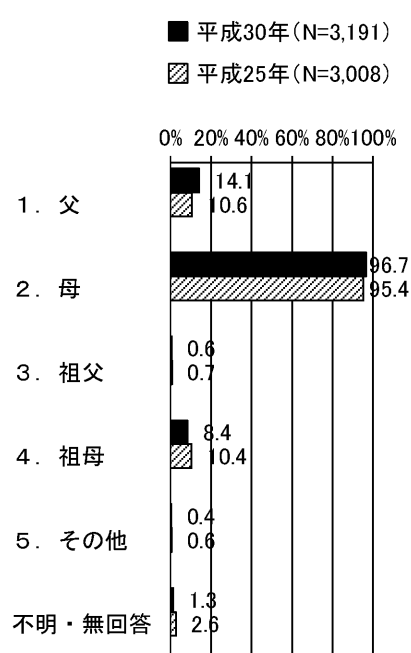
①洗濯をする



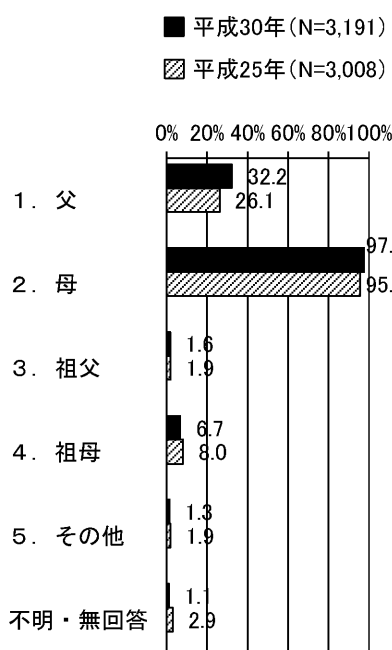
②食料品等の日常的な買い物をする



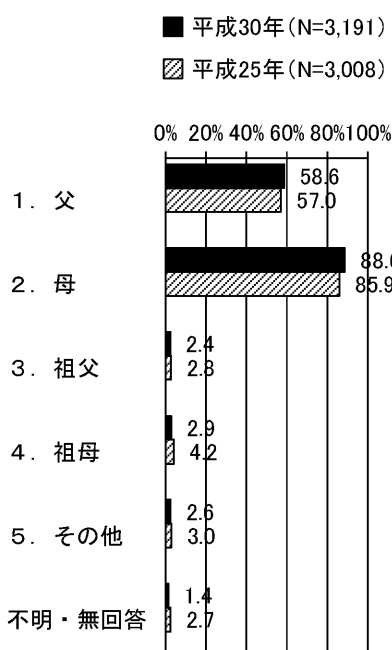
③家族や子どもの食事をつくる



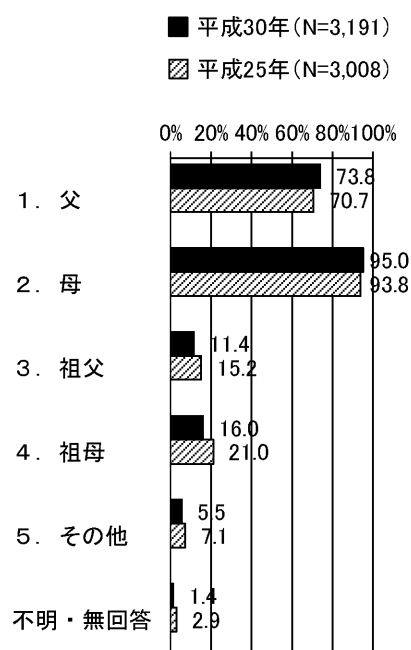
④子どもに食事を食べさせる



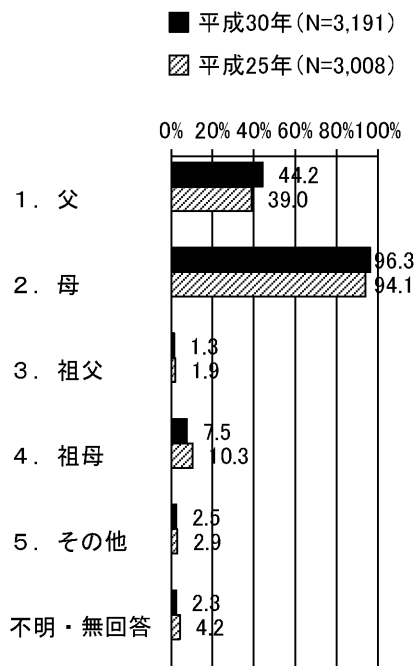
⑤子どもを風呂に入れる



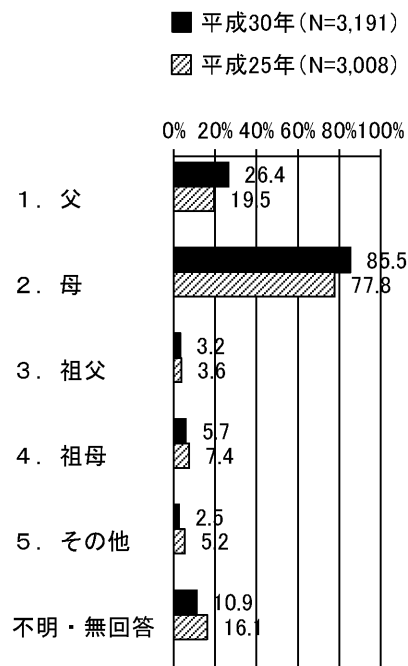
⑥子どもと遊ぶ



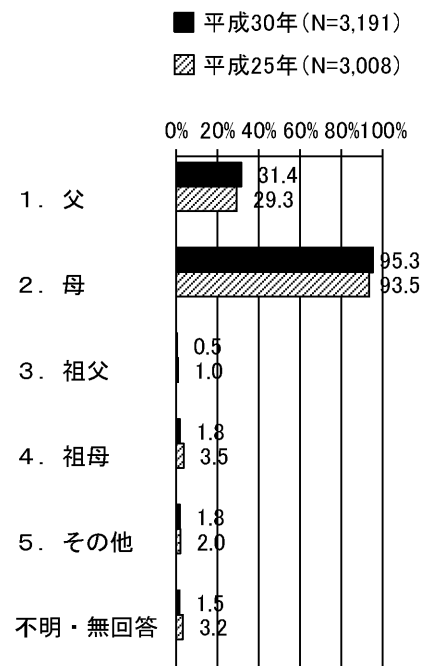
⑦子どもの衣類(おむつ)を替える



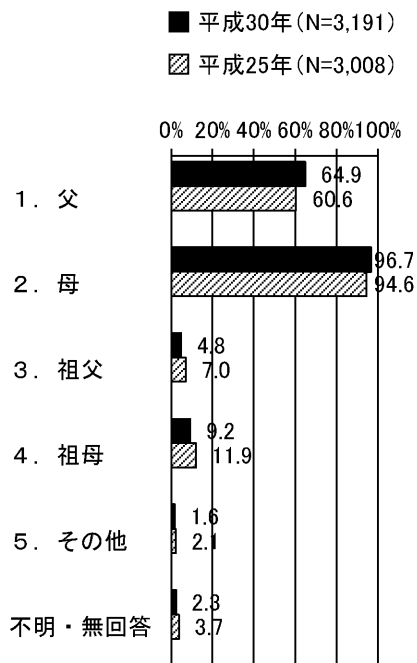
⑧幼稚園・保育施設等や習い事・塾等の送り迎えをする



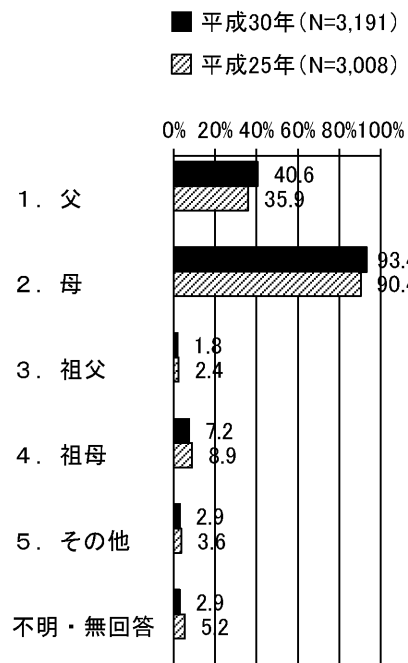
⑨子どもを寝かしつける



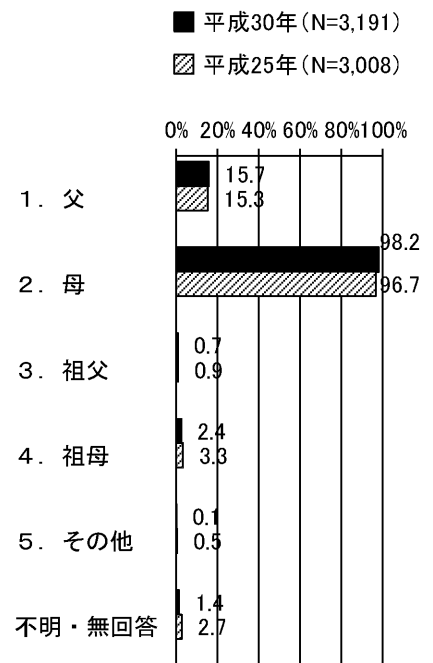
⑩子どもをしつける



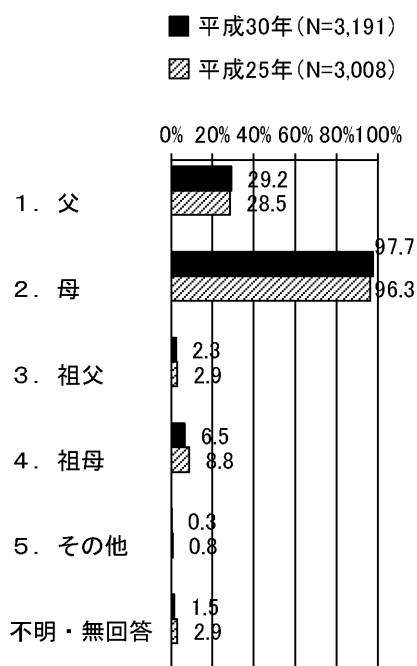
⑪子どもに本を読み聞かせる



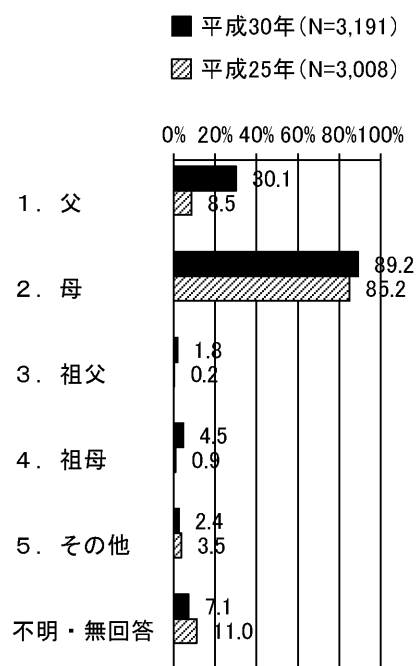
⑫予防接種や健診に連れて行く



⑬子どもが病気の際に看病したり
病院に連れて行ったりする



⑭子ども会や子育てサークル、町内会や
地蔵盆等の子どもに関する地域活動に
参加する



《問 10×問 25 子育てをしている今の気持ち別》

〔⑥子どもと遊ぶ〕〔⑩子どもをしつける〕について、すべての区分で「母」の割合が最も高くなっていますが、子育てが楽しいと感じている方ほど「父」の割合が高くなる傾向がみられます。

⑥子どもと遊ぶ

	3,191	2,354	3,032	363	510	176	45
	100.0	73.8	95.0	11.4	16.0	5.5	1.4
	885	704	848	127	165	52	9
	100.0	79.5	95.8	14.4	18.6	5.9	1.0
	1,297	990	1,243	153	212	72	18
	100.0	76.3	95.8	11.8	16.3	5.6	1.4
	695	460	650	56	90	37	15
	100.0	66.2	93.5	8.1	12.9	5.3	2.2
	108	58	103	8	11	4	0
	100.0	53.7	95.4	7.4	10.2	3.7	0.0
	155	110	144	11	22	8	1
	100.0	71.0	92.9	7.1	14.2	5.2	0.6

⑩子どもをしつける

	3,191	2,070	3,087	152	295	50	73
	100.0	64.9	96.7	4.8	9.2	1.6	2.3
	885	603	853	50	88	17	23
	100.0	68.1	96.4	5.6	9.9	1.9	2.6
	1,297	865	1,253	63	120	21	27
	100.0	66.7	96.6	4.9	9.3	1.6	2.1
	695	436	678	29	59	8	15
	100.0	62.7	97.6	4.2	8.5	1.2	2.2
	108	42	105	4	8	1	1
	100.0	38.9	97.2	3.7	7.4	0.9	0.9
	155	98	150	4	16	3	4
	100.0	63.2	96.8	2.6	10.3	1.9	2.6

2 お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について

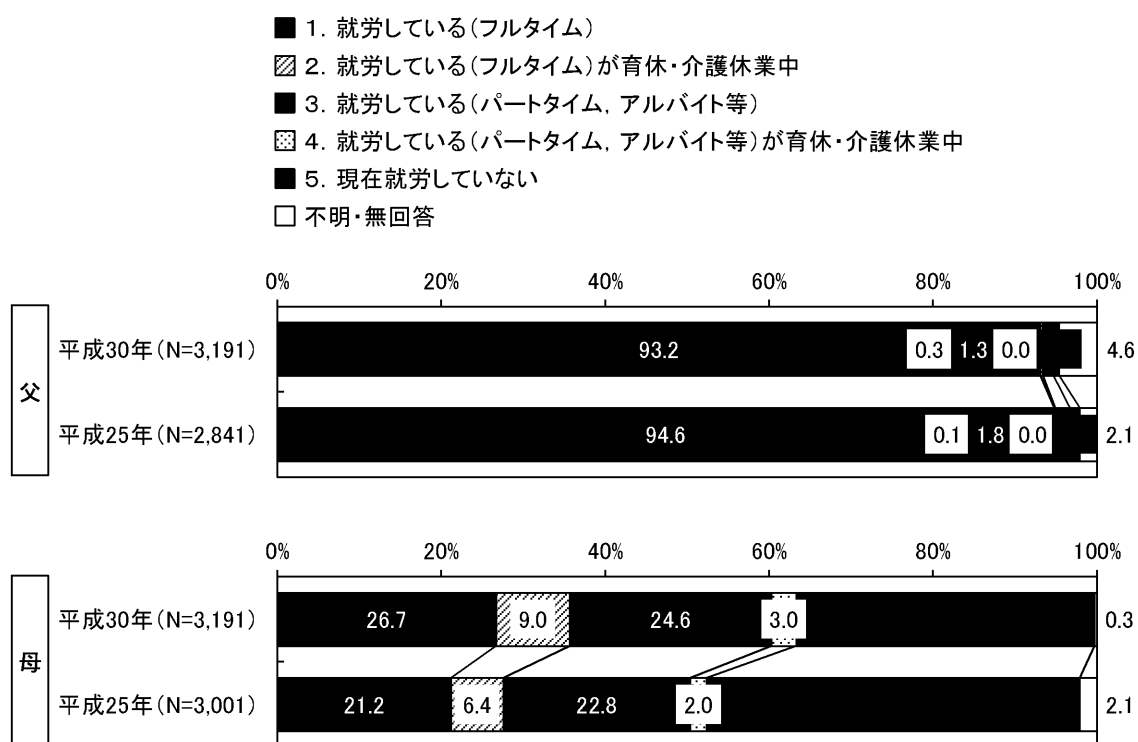
問 11(1) 父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業，家族従事者含む。）について，「1～5」の中から選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

併せて，就労している方は，〔 〕に数字（時刻の場合は，「18 時頃」のように 24 時間制で）をご記入ください。また，就労時間については，30 分以上の端数は切上げ，30 分未満は切下げてご記入ください。

父親では，「1. 就労している（フルタイム）」が 93.2%と最も高く，次いで「3. 就労している（パートタイム，アルバイト等）」が 1.3%，「5. 現在就労していない」が 0.7%となっています。

母親では，「5. 現在就労していない」が 36.4%と最も高く，次いで「1. 就労している（フルタイム）」が 26.7%，「3. 就労している（パートタイム，アルバイト等）」が 24.6%となっています。

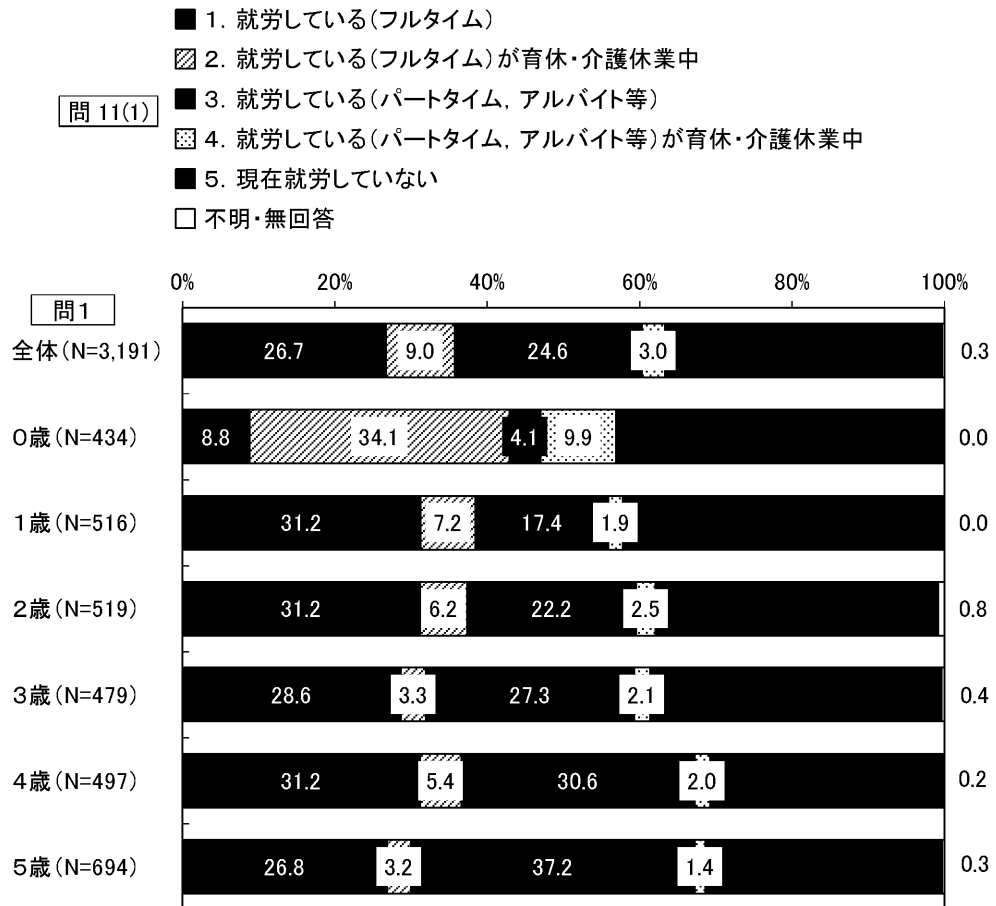
平成 25 年と比較すると，父親では特に大きな差はみられません。母親では「5. 現在就労していない」が 9.1 ポイント低く，「1. 就労している（フルタイム）」が 5.5 ポイント高くなっています。



《問 11(1)母親の就労状況×問 1 子どもの年齢別》

子どもの年齢が上がるほど「3. 就労している（パートタイム，アルバイト等）」の割合が高くなる傾向がみられます。

【母】

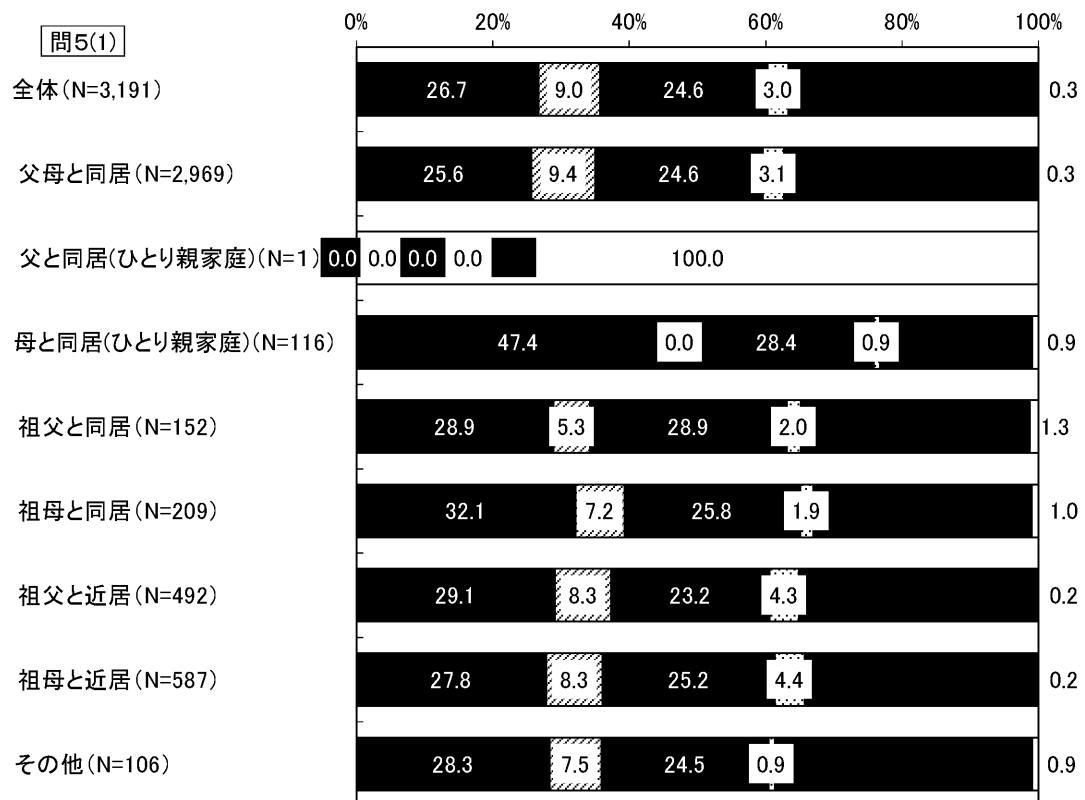


《問 11(1)母親の就労状況×問 5(1)同居・近居の状況別》

『母と同居(ひとり親家庭)』で「1. 就労している(フルタイム)」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

【母】

- 1. 就労している(フルタイム)
- ▨ 2. 就労している(フルタイム)が育休・介護休業中
- 3. 就労している(パートタイム, アルバイト等)
- ▤ 4. 就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中
- 5. 現在就労していない
- 不明・無回答



フルタイムで就労している父親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が55.4%と最も高く、次いで「6日」が35.8%となっています。

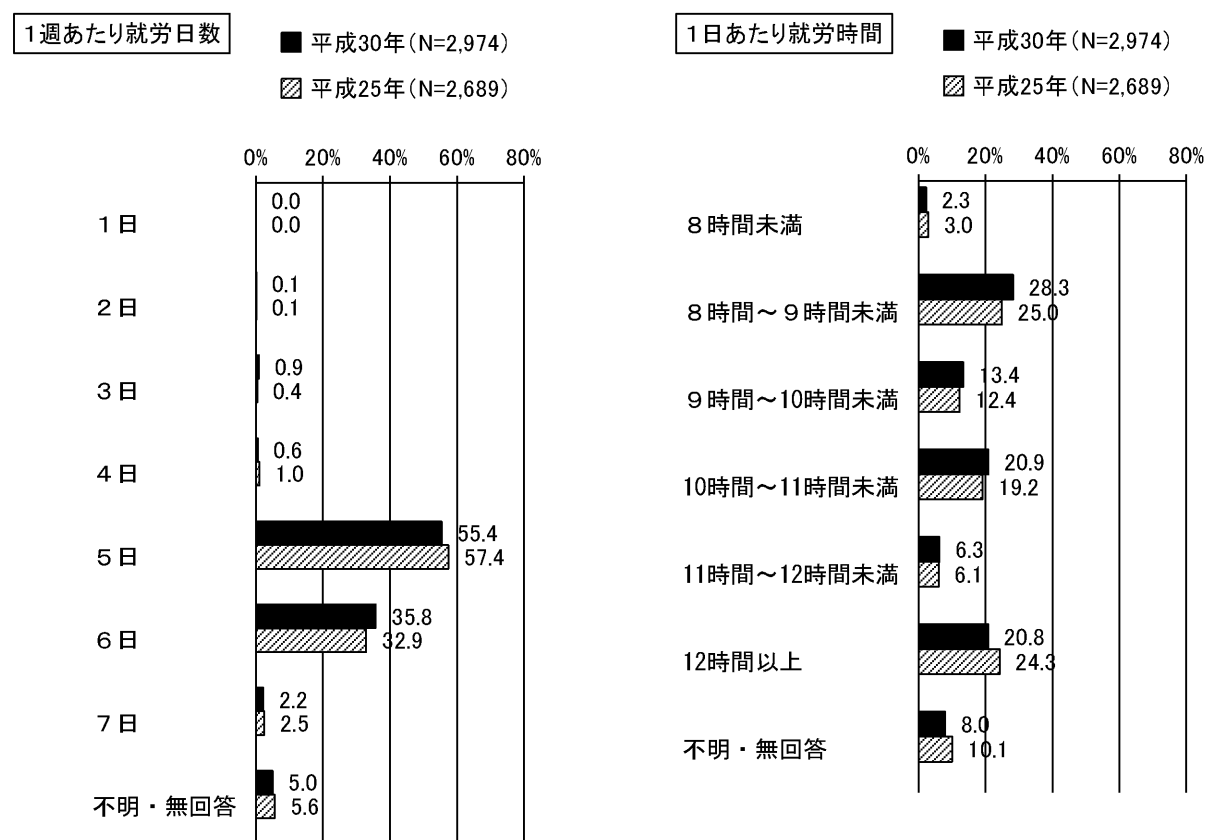
1日あたりの就労時間は、「8時間～9時間未満」が28.3%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」が20.9%、「12時間以上」が20.8%となっています。

家を出る時間は、「7時台」が34.6%と最も高く、次いで「8時台」が32.5%となっています。

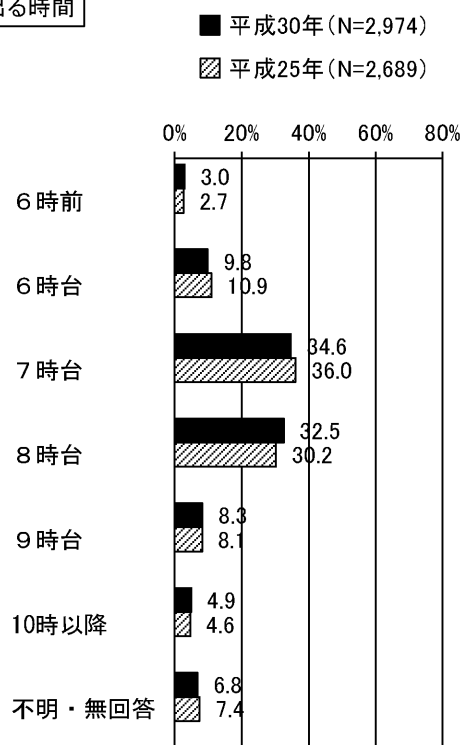
帰宅時間は、「20時台」が18.8%と最も高く、次いで「19時台」が18.1%、「21時台」が15.4%となっています。

◆フルタイムで就労している保護者の状況

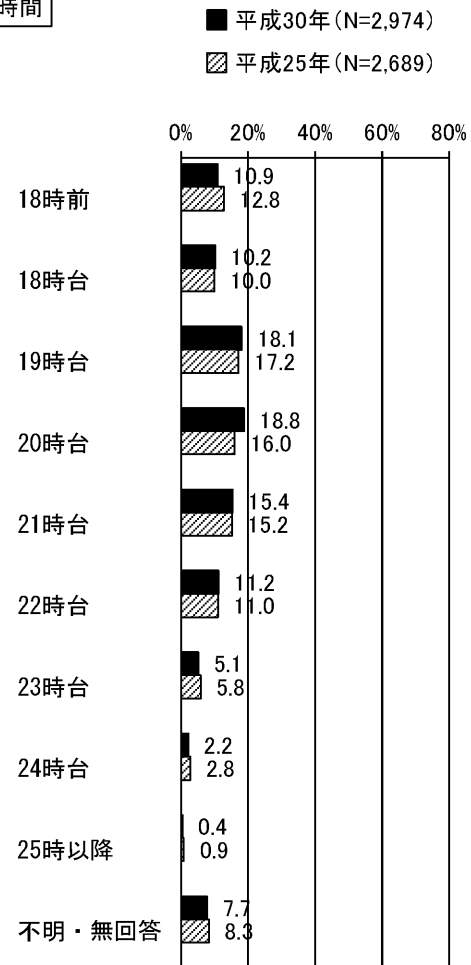
【父】



家を出る時間



帰宅時間



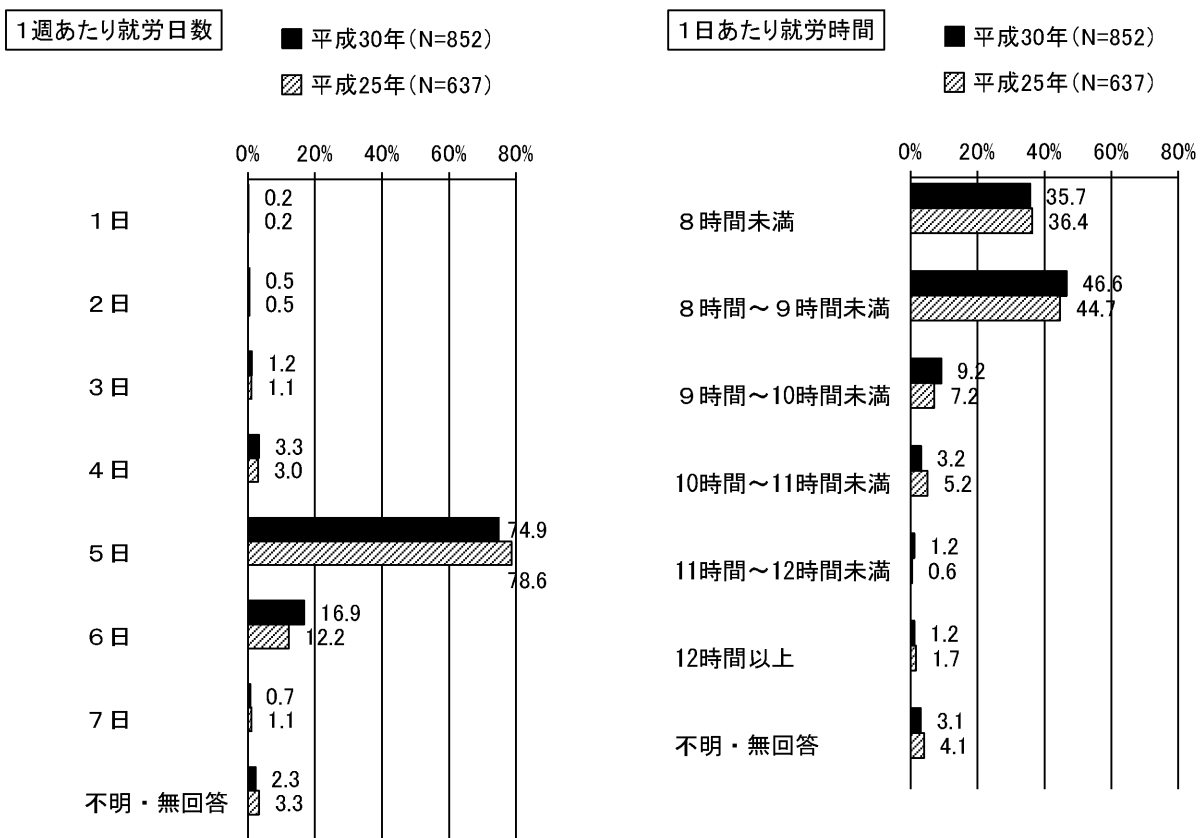
フルタイムで就労している母親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が74.9%と最も高く、次いで「6日」が16.9%となっています。

1日あたりの就労時間は、「8時間～9時間未満」が46.6%と最も高く、次いで「8時間未満」が35.7%となっています。

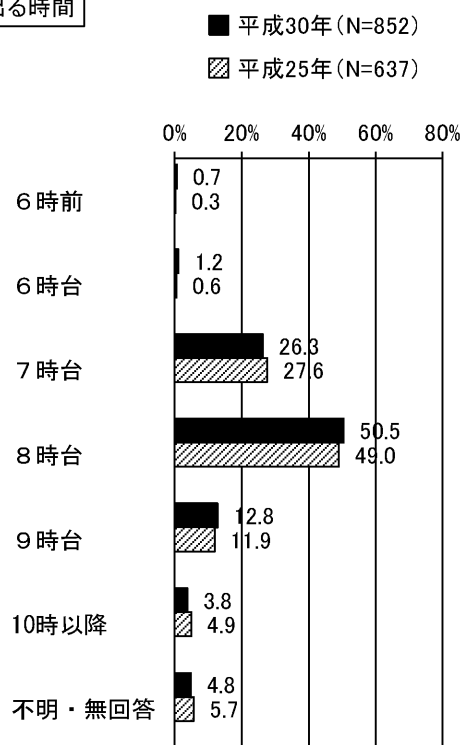
家を出る時間は、「8時台」が50.5%と最も高く、次いで「7時台」が26.3%となっています。

帰宅時間は、「18時台」が45.0%と最も高く、次いで「18時前」が27.9%、「19時台」が17.6%となっています。

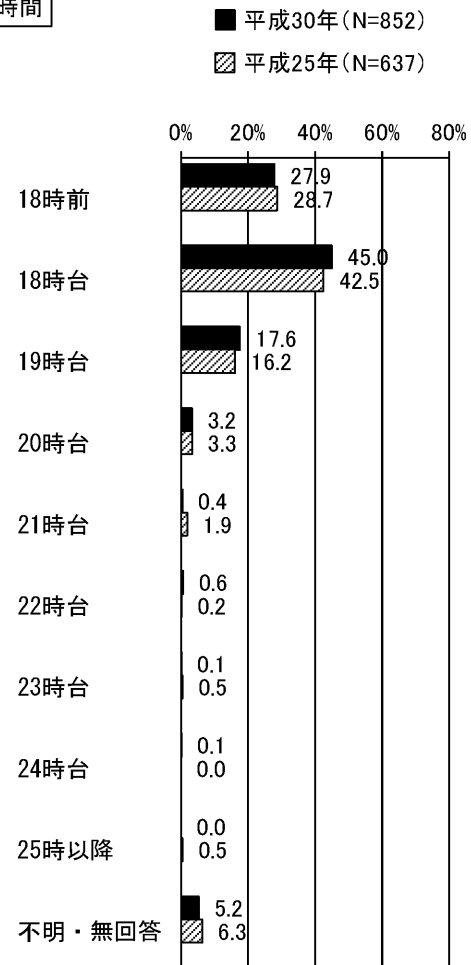
【母】



家を出る時間



帰宅時間



パートタイム、アルバイト等で就労している父親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が31.7%と最も高く、次いで「6日」が19.5%となっています。

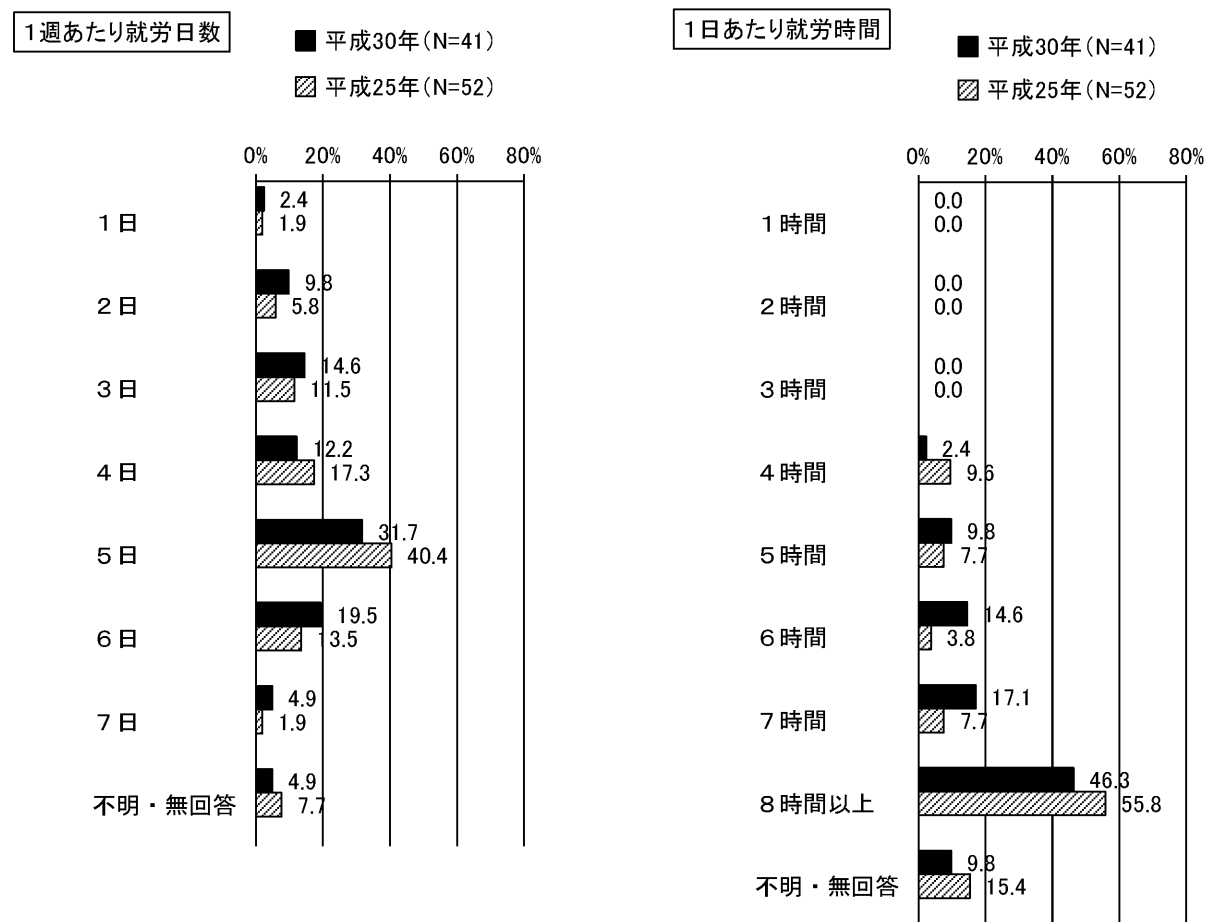
1日あたりの就労時間は、「8時間以上」が46.3%と最も高く、次いで「7時間」が17.1%となっています。

家を出る時間は、「8時台」が26.8%と最も高く、次いで「7時台」が24.4%となっています。

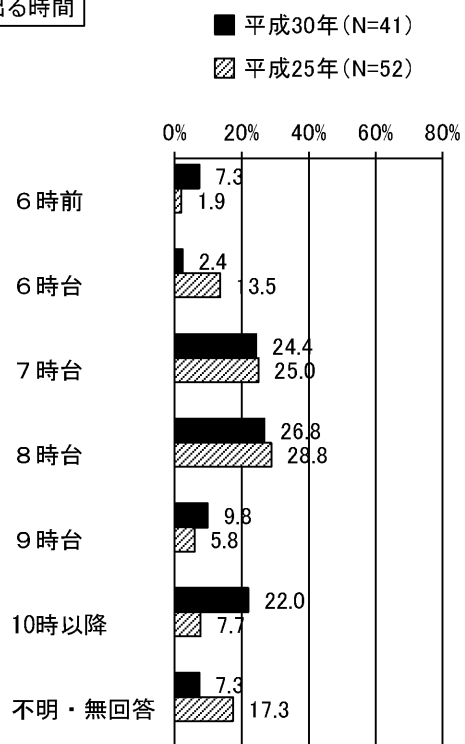
帰宅時間は、「18時前」が34.1%と最も高く、次いで「21時台」が17.1%となっています。

◆パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況

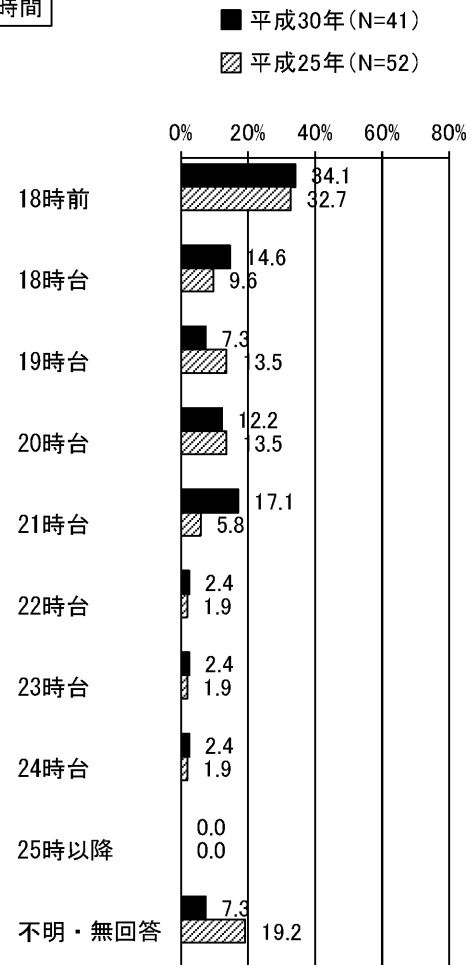
【父】



家を出る時間



帰宅時間



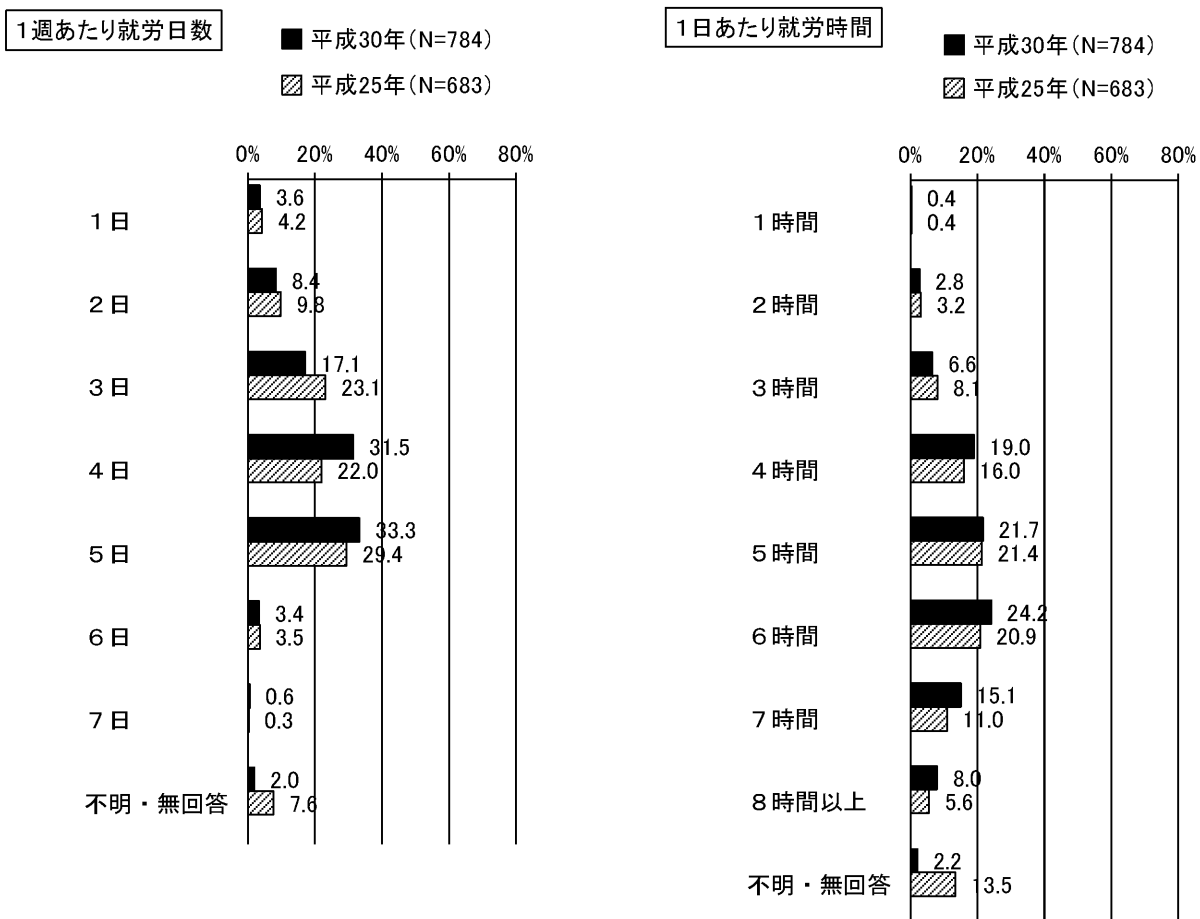
パートタイム、アルバイト等で就労している母親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が33.3%と最も高く、次いで「4日」が31.5%となっています。

1日あたりの就労時間は、「6時間」が24.2%と最も高く、次いで「5時間」が21.7%、「4時間」が19.0%となっています。

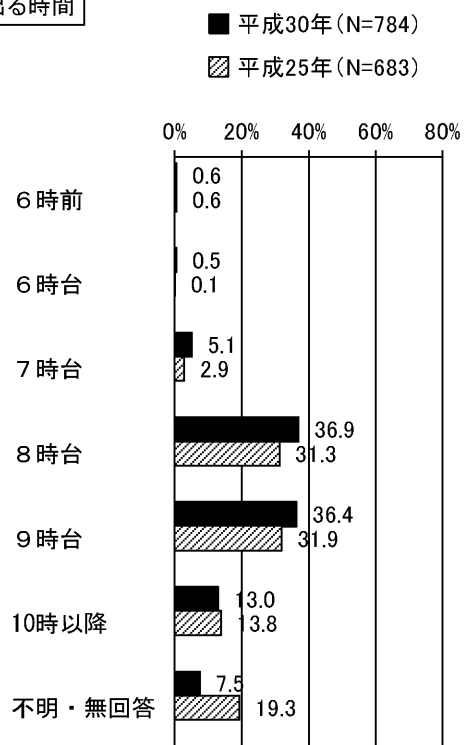
家を出る時間は、「8時台」が36.9%と最も高く、次いで「9時台」が36.4%となっています。

帰宅時間は、「18時前」が74.1%と最も高く、次いで「18時台」が12.9%となっています。

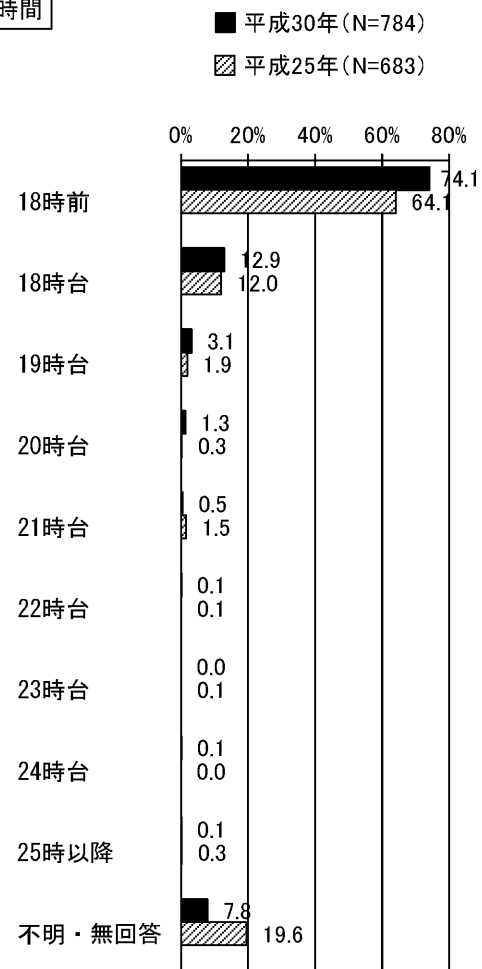
【母】



家を出る時間



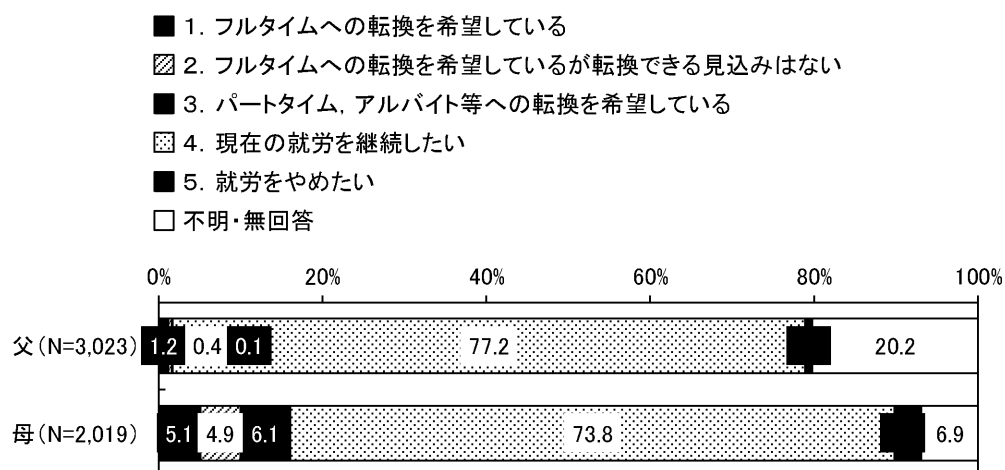
帰宅時間



問 11(2) フルタイムまたはパートタイム、アルバイト等への転換希望はありますか。
(〇はそれぞれ1つずつ)

父親では、「4. 現在の就労を継続したい」が 77.2%と最も高く、次いで「1. フルタイムへの転換を希望している」が 1.2%となっています。

母親では、「4. 現在の就労を継続したい」が 73.8%と最も高く、次いで「3. パートタイム、アルバイト等への転換を希望している」が 6.1%, 「1. フルタイムへの転換を希望している」が 5.1%となっています。

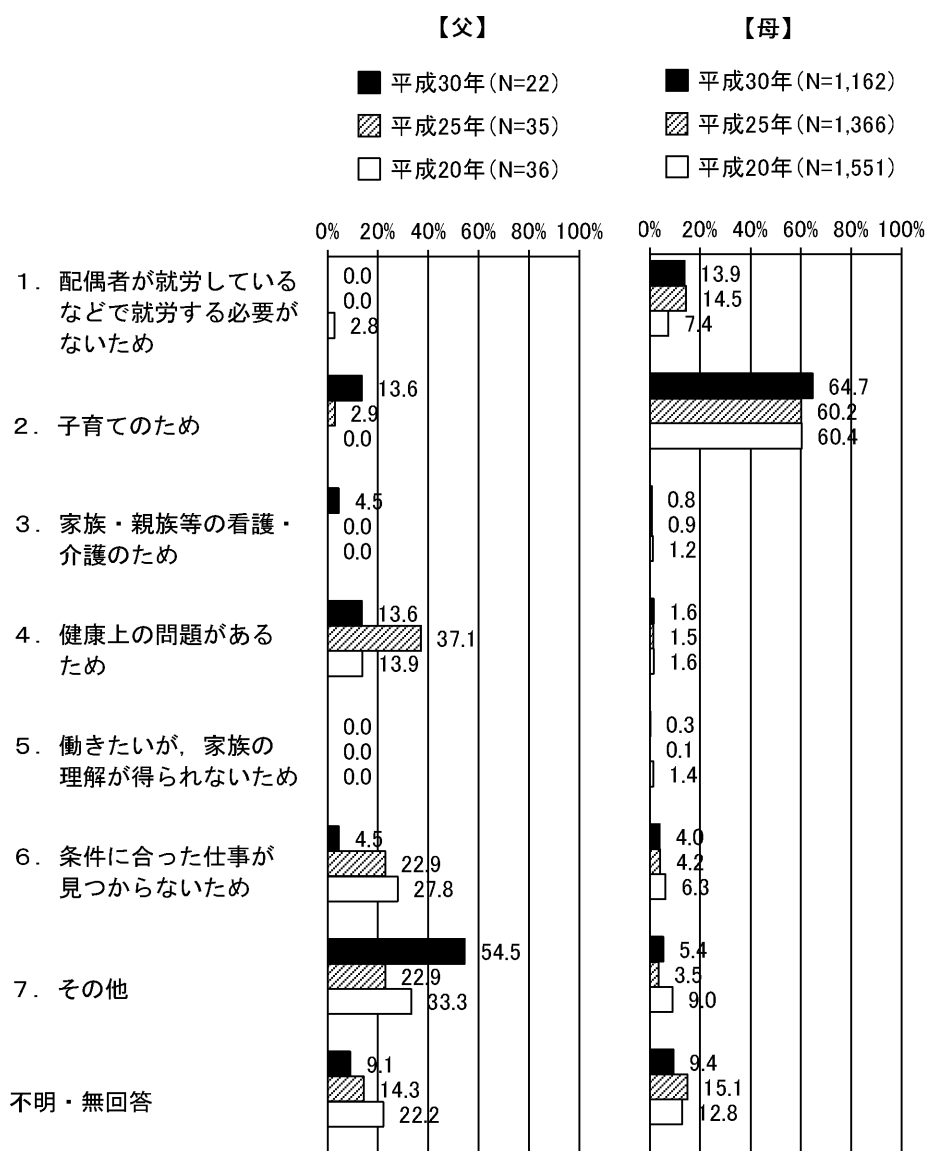


問 11(3) その方が、現在就労していない主な理由は何ですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

父親では、その他を除き「2. 子育てのため」「4. 健康上の問題があるため」が 13.6%と高くなっています。

母親では、その他を除き「2. 子育てのため」が 64.7%と最も高く、次いで「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要があるため」が 13.9%、「6. 条件に合った仕事が見つからないため」が 4.0%となっています。

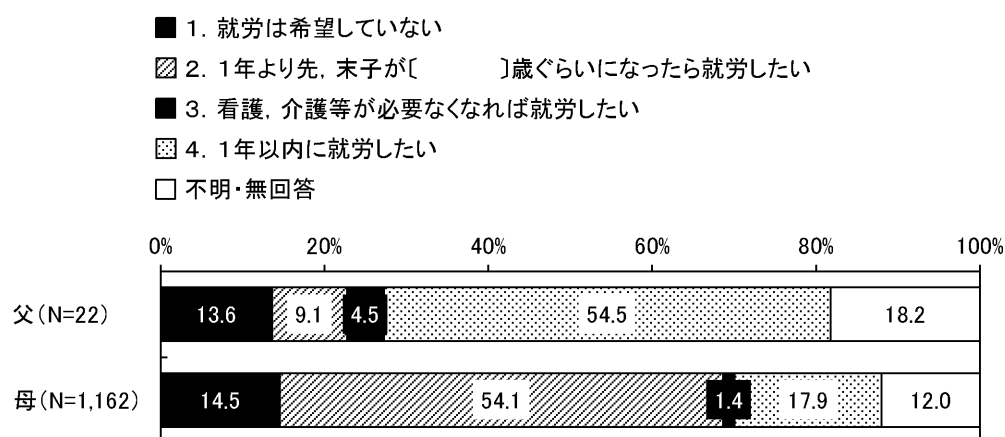
平成 20 年と比較すると、母親では「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要があるため」が 6.5 ポイント高くなっています。



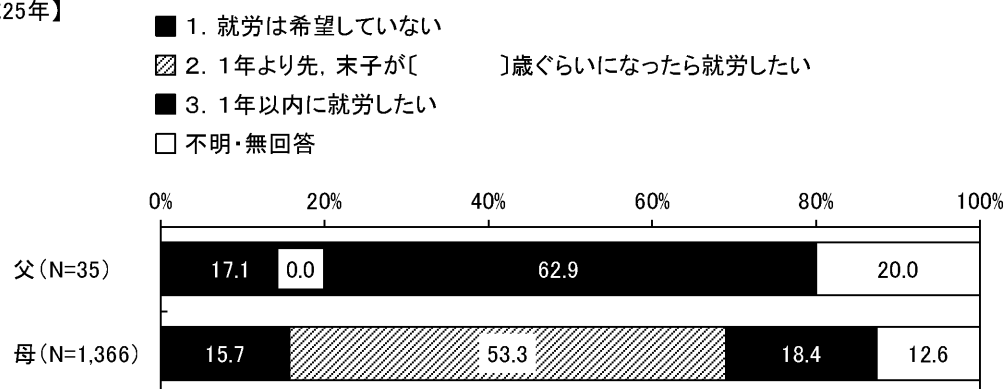
問 11(4) 現在就労していない方は今後、就労を希望していますか。(〇はそれぞれ1つつ) 併せて、[]に数字をご記入ください。

父親では、「4. 1年以内に就労したい」が 54.5%と最も高く、次いで「1. 就労は希望していない」が 13.6%、「2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい」が 9.1%となっています。

母親では、「2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい」が 54.1%と最も高く、次いで「4. 1年以内に就労したい」が 17.9%、「1. 就労は希望していない」が 14.5%となっています。



【平成25年】



就労したい時の末子の年齢について、母親では、「2～3歳」が32.1%と最も高く、次いで「6～7歳」が28.3%、「4～5歳」が19.2%となっています。

◆(「2」の場合)末子の年齢

【父】

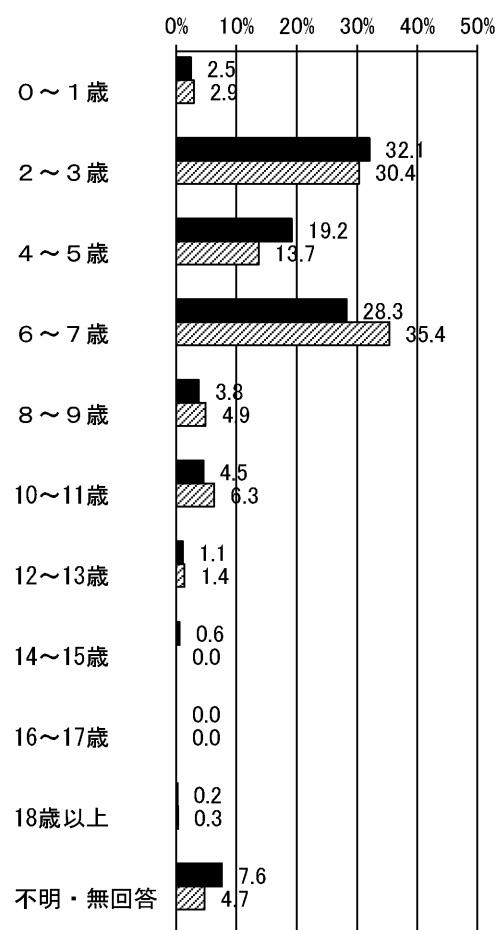
(N=2)

	件数
2～3歳	1
10～11歳	1

【母】

■ 平成30年(N=629)

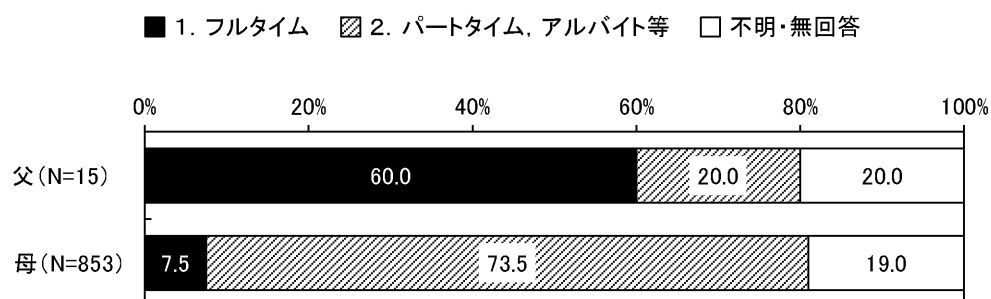
▨ 平成25年(N=728)



父親では、「1. フルタイム」が60.0%、「2. パートタイム, アルバイト等」が20.0%となっています。

母親では、「1. フルタイム」が7.5%、「2. パートタイム, アルバイト等」が73.5%となっています。

◆(「2～4」の場合)希望する就労形態



母親について、1週あたりの就労日数は、「3日」が41.8%と最も高く、次いで「4日」が29.0%、「5日」が17.2%となっています。1日あたりの就労時間は、「5時間」が39.1%と最も高く、次いで「4時間」が27.0%、「6時間」が14.7%となっています。

◆(「2. パートタイム, アルバイト等」での就労を希望する方)1週あたりの就労日数, 1日あたりの就労時間
【父】

1週あたり就労日数
(N=3)

	件数
3日	2
5日	1

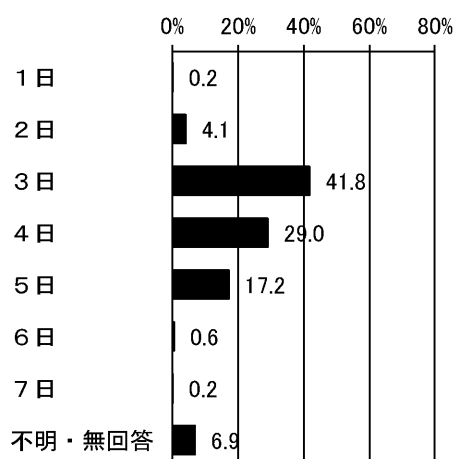
1日あたり就労時間
(N=3)

	件数
4時間	2
不明・無回答	1

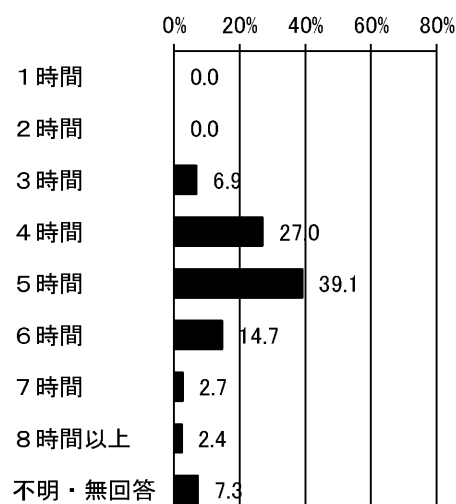
【母】

(N=627)

1週あたり就労日数



1日あたり就労時間

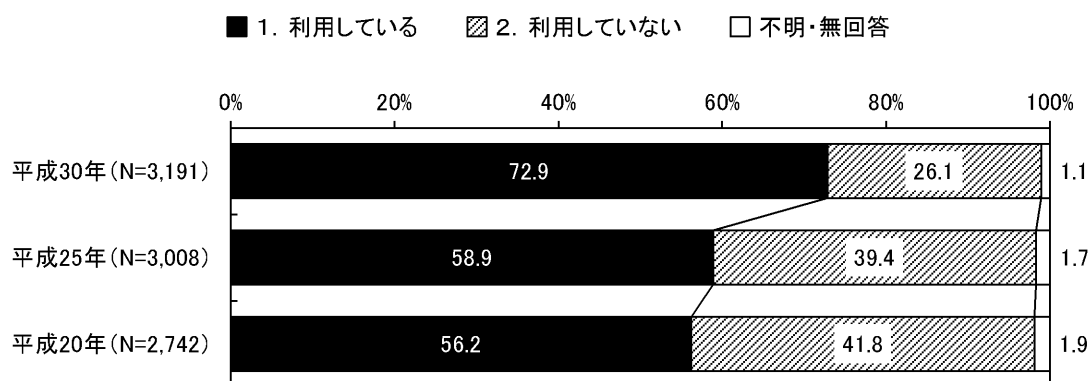


3 お子さまの平日の幼稚園・保育施設等の利用について

問 12(1) 宛名のお子さまは、平日に幼稚園・保育施設等を定期的に利用していますか。

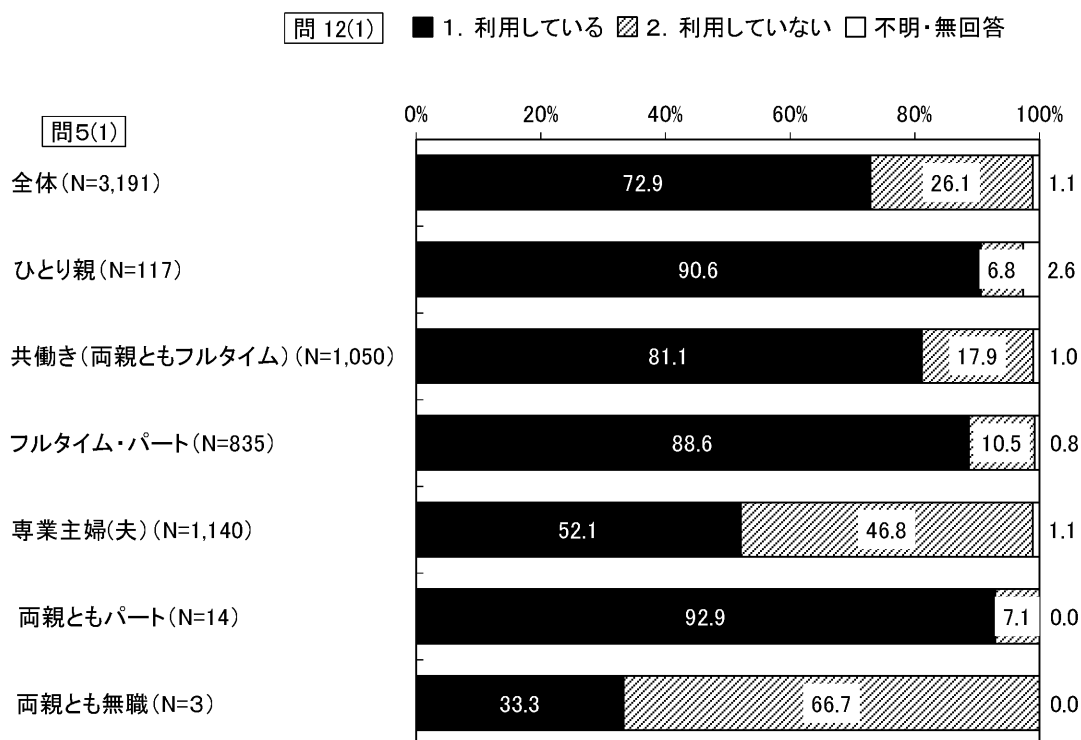
(○は1つ)

「1. 利用している」が72.9%,「2. 利用していない」が26.1%となっています。
平成25年と比較すると,「1. 利用している」が14.0ポイント高くなっています。



《問 12(1)×問 5(1)同居・近居の状況別》

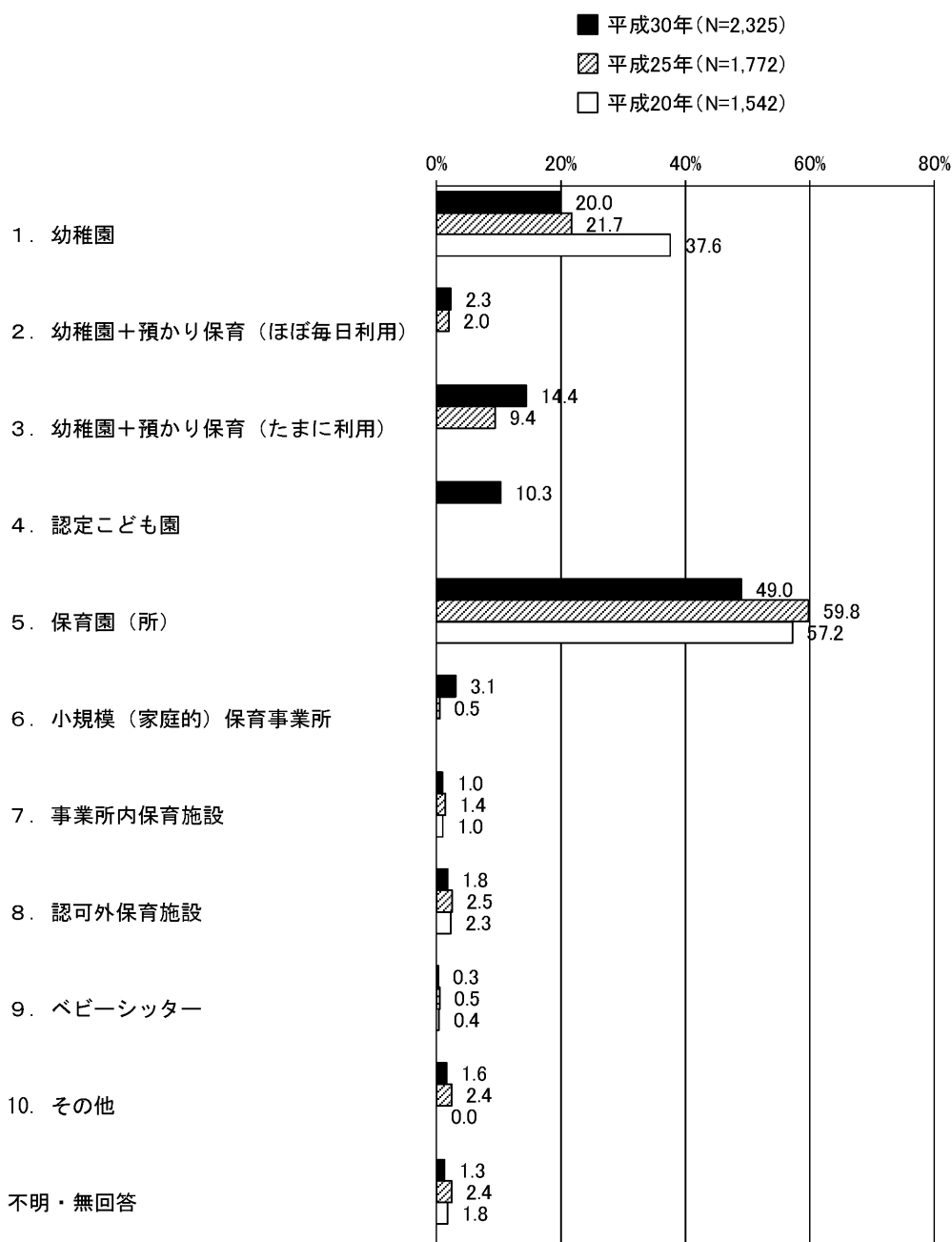
『専業主婦(夫)』『両親とも無職』で「2. 利用していない」の割合が他の区分に比べ高くなっています。



問 12(2) 現在、どのような施設等を利用していますか。(〇はいくつでも)

また、主に利用している施設について、「現在」と「希望」の利用日数・時間を()
内に具体的な数字(時刻の場合は 24 時間制で)をご記入ください。

「5. 保育園(所)」が 49.0%と最も高く、次いで「1. 幼稚園」が 20.0%, 「3. 幼稚園+預
かり保育(たまに利用)」が 14.4%となっています。



※「2. 幼稚園+預かり保育(ほぼ毎日利用)」「3. 幼稚園+預かり保育(たまに利用)」「6. 小規模(家庭的)保育事業所(平成25年:小規模保育)」は平成30年、平成25年のみの選択肢

「4. 認定こども園」は平成30年のみの選択肢

《問 12(2)×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「保育園（所）」の割合が最も高く、次いで『0歳』『1歳』では「認定こども園」、2歳以上では「幼稚園」となっています。

	2,325	466	54	335	239	1,139	71
	100.0	20.0	2.3	14.4	10.3	49.0	3.1
	63	2	0	1	7	39	5
	100.0	3.2	0.0	1.6	11.1	61.9	7.9
	261	5	1	6	33	184	21
	100.0	1.9	0.4	2.3	12.6	70.5	8.0
	360	44	5	7	39	214	26
	100.0	12.2	1.4	1.9	10.8	59.4	7.2
	430	117	9	47	39	191	10
	100.0	27.2	2.1	10.9	9.1	44.4	2.3
	489	112	18	107	56	215	2
	100.0	22.9	3.7	21.9	11.5	44.0	0.4
	683	178	20	164	61	276	5
	100.0	26.1	2.9	24.0	8.9	40.4	0.7

	2,325	23	43	6	37	30
	100.0	1.0	1.8	0.3	1.6	1.3
	63	3	3	1	3	1
	100.0	4.8	4.8	1.6	4.8	1.6
	261	5	11	1	3	2
	100.0	1.9	4.2	0.4	1.1	0.8
	360	7	11	0	10	4
	100.0	1.9	3.1	0.0	2.8	1.1
	430	4	5	2	17	3
	100.0	0.9	1.2	0.5	4.0	0.7
	489	0	1	2	2	6
	100.0	0.0	0.2	0.4	0.4	1.2
	683	4	11	0	2	14
	100.0	0.6	1.6	0.0	0.3	2.0

《問 12(2)×家族類型別》

『専業主婦(夫)』『両親とも無職』では「幼稚園」、それ以外では「保育園(所)」の割合が最も高くなっています。

	2,325	466	54	335	239	1,139	71
	100.0	20.0	2.3	14.4	10.3	49.0	3.1
	106	7	3	6	15	67	2
	100.0	6.6	2.8	5.7	14.2	63.2	1.9
	852	22	18	18	105	634	30
	100.0	2.6	2.1	2.1	12.3	74.4	3.5
	740	101	24	129	95	365	30
	100.0	13.6	3.2	17.4	12.8	49.3	4.1
	594	334	7	176	20	57	8
	100.0	56.2	1.2	29.6	3.4	9.6	1.3
	13	0	0	3	3	6	1
	100.0	0.0	0.0	23.1	23.1	46.2	7.7
	1	1	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	2,325	23	43	6	37	30
	100.0	1.0	1.8	0.3	1.6	1.3
	106	2	1	1	2	4
	100.0	1.9	0.9	0.9	1.9	3.8
	852	13	21	2	1	9
	100.0	1.5	2.5	0.2	0.1	1.1
	740	8	10	3	8	9
	100.0	1.1	1.4	0.4	1.1	1.2
	594	0	10	0	26	5
	100.0	0.0	1.7	0.0	4.4	0.8
	13	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《問 12(2)×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

母親が現在就労していない家庭では「幼稚園」、それ以外では「保育園（所）」の割合が最も高くなっています。

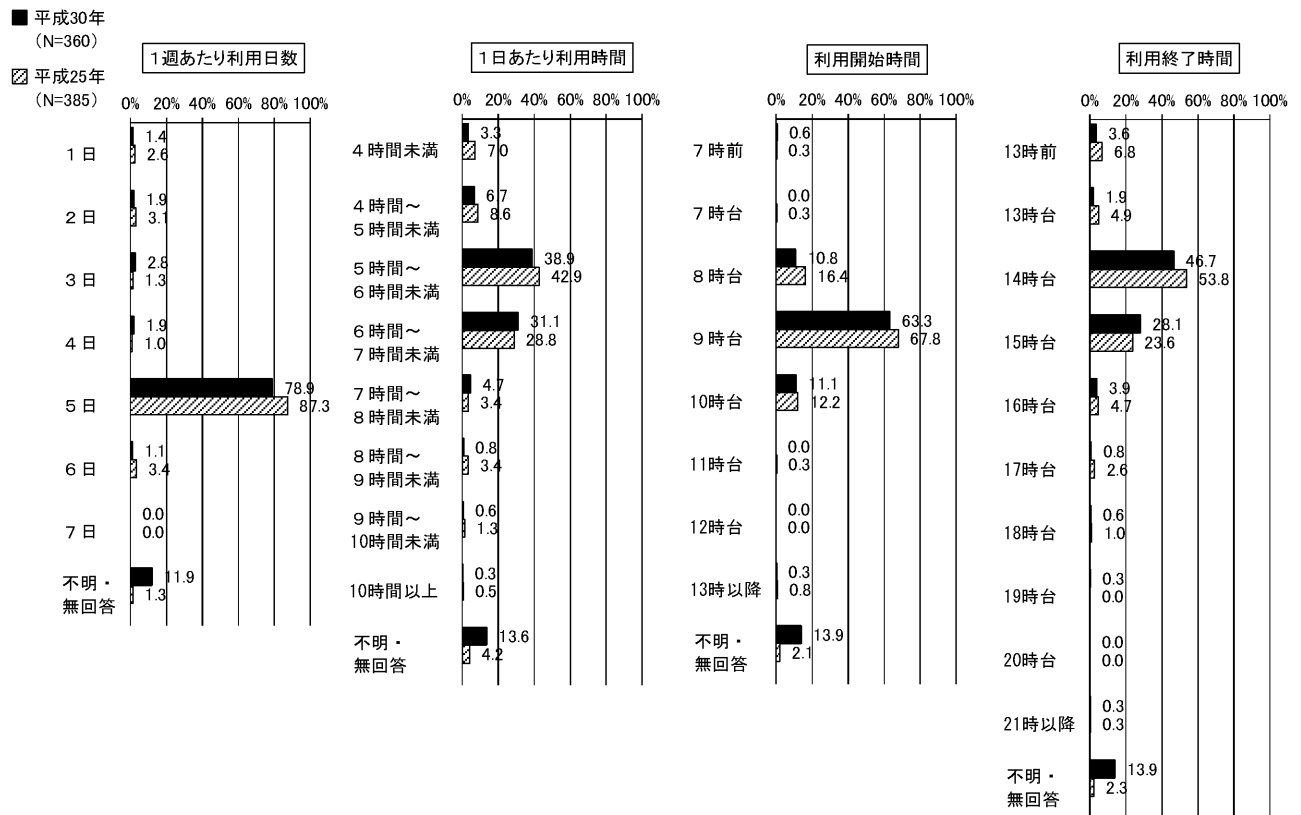
	2,325	466	54	335	239	1,139	71
	100.0	20.0	2.3	14.4	10.3	49.0	3.1
	2,154	450	49	321	219	1,036	66
	100.0	20.9	2.3	14.9	10.2	48.1	3.1
	3	1	0	0	0	2	0
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	30	5	0	4	3	16	2
	100.0	16.7	0.0	13.3	10.0	53.3	6.7
	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	16	2	0	1	1	9	1
	100.0	12.5	0.0	6.3	6.3	56.3	6.3
	827	18	18	18	93	623	30
	100.0	2.2	2.2	2.2	11.2	75.3	3.6
	106	6	0	3	19	73	3
	100.0	5.7	0.0	2.8	17.9	68.9	2.8
	733	96	27	129	97	355	30
	100.0	13.1	3.7	17.6	13.2	48.4	4.1
	50	8	0	6	7	28	1
	100.0	16.0	0.0	12.0	14.0	56.0	2.0
	602	338	8	178	22	57	7
	100.0	56.1	1.3	29.6	3.7	9.5	1.2

	2,325	23	43	6	37	30
	100.0	1.0	1.8	0.3	1.6	1.3
	2,154	21	41	5	35	22
	100.0	1.0	1.9	0.2	1.6	1.0
	3	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	16	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	827	14	20	3	2	12
	100.0	1.7	2.4	0.4	0.2	1.5
	106	0	2	0	0	0
	100.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0
	733	9	10	3	8	11
	100.0	1.2	1.4	0.4	1.1	1.5
	50	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	602	0	10	0	27	5
	100.0	0.0	1.7	0.0	4.5	0.8

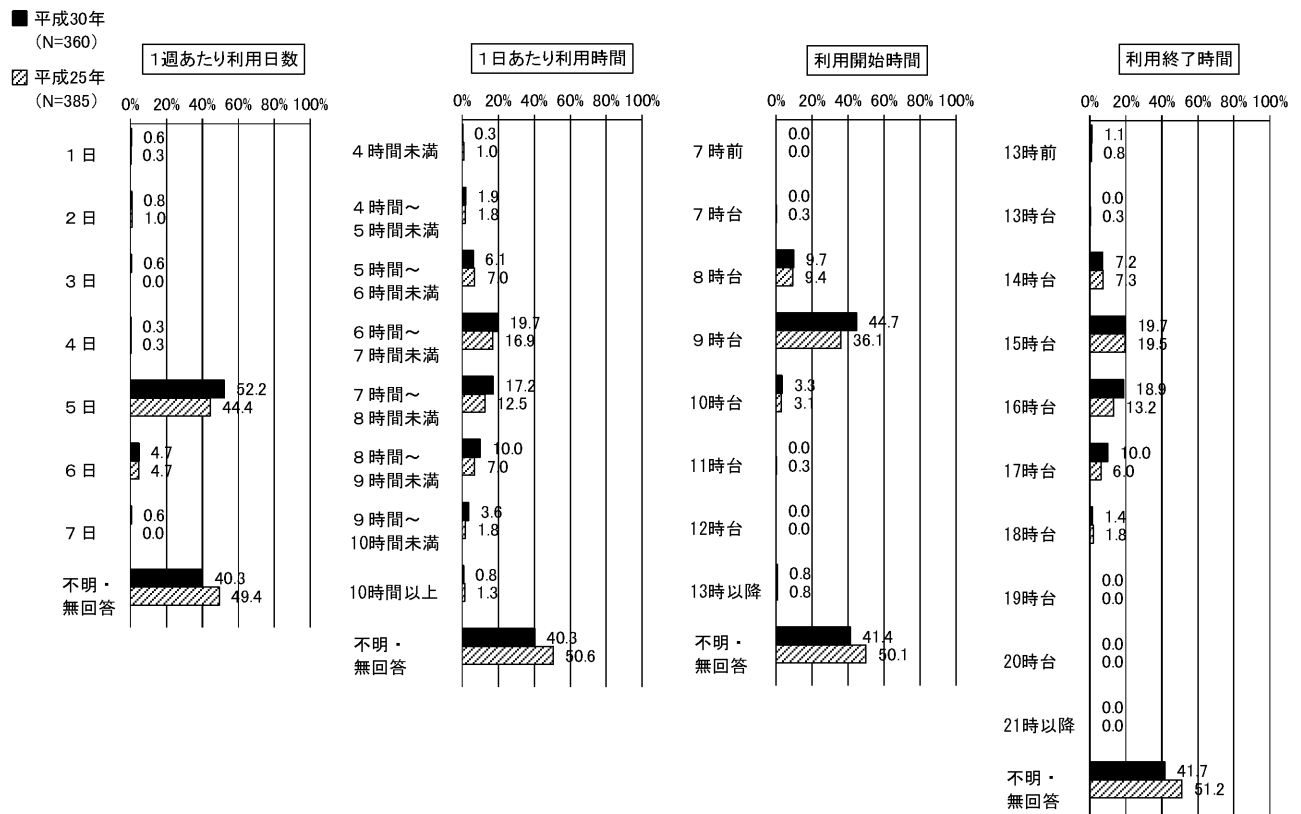
◆利用施設別「現在」と「希望」の利用日数・時間

1. 幼稚園

【現在】

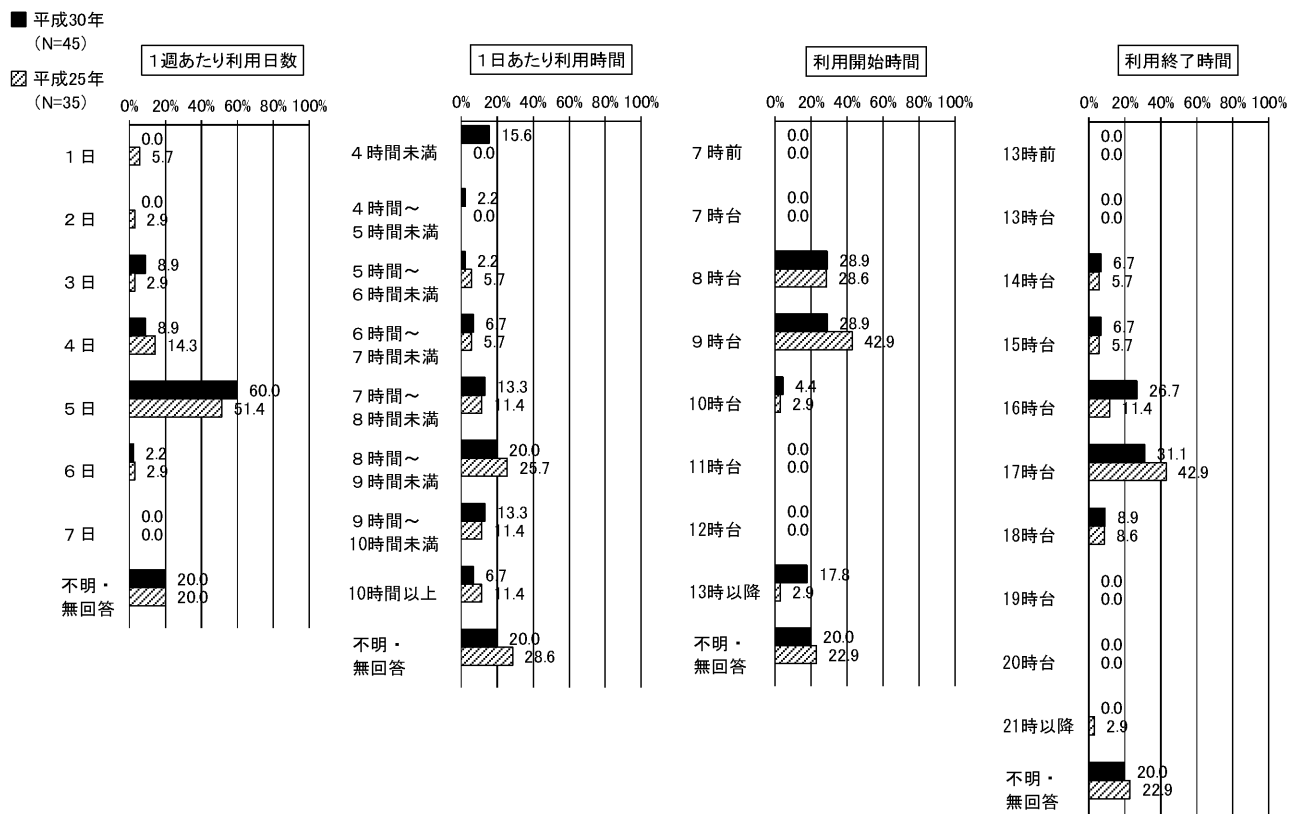


【希望】

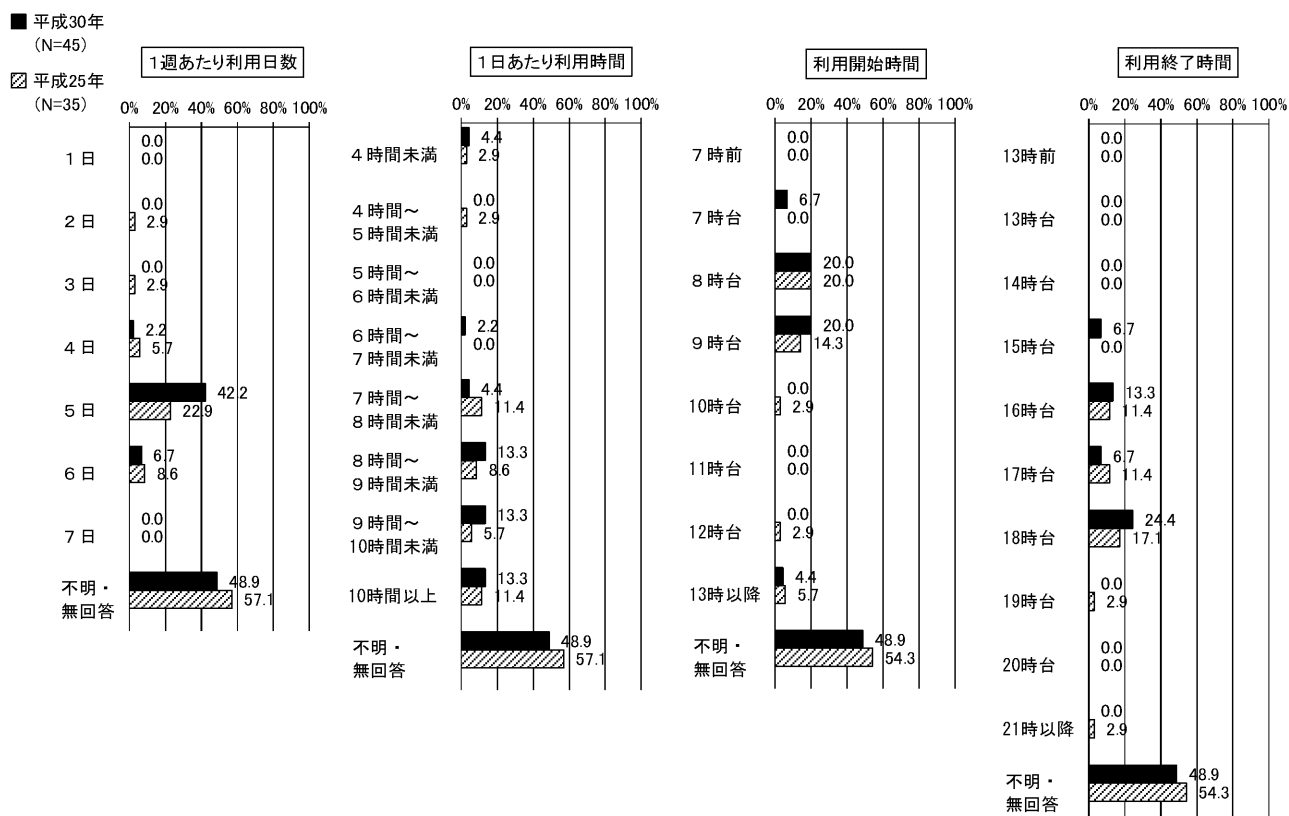


2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）

【現在】



【希望】

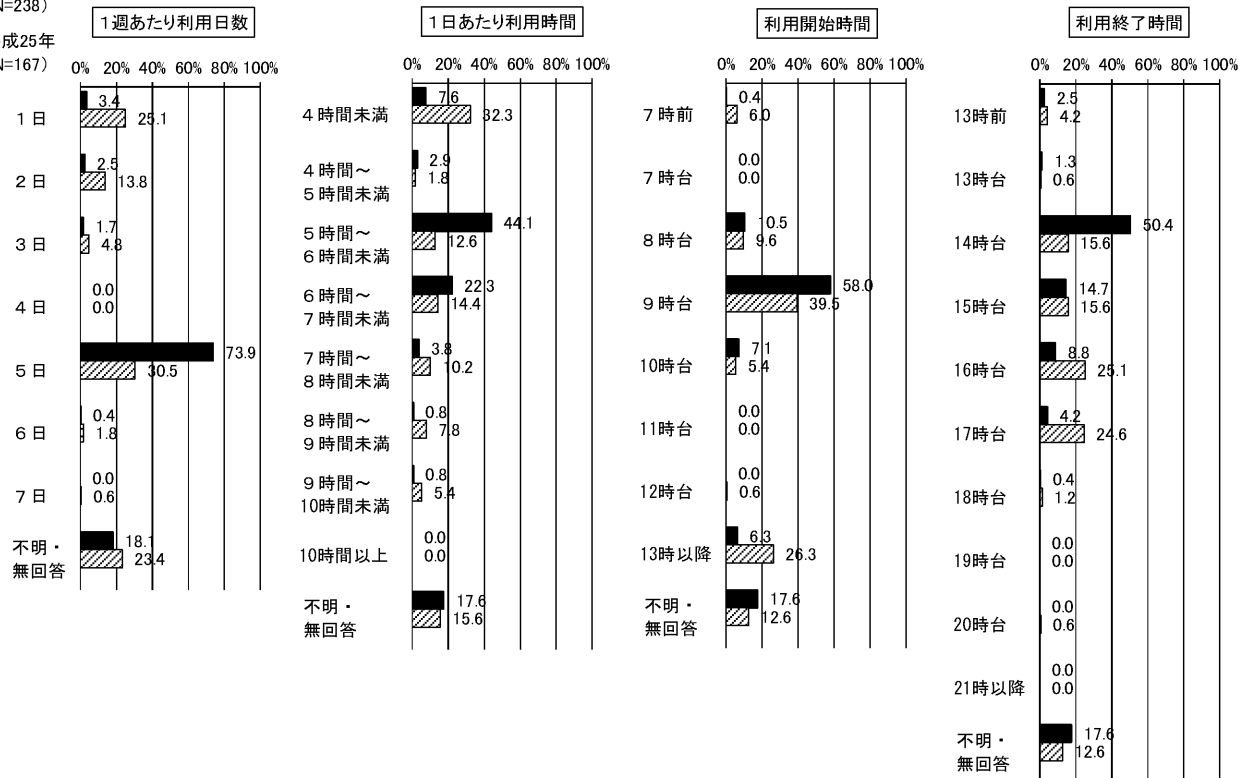


3. 幼稚園＋預かり保育(たまに利用)

【現在】

■ 平成30年
(N=238)

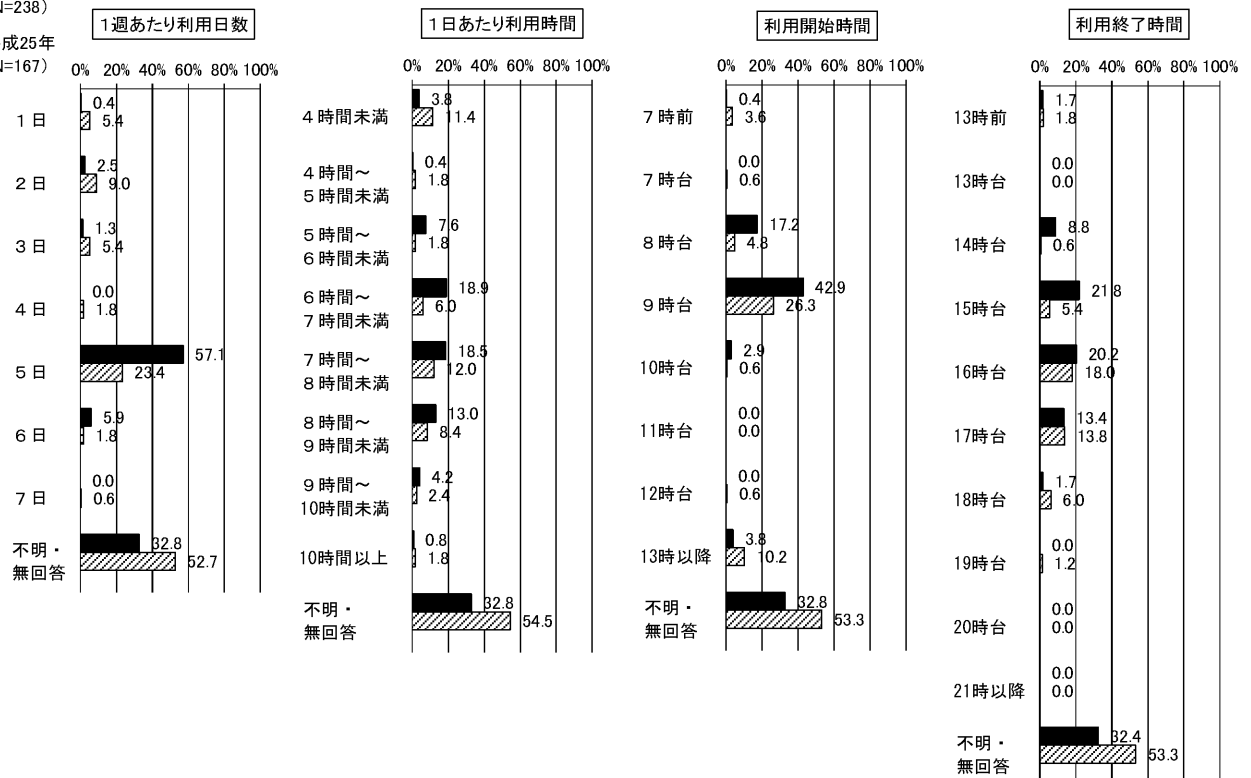
▨ 平成25年
(N=167)



【希望】

■ 平成30年
(N=238)

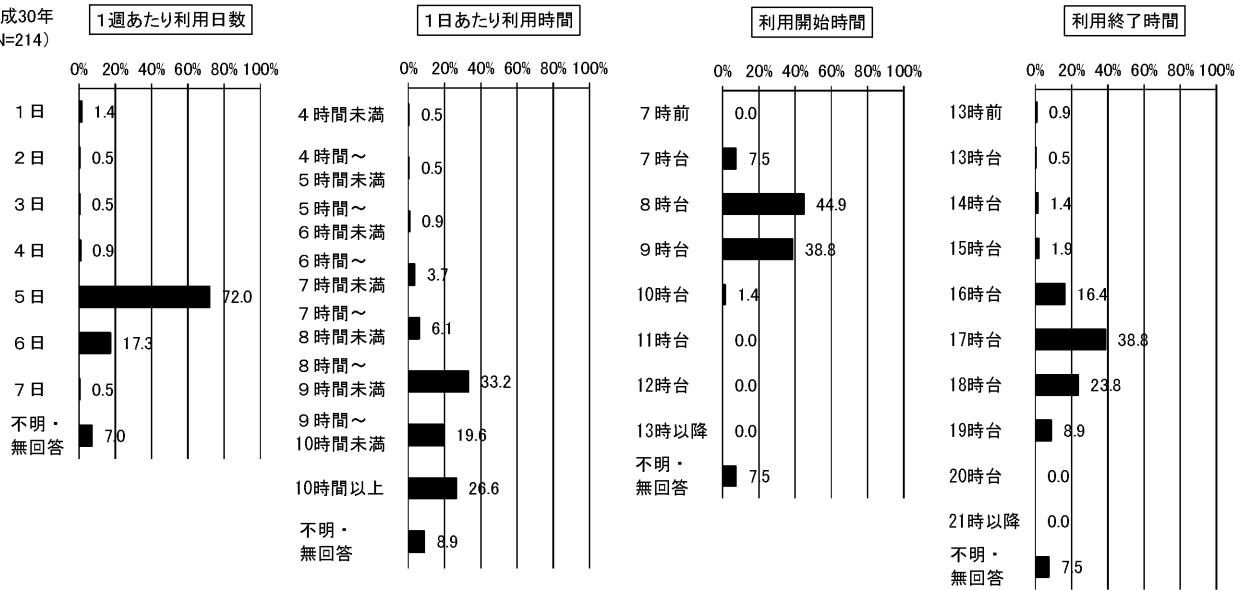
▨ 平成25年
(N=167)



4. 認定こども園

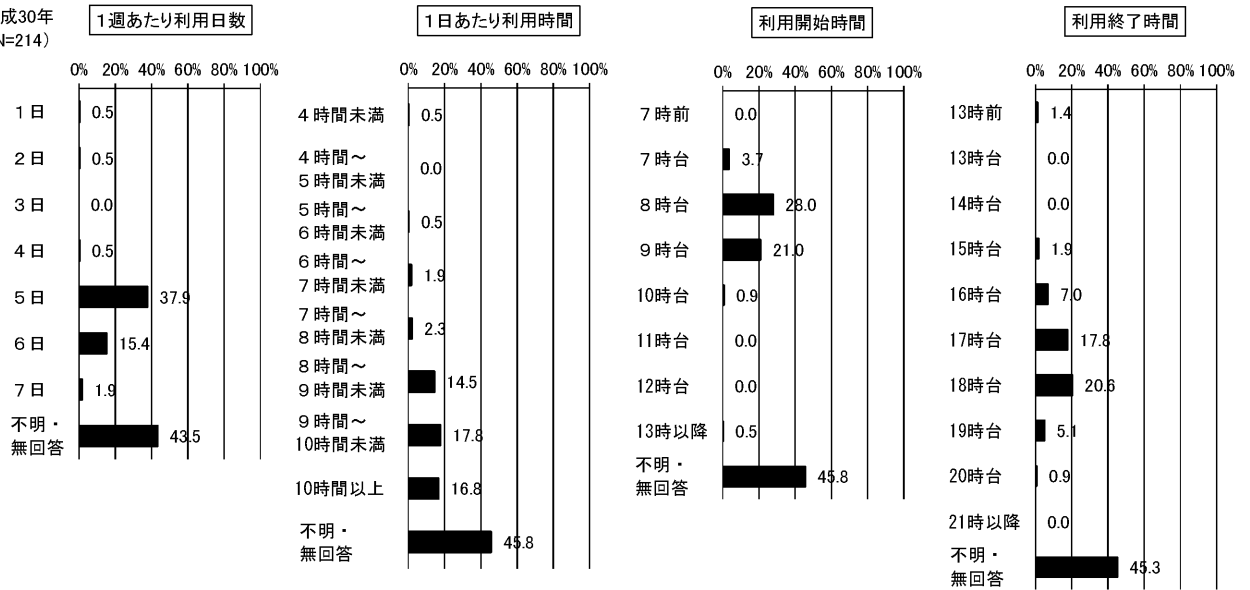
【現在】

平成30年
(N=214)



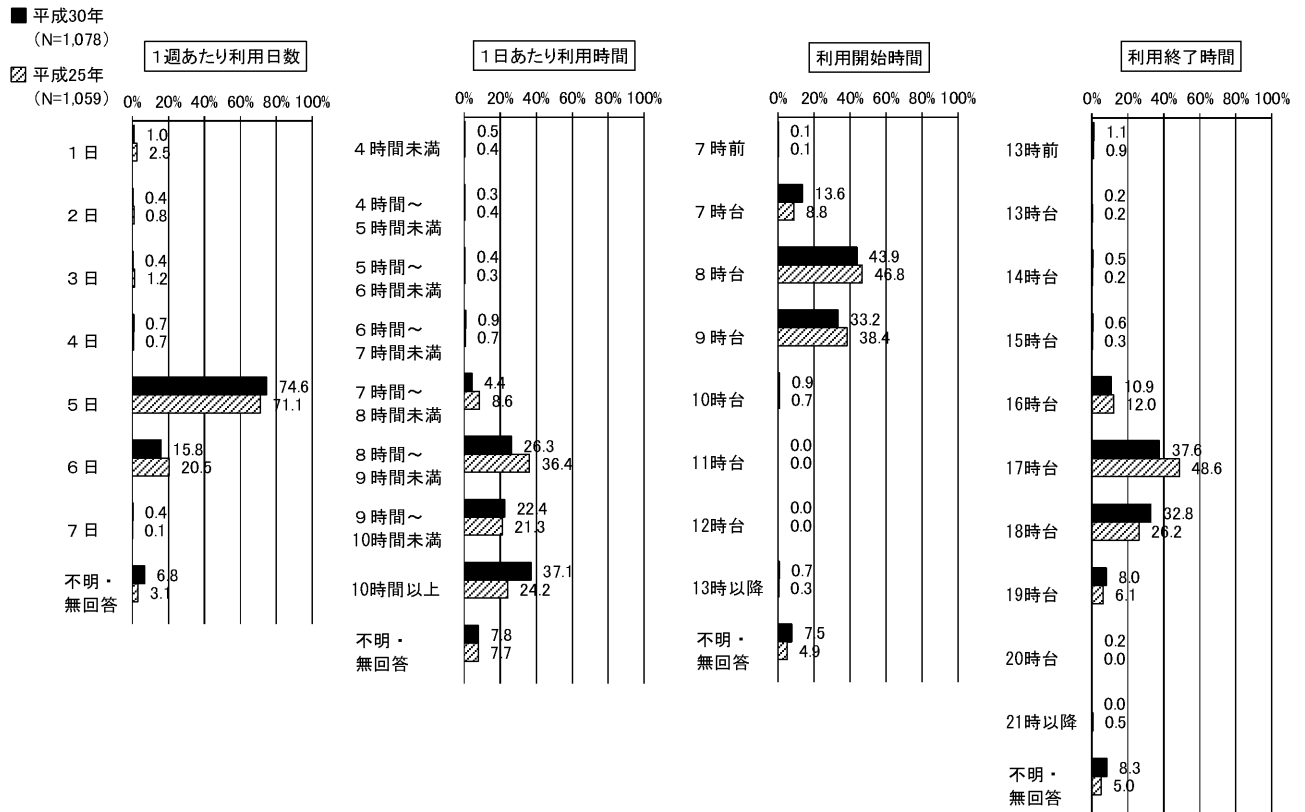
【希望】

平成30年
(N=214)

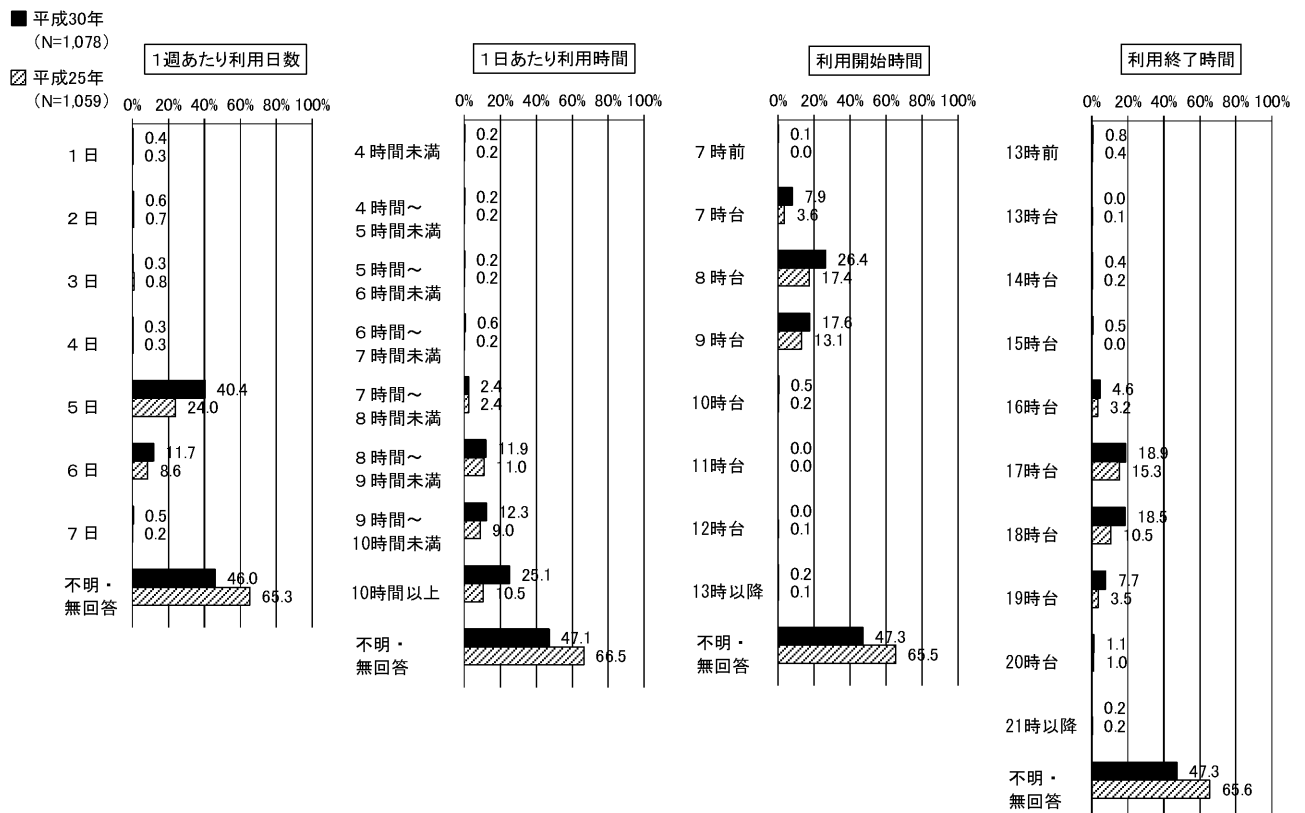


5. 保育園(所)

【現在】



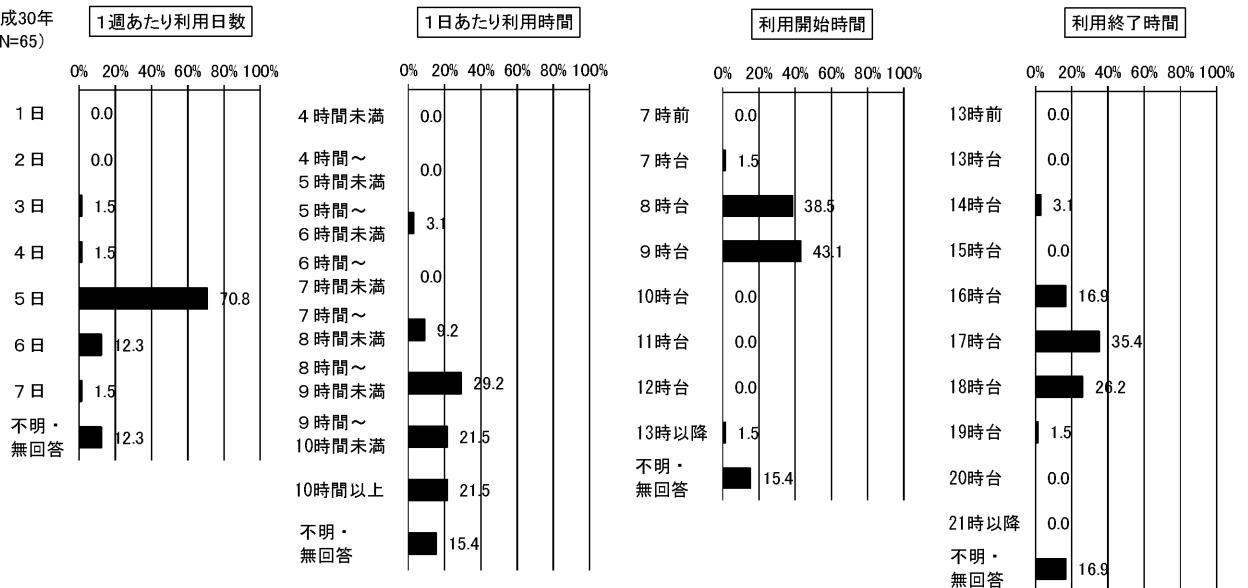
【希望】



6. 小規模(家庭的)保育事業所

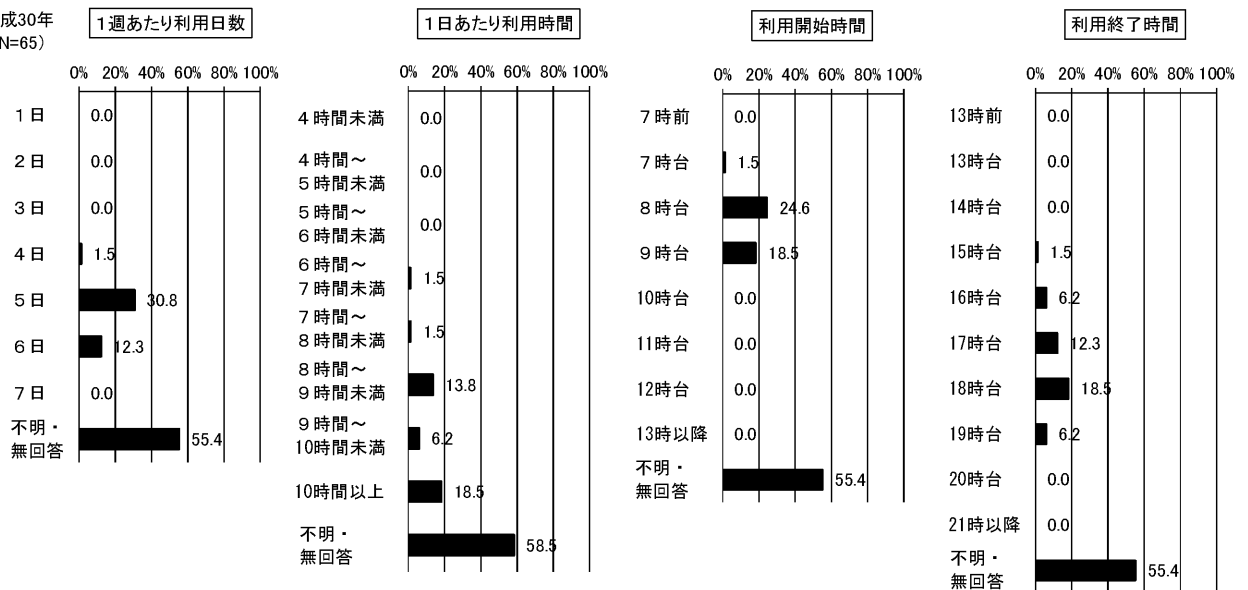
【現在】

平成30年
(N=65)



【希望】

平成30年
(N=65)

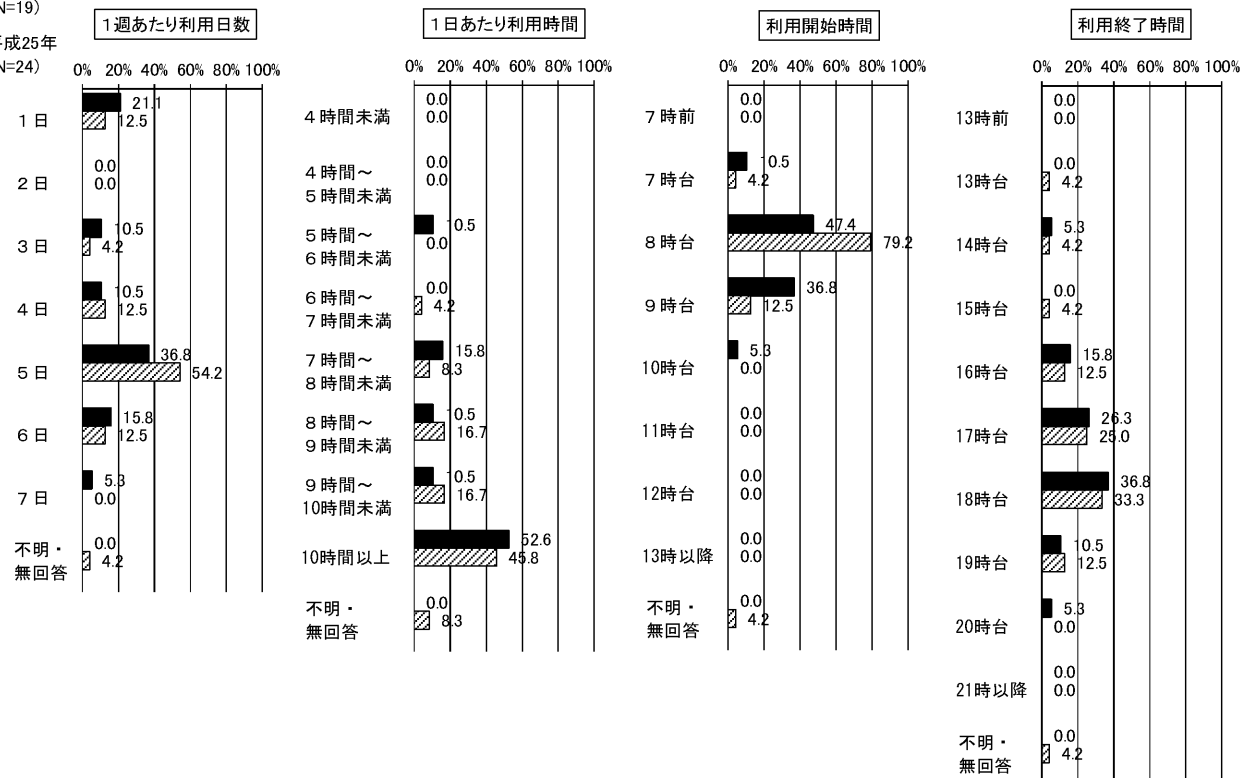


7. 事業所内保育施設

【現在】

■ 平成30年
(N=19)

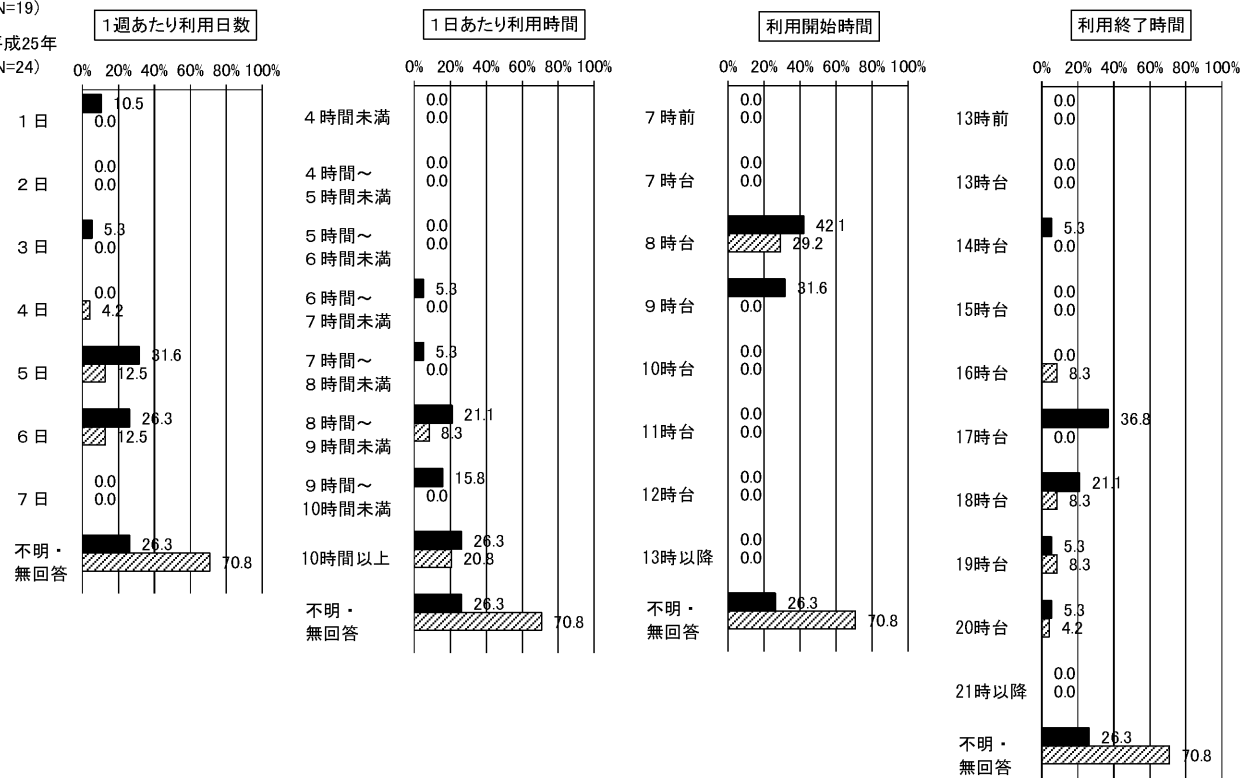
▨ 平成25年
(N=24)



【希望】

■ 平成30年
(N=19)

▨ 平成25年
(N=24)

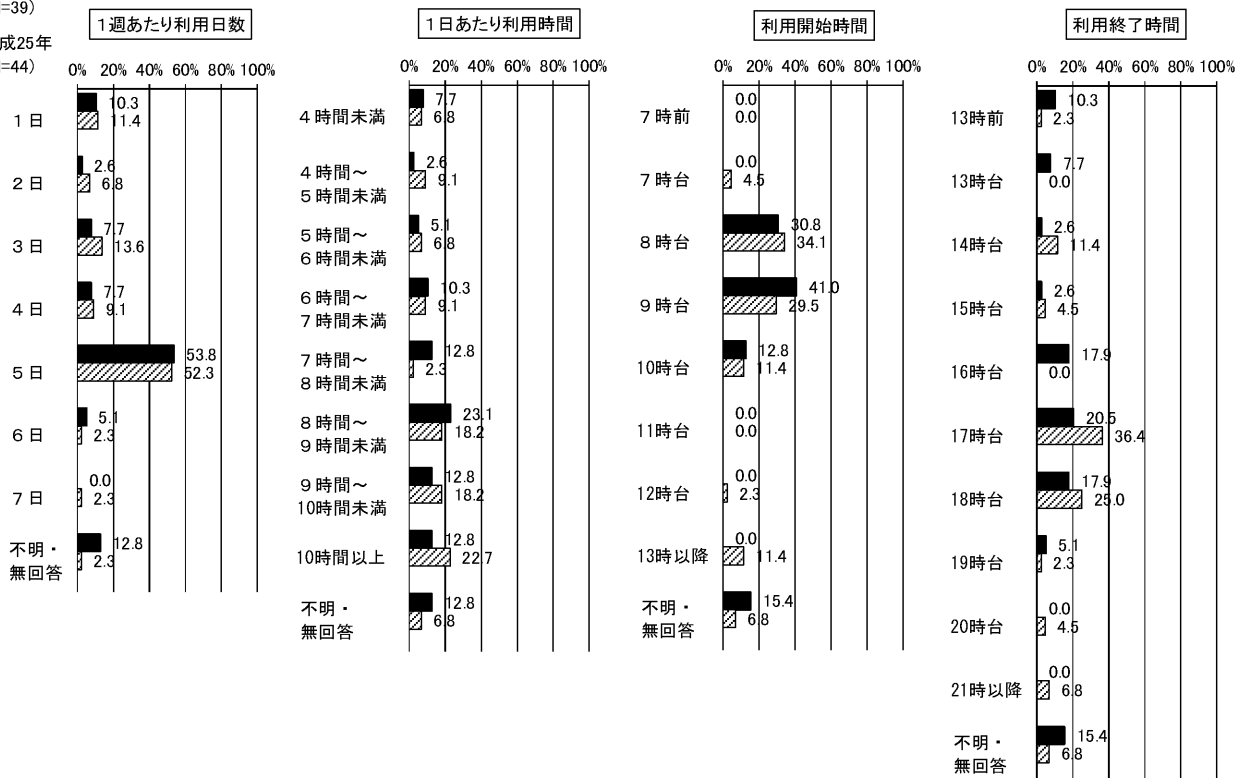


8. 認可外保育施設

【現在】

■ 平成30年
(N=39)

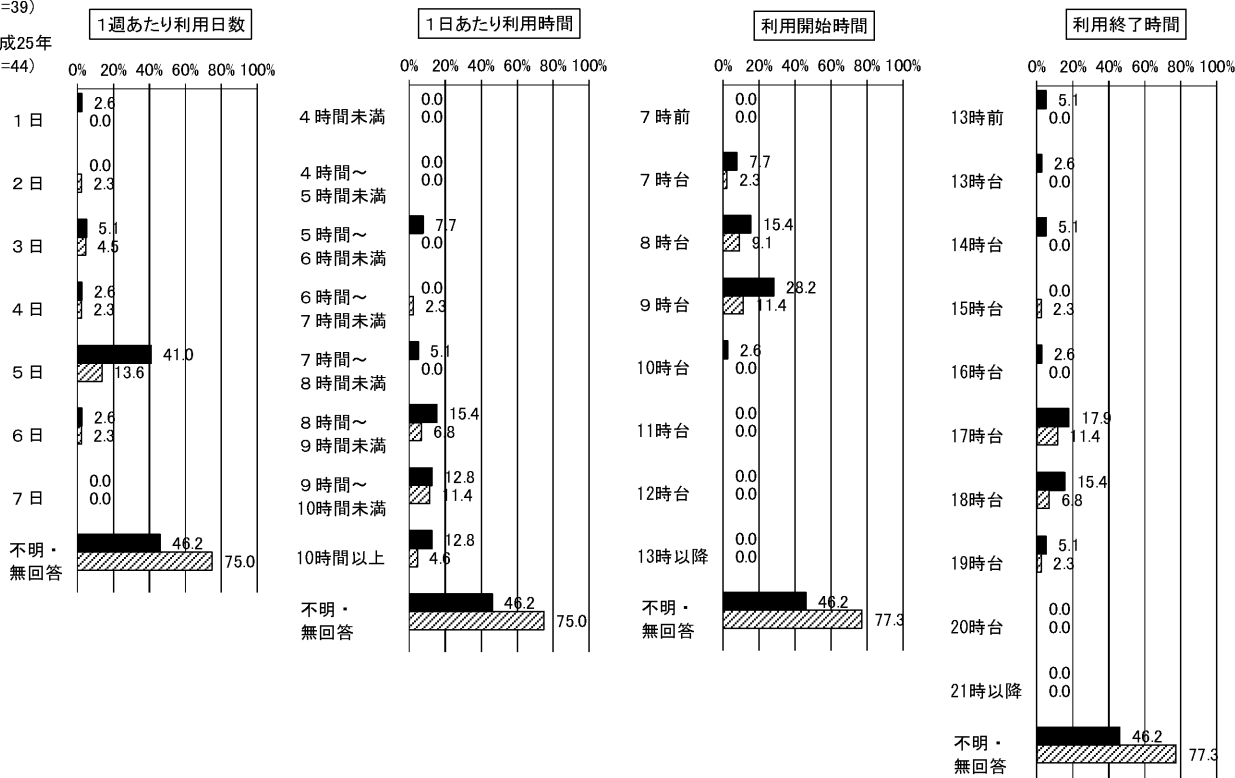
▨ 平成25年
(N=44)



【希望】

■ 平成30年
(N=39)

▨ 平成25年
(N=44)



9. ベビーシッター

【現在】

(N=4)

1週あたり利用日数

	件数
1日	2
2日	1
不明・無回答	1

1日あたり利用時間

	件数
4時間未満	3
不明・無回答	1

利用開始時間

	件数
8時台	1
10時台	1
13時以降	1
不明・無回答	1

利用終了時間

	件数
13時前	1
13時台	1
19時台	1
不明・無回答	1

【希望】

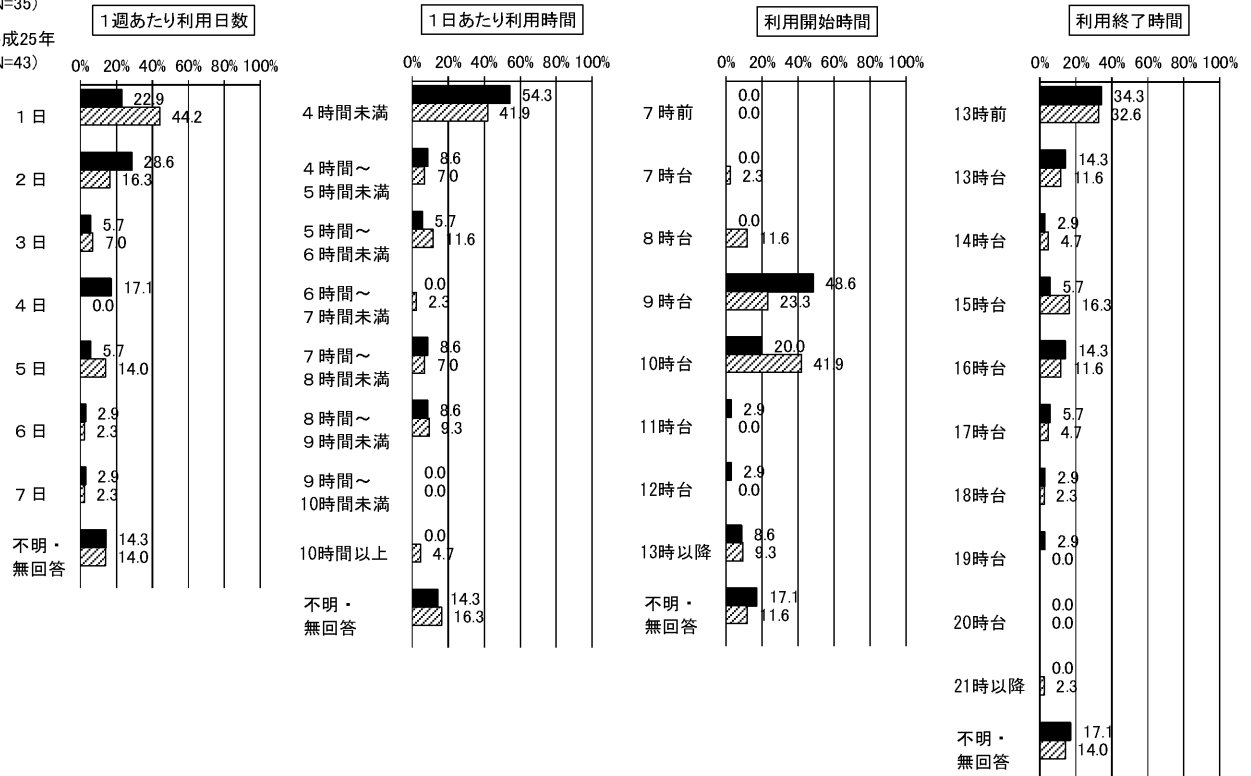
有効回答はありません。

10. その他

【現在】

■ 平成30年
(N=35)

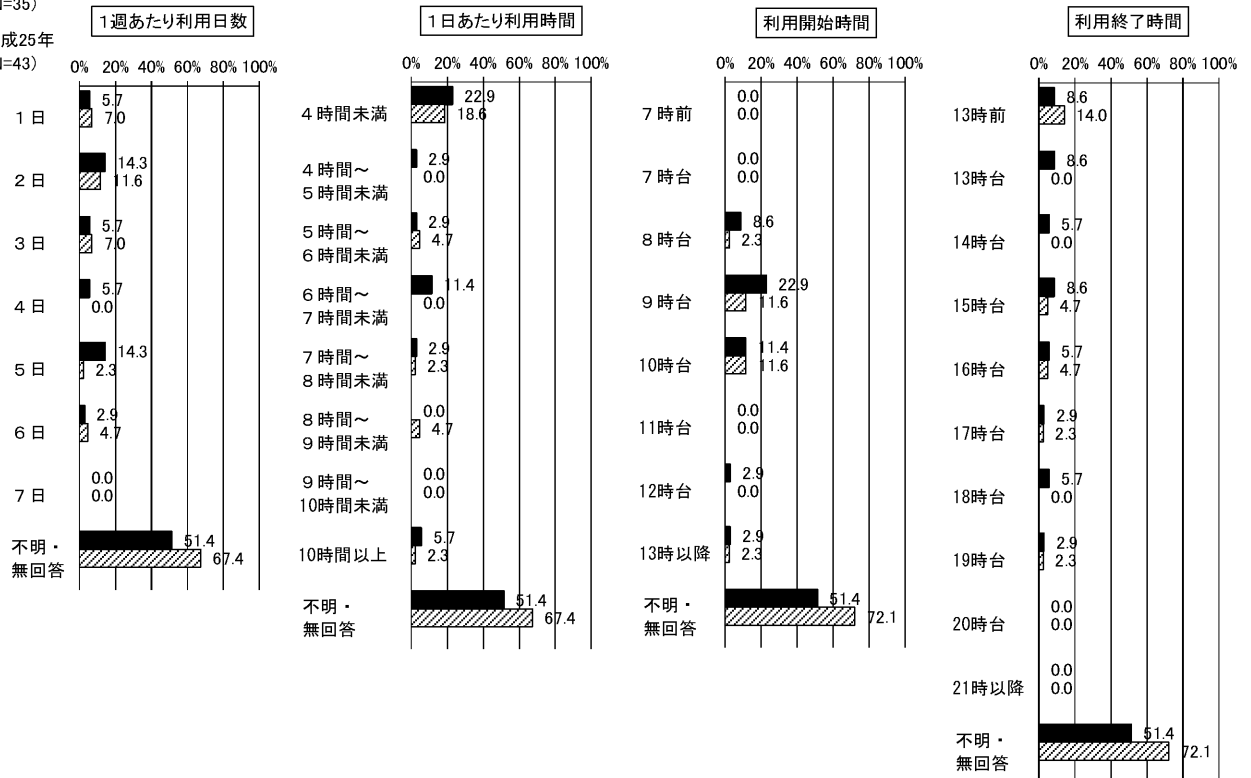
▨ 平成25年
(N=43)



【希望】

■ 平成30年
(N=35)

▨ 平成25年
(N=43)



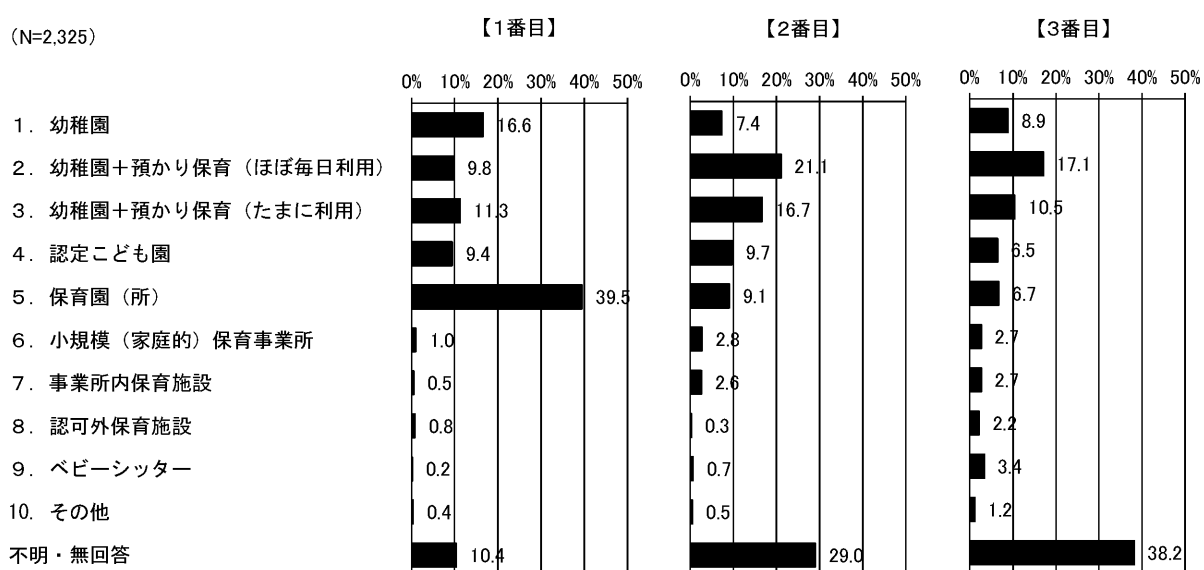
問 12(3) 「働き方改革」によって、あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、平日に定期的に利用したいと思う施設等について、下記の選択肢から番号を選んで利用したい順番に3つまでご記入ください。

1 番目は、「5. 保育園（所）」が 39.5%と最も高く、次いで「1. 幼稚園」が 16.6%、「3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」が 11.3%となっています。

2 番目は、「2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」が 21.1%と最も高く、次いで「3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」が 16.7%、「4. 認定こども園」が 9.7%となっています。

3 番目は、「2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」が 17.1%と最も高く、次いで「3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」が 10.5%、「1. 幼稚園」が 8.9%となっています。

(N=2,325)



《問 12(3)×家族類型別》

『専業主婦(夫)』では「幼稚園」、それ以外では「保育園(所)」の割合が最も高くなっています。

	2,325	386	228	263	219	919	23
	100.0	16.6	9.8	11.3	9.4	39.5	1.0
	106	7	7	7	14	53	0
	100.0	6.6	6.6	6.6	13.2	50.0	0.0
	852	44	71	30	92	504	14
	100.0	5.2	8.3	3.5	10.8	59.2	1.6
	740	106	61	91	84	279	7
	100.0	14.3	8.2	12.3	11.4	37.7	0.9
	594	228	85	131	24	71	2
	100.0	38.4	14.3	22.1	4.0	12.0	0.3
	13	1	1	2	3	6	0
	100.0	7.7	7.7	15.4	23.1	46.2	0.0
	1	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	2,325	11	19	5	10	242	
	100.0	0.5	0.8	0.2	0.4	10.4	
	106	1	0	1	1	15	
	100.0	0.9	0.0	0.9	0.9	14.2	
	852	7	7	1	4	78	
	100.0	0.8	0.8	0.1	0.5	9.2	
	740	1	6	0	2	103	
	100.0	0.1	0.8	0.0	0.3	13.9	
	594	2	4	3	3	41	
	100.0	0.3	0.7	0.5	0.5	6.9	
	13	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

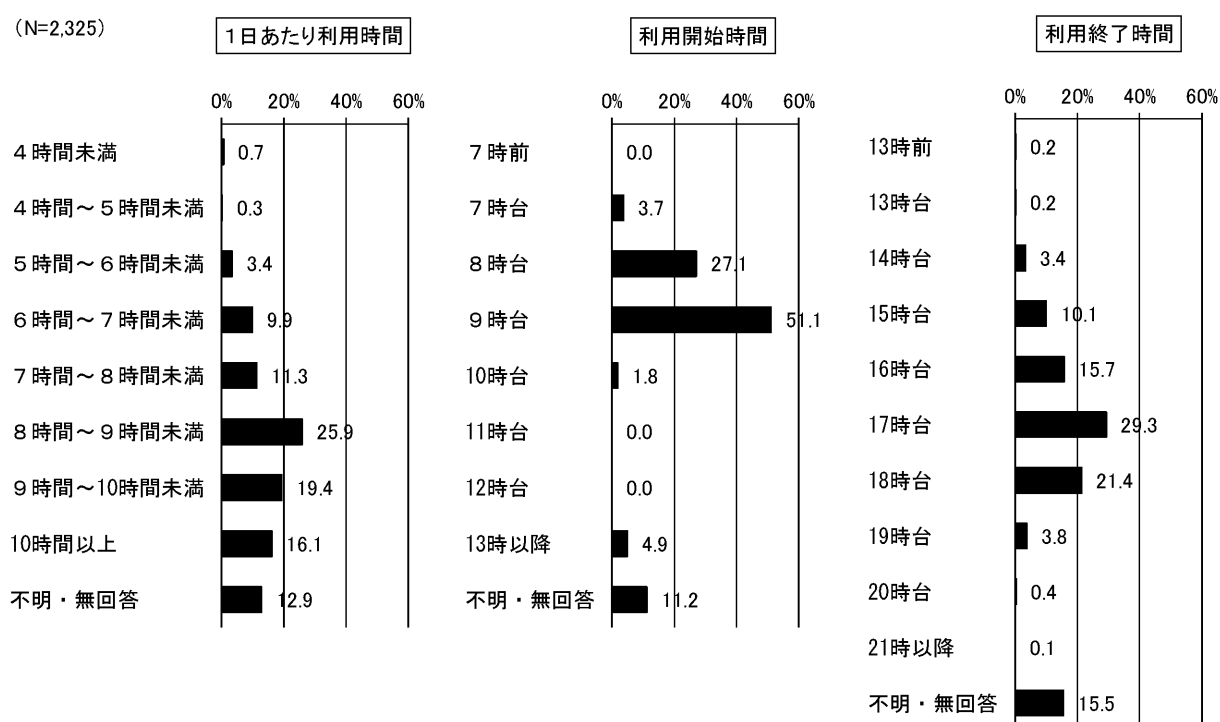
問 12(4) 「働き方改革」によって、あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、幼稚園・保育施設等をどのくらいの時間利用したいですか。平日に定期的に利用する場合の希望利用時間等をお答えください。(「9時～18時」のように24時間制で記入)

1日あたりの利用時間は、「8時間～9時間未満」が25.9%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」が19.4%、「10時間以上」が16.1%となっています。

利用開始時間は、「9時台」が51.1%と最も高く、次いで「8時台」が27.1%、「13時以降」が4.9%となっています。

利用終了時間は、「17時台」が29.3%と最も高く、次いで「18時台」が21.4%、「16時台」が15.7%となっています。

(N=2,325)



《問 12(4)×家族類型別》

1日あたりの利用時間について、『ひとり親』では「8時間～9時間未満」「10時間以上」、『両親ともパート』では「9時間～10時間未満」、それ以外では「8時間～9時間未満」の割合が最も高くなっています。

利用開始時間について、すべての区分で「9時台」の割合が最も高くなっています。

利用終了時間について、すべての区分で「17時台」の割合が最も高くなっています。

1日あたり利用時間

	2,325	16	8	78	231	263	603	451	374	301
	100.0	0.7	0.3	3.4	9.9	11.3	25.9	19.4	16.1	12.9
	106	0	1	0	6	10	26	19	26	18
	100.0	0.0	0.9	0.0	5.7	9.4	24.5	17.9	24.5	17.0
	852	6	0	8	45	58	232	184	225	94
	100.0	0.7	0.0	0.9	5.3	6.8	27.2	21.6	26.4	11.0
	740	4	3	19	71	87	197	153	90	116
	100.0	0.5	0.4	2.6	9.6	11.8	26.6	20.7	12.2	15.7
	594	6	4	51	107	106	139	86	30	65
	100.0	1.0	0.7	8.6	18.0	17.8	23.4	14.5	5.1	10.9
	13	0	0	0	1	1	5	6	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	38.5	46.2	0.0	0.0
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

利用開始時間

	2,325	1	87	631	1,188	41	1	1	114	261
	100.0	0.0	3.7	27.1	51.1	1.8	0.0	0.0	4.9	11.2
	106	0	7	29	47	3	0	0	3	17
	100.0	0.0	6.6	27.4	44.3	2.8	0.0	0.0	2.8	16.0
	852	0	60	299	363	12	0	0	36	82
	100.0	0.0	7.0	35.1	42.6	1.4	0.0	0.0	4.2	9.6
	740	0	16	195	378	9	1	0	44	97
	100.0	0.0	2.2	26.4	51.1	1.2	0.1	0.0	5.9	13.1
	594	1	3	105	381	17	0	1	28	58
	100.0	0.2	0.5	17.7	64.1	2.9	0.0	0.2	4.7	9.8
	13	0	0	0	11	0	0	0	2	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	84.6	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

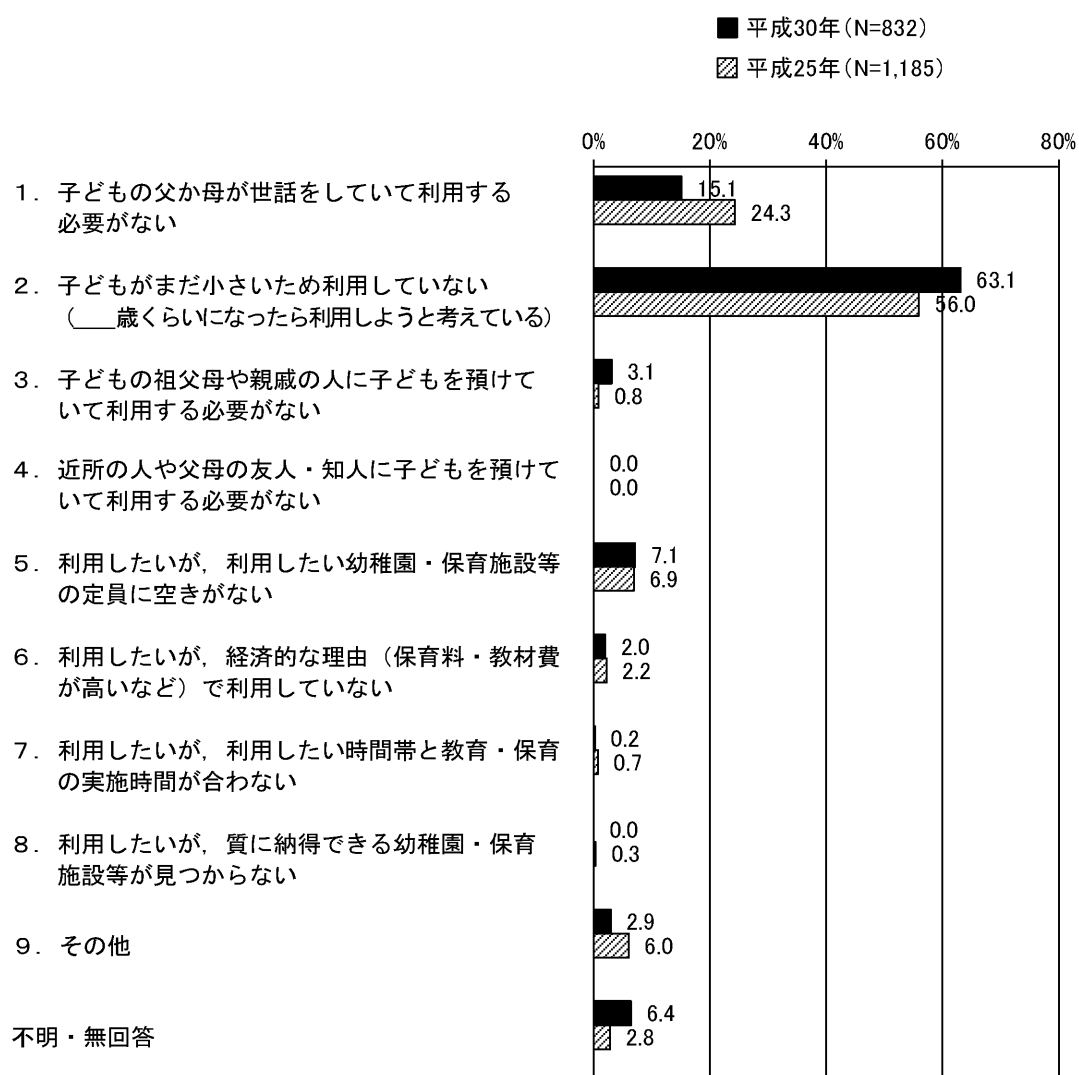
利用終了時間

	2,325	4	4	80	234	364	682	498	88	9	2	360
	100.0	0.2	0.2	3.4	10.1	15.7	29.3	21.4	3.8	0.4	0.1	15.5
	106	0	0	2	5	12	28	27	13	0	0	19
	100.0	0.0	0.0	1.9	4.7	11.3	26.4	25.5	12.3	0.0	0.0	17.9
	852	2	0	8	40	98	287	239	54	8	1	115
	100.0	0.2	0.0	0.9	4.7	11.5	33.7	28.1	6.3	0.9	0.1	13.5
	740	1	2	23	69	123	219	151	16	1	0	135
	100.0	0.1	0.3	3.1	9.3	16.6	29.6	20.4	2.2	0.1	0.0	18.2
	594	1	2	47	118	129	139	72	4	0	1	81
	100.0	0.2	0.3	7.9	19.9	21.7	23.4	12.1	0.7	0.0	0.2	13.6
	13	0	0	0	1	1	6	3	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	46.2	23.1	0.0	0.0	0.0	15.4
	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 12(5) 幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由は何ですか（「2」と答えた方は子どもの年齢もご記入ください）。(〇は1つ)

「2. 子どもがまだ小さいため利用していない（__歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 63.1%と最も高く、次いで「1. 子どもの父か母が世話をしている必要がない」が 15.1%、「5. 利用したいが、利用したい幼稚園・保育施設等の定員に空きがない」が 7.1%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 子どもの父か母が世話をしている必要がない」が 9.2 ポイント低く、「2. 子どもがまだ小さいため利用していない（__歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 7.1 ポイント高くなっています。



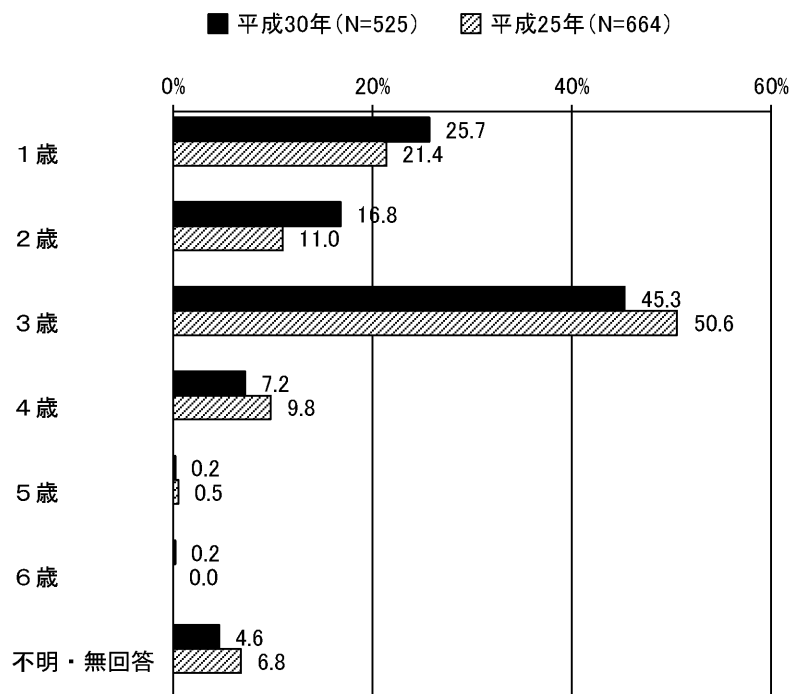
《問 12(5)×問 1 子どもの年齢別》

0～3歳では「子どもがまだ小さいため利用していない（____歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が最も高くなっています。

832	126	525	26	0	59	17	2	0	24	53
100.0	15.1	63.1	3.1	0.0	7.1	2.0	0.2	0.0	2.9	6.4
359	34	254	7	0	27	4	0	0	13	20
100.0	9.5	70.8	1.9	0.0	7.5	1.1	0.0	0.0	3.6	5.6
247	52	139	10	0	22	4	0	0	5	15
100.0	21.1	56.3	4.0	0.0	8.9	1.6	0.0	0.0	2.0	6.1
155	28	90	8	0	9	8	0	0	3	9
100.0	18.1	58.1	5.2	0.0	5.8	5.2	0.0	0.0	1.9	5.8
47	8	32	0	0	1	1	0	0	0	5
100.0	17.0	68.1	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	10.6
5	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2
100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
8	3	1	1	0	0	0	1	0	1	1
100.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5

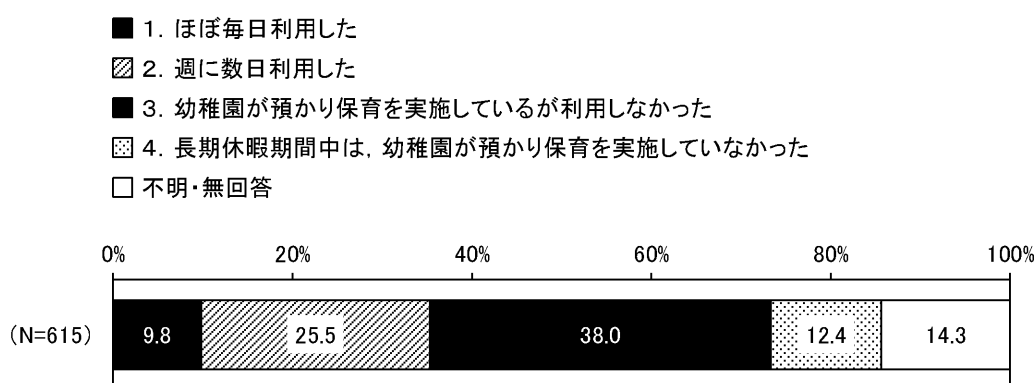
「3歳」が45.3%と最も高く、次いで「1歳」が25.7%、「2歳」が16.8%となっています。平成25年と比較すると、「2歳」が5.8ポイント高く、「3歳」が5.3ポイント低くなっています。

◆(「2」の場合)子どもの年齢



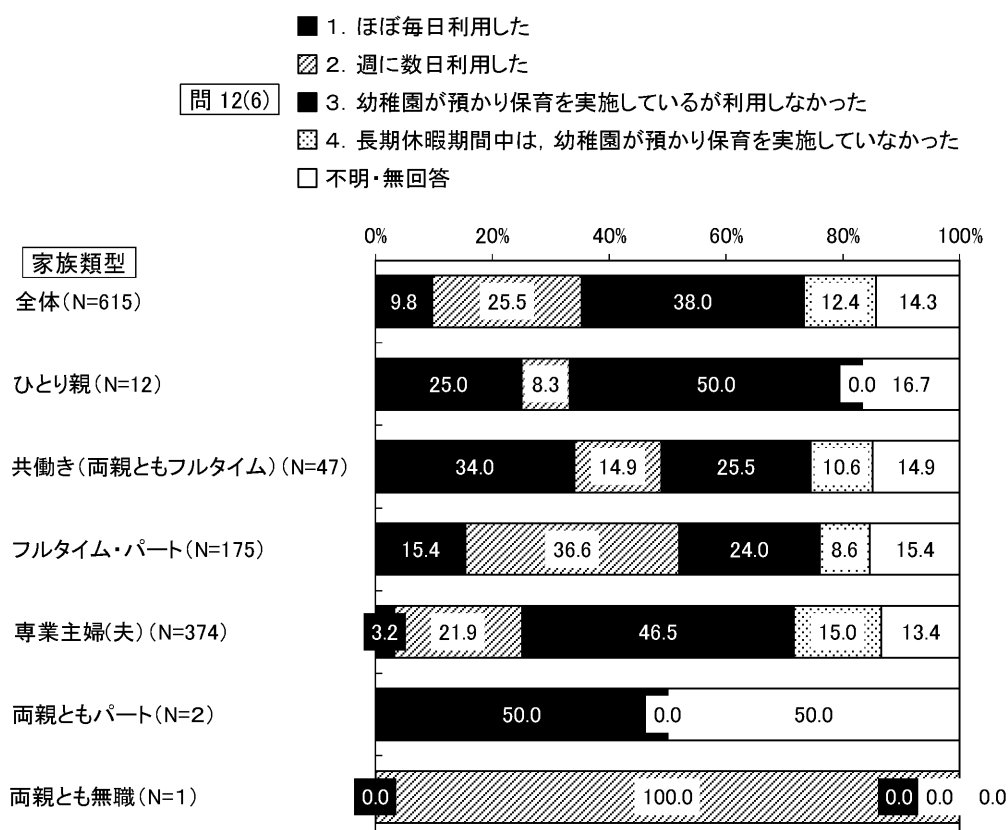
問 12(6) 直近の夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中において、幼稚園の預かり保育を利用されましたか。(〇は1つ)

「3. 幼稚園が預かり保育を実施しているが利用しなかった」が 38.0%と最も高く、次いで「2. 週に数日利用した」が 25.5%、「4. 長期休暇期間中は、幼稚園が預かり保育を実施していなかった」が 12.4%となっています。



《問 12(6)×家族類型別》

『ひとり親』『専業主婦(夫)』では「3. 幼稚園が預かり保育を実施しているが利用しなかった」、『共働き(両親ともフルタイム)』では「1. ほぼ毎日利用した」、『フルタイム・パート』では「2. 週に数日利用した」の割合が最も高くなっています。



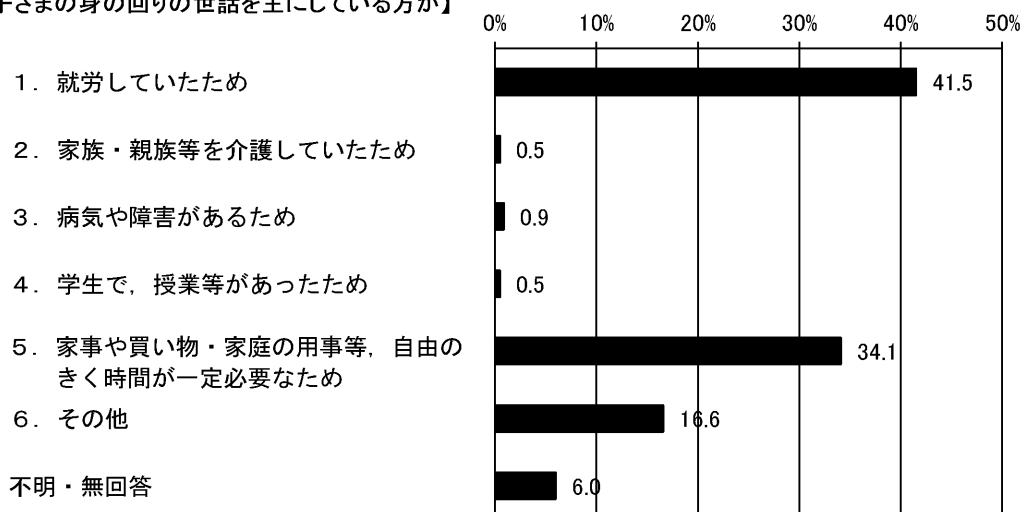
問 12(7) 夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中にお子さまを預けた主な理由は何ですか。

(〇は1つ)

「1. 就労していたため」が 41.5%と最も高く、次いで「5. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため」が 34.1%となっています。

(N=217)

【お子さまの身の回りの世話を主にしている方が】



問 12(8) 長期休暇期間中の預かり保育について、「現在」と「希望」の利用時間をお答えください。(「9時～18時」のように24時間制で記入)

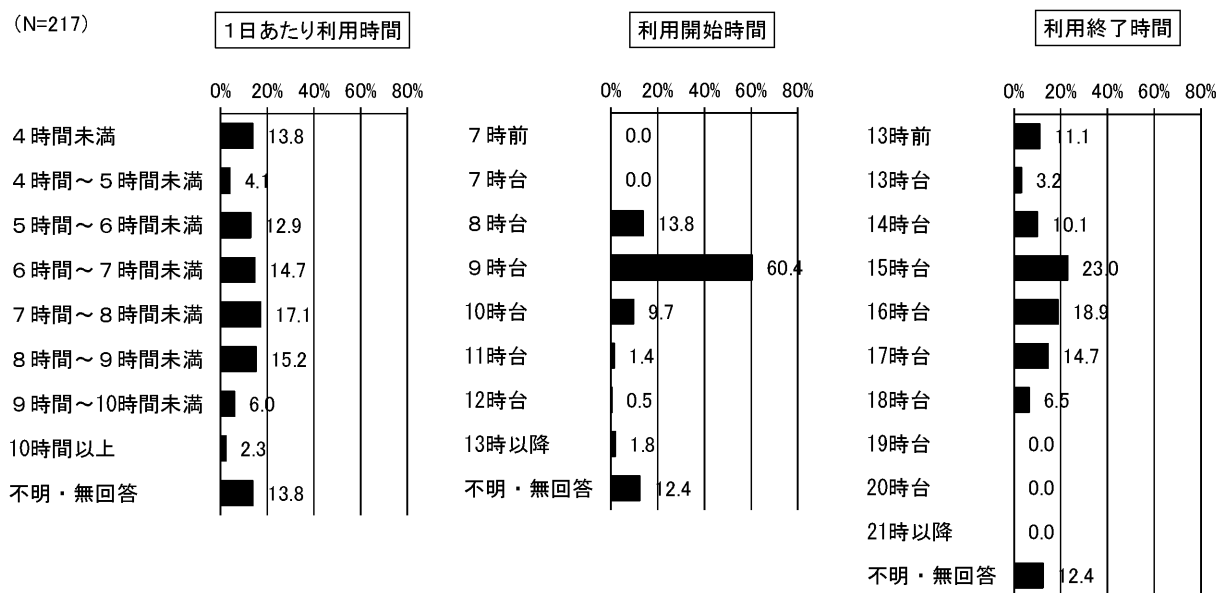
1日あたりの利用時間は、①現在、②希望ともに「7時間～8時間未満」がそれぞれ17.1%、19.4%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」がそれぞれ15.2%、18.0%となっています。

利用開始時間は、①現在、②希望ともに「9時台」がそれぞれ60.4%、51.2%と最も高く、次いで「8時台」がそれぞれ13.8%、17.1%となっています。

利用終了時間は、①現在では「15時台」が23.0%と最も高く、次いで「16時台」が18.9%となっています。②希望では「16時台」が21.7%と最も高く、次いで「17時台」が20.7%となっています。

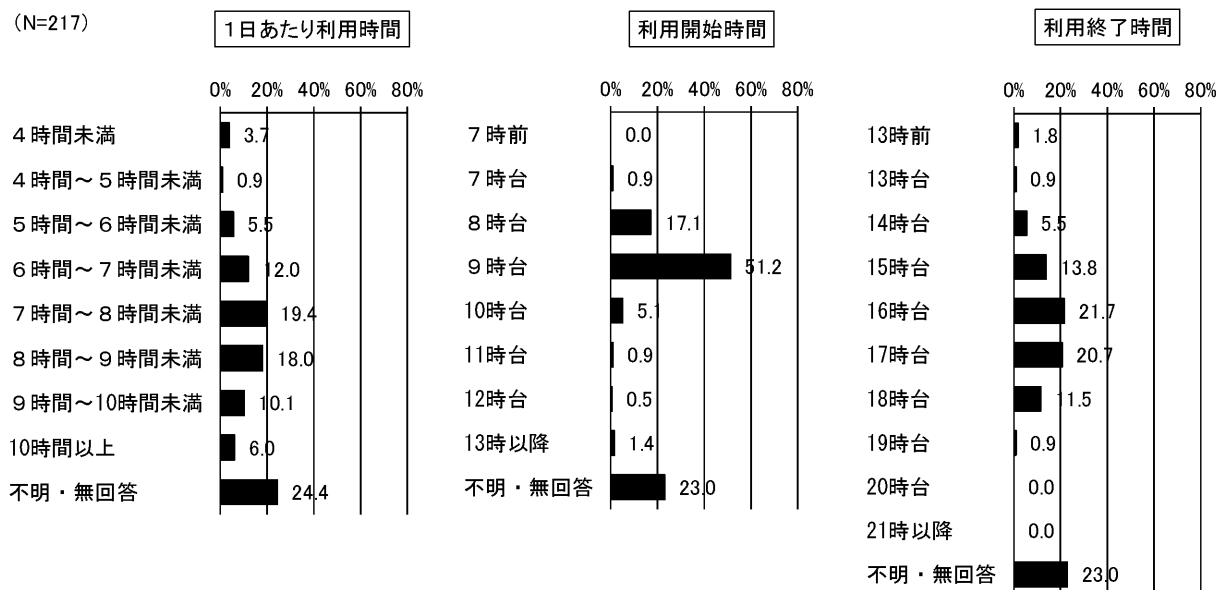
①現在

(N=217)



②希望

(N=217)



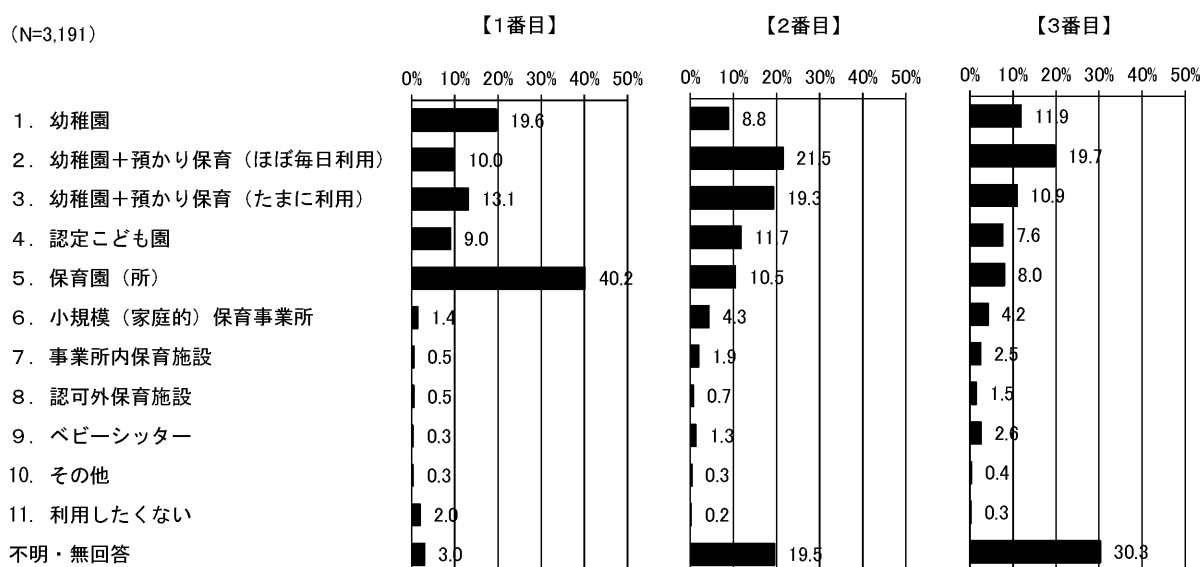
問 13(1) 宛名のお子さまについて、以下の施設・保育施設等を平日に定期的に利用したいですか。現在、利用している、利用していないにかかわらず、下記の選択肢から番号を選んで利用したい順番に3つまでご記入ください。

1番目は、「5. 保育園（所）」が40.2%と最も高く、次いで「1. 幼稚園」が19.6%、「3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」が13.1%となっています。

2番目は、「2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」が21.5%と最も高く、次いで「3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」が19.3%、「4. 認定こども園」が11.7%となっています。

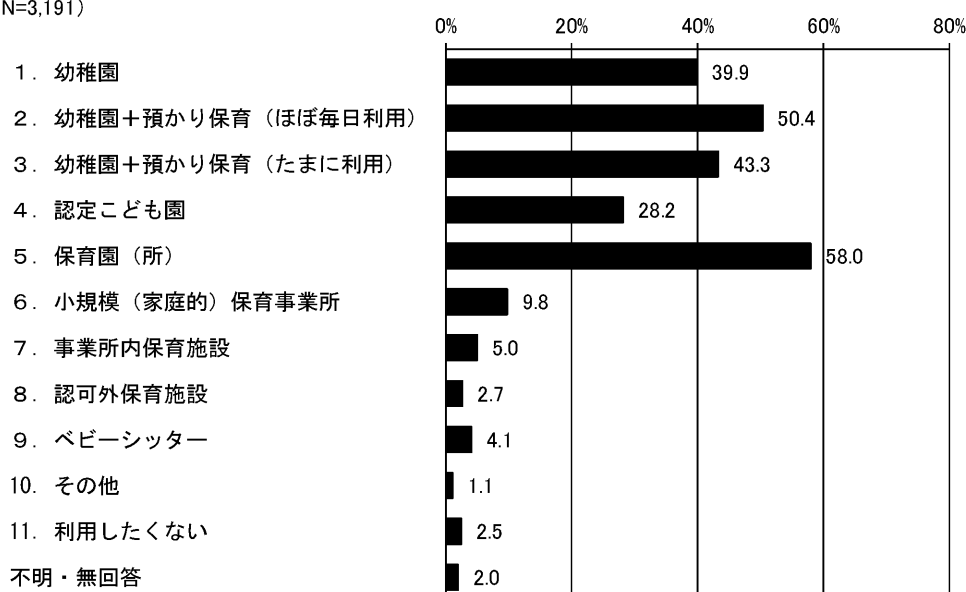
3番目は、「2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」が19.7%と最も高く、次いで「1. 幼稚園」が11.9%、「3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」が10.9%となっています。

(N=3,191)

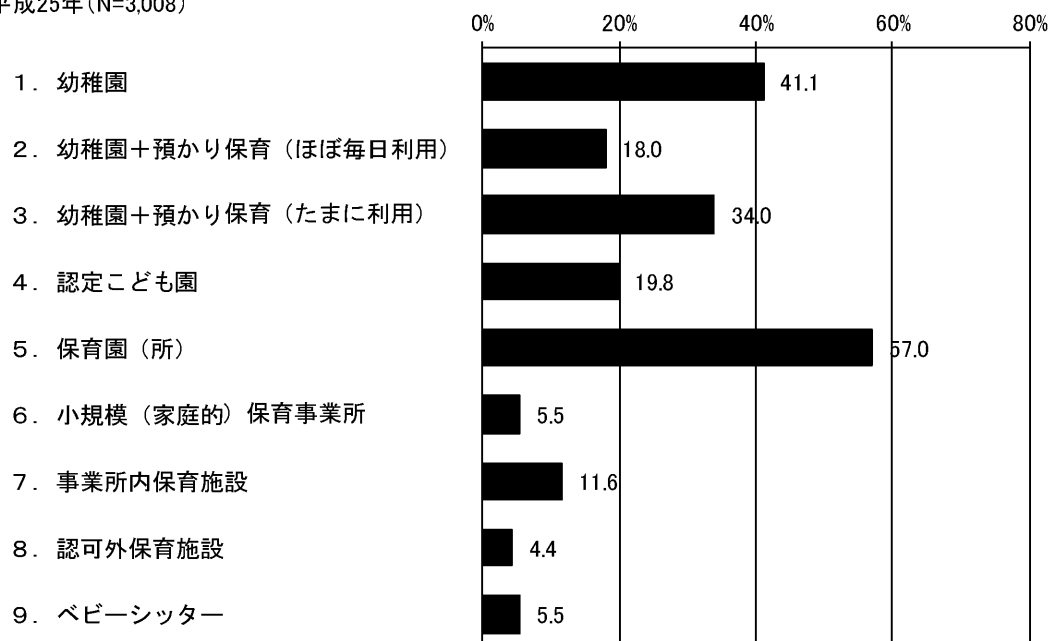


【1番目, 2番目, 3番目の合計】

(N=3,191)



平成25年(N=3,008)



《問 13(1)×問 1 子どもの年齢別》

0～2歳では「保育園（所）」、3～5歳では「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」の割合が最も高くなっています。

【1番目、2番目、3番目の合計】

	3,191	1,272	1,609	1,381	901	1,852	314
	100.0	39.9	50.4	43.3	28.2	58.0	9.8
	434	137	159	132	150	313	94
	100.0	31.6	36.6	30.4	34.6	72.1	21.7
	516	196	202	189	153	326	71
	100.0	38.0	39.1	36.6	29.7	63.2	13.8
	519	201	270	226	155	314	46
	100.0	38.7	52.0	43.5	29.9	60.5	8.9
	479	213	278	239	123	246	24
	100.0	44.5	58.0	49.9	25.7	51.4	5.0
	497	205	279	238	139	269	31
	100.0	41.2	56.1	47.9	28.0	54.1	6.2
	694	301	401	341	164	353	42
	100.0	43.4	57.8	49.1	23.6	50.9	6.1

	3,191	159	85	132	34	80	64
	100.0	5.0	2.7	4.1	1.1	2.5	2.0
	434	23	24	25	4	21	7
	100.0	5.3	5.5	5.8	0.9	4.8	1.6
	516	27	18	22	7	22	17
	100.0	5.2	3.5	4.3	1.4	4.3	3.3
	519	23	12	22	2	13	9
	100.0	4.4	2.3	4.2	0.4	2.5	1.7
	479	18	7	16	7	9	9
	100.0	3.8	1.5	3.3	1.5	1.9	1.9
	497	28	12	18	5	6	7
	100.0	5.6	2.4	3.6	1.0	1.2	1.4
	694	37	10	28	8	9	13
	100.0	5.3	1.4	4.0	1.2	1.3	1.9

《問 13(1)×問 2 居住区別》

『上京区』では「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」、それ以外では「保育園（所）」の割合が最も高くなっています。

【1番目, 2番目, 3番目の合計】

	3,191	1,272	1,609	1,381	901	1,852	314
	100.0	39.9	50.4	43.3	28.2	58.0	9.8
	257	95	142	120	80	153	20
	100.0	37.0	55.3	46.7	31.1	59.5	7.8
	155	61	90	86	24	77	18
	100.0	39.4	58.1	55.5	15.5	49.7	11.6
	386	153	186	167	115	214	34
	100.0	39.6	48.2	43.3	29.8	55.4	8.8
	269	99	132	111	64	167	32
	100.0	36.8	49.1	41.3	23.8	62.1	11.9
	54	22	27	19	16	37	7
	100.0	40.7	50.0	35.2	29.6	68.5	13.0
	280	113	141	111	137	145	21
	100.0	40.4	50.4	39.6	48.9	51.8	7.5
	173	68	90	78	42	94	12
	100.0	39.3	52.0	45.1	24.3	54.3	6.9
	247	103	122	108	60	144	24
	100.0	41.7	49.4	43.7	24.3	58.3	9.7
	442	183	220	204	83	240	57
	100.0	41.4	49.8	46.2	18.8	54.3	12.9
	217	93	99	89	78	135	21
	100.0	42.9	45.6	41.0	35.9	62.2	9.7
	152	63	70	63	41	81	14
	100.0	41.4	46.1	41.4	27.0	53.3	9.2
	293	114	164	121	74	202	25
	100.0	38.9	56.0	41.3	25.3	68.9	8.5
	127	54	62	58	36	79	12
	100.0	42.5	48.8	45.7	28.3	62.2	9.4
	101	34	41	36	39	65	13
	100.0	33.7	40.6	35.6	38.6	64.4	12.9
	3,191	159	85	132	34	80	64
	100.0	5.0	2.7	4.1	1.1	2.5	2.0
	257	14	7	9	2	6	4
	100.0	5.4	2.7	3.5	0.8	2.3	1.6
	155	6	3	13	2	3	3
	100.0	3.9	1.9	8.4	1.3	1.9	1.9
	386	15	13	23	4	12	8
	100.0	3.9	3.4	6.0	1.0	3.1	2.1
	269	18	14	12	2	8	6
	100.0	6.7	5.2	4.5	0.7	3.0	2.2
	54	2	0	1	0	1	0
	100.0	3.7	0.0	1.9	0.0	1.9	0.0
	280	11	5	7	2	5	4
	100.0	3.9	1.8	2.5	0.7	1.8	1.4
	173	9	8	8	1	6	6
	100.0	5.2	4.6	4.6	0.6	3.5	3.5
	247	9	9	7	4	5	7
	100.0	3.6	3.6	2.8	1.6	2.0	2.8
	442	21	13	22	9	14	7
	100.0	4.8	2.9	5.0	2.0	3.2	1.6
	217	12	6	4	2	5	3
	100.0	5.5	2.8	1.8	0.9	2.3	1.4
	152	7	2	9	4	1	7
	100.0	4.6	1.3	5.9	2.6	0.7	4.6
	293	15	1	11	1	7	3
	100.0	5.1	0.3	3.8	0.3	2.4	1.0
	127	11	1	5	1	4	2
	100.0	8.7	0.8	3.9	0.8	3.1	1.6
	101	8	2	1	0	3	3
	100.0	7.9	2.0	1.0	0.0	3.0	3.0

《問 13(1)×家族類型別》

『専業主婦(夫)』では「幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」、『両親ともパート』では「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」「保育園（所）」、それ以外では「保育園（所）」の割合が最も高くなっています。

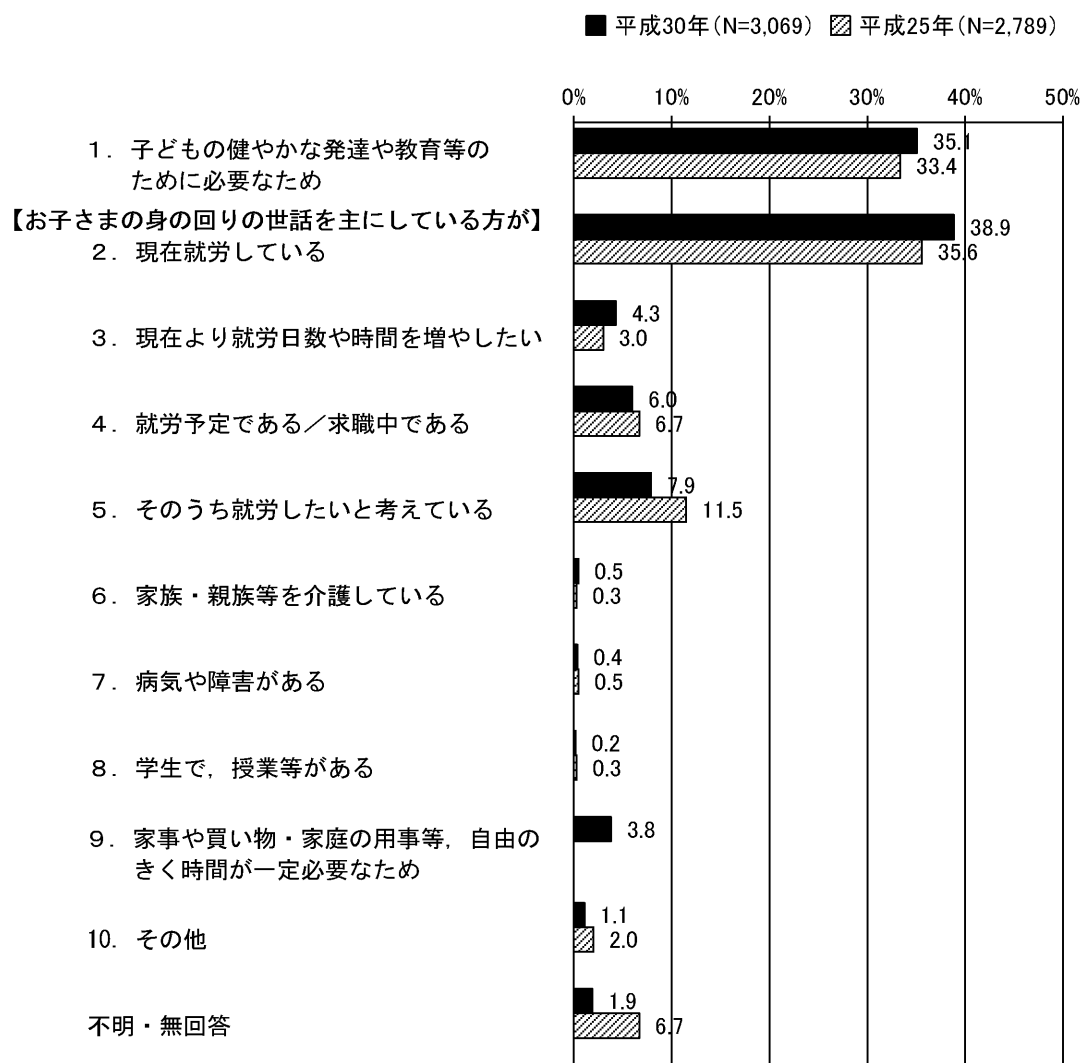
【1番目, 2番目, 3番目の合計】

	3,191	1,272	1,609	1,381	901	1,852	314
	100.0	39.9	50.4	43.3	28.2	58.0	9.8
	117	33	55	29	44	85	18
	100.0	28.2	47.0	24.8	37.6	72.6	15.4
	1,050	175	536	227	373	861	134
	100.0	16.7	51.0	21.6	35.5	82.0	12.8
	835	290	451	344	256	513	82
	100.0	34.7	54.0	41.2	30.7	61.4	9.8
	1,140	753	543	763	215	363	76
	100.0	66.1	47.6	66.9	18.9	31.8	6.7
	14	3	6	5	3	6	2
	100.0	21.4	42.9	35.7	21.4	42.9	14.3
	3	1	1	1	1	2	0
	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0

	3,191	159	85	132	34	80	64
	100.0	5.0	2.7	4.1	1.1	2.5	2.0
	117	14	5	9	2	1	3
	100.0	12.0	4.3	7.7	1.7	0.9	2.6
	1,050	74	38	55	16	14	15
	100.0	7.0	3.6	5.2	1.5	1.3	1.4
	835	35	21	21	7	15	13
	100.0	4.2	2.5	2.5	0.8	1.8	1.6
	1,140	34	20	46	8	48	30
	100.0	3.0	1.8	4.0	0.7	4.2	2.6
	14	2	0	1	1	1	1
	100.0	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1
	3	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

問 13(2) 施設等を利用したいと考えている主な理由は何ですか。(○は1つ)

「2. 現在就労している」が38.9%と最も高く、次いで「1. 子どもの健やかな発達や教育等のために必要なため」が35.1%, 「5. そのうち就労したいと考えている」が7.9%となっています。



※「9. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため」は平成30年のみの選択肢

《問 13(2)×問 13(1)利用したい施設別（１ 番目）》

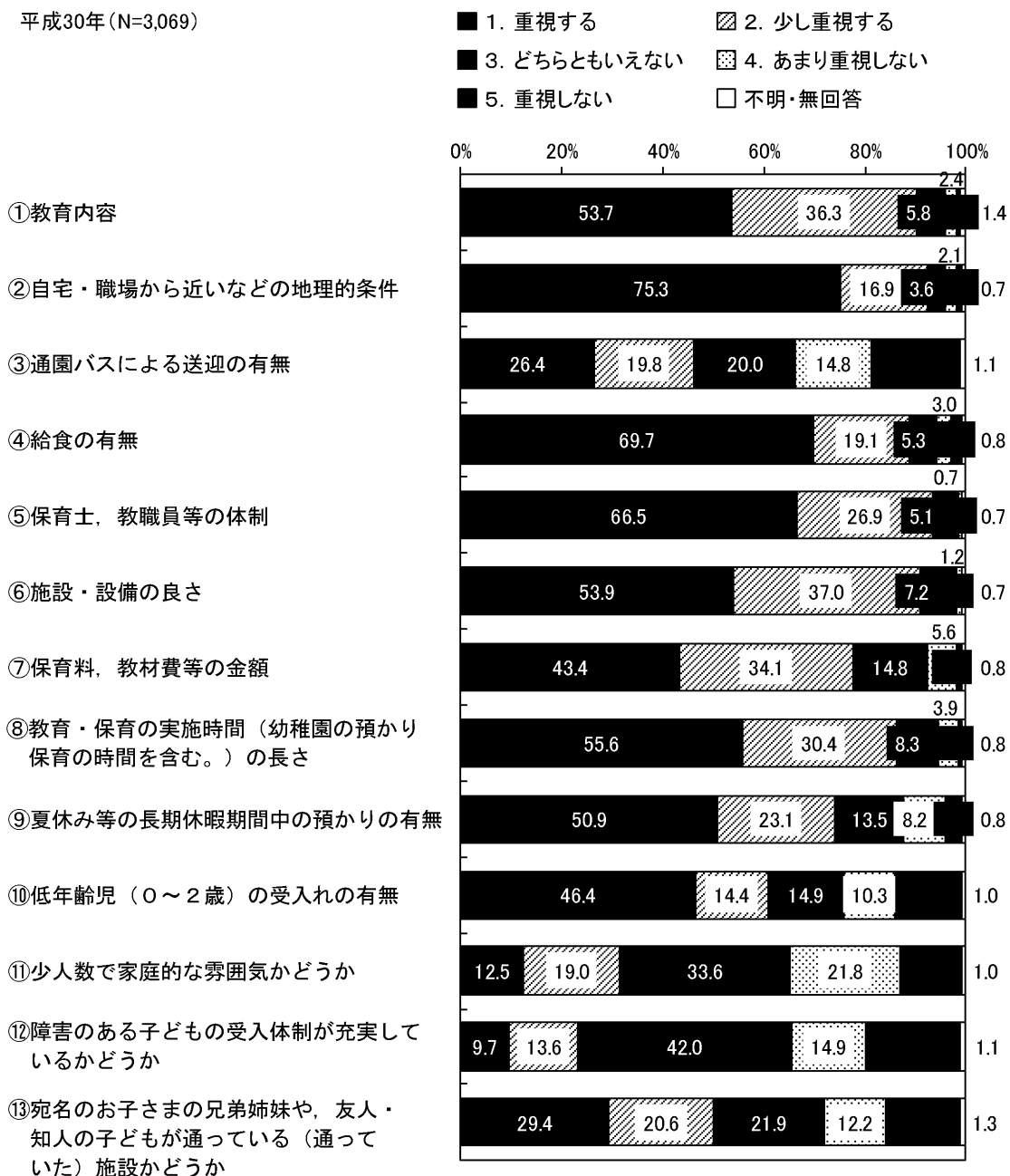
『幼稚園』『認可外保育施設』『ベビーシッター』では「子どもの健やかな発達や教育等のために必要なため」、それ以外では「現在就労している」の割合が最も高くなっています。

	3,069	1,076	1,194	131	185	242	14
	100.0	35.1	38.9	4.3	6.0	7.9	0.5
	626	426	51	11	9	48	3
	100.0	68.1	8.1	1.8	1.4	7.7	0.5
	318	119	85	30	22	47	1
	100.0	37.4	26.7	9.4	6.9	14.8	0.3
	419	239	45	18	14	60	2
	100.0	57.0	10.7	4.3	3.3	14.3	0.5
	288	64	157	12	28	14	1
	100.0	22.2	54.5	4.2	9.7	4.9	0.3
	1,283	191	803	47	101	67	6
	100.0	14.9	62.6	3.7	7.9	5.2	0.5
	44	6	24	3	5	1	1
	100.0	13.6	54.5	6.8	11.4	2.3	2.3
	16	2	10	1	1	2	0
	100.0	12.5	62.5	6.3	6.3	12.5	0.0
	16	5	4	2	1	1	0
	100.0	31.3	25.0	12.5	6.3	6.3	0.0
	8	2	1	0	0	1	0
	100.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	11	3	4	1	1	0	0
	100.0	27.3	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0

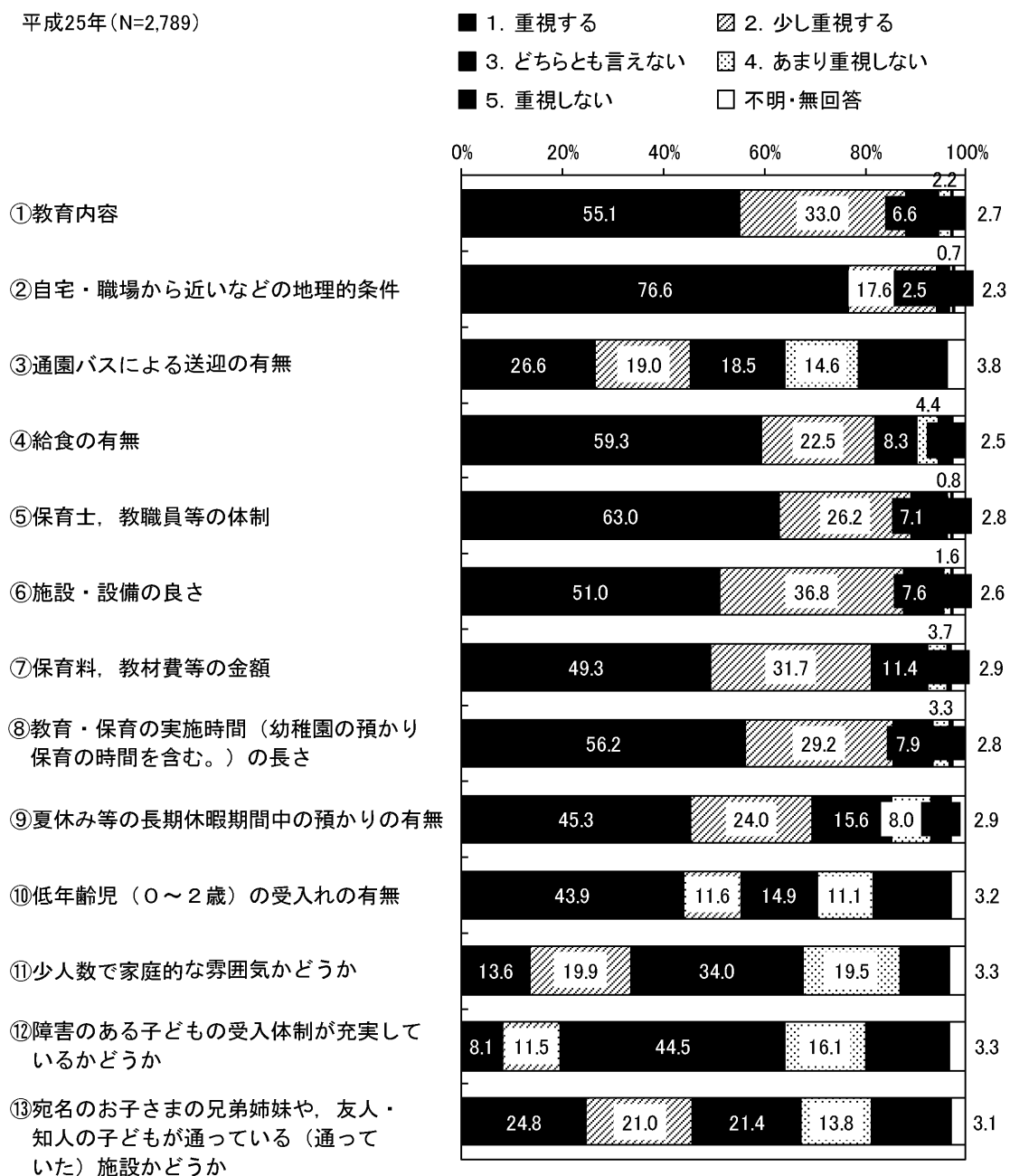
	3,069	13	5	118	33	58
	100.0	0.4	0.2	3.8	1.1	1.9
	626	2	1	48	10	17
	100.0	0.3	0.2	7.7	1.6	2.7
	318	0	0	9	1	4
	100.0	0.0	0.0	2.8	0.3	1.3
	419	0	0	27	5	9
	100.0	0.0	0.0	6.4	1.2	2.1
	288	1	1	5	3	2
	100.0	0.3	0.3	1.7	1.0	0.7
	1,283	10	2	21	13	22
	100.0	0.8	0.2	1.6	1.0	1.7
	44	0	0	2	0	2
	100.0	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5
	16	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	16	0	1	2	0	0
	100.0	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0
	8	0	0	4	0	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	11	0	0	0	1	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1

問 13(3) 利用する幼稚園・保育施設等を選択する際、①～⑬について、あなたのお考えをお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

『重視する(「1. 重視する」と「2. 少し重視する」の合計)』は、[⑤保育士、教職員等の体制]が93.4%と最も高く、次いで[②自宅・職場から近いなどの地理的条件]が92.2%、[⑥施設・設備の良さ]が90.9%、[①教育内容]が90.0%となっています。

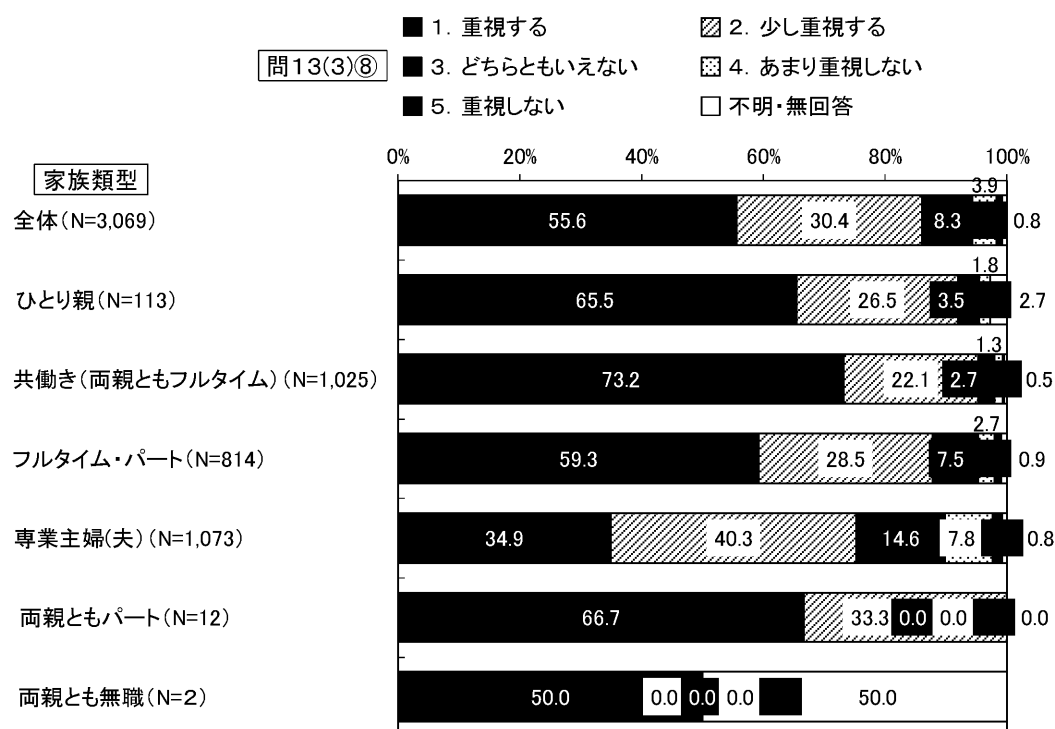


平成25年と比較すると、『重視する（「1. 重視する」と「2. 少し重視する」の合計）』では、
[④給食の有無]が7.0ポイント、[⑩低年齢児（0～2歳）の受入れの有無]が5.3ポイント高
くなっています。



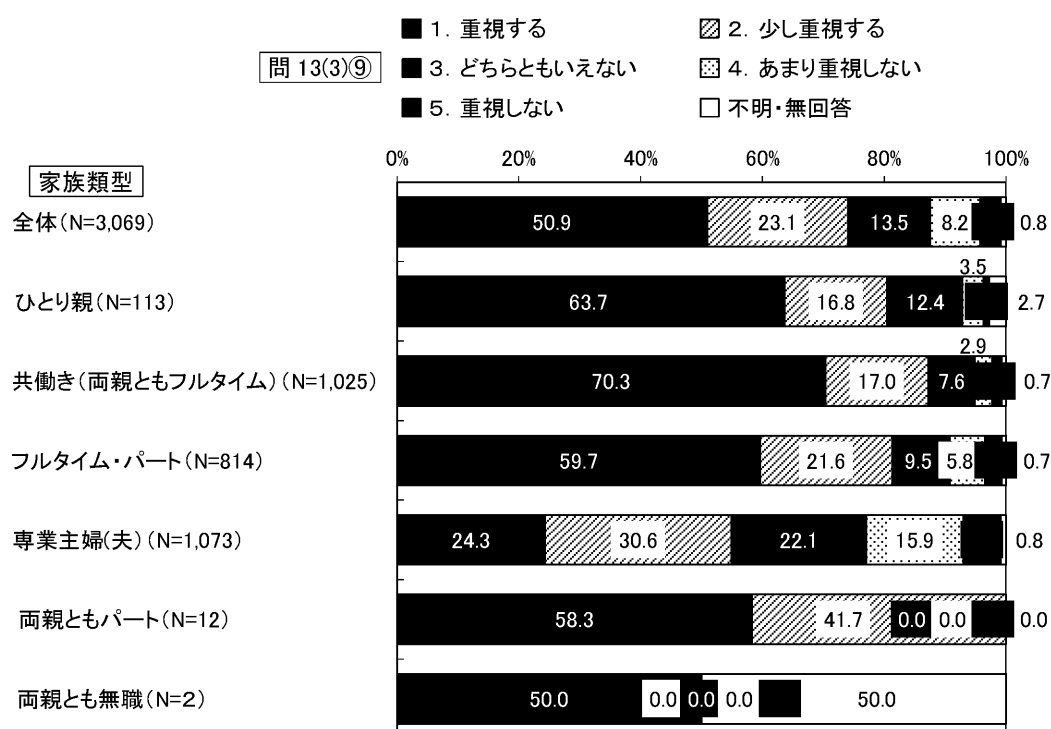
《問 13(3)⑧教育・保育の実施時間の長さ×家族類型別》

⑧教育・保育の実施時間の長さについて、『専業主婦（夫）』を除き、「１．重視する」の割合が最も高く、特に『共働き（両親ともフルタイム）』では７割を超えています。



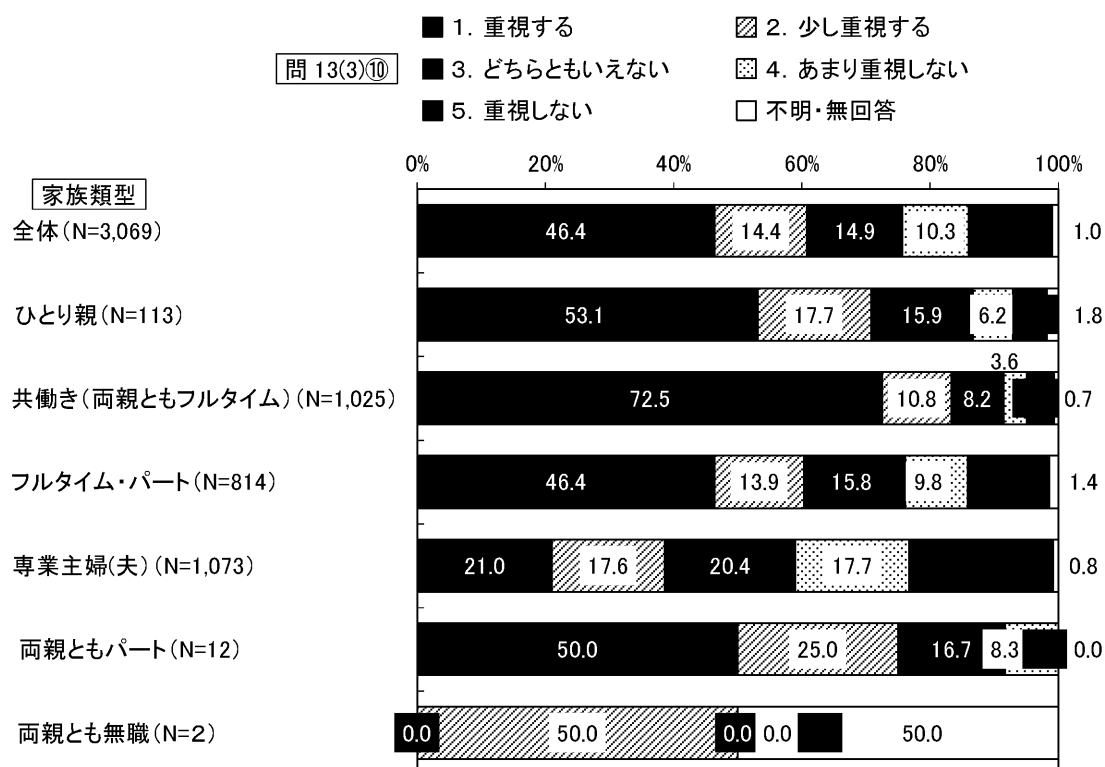
《問 13(3)⑨夏休み等の長期休暇期間中の預かりの有無×家族類型別》

⑨夏休み等の長期休暇期間中の預かりの有無について、『専業主婦（夫）』を除き、「１．重視する」の割合が最も高く、特に『共働き（両親ともフルタイム）』では７割を超えています。



＜問 13(3)⑩低年齢児（０～２歳）の受入れの有無×家族類型別＞

⑩低年齢児（０～２歳）の受入れの有無について、『専業主婦（夫）』『両親とも無職』を除き、「１．重視する」の割合が最も高く、特に『共働き（両親ともフルタイム）』では７割を超えています。



《問 13(3)『重視する』×問 13(1)利用したい施設別(1番目)》

『重視する（「1. 重視する」と「2. 少し重視する」の合計）』を利用したい施設別にみると、「幼稚園（通常の通園時間の利用）」「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」では〔④教育内容〕、「幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」では〔⑤保育士，教職員等の体制〕、「認定こども園」では〔④給食の有無〕、「保育園（所）」では〔②自宅，職場から近いなどの地理的条件〕が最も高くなっています。

	2,761 90.0	2,830 92.2	1,419 46.2	2,725 88.8	2,868 93.4	2,787 90.9
	2,377 77.5					
	586 93.6	557 89.0	387 61.9	490 78.3	576 92.0	556 88.8
	497 79.4					
	296 93.1	288 90.6	199 62.5	273 85.8	294 92.5	290 91.2
	253 79.6					
	391 93.3	377 90.0	267 63.8	336 80.2	400 95.5	378 90.3
	341 81.4					
	262 90.9	258 89.6	114 39.6	274 95.2	273 94.8	267 92.7
	217 75.4					
	1,099 85.7	1,249 97.4	376 29.3	1,231 95.9	1,197 93.3	1,178 91.8
	960 74.8					
	39 88.6	43 97.7	16 36.4	42 95.4	41 93.2	41 93.2
	37 84.0					
	14 87.5	15 93.8	11 68.8	16 100.0	15 93.8	12 75.1
	15 93.8					
	16 100.0	8 50.0	6 37.6	14 87.6	16 100.0	16 100.0
	7 43.8					
	8 100.0	7 87.5	6 75.0	6 75.0	8 100.0	7 87.5
	87.5					
	10 90.9	10 90.9	6 54.6	8 72.7	10 90.9	9 81.8
	9 81.8					
	2,640 86.0	2,272 74.0	1,867 60.8	967 31.5	714 23.3	1,534 50.0
	438 69.9	291 46.5	184 29.4	178 28.5	105 16.7	277 44.3
	286 89.9	261 82.1	142 44.7	113 35.5	74 23.2	134 42.1
	336 80.2	262 62.6	144 34.3	123 29.3	103 24.6	192 45.8
	267 92.7	252 87.5	218 75.7	78 27.0	59 20.5	148 51.4
	1,202 93.7	1,104 86.0	1,105 86.1	408 31.8	320 24.9	716 55.8
	42 95.5	37 84.0	34 77.3	36 81.8	13 29.6	18 40.9
	15 93.8	15 93.8	13 81.3	5 31.3	5 31.3	7 43.8
	13 81.3	11 68.8	6 37.6	7 43.8	4 25.1	8 50.1
	5 62.5	4 50.0	4 50.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5
	9 81.8	8 72.8	6 54.6	8 72.8	5 45.5	7 63.7

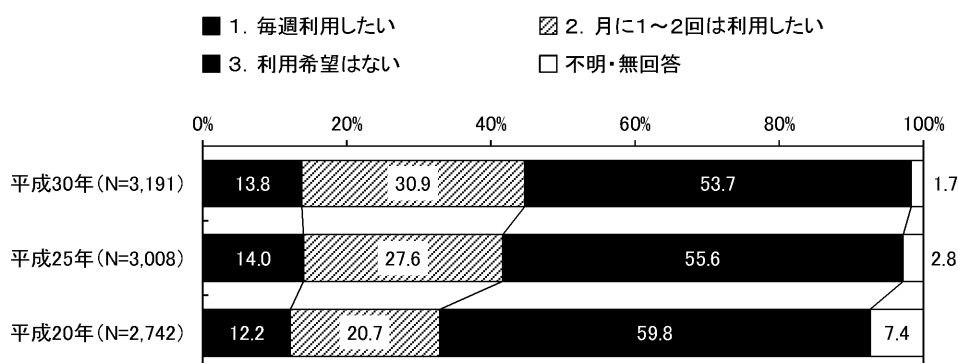
4 土曜日や日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

問 14(1) 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用（一時的な利用は除く。）を希望しますか。（○はそれぞれ1つつつ）希望する場合は、利用したい時間を24時間制で（ ）内にご記入ください。

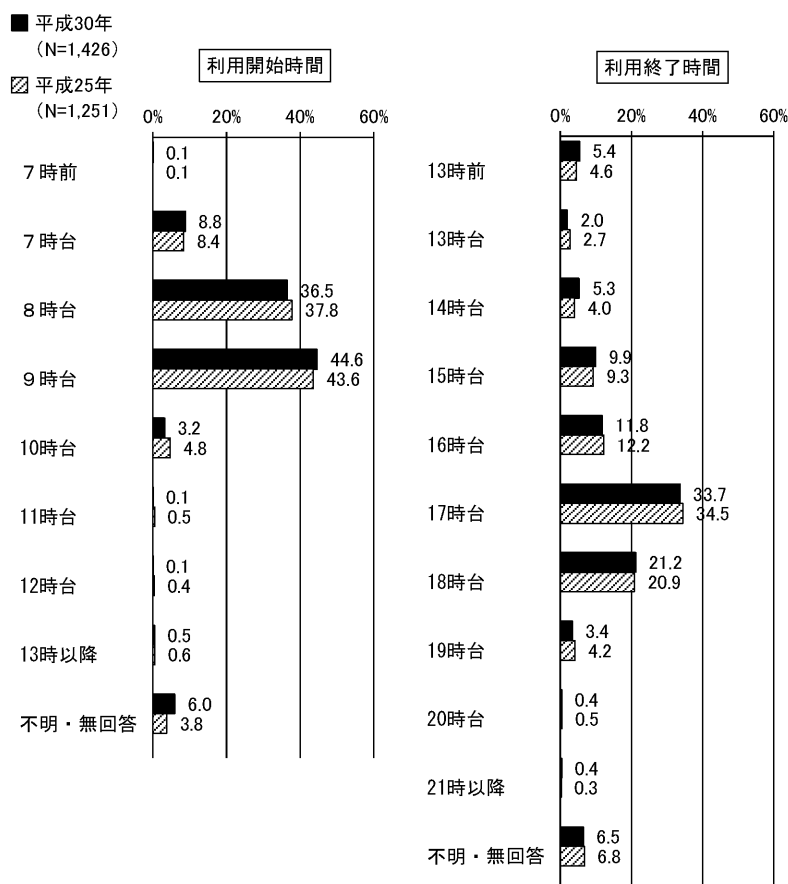
①土曜日は、「3. 利用希望はない」が53.7%と最も高く、次いで「2. 月に1～2回は利用したい」が30.9%となっています。平成20年と比較すると、「2. 月に1～2回は利用したい」が10.2ポイント高くなっています。

利用したい時間について、開始時間は「9時台」が44.6%と最も高く、次いで「8時台」が36.5%となっています。終了時間は「17時台」が33.7%と最も高く、次いで「18時台」が21.2%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

①土曜日



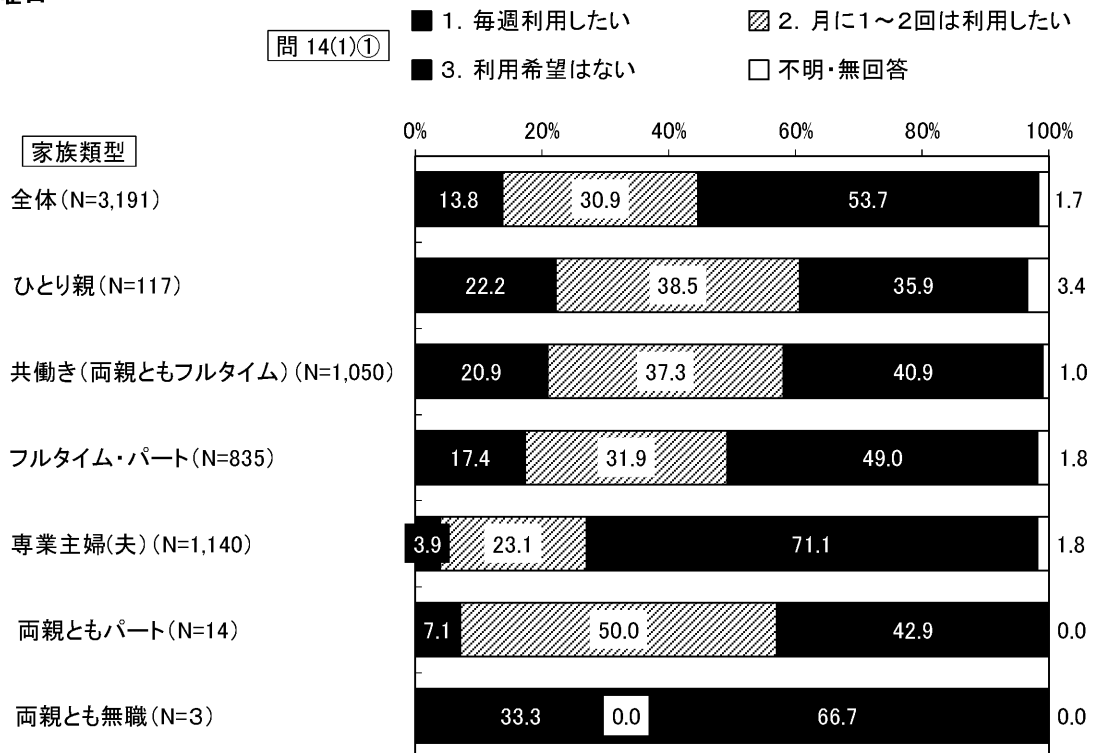
◆(「1」「2」の場合)利用したい時間



《問 14(1)①土曜日×家族類型別》

①土曜日について、『利用したい（「1. 毎週利用したい」と「2. 月に1～2回は利用したい」の合計）』は、[ひとり親]で60.7%，[共働き（両親ともフルタイム）]で58.2%，[フルタイム・パート]で49.3%となっています。

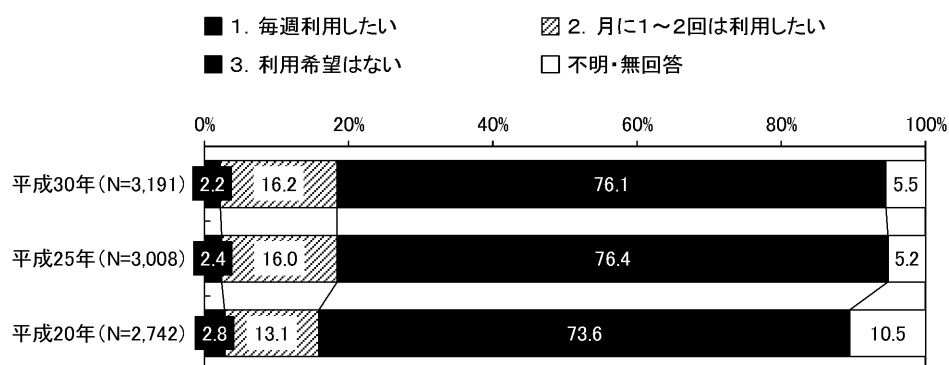
①土曜日



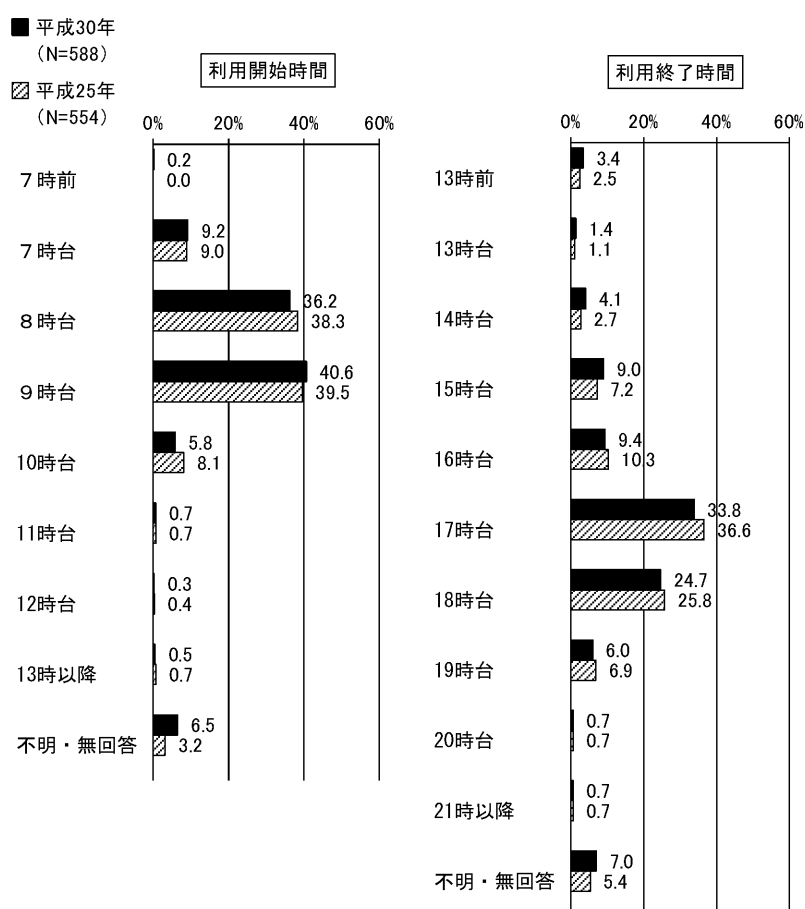
②日曜日・祝日は、「3. 利用希望はない」が76.1%と最も高く、次いで「2. 月に1～2回は利用したい」が16.2%となっています。過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。

利用したい時間について、開始時間は「9時台」が40.6%と最も高く、次いで「8時台」が36.2%となっています。終了時間は「17時台」が33.8%と最も高く、次いで「18時台」が24.7%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

②日曜日・祝日



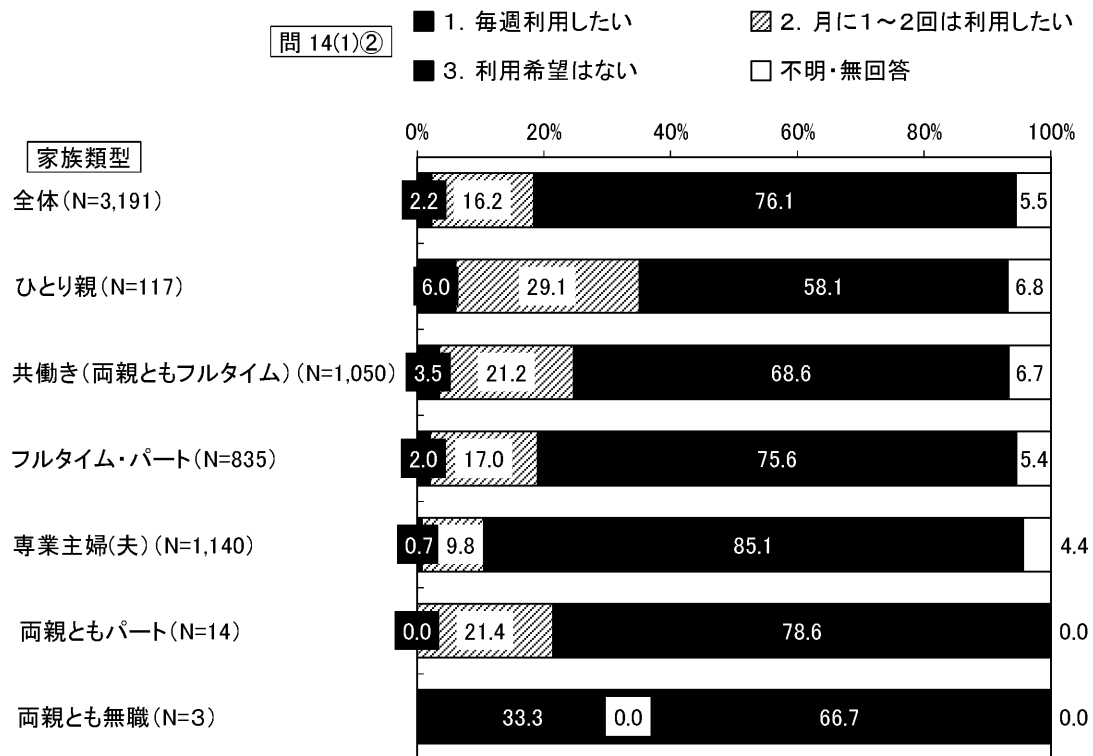
◆(「1」「2」の場合)利用したい時間



《問 14(1)②日曜日・祝日×家族類型別》

②日曜日・祝日について、『利用したい（「1. 毎週利用したい」と「2. 月に1～2回は利用したい」の合計）』は、[ひとり親]で35.1%、[共働き（両親ともフルタイム）]で24.7%、[フルタイム・パート]で19.0%となっています。

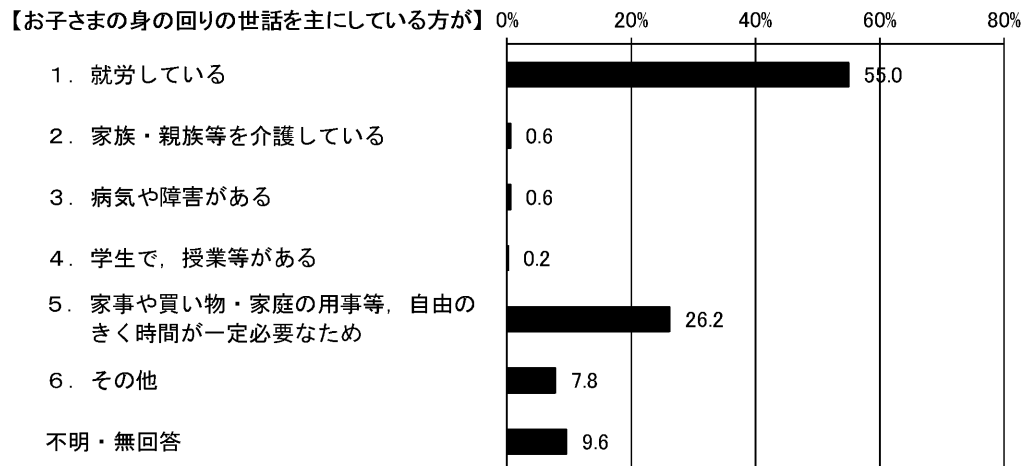
②日曜日・祝日



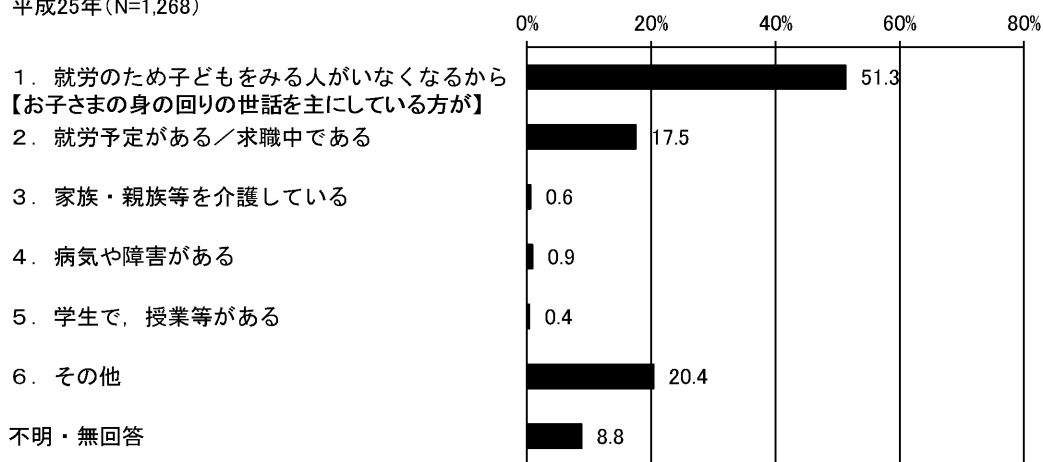
問 14(2) 土曜日、日曜日・祝日にお子さまを預けたい主な理由は何ですか。(〇は1つ)

「1. 就労している」が55.0%と最も高く、次いで「5. 家事や買い物、家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため」が26.2%となっています。

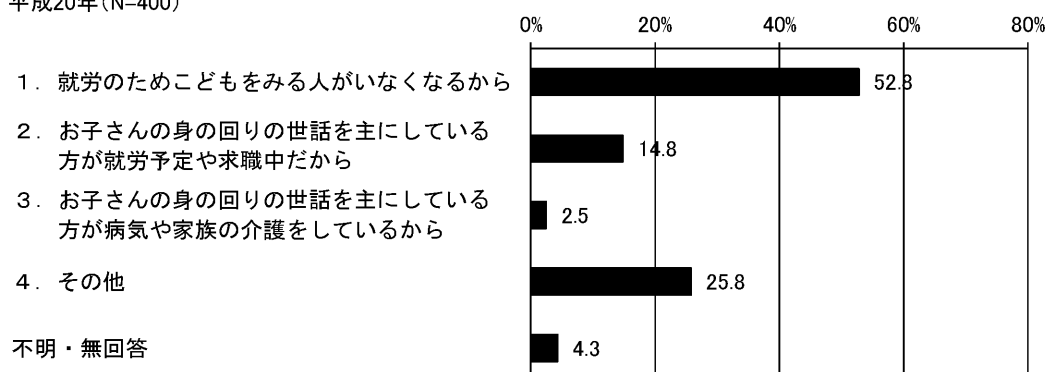
平成30年(N=1,435)



平成25年(N=1,268)



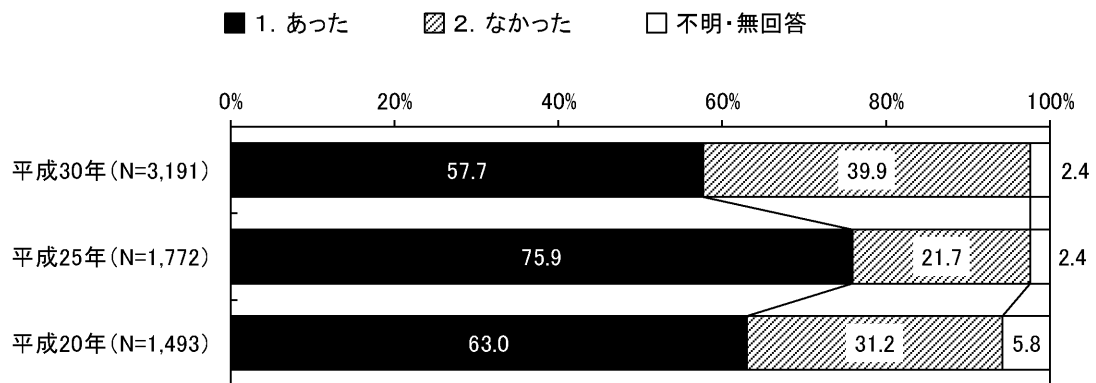
平成20年(N=400)



5 お子さまの病気・病後時の対応について

問 15(1) この1年間に、宛名のお子さまが病気や病気の回復期であるために、幼稚園・保育施設等を利用できなかったことがありましたか。(〇は1つ)

「1. あった」が57.7%、「2. なかった」が39.9%となっています。
平成25年と比較すると、「1. あった」が18.2ポイント低くなっています。

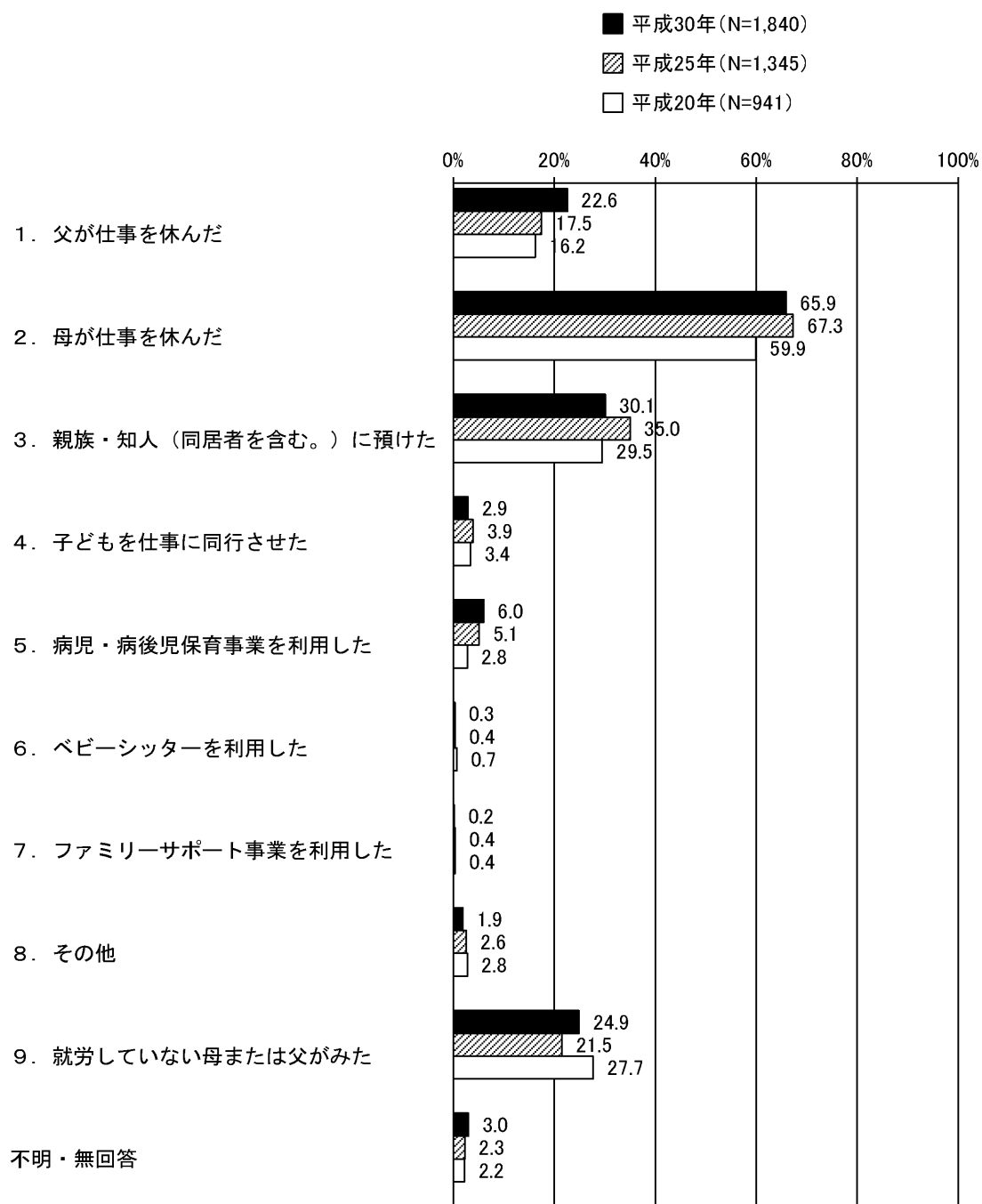


※平成25年、平成20年は限定設問のため、サンプル数が異なる

**問 15(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(〇はいくつでも)
また、それぞれの日数をご記入ください。**

「2. 母が仕事を休んだ」が 65.9%と最も高く、次いで「3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が 30.1%、「9. 就労していない母または父がみた」が 24.9%となっています。

過去調査と比較すると、「1. 父が仕事を休んだ」が平成 25 年より 5.1 ポイント、平成 20 年より 6.4 ポイント高くなっています。



《問 15(2)×家族類型別》

『ひとり親』『共働き（両親ともフルタイム）』『フルタイム・パート』では「母が仕事を休んだ」の割合が最も高く、次いで「親族・知人（同居者を含む。）に預けた」となっています。

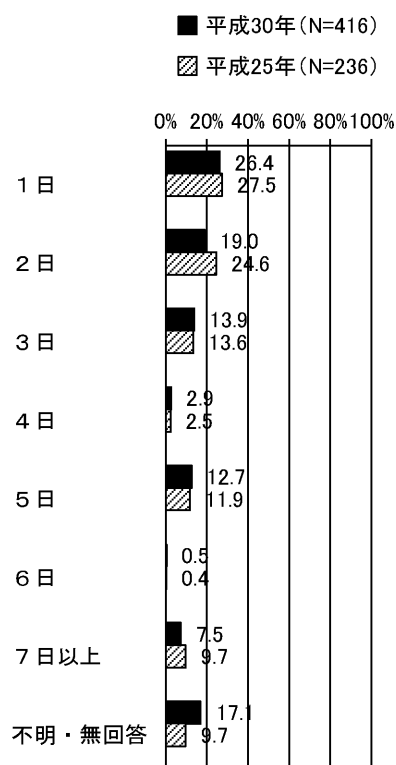
『共働き（両親ともフルタイム）』で「父が仕事を休んだ」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

	1,840	416	1,212	553	53	111	5	3	35	459	56
	100.0	22.6	65.9	30.1	2.9	6.0	0.3	0.2	1.9	24.9	3.0
	84	3	62	37	4	8	1	2	8	11	2
	100.0	3.6	73.8	44.0	4.8	9.5	1.2	2.4	9.5	13.1	2.4
	762	274	630	321	27	72	4	1	18	37	20
	100.0	36.0	82.7	42.1	3.5	9.4	0.5	0.1	2.4	4.9	2.6
	573	106	470	171	16	27	0	0	6	60	20
	100.0	18.5	82.0	29.8	2.8	4.7	0.0	0.0	1.0	10.5	3.5
	390	26	29	15	3	2	0	0	3	343	12
	100.0	6.7	7.4	3.8	0.8	0.5	0.0	0.0	0.8	87.9	3.1
	11	1	9	5	1	0	0	0	0	1	0
	100.0	9.1	81.8	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

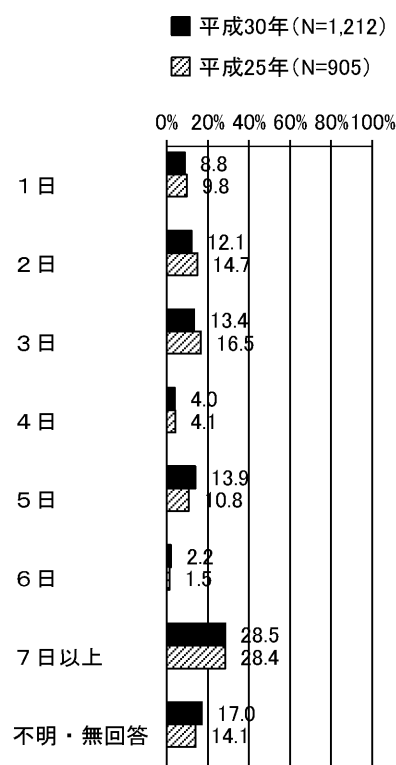
『2. 母が仕事を休んだ』『8. その他』『9. 就労していない母または父がみた』では「7日以上」,『1. 父が仕事を休んだ』『4. 子どもを仕事に同行させた』では「1日」,『3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた』では「2日」,『5. 病児・病後児保育事業を利用した』では「2日」「7日以上」の割合が高くなっています。

◆年間の日数

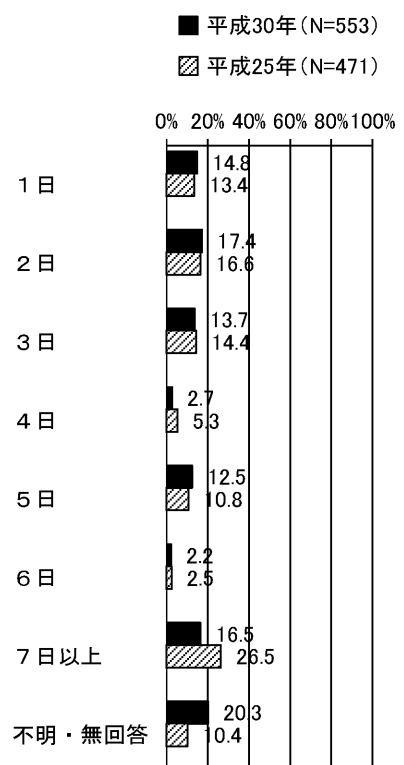
1. 父が仕事を休んだ



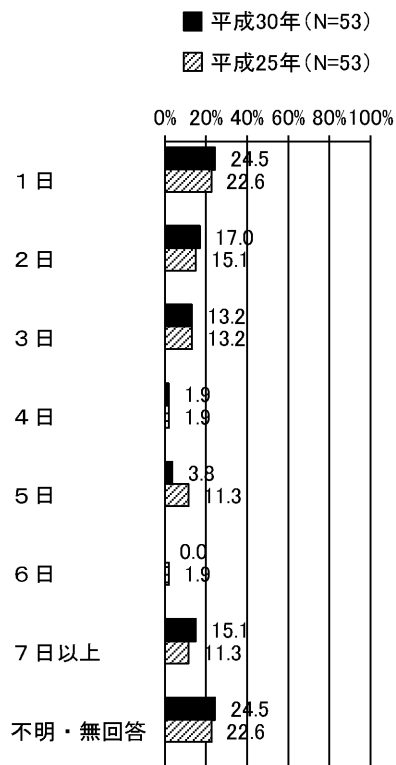
2. 母が仕事を休んだ



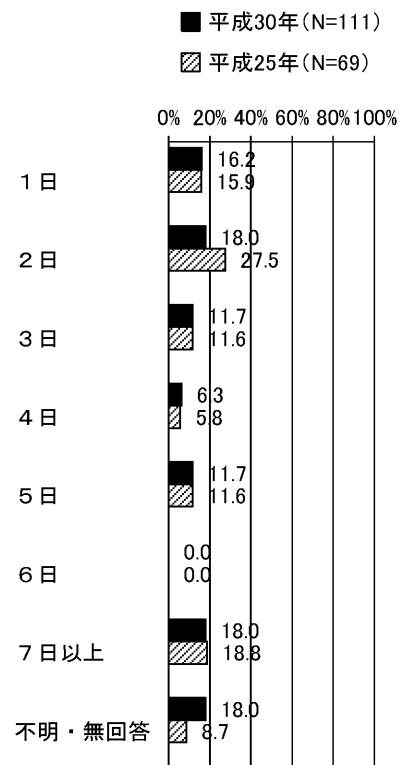
3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた



4. 子どもを仕事に同行させた



5. 病児・病後児保育事業を利用した



6. ベビーシッターを利用した

平成30年 (N=5)

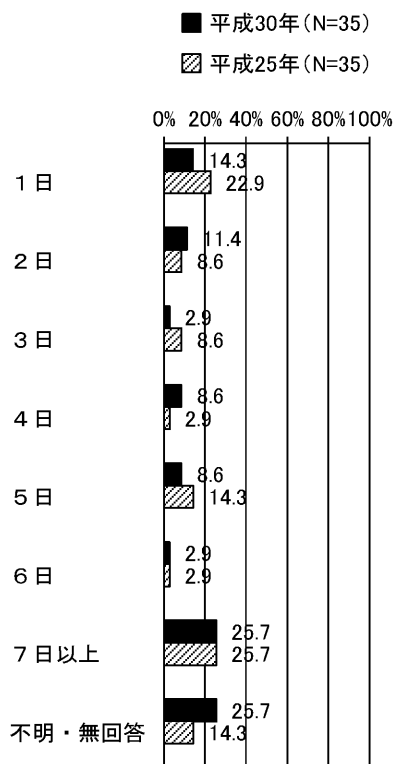
	件数
3日	1
7日以上	2
不明・無回答	2

7. ファミリーサポート事業を利用した

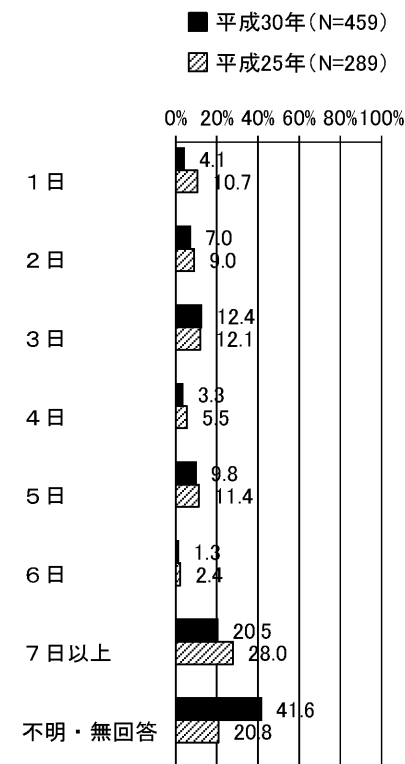
平成30年 (N=3)

	件数
1日	2
不明・無回答	1

8. その他



9. 就労していない母または父がみた

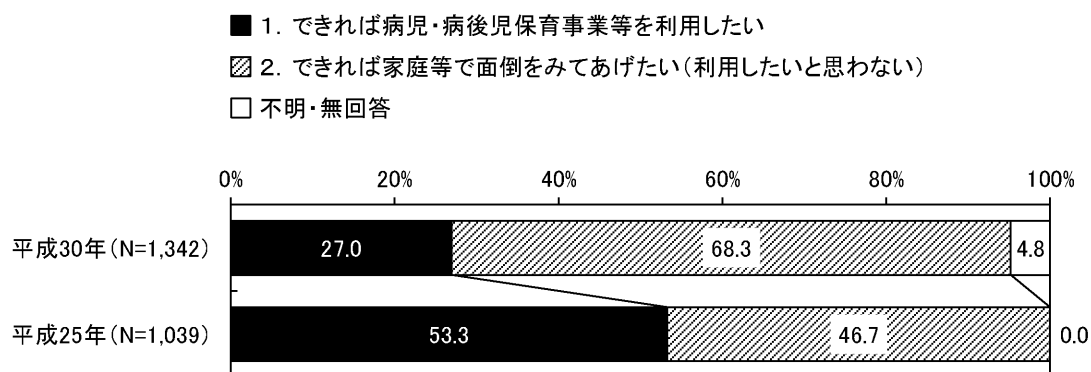


**問 15(3) その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが。(〇は1つ)
また利用したい日数についてもご記入ください。**

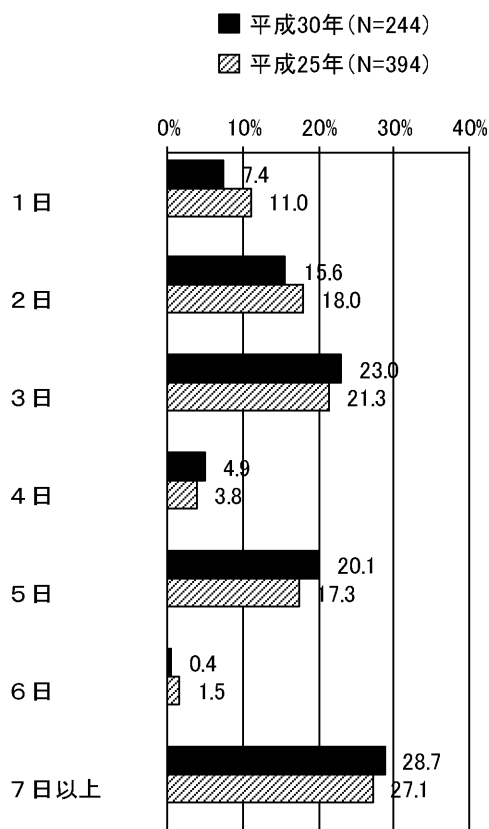
「1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」が 27.0%, 「2. できれば家庭等で面倒をみてあげたい(利用したいと思わない)」が 68.3%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」が 26.3 ポイント低くなっています。

利用したい日数は、「7 日以上」が 28.7%と最も高く、次いで「3 日」が 23.0%, 「5 日」が 20.1%となっています。平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。



◆(「1」の場合)利用したい日数



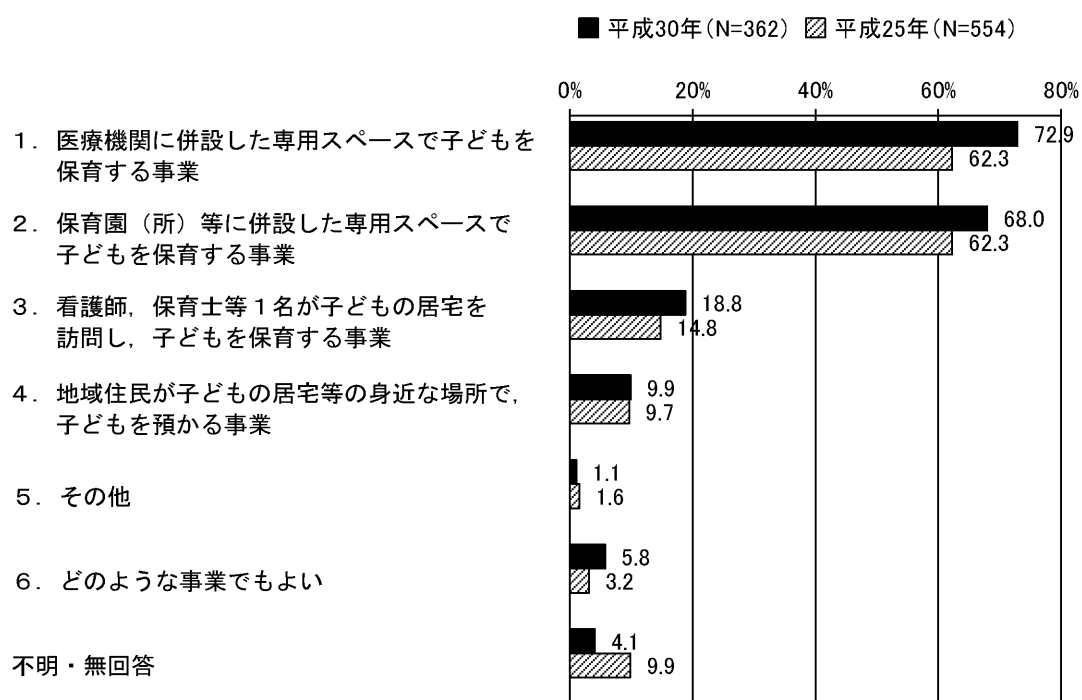
※不明・無回答除く

問 15(4) 病気または病後の子どもを預ける場合、どのような事業を希望しますか。

(〇はいくつでも)

「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が 72.9%と最も高く、次いで「2. 保育園（所）等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が 68.0%、「3. 看護師、保育士等 1 名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業」が 18.8%となっています。

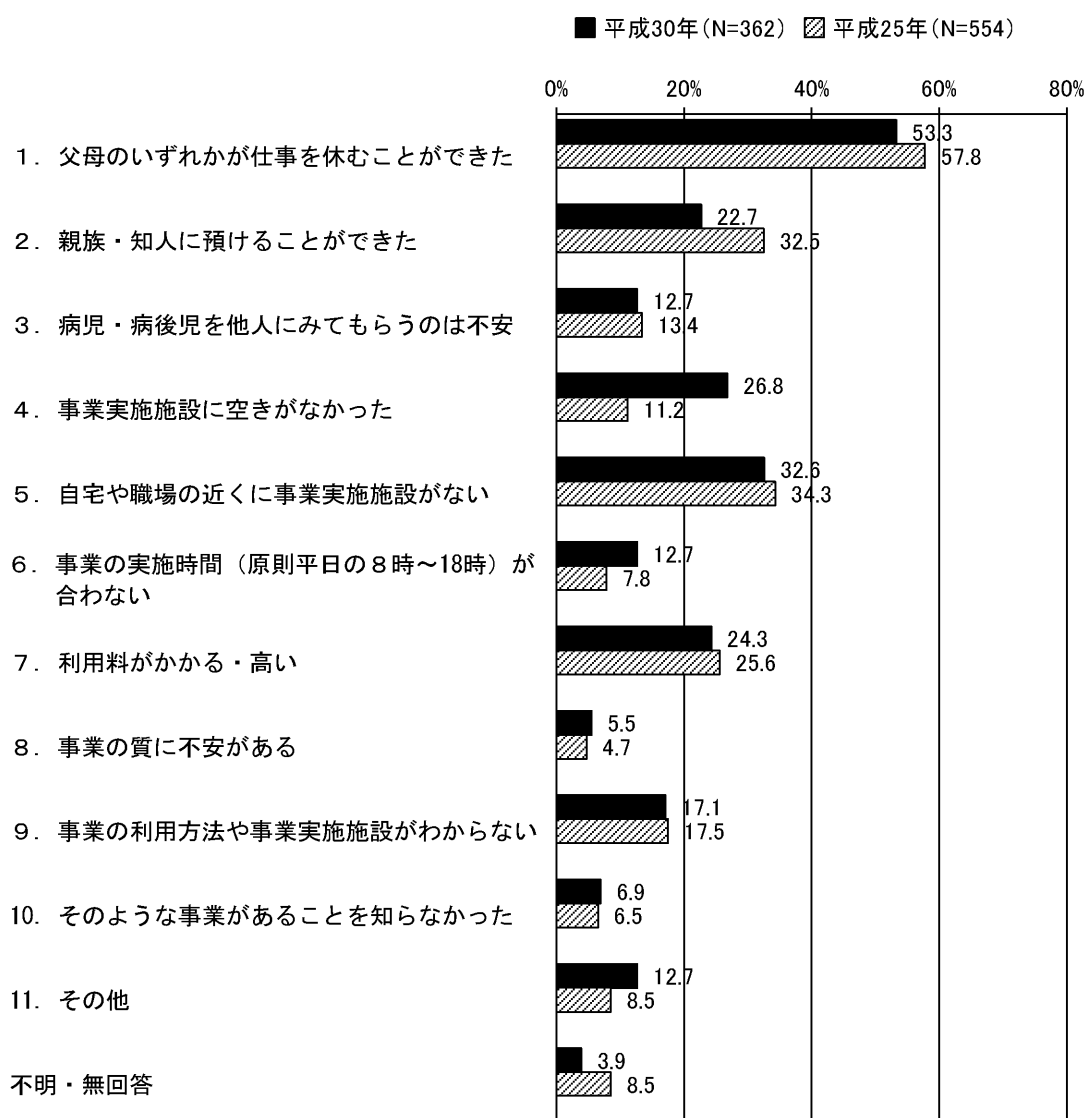
平成 25 年と比較すると、「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が 10.6 ポイント、「2. 保育園（所）等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が 5.7 ポイント高くなっています。



問 15(5) 病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた」が53.3%と最も高く、次いで「5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない」が32.6%, 「4. 事業実施施設に空きがなかった」が26.8%となっています。

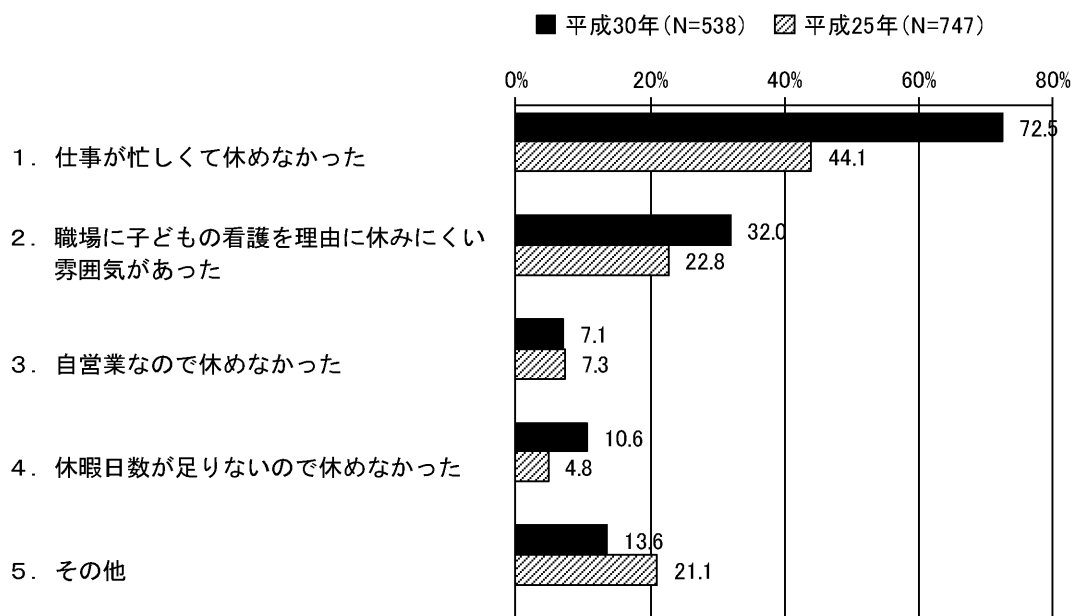
平成25年と比較すると, 「4. 事業実施施設に空きがなかった」が15.6ポイント高く, 「2. 親族・知人に預けることができた」が9.8ポイント低くなっています。



問 15(6) 仕事を休めなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

その他を除き、「1. 仕事が忙しくて休めなかった」が 72.5%と最も高く、次いで「2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった」が 32.0%、「4. 休暇日数が足りないので休めなかった」が 10.6%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 仕事が忙しくて休めなかった」が 28.4 ポイント高くなっています。



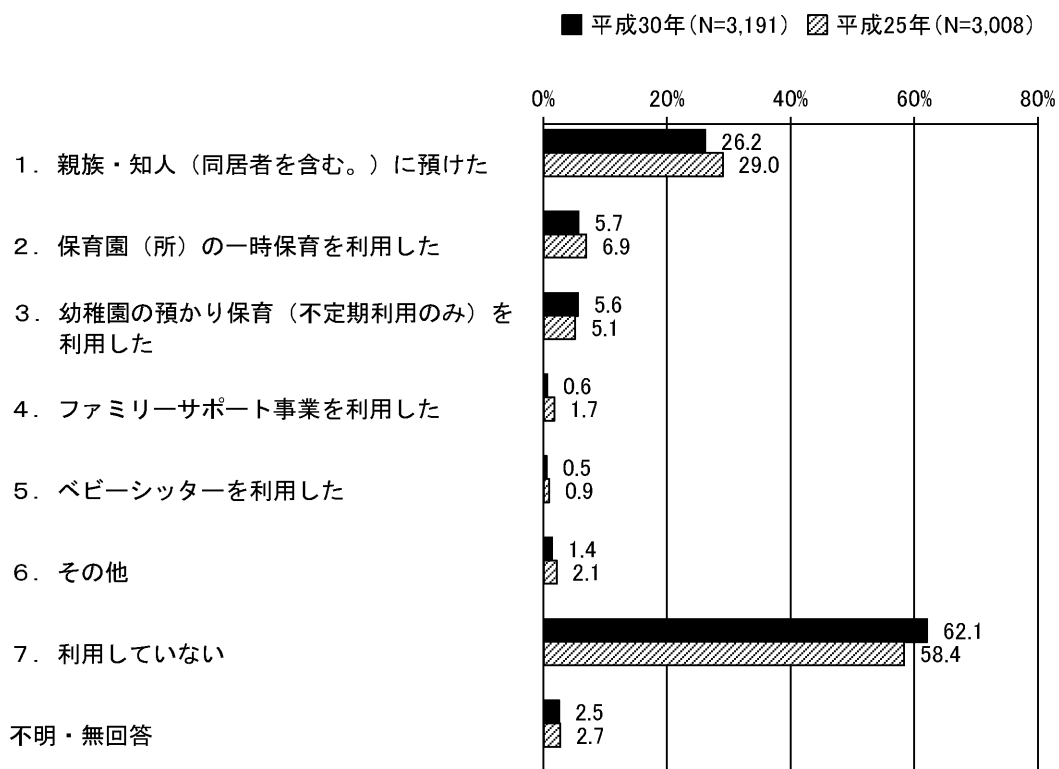
※不明・無回答除く

6 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて

問 16(1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。(○はいくつでも)
また、利用したことがある場合は、() 内にそれぞれの日数(半日程度でも1日としてカウント)をご記入ください。

「7. 利用していない」が 62.1%と最も高く、次いで「1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた」が 26.2%、「2. 保育園(所)の一時保育を利用した」が 5.7%となっています。

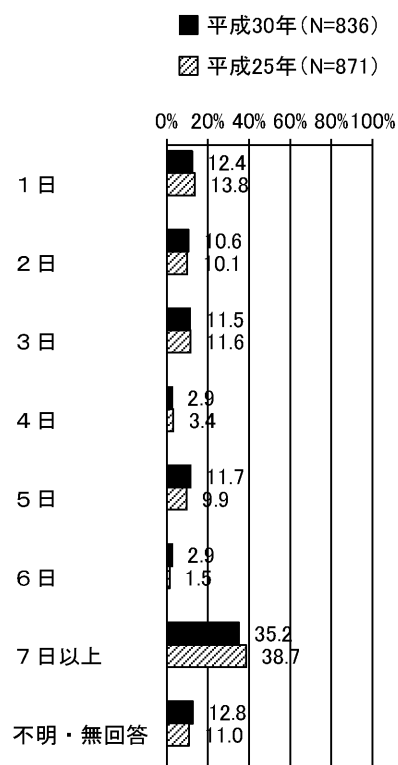
平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。



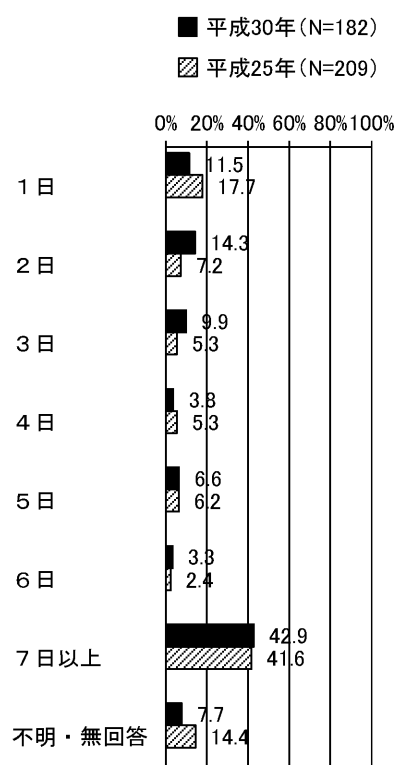
『1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた』『2. 保育園（所）の一時保育を利用した』『3. 幼稚園の預かり保育（不定期利用のみ）を利用した』『6. その他』では「7日以上」,『4. ファミリーサポート事業を利用した』では「1日」,『5. ベビーシッターを利用した』では「5日」の割合が最も高くなっています。

◆年間の日数

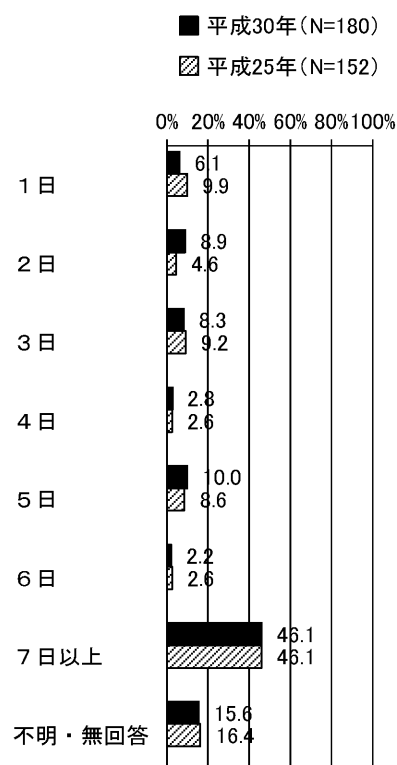
1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた



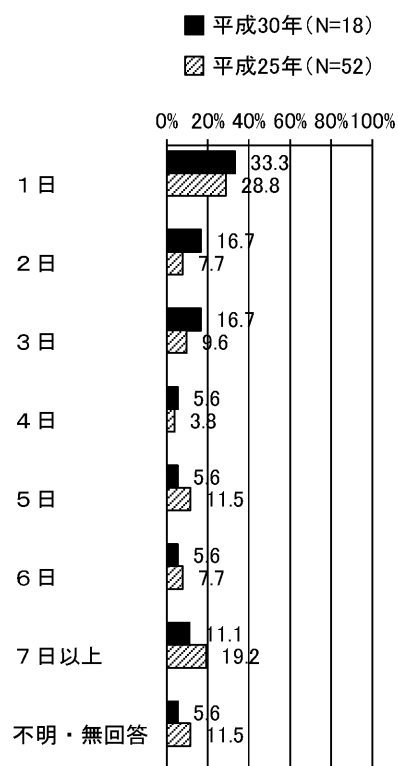
2. 保育園（所）の一時保育を利用した



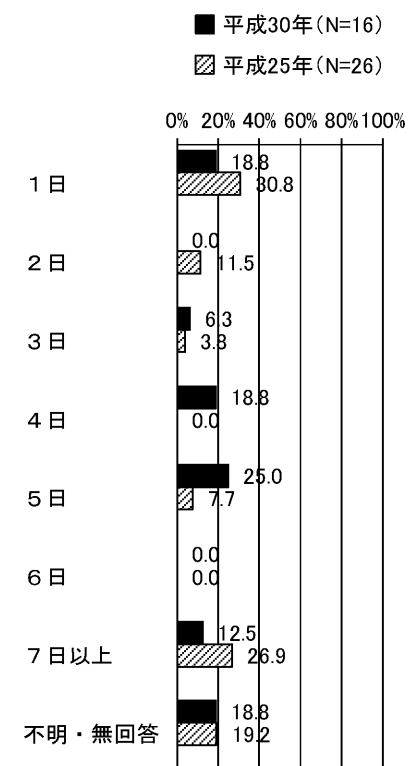
3. 幼稚園の預かり保育（不定期利用のみ）を利用した



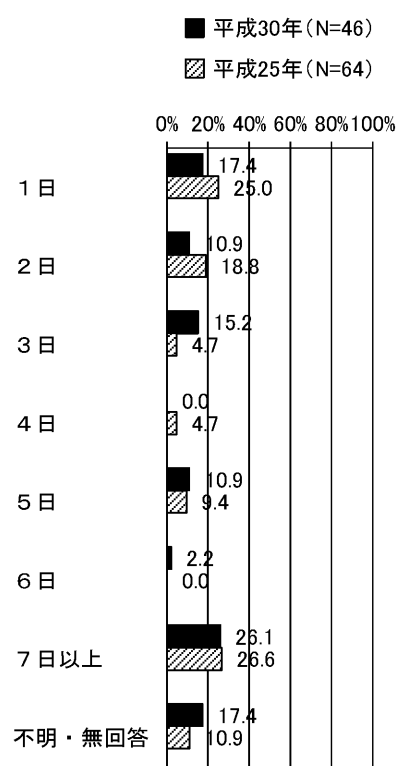
4. ファミリーサポート事業を利用した



5. ベビーシッターを利用した



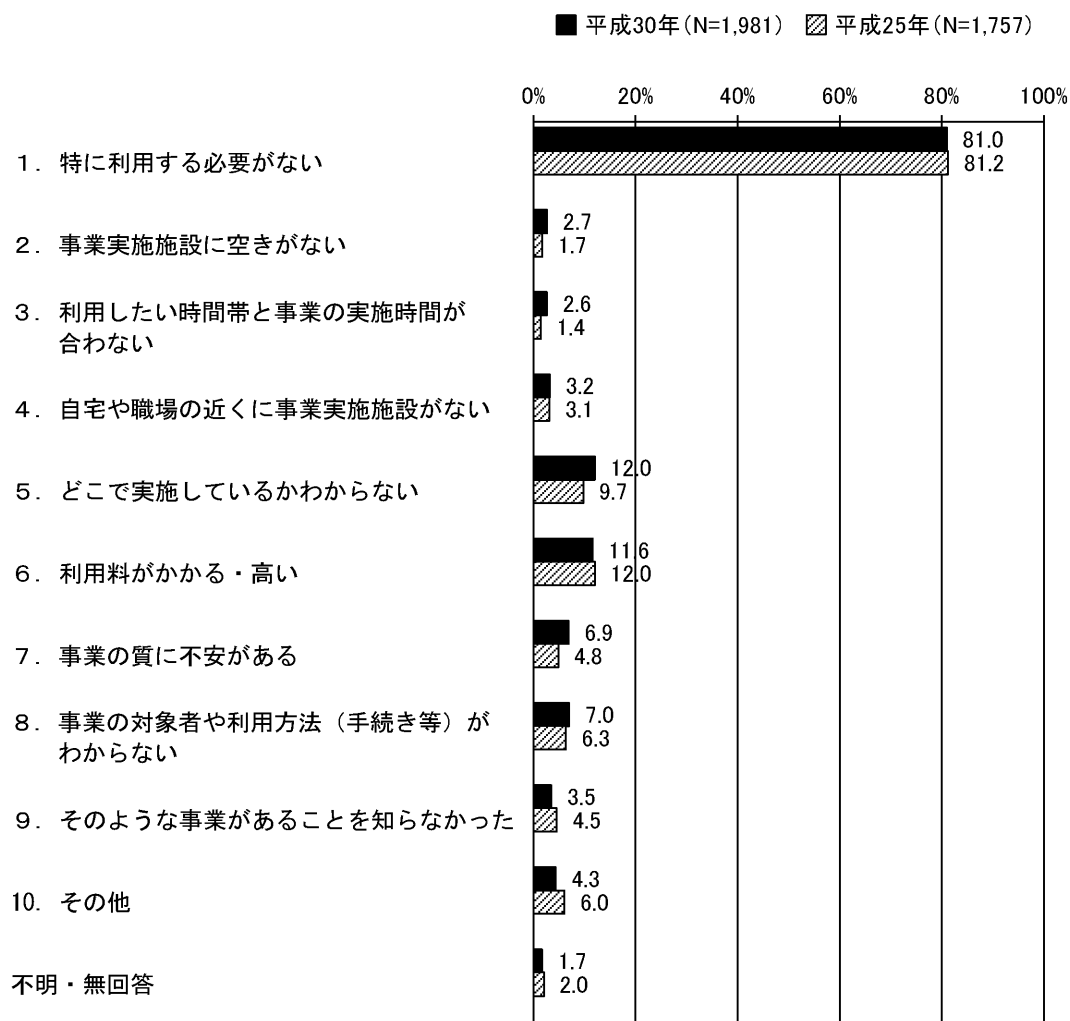
6. その他



問 16(2) 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

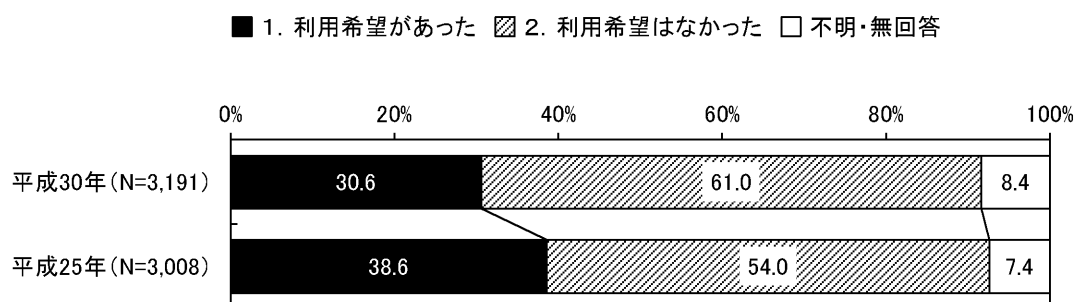
「1. 特に利用する必要がない」が81.0%と最も高く、次いで「5. どこで実施しているかわからない」が12.0%、「6. 利用料がかかる・高い」が11.6%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

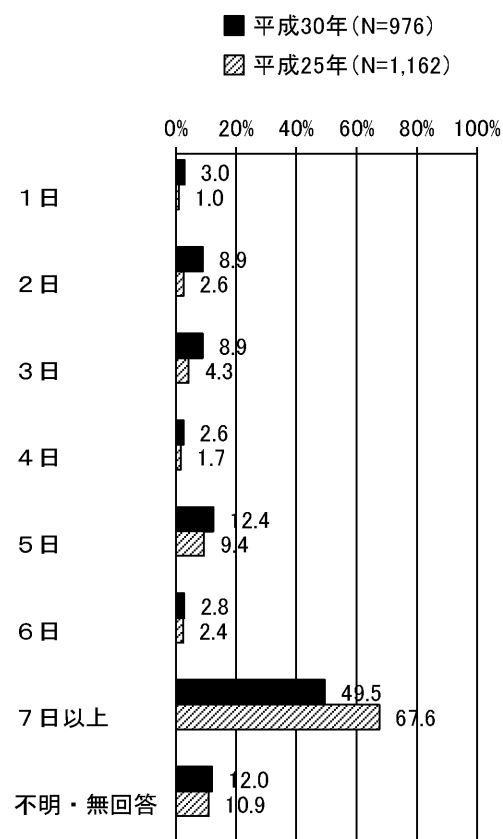


問 17(1) この１年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由により、宛名のお子さまを日中一時的に預かる事業を利用したいと思ったことはありますか。（○は１つ）
 利用を希望した場合は、年間の希望日数とその理由別の希望日数（半日程度でも１日としてカウント）を（ ）内にご記入ください。

「１．利用希望があった」が 30.6%、「２．利用希望はなかった」が 61.0%となっています。
 平成 25 年と比較すると、「１．利用希望があった」が 8.0 ポイント低くなっています。
 年間の希望日数は、「７日以上」が 49.5%と最も高く、次いで「５日」が 12.4%となっています。
 平成 25 年と比較すると、「７日以上」が 18.1 ポイント低くなっています。



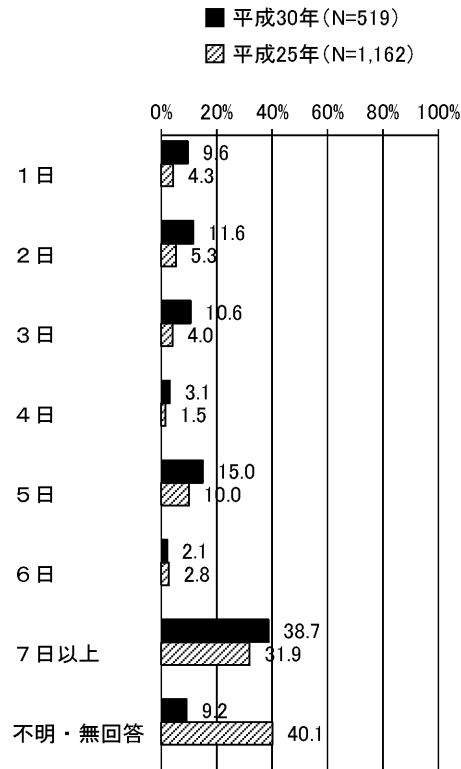
◆「１」の場合）年間の希望日数



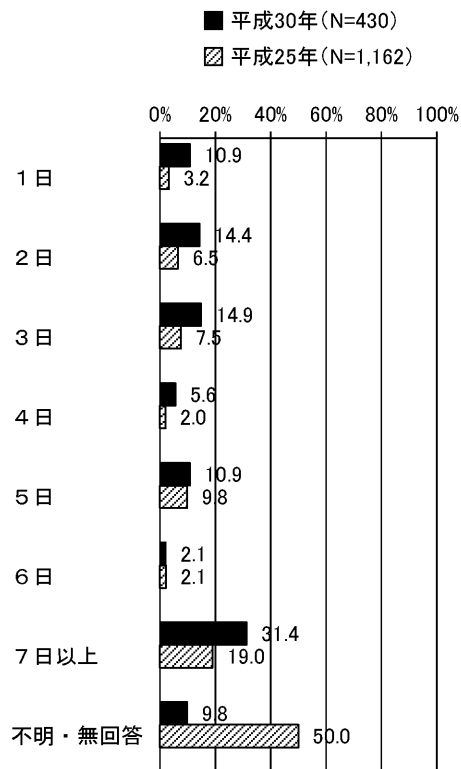
いずれの理由も「7日以上」の割合が最も高くなっています。

◆(「1」の場合)理由別の年間希望日数

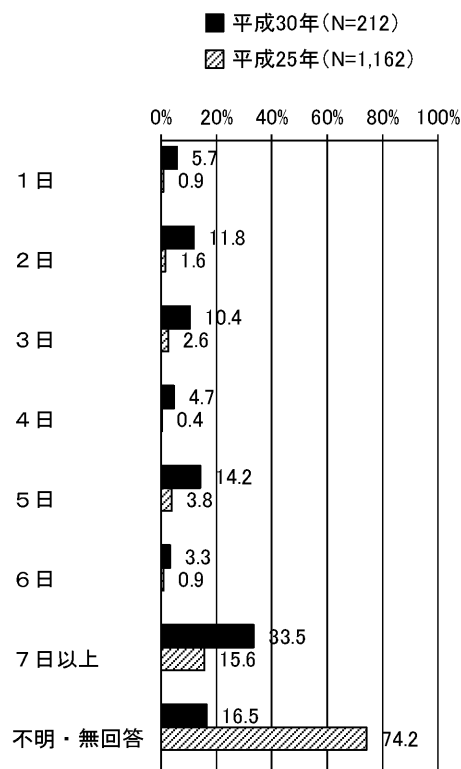
①私用, リフレッシュ目的



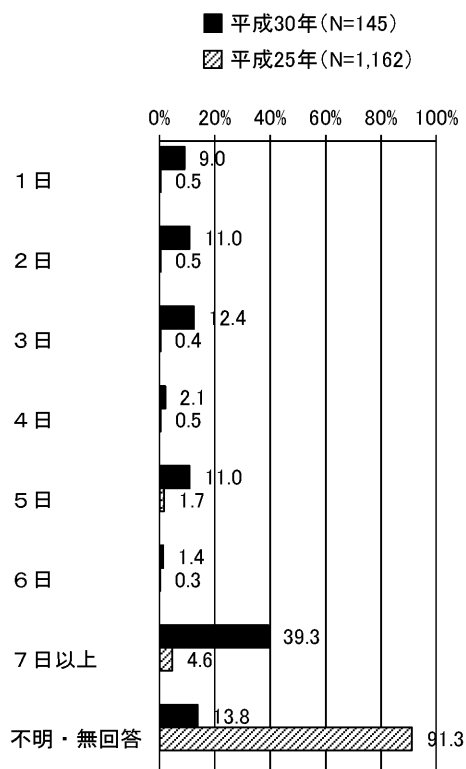
②冠婚葬祭, 兄弟姉妹の学校行事,
保護者や兄弟姉妹の病気等



③不定期の就労



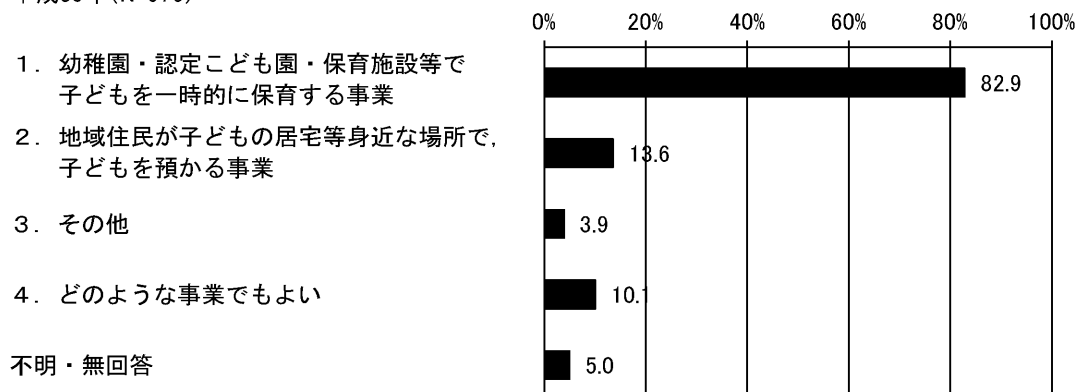
④その他



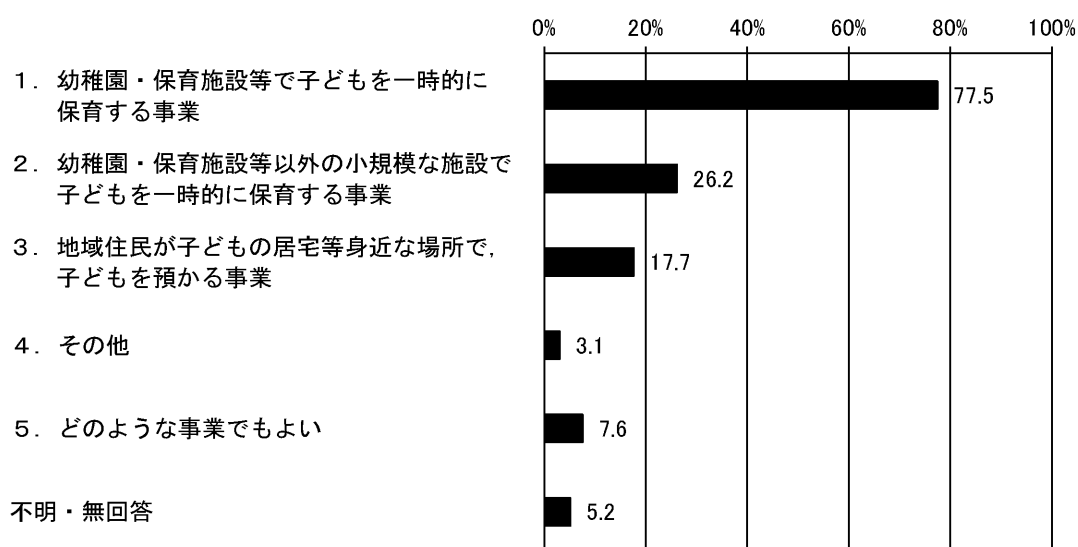
問 17(2) 日中に一時的にお子さまを預ける場合に利用したい事業はどれですか。(〇はいくつでも)

「1. 幼稚園・認定こども園・保育施設等で子どもを一時的に保育する事業」が 82.9%と最も高く、次いで「2. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業」が 13.6%、「4. どのような事業でもよい」が 10.1%となっています。

平成30年(N=976)



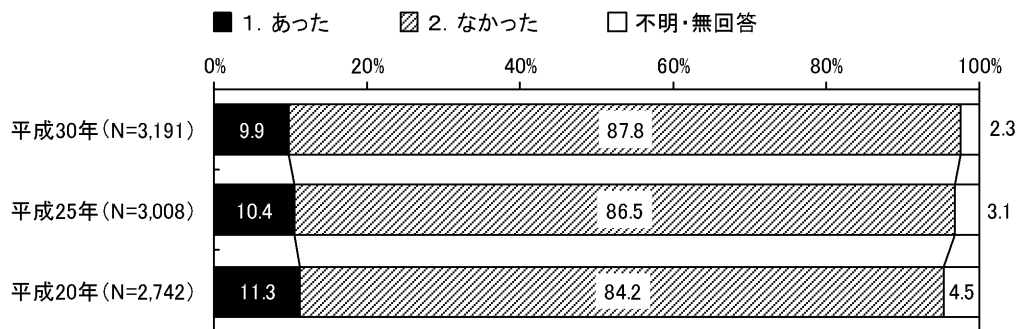
平成25年(N=1,162)



7 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて

問 18(1) この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、宛名のお子さまを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む。）はありましたか。（〇は1つ）

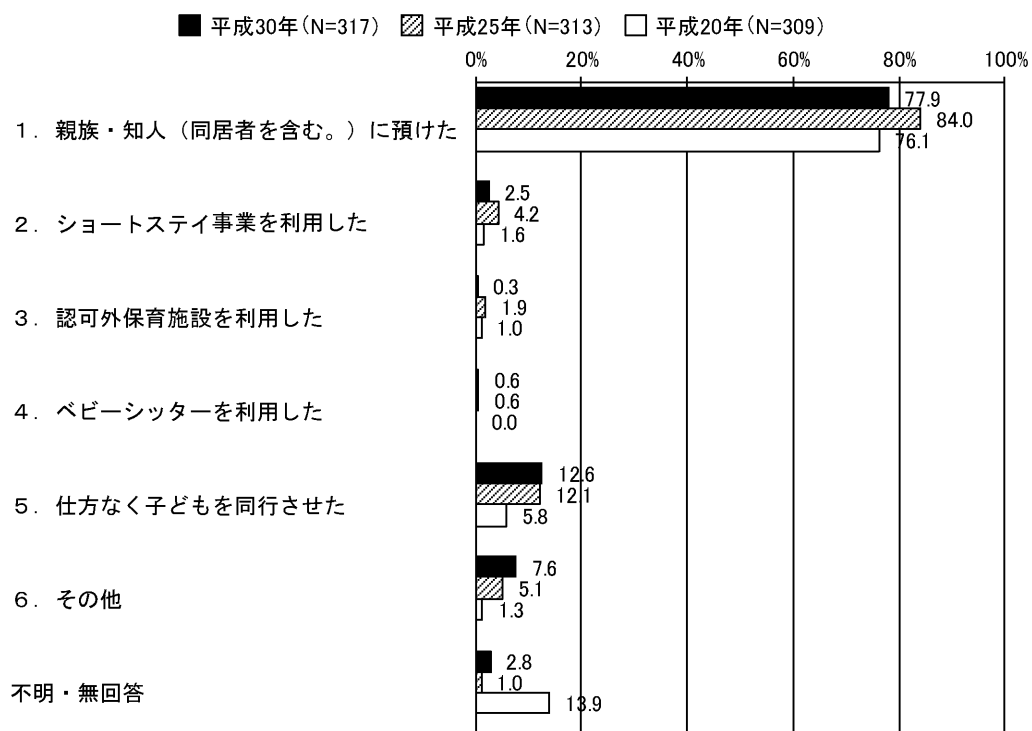
「1. あった」が9.9%、「2. なかった」が87.8%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 18(2) この1年間の対処方法についてお答えください。（〇はいくつでも）また、（ ）内にそれぞれの泊数をご記入ください。

その他を除き、「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が77.9%と最も高く、次いで「5. 仕方なく子どもを同行させた」が12.6%、「2. ショートステイ事業を利用した」が2.5%となっています。

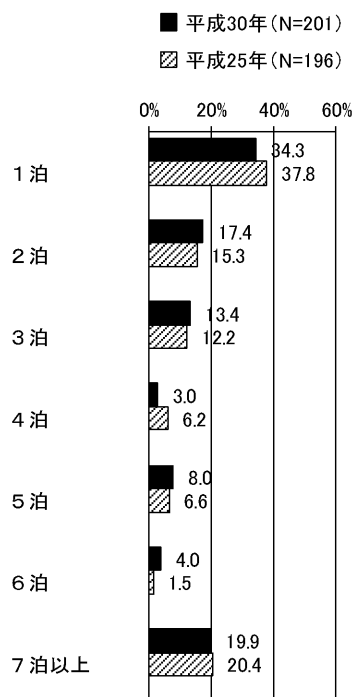
平成25年と比較すると、「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が6.1ポイント低く、平成20年と比較すると、「5. 仕方なく子どもを同行させた」が6.8ポイント高くなっています。



年間の泊数は、『1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた』『5. 仕方なく子どもを同行させた』では「1泊」の割合が最も高くなっています。

◆年間の泊数

1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた



2. ショートステイ事業を利用した

平成30年(N=8)

	件数
7泊以上	1
不明・無回答	7

3. 認可外保育施設を利用した

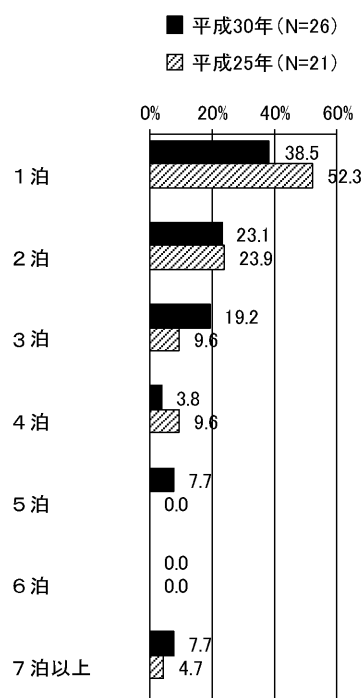
平成30年(N=1)

	件数
4泊	1

4. ベビーシッターを利用した

有効回答はありません。

5. 仕方なく子どもを同行させた



6. その他

平成30年(N=5)

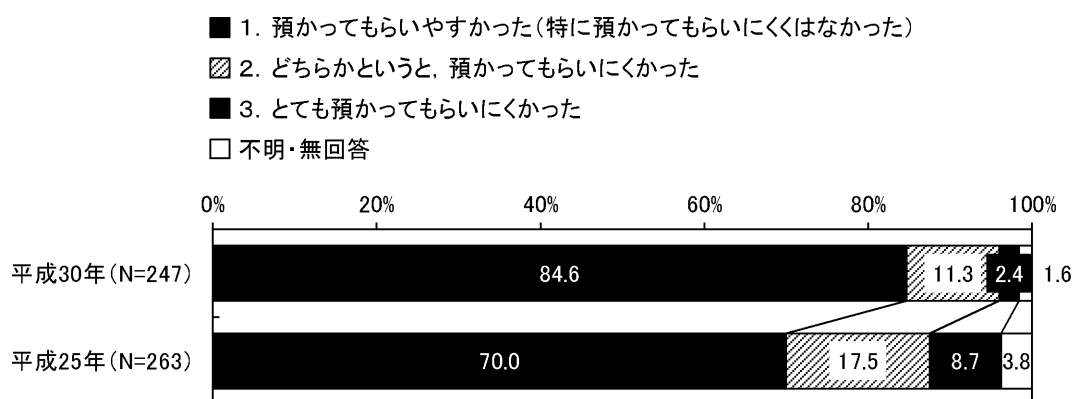
	件数
1泊	3
6泊	1
7泊以上	1

※不明・無回答除く

問 18(3) その際は預かってもらいやすい状況でしたか。(〇は1つ)

「1. 預かってもらいやすかった（特に預かってもらいにくくはなかった）」が 84.6%と最も高く、次いで「2. どちらかというと、預かってもらいにくかった」が 11.3%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 預かってもらいやすかった（特に預かってもらいにくくはなかった）」が 14.6 ポイント高くなっています。



8 地域の子育て支援のための事業の利用等について

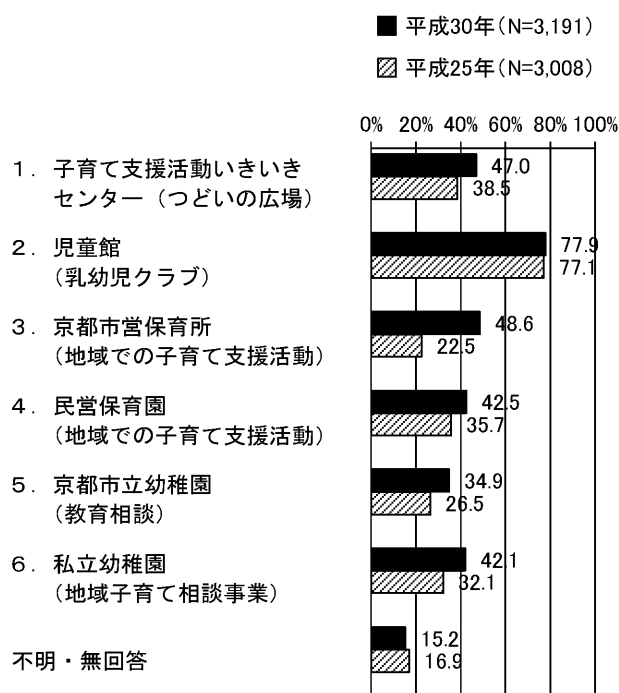
問 19(1) 地域の子育て支援事業の利用等について、「A」及び「B-1」についてお答えください。

(○はそれぞれいくつでも)すでに利用している場合は、「現在」と「希望」の利用回数を「B-2」の()内にご記入ください。

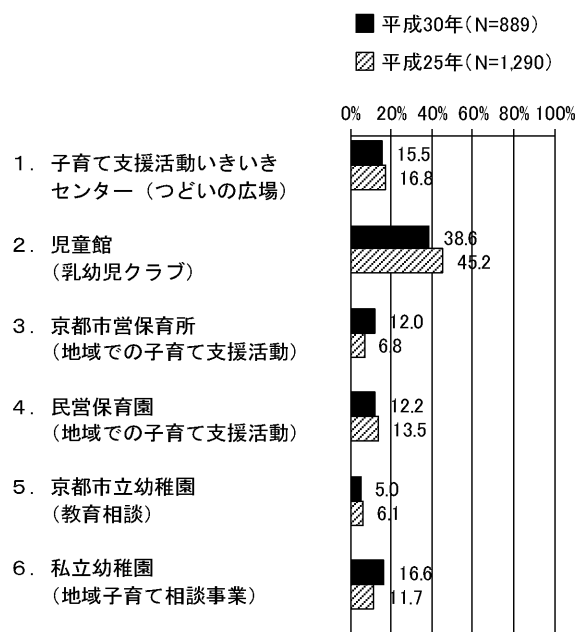
A 知っている事業は、「2. 児童館(乳幼児クラブ)」が 77.9%と最も高く、次いで「3. 京都市営保育所(地域での子育て支援活動)」が 48.6%、「1. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)」が 47.0%となっています。平成 25 年と比較すると、「3. 京都市営保育所(地域での子育て支援活動)」が 26.1 ポイント、「1. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)」が 8.5 ポイント高くなっています。

B-1 利用している事業は、「2. 児童館(乳幼児クラブ)」が 38.6%と最も高く、次いで「6. 私立幼稚園(地域子育て相談事業)」が 16.6%、「1. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)」が 15.5%となっています。平成 25 年と比較すると、「2. 児童館(乳幼児クラブ)」が 6.6 ポイント低くなっています。

◆A 知っている



◆B-1 利用している



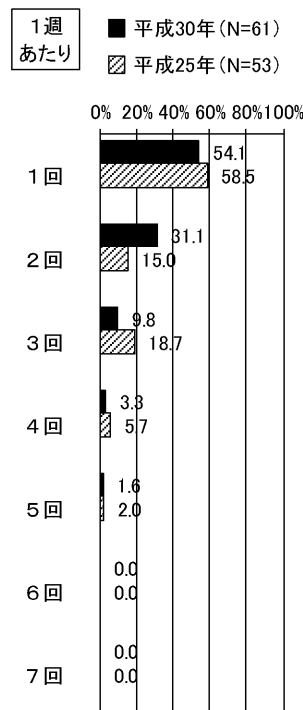
※「3. 京都市営保育所(地域での子育て支援活動)」…平成 25 年は「3. 京都市営保育所(あい・京(みやこ)プラザ)」

※「B-1 利用している」は不明・無回答除く

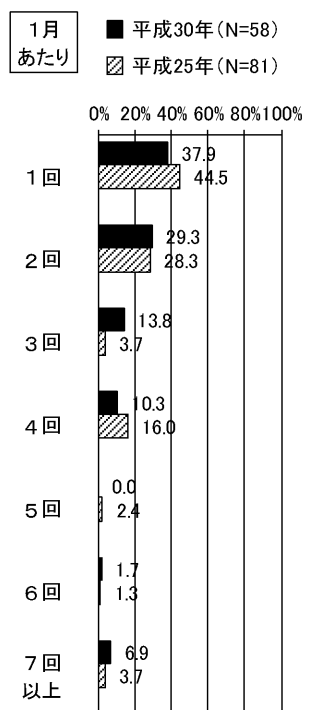
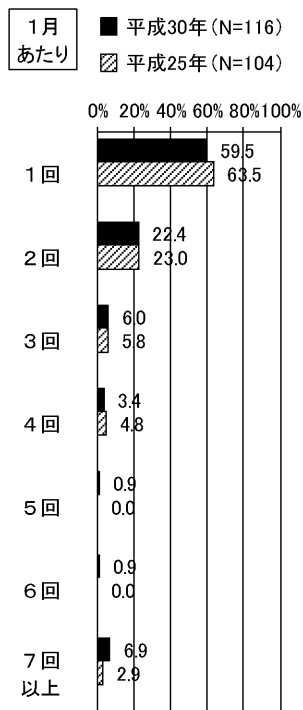
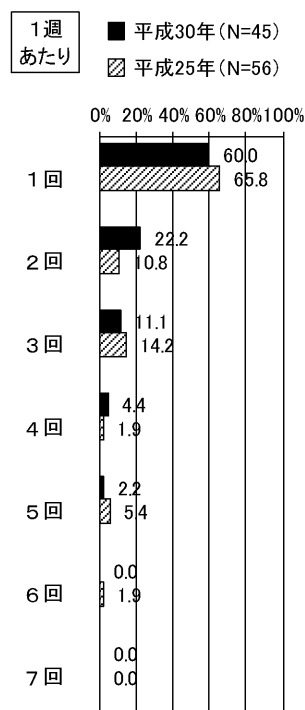
◆B-2 利用している場合のおおよその利用回数

1. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)

【現在】

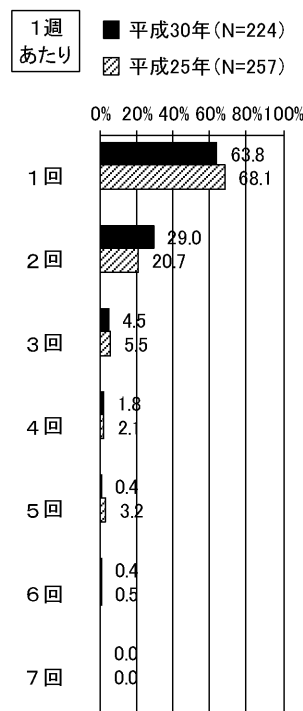


【希望】

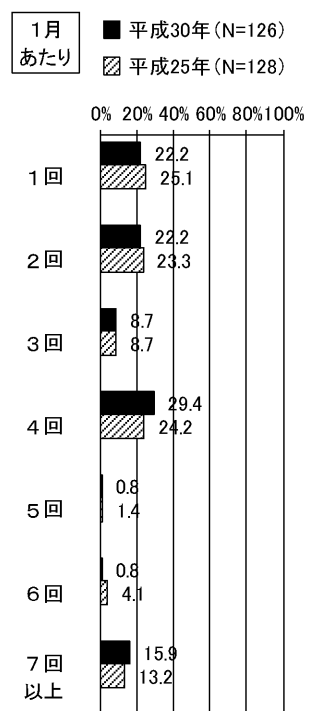
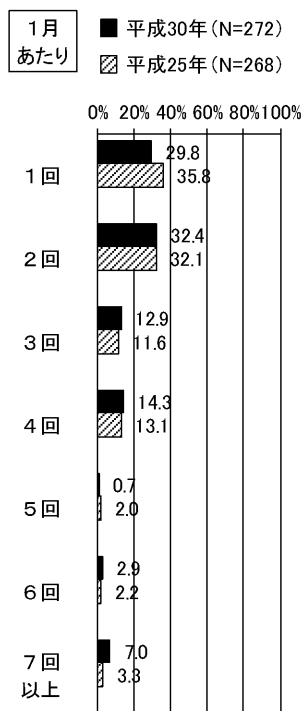
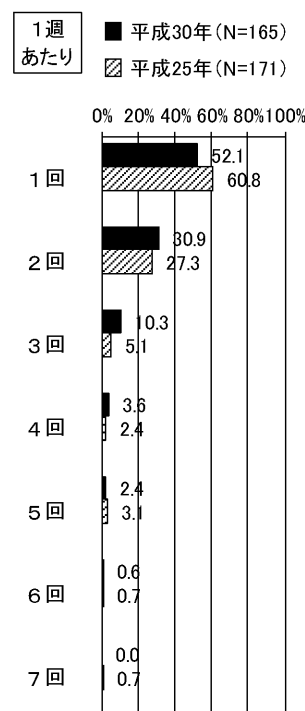


2. 児童館(乳幼児クラブ)

【現在】



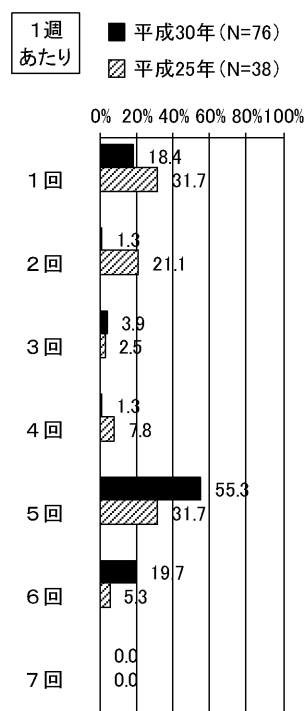
【希望】



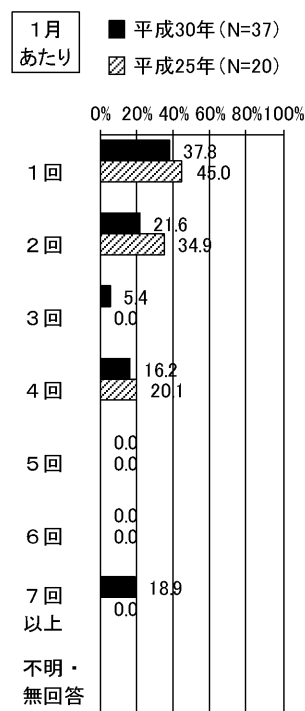
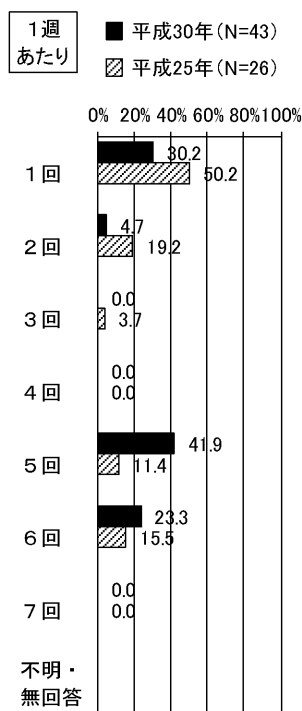
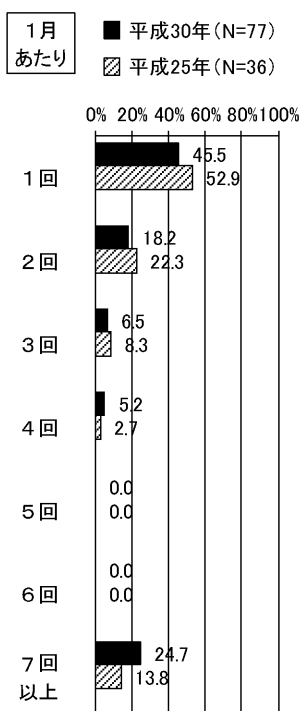
※不明・無回答除く

3. 京都市営保育所(地域での子育て支援活動)(平成25年:「京都市営保育所(あい・京(みやこ)プラザ)」)

【現在】

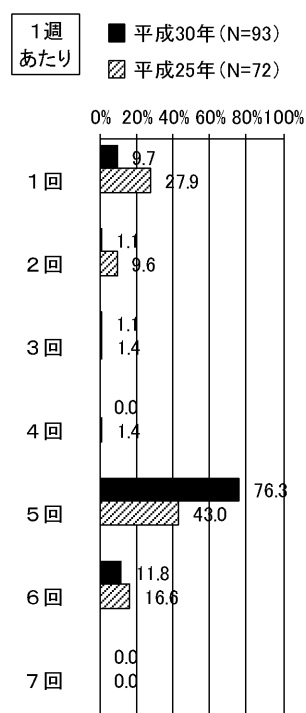


【希望】

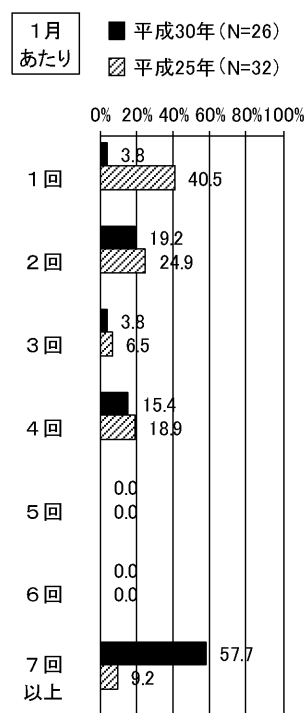
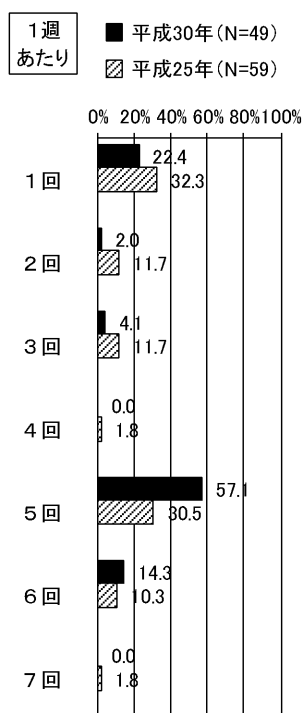
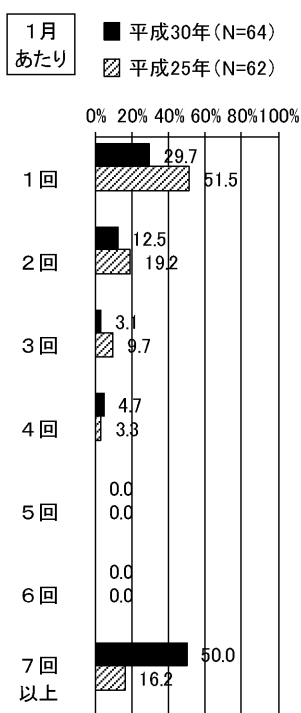


4. 民営保育園(地域での子育て支援活動)

【現在】



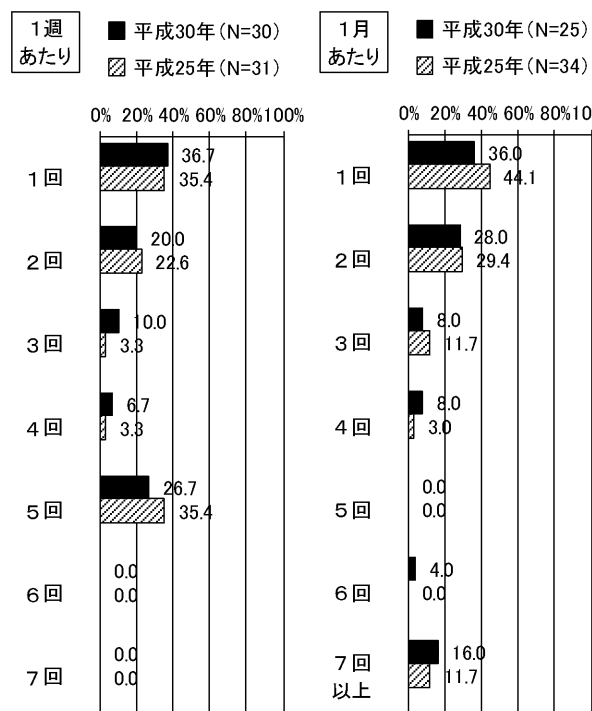
【希望】



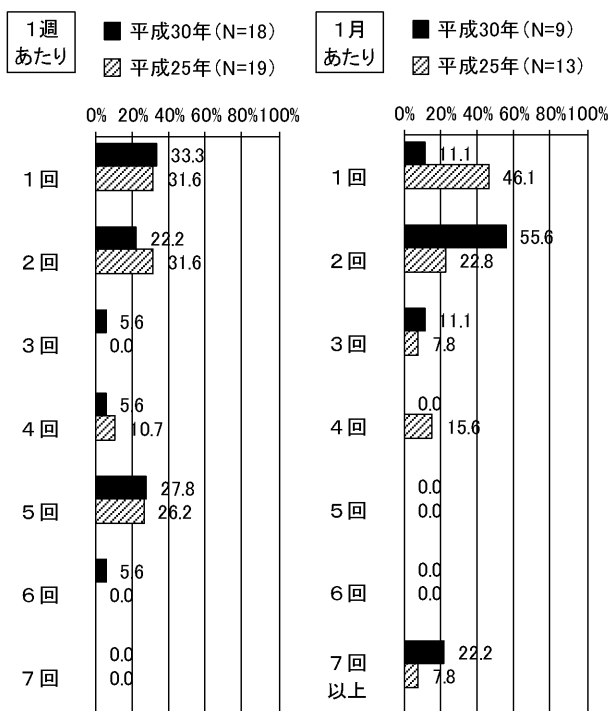
※不明・無回答除く

5. 京都市立幼稚園(教育相談)

【現在】

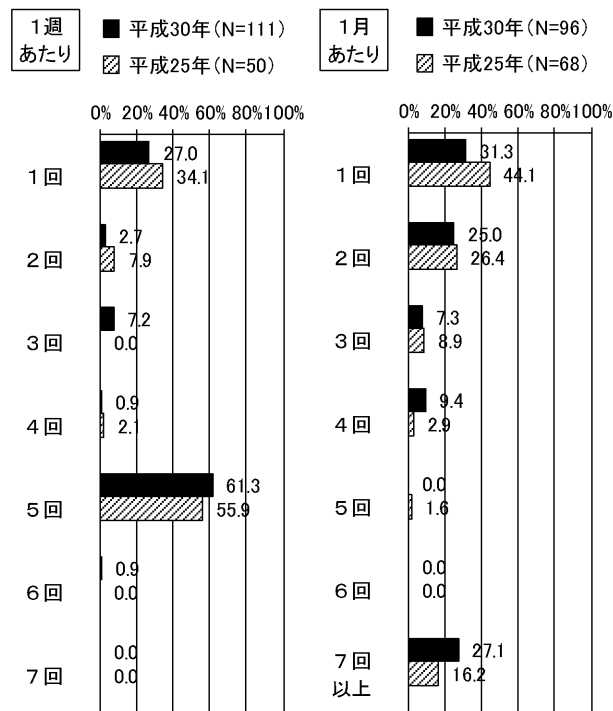


【希望】

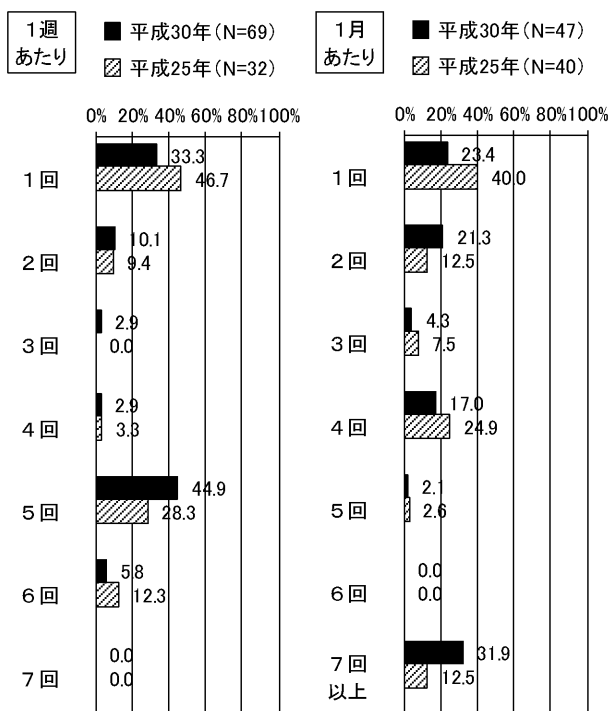


6. 私立幼稚園(地域子育て相談事業)

【現在】



【希望】

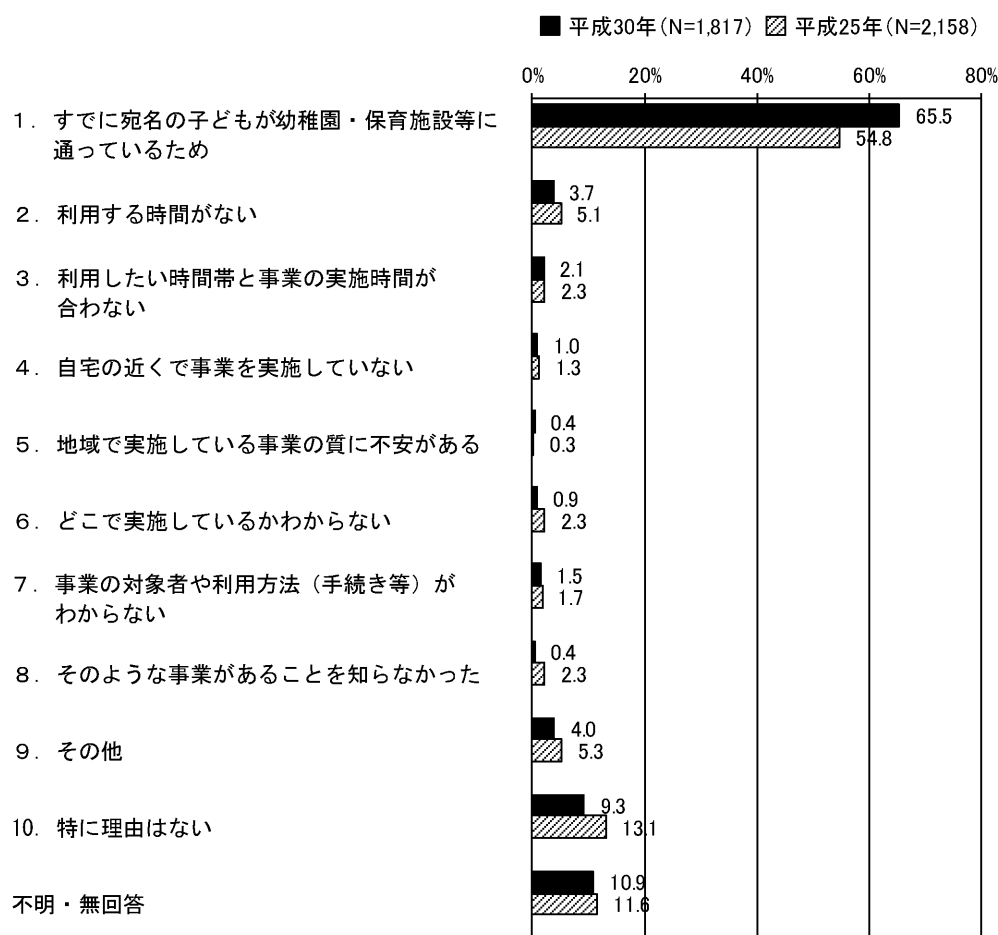


※不明・無回答除く

問 19(2) 現在事業を利用していない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

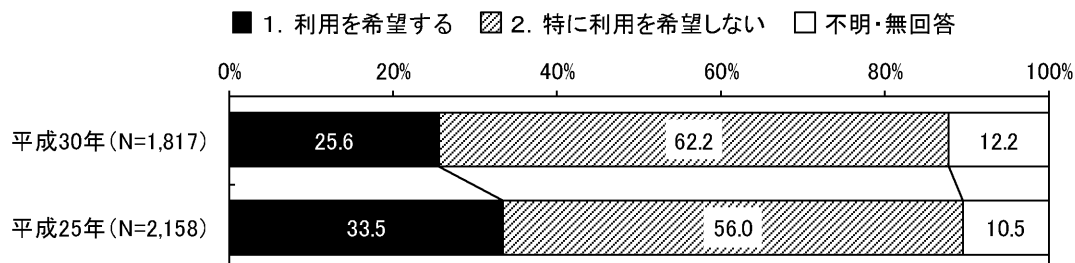
その他を除き、「1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が 65.5%と最も高く、次いで「10. 特に理由はない」が 9.3%、「2. 利用する時間がない」が 3.7%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が 10.7 ポイント高くなっています。



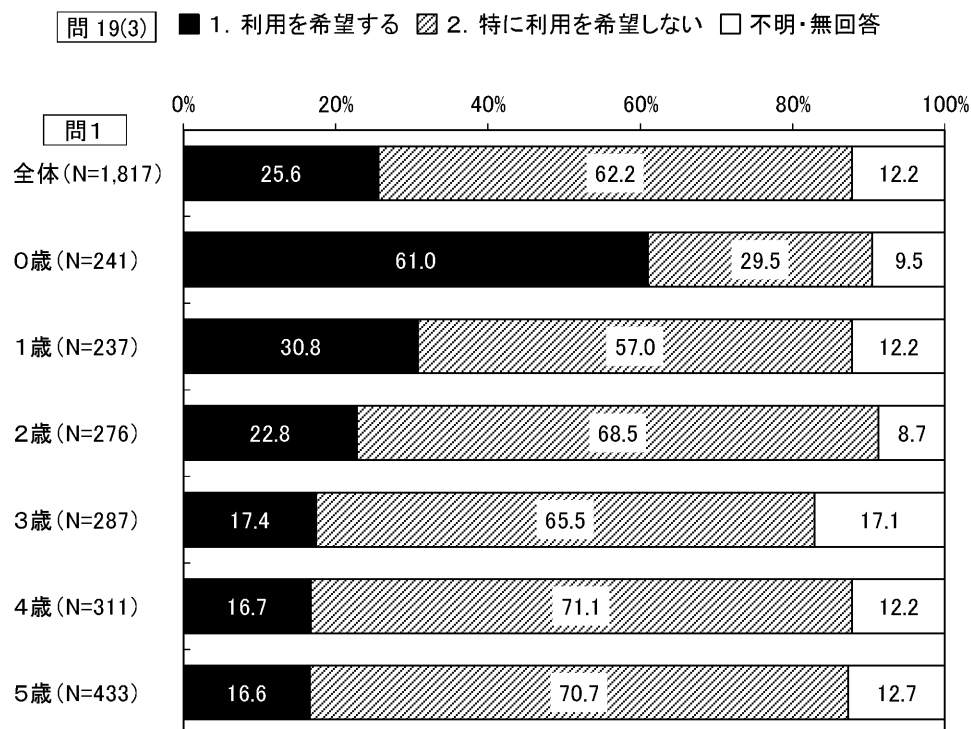
問 19(3) 今後、これらの事業の利用を希望しますか。(○は1つ)

「1. 利用を希望する」が25.6%、「2. 特に利用を希望しない」が62.2%となっています。
平成25年と比較すると、「1. 利用を希望する」が7.9ポイント低くなっています。



《問 19(3)×問 1 子どもの年齢別》

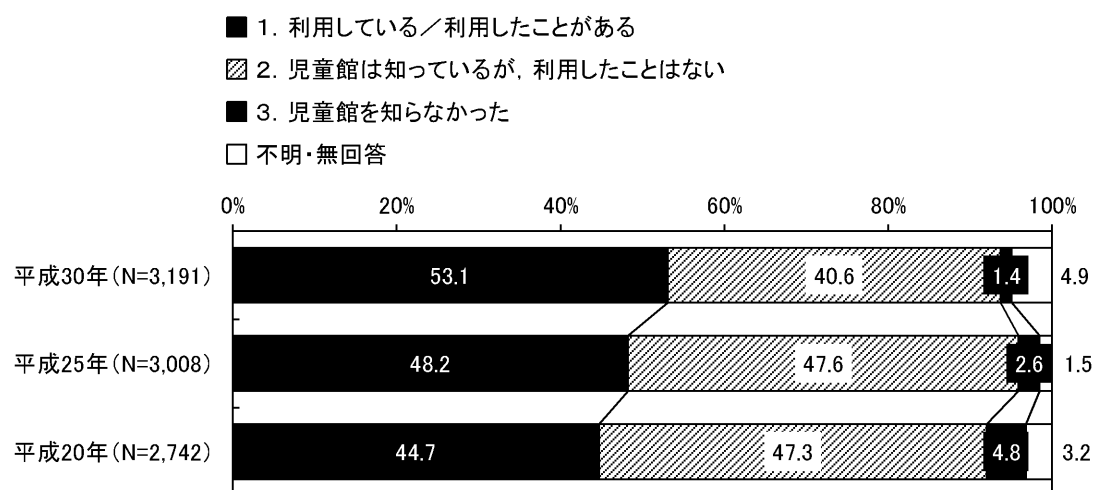
子どもの年齢が上がるほど「1. 利用を希望する」の割合が低くなる傾向がみられます。



問 20(1) 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の設置・運営を行っています。宛名のお子さまは、これまでに児童館を利用したことがありますか。(〇は1つ)

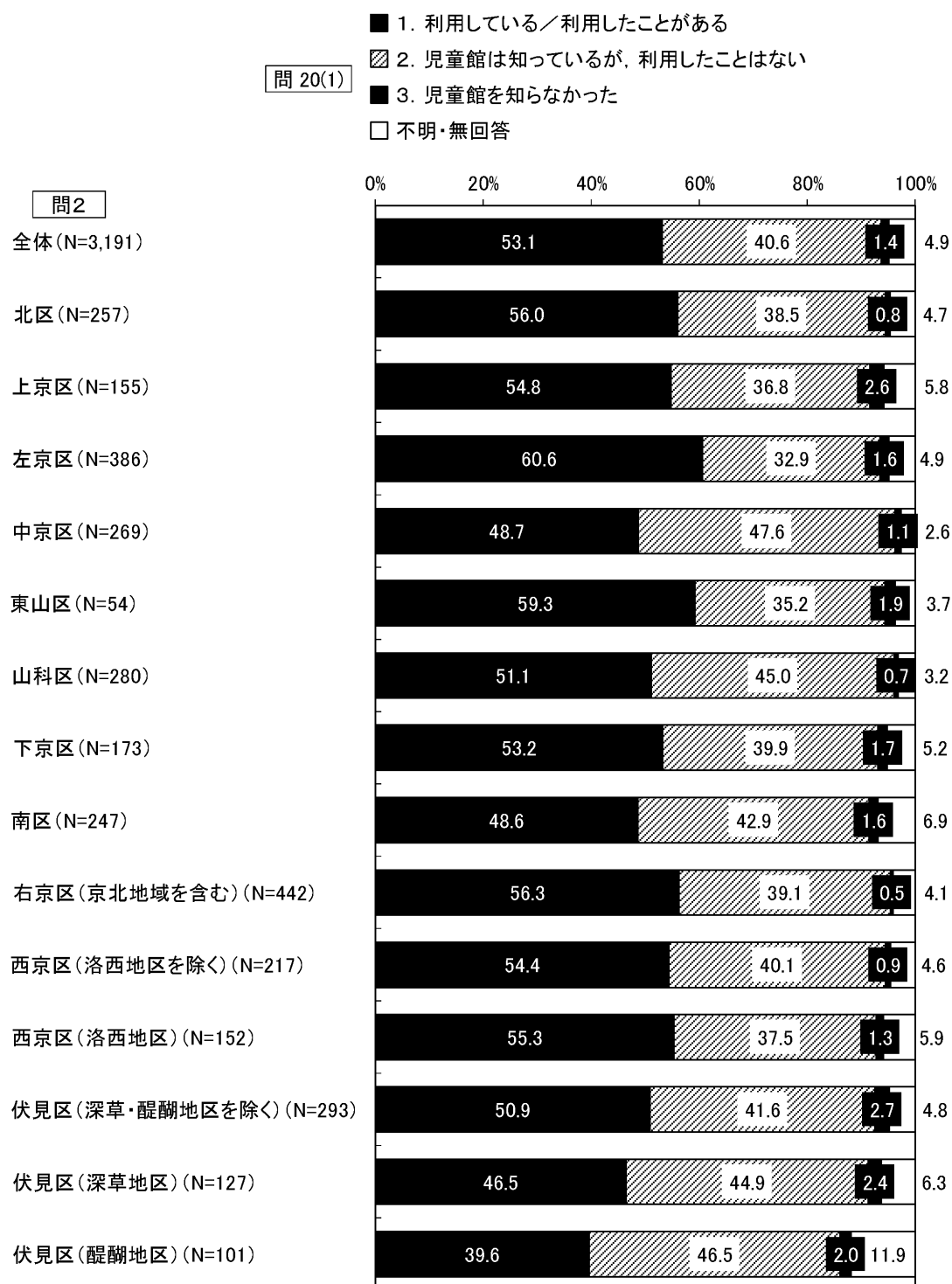
「1. 利用している／利用したことがある」が53.1%と最も高く、次いで「2. 児童館は知っているが、利用したことはない」が40.6%となっています。

過去調査と比較すると、「1. 利用している／利用したことがある」が平成25年より4.9ポイント、平成20年より8.4ポイント高くなっています。



《問 20(1)×問 2 居住区別》

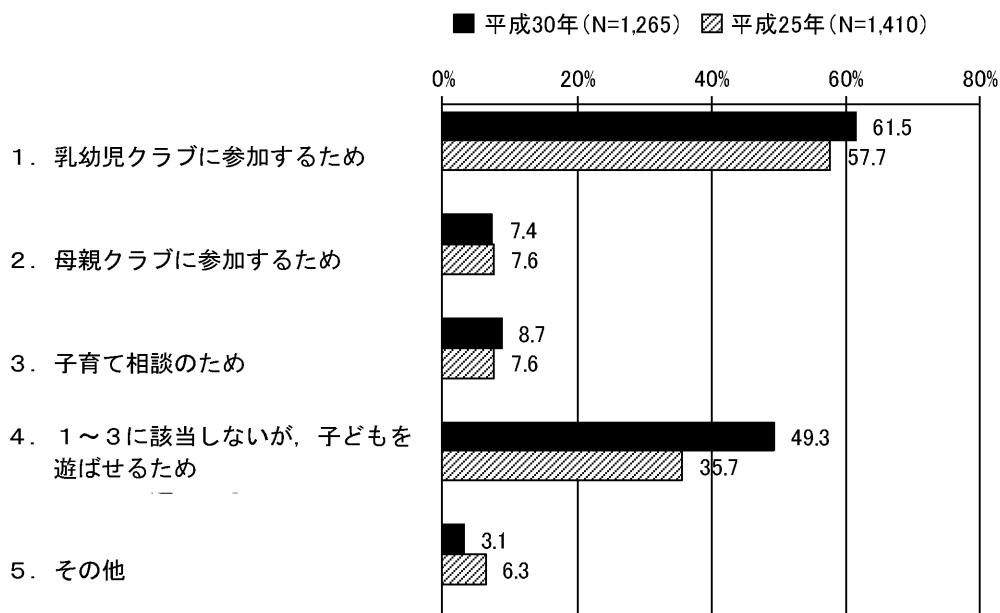
『伏見区（醍醐地区）』で「1. 利用している／利用したことがある」の割合が他の区分に比べ低くなっています。



問 20(2) どのような目的で利用しましたか。(〇はいくつでも)

「1. 乳幼児クラブに参加するため」が61.5%と最も高く、次いで「4. 1～3に該当しないが、子どもを遊ばせるため」が49.3%、「3. 子育て相談のため」が8.7%となっています。

平成25年と比較すると、「4. 1～3に該当しないが、子どもを遊ばせるため」が13.6ポイント高くなっています。

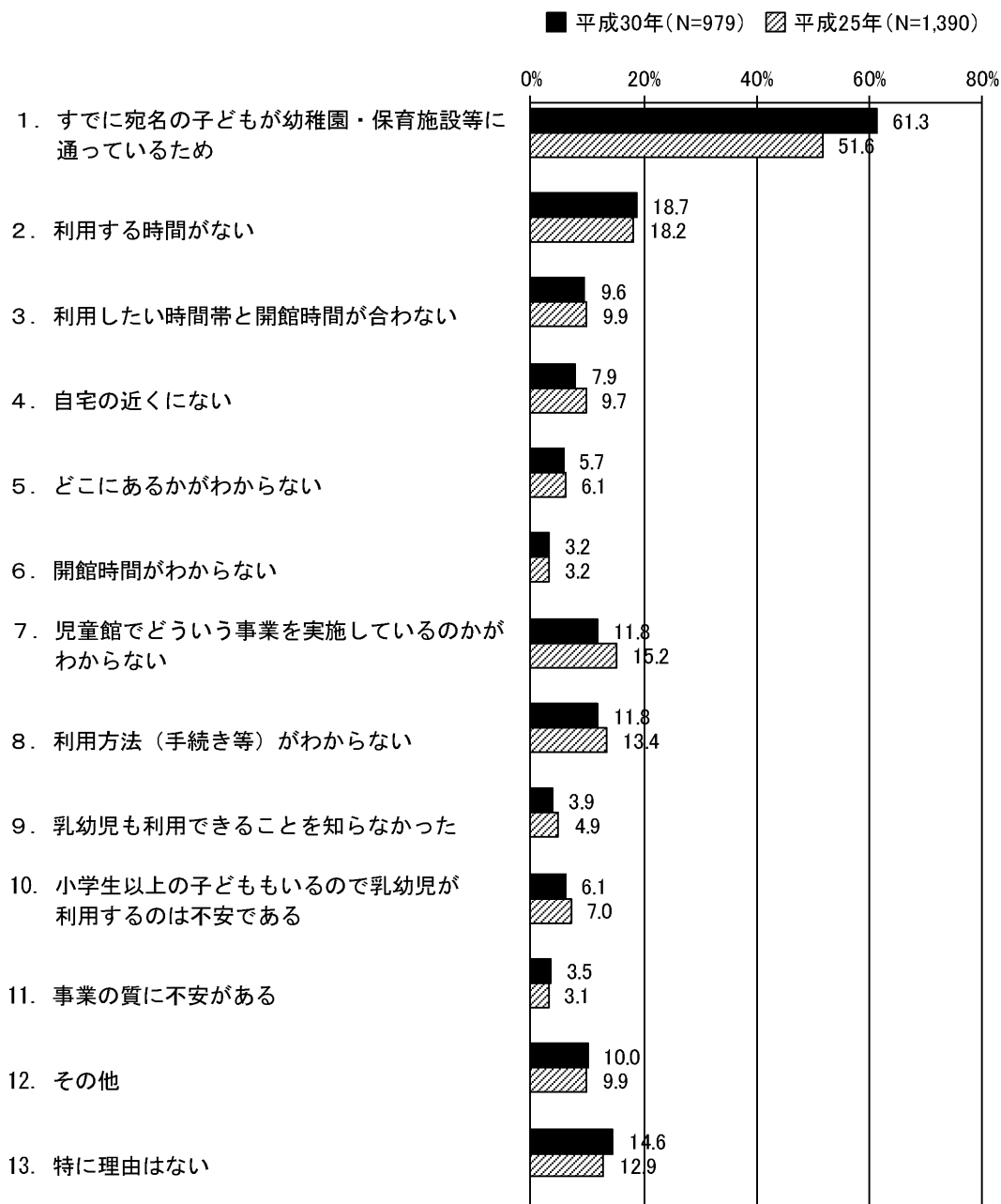


※不明・無回答除く

問 20(3) 宛名のお子さまが児童館を利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が61.3%と最も高く、次いで「2. 利用する時間がない」が18.7%、「13. 特に理由はない」が14.6%となっています。

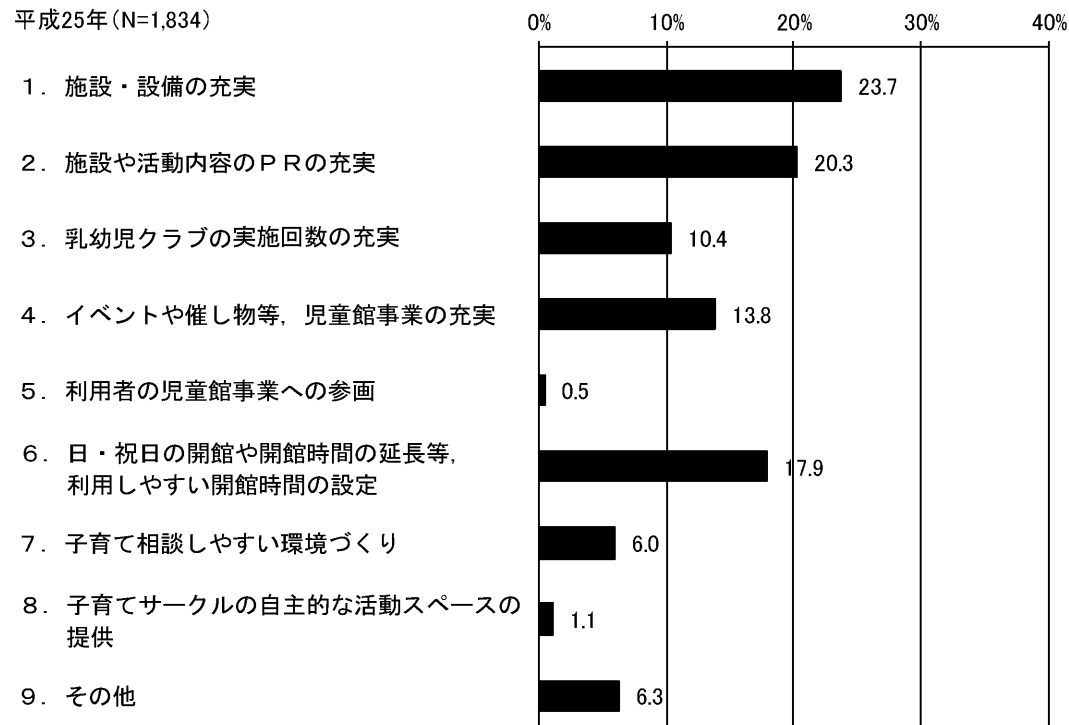
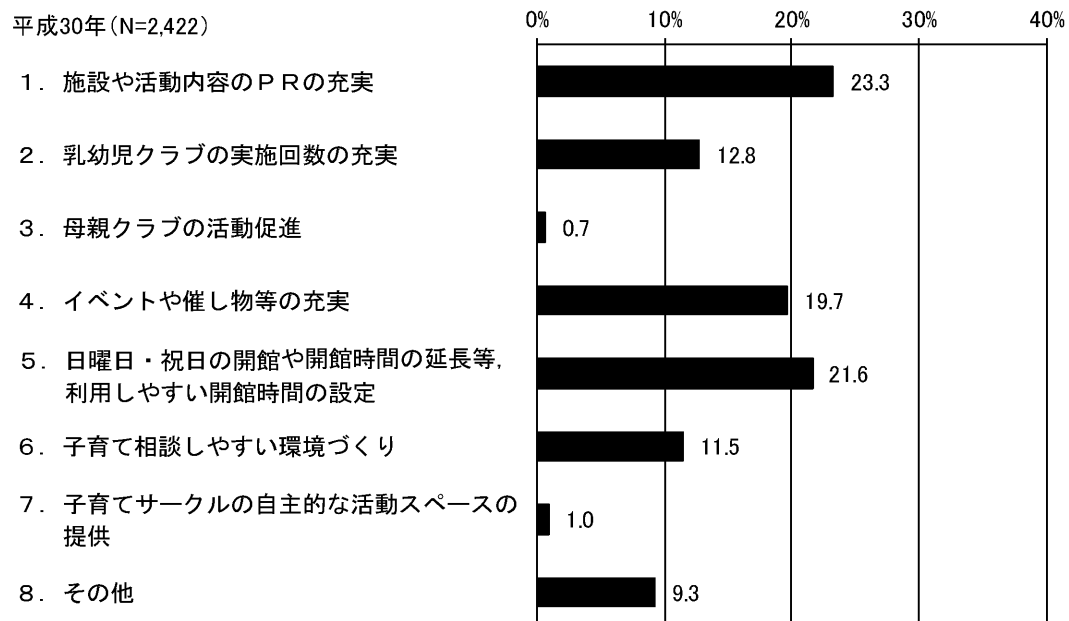
平成25年と比較すると、「1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が9.7ポイント高くなっています。



※不明・無回答除く

問 20(4) 児童館を利用しやすくするために最も期待することは何ですか。(○は1つ)

「1. 施設や活動内容のPRの充実」が23.3%と最も高く、次いで「5. 日曜日・祝日の開館や開館時間の延長等, 利用しやすい開館時間の設定」が21.6%, 「4. イベントや催し物等の充実」が19.7%となっています。



※不明・無回答除く

《問 20(4)×問 1 子どもの年齢別》

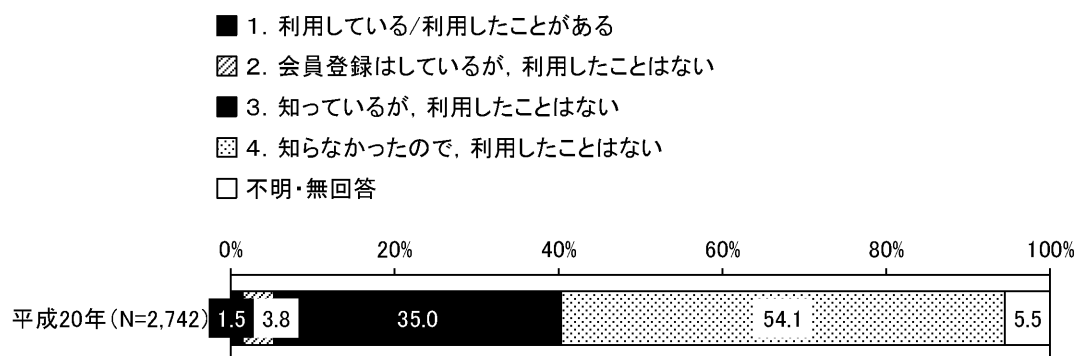
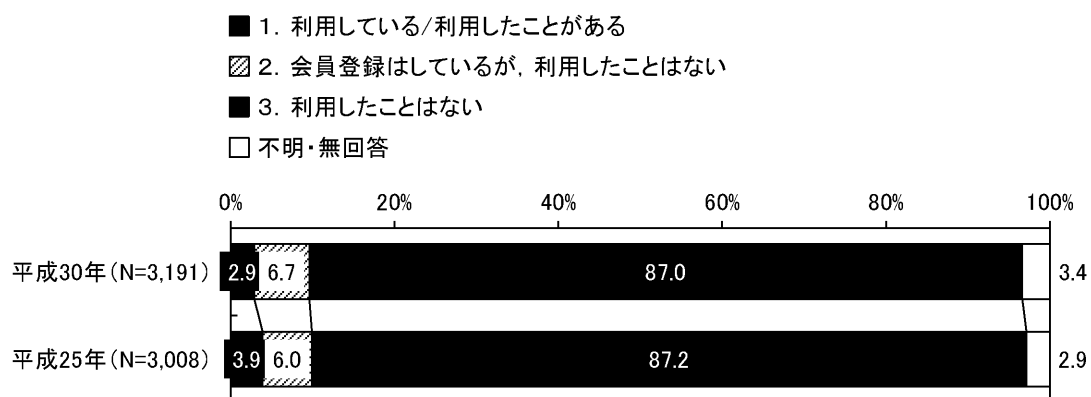
『0歳』『2歳』『5歳』では「施設や活動内容のPRの充実」,『1歳』『3歳』『4歳』では「日曜日・祝日の開館や開館時間の延長等, 利用しやすい開館時間の設定」の割合が最も高くなっています。

	2,989	564	311	17	477	523	279	25	226	567
	100.0	18.9	10.4	0.6	16.0	17.5	9.3	0.8	7.6	19.0
	396	74	62	4	59	49	36	3	32	77
	100.0	18.7	15.7	1.0	14.9	12.4	9.1	0.8	8.1	19.4
	481	83	53	2	77	90	36	5	31	104
	100.0	17.3	11.0	0.4	16.0	18.7	7.5	1.0	6.4	21.6
	493	96	52	1	73	94	46	5	38	88
	100.0	19.5	10.5	0.2	14.8	19.1	9.3	1.0	7.7	17.8
	455	72	55	2	71	78	47	3	30	97
	100.0	15.8	12.1	0.4	15.6	17.1	10.3	0.7	6.6	21.3
	463	90	38	4	73	93	44	5	37	79
	100.0	19.4	8.2	0.9	15.8	20.1	9.5	1.1	8.0	17.1
	655	137	47	4	119	114	66	3	53	112
	100.0	20.9	7.2	0.6	18.2	17.4	10.1	0.5	8.1	17.1

問 21(1) ファミリーサポート事業を利用したことがありますか。(○は1つ)

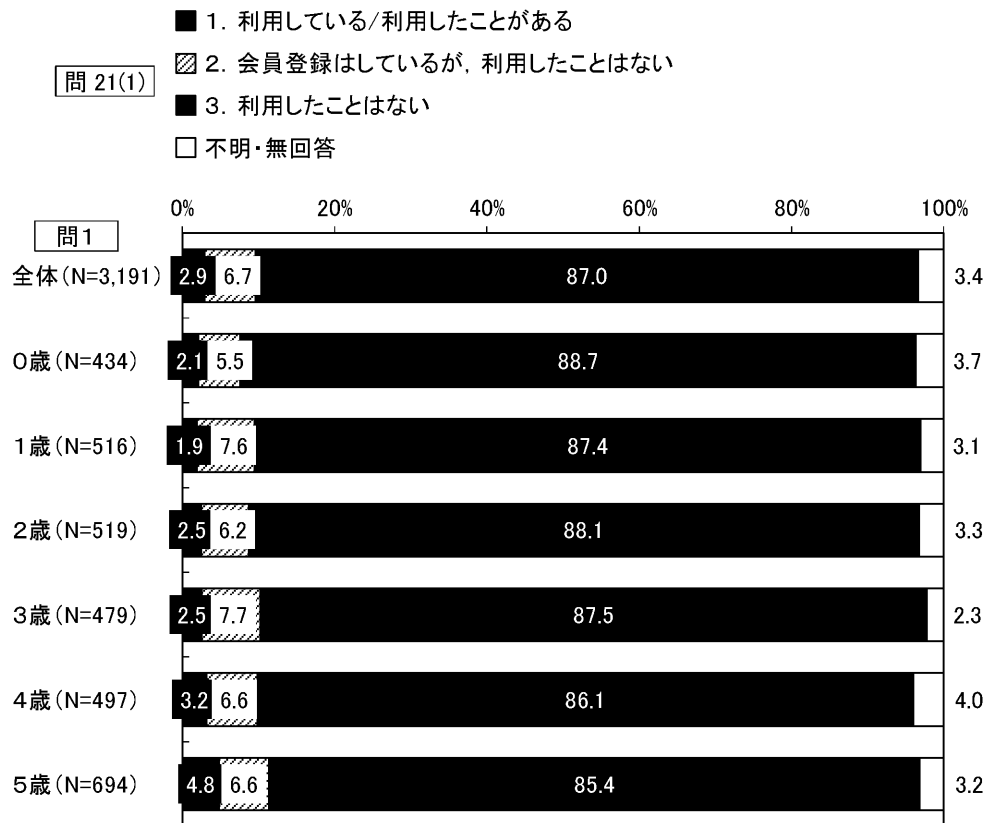
「3. 利用したことはない」が87.0%と最も高く、次いで「2. 会員登録はしているが、利用したことはない」が6.7%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



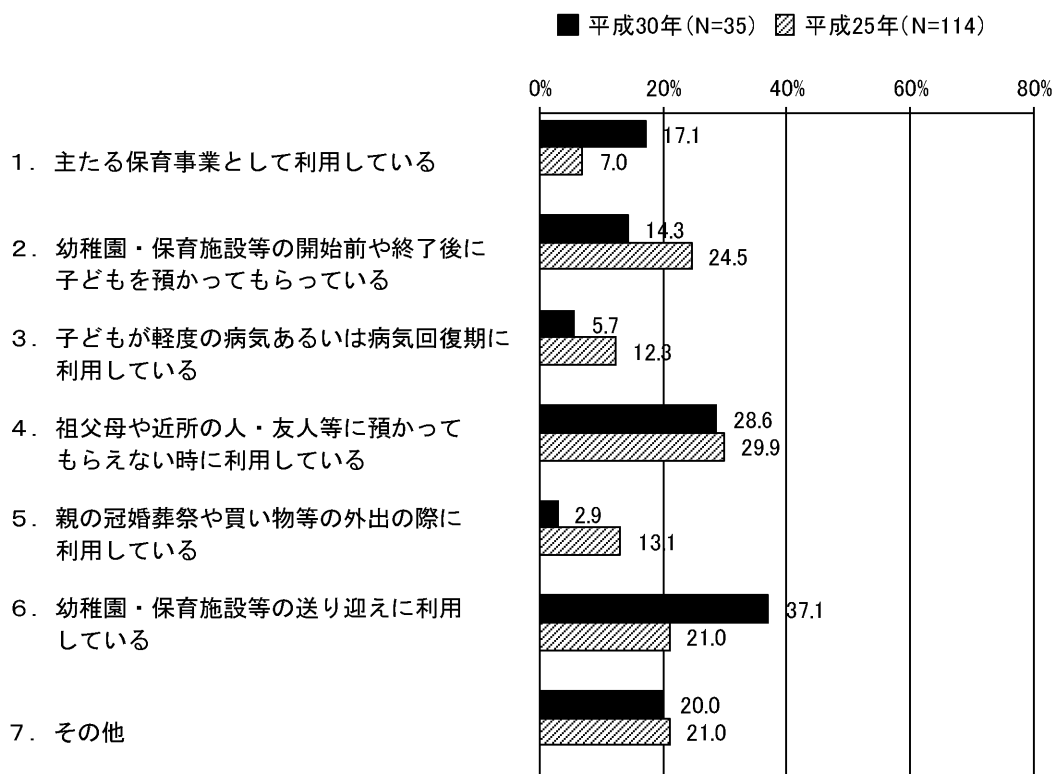
《問 21(1)×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「3. 利用したことはない」の割合が最も高く、年齢による大きな差はみられません。



問 21(2) 事業を利用している目的は何ですか。(〇はいくつでも)

その他を除き、「6. 幼稚園・保育施設等の送り迎えに利用している」が 37.1%と最も高く、次いで「4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している」が 28.6%, 「1. 主たる保育事業として利用している」が 17.1%となっています。

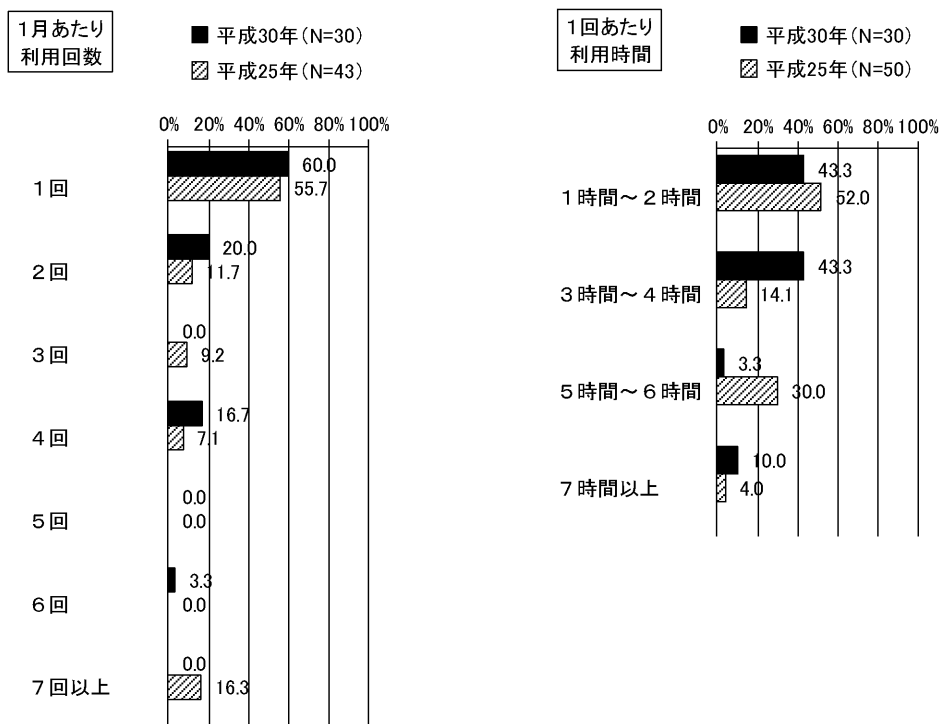


※不明・無回答除く

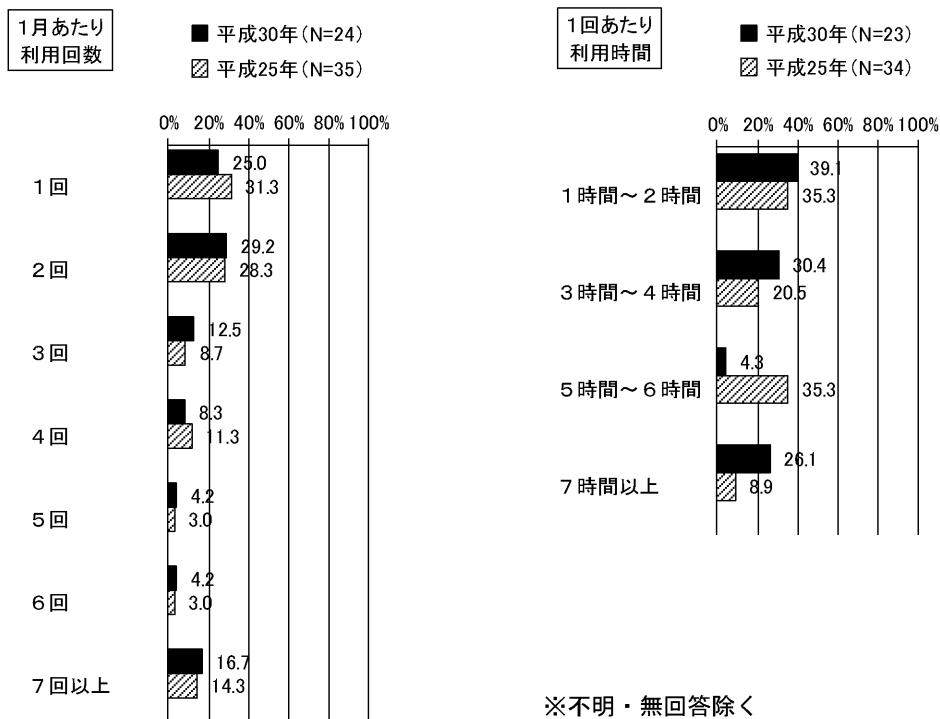
問 21(3) 現在どの程度利用しており、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれの()内に回数と時間をご記入ください。

1月あたりの利用回数は、①現在では「1回」,②希望では「2回」の割合が最も高くなっています。1回あたりの利用時間は、①現在では「1時間～2時間」「3時間～4時間」,②希望では「1時間～2時間」の割合が最も高くなっています。

①現在

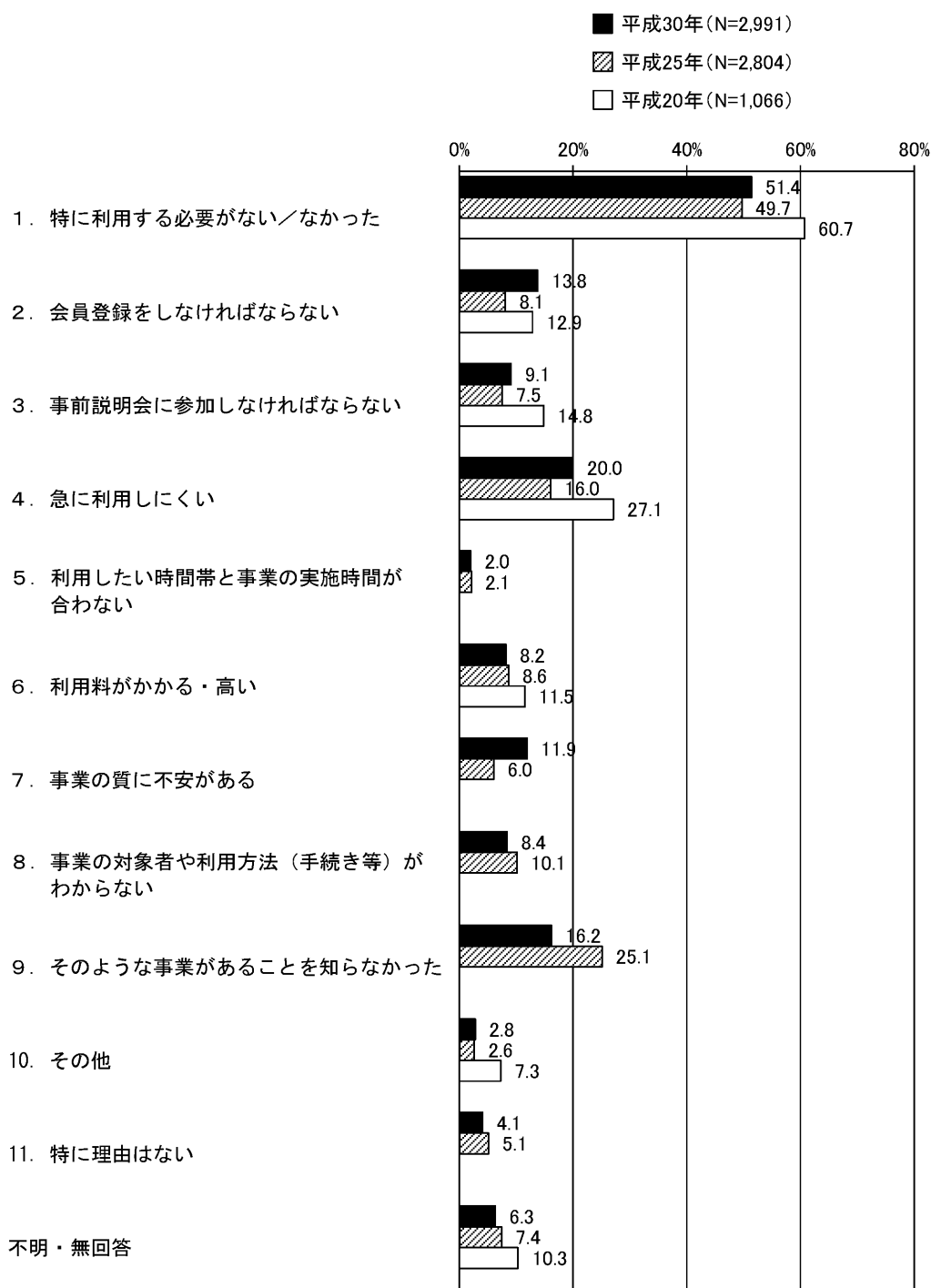


②希望



問 21(4) 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

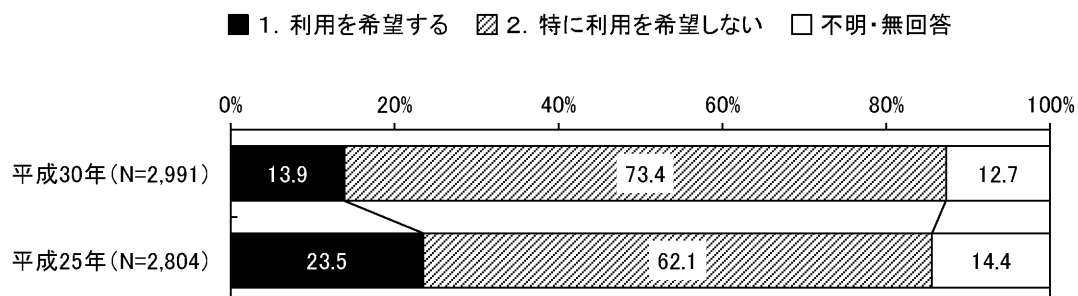
「1. 特に利用する必要がない／なかった」が51.4%と最も高く、次いで「4. 急に利用しにくい」が20.0%, 「9. そのような事業があることを知らなかった」が16.2%となっています。



※「5. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない」「7. 事業の質に不安がある」「8. 事業の対象者や利用方法(手続き等)がわからない」「9. そのような事業があることを知らなかった」「11. 特に理由はない」は平成30年, 平成25年のみの選択肢

問 21(5) 今後、ファミリーサポート事業の利用を希望しますか。(〇は1つ)

「1. 利用を希望する」が 13.9%、「2. 特に利用を希望しない」が 73.4%となっています。
平成 25 年と比較すると、「2. 特に利用を希望しない」が 11.3 ポイント高くなっています。

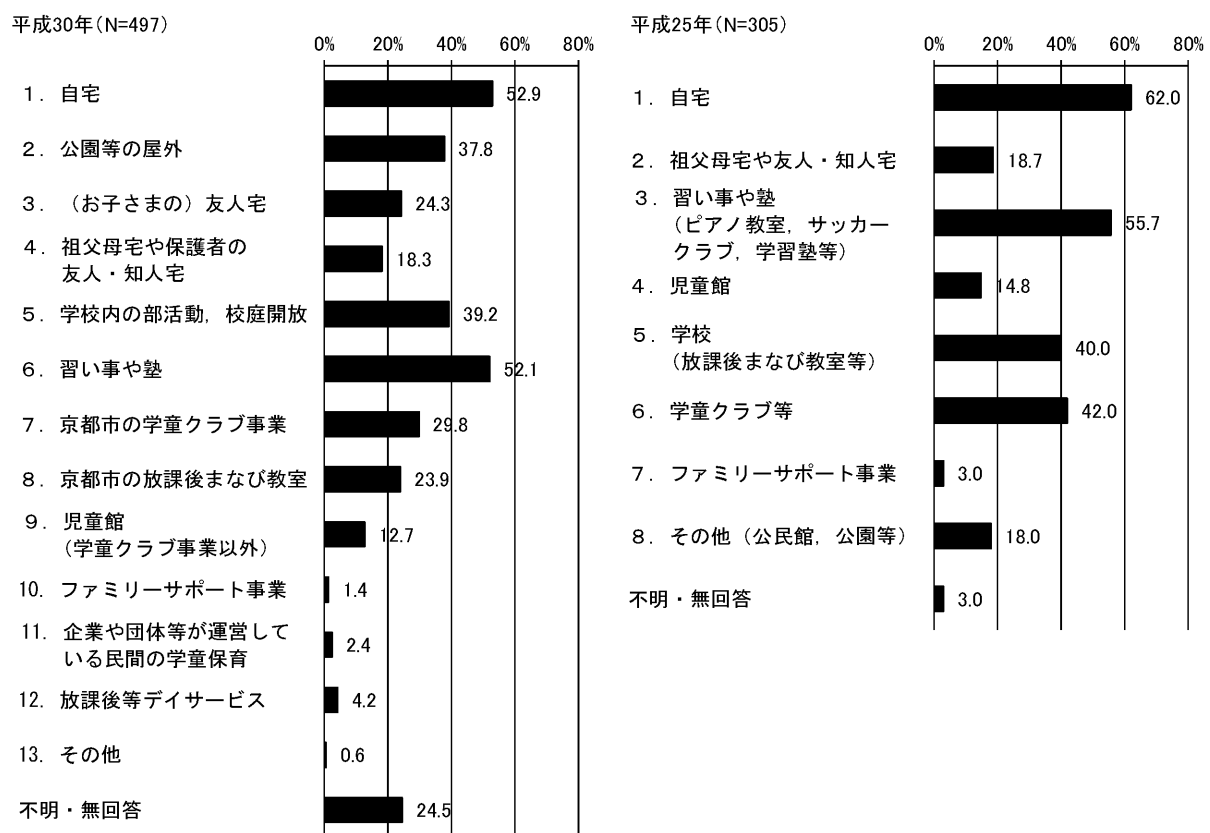


9 小学校入学後の放課後の過ごし方について

問 22 宛名のお子さまについて、小学校入学後、平日の放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）

また、『低学年の間』と『高学年になったら』で、それぞれ週あたりの希望日数をご記入ください。「⑦ 京都市の学童クラブ事業」「⑫ 放課後等デイサービス」の場合は、利用を希望する時間（「18 時」のように 24 時間制で）をご記入ください。

「1. 自宅」が 52.9%と最も高く、次いで「6. 習い事や塾」が 52.1%、「5. 学校内の部活動、校庭開放」が 39.2%となっています。



※本調査では学童クラブ事業に、放課後ほっと広場の学童クラブ機能（ゆうゆうクラブ）を含みます。

《問 22×家族類型別》

『ひとり親』『共働き（両親ともフルタイム）』では「京都市の学童クラブ事業」,『フルタイム・パート』『専業主婦(夫)』では「自宅」の割合が最も高くなっています。

	497	263	188	121	91	195	259	148
	100.0	52.9	37.8	24.3	18.3	39.2	52.1	29.8
	24	9	8	2	2	7	11	12
	100.0	37.5	33.3	8.3	8.3	29.2	45.8	50.0
	132	51	31	22	27	41	54	57
	100.0	38.6	23.5	16.7	20.5	31.1	40.9	43.2
	179	99	72	48	36	76	94	60
	100.0	55.3	40.2	26.8	20.1	42.5	52.5	33.5
	153	101	75	47	25	68	98	16
	100.0	66.0	49.0	30.7	16.3	44.4	64.1	10.5
	4	0	0	0	0	1	1	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0
	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	497	119	63	7	12	21	3	122
	100.0	23.9	12.7	1.4	2.4	4.2	0.6	24.5
	24	6	2	0	1	1	0	6
	100.0	25.0	8.3	0.0	4.2	4.2	0.0	25.0
	132	24	15	1	4	3	1	38
	100.0	18.2	11.4	0.8	3.0	2.3	0.8	28.8
	179	52	28	1	2	10	1	36
	100.0	29.1	15.6	0.6	1.1	5.6	0.6	20.1
	153	35	17	5	4	7	1	39
	100.0	22.9	11.1	3.3	2.6	4.6	0.7	25.5
	4	1	0	0	0	0	0	2
	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《問 22×問 20(1)児童館の利用状況別》

『利用している／利用したことがある』では「習い事や塾」、『児童館は知っているが、利用したことはない』では「自宅」の割合が最も高くなっています。

	497	263	188	121	91	195	259	148
	100.0	52.9	37.8	24.3	18.3	39.2	52.1	29.8
	275	153	118	78	52	122	154	81
	100.0	55.6	42.9	28.4	18.9	44.4	56.0	29.5
	194	101	63	38	33	68	96	60
	100.0	52.1	32.5	19.6	17.0	35.1	49.5	30.9
	8	3	0	0	3	1	3	1
	100.0	37.5	0.0	0.0	37.5	12.5	37.5	12.5
	497	119	63	7	12	21	3	122
	100.0	23.9	12.7	1.4	2.4	4.2	0.6	24.5
	275	70	41	4	7	14	3	67
	100.0	25.5	14.9	1.5	2.5	5.1	1.1	24.4
	194	42	21	3	2	7	0	46
	100.0	21.6	10.8	1.5	1.0	3.6	0.0	23.7
	8	2	0	0	1	0	0	2
	100.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0

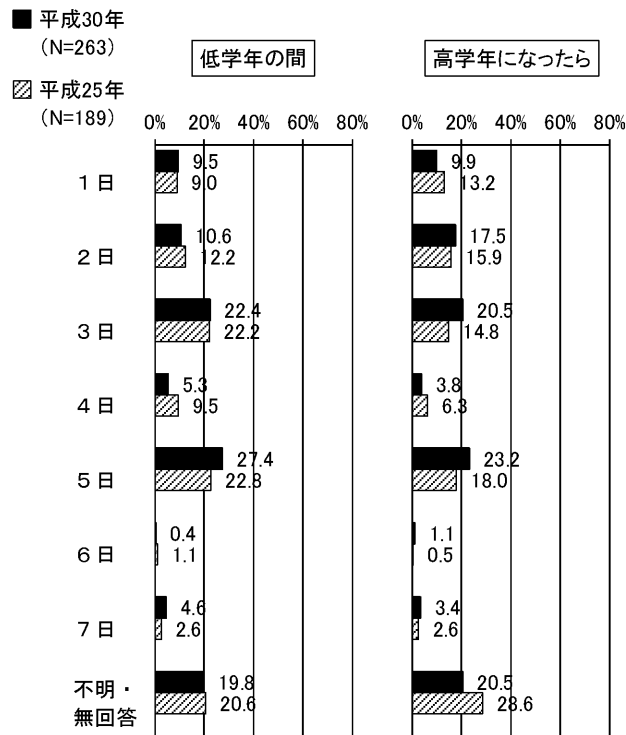
《問 22×問 41 平日日中の遊び場別》

『公園・ちびっこひろば』では「自宅」「習い事や塾」、『家の近くの路地や道路』では「習い事や塾」、『自宅』では「自宅」の割合が最も高くなっています。

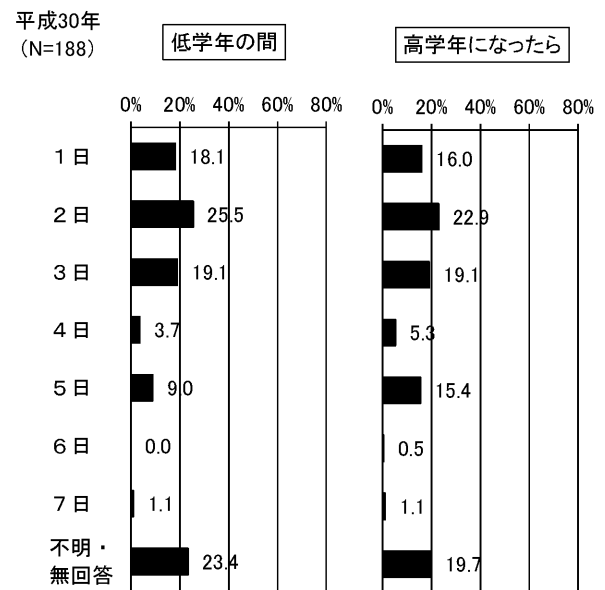
	497	263	188	121	91	195	259	148
	100.0	52.9	37.8	24.3	18.3	39.2	52.1	29.8
	61	26	16	11	8	21	26	18
	100.0	42.6	26.2	18.0	13.1	34.4	42.6	29.5
	40	26	19	14	10	21	27	13
	100.0	65.0	47.5	35.0	25.0	52.5	67.5	32.5
	262	143	97	58	43	101	141	74
	100.0	54.6	37.0	22.1	16.4	38.5	53.8	28.2
	5	1	3	3	0	1	2	2
	100.0	20.0	60.0	60.0	0.0	20.0	40.0	40.0
	11	5	3	2	4	6	7	5
	100.0	45.5	27.3	18.2	36.4	54.5	63.6	45.5
	1	1	0	0	0	0	0	1
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	3	3	2	1	1	3	3	1
	100.0	100.0	66.7	33.3	33.3	100.0	100.0	33.3
	1	1	0	0	0	1	1	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	1	1	1	1	1	1	1	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	11	3	2	2	2	3	4	4
	100.0	27.3	18.2	18.2	18.2	27.3	36.4	36.4
	497	119	63	7	12	21	3	122
	100.0	23.9	12.7	1.4	2.4	4.2	0.6	24.5
	61	6	5	0	2	3	1	20
	100.0	9.8	8.2	0.0	3.3	4.9	1.6	32.8
	40	16	3	0	0	1	1	6
	100.0	40.0	7.5	0.0	0.0	2.5	2.5	15.0
	262	60	35	5	8	12	0	58
	100.0	22.9	13.4	1.9	3.1	4.6	0.0	22.1
	5	1	0	0	0	0	0	2
	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	11	4	5	0	0	0	0	2
	100.0	36.4	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2
	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	11	3	0	0	0	1	0	6
	100.0	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	54.5

◆週あたりの過ごさせたい日数

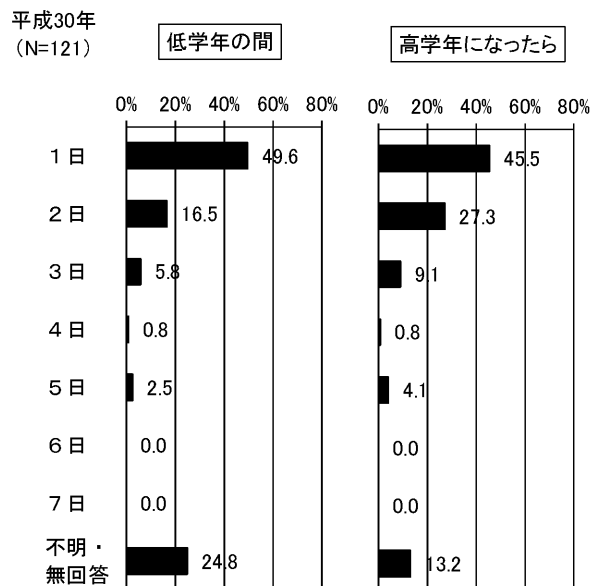
1. 自宅



2. 公園等の屋外

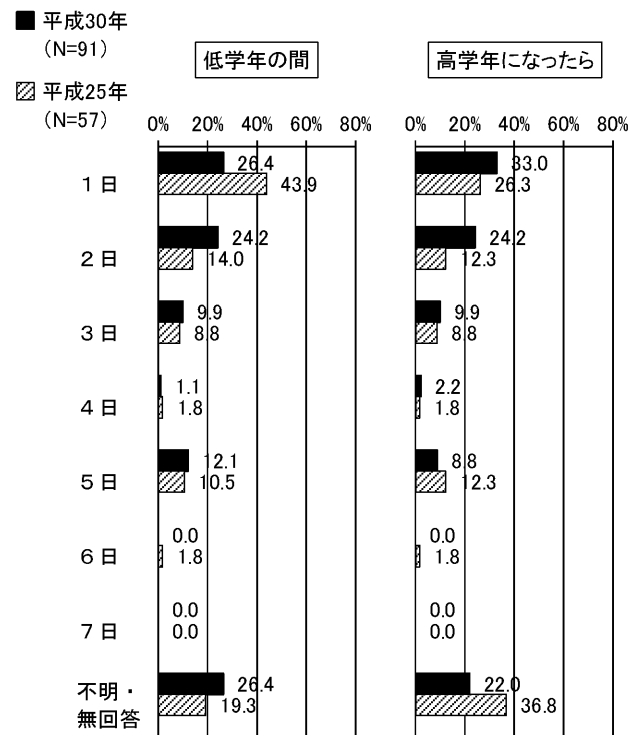


3. (お子さまの)友人宅



4. 祖父母宅や保護者の友人・知人宅

(平成25年:「祖父母宅や友人・知人宅」)

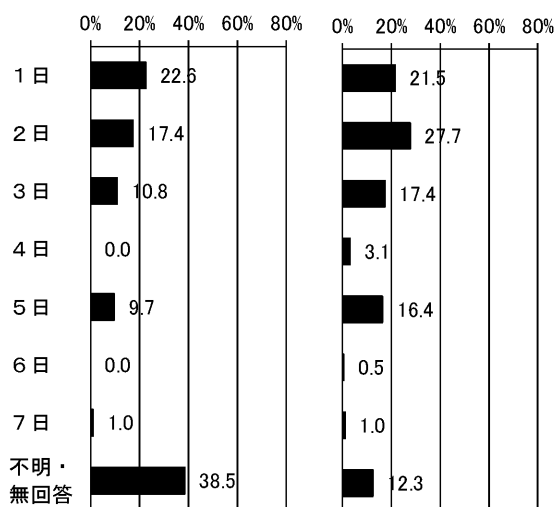


5. 学校内の部活動、校庭開放

平成30年
(N=195)

低学年の間

高学年になったら



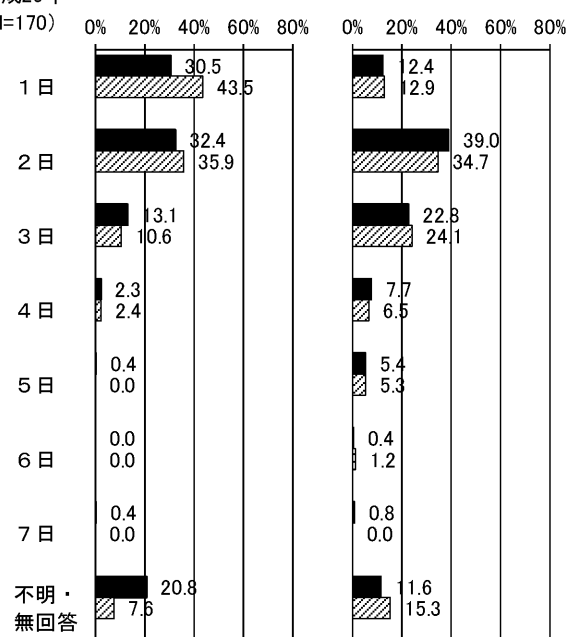
6. 習い事や塾

平成30年
(N=259)

低学年の間

高学年になったら

平成25年
(N=170)



7. 京都市の学童クラブ事業

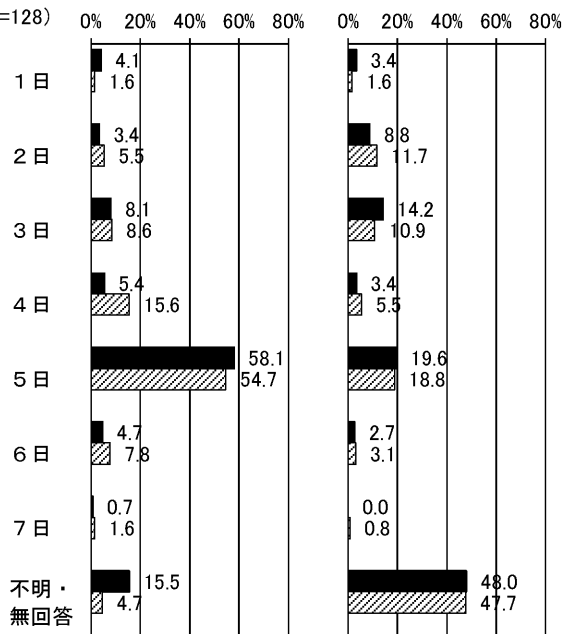
(平成25年:「学童クラブ等」)

平成30年
(N=148)

低学年の間

高学年になったら

平成25年
(N=128)



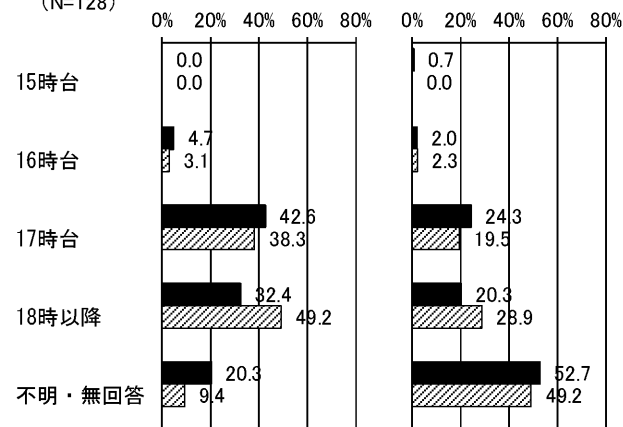
◆希望終了時間

平成30年
(N=148)

低学年の間

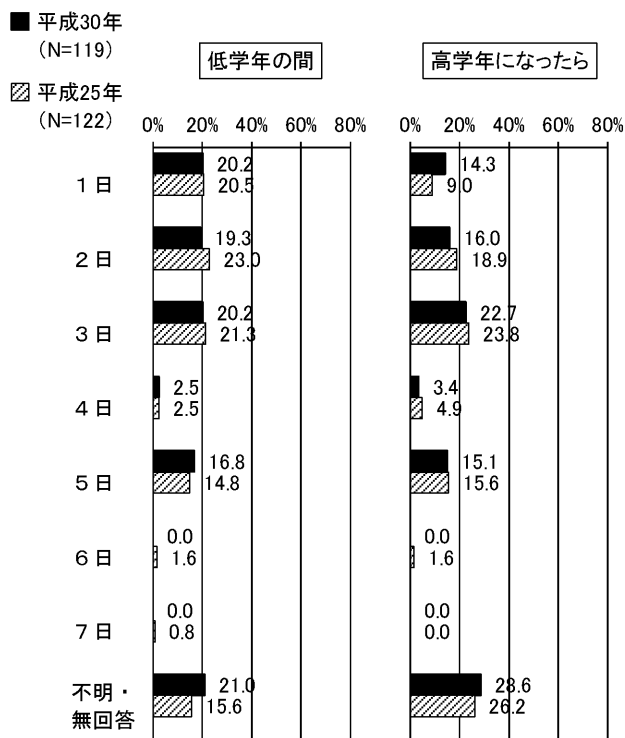
高学年になったら

平成25年
(N=128)

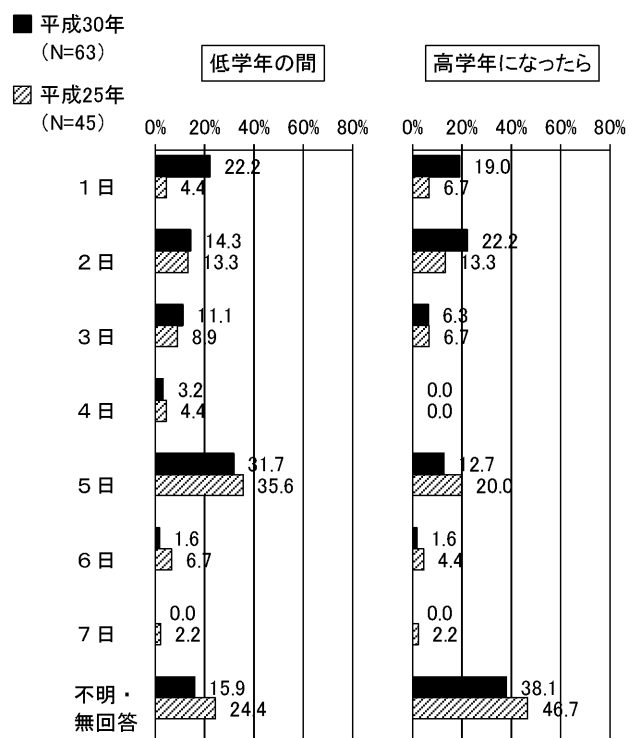


8. 京都市の放課後まなび教室

(平成 25 年:「学校(放課後まなび教室等)」)



9. 児童館(学童クラブ事業以外)



10. ファミリーサポート事業

平成30年(N=7)

低学年の間

	件数
1 日	4
2 日	1
不明・無回答	2

高学年になったら

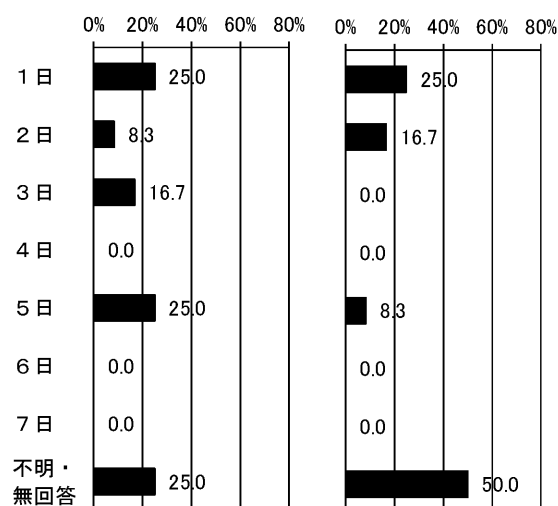
	件数
1 日	3
2 日	3
不明・無回答	1

11. 企業や団体等が運営している民間の学童保育

平成30年
(N=12)

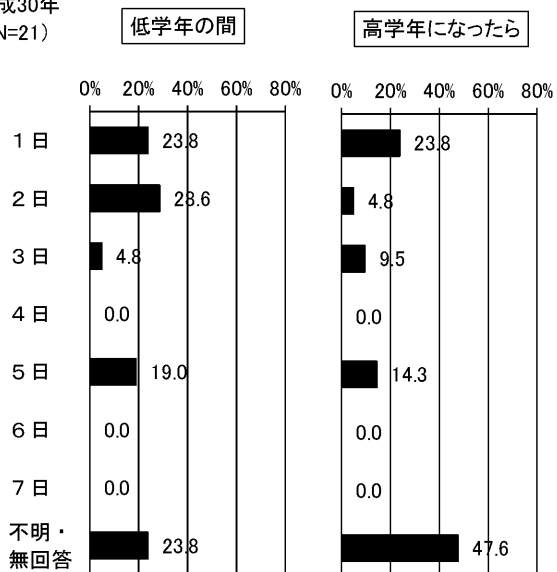
低学年の間

高学年になったら



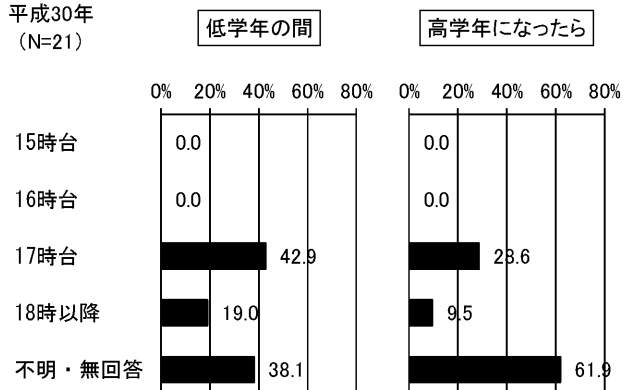
12. 放課後等デイサービス

平成30年
(N=21)



◆希望終了時間

平成30年
(N=21)



13. その他

平成30年 (N=3)

低学年の間		高学年になったら	
	件数		件数
2日	1	4日	1
5日	1	5日	1
不明・無回答	1	不明・無回答	1

問 23 宛名のお子さまの「土曜日」、「日曜日・祝日」、「夏休み等の学校の長期休業中」のそれぞれの学童クラブ等の利用希望の有無について、『低学年の間』と『高学年になったら』のそれぞれでお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

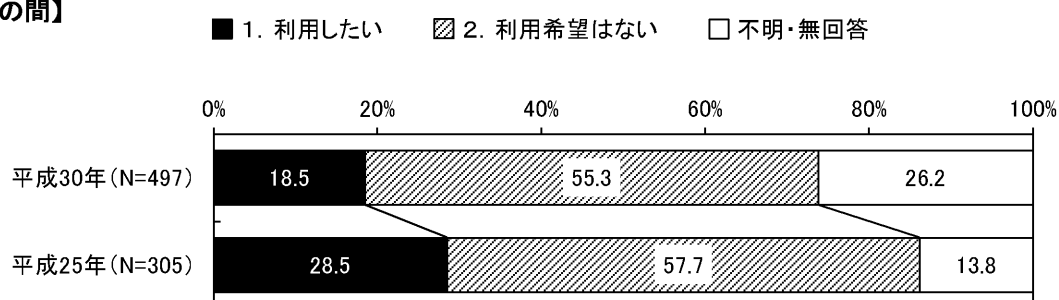
また、利用したい時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）をご記入ください。

①土曜日について、「低学年の間」では「1. 利用したい」が18.5%、「2. 利用希望はない」が55.3%となっています。平成25年と比較すると、「1. 利用したい」が10.0ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時台」が43.5%と最も高く、次いで「9時前」が37.0%となっています。終了時間は「18時台」が30.4%と最も高く、次いで「17時台」が27.2%となっています。

①土曜日

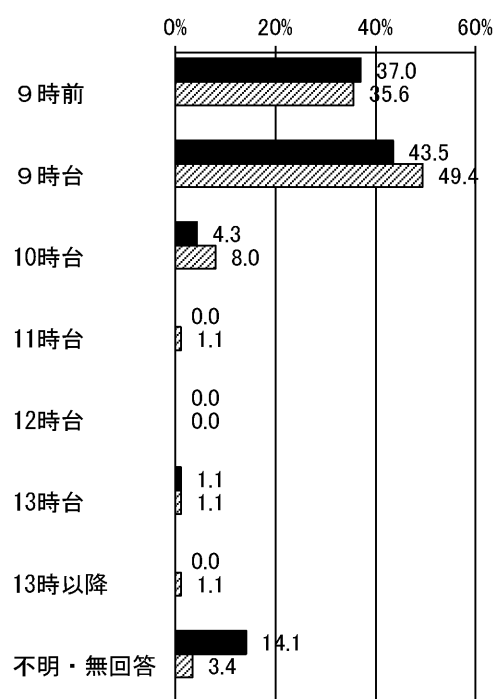
【低学年の間】



◆（「1」の場合）利用したい時間帯

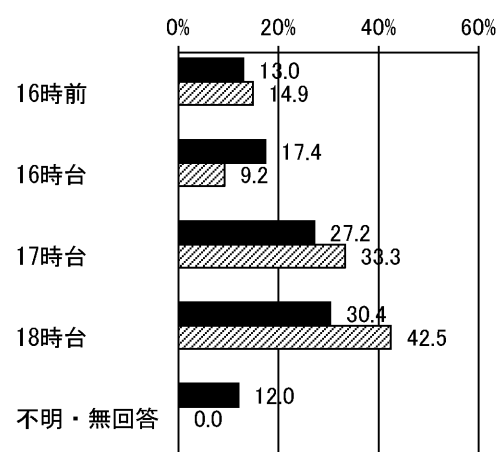
利用開始時間

■ 平成30年 (N=92)
▨ 平成25年 (N=87)



利用終了時間

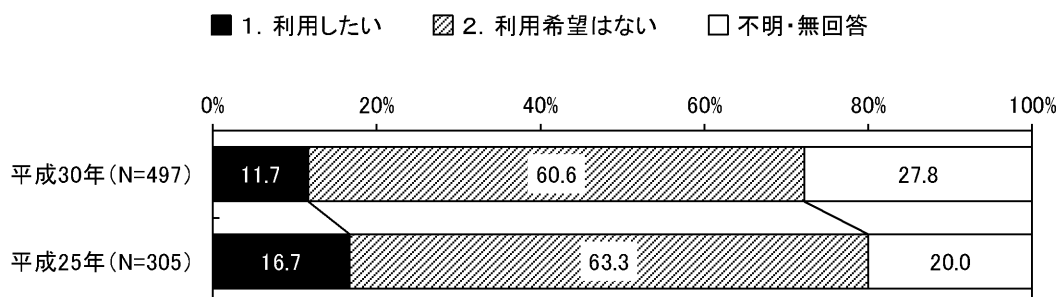
■ 平成30年 (N=92)
▨ 平成25年 (N=87)



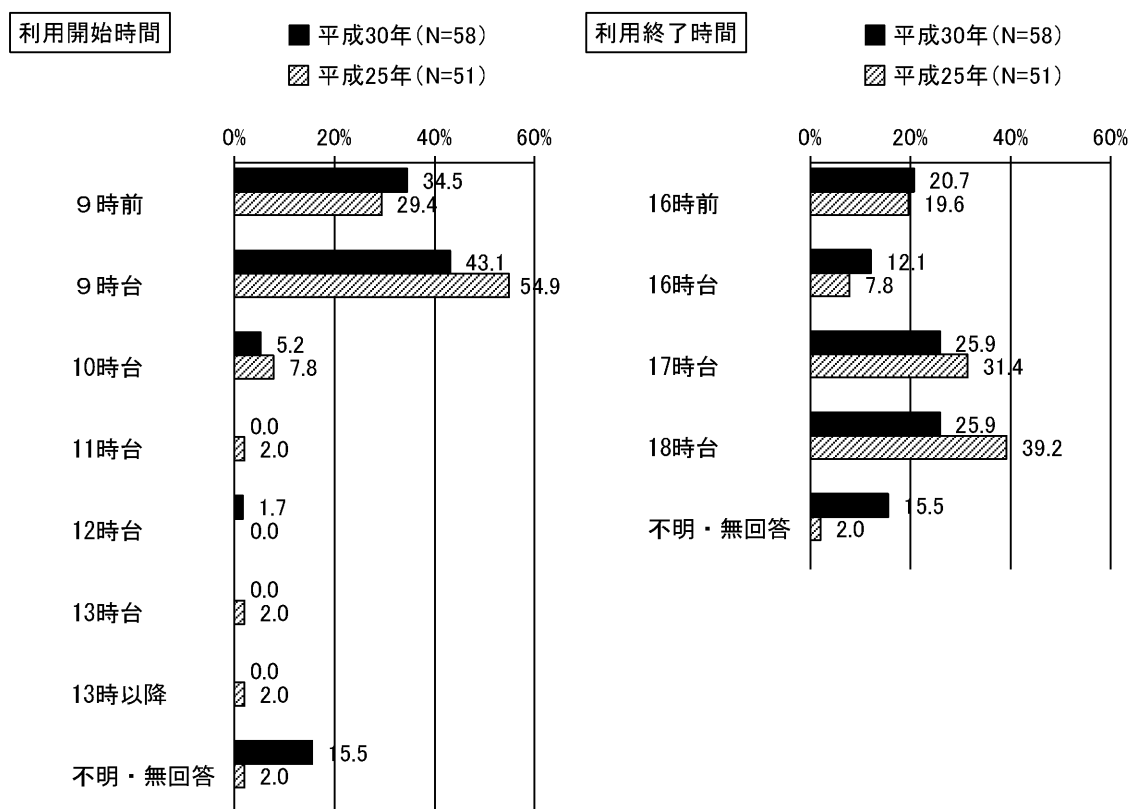
①土曜日について、「高学年になったら」では「1. 利用したい」が11.7%、「2. 利用希望はない」が60.6%となっています。平成25年と比較すると、「1. 利用したい」が5.0ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時台」が43.1%と最も高く、次いで「9時前」が34.5%となっています。終了時間は「17時台」「18時台」が25.9%と高くなっています。

【高学年になったら】



◆(「1」の場合)利用したい時間帯

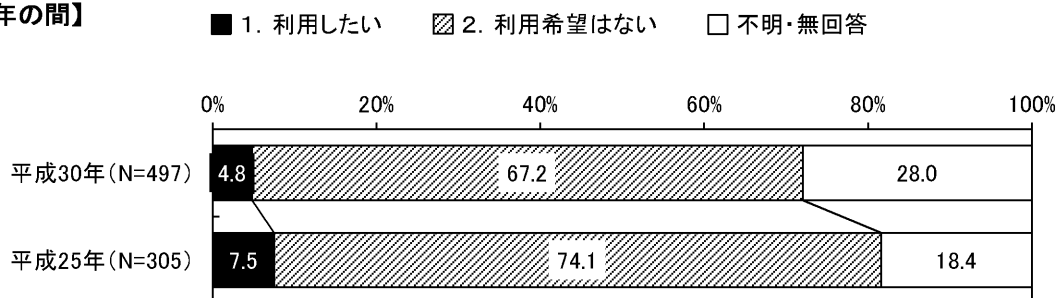


②日曜日・祝日について、[低学年の間]では「1. 利用したい」が4.8%、「2. 利用希望はない」が67.2%となっています。平成25年と比較すると、「2. 利用希望はない」が6.9ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時前」、終了時間は「18時台」の割合が最も高くなっています。

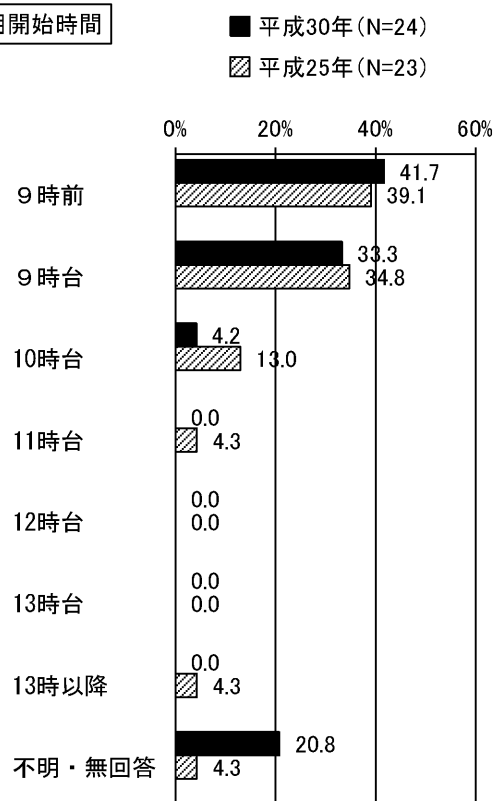
②日曜日・祝日

【低学年の間】

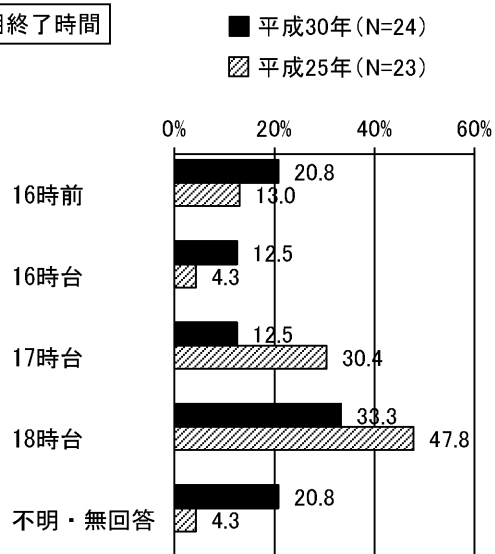


◆(「1」の場合)利用したい時間帯

利用開始時間



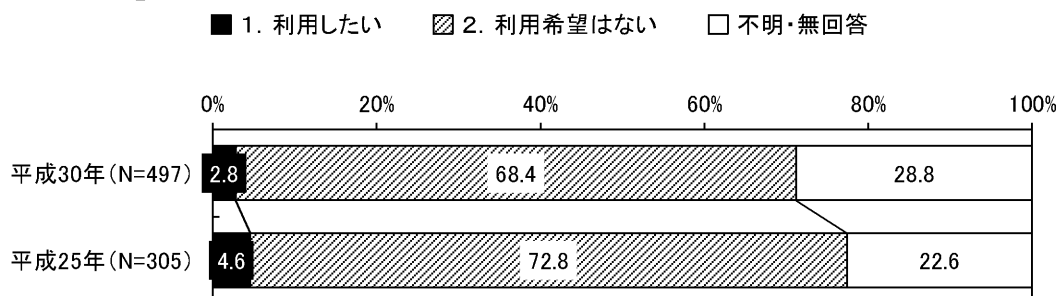
利用終了時間



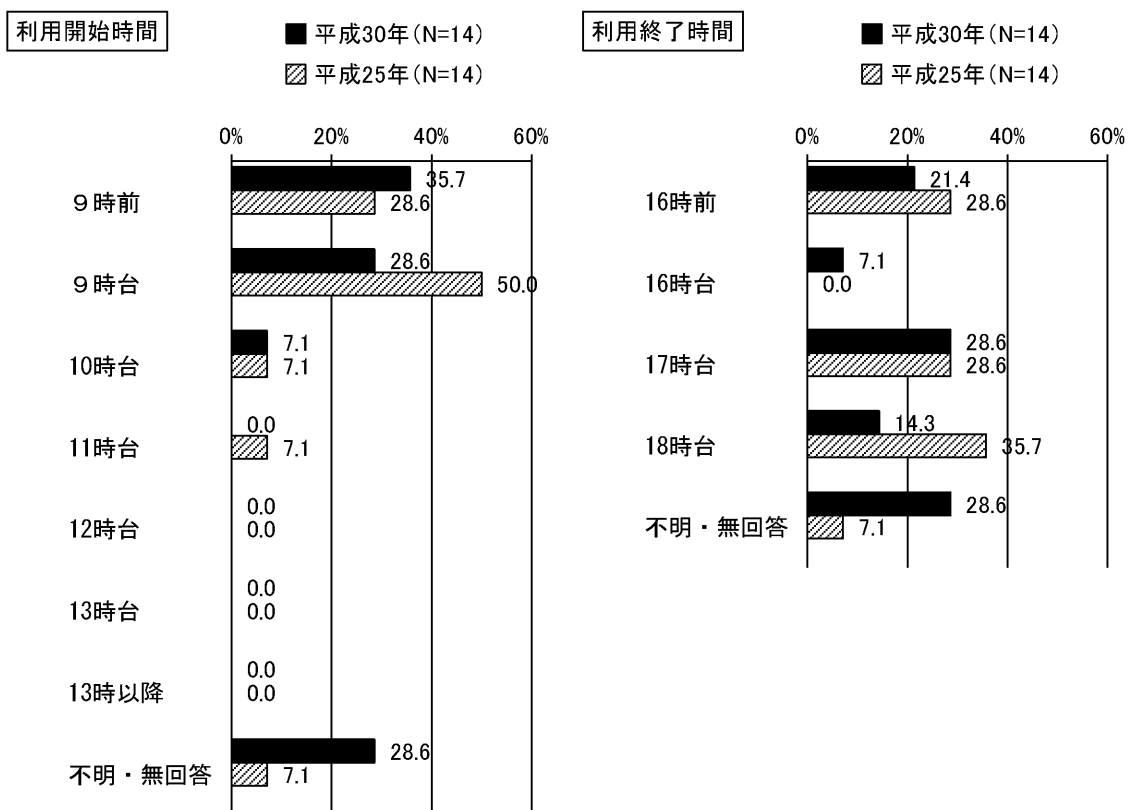
②日曜日・祝日について、[高学年になったら]では「1. 利用したい」が2.8%、「2. 利用希望はない」が68.4%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時前」、終了時間は「17時台」の割合が最も高くなっています。

【高学年になったら】



◆(「1」の場合)利用したい時間帯

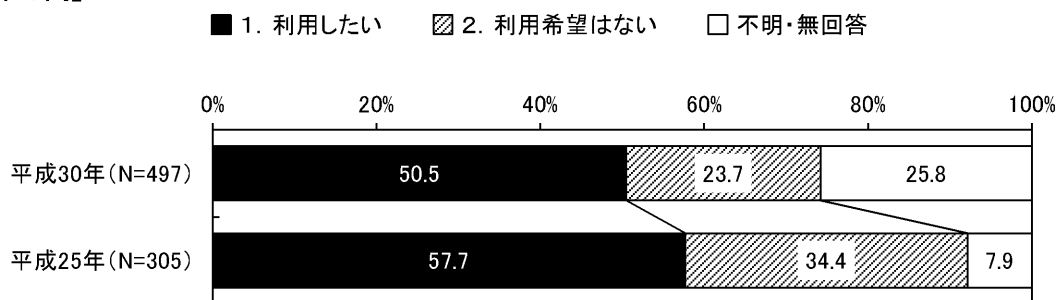


③夏休み等の学校の長期休業中について、[低学年の間]では「1. 利用したい」が50.5%、「2. 利用希望はない」が23.7%となっています。平成25年と比較すると、「2. 利用希望はない」が10.7ポイント低くなっています。

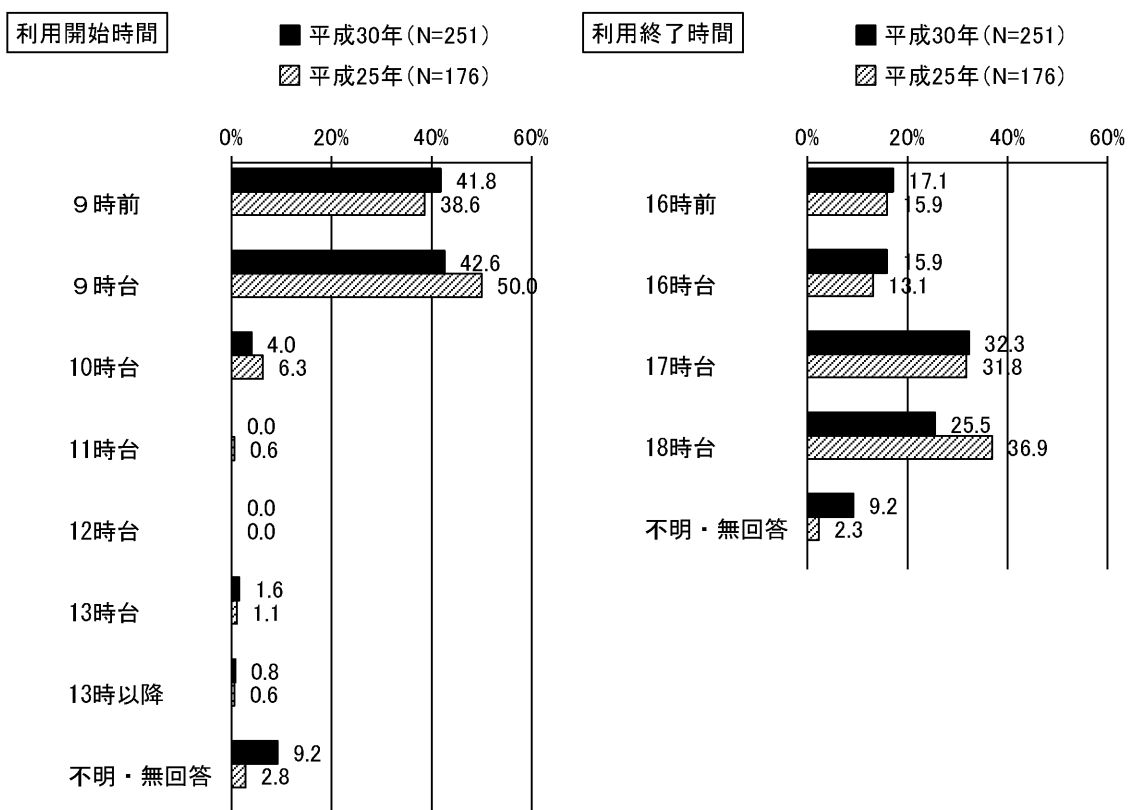
利用したい時間帯について、開始時間は「9時台」が42.6%と最も高く、次いで「9時前」が41.8%となっています。終了時間は「17時台」が32.3%と最も高く、次いで「18時台」が25.5%となっています。

③夏休み等の学校の長期休業中

【低学年の間】



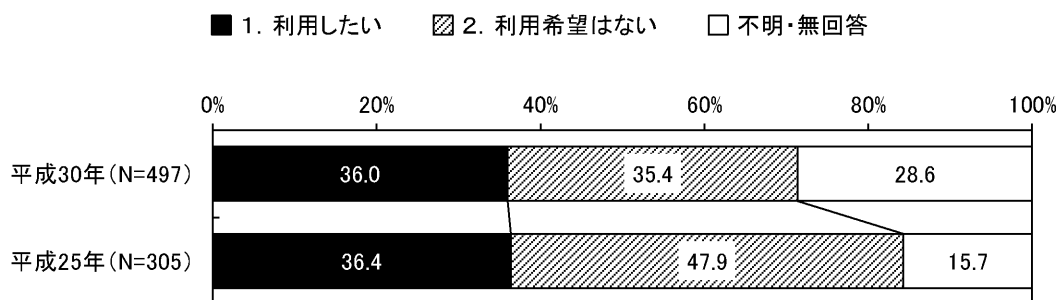
◆(「1」の場合)利用したい時間帯



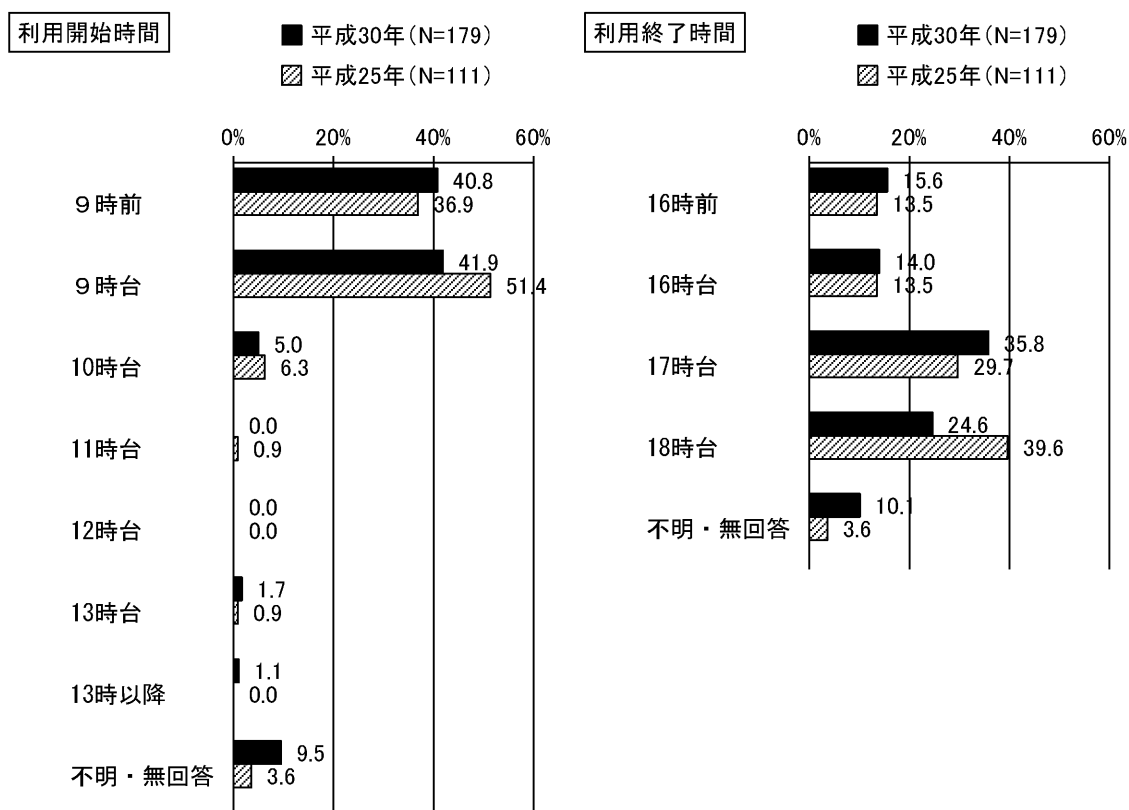
③夏休み等の学校の長期休業中について、[高学年になったら]では「1. 利用したい」が36.0%、「2. 利用希望はない」が35.4%となっています。平成25年と比較すると、「2. 利用希望はない」が12.5ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時台」が41.9%と最も高く、次いで「9時前」が40.8%となっています。終了時間は「17時台」が35.8%と最も高く、次いで「18時台」が24.6%となっています。

【高学年になったら】



◆(「1」の場合)利用したい時間帯



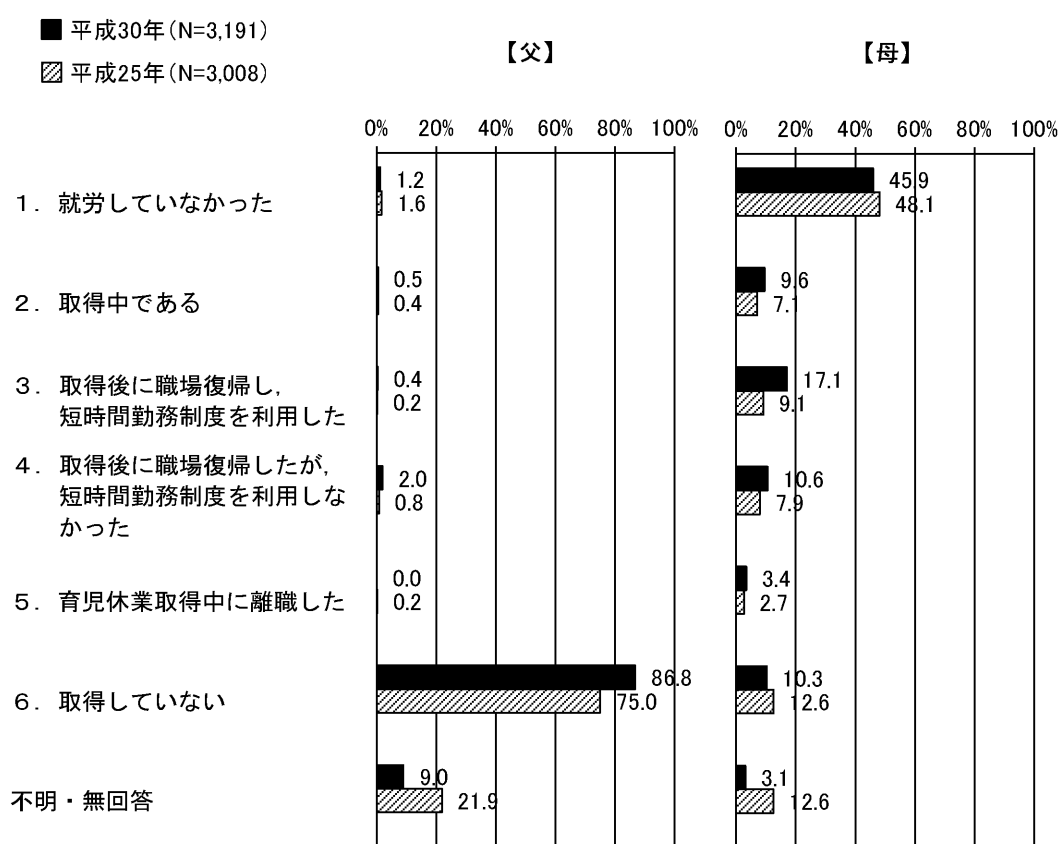
10 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度について

問 24(1) 宛名のお子さまが生まれた時の育児休業の取得について、父母それぞれに対してお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

父親では、「6. 取得していない」が86.8%と最も高くなっています。

母親では、「1. 就労していなかった」が45.9%と最も高く、次いで「3. 取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」が17.1%、「4. 取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった」が10.6%となっています。

平成25年と比較すると、父親では「6. 取得していない」が11.8ポイント、母親では「3. 取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」が8.0ポイント高くなっています。



《問 24(1)×家族類型別》

父親について、すべての区分で「取得していない」の割合が最も高くなっています。

母親について、『共働き（両親ともフルタイム）』では「取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」、それ以外では「就労していなかった」の割合が最も高くなっています。

【父】

	3,191	39	17	13	63	1	2,770	288
	100.0	1.2	0.5	0.4	2.0	0.0	86.8	9.0
	117	1	0	0	0	0	32	84
	100.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	27.4	71.8
	1,050	15	7	5	23	0	938	62
	100.0	1.4	0.7	0.5	2.2	0.0	89.3	5.9
	835	8	4	2	11	1	751	58
	100.0	1.0	0.5	0.2	1.3	0.1	89.9	6.9
	1,140	14	6	6	29	0	1,018	67
	100.0	1.2	0.5	0.5	2.5	0.0	89.3	5.9
	14	0	0	0	0	0	12	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3
	3	0	0	0	0	0	3	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

【母】

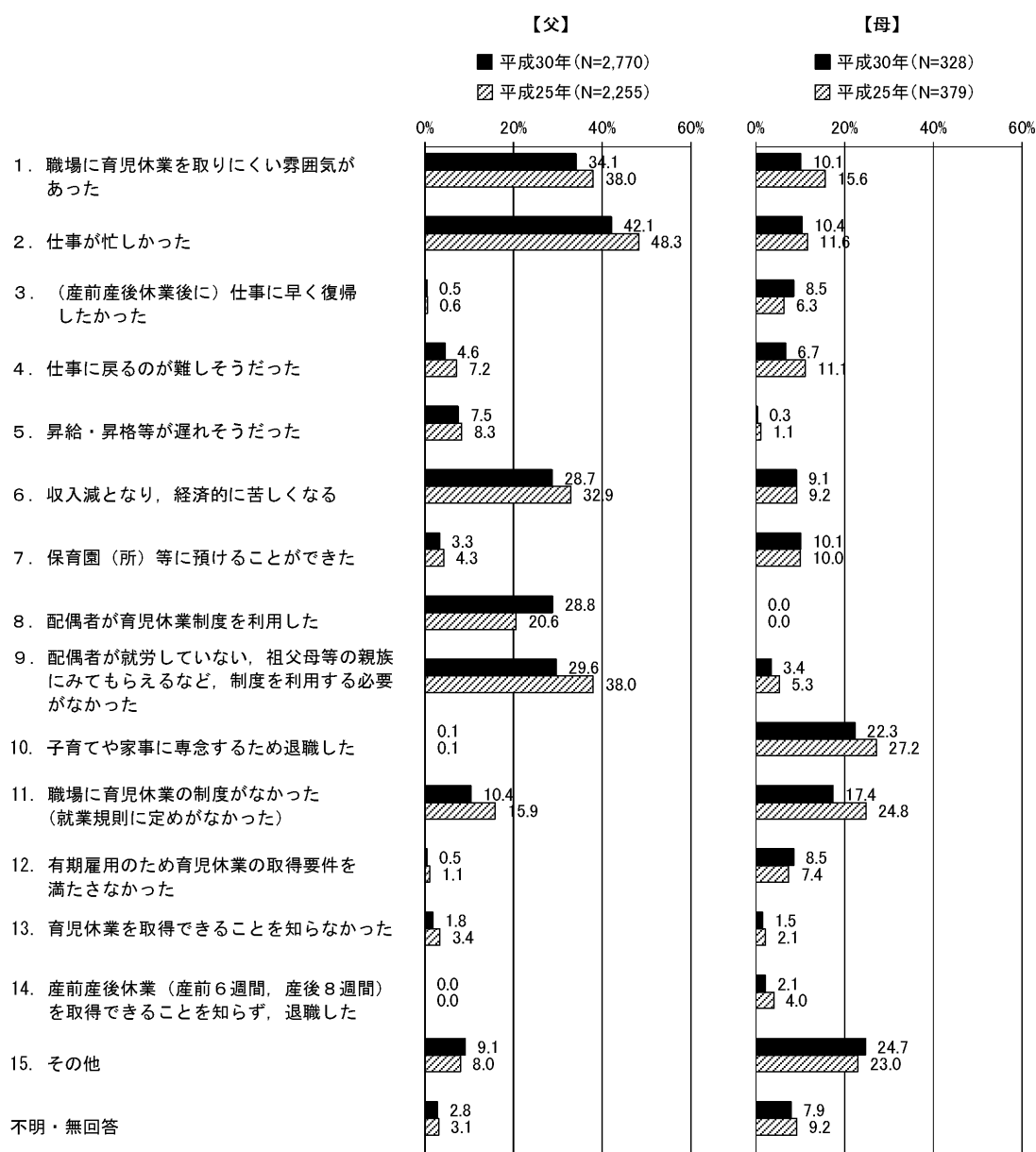
	3,191	1,464	307	545	338	110	328	99
	100.0	45.9	9.6	17.1	10.6	3.4	10.3	3.1
	117	64	1	15	14	3	15	5
	100.0	54.7	0.9	12.8	12.0	2.6	12.8	4.3
	1,050	84	223	388	234	13	83	25
	100.0	8.0	21.2	37.0	22.3	1.2	7.9	2.4
	835	377	71	118	70	47	130	22
	100.0	45.1	8.5	14.1	8.4	5.6	15.6	2.6
	1,140	915	7	17	18	46	96	41
	100.0	80.3	0.6	1.5	1.6	4.0	8.4	3.6
	14	7	0	4	0	1	0	2
	100.0	50.0	0.0	28.6	0.0	7.1	0.0	14.3
	3	3	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 24(2) その方が、育児休業を取得していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

父親では、「2. 仕事が忙しかった」が 42.1%と最も高く、次いで「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 34.1%、「9. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 29.6%となっています。

母親では、その他を除き「10. 子育てや家事に専念するため退職した」が 22.3%と最も高く、次いで「11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 17.4%、「2. 仕事が忙しかった」が 10.4%となっています。

平成 25 年と比較すると、父親では「9. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 8.4 ポイント、「2. 仕事が忙しかった」が 6.2 ポイント低くなっています。母親では「11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 7.4 ポイント、「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 5.5 ポイント低くなっています。



《問 24(2)×家族類型別》

父親について、『ひとり親』『フルタイム・パート』では「仕事が忙しかった」、『共働き（両親ともフルタイム）』では「配偶者が育児休業制度を利用した」、『専業主婦(夫)』では「配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が最も高くなっています。

【父】

	2,770	945	1,166	14	128	208	794	92	797
	100.0	34.1	42.1	0.5	4.6	7.5	28.7	3.3	28.8
	32	6	12	1	3	1	5	1	5
	100.0	18.8	37.5	3.1	9.4	3.1	15.6	3.1	15.6
	938	351	401	9	48	91	298	51	557
	100.0	37.4	42.8	1.0	5.1	9.7	31.8	5.4	59.4
	751	256	307	1	34	54	247	34	188
	100.0	34.1	40.9	0.1	4.5	7.2	32.9	4.5	25.0
	1,018	327	432	3	42	62	233	6	41
	100.0	32.1	42.4	0.3	4.1	6.1	22.9	0.6	4.0
	12	1	4	0	0	0	5	0	4
	100.0	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0	33.3
	3	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	2,770	820	3	287	13	51	1	253	78
	100.0	29.6	0.1	10.4	0.5	1.8	0.0	9.1	2.8
	32	5	0	4	0	1	0	5	3
	100.0	15.6	0.0	12.5	0.0	3.1	0.0	15.6	9.4
	938	65	0	77	3	12	1	61	22
	100.0	6.9	0.0	8.2	0.3	1.3	0.1	6.5	2.3
	751	234	0	96	5	16	0	83	23
	100.0	31.2	0.0	12.8	0.7	2.1	0.0	11.1	3.1
	1,018	510	3	107	4	22	0	99	28
	100.0	50.1	0.3	10.5	0.4	2.2	0.0	9.7	2.8
	12	1	0	0	0	0	0	3	1
	100.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3
	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親について、『ひとり親』ではその他を除き「仕事に戻るのが難しそうだった」、『共働き（両親ともフルタイム）』では「仕事が忙しかった」、『フルタイム・パート』ではその他を除き「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」、『専業主婦（夫）』では「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が最も高くなっています。

【母】

328	33	34	28	22	1	30	33	0
100.0	10.1	10.4	8.5	6.7	0.3	9.1	10.1	0.0
15	1	3	3	4	0	3	0	0
100.0	6.7	20.0	20.0	26.7	0.0	20.0	0.0	0.0
83	10	25	15	3	1	16	16	0
100.0	12.0	30.1	18.1	3.6	1.2	19.3	19.3	0.0
130	10	5	8	10	0	9	15	0
100.0	7.7	3.8	6.2	7.7	0.0	6.9	11.5	0.0
96	10	0	0	5	0	1	1	0
100.0	10.4	0.0	0.0	5.2	0.0	1.0	1.0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

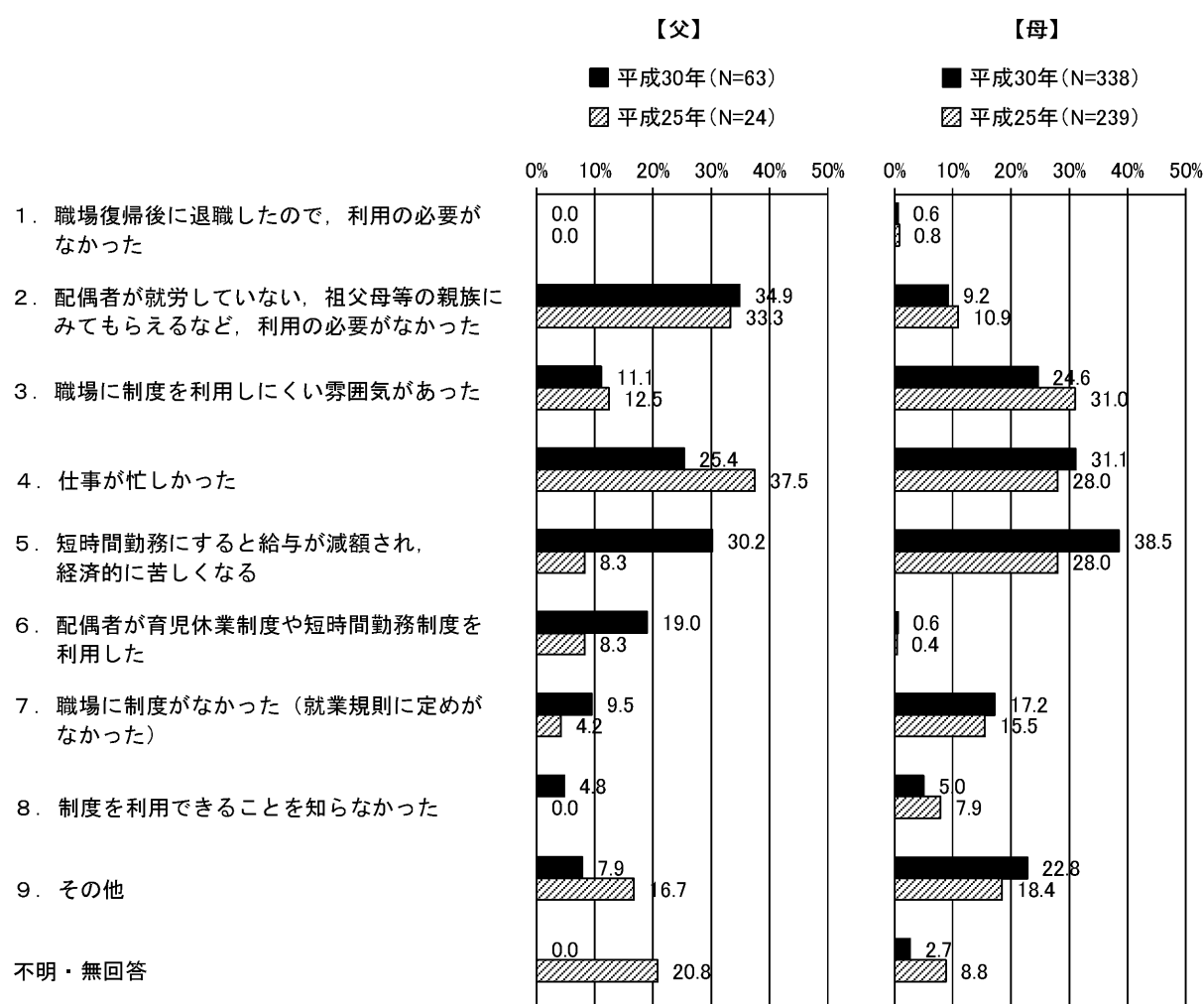
					</			

問 24(3) その方が、短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

父親では、「2. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、利用の必要がなかった」が34.9%と最も高く、次いで「5. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が30.2%、「4. 仕事が忙しかった」が25.4%となっています。

母親では、「5. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が38.5%と最も高く、次いで「4. 仕事が忙しかった」が31.1%、「3. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」が24.6%となっています。

平成25年と比較すると、母親では「5. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が10.5ポイント高く、「3. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」が6.4ポイント低くなっています。



問 24(4) その方が、離職した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

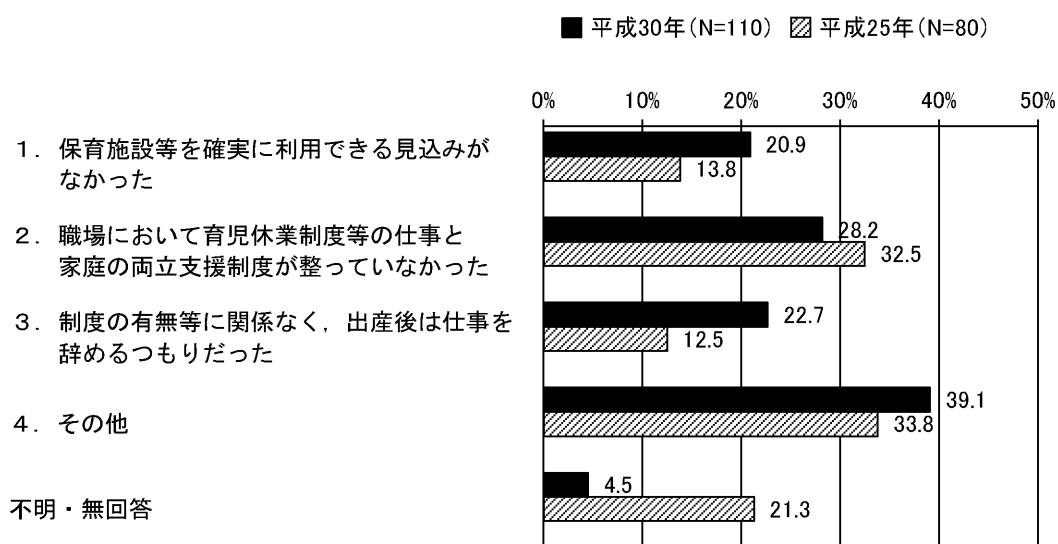
母親では、その他を除き「2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった」が28.2%と最も高く、次いで「3. 制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった」が22.7%,「1. 保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった」が20.9%となっています。

平成25年と比較すると、「3. 制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった」が10.2ポイント、「1. 保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった」が7.1ポイント高くなっています。

【父】

有効回答はありません。

【母】

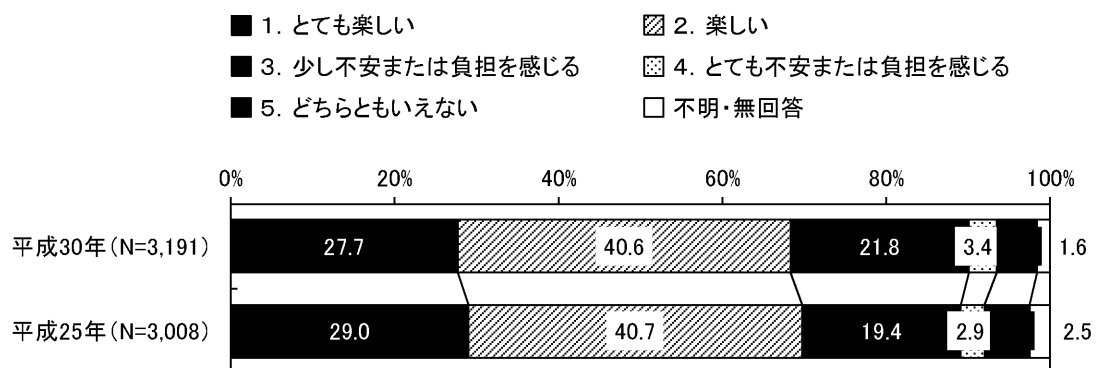


11 子育て支援・相談などについて

問 25 子育てをしている今の気持ちについてお答えください。(〇は1つ)

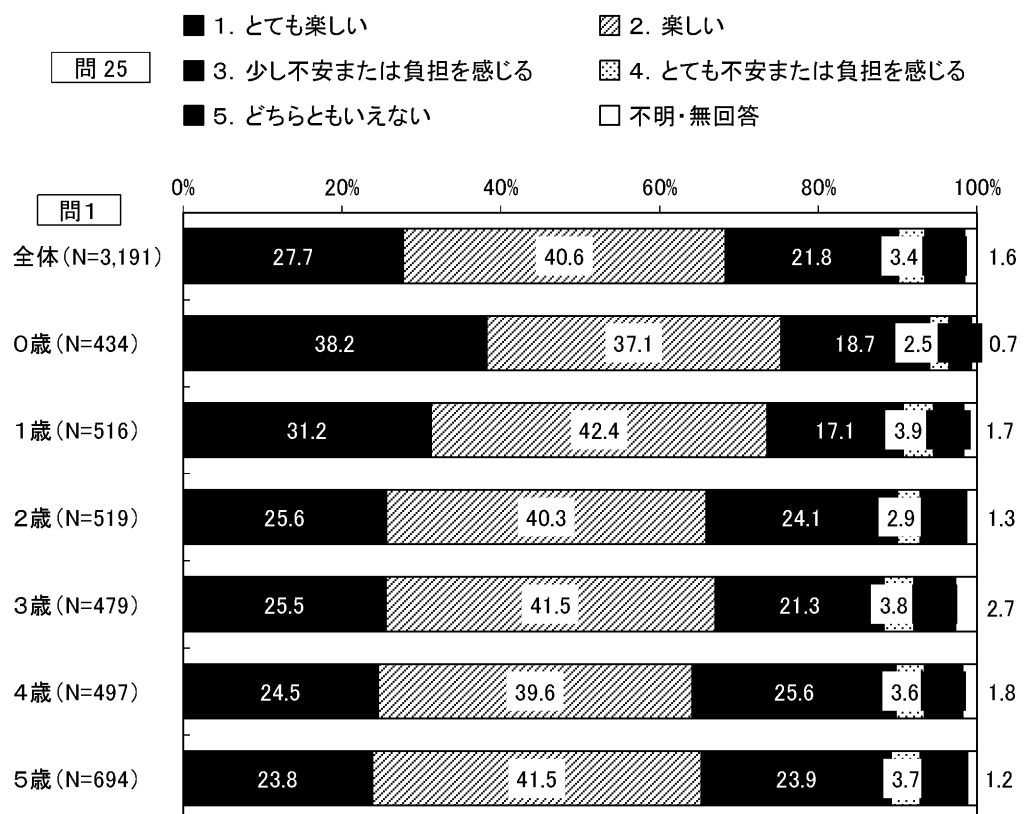
「2. 楽しい」が40.6%と最も高く、次いで「1. とても楽しい」が27.7%、「3. 少し不安または負担を感じる」が21.8%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



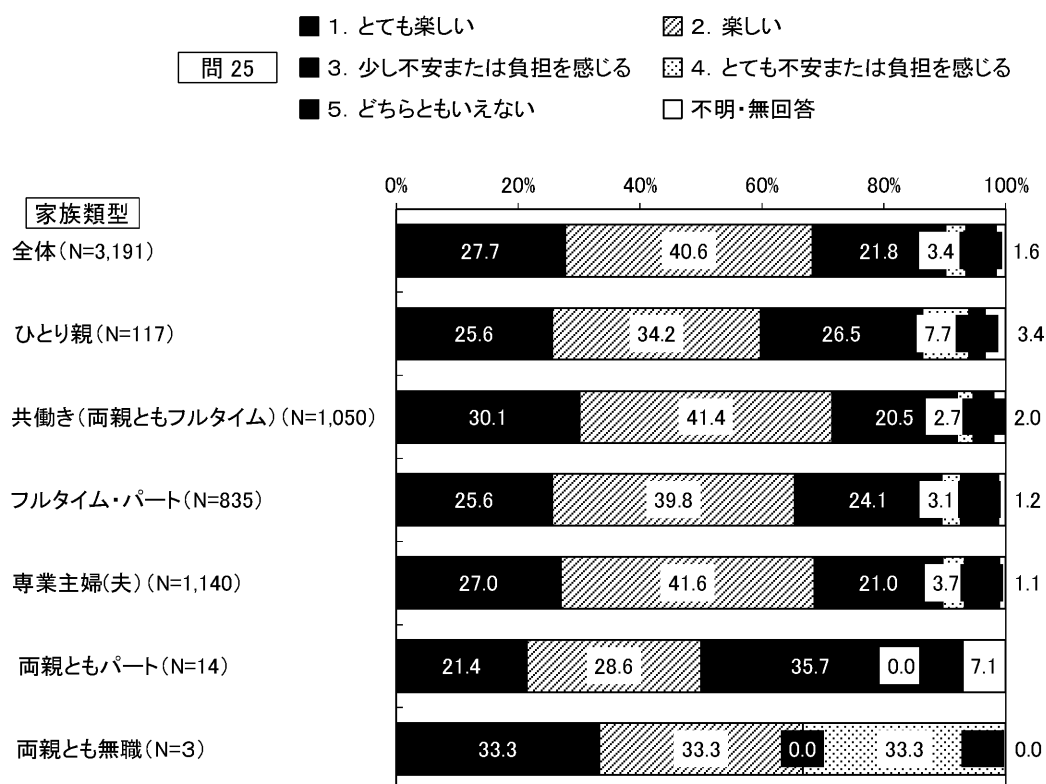
《問 25×問 1 子どもの年齢別》

子どもの年齢が上がるほど「1. とても楽しい」の割合が低くなる傾向がみられます。



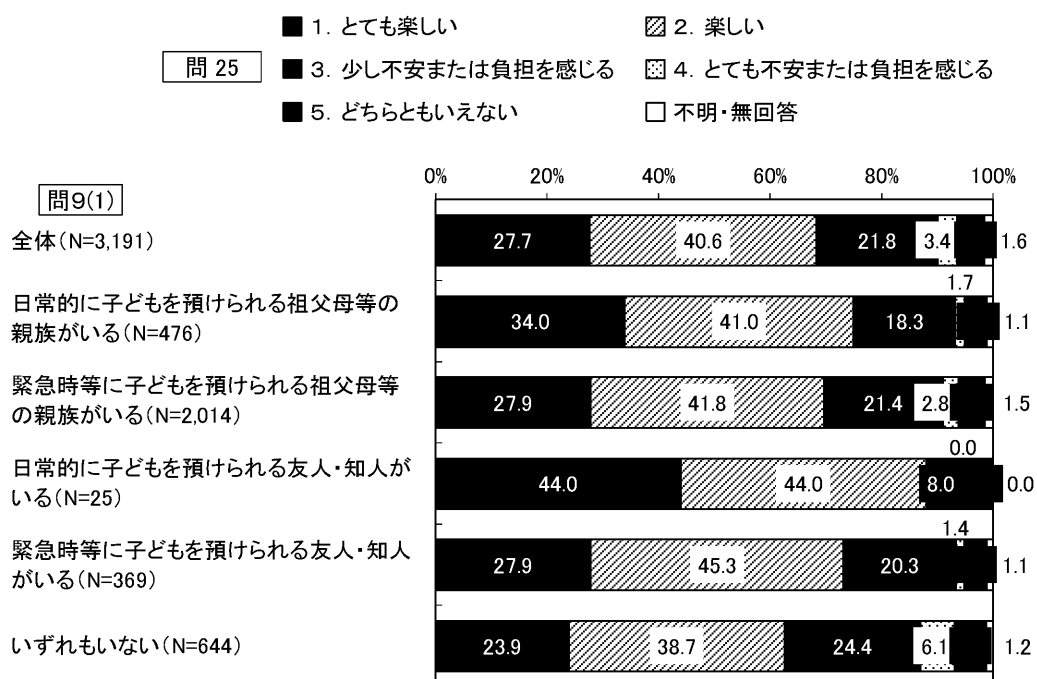
<<問 25×家族類型別>>

[ひとり親][両親ともパート]で『楽しい(「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計)』の割合が他の区分に比べ低くなっています。



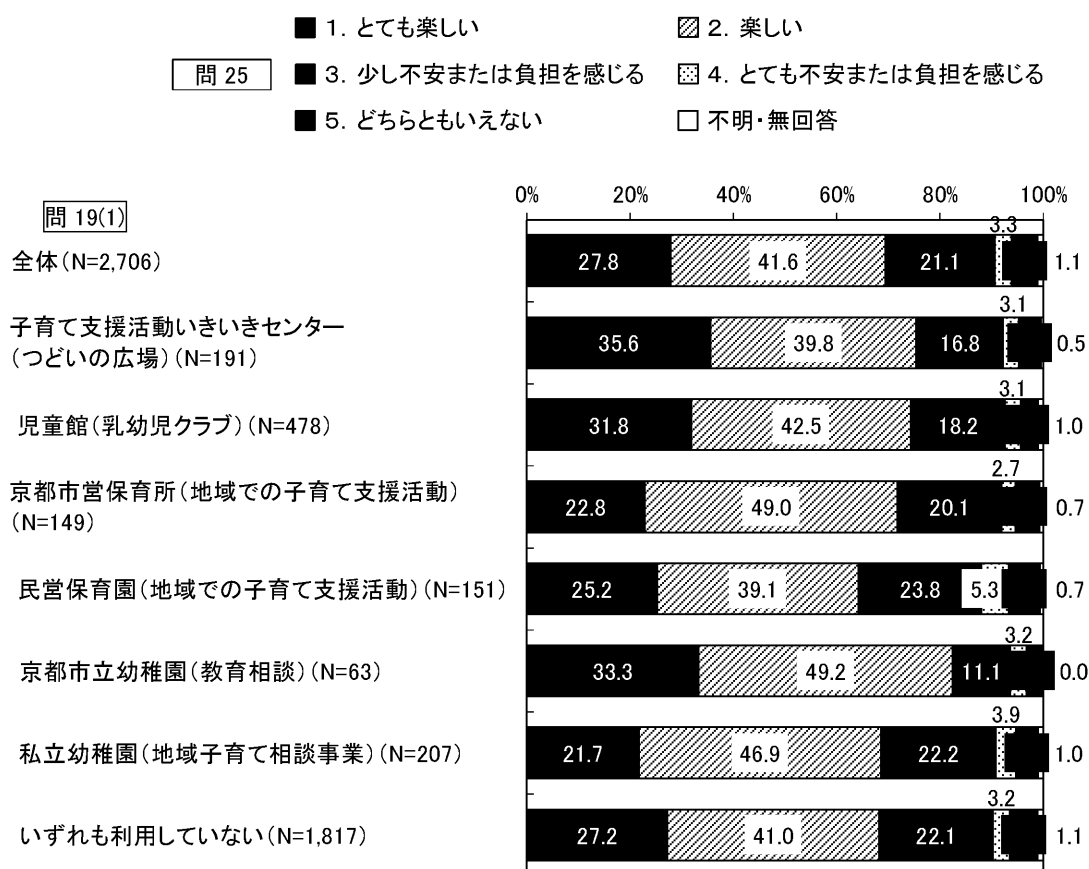
<<問 25×問 9(1)日頃, 子どもを預けられる人別>>

[いずれもない]で『楽しい(「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計)』の割合が他の区分に比べ低くなっています。



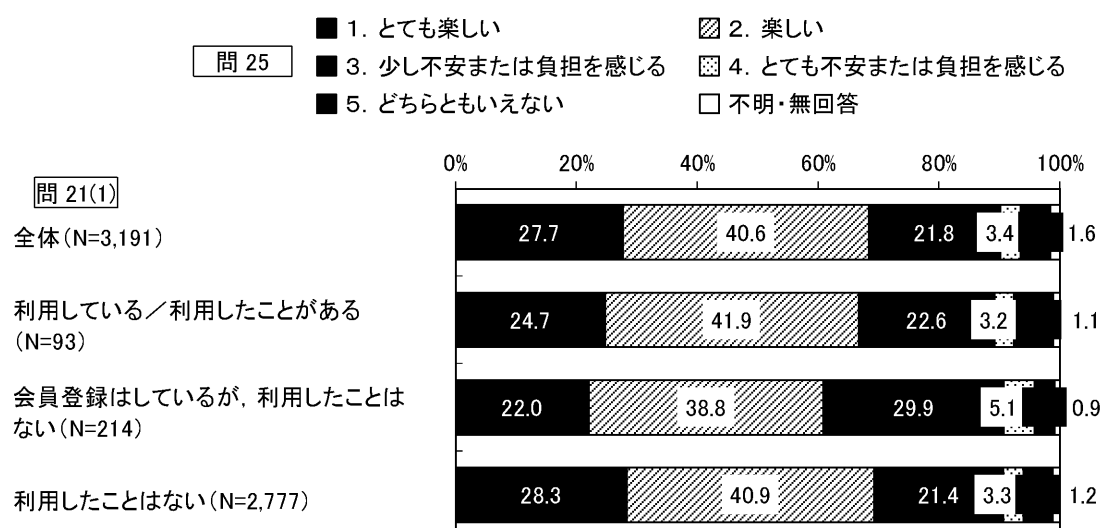
《問 25×問 19(1)B-1 地域の子育て支援事業の利用状況別》

「京都市立幼稚園（教育相談）」では『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』が8割を超えています。



《問 25×問 21(1)ファミリーサポート事業の利用経験別》

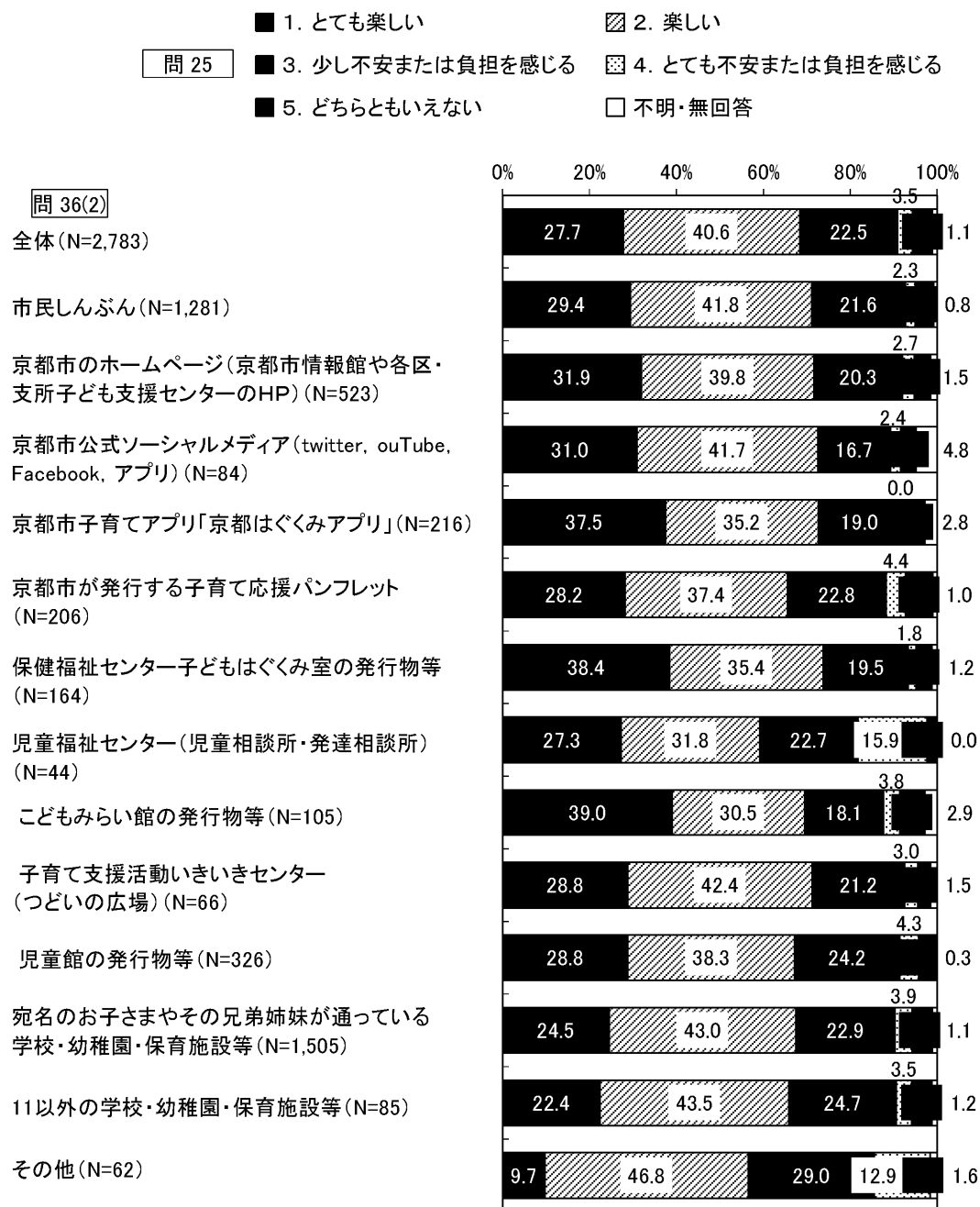
「会員登録はしているが、利用したことはない」で『不安または負担を感じる（「3. 少し不安または負担を感じる」と「4. とても不安または負担を感じる」の合計）』の割合が他の区分に比べ高くなっています。



<<問 25×問 36(2)子育てに関する情報の入手方法別>>

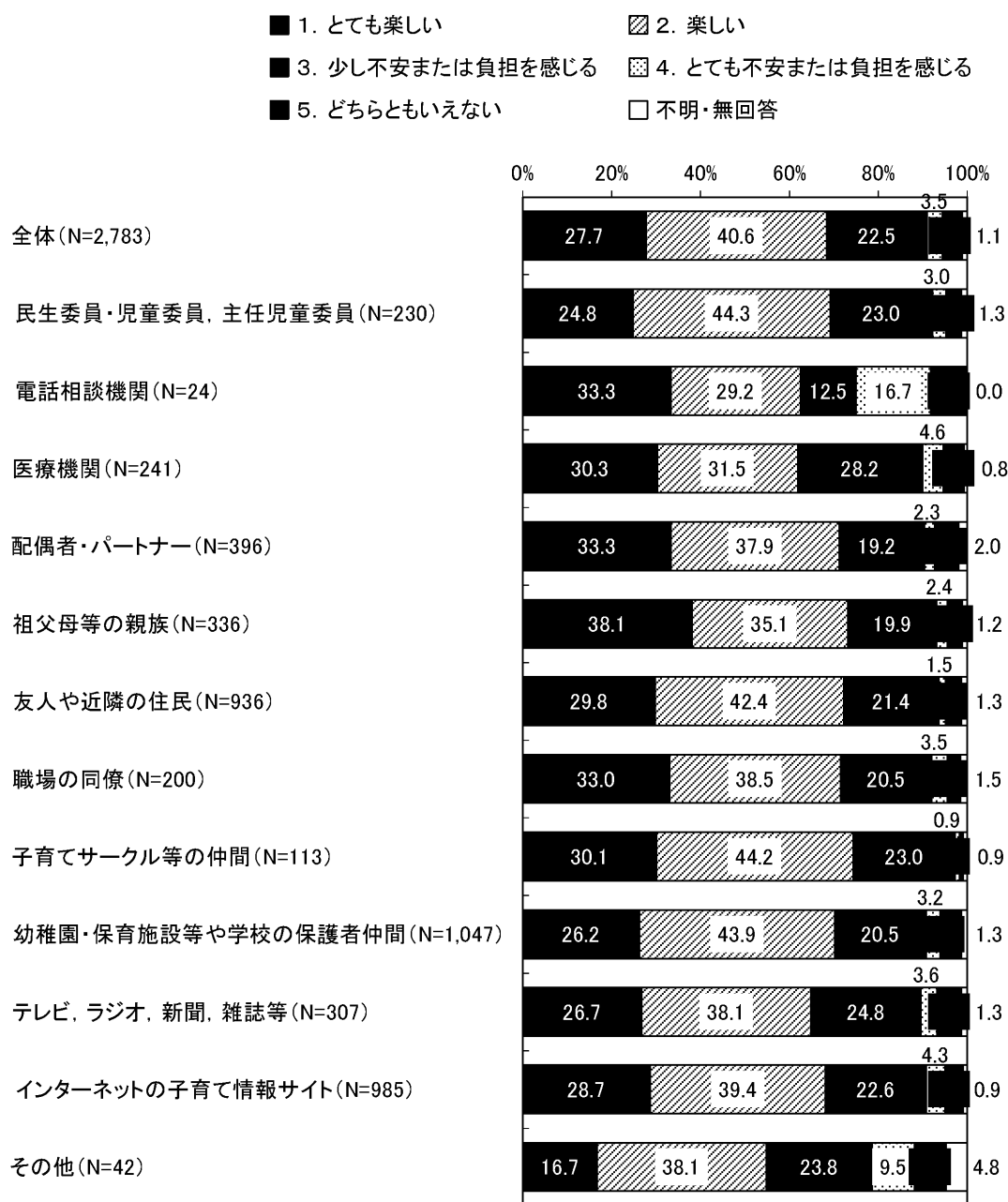
①行政では、「児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）」で『不安または負担を感じる（「3. 少し不安または負担を感じる」と「4. とても不安または負担を感じる」の合計）』の割合が他の区分に比べ高くなっています。

①行政



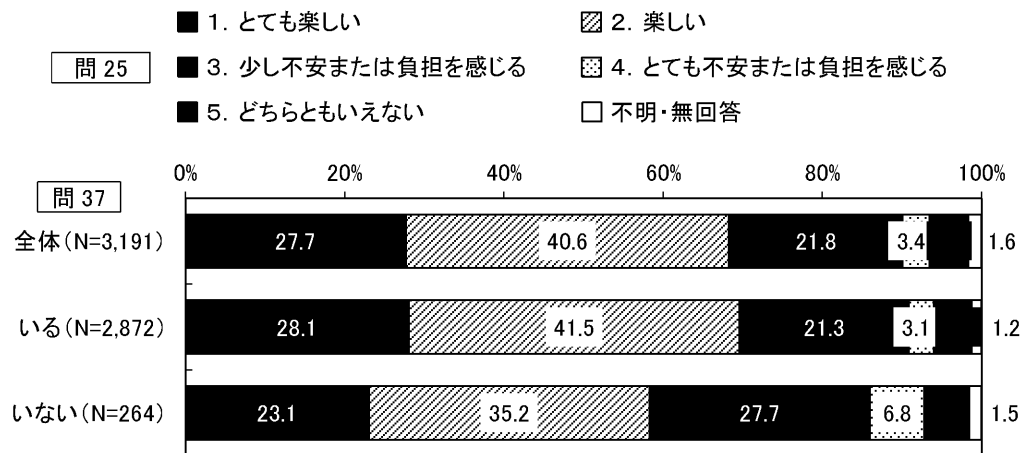
②民間では、[電話相談機関]では「4. とても不安または負担を感じる」の割合が他の区分に比べて高くなっています。

②民間



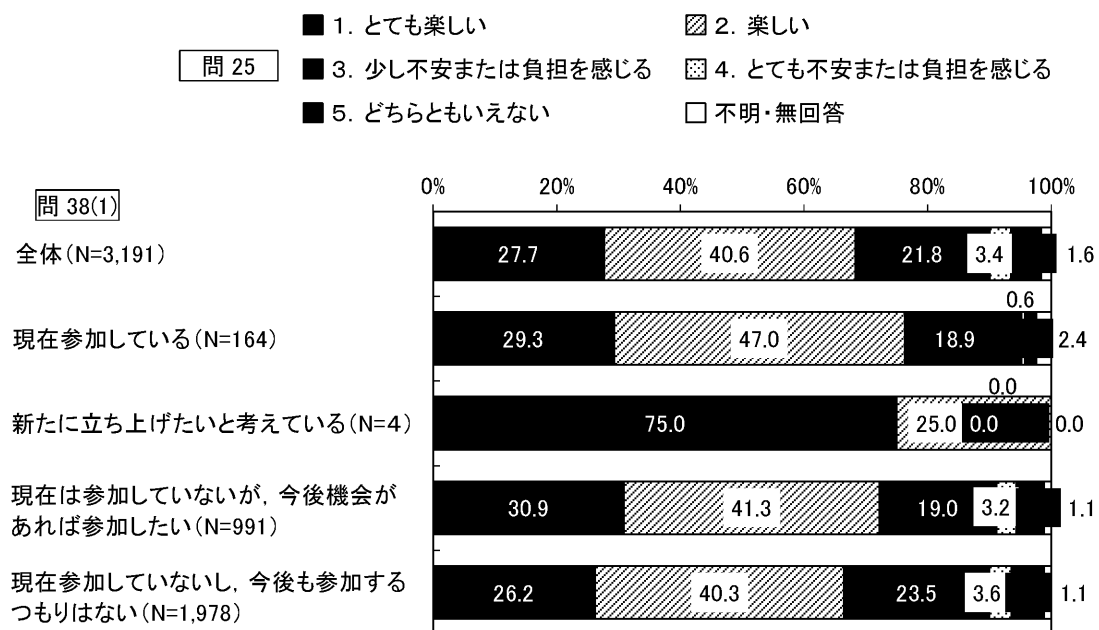
《問 25×問 37 子育て仲間の有無別》

「いない」では『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』の割合が「いる」に比べ低くなっています。



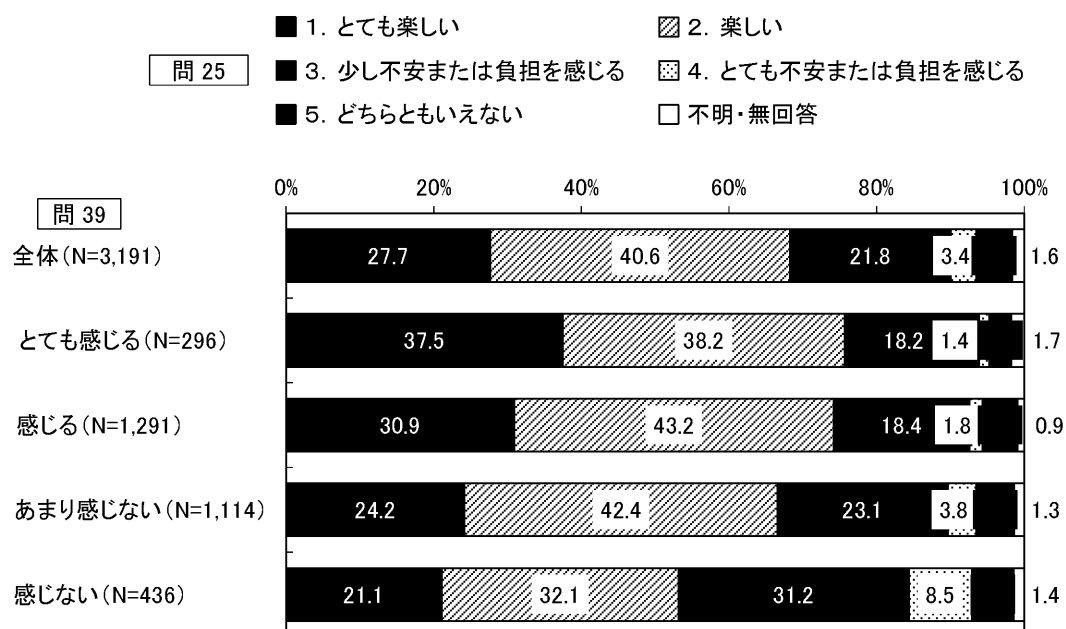
《問 25×問 38(1)子育てサークル等の自主的な活動の参加状況別》

「現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」では『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』の割合が「現在参加している」に比べ低くなっています。



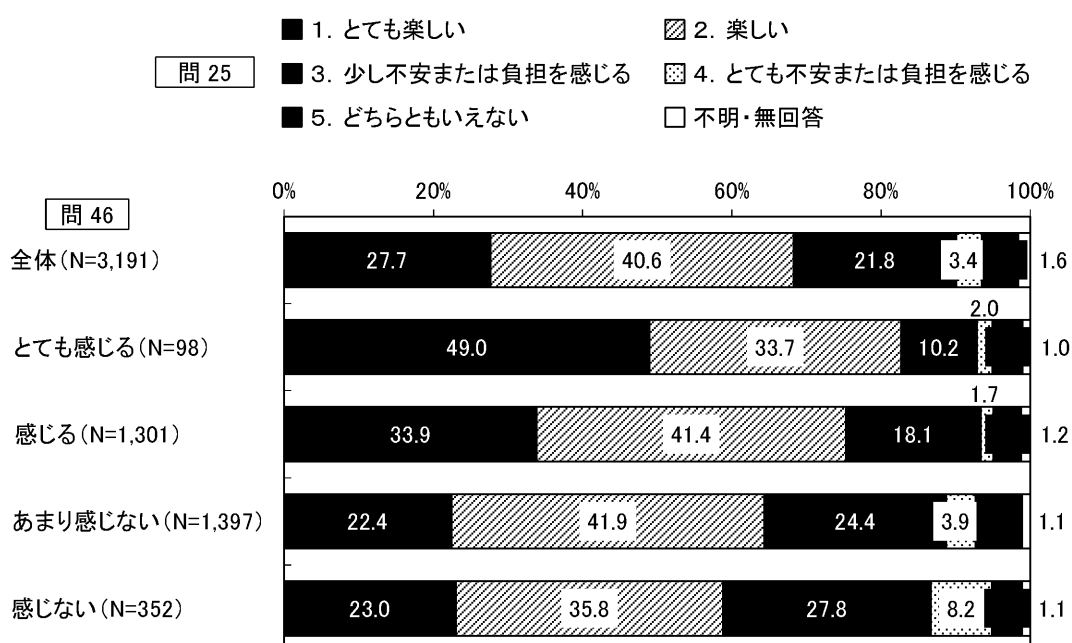
《問 25×問 39 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じている方ほど『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



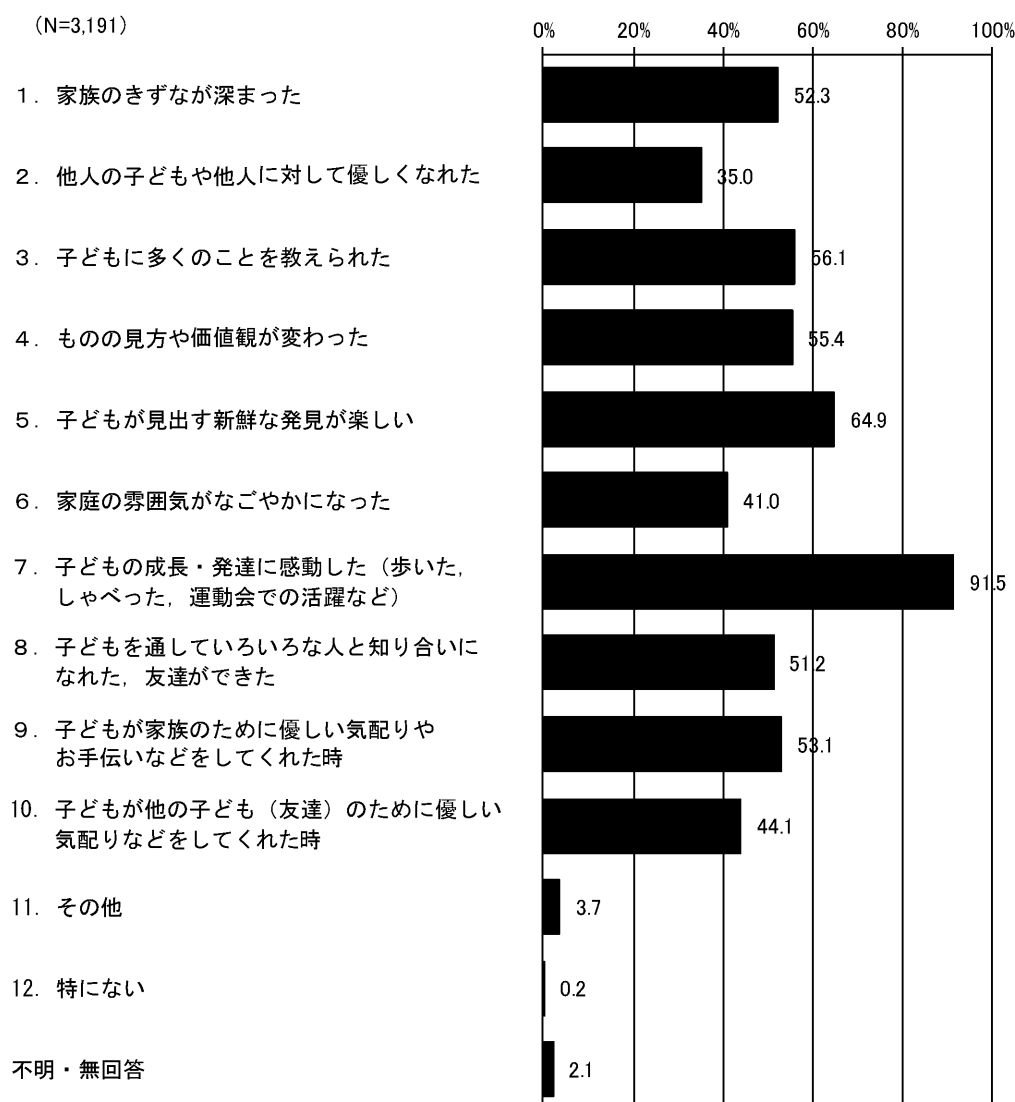
《問 25×問 46 京都市は子育てしやすいまちだと感じるか別》

京都市は子育てしやすいまちだと感じている方ほど『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



問 26 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と最も感じる事、感じる時についてお答えください。（〇はいくつでも）

「7. 子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」が 91.5%と最も高く、次いで「5. 子どもが見出す新鮮な発見が楽しい」が 64.9%、「3. 子どもに多くのことを教えられた」が 56.1%となっています。



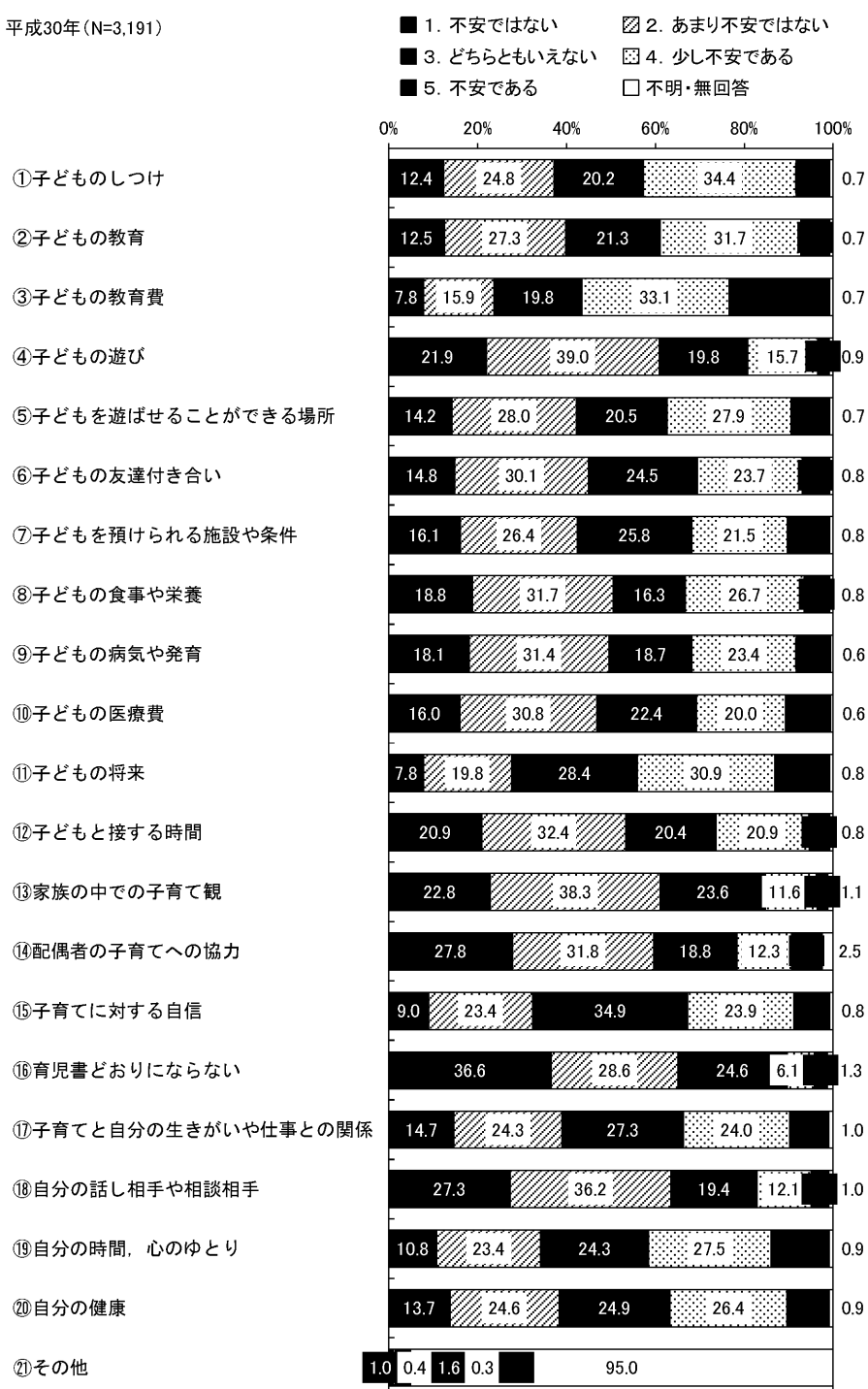
問 27 宛名のお子さまを育てていて、日頃、不安に感じていることはありますか。

(〇はそれぞれ1つずつ)

『不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)』は、[③子どもの教育費]が55.9%と最も高く、次いで[⑪子どもの将来]が43.2%、[①子どものしつけ]が42.0%となっています。

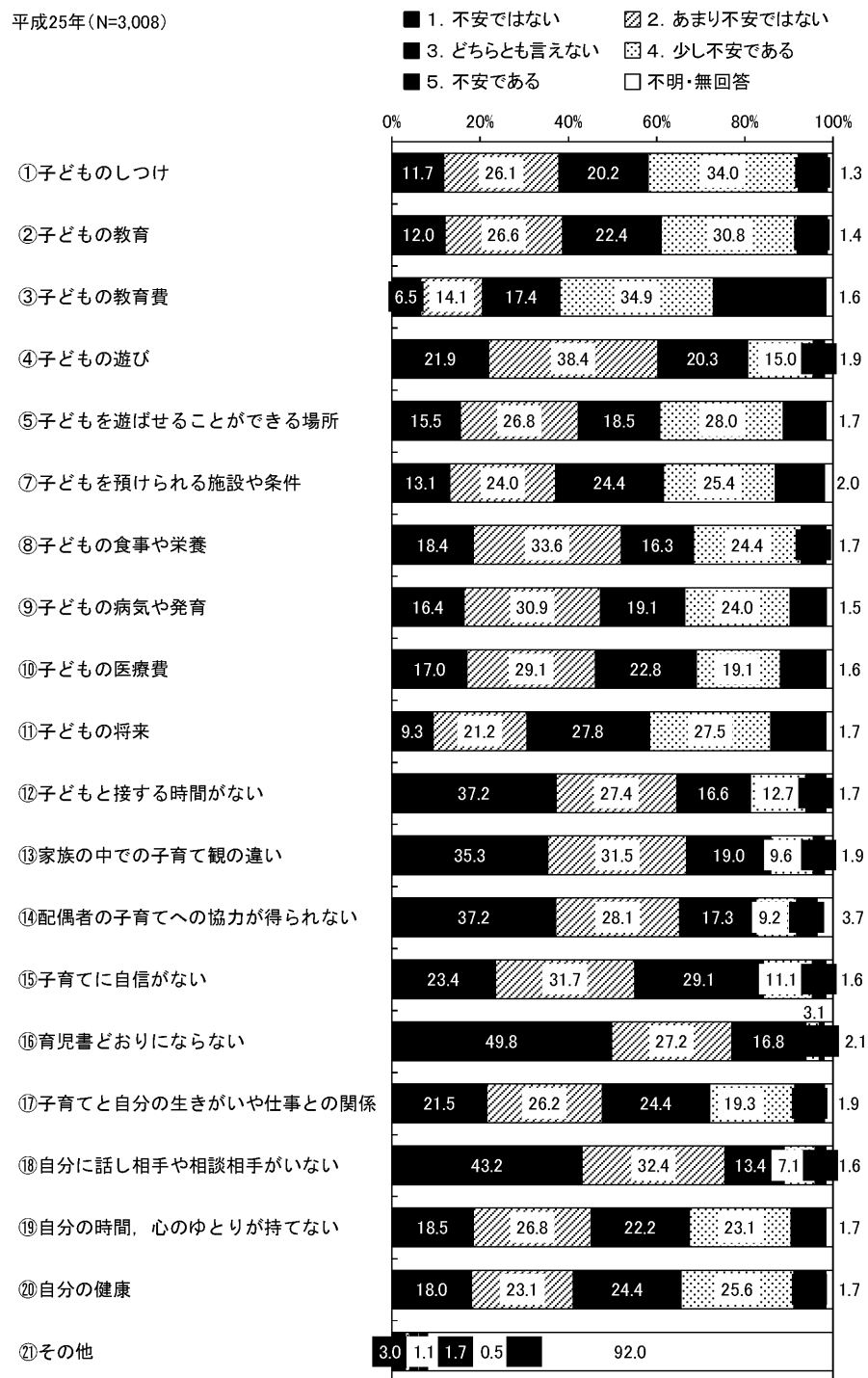
『不安ではない(「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計)』は、[⑩育児書どおりにならない]が65.2%と最も高く、次いで[⑱自分の話し相手や相談相手]が63.5%、[⑬家族の中での子育て観]が61.1%となっています。

平成30年(N=3,191)



平成25年と比較すると、『不安ではない（「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計）』では，[⑮子育てに対する自信]が22.7ポイント，[⑮自分の話し相手や相談相手]が12.1ポイント低く，「⑦子どもを預けられる施設や条件」が5.4ポイント高くなっています。

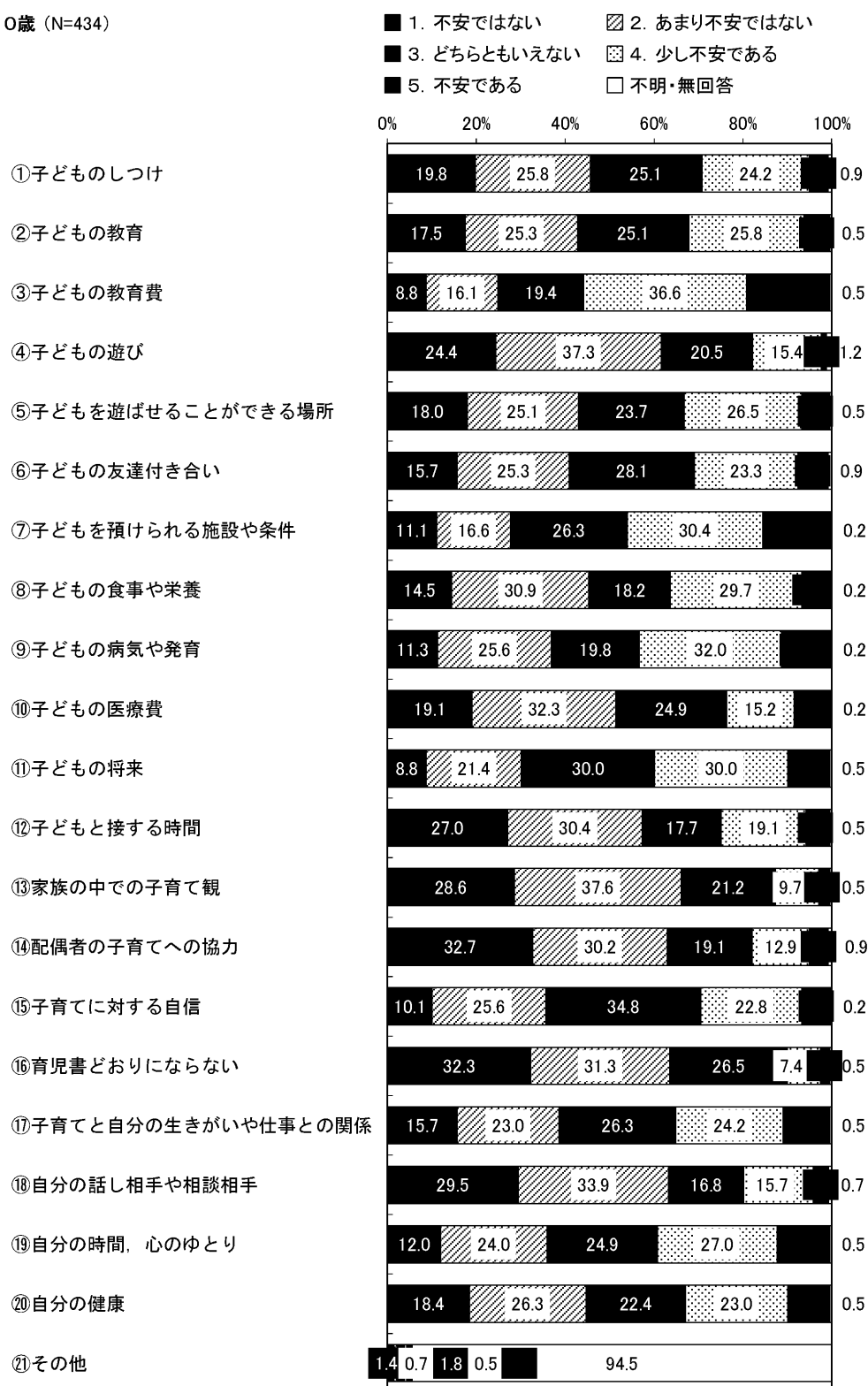
平成25年(N=3,008)



《問 27×問 1 子どもの年齢別》

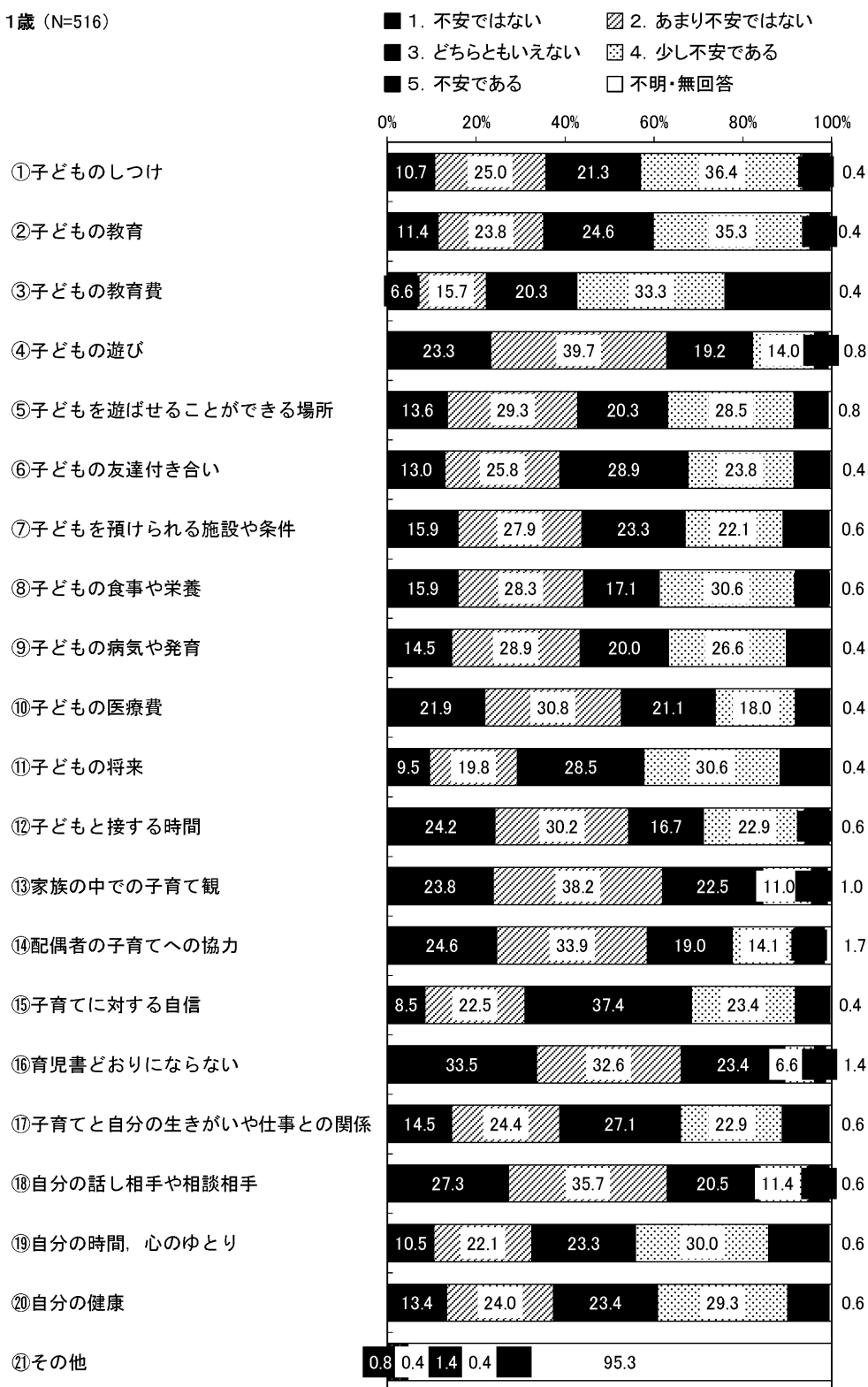
0 歳について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費] が 55.3%と最も高く、次いで [⑦子どもを預けられる施設や条件] が 45.8%、[⑨子どもの病気や発育] が 43.1%となっています。

0歳 (N=434)



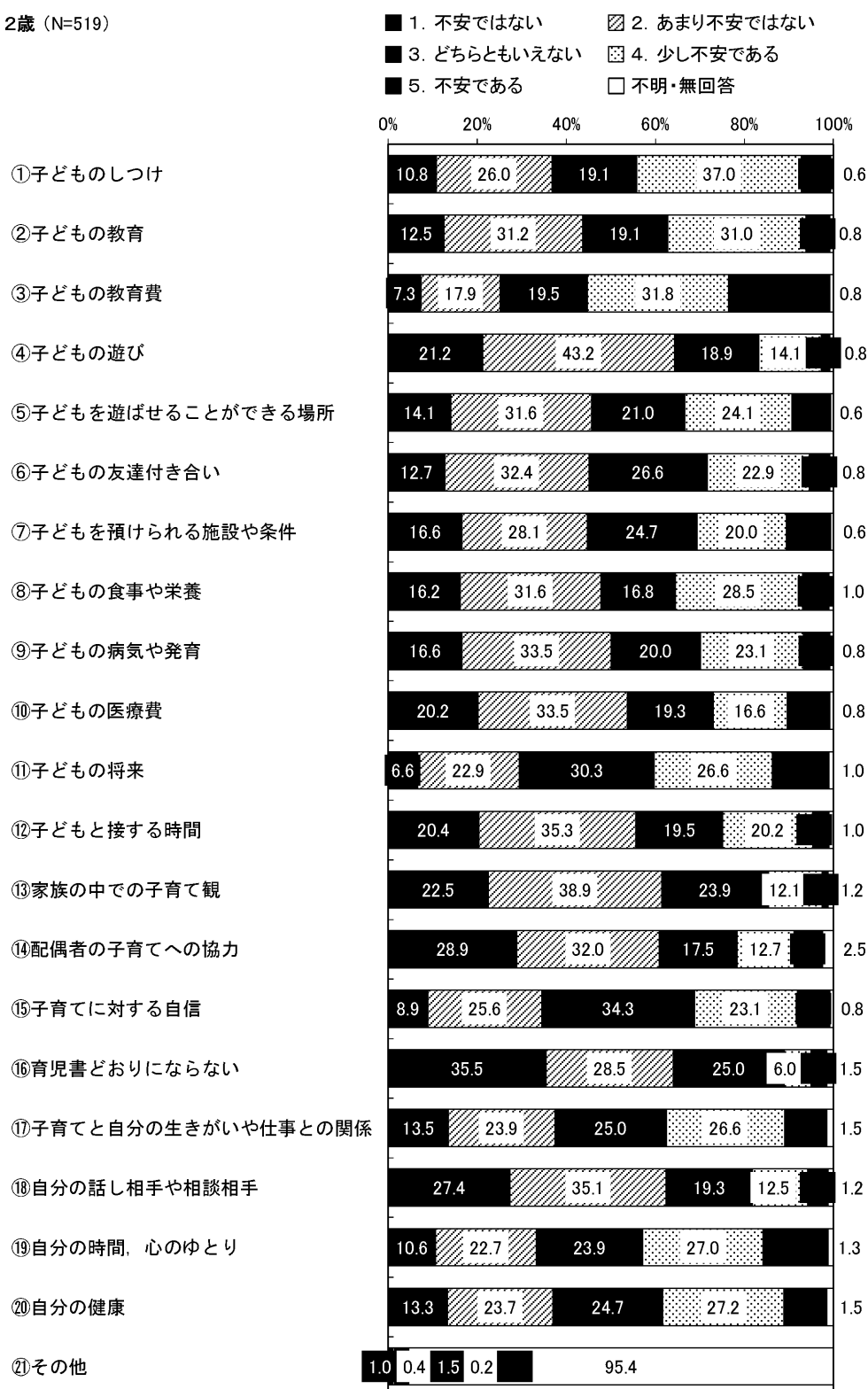
1歳について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が56.9%と最も高く、次いで[⑭自分の時間、心のゆとり]が43.6%、[①子どものしつけ]が42.6%となっています。

1歳 (N=516)



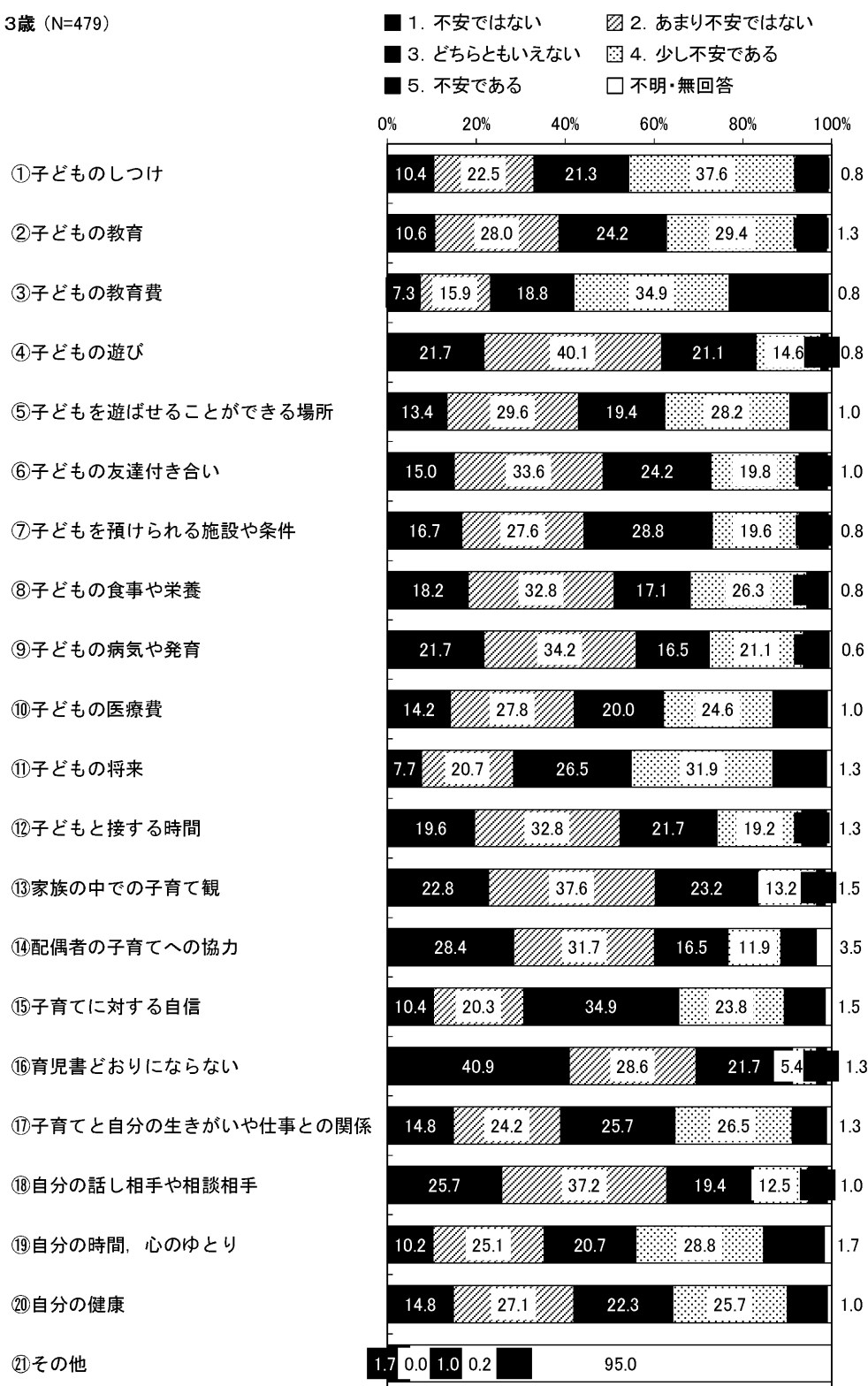
2歳について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が54.5%と最も高く、次いで[①子どものしつけ]が43.6%，[⑩自分の時間，心のゆとり]が41.5%となっています。

2歳（N=519）



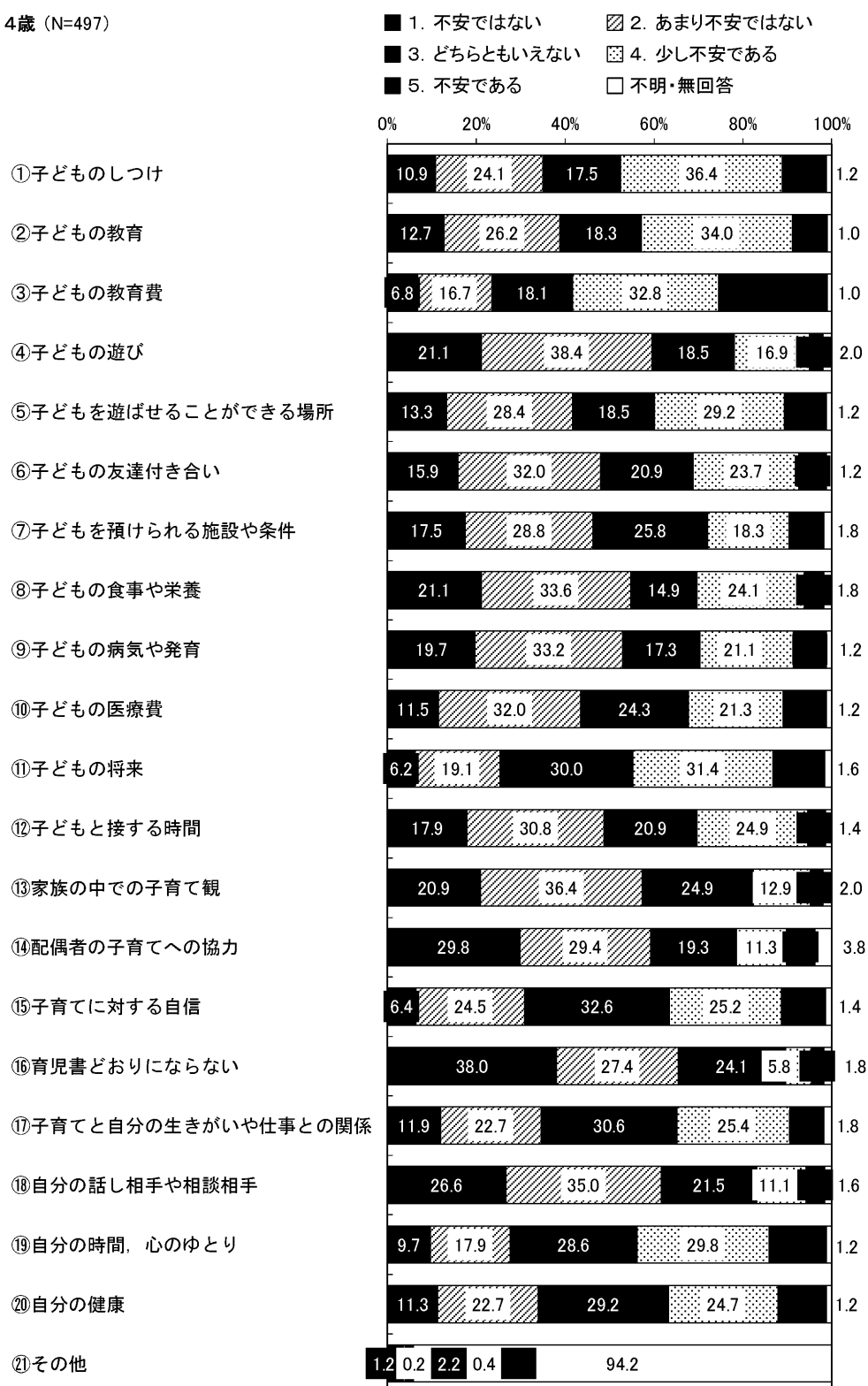
3歳について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が57.2%と最も高く、次いで[①子どものしつけ]が44.9%、[⑪子どもの将来]が43.8%となっています。

3歳 (N=479)



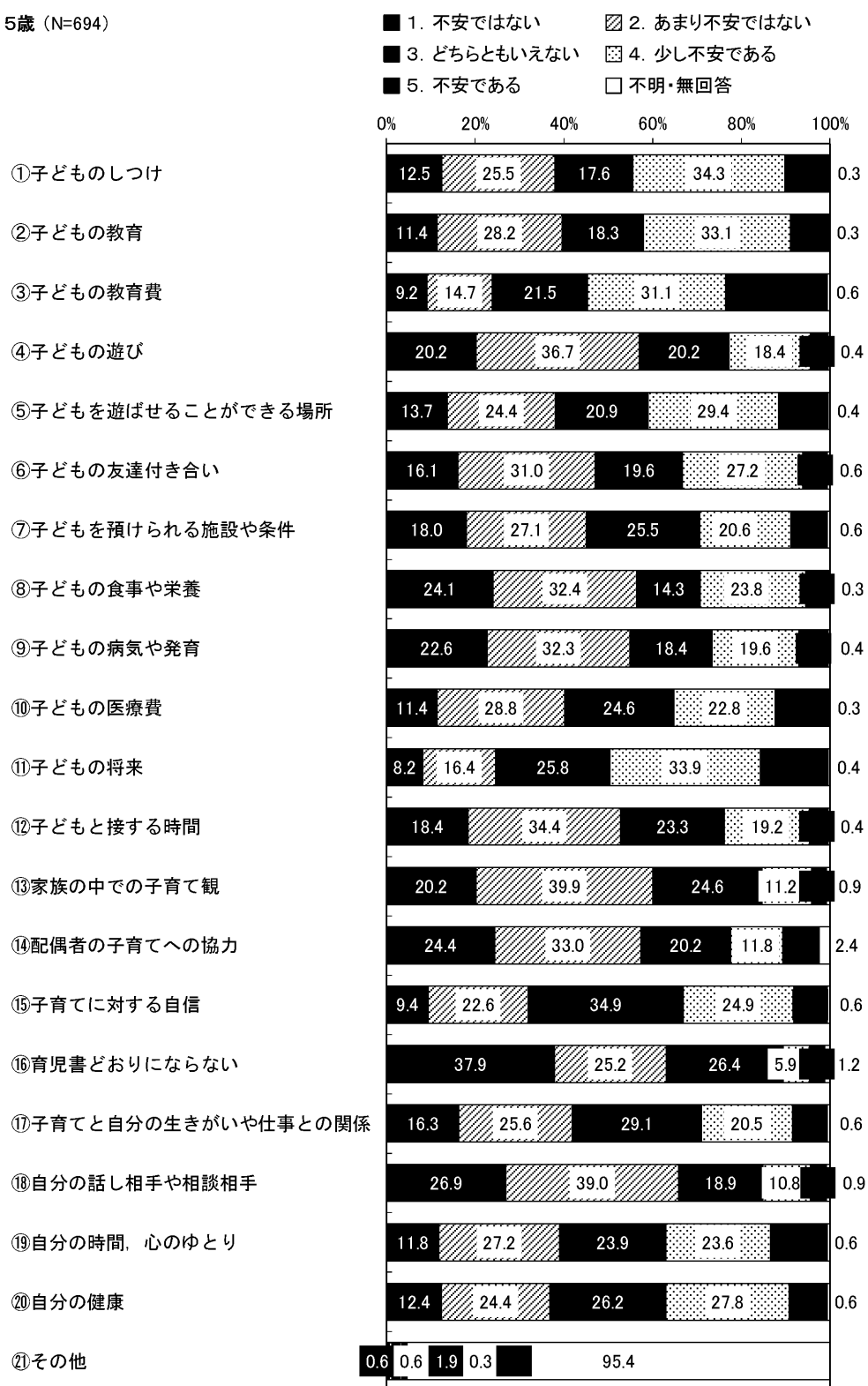
4歳について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が57.3%と最も高く、次いで[①子どものしつけ]が46.3%，[⑪子どもの将来]が43.1%となっています。

4歳 (N=497)



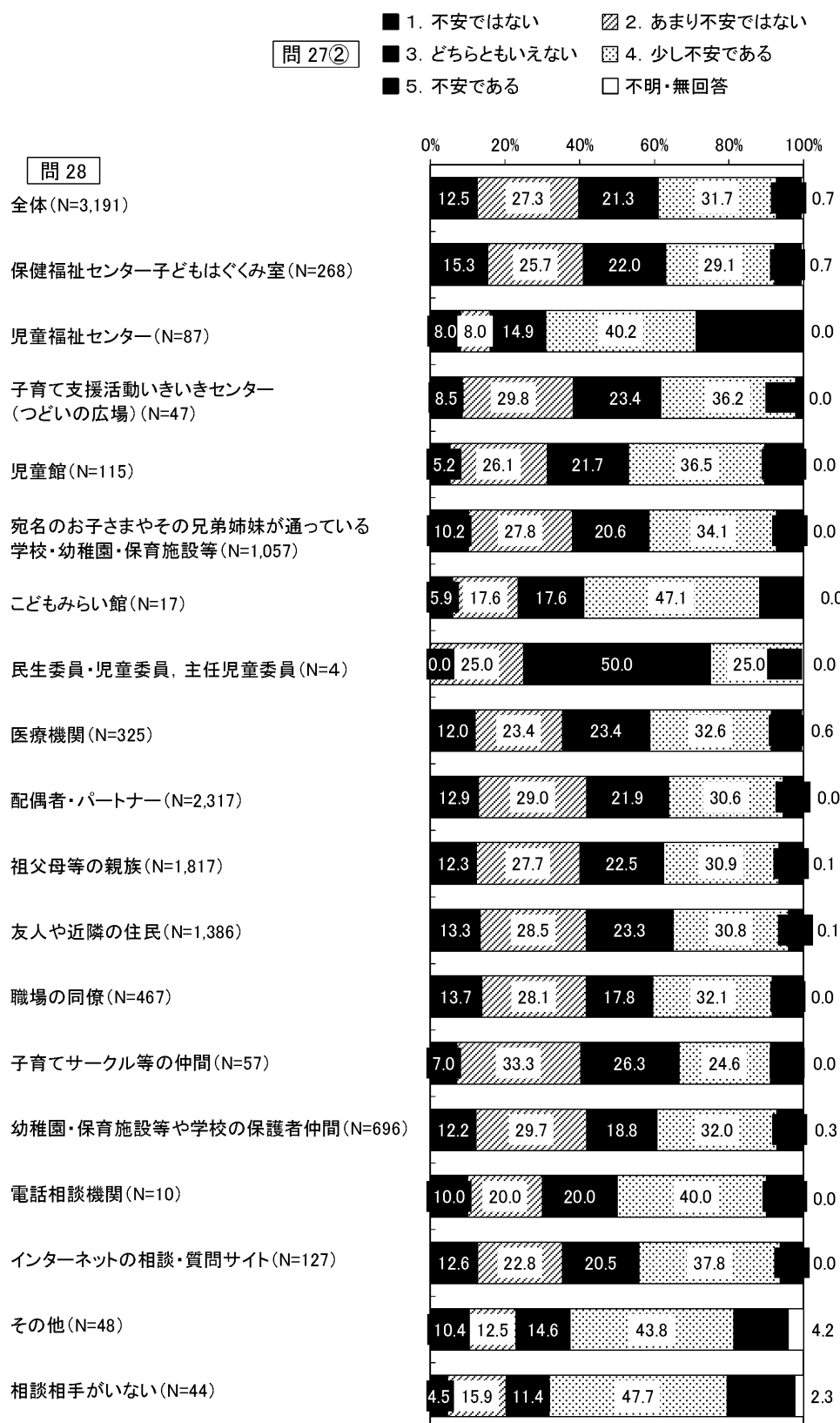
5歳について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が54.0%と最も高く、次いで[⑪子どもの将来]が49.2%、[①子どものしつけ]が44.1%となっています。

5歳（N=694）



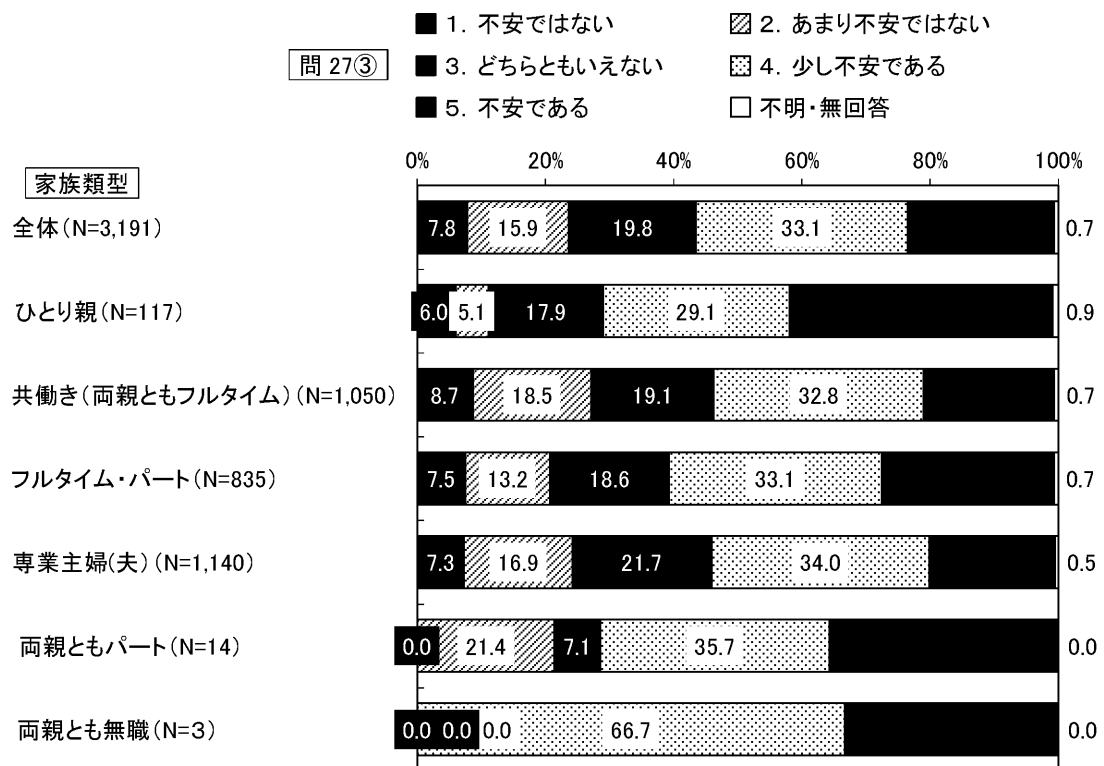
《問 27②子どもの教育×問 28 相談先・相談相手別》

②子どもの教育について、「[児童福祉センター][相談相手がいない]」では『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』が6割を超えています。



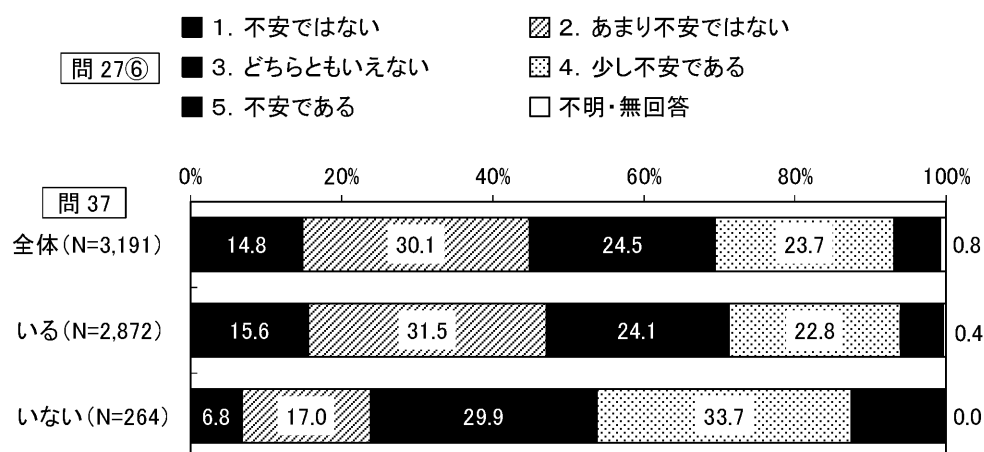
《問 27③子どもの教育費×家族類型別》

③子どもの教育費について、[ひとり親]では「5. 不安である」が4割を超えています。



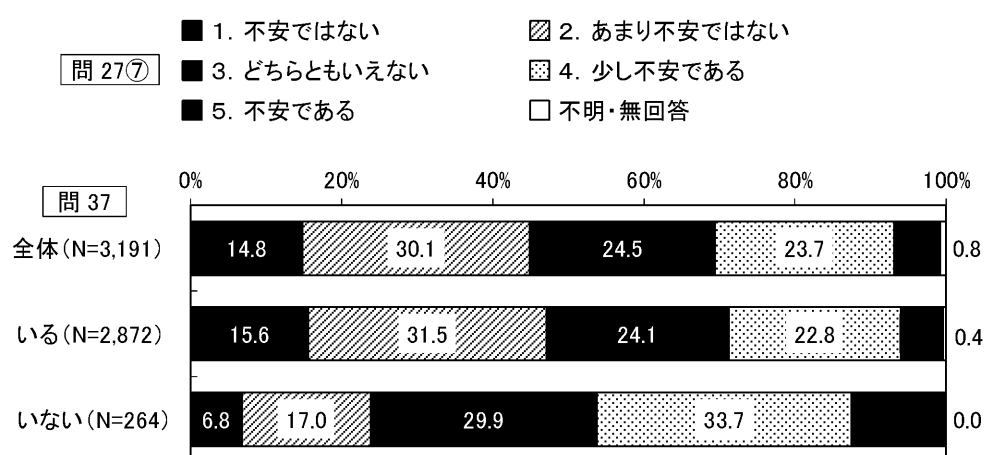
《問 27⑥子どもの友達付き合い×問 37 子育て仲間の有無別》

子どもの友達付き合いについて、[いない] では『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が [いる] に比べ高くなっています。



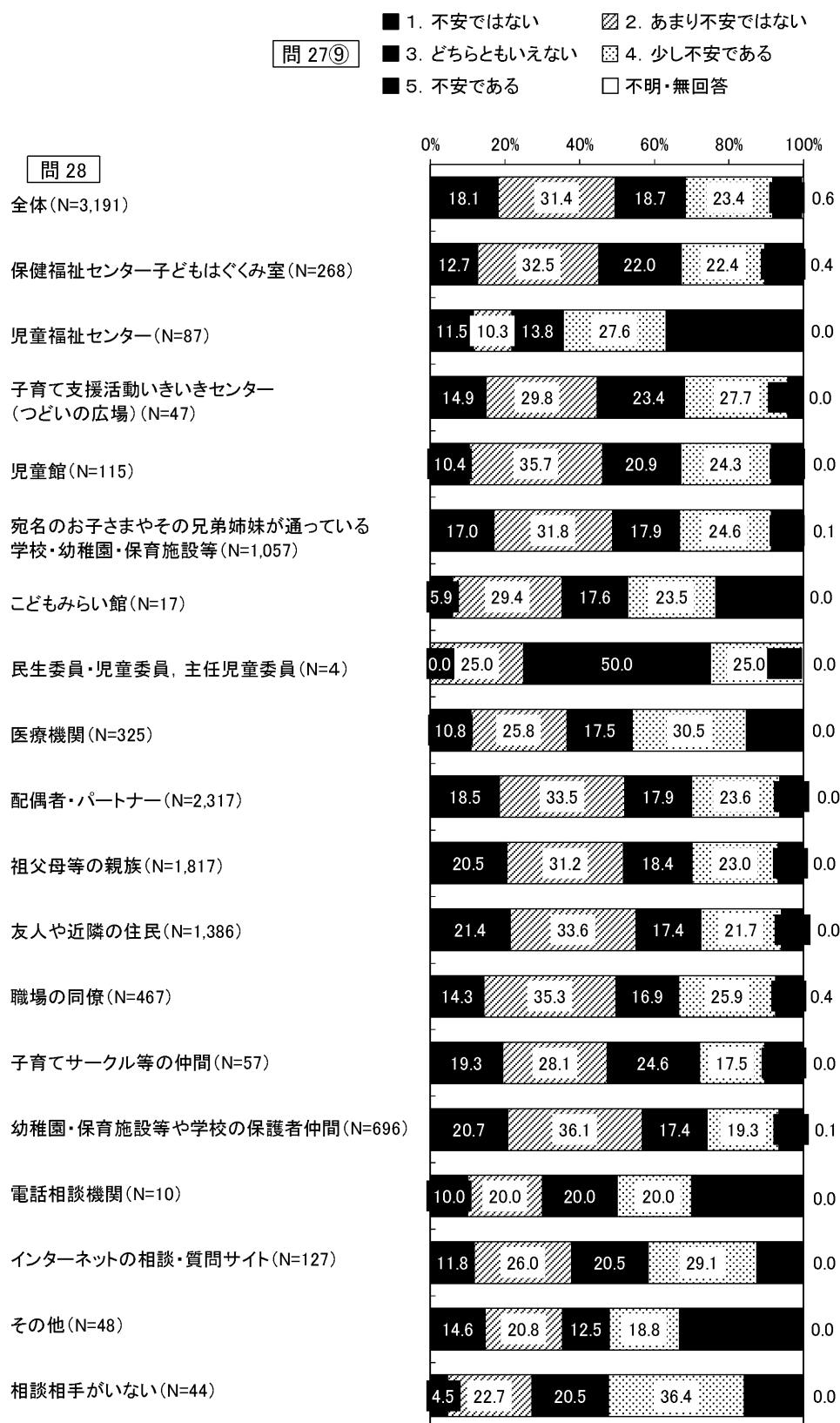
《問 27⑦子どもを預けられる施設や条件×問 37 子育て仲間の有無別》

子どもを預けられる施設や条件について、[いない] では『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が [いる] に比べ高くなっています。



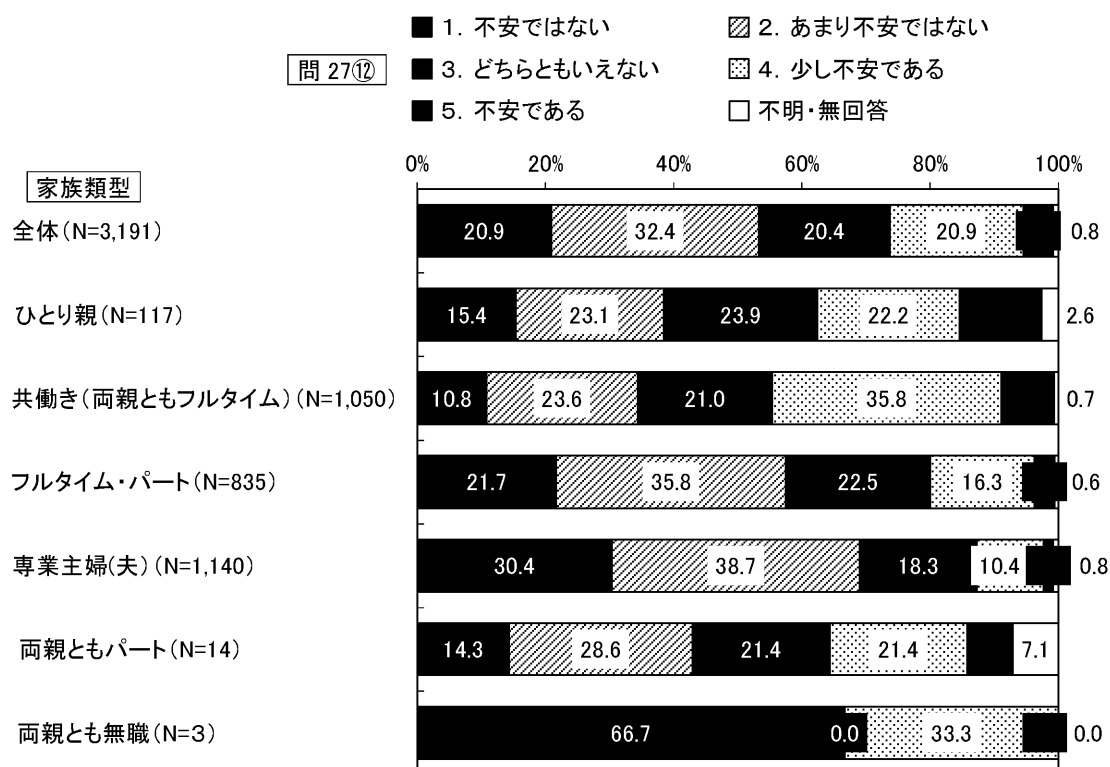
《問 27⑨子どもの病気や発育×問 28 相談先・相談相手別》

⑨子どもの病気や発育について、「児童福祉センター」では『不安である（「4．少し不安である」と「5．不安である」の合計）』が6割を超えています。



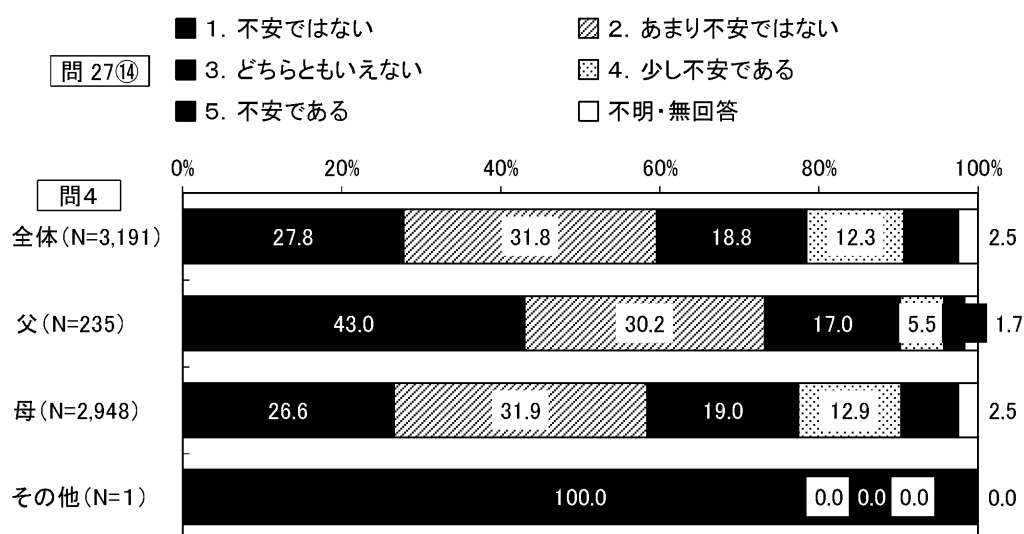
《問 27⑫子どもと接する時間×家族類型別》

⑫子どもと接する時間について、[ひとり親][共働き(両親ともフルタイム)]で『不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)』の割合が[フルタイム・パート][専業主婦(夫)]に比べ高くなっています。



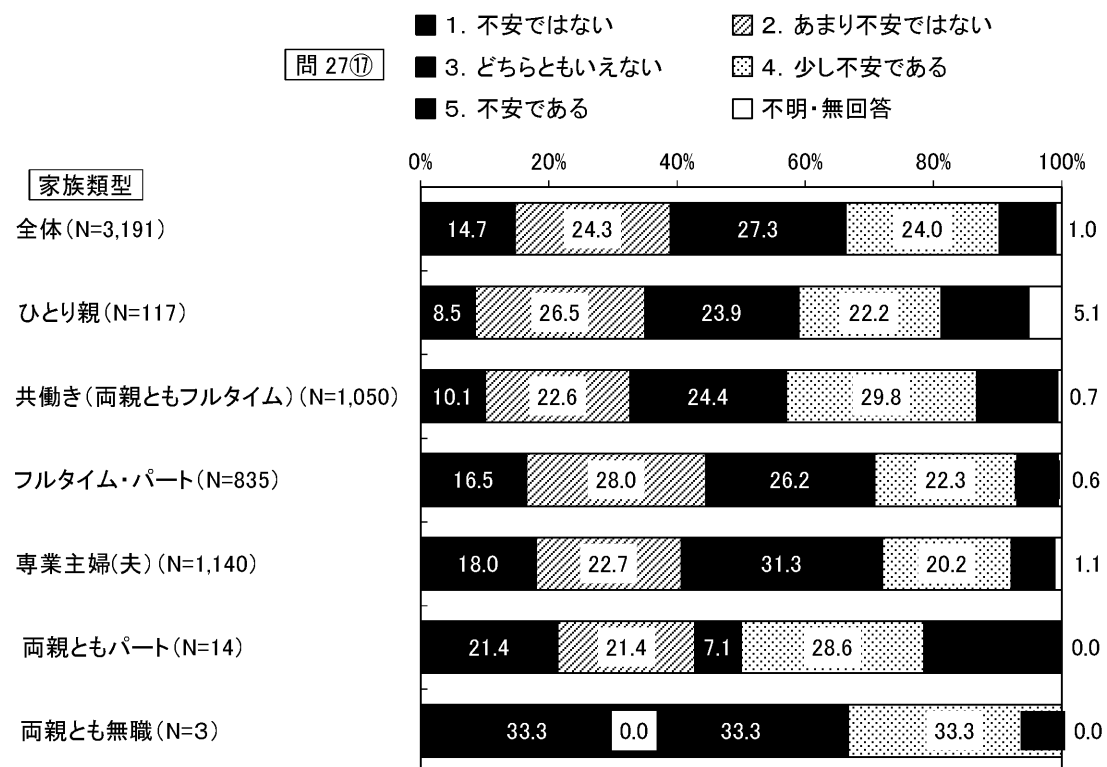
《問 27⑭配偶者の子育てへの協力×問 4 調査票の記入者別》

⑭配偶者の子育てへの協力について、『父』では「1. 不安ではない」の割合が『母』に比べ高くなっています。



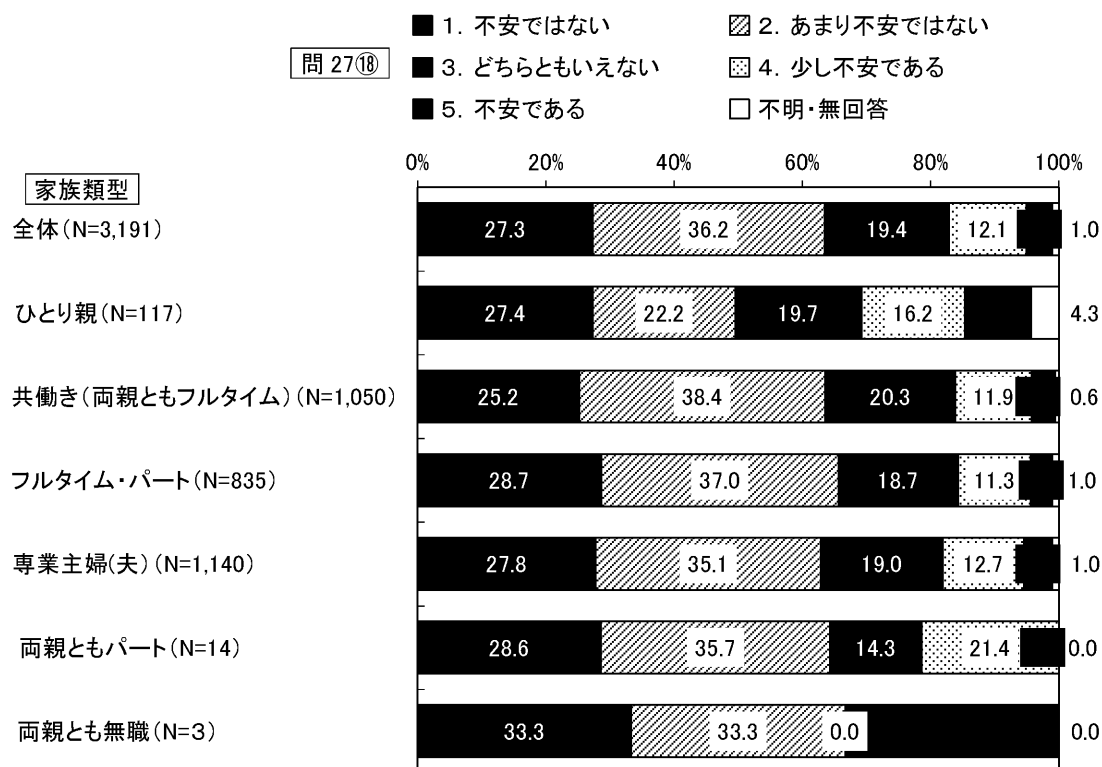
《問 27⑰子育てと自分の生きがいや仕事との関係×家族類型別》

⑰子育てと自分の生きがいや仕事との関係について、[ひとり親] [共働き（両親ともフルタイム）] で『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が [フルタイム・パート] [専業主婦（夫）] に比べ高くなっています。



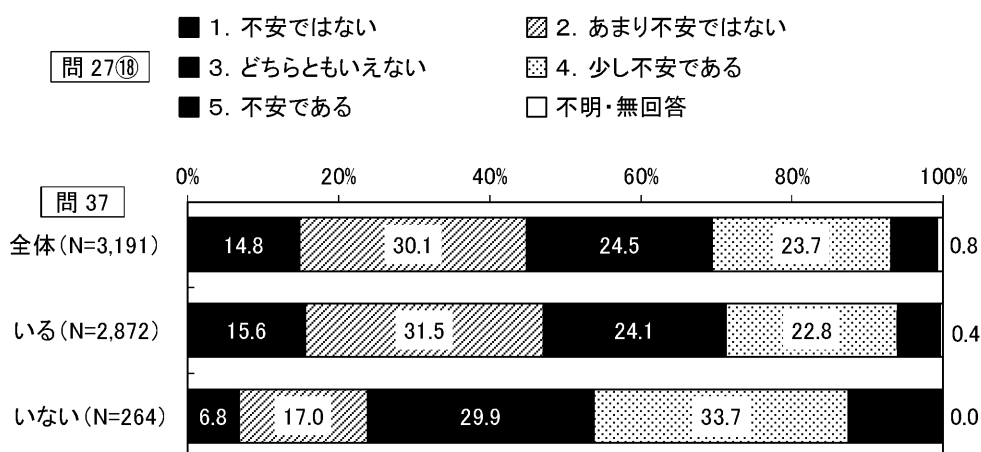
《問 27⑩自分の話し相手や相談相手×家族類型別》

⑩自分の話し相手や相談相手について、[ひとり親]で『不安ではない（「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計）』の割合が他の区分に比べ低くなっています。



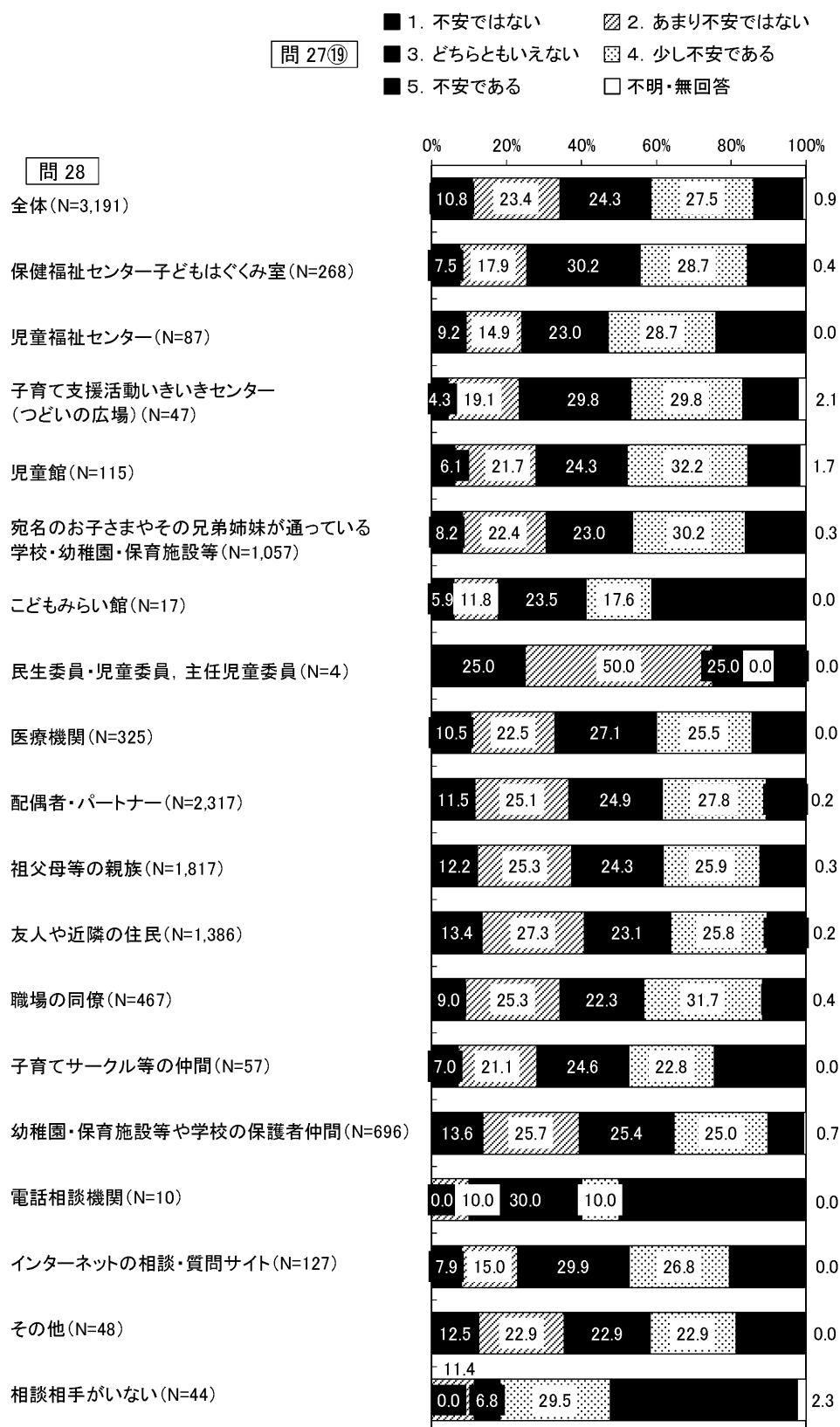
《問 27⑩自分の話し相手や相談相手×問 37 子育て仲間の有無別》

自分の話し相手や相談相手について、[いない]では『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が[いる]に比べ高くなっています。



＜問 27⑱自分の時間、心のゆとり×問 28 相談先・相談相手別＞

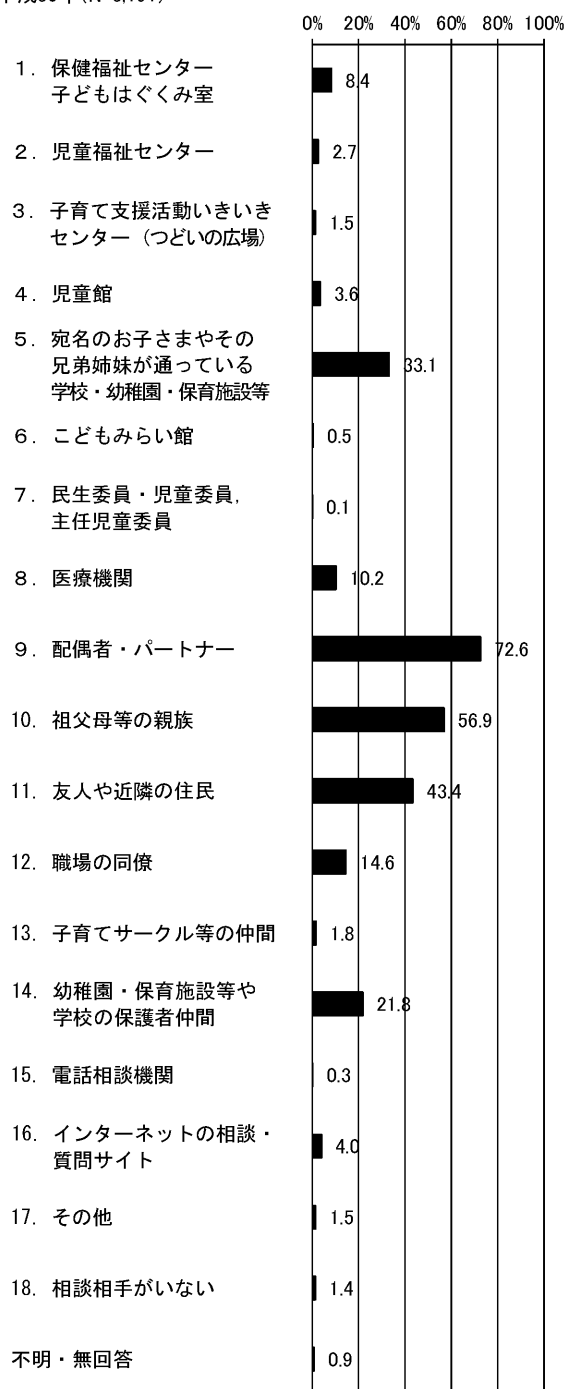
⑱自分の時間、心のゆとりについて、[相談相手がいない]では『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』が約8割と他の区分に比べ高くなっています。



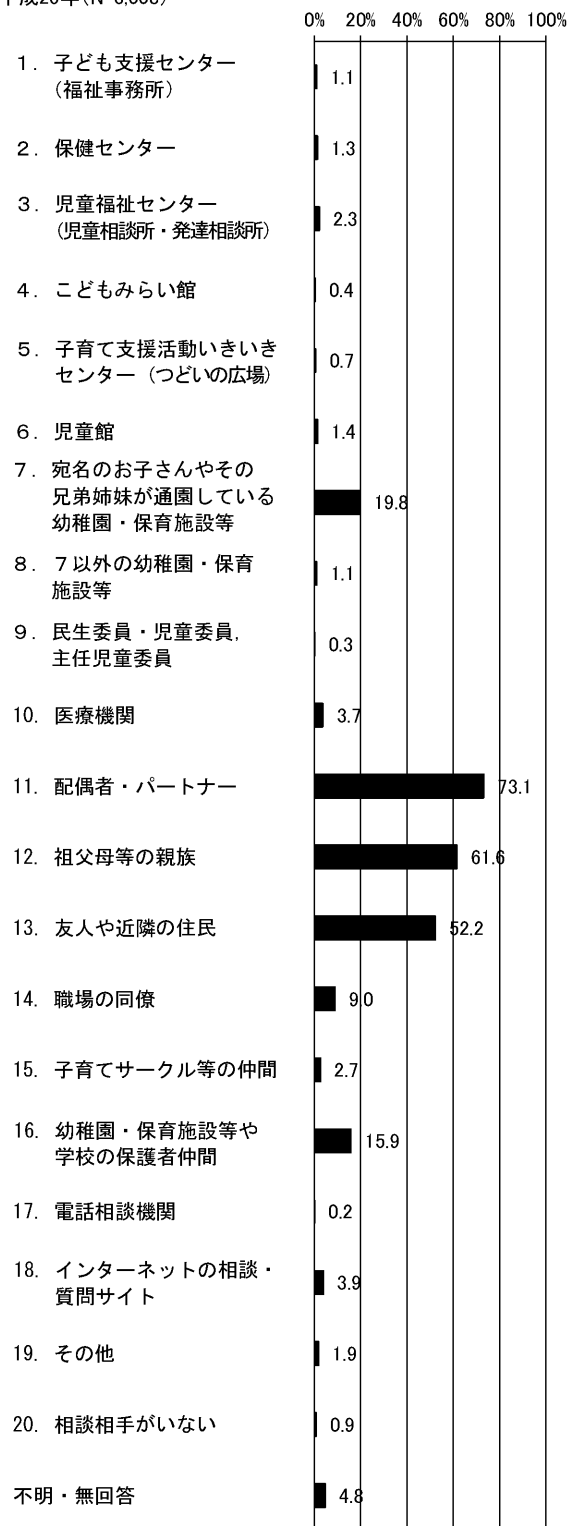
問 28 宛名のお子さまを育てるうえで、日頃気になることをどこに、または誰に相談していますか。(〇は3つまで)

「9. 配偶者・パートナー」が72.6%と最も高く、次いで「10. 祖父母等の親族」が56.9%、「11. 友人や近隣の住民」が43.4%となっています。

平成30年(N=3,191)



平成25年(N=3,008)



《問 28×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「配偶者・パートナー」の割合が最も高く、次いで「祖父母等の親族」となっています。

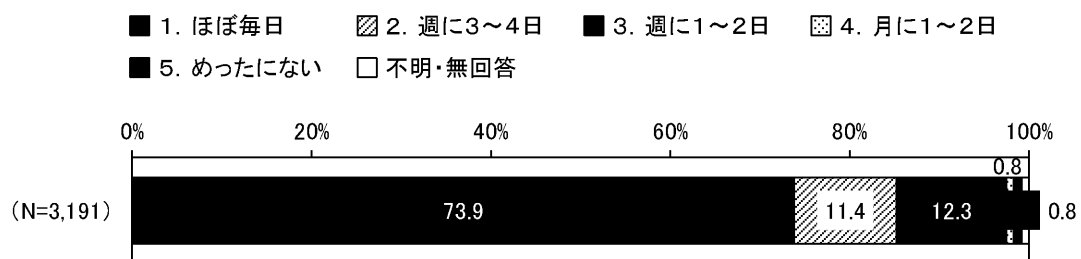
また、子どもの年齢が上がるほど「幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」の割合が高くなる傾向がみられます。

子どもの年齢	0歳未満	0歳～2歳未満	2歳～4歳未満	4歳～6歳未満	6歳～12歳未満	12歳～18歳未満	18歳以上	合計	割合	割合
3,191	268	87	47	115	1,057	17	4	325	2,317	1,817
100.0	8.4	2.7	1.5	3.6	33.1	0.5	0.1	10.2	72.6	56.9
434	59	0	11	20	57	2	3	75	334	280
100.0	13.6	0.0	2.5	4.6	13.1	0.5	0.7	17.3	77.0	64.5
516	54	9	11	31	151	1	0	61	371	305
100.0	10.5	1.7	2.1	6.0	29.3	0.2	0.0	11.8	71.9	59.1
519	36	9	8	23	153	2	0	57	385	313
100.0	6.9	1.7	1.5	4.4	29.5	0.4	0.0	11.0	74.2	60.3
479	32	9	9	18	197	2	0	39	342	259
100.0	6.7	1.9	1.9	3.8	41.1	0.4	0.0	8.1	71.4	54.1
497	35	22	4	8	220	3	1	37	367	258
100.0	7.0	4.4	0.8	1.6	44.3	0.6	0.2	7.4	73.8	51.9
694	49	38	1	12	266	7	0	55	482	375
100.0	7.1	5.5	0.1	1.7	38.3	1.0	0.0	7.9	69.5	54.0

子どもの年齢	0歳未満	0歳～2歳未満	2歳～4歳未満	4歳～6歳未満	6歳～12歳未満	12歳～18歳未満	18歳以上	合計	割合	割合
3,191	1,386	467	57	696	10	127	48	44	28	
100.0	43.4	14.6	1.8	21.8	0.3	4.0	1.5	1.4	0.9	
434	217	35	10	28	3	31	7	0	2	
100.0	50.0	8.1	2.3	6.5	0.7	7.1	1.6	0.0	0.5	
516	222	81	14	72	2	15	11	5	4	
100.0	43.0	15.7	2.7	14.0	0.4	2.9	2.1	1.0	0.8	
519	223	86	17	90	1	31	6	11	4	
100.0	43.0	16.6	3.3	17.3	0.2	6.0	1.2	2.1	0.8	
479	202	72	5	133	1	11	8	8	4	
100.0	42.2	15.0	1.0	27.8	0.2	2.3	1.7	1.7	0.8	
497	204	69	4	138	0	15	4	8	6	
100.0	41.0	13.9	0.8	27.8	0.0	3.0	0.8	1.6	1.2	
694	294	114	5	224	3	23	10	12	6	
100.0	42.4	16.4	0.7	32.3	0.4	3.3	1.4	1.7	0.9	

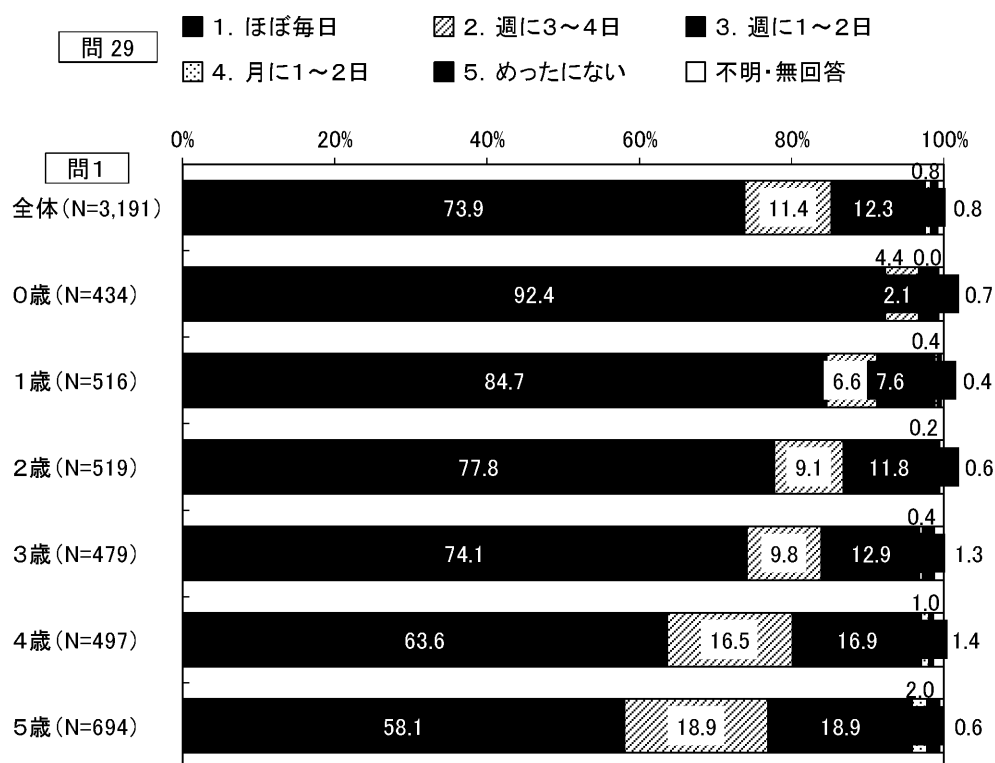
問 29 あなたは、宛名のお子さまと遊ぶ機会は、どの程度ありますか。(○は1つ)

「1. ほぼ毎日」が73.9%と最も高く、次いで「3. 週に1～2日」が12.3%、「2. 週に3～4日」が11.4%となっています。



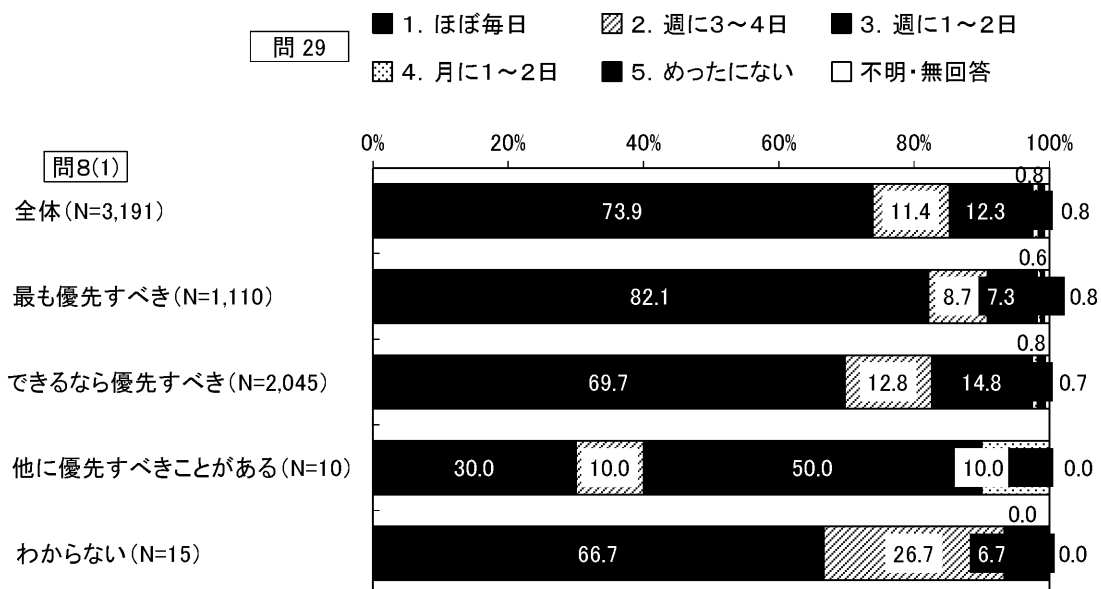
《問 29×問 1 子どもの年齢別》

子どもの年齢が上がるほど「1. ほぼ毎日」の割合が低くなる傾向がみられます。



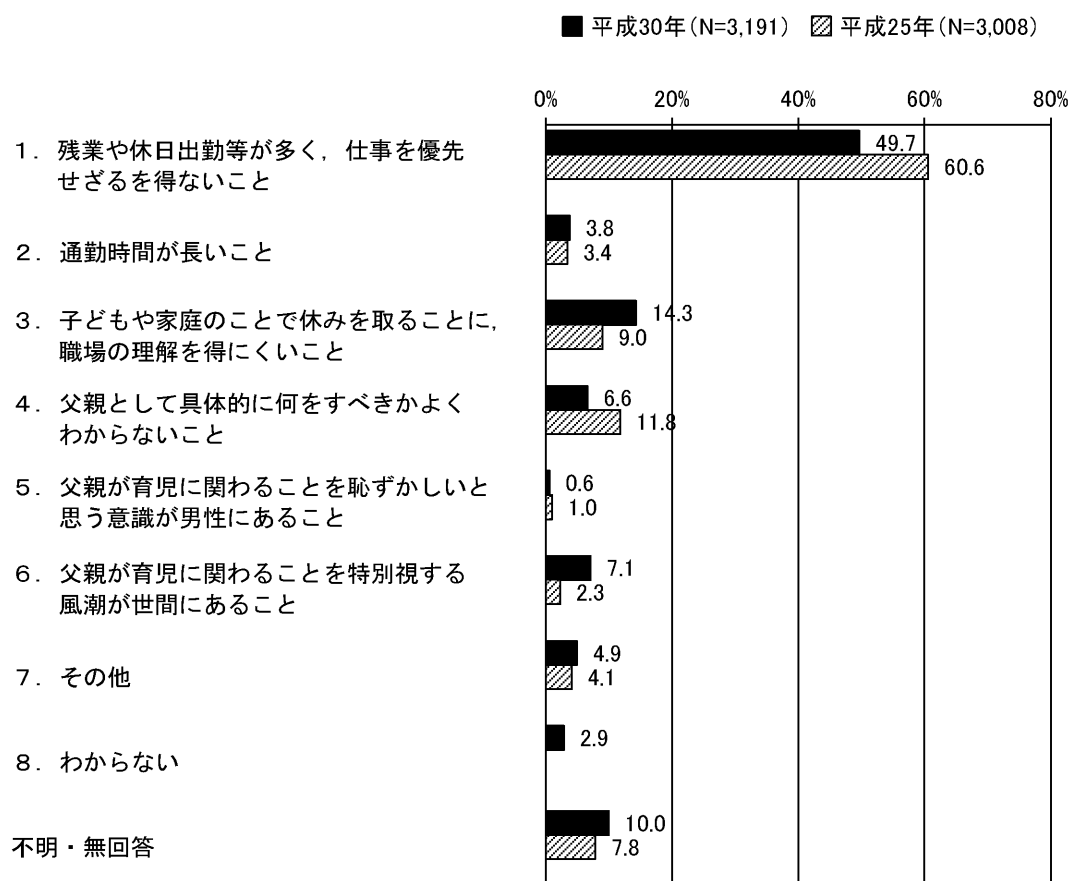
《問 29×問 8(1)子育てにける時間の優先度別》

子育てにける時間の優先度が高いほど「1. ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 30 育児休業取得率に代表されるように、子育てへの関わりについては一般的に母親よりも父親の方が少ないと言われていますが、その理由をどのように考えますか。（○は1つ）

「1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」が49.7%と最も高く、次いで「3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと」が14.3%、「6. 父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること」が7.1%となっています。



※「8. わからない」は平成30年のみの選択肢

《問 30×家族類型別》

すべての区分で「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

	3,191	1,585	120	457	211	20	227	157	94	320
	100.0	49.7	3.8	14.3	6.6	0.6	7.1	4.9	2.9	10.0
	117	34	2	15	17	1	10	5	17	16
	100.0	29.1	1.7	12.8	14.5	0.9	8.5	4.3	14.5	13.7
	1,050	484	31	183	66	7	94	58	12	115
	100.0	46.1	3.0	17.4	6.3	0.7	9.0	5.5	1.1	11.0
	835	424	33	107	55	5	52	44	18	97
	100.0	50.8	4.0	12.8	6.6	0.6	6.2	5.3	2.2	11.6
	1,140	626	52	143	65	7	68	48	42	89
	100.0	54.9	4.6	12.5	5.7	0.6	6.0	4.2	3.7	7.8
	14	5	1	1	3	0	3	1	0	0
	100.0	35.7	7.1	7.1	21.4	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0
	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《問 30×問 4 調査票の記入者別》

『父』『母』ともに「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

	3,191	1,585	120	457	211	20	227	157	94	320
	100.0	49.7	3.8	14.3	6.6	0.6	7.1	4.9	2.9	10.0
	235	120	16	29	6	2	14	11	5	32
	100.0	51.1	6.8	12.3	2.6	0.9	6.0	4.7	2.1	13.6
	2,948	1,461	104	427	204	18	213	146	89	286
	100.0	49.6	3.5	14.5	6.9	0.6	7.2	5.0	3.0	9.7
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

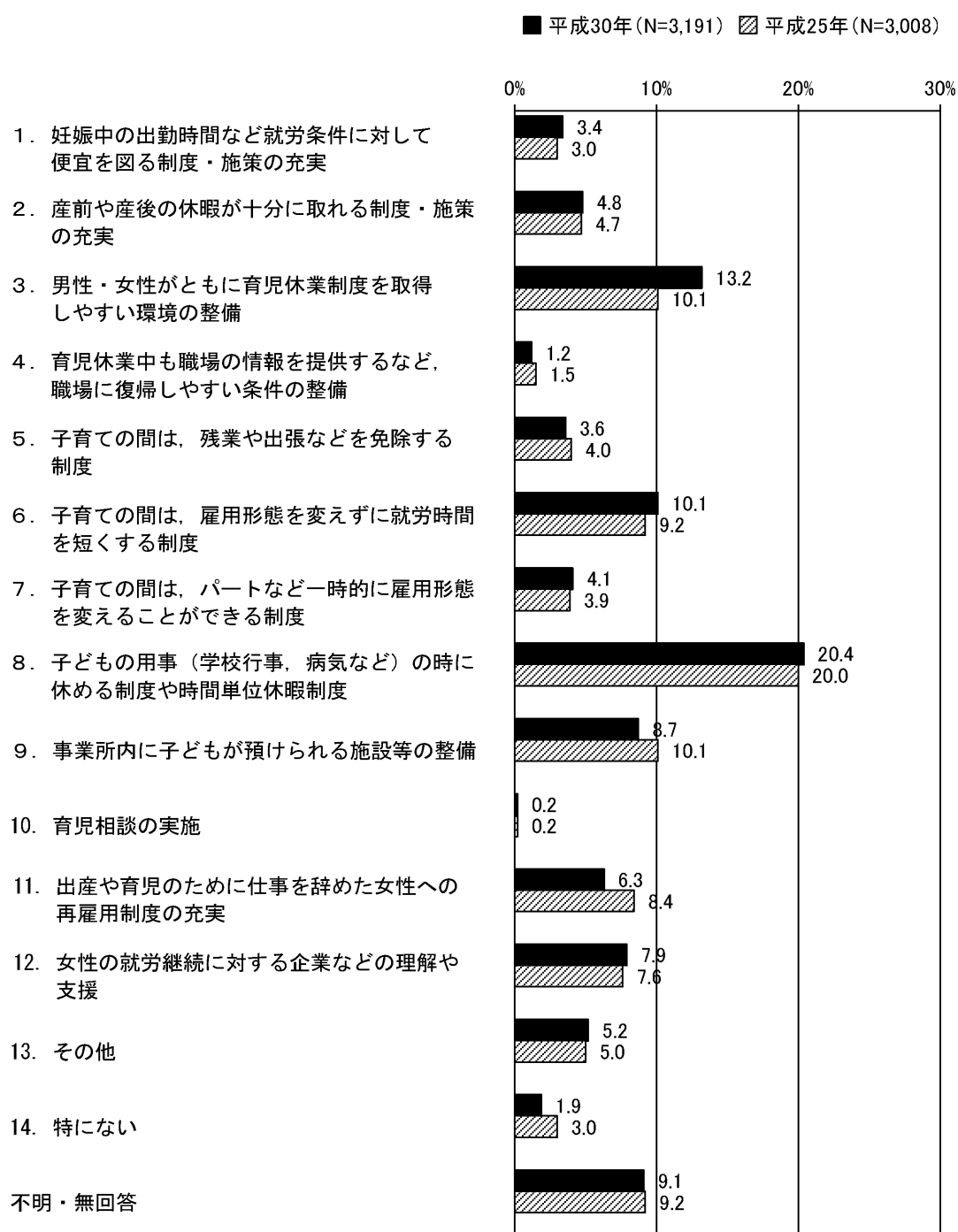
《問 30×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

父親がフルタイムで就労している家庭，母親がフルタイムで就労している（育休・介護休業中含む）家庭，母親がパートタイム，アルバイト等で就労している（育休・介護休業中含む）家庭，母親が現在就労していない家庭では「残業や休日出勤等が多く，仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

	3,191	1,585	120	457	211	20	227	157	94	320
	100.0	49.7	3.8	14.3	6.6	0.6	7.1	4.9	2.9	10.0
	2,974	1,516	116	419	182	19	208	149	67	298
	100.0	51.0	3.9	14.1	6.1	0.6	7.0	5.0	2.3	10.0
	8	1	0	3	1	0	3	0	0	0
	100.0	12.5	0.0	37.5	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0
	41	17	1	6	5	0	4	1	4	3
	100.0	41.5	2.4	14.6	12.2	0.0	9.8	2.4	9.8	7.3
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	22	8	0	8	1	0	2	2	1	0
	100.0	36.4	0.0	36.4	4.5	0.0	9.1	9.1	4.5	0.0
	852	376	27	140	57	7	78	40	19	108
	100.0	44.1	3.2	16.4	6.7	0.8	9.2	4.7	2.2	12.7
	286	133	5	61	20	1	21	21	3	21
	100.0	46.5	1.7	21.3	7.0	0.3	7.3	7.3	1.0	7.3
	784	391	31	100	58	5	49	36	24	90
	100.0	49.9	4.0	12.8	7.4	0.6	6.3	4.6	3.1	11.5
	97	48	4	13	5	0	8	12	0	7
	100.0	49.5	4.1	13.4	5.2	0.0	8.2	12.4	0.0	7.2
	1,162	633	53	142	70	7	71	47	47	92
	100.0	54.5	4.6	12.2	6.0	0.6	6.1	4.0	4.0	7.9

問 31 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に最優先で取り組むべきだと思いますか。（〇は1つ）

「8. 子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」が20.4%と最も高く、次いで「3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」が13.2%、「6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」が10.1%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



《問 31×家族類型別》

『ひとり親』『共働き（両親ともフルタイム）』『フルタイム・パート』『専業主婦(夫)』では「子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高く、次いで『ひとり親』『フルタイム・パート』『専業主婦(夫)』では「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」、『共働き（両親ともフルタイム）』では「子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」となっています。

	3,191	107	152	421	38	114	323	130	651
	100.0	3.4	4.8	13.2	1.2	3.6	10.1	4.1	20.4
	117	1	5	14	3	1	12	4	33
	100.0	0.9	4.3	12.0	2.6	0.9	10.3	3.4	28.2
	1,050	37	39	122	15	59	163	37	184
	100.0	3.5	3.7	11.6	1.4	5.6	15.5	3.5	17.5
	835	28	47	122	5	19	74	40	187
	100.0	3.4	5.6	14.6	0.6	2.3	8.9	4.8	22.4
	1,140	39	58	156	15	35	71	47	243
	100.0	3.4	5.1	13.7	1.3	3.1	6.2	4.1	21.3
	14	1	2	1	0	0	2	1	1
	100.0	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1
	3	0	0	1	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

	3,191	279	6	202	252	165	60	291
	100.0	8.7	0.2	6.3	7.9	5.2	1.9	9.1
	117	12	0	2	7	2	8	13
	100.0	10.3	0.0	1.7	6.0	1.7	6.8	11.1
	1,050	79	1	36	92	75	5	106
	100.0	7.5	0.1	3.4	8.8	7.1	0.5	10.1
	835	58	0	52	64	37	17	85
	100.0	6.9	0.0	6.2	7.7	4.4	2.0	10.2
	1,140	127	4	109	80	48	26	82
	100.0	11.1	0.4	9.6	7.0	4.2	2.3	7.2
	14	0	0	0	2	2	2	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0
	3	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

《問 31×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

父親がフルタイムで就労している家庭，母親がフルタイムで就労している家庭，母親がパートタイム，アルバイト等で就労している家庭，母親が現在就労していない家庭では「子どもの用事（学校行事，病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」，母親がフルタイムで就労しているが育休・介護休業中の家庭では「子育ての間は，雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」，母親がパートタイム，アルバイト等で就労しているが育休・介護休業中の家庭では「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」の割合が最も高くなっています。

	父親がフルタイムで就労している家庭		母親がフルタイムで就労している家庭		母親がパートタイム，アルバイト等で就労している家庭		母親が現在就労していない家庭		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
3,191	107	152	421	38	114	323	130	651	
100.0	3.4	4.8	13.2	1.2	3.6	10.1	4.1	20.4	
2,974	102	143	393	34	112	301	121	602	
100.0	3.4	4.8	13.2	1.1	3.8	10.1	4.1	20.2	
8	0	0	3	0	0	2	0	1	
100.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	
41	2	4	3	1	0	5	3	10	
100.0	4.9	9.8	7.3	2.4	0.0	12.2	7.3	24.4	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
22	1	0	3	0	1	2	1	3	
100.0	4.5	0.0	13.6	0.0	4.5	9.1	4.5	13.6	
852	29	31	95	12	46	125	29	165	
100.0	3.4	3.6	11.2	1.4	5.4	14.7	3.4	19.4	
286	10	10	37	4	15	49	10	41	
100.0	3.5	3.5	12.9	1.4	5.2	17.1	3.5	14.3	
784	25	43	105	7	16	64	41	177	
100.0	3.2	5.5	13.4	0.9	2.0	8.2	5.2	22.6	
97	4	8	21	0	3	15	4	20	
100.0	4.1	8.2	21.6	0.0	3.1	15.5	4.1	20.6	
1,162	39	59	160	15	34	70	46	248	
100.0	3.4	5.1	13.8	1.3	2.9	6.0	4.0	21.3	
	父親がフルタイムで就労している家庭		母親がフルタイムで就労している家庭		母親がパートタイム，アルバイト等で就労している家庭		母親が現在就労していない家庭		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
3,191	279	6	202	252	165	60	291		
100.0	8.7	0.2	6.3	7.9	5.2	1.9	9.1		
2,974	260	5	196	233	155	47	270		
100.0	8.7	0.2	6.6	7.8	5.2	1.6	9.1		
8	1	0	0	0	1	0	0		
100.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0		
41	1	0	0	3	4	3	2		
100.0	2.4	0.0	0.0	7.3	9.8	7.3	4.9		
0	0	0	0	0	0	0	0		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
22	2	0	1	4	2	1	1		
100.0	9.1	0.0	4.5	18.2	9.1	4.5	4.5		
852	61	1	19	75	61	6	97		
100.0	7.2	0.1	2.2	8.8	7.2	0.7	11.4		
286	28	0	17	25	20	2	18		
100.0	9.8	0.0	5.9	8.7	7.0	0.7	6.3		
784	49	0	53	65	35	20	84		
100.0	6.3	0.0	6.8	8.3	4.5	2.6	10.7		
97	10	0	1	3	3	0	5		
100.0	10.3	0.0	1.0	3.1	3.1	0.0	5.2		
1,162	131	4	112	82	46	30	86		
100.0	11.3	0.3	9.6	7.1	4.0	2.6	7.4		

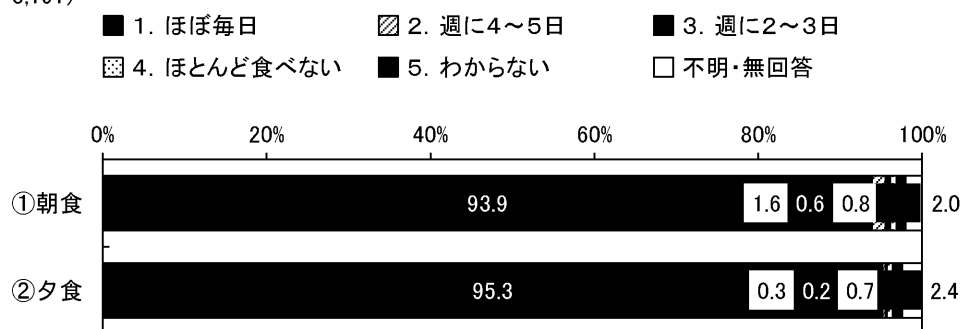
問 32(1) 宛名のお子さまは朝食・夕食を1週間に何日程度食べていますか。

(○はそれぞれ1つつ)

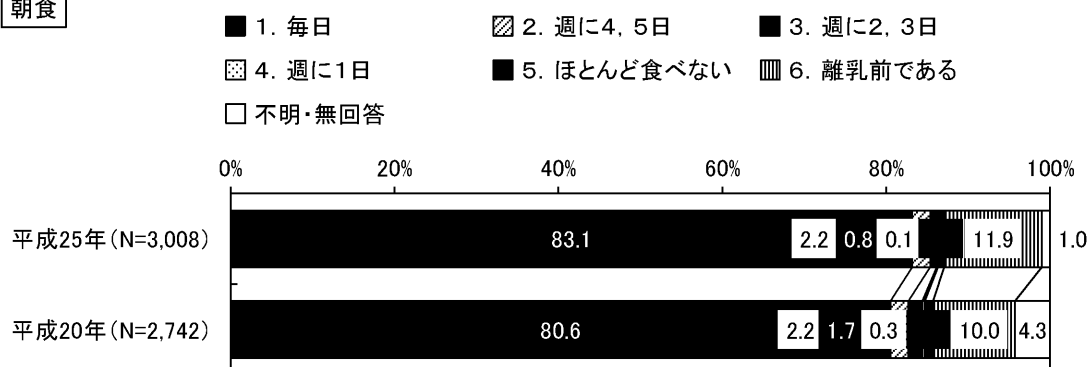
①朝食は「1. ほぼ毎日」が93.9%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日」が1.6%、「5. わからない」が1.1%となっています。

②夕食は「1. ほぼ毎日」が95.3%と最も高く、次いで「5. わからない」が1.2%、「4. ほとんど食べない」が0.7%となっています。

平成30年(N=3,191)



朝食

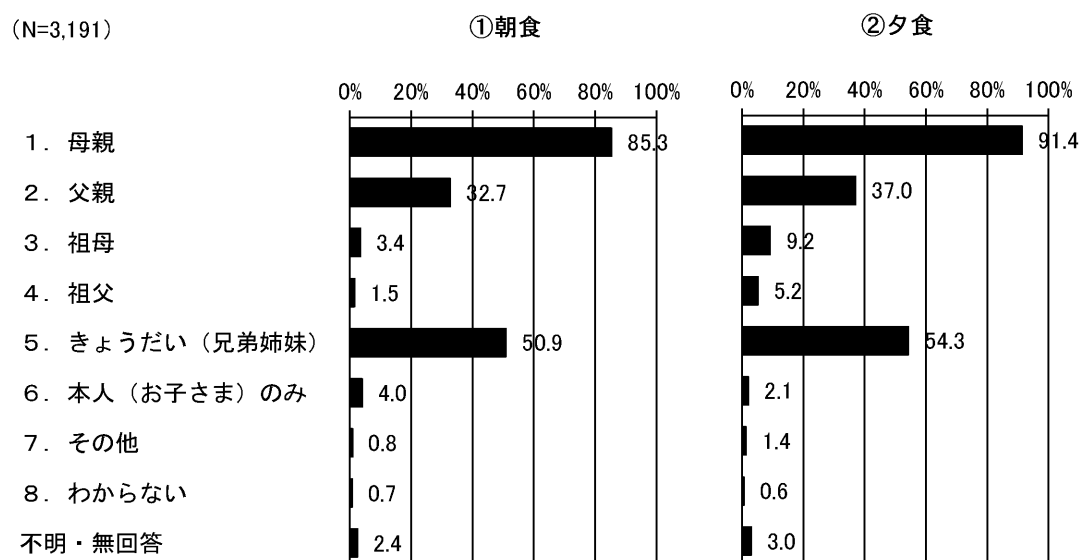


問 32(2) 宛名のお子さまは、朝食・夕食を誰と食べることが多いですか。

(○はそれぞれいくつでも)

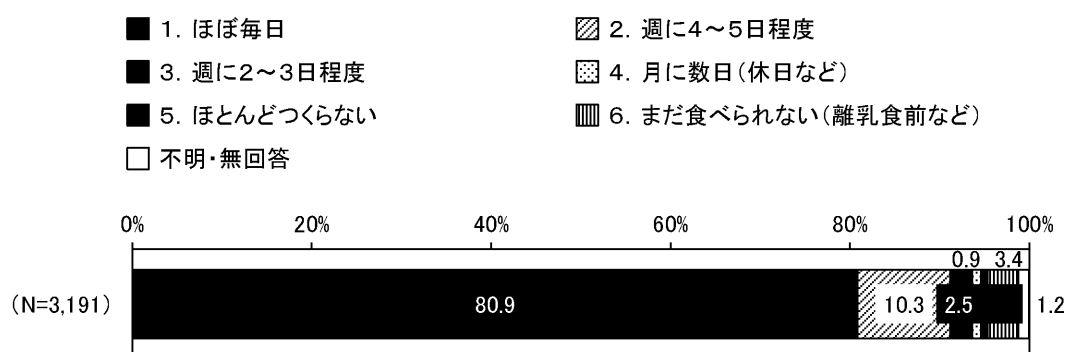
①朝食は「1. 母親」が85.3%と最も高く、次いで「5. きょうだい（兄弟姉妹）」が50.9%、「2. 父親」が32.7%となっています。

②夕食は「1. 母親」が91.4%と最も高く、次いで「5. きょうだい（兄弟姉妹）」が54.3%、「2. 父親」が37.0%となっています。



問 33(1) あなたのご家庭では、宛名のお子さまの夕食をつくる（料理（離乳食を含む）する）ことがどの程度ありますか。(○は1つ)

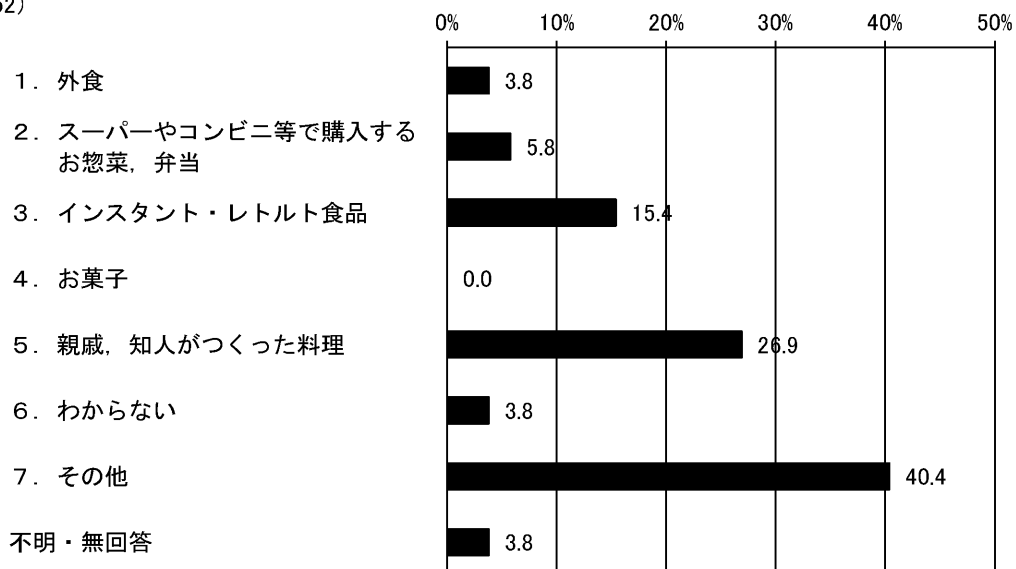
「1. ほぼ毎日」が80.9%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日程度」が10.3%、「6. まだ食べられない（離乳食前など）」が3.4%となっています。



問 33(2) 宛名のお子さまの食事で、最も多いものをお答えください。(〇は1つ)

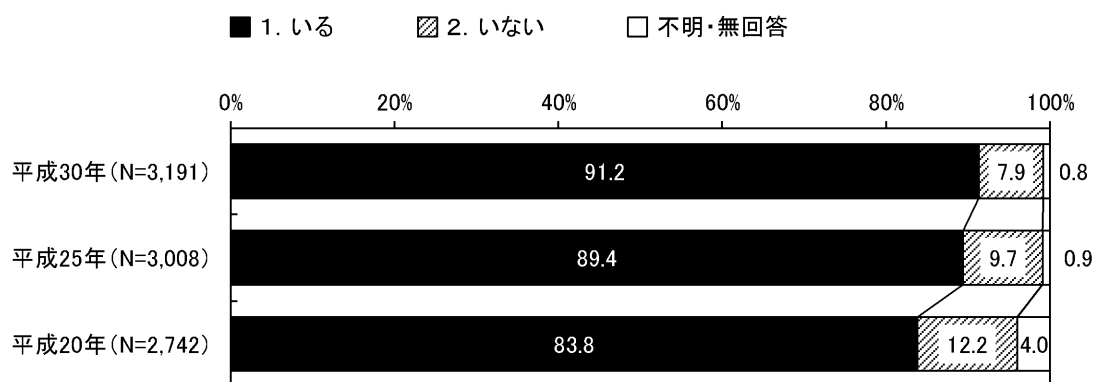
その他を除き、「5. 親戚、知人がつくった料理」が 26.9%と最も高く、次いで「3. インスタント・レトルト食品」が 15.4%、「2. スーパーやコンビニ等で購入する惣菜、弁当」が 5.8%となっています。

(N=52)



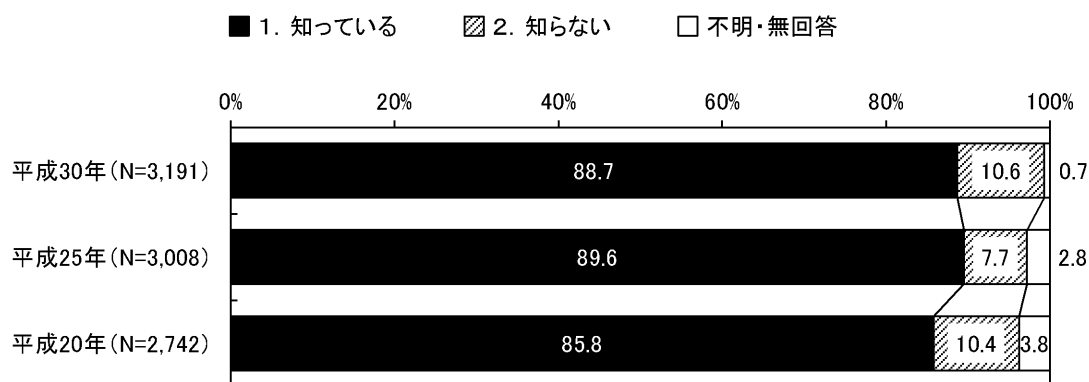
問 34 宛名のお子さまには、かかりつけの医師がいますか。(〇は1つ)

「1. いる」が 91.2%、「2. いない」が 7.9%となっています。
平成 20 年と比較すると、「1. いる」が 7.4 ポイント高くなっています。



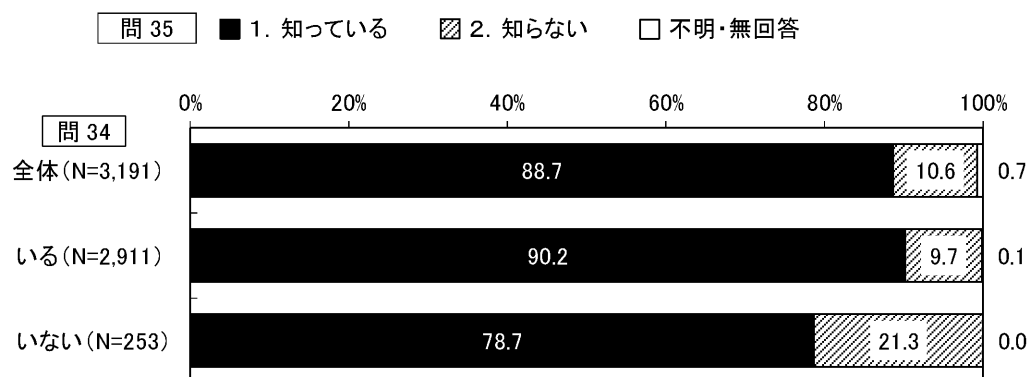
問 35 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。(○は1つ)

「1. 知っている」が88.7%、「2. 知らない」が10.6%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



《問 35×問 34 かかりつけ医の有無別》

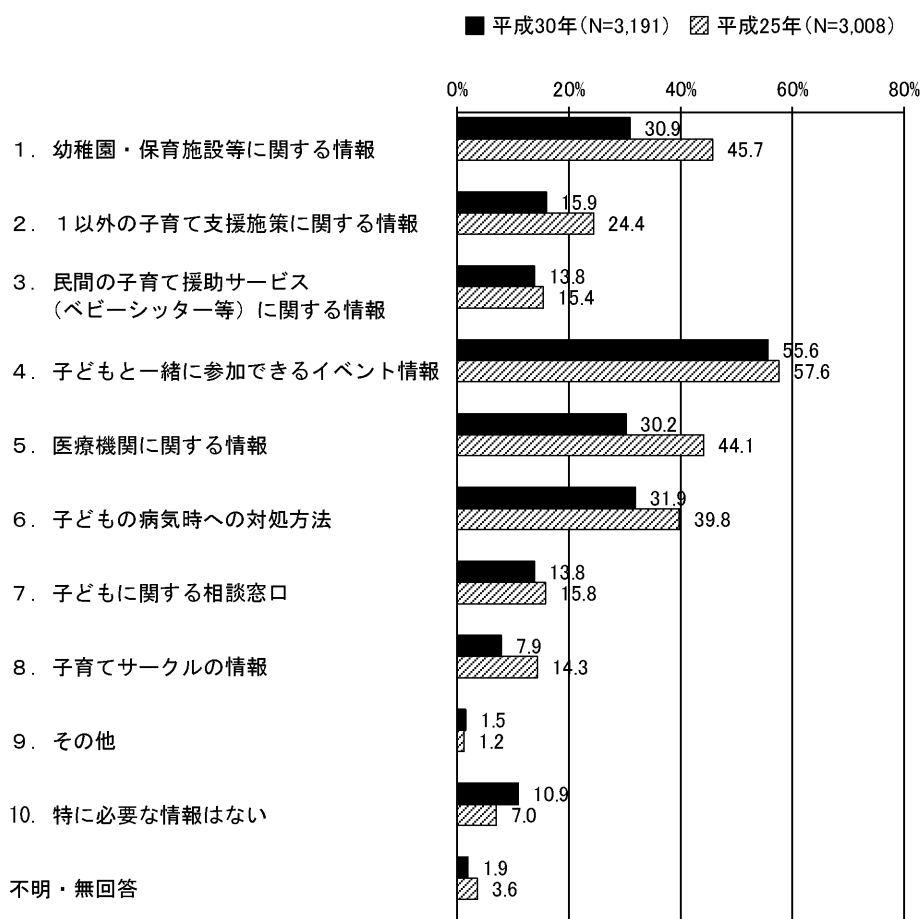
『いない』では「1. 知っている」の割合が『いる』に比べ低くなっています。



問 36(1) 子育てに関して知りたい情報についてお答えください。(〇はいくつでも)

「4. 子どもと一緒に参加できるイベント情報」が 55.6%と最も高く、次いで「6. 子どもの病気時への対処方法」が 31.9%、「1. 幼稚園・保育施設等に関する情報」が 30.9%、「5. 医療機関に関する情報」が 30.2%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 幼稚園・保育施設等に関する情報」が 14.8 ポイント、「5. 医療機関に関する情報」が 13.9 ポイント低くなっています。



《問 36(1)×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「子どもと一緒に参加できるイベント情報」の割合が最も高く、次いで0～2歳では「幼稚園・保育施設等に関する情報」、3～5歳では「医療機関に関する情報」となっています。

	3,191	985	507	439	1,775	965	1,017	
	100.0	30.9	15.9	13.8	55.6	30.2	31.9	
	434	235	98	92	256	116	158	
	100.0	54.1	22.6	21.2	59.0	26.7	36.4	
	516	207	104	79	300	166	169	
	100.0	40.1	20.2	15.3	58.1	32.2	32.8	
	519	186	84	71	298	142	174	
	100.0	35.8	16.2	13.7	57.4	27.4	33.5	
	479	116	75	51	259	159	151	
	100.0	24.2	15.7	10.6	54.1	33.2	31.5	
	497	103	54	60	271	150	148	
	100.0	20.7	10.9	12.1	54.5	30.2	29.8	
	694	122	82	76	363	219	195	
	100.0	17.6	11.8	11.0	52.3	31.6	28.1	

	3,191	441	253	48	350	61
	100.0	13.8	7.9	1.5	11.0	1.9
	434	53	66	4	31	7
	100.0	12.2	15.2	0.9	7.1	1.6
	516	70	54	6	48	8
	100.0	13.6	10.5	1.2	9.3	1.6
	519	69	40	8	60	7
	100.0	13.3	7.7	1.5	11.6	1.3
	479	61	27	11	53	12
	100.0	12.7	5.6	2.3	11.1	2.5
	497	72	20	9	57	9
	100.0	14.5	4.0	1.8	11.5	1.8
	694	108	40	8	92	17
	100.0	15.6	5.8	1.2	13.3	2.4

《問 36(1)×問 12(2)現在利用している施設等別》

『小規模（家庭的）保育事業所』『事業所内保育施設』では「幼稚園・保育施設等に関する情報」，『ベビーシッター』では「1 以外の子育て支援施策に関する情報」，それ以外では「子どもと一緒に参加できるイベント情報」の割合が最も高くなっています。

	2,325	511	304	303	1,261	717	724
	100.0	22.0	13.1	13.0	54.2	30.8	31.1
	466	99	59	51	274	133	124
	100.0	21.2	12.7	10.9	58.8	28.5	26.6
	54	19	7	6	33	17	16
	100.0	35.2	13.0	11.1	61.1	31.5	29.6
	335	50	47	40	198	107	102
	100.0	14.9	14.0	11.9	59.1	31.9	30.4
	239	55	28	24	120	81	79
	100.0	23.0	11.7	10.0	50.2	33.9	33.1
	1,139	233	146	166	596	357	372
	100.0	20.5	12.8	14.6	52.3	31.3	32.7
	71	34	16	11	34	24	23
	100.0	47.9	22.5	15.5	47.9	33.8	32.4
	23	12	1	2	11	6	6
	100.0	52.2	4.3	8.7	47.8	26.1	26.1
	43	13	6	12	19	10	13
	100.0	30.2	14.0	27.9	44.2	23.3	30.2
	6	3	0	4	2	1	1
	100.0	50.0	0.0	66.7	33.3	16.7	16.7
	37	14	9	4	21	11	10
	100.0	37.8	24.3	10.8	56.8	29.7	27.0

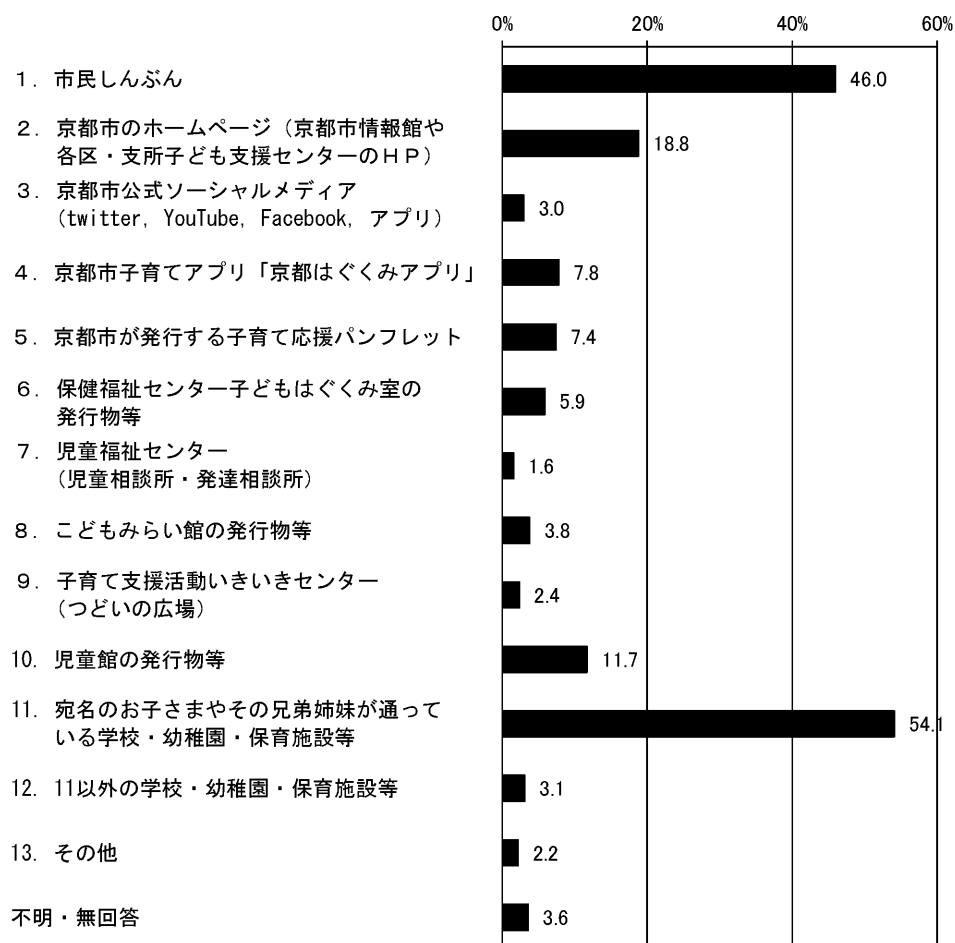
	2,325	330	128	40	282	47
	100.0	14.2	5.5	1.7	12.1	2.0
	466	70	27	5	55	13
	100.0	15.0	5.8	1.1	11.8	2.8
	54	6	3	0	3	1
	100.0	11.1	5.6	0.0	5.6	1.9
	335	41	15	7	39	4
	100.0	12.2	4.5	2.1	11.6	1.2
	239	39	7	4	24	6
	100.0	16.3	2.9	1.7	10.0	2.5
	1,139	160	67	21	153	21
	100.0	14.0	5.9	1.8	13.4	1.8
	71	12	6	1	6	2
	100.0	16.9	8.5	1.4	8.5	2.8
	23	4	1	0	2	0
	100.0	17.4	4.3	0.0	8.7	0.0
	43	3	0	0	5	0
	100.0	7.0	0.0	0.0	11.6	0.0
	6	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	37	7	5	2	1	3
	100.0	18.9	13.5	5.4	2.7	8.1

問 36(2) 問 36(1)のような子育てに関する情報の入手方法について、行政と民間のそれぞれで教えてください。(〇はそれぞれ2つまで)

①行政では「11. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等」が 54.1%と最も高く、次いで「1. 市民しんぶん」が 46.0%, 「2. 京都市のホームページ（京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP）」が 18.8%となっています。

①行政

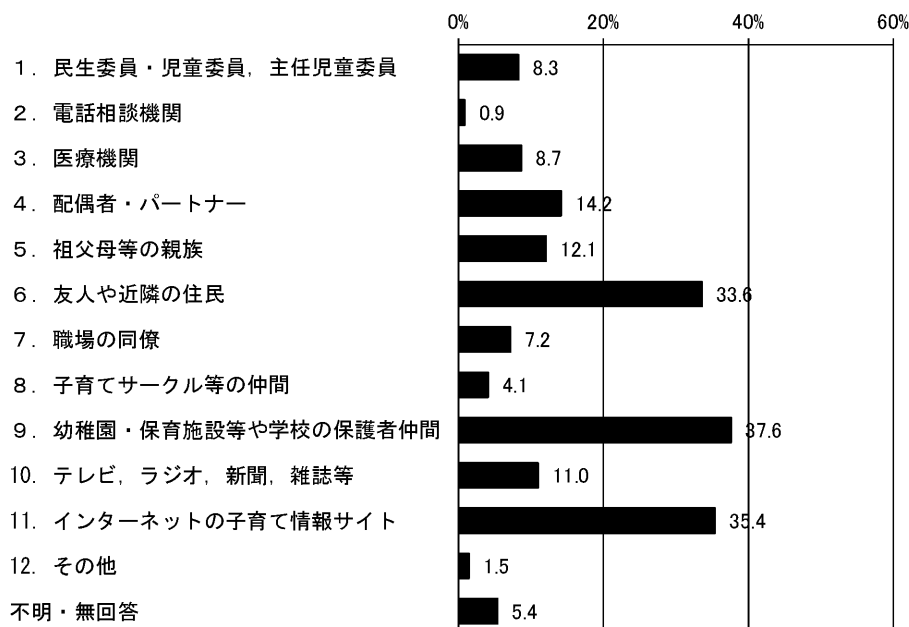
平成30年(N=2,783)



②民間では「9. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」が37.6%と最も高く、次いで「11. インターネットの子育て情報サイト」が35.4%、「6. 友人や近隣の住民」が33.6%となっています。

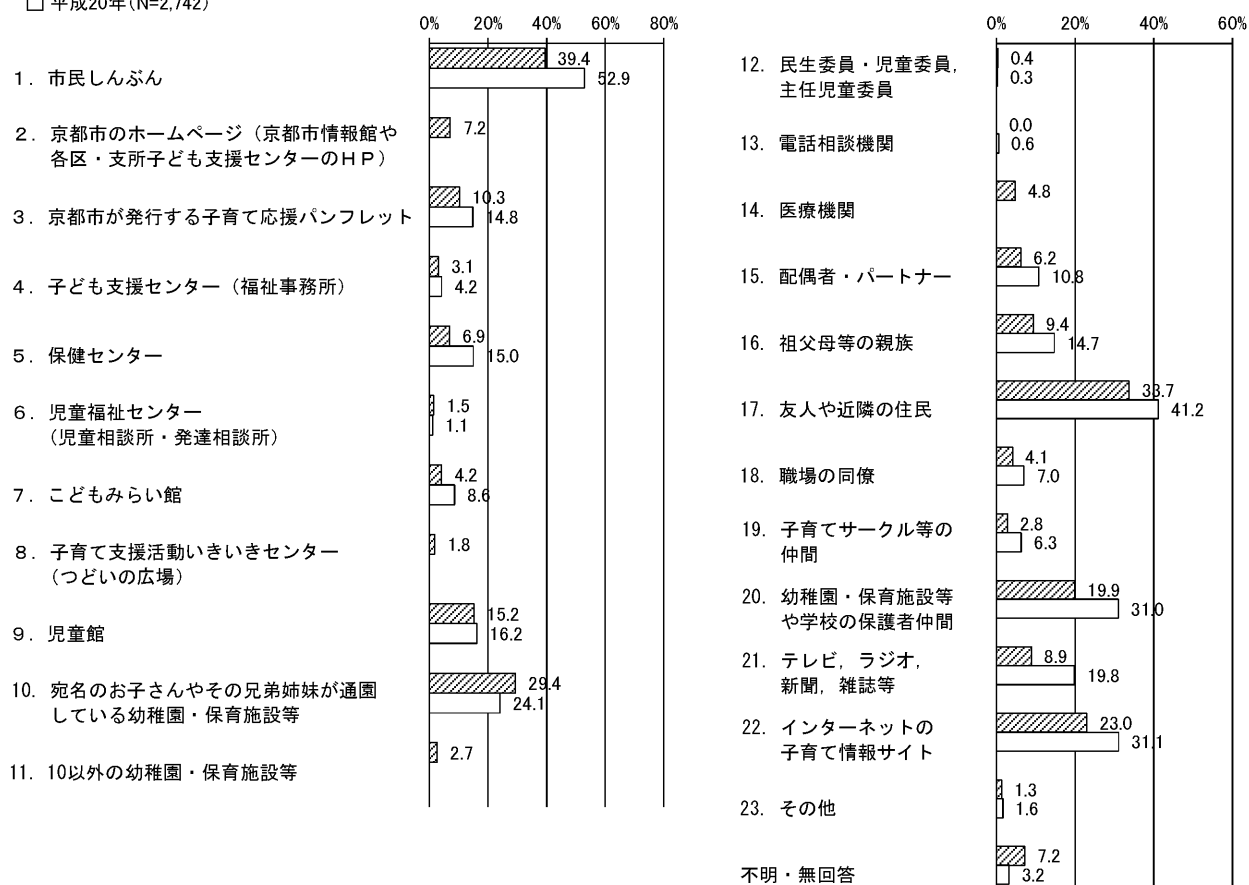
②民間

平成30年(N=2,783)



▨ 平成25年(N=3,008)

□ 平成20年(N=2,742)



《問 36(2)×問 12(1)幼稚園・保育施設等の利用の有無別》

①行政について、『利用している』では「宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等」、『利用していない』では「市民しんぶん」の割合が最も高くなっています。

②民間について、『利用している』では「幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」、『利用していない』では「インターネットの子育て情報サイト」の割合が最も高くなっています

①行政

	2,783	1,281	523	84	216	206	164	44
	100.0	46.0	18.8	3.0	7.8	7.4	5.9	1.6
	1,996	935	321	60	100	121	65	33
	100.0	46.8	16.1	3.0	5.0	6.1	3.3	1.7
	761	336	193	22	113	80	96	11
	100.0	44.2	25.4	2.9	14.8	10.5	12.6	1.4
	2,783	105	66	326	1,505	85	62	100
	100.0	3.8	2.4	11.7	54.1	3.1	2.2	3.6
	1,996	59	32	202	1,307	70	47	64
	100.0	3.0	1.6	10.1	65.5	3.5	2.4	3.2
	761	45	34	121	192	15	14	34
	100.0	5.9	4.5	15.9	25.2	2.0	1.8	4.5

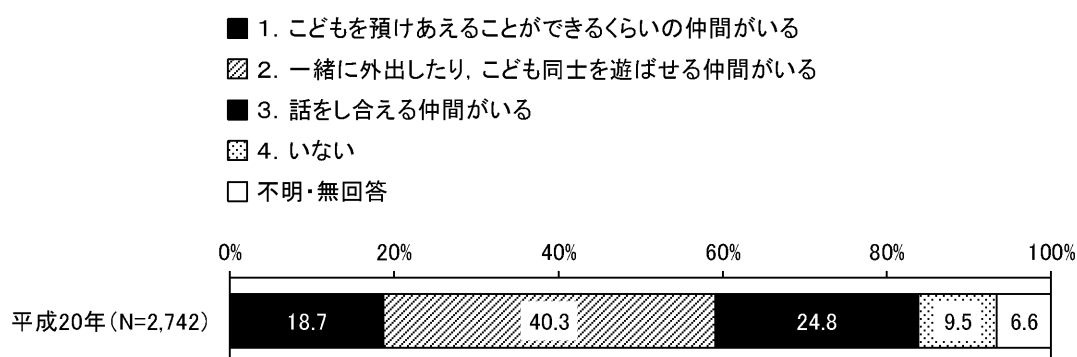
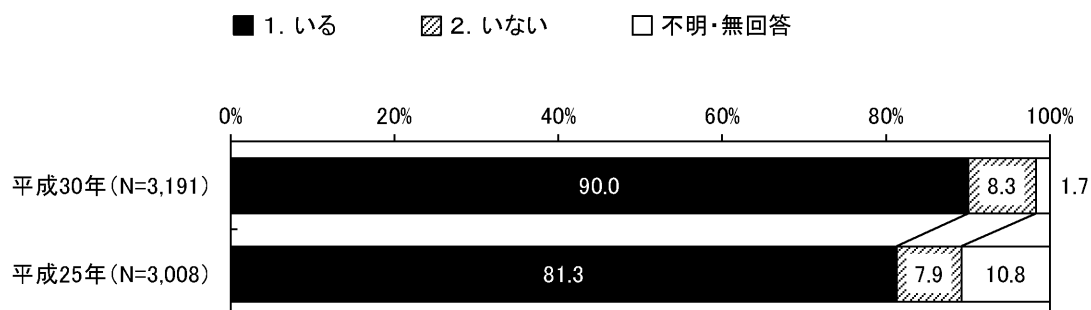
②民間

	2,783	230	24	241	396	336	936	200
	100.0	8.3	0.9	8.7	14.2	12.1	33.6	7.2
	1,996	150	17	180	288	229	635	185
	100.0	7.5	0.9	9.0	14.4	11.5	31.8	9.3
	761	78	7	59	103	100	291	13
	100.0	10.2	0.9	7.8	13.5	13.1	38.2	1.7
	2,783	113	1,047	307	985	42	150	
	100.0	4.1	37.6	11.0	35.4	1.5	5.4	
	1,996	52	886	234	664	34	102	
	100.0	2.6	44.4	11.7	33.3	1.7	5.1	
	761	60	154	70	314	8	46	
	100.0	7.9	20.2	9.2	41.3	1.1	6.0	

問 37 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(○は1つ)

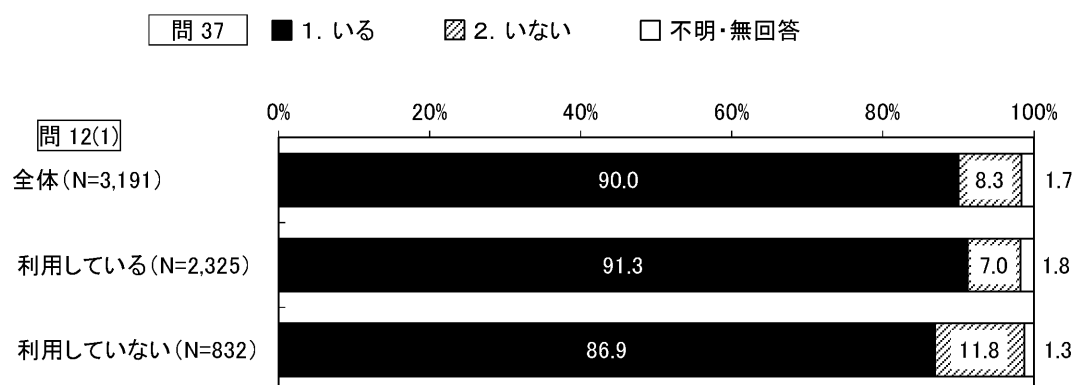
「1. いる」が90.0%、「2. いない」が8.3%となっています。

平成25年と比較すると、「1. いる」が8.7ポイント高くなっています。



《問 37×問 12(1)幼稚園・保育施設等の利用の有無別》

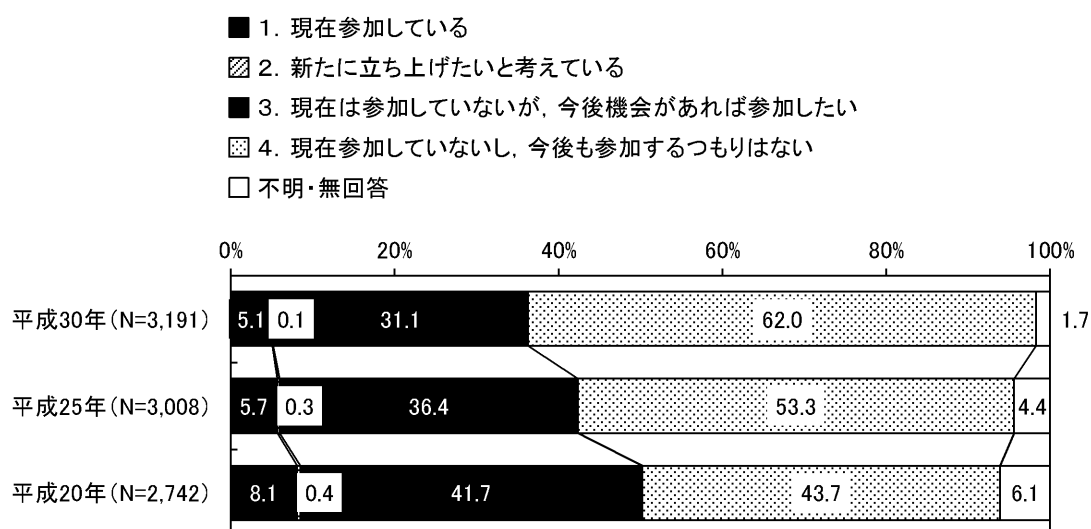
『利用している』では「1. いる」の割合が『利用していない』に比べ高くなっています。



問 38(1) 子育てサークル等の自主的な活動に参加していますか。(〇は1つ)

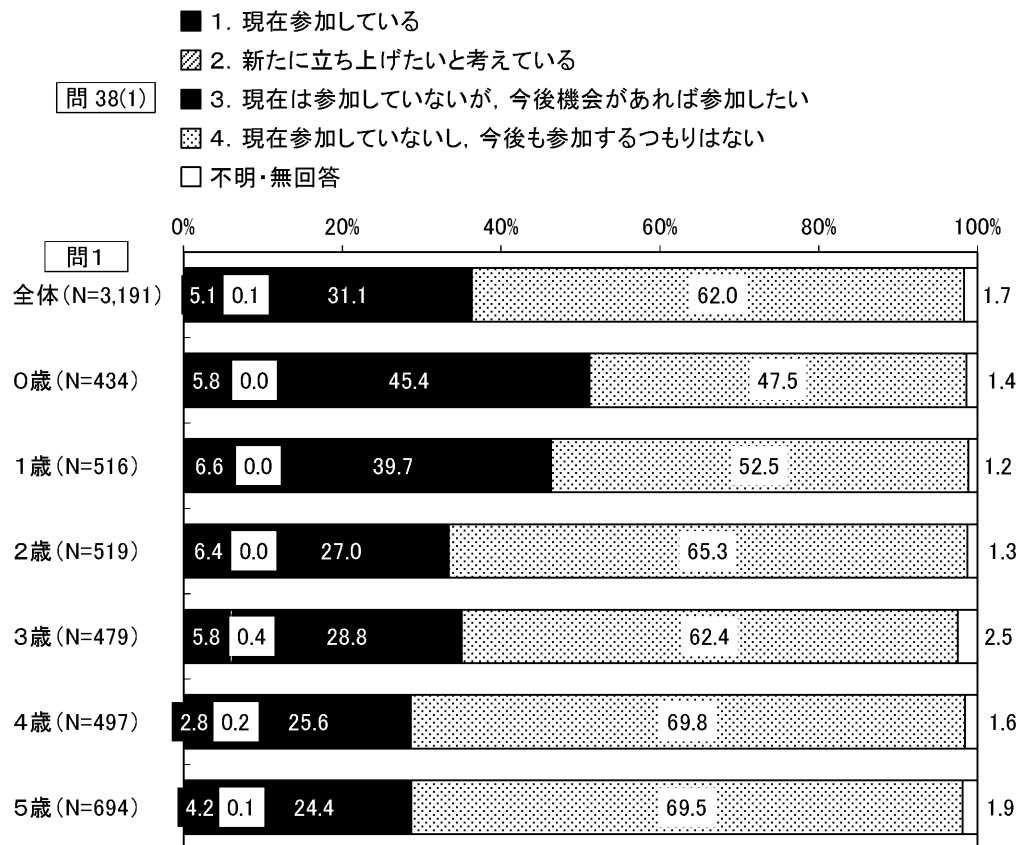
「4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」が 62.0%と最も高く、次いで「3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 31.1%、「1. 現在参加している」が 5.1%となっています。

過去調査と比較すると、「4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」が平成 25 年より 8.7 ポイント、平成 20 年より 18.3 ポイント高くなっています。



《問 38(1)×問 1 子どもの年齢別》

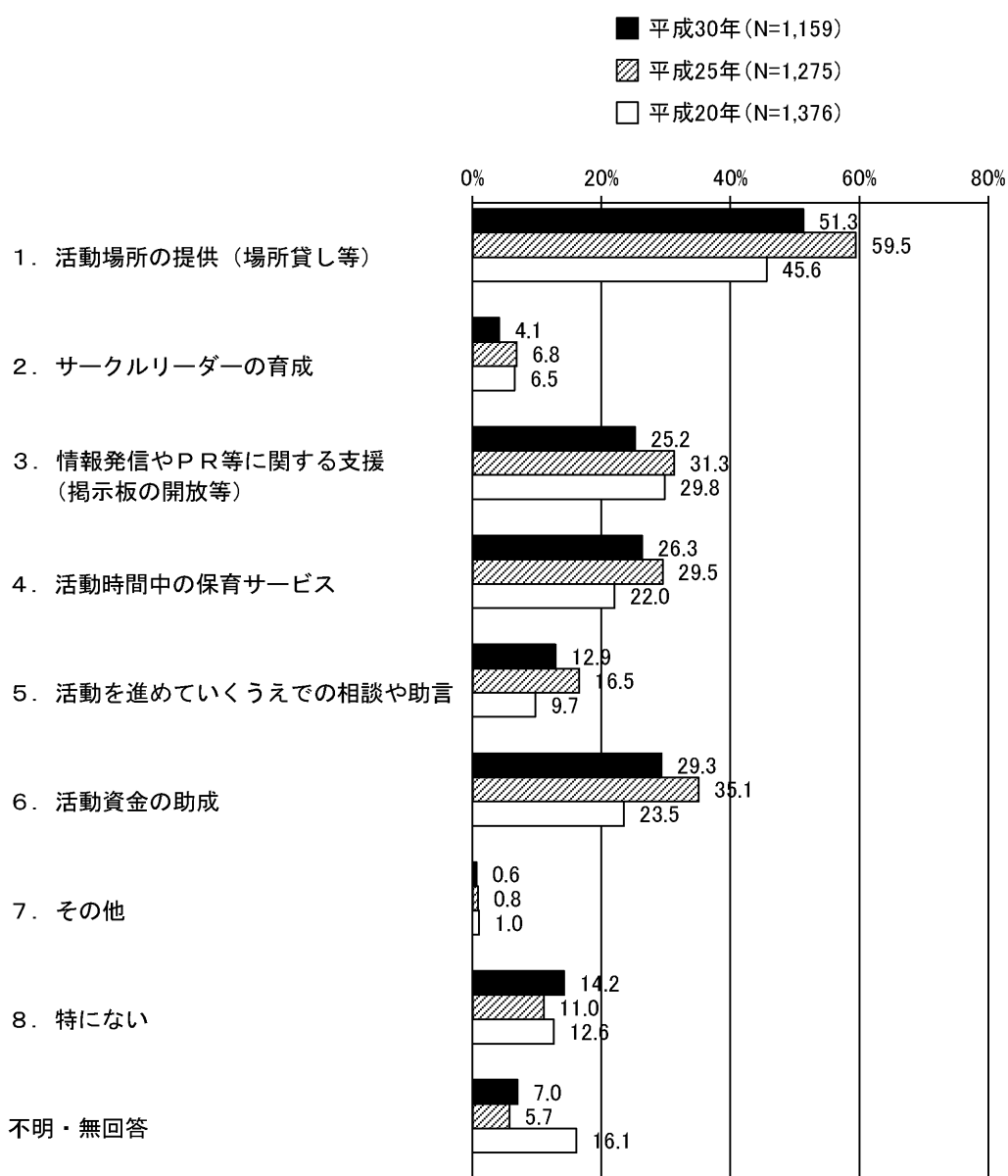
子どもの年齢が上がるほど「3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が低くなる傾向がみられます。



問 38(2) 子育てサークル等の自主的な活動をしていくにあたって、行政や地域に行ってほしい支援は何ですか。(〇は3つまで)

「1. 活動場所の提供（場所貸し等）」が 51.3%と最も高く、次いで「6. 活動資金の助成」が 29.3%, 「4. 活動時間中の保育サービス」が 26.3%, 「3. 情報発信やPR等に関する支援（掲示板の開放等）」が 25.2%となっています。

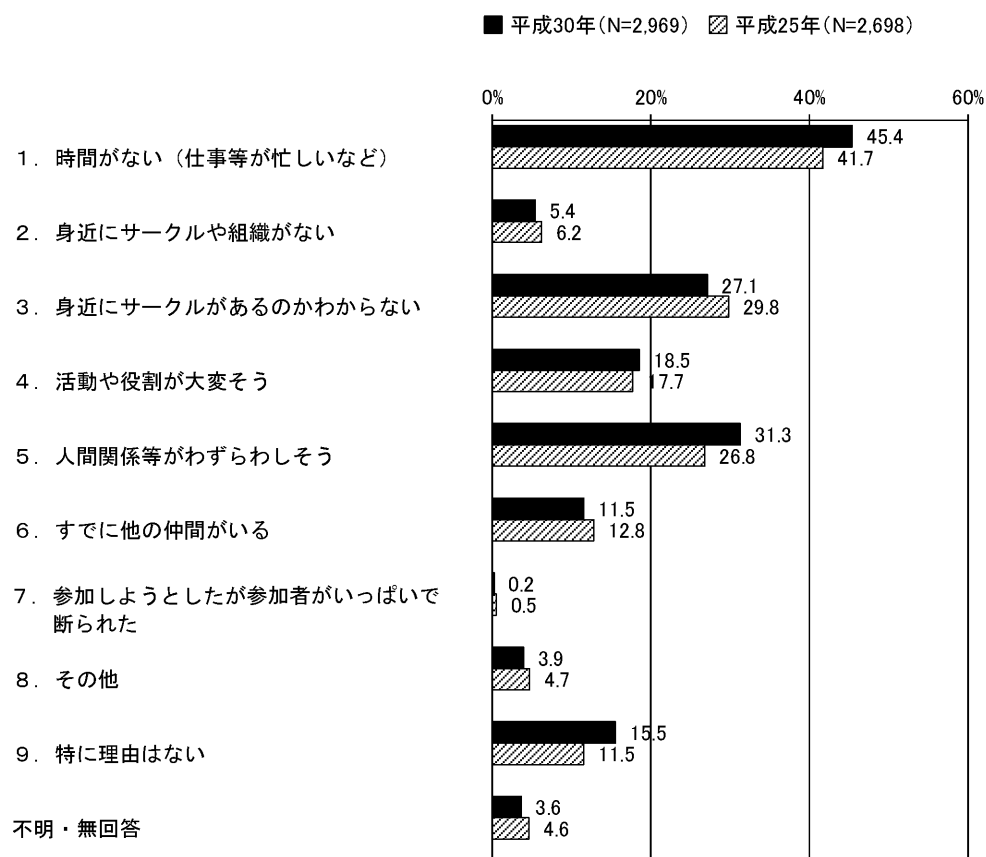
平成 25 年と比較すると, 「1. 活動場所の提供（場所貸し等）」8.2 ポイント, 「3. 情報発信やPR等に関する支援（掲示板の開放等）」が 6.1 ポイント低くなっています。



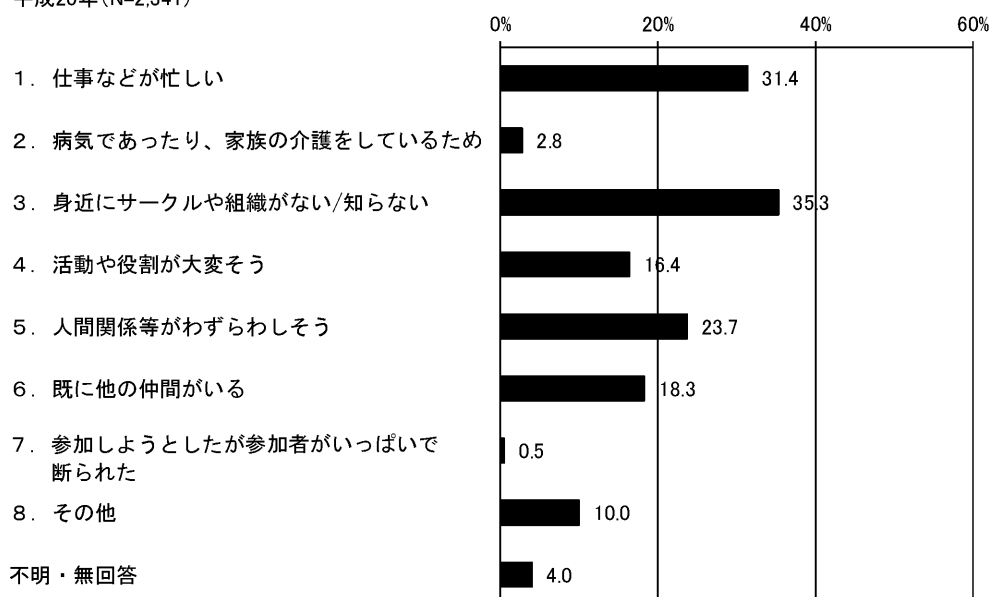
問 38(3) 子育てサークル等の自主的な活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 時間がない(仕事等が忙しいなど)」が 45.4%と最も高く、次いで「5. 人間関係等がわずらわしそう」が 31.3%, 「3. 身近にサークルがあるのかわからない」が 27.1%となっています。

平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。

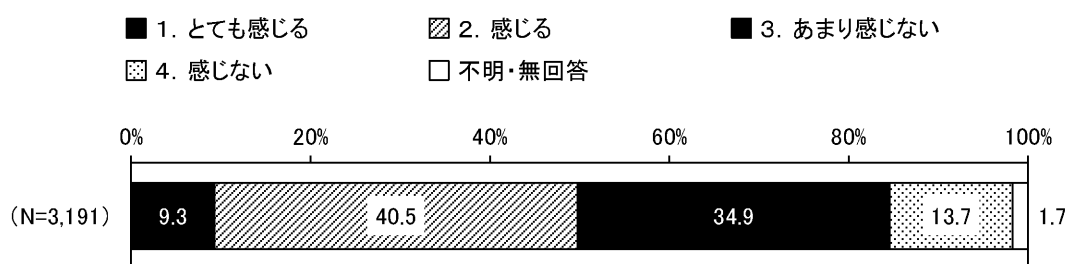


平成20年(N=2,341)



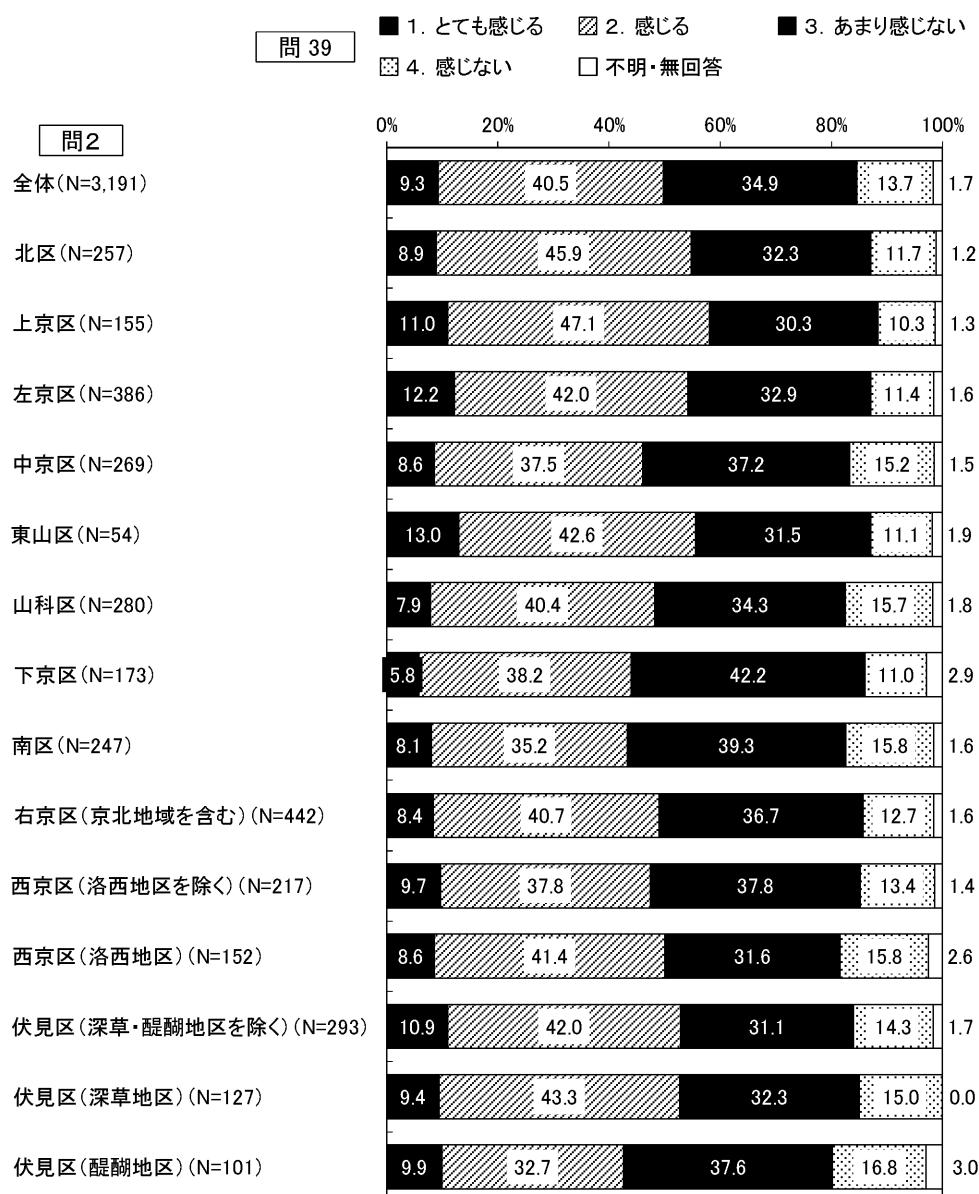
問 39 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(〇は1つ)

「2. 感じる」が40.5%と最も高く、次いで「3. あまり感じない」が34.9%、「4. 感じない」が13.7%となっています。



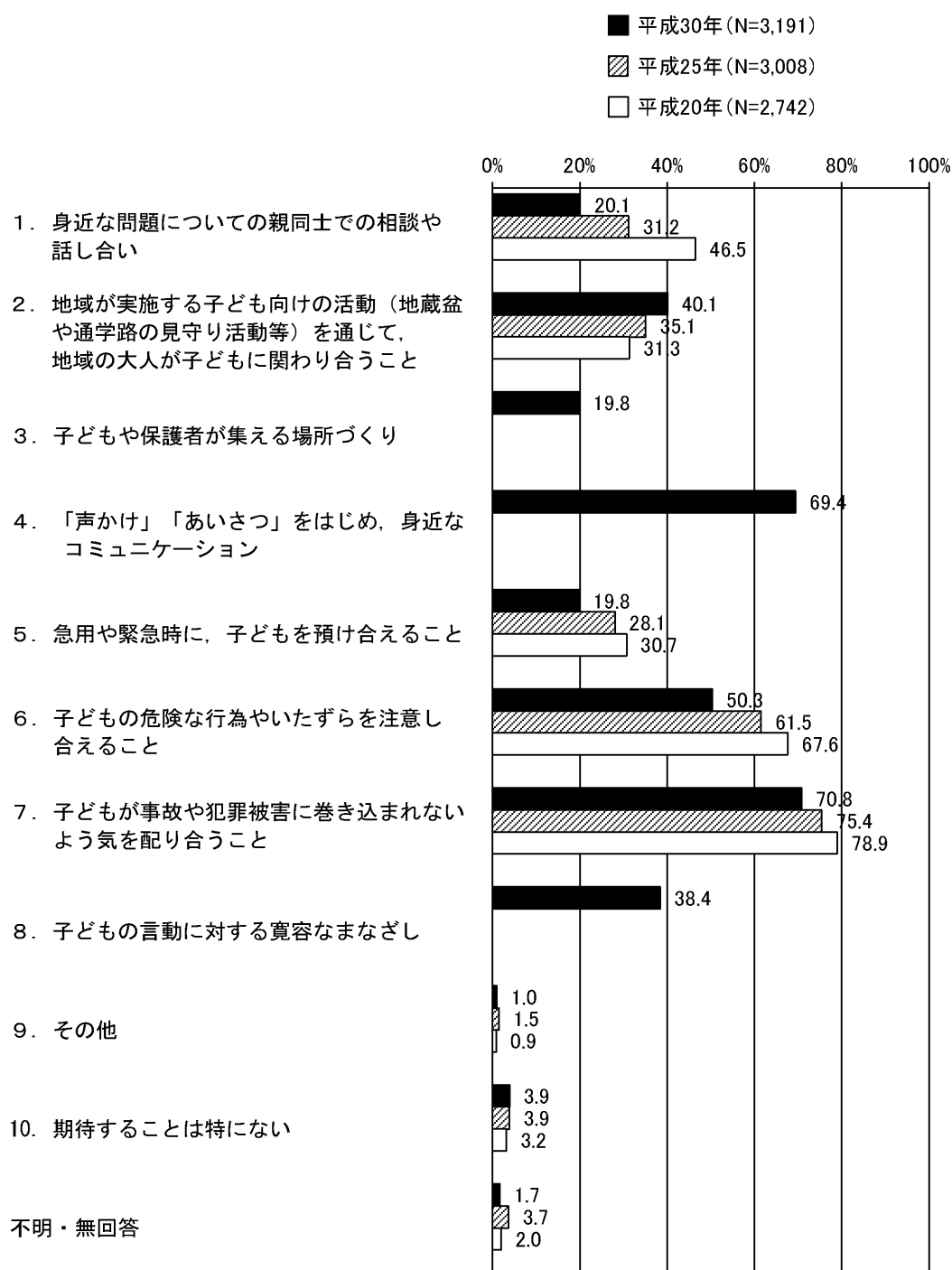
《問 39×問 2 居住区別》

〔伏見区(醍醐地区)〕〔南区〕では『感じる(「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計)』が4割台前半となっています。



問 40 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

「7. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」が70.8%と最も高く、次いで「4. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション」が69.4%、「6. 子どもの危険な行為やいたずらを注意し合えること」が50.3%となっています。



※「3. 子どもや保護者が集える場所づくり」「4. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション」「8. 子どもの言動に対する寛容なまなざし」は平成30年のみの選択肢

《問 40×問 39 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

『とても感じる』『感じる』では「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション、
『あまり感じない』『感じない』では「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合
うこと」の割合が最も高くなっています。

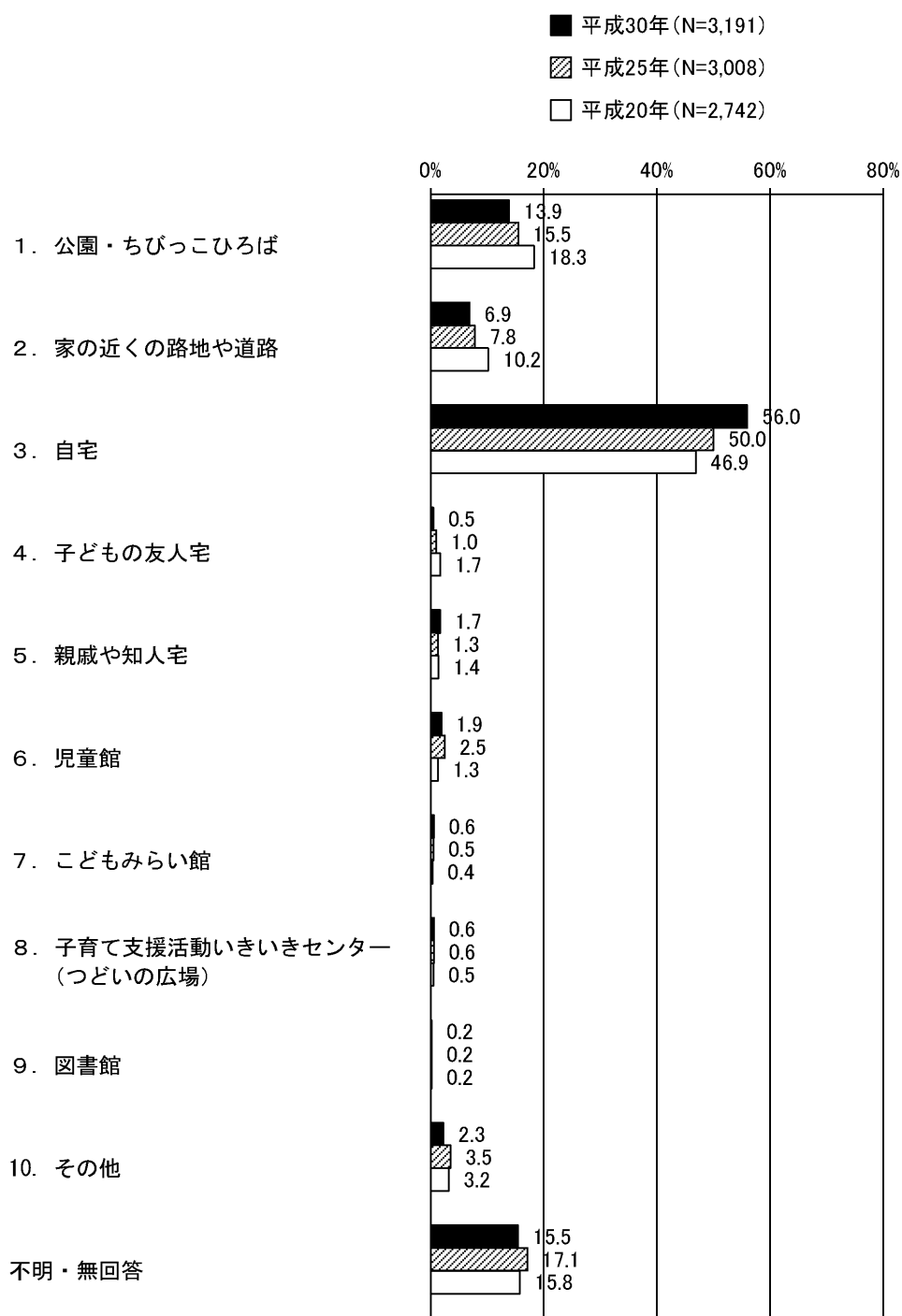
「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション						
3,191	642	1,281	633	2,216	633	1,606
100.0	20.1	40.1	19.8	69.4	19.8	50.3
296	95	193	77	249	94	207
100.0	32.1	65.2	26.0	84.1	31.8	69.9
1,291	314	611	261	1,017	275	722
100.0	24.3	47.3	20.2	78.8	21.3	55.9
1,114	171	362	213	733	197	513
100.0	15.4	32.5	19.1	65.8	17.7	46.1
436	59	113	79	210	65	156
100.0	13.5	25.9	18.1	48.2	14.9	35.8

「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」					
3,191	2,260	1,225	31	125	55
100.0	70.8	38.4	1.0	3.9	1.7
296	236	136	3	2	0
100.0	79.7	45.9	1.0	0.7	0.0
1,291	947	507	14	22	7
100.0	73.4	39.3	1.1	1.7	0.5
1,114	813	432	8	39	2
100.0	73.0	38.8	0.7	3.5	0.2
436	252	146	5	62	5
100.0	57.8	33.5	1.1	14.2	1.1

問 41 宛名のお子さまを平日の日中どこで遊ばせることが最も多いですか（幼稚園・保育施設等に通っている場合は、それ以外の時間の状況についてお答えください）。（○は1つ）

「3. 自宅」が56.0%と最も高く、次いで「1. 公園・ちびっこひろば」が13.9%, 「2. 家の近くの路地や道路」が6.9%となっています。

過去調査を比較すると、「3. 自宅」が平成25年より6.0ポイント、平成20年より9.1ポイント高くなっています。



《問 41×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「自宅」が最も高くなっています。また、「公園ちびっこひろば」は『1 歳以上』で、「児童館」は『0～2 歳』で全体よりも高くなっています。

	3,191	443	219	1,787	16	54	61
	100.0	13.9	6.9	56.0	0.5	1.7	1.9
	434	13	10	317	0	2	14
	100.0	3.0	2.3	73.0	0.0	0.5	3.2
	516	75	27	279	2	15	20
	100.0	14.5	5.2	54.1	0.4	2.9	3.9
	519	87	36	264	3	9	19
	100.0	16.8	6.9	50.9	0.6	1.7	3.7
	479	75	32	271	2	5	6
	100.0	15.7	6.7	56.6	0.4	1.0	1.3
	497	84	53	263	3	8	0
	100.0	16.9	10.7	52.9	0.6	1.6	0.0
	694	100	56	370	6	13	1
	100.0	14.4	8.1	53.3	0.9	1.9	0.1

	3,191	19	18	5	74	495
	100.0	0.6	0.6	0.2	2.3	15.5
	434	4	6	0	13	55
	100.0	0.9	1.4	0.0	3.0	12.7
	516	3	3	0	14	78
	100.0	0.6	0.6	0.0	2.7	15.1
	519	4	3	2	9	83
	100.0	0.8	0.6	0.4	1.7	16.0
	479	3	4	2	6	73
	100.0	0.6	0.8	0.4	1.3	15.2
	497	1	1	0	17	67
	100.0	0.2	0.2	0.0	3.4	13.5
	694	4	1	1	14	128
	100.0	0.6	0.1	0.1	2.0	18.4

《問 41×問 12(1)幼稚園・保育施設等の利用の有無別》

『利用している』『利用していない』ともに「自宅」の割合が最も高く、次いで「公園・ちびっこひろば」となっています。

	3,191	443	219	1,787	16	54	61
	100.0	13.9	6.9	56.0	0.5	1.7	1.9
	2,325	363	186	1,261	14	44	14
	100.0	15.6	8.0	54.2	0.6	1.9	0.6
	832	77	32	510	2	10	47
	100.0	9.3	3.8	61.3	0.2	1.2	5.6

	3,191	19	18	5	74	495
	100.0	0.6	0.6	0.2	2.3	15.5
	2,325	12	6	5	49	371
	100.0	0.5	0.3	0.2	2.1	16.0
	832	7	12	0	23	112
	100.0	0.8	1.4	0.0	2.8	13.5

《問 41×問 12(2)現在利用している施設等別》

すべての区分で「自宅」の割合が最も高くなっています。

2,325	363	186	1,261	14	44	14	
100.0	15.6	8.0	54.2	0.6	1.9	0.6	
466	66	36	256	5	4	3	
100.0	14.2	7.7	54.9	1.1	0.9	0.6	
54	8	4	30	0	2	0	
100.0	14.8	7.4	55.6	0.0	3.7	0.0	
335	51	29	189	3	4	1	
100.0	15.2	8.7	56.4	0.9	1.2	0.3	
239	39	23	121	2	8	0	
100.0	16.3	9.6	50.6	0.8	3.3	0.0	
1,139	190	97	608	4	23	6	
100.0	16.7	8.5	53.4	0.4	2.0	0.5	
71	11	2	39	0	1	2	
100.0	15.5	2.8	54.9	0.0	1.4	2.8	
23	2	0	13	0	2	1	
100.0	8.7	0.0	56.5	0.0	8.7	4.3	
43	7	1	23	0	1	0	
100.0	16.3	2.3	53.5	0.0	2.3	0.0	
6	1	0	4	0	0	0	
100.0	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	
37	5	2	19	0	1	2	
100.0	13.5	5.4	51.4	0.0	2.7	5.4	

2,325	12	6	5	49	371	
100.0	0.5	0.3	0.2	2.1	16.0	
466	4	2	1	4	85	
100.0	0.9	0.4	0.2	0.9	18.2	
54	0	0	0	1	9	
100.0	0.0	0.0	0.0	1.9	16.7	
335	1	0	0	3	54	
100.0	0.3	0.0	0.0	0.9	16.1	
239	0	1	1	6	38	
100.0	0.0	0.4	0.4	2.5	15.9	
1,139	8	2	2	32	167	
100.0	0.7	0.2	0.2	2.8	14.7	
71	1	0	0	1	14	
100.0	1.4	0.0	0.0	1.4	19.7	
23	0	1	0	0	4	
100.0	0.0	4.3	0.0	0.0	17.4	
43	0	0	0	2	9	
100.0	0.0	0.0	0.0	4.7	20.9	
6	0	0	0	0	1	
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	
37	0	0	1	0	7	
100.0	0.0	0.0	2.7	0.0	18.9	

《問 41×問 37 子育て仲間の有無別》

『いる』『いない』ともに「自宅」の割合が最も高くなっています。

	3,191	443	219	1,787	16	54	61
	100.0	13.9	6.9	56.0	0.5	1.7	1.9
	2,872	408	196	1,608	16	50	57
	100.0	14.2	6.8	56.0	0.6	1.7	2.0
	264	29	21	167	0	4	4
	100.0	11.0	8.0	63.3	0.0	1.5	1.5

	3,191	19	18	5	74	495
	100.0	0.6	0.6	0.2	2.3	15.5
	2,872	18	16	4	68	431
	100.0	0.6	0.6	0.1	2.4	15.0
	264	1	2	0	6	30
	100.0	0.4	0.8	0.0	2.3	11.4

《問 41×問 42(1)子どもを連れて外出する際の主な移動手段別》

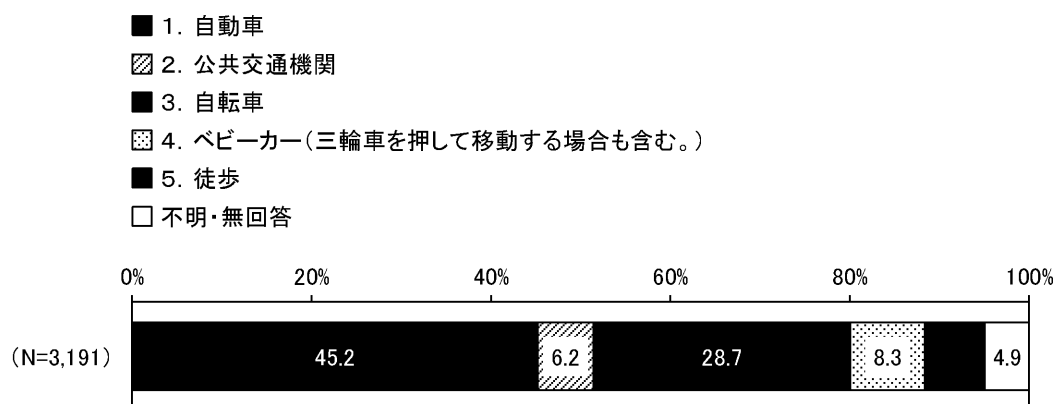
すべての区分で「自宅」の割合が最も高くなっています。

	3,191	443	219	1,787	16	54	61
	100.0	13.9	6.9	56.0	0.5	1.7	1.9
	1,441	181	126	828	9	31	13
	100.0	12.6	8.7	57.5	0.6	2.2	0.9
	198	22	9	132	0	3	1
	100.0	11.1	4.5	66.7	0.0	1.5	0.5
	915	163	63	486	5	16	21
	100.0	17.8	6.9	53.1	0.5	1.7	2.3
	265	29	10	177	0	2	14
	100.0	10.9	3.8	66.8	0.0	0.8	5.3
	215	41	7	127	2	1	8
	100.0	19.1	3.3	59.1	0.9	0.5	3.7

	3,191	19	18	5	74	495
	100.0	0.6	0.6	0.2	2.3	15.5
	1,441	2	5	3	40	203
	100.0	0.1	0.3	0.2	2.8	14.1
	198	2	0	0	4	25
	100.0	1.0	0.0	0.0	2.0	12.6
	915	10	7	2	16	126
	100.0	1.1	0.8	0.2	1.7	13.8
	265	2	6	0	3	22
	100.0	0.8	2.3	0.0	1.1	8.3
	215	3	0	0	4	22
	100.0	1.4	0.0	0.0	1.9	10.2

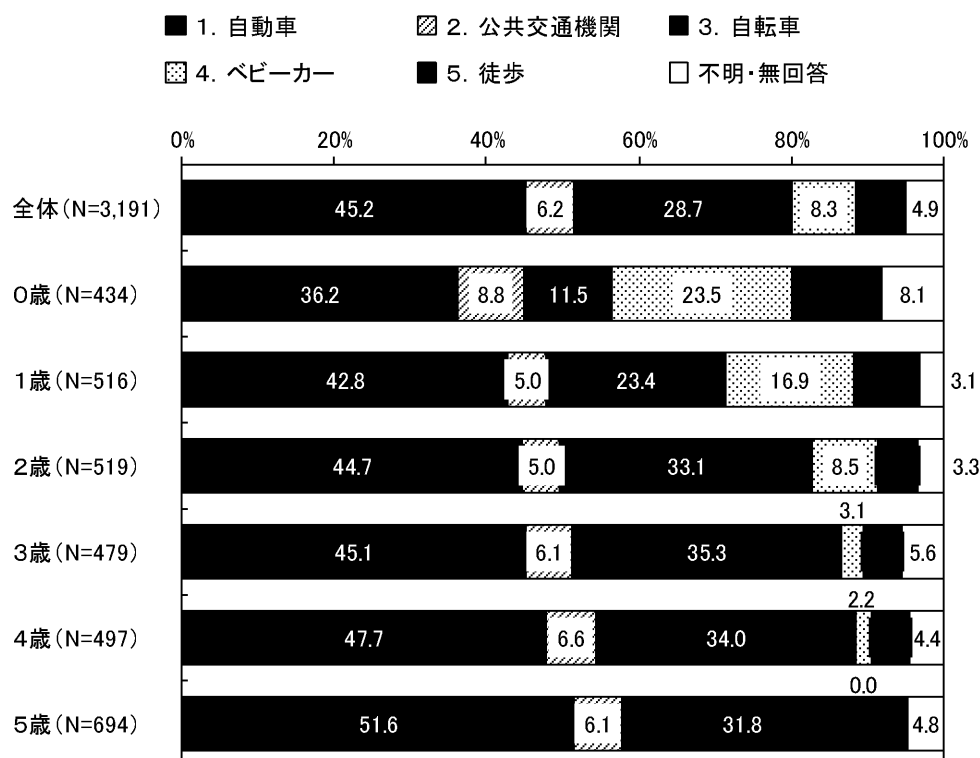
問 42(1) 子どもを連れて外出する際の主な移動手段は何ですか。(〇は1つ)

「1. 自動車」が45.2%と最も高く、次いで「3. 自転車」が28.7%、「4. ベビーカー」が8.3%となっています。



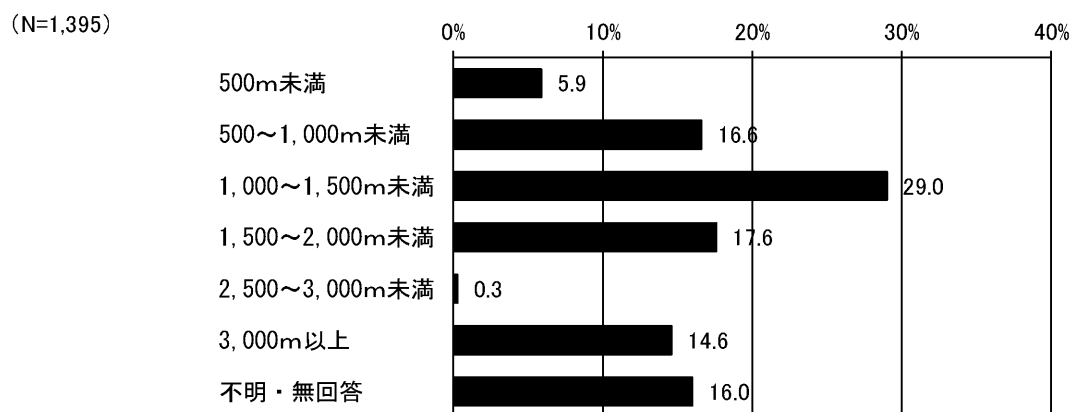
《問 42(1)×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「1. 自動車」の割合が最も高くなっており、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられます。また、「4. ベビーカー」では年齢が上がるほど、「3. 自転車」では3歳以降は低くなる傾向がみられます。



問 42(2) 問 42(1)で答えられた方法で移動される場合の平均的な移動距離を（ ）内にご記入ください。

「1,000～1,500m未満」が29.0%と最も高く、次いで「1,500～2,000m未満」が17.6%、「500～1,000m未満」が16.6%となっています。



《問 42(2)×問 42(1)子どもを連れて外出する際の主な移動手段別》

すべての区分で「1,000～1,500m未満」の割合が最も高くなっています。

	1,395	82	232	405	246	4	203	223
	100.0	5.9	16.6	29.0	17.6	0.3	14.6	16.0
	915	30	108	265	175	3	172	162
	100.0	3.3	11.8	29.0	19.1	0.3	18.8	17.7
	265	18	66	77	42	1	22	39
	100.0	6.8	24.9	29.1	15.8	0.4	8.3	14.7
	215	34	58	63	29	0	9	22
	100.0	15.8	27.0	29.3	13.5	0.0	4.2	10.2

《問 42(2)×問 42(1)子どもを連れて外出する際の主な移動手段×問 1 子どもの年齢別》

すべての年齢で『自転車』では「1,000～1,500m未満」の割合が最も高くなっています。

『ベビーカー』は、0～3歳では「500～1,000m未満」「1,000～1,500m未満」、4歳では「1,500～2,000m未満」の割合が高くなっています。

『徒歩』は、0～1歳、5歳では「1,000～1,500m未満」、2・4歳では「500～1,000m未満」、3歳では「500m未満」「500～1,000m未満」の割合が最も高くなっています。

0歳

	204	10	46	71	31	1	20	25
	100.0	4.9	22.5	34.8	15.2	0.5	9.8	12.3
	50	1	5	19	9	0	7	9
	100.0	2.0	10.0	38.0	18.0	0.0	14.0	18.0
	102	4	28	34	15	1	9	11
	100.0	3.9	27.5	33.3	14.7	1.0	8.8	10.8
	52	5	13	18	7	0	4	5
	100.0	9.6	25.0	34.6	13.5	0.0	7.7	9.6

1歳

	253	18	44	80	41	0	24	46
	100.0	7.1	17.4	31.6	16.2	0.0	9.5	18.2
	121	4	9	44	21	0	18	25
	100.0	3.3	7.4	36.4	17.4	0.0	14.9	20.7
	87	7	23	19	15	0	6	17
	100.0	8.0	26.4	21.8	17.2	0.0	6.9	19.5
	45	7	12	17	5	0	0	4
	100.0	15.6	26.7	37.8	11.1	0.0	0.0	8.9

2歳

	244	13	41	76	41	0	37	36
	100.0	5.3	16.8	31.1	16.8	0.0	15.2	14.8
	172	7	23	54	30	0	34	24
	100.0	4.1	13.4	31.4	17.4	0.0	19.8	14.0
	44	2	10	15	6	0	3	8
	100.0	4.5	22.7	34.1	13.6	0.0	6.8	18.2
	28	4	8	7	5	0	0	4
	100.0	14.3	28.6	25.0	17.9	0.0	0.0	14.3

3歳

	207	13	34	58	39	1	33	29
	100.0	6.3	16.4	28.0	18.8	0.5	15.9	14.0
	169	3	22	48	34	1	33	28
	100.0	1.8	13.0	28.4	20.1	0.6	19.5	16.6
	15	2	4	7	2	0	0	0
	100.0	13.3	26.7	46.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	23	8	8	3	3	0	0	1
	100.0	34.8	34.8	13.0	13.0	0.0	0.0	4.3

4歳

	205	11	28	49	40	1	41	35
	100.0	5.4	13.7	23.9	19.5	0.5	20.0	17.1
	169	6	19	43	33	1	36	31
	100.0	3.6	11.2	25.4	19.5	0.6	21.3	18.3
	11	2	1	2	4	0	2	0
	100.0	18.2	9.1	18.2	36.4	0.0	18.2	0.0
	25	3	8	4	3	0	3	4
	100.0	12.0	32.0	16.0	12.0	0.0	12.0	16.0

5歳

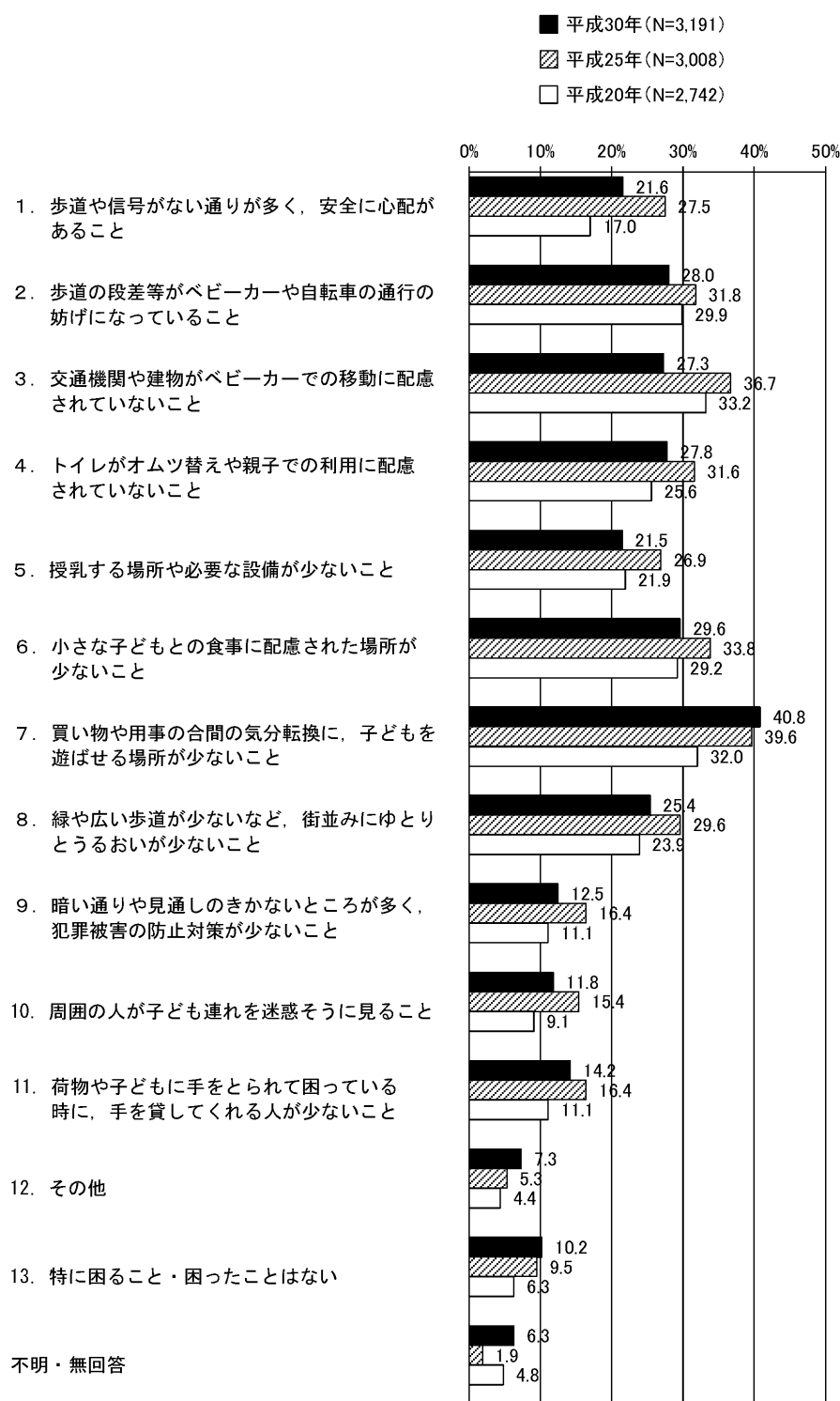
	261	14	38	66	53	1	42	47
	100.0	5.4	14.6	25.3	20.3	0.4	16.1	18.0
	221	8	29	53	47	1	40	43
	100.0	3.6	13.1	24.0	21.3	0.5	18.1	19.5
	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40	6	9	13	6	0	2	4
	100.0	15.0	22.5	32.5	15.0	0.0	5.0	10.0

問 43 宛名のお子さまと外出する際に、困ること・困ったことについてお答えください。

(〇はいくつでも)

「7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと」が40.8%と最も高く、次いで「6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ないこと」が29.6%、「2. 歩道の段差等がベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること」が28.0%となっています。

平成25年と比較すると、「3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」が9.4ポイント低く、平成20年と比較すると、「7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと」が8.8ポイント高くなっています。



《問 43×問 1 子どもの年齢別》

『0歳』では「授乳する場所や必要な設備が少ないこと」、1～5歳では「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと」の割合が最も高くなっています。

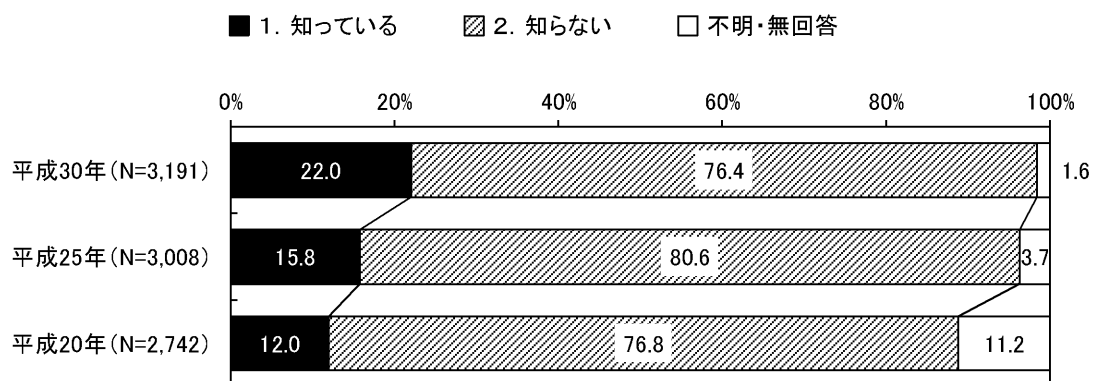
3,191	689	894	872	887	687	945	1,302
100.0	21.6	28.0	27.3	27.8	21.5	29.6	40.8
434	65	167	170	184	234	151	128
100.0	15.0	38.5	39.2	42.4	53.9	34.8	29.5
516	101	172	188	180	131	218	241
100.0	19.6	33.3	36.4	34.9	25.4	42.2	46.7
519	111	180	176	186	103	178	231
100.0	21.4	34.7	33.9	35.8	19.8	34.3	44.5
479	113	126	116	127	70	126	207
100.0	23.6	26.3	24.2	26.5	14.6	26.3	43.2
497	117	110	101	105	73	125	215
100.0	23.5	22.1	20.3	21.1	14.7	25.2	43.3
694	160	126	103	90	66	134	261
100.0	23.1	18.2	14.8	13.0	9.5	19.3	37.6

3,191	811	400	378	452	234	325	200
100.0	25.4	12.5	11.8	14.2	7.3	10.2	6.3
434	106	38	50	54	32	20	23
100.0	24.4	8.8	11.5	12.4	7.4	4.6	5.3
516	131	42	56	77	35	36	29
100.0	25.4	8.1	10.9	14.9	6.8	7.0	5.6
519	141	62	70	93	22	44	23
100.0	27.2	11.9	13.5	17.9	4.2	8.5	4.4
479	124	59	59	79	37	51	36
100.0	25.9	12.3	12.3	16.5	7.7	10.6	7.5
497	136	71	57	74	48	60	39
100.0	27.4	14.3	11.5	14.9	9.7	12.1	7.8
694	157	114	81	69	54	106	47
100.0	22.6	16.4	11.7	9.9	7.8	15.3	6.8

問 44 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてうかがいます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。(〇はそれぞれ 1 つずつ)

「1. 知っている」が 22.0%、「2. 知らない」が 76.4%となっています。

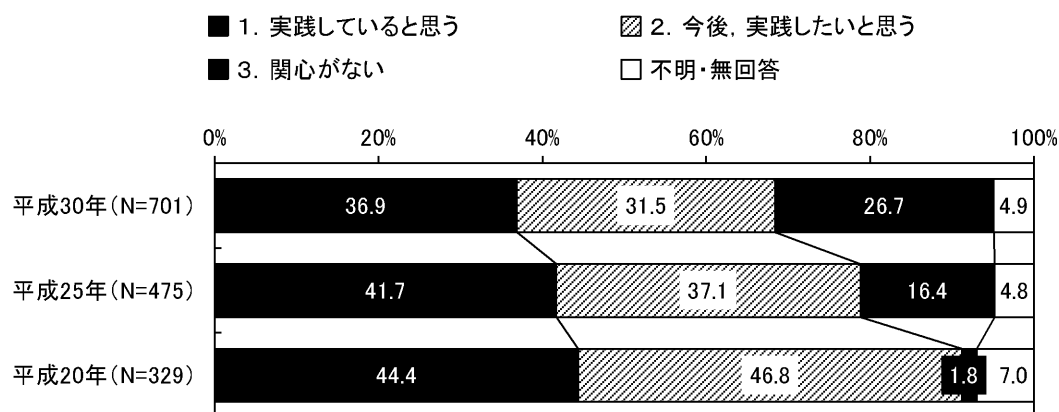
過去調査と比較すると、「1. 知っている」が平成 25 年より 6.2 ポイント、平成 20 年より 10.0 ポイント高くなっています。



知っている方の憲章の実践について、「1. 実践していると思う」が 36.9%と最も高く、次いで「2. 今後、実践したいと思う」が 31.5%となっています。平成 25 年と比較すると、「3. 関心がない」が 10.3 ポイント高くなっています。

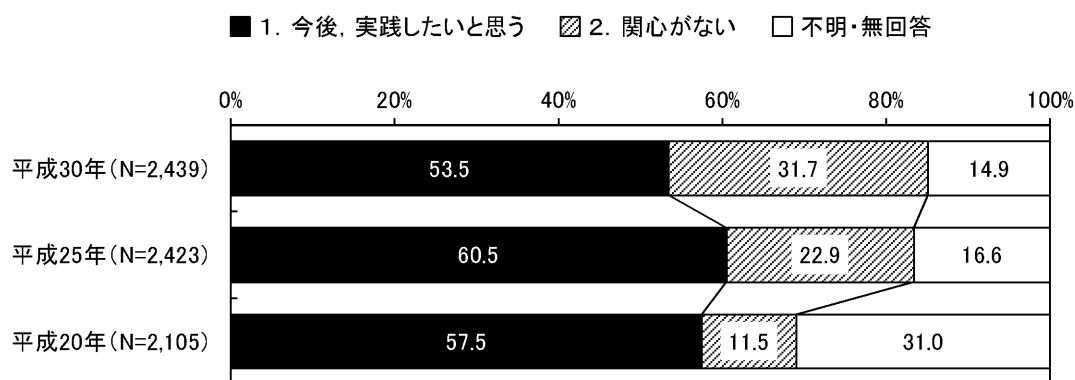
知らない方の憲章の実践について、「1. 今後、実践したいと思う」が 53.5%、「2. 関心がない」が 31.7%となっています。平成 25 年と比較すると、「2. 関心がない」が 8.8 ポイント高くなっています。

◆(「1」の場合)憲章の実践について



※「3. 関心がない」…平成 20 年は「3. 実践しようと思わない」

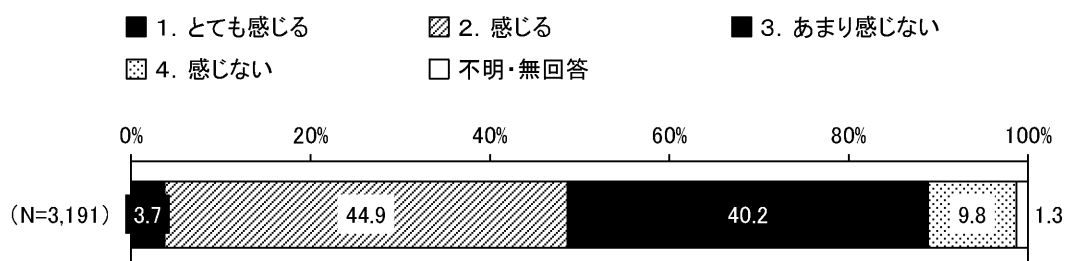
◆(「2」の場合)憲章の実践について



※「2. 関心がない」…平成 20 年は「2. 実践しようと思わない」

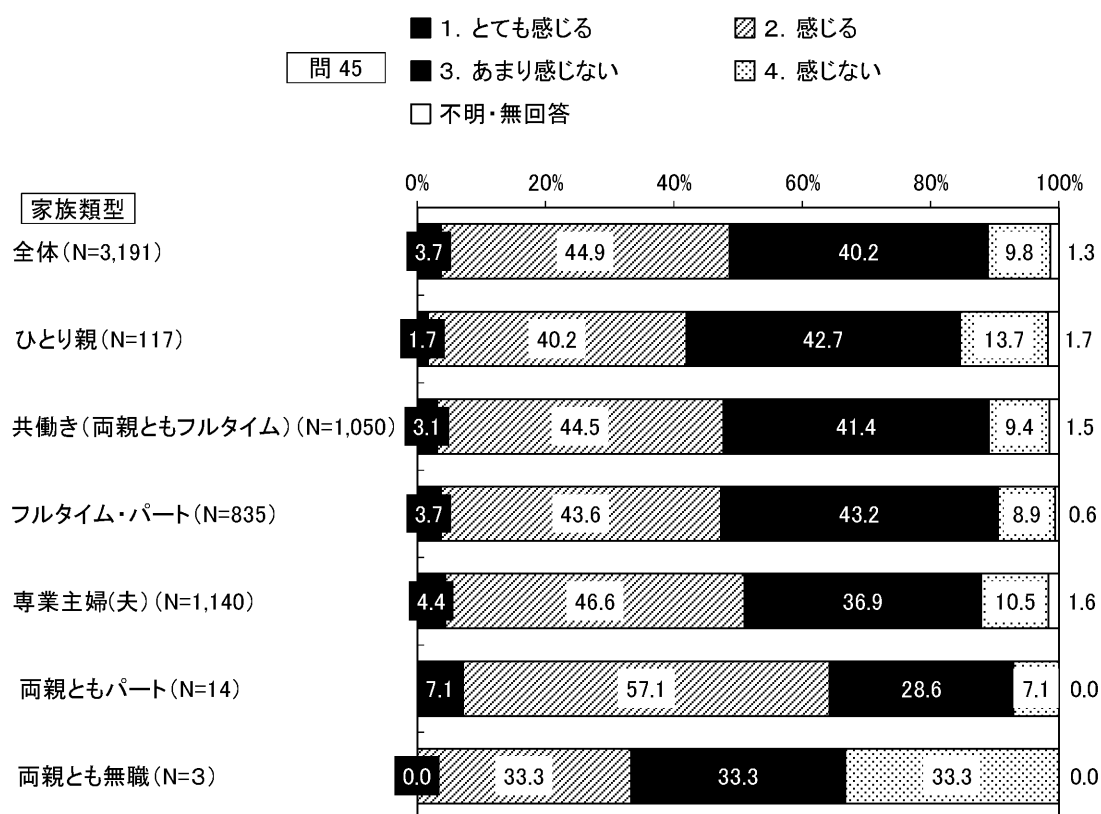
問 45 京都市は子どもにとって住みやすいと感じますか。(〇は1つ)

『感じる「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計』が 48.6%, 『感じない「3. あまり感じない」と「4. 感じない」の合計が 50.0%』となっています。



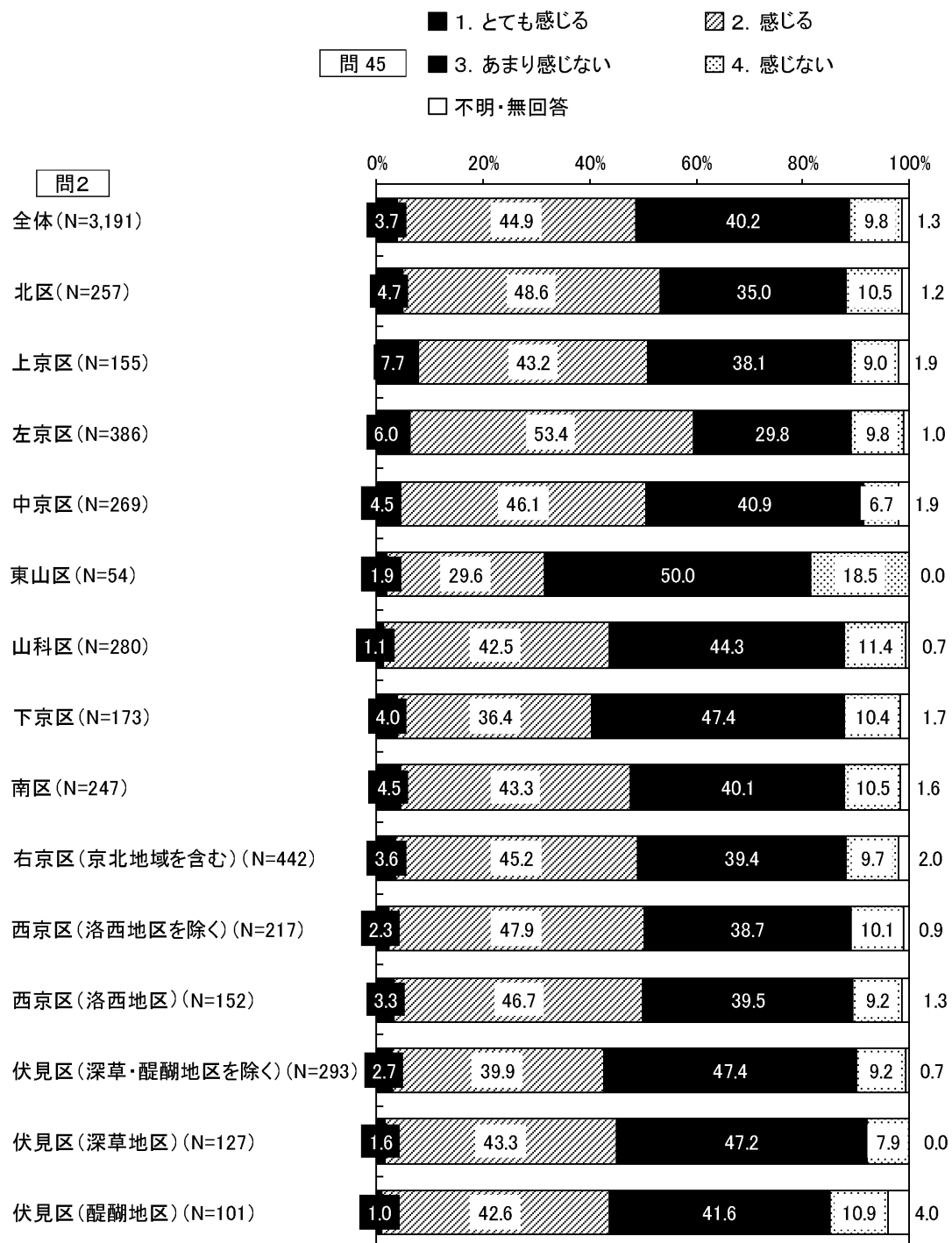
《問 45×家族類型別》

「専業主婦（夫）」「両親ともパート」以外では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



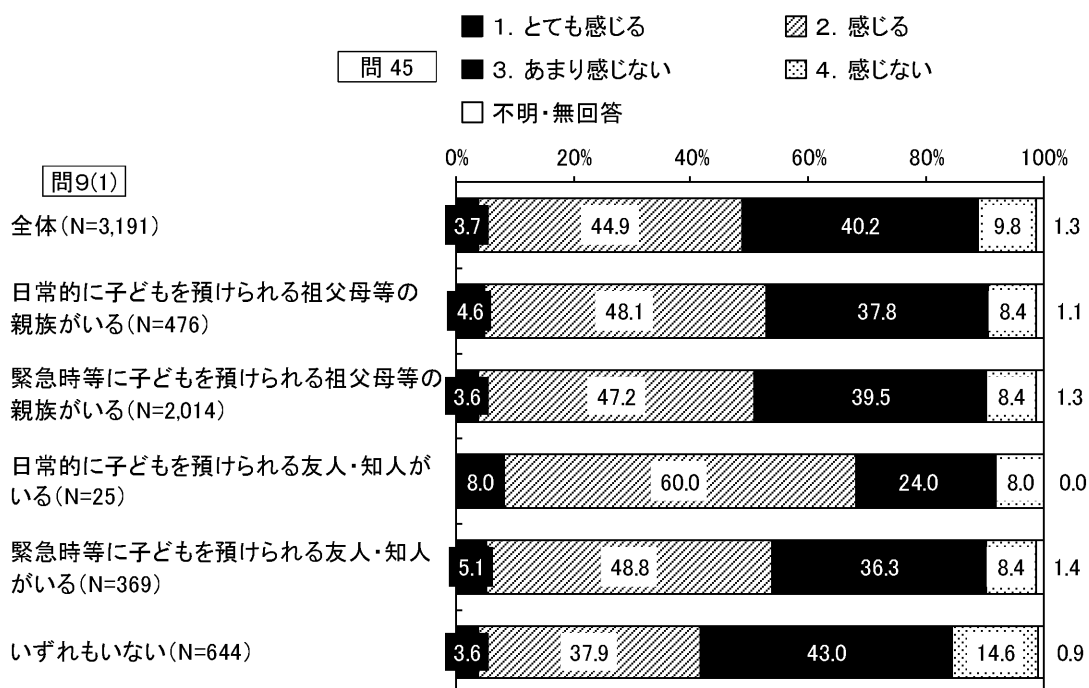
《問 45×問 2 居住区別》

「東山区」「山科区」「下京区」「南区」「伏見区」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



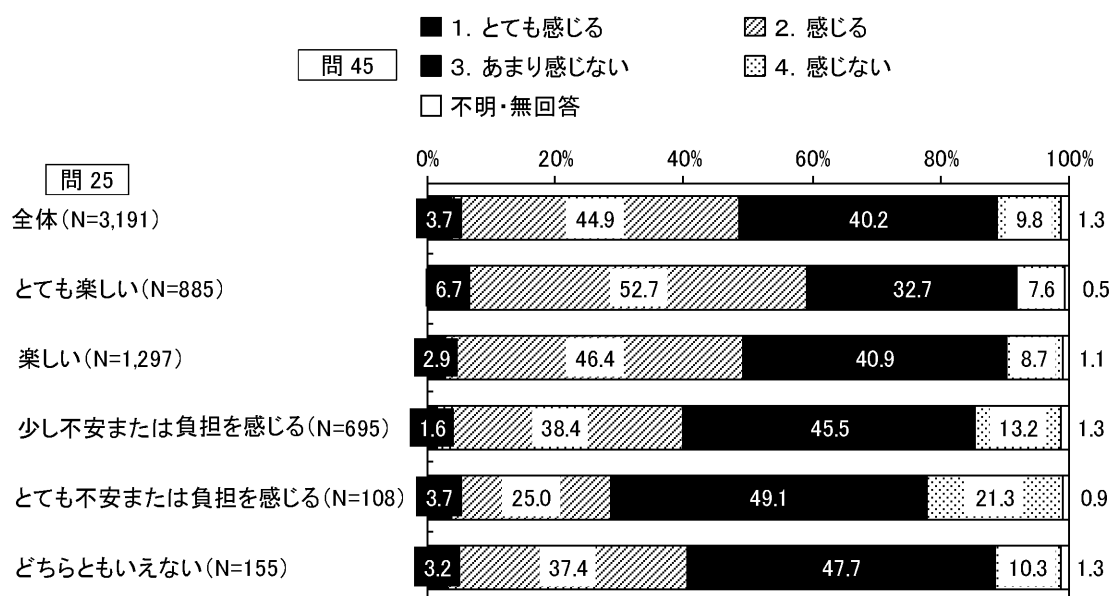
《問 45×問 9(1)日頃、子どもを預けられる人別》

「いずれもない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。また、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」では『感じる』の割合が全体よりも特に高くなっています。



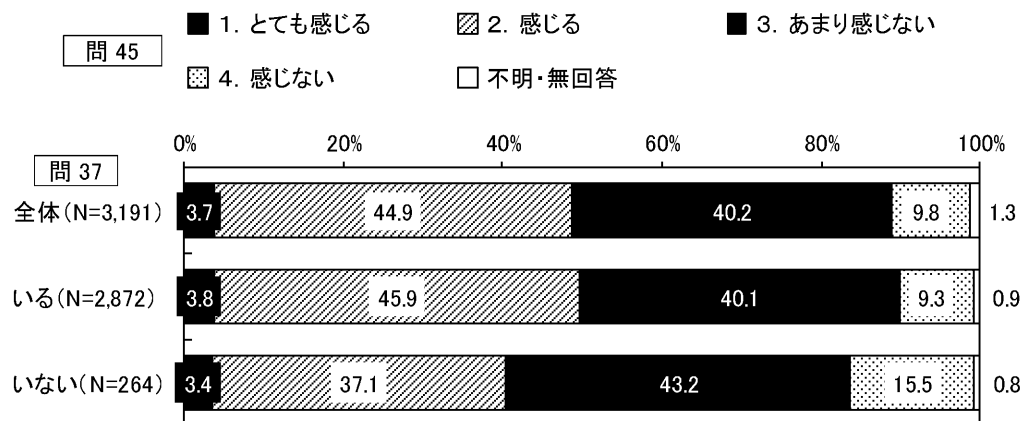
《問 45×問 25 子育てをしている今の気持ち別》

「とても楽しい」「楽しい」では『感じる』,「少し不安または負担を感じる」「とても不安または負担を感じる」「どちらともいえない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



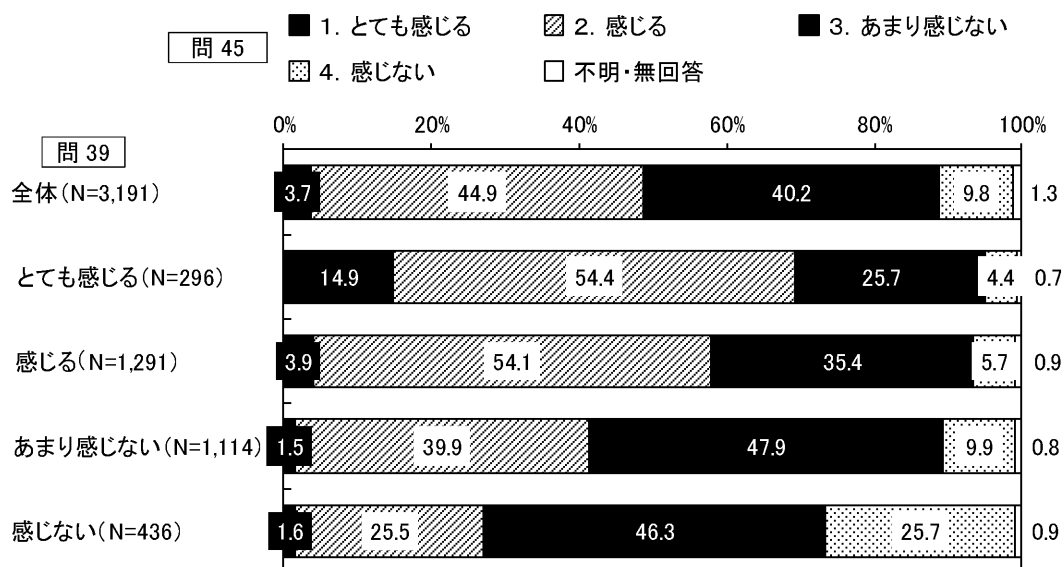
《問 45×問 37 子育て仲間の有無別》

「いる」では『感じる』, 「いない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



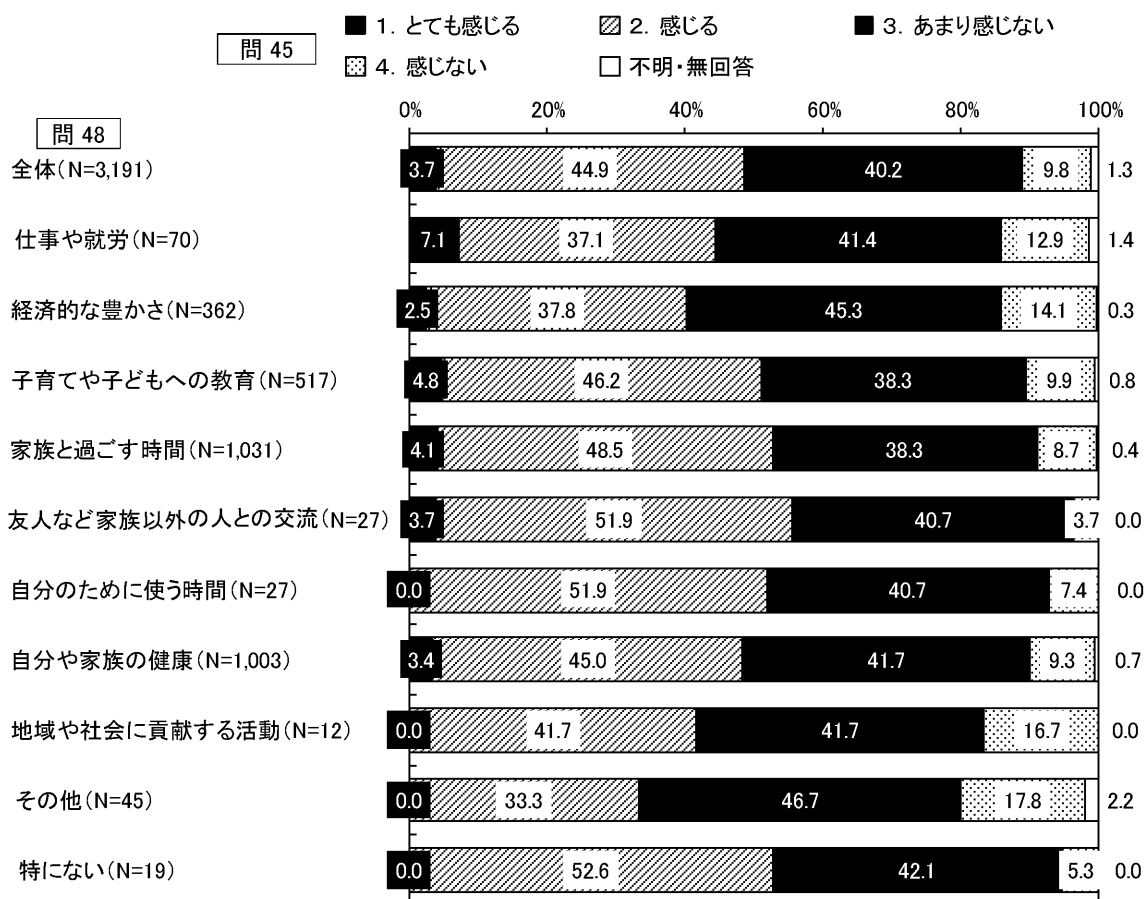
《問 45×問 39 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると「とても感じる」「感じる」では『感じる』の割合が, 「あまり感じない」「感じない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



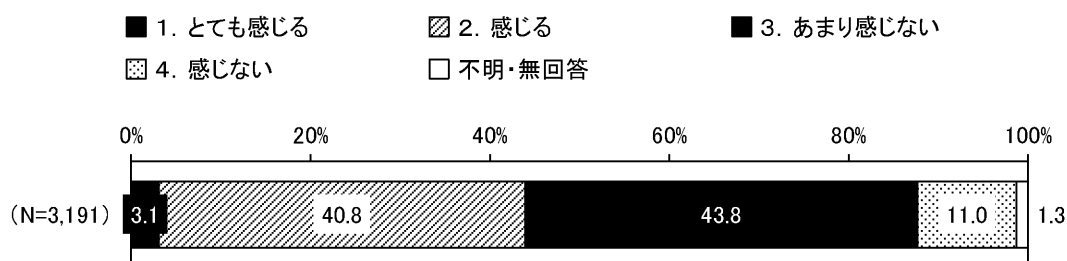
《問 45×問 48 最も重要だと考えている価値観別》

「子育てや子どもへの教育」「家族と過ごす時間」「友人など家族以外の人との交流」「自分のために使う時間」「特にない」では『感じる』、それ以外では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



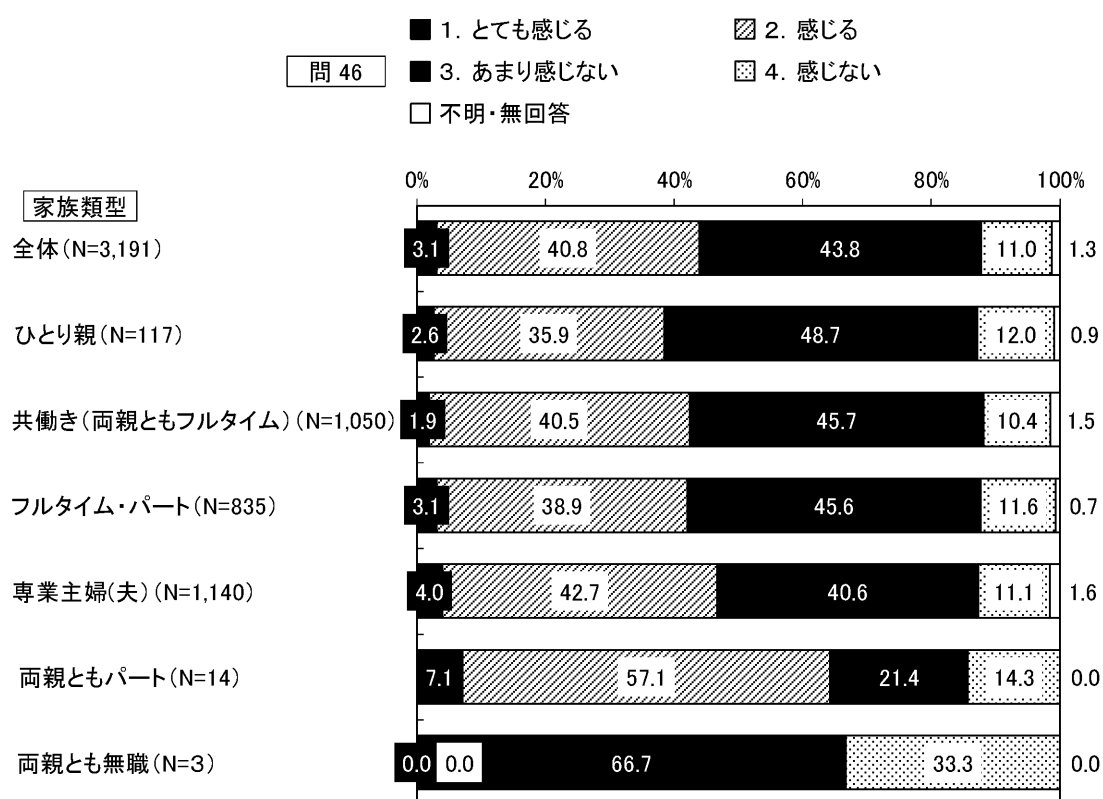
問 46 京都市は子育てしやすいまちだと感じますか。(〇は1つ)

『感じる「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計』が 43.9%, 『感じない「3. あまり感じない」と「4. 感じない」の合計が 54.8%となっています。



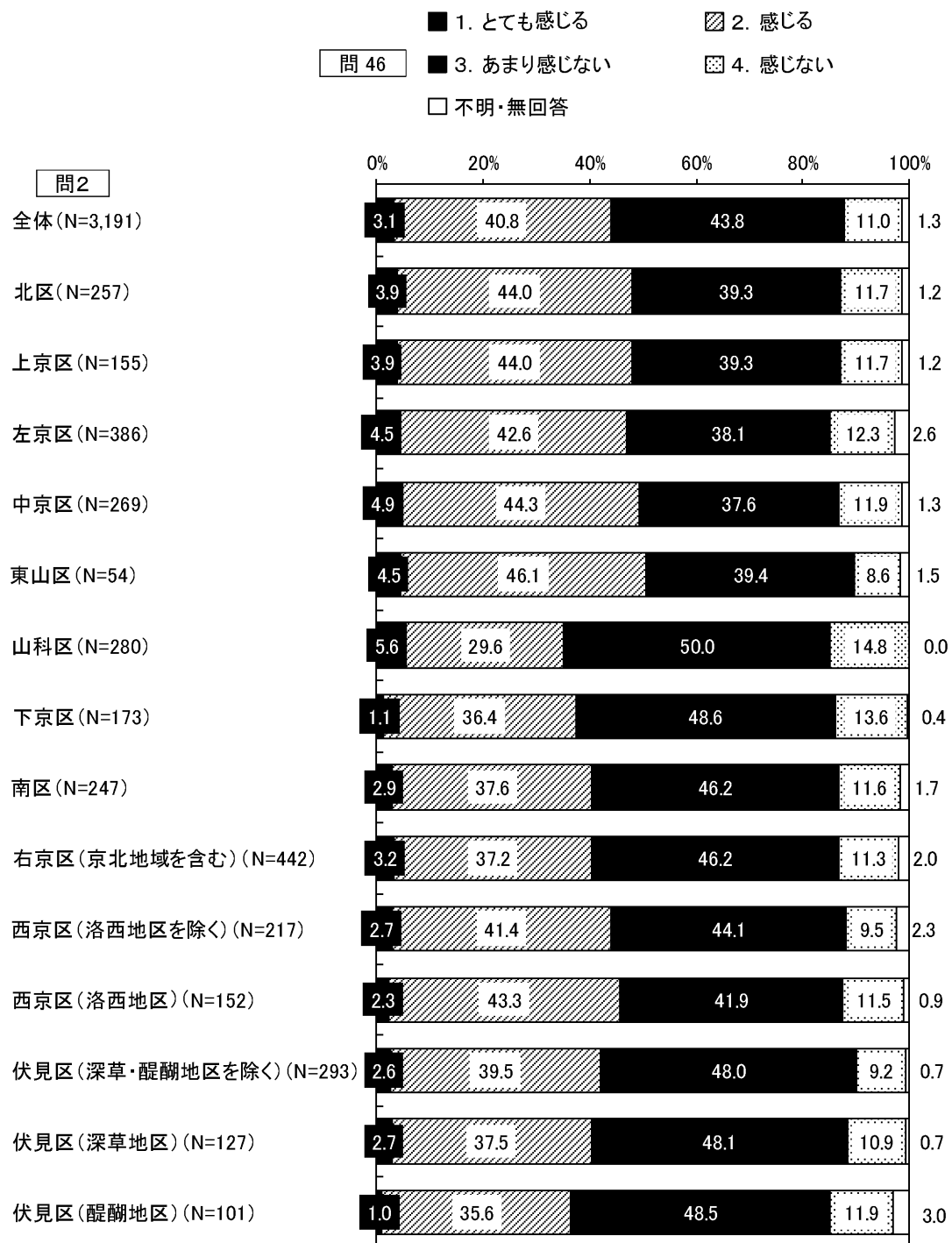
《問 46×家族類型別》

「専業主婦(夫)」「両親ともパート」以外では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



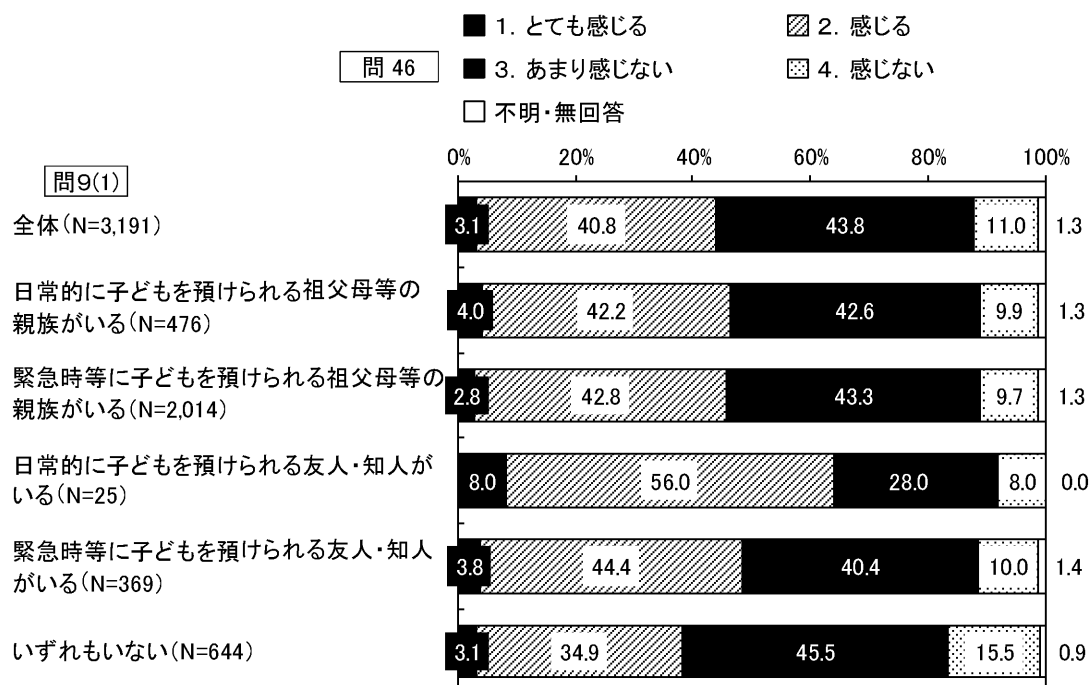
《問 46×問 2 居住区別》

「東山区」「山科区」「下京区」「南区」「西京区（洛西地区）」「伏見区」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



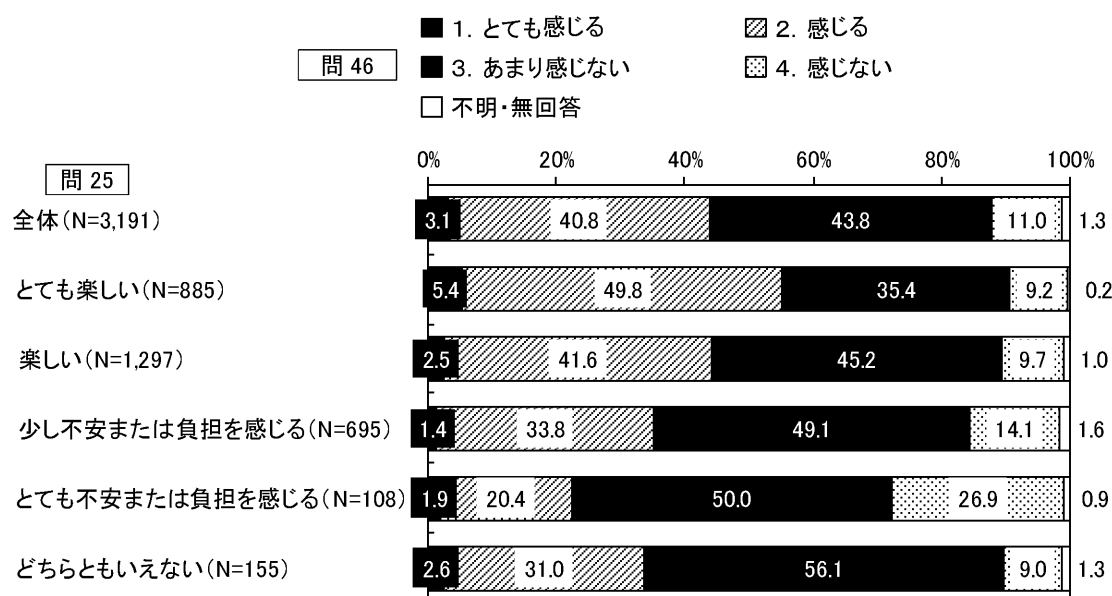
《問 46×問 9(1)日頃、子どもを預けられる人別》

「いずれもない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。また、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」では『感じる』の割合が全体よりも特に高くなっています。



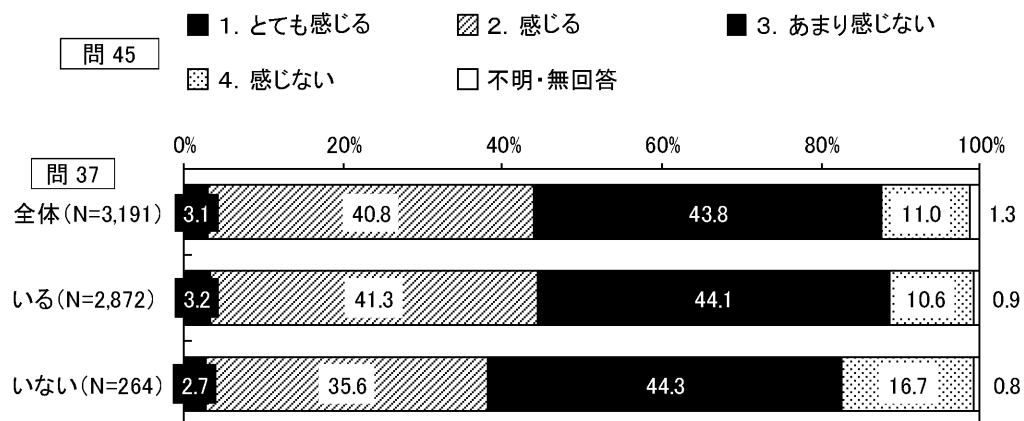
《問 46×問 25 子育てをしている今の気持ち別》

「とても楽しい」「楽しい」では『感じる』,「少し不安または負担を感じる」「とても不安または負担を感じる」「どちらともいえない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



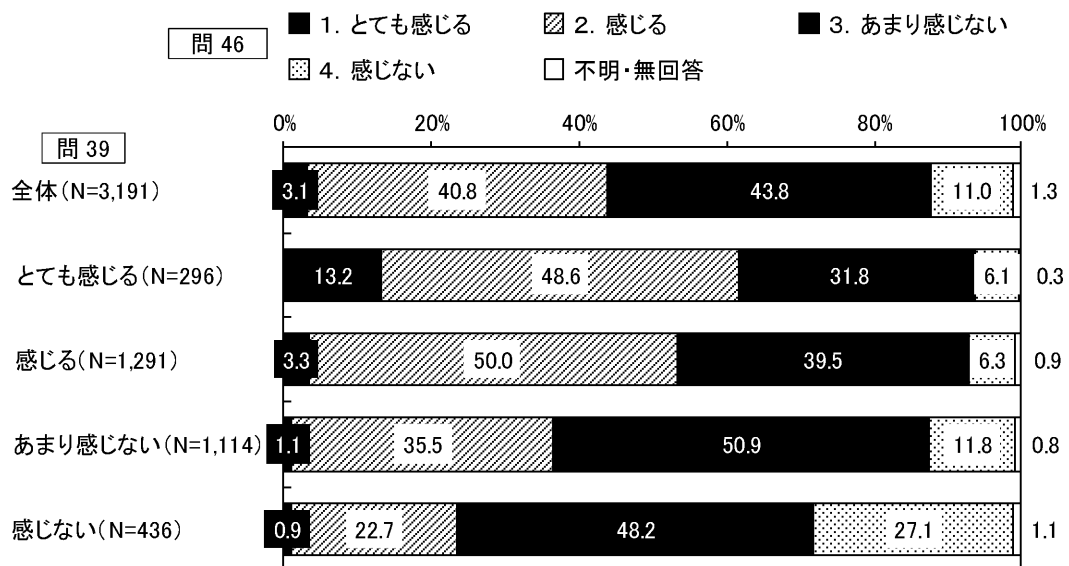
《問 46×問 37 子育て仲間の有無別》

「いる」では『感じる』, 「いない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



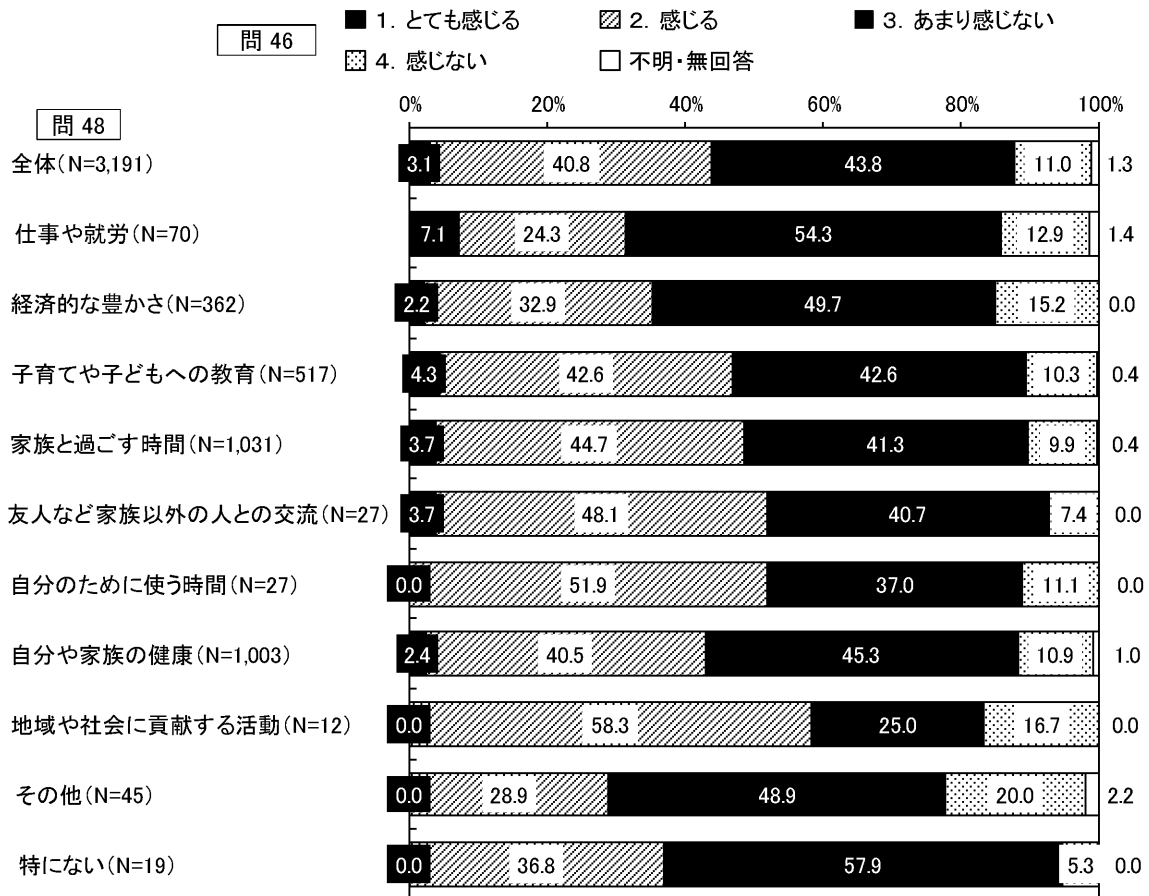
《問 46×問 39 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると「とても感じる」「感じる」では『感じる』の割合が、「あまり感じない」「感じない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



《問 46×問 48 最も重要だと考えている価値観別》

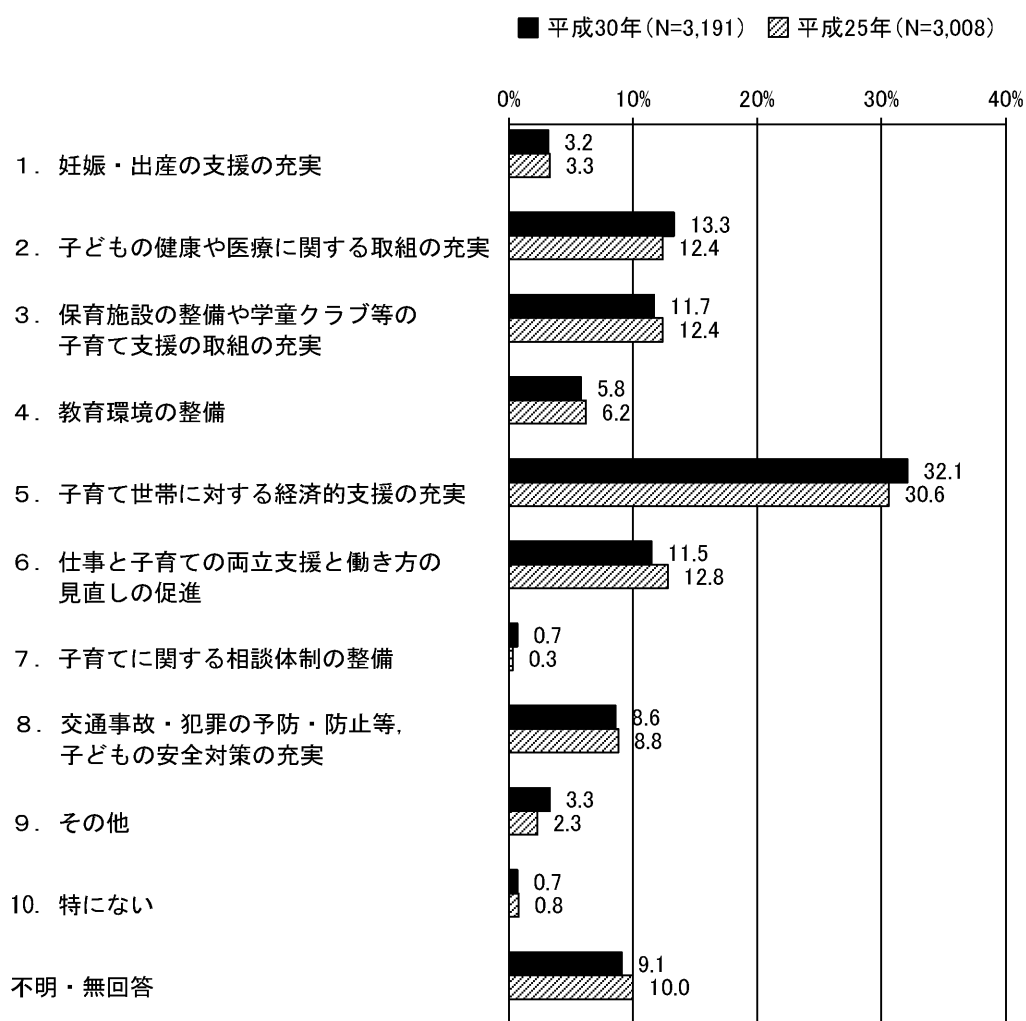
「子育てや子どもへの教育」「家族と過ごす時間」「友人など家族以外の人との交流」「自分のために使う時間」「地域や社会に貢献する活動」では『感じる』, それ以外では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



問 47 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを最も期待しますか。(〇は1つ)

「5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実」が32.1%と最も高く、次いで「2. 子どもの健康や医療に関する取組の充実」が13.3%、「3. 保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」が11.7%、「6. 仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」が11.5%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



《問 47×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高く、次いで『0歳』では「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」、『1歳』では「保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」、『2歳』では「保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」、3～5歳では「子どもの健康や医療に関する取組の充実」となっています。

0歳							
3,191	103	423	373	186	1,025	366	
100.0	3.2	13.3	11.7	5.8	32.1	11.5	
434	30	47	62	17	134	64	
100.0	6.9	10.8	14.3	3.9	30.9	14.7	
516	20	64	65	25	184	60	
100.0	3.9	12.4	12.6	4.8	35.7	11.6	
519	16	51	71	18	175	71	
100.0	3.1	9.8	13.7	3.5	33.7	13.7	
479	15	72	38	33	162	44	
100.0	3.1	15.0	7.9	6.9	33.8	9.2	
497	7	69	66	33	156	46	
100.0	1.4	13.9	13.3	6.6	31.4	9.3	
694	14	114	66	59	200	75	
100.0	2.0	16.4	9.5	8.5	28.8	10.8	
1歳							
3,191	23	274	104	23	291		
100.0	0.7	8.6	3.3	0.7	9.1		
434	4	32	12	3	29		
100.0	0.9	7.4	2.8	0.7	6.7		
516	1	39	16	3	39		
100.0	0.2	7.6	3.1	0.6	7.6		
519	4	44	16	3	50		
100.0	0.8	8.5	3.1	0.6	9.6		
479	2	46	15	2	50		
100.0	0.4	9.6	3.1	0.4	10.4		
497	4	49	19	3	45		
100.0	0.8	9.9	3.8	0.6	9.1		
694	8	55	26	9	68		
100.0	1.2	7.9	3.7	1.3	9.8		

《問 47×家族類型別》

すべての区分で「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高く、次いで『ひとり親』『共働き（両親ともフルタイム）』では「保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」、『フルタイム・パート』『専業主婦(夫)』では「子どもの健康や医療に関する取組の充実」となっています。

	3,191	103	423	373	186	1,025	366
	100.0	3.2	13.3	11.7	5.8	32.1	11.5
	117	4	3	21	6	44	14
	100.0	3.4	2.6	17.9	5.1	37.6	12.0
	1,050	33	127	173	62	284	167
	100.0	3.1	12.1	16.5	5.9	27.0	15.9
	835	20	122	84	41	271	97
	100.0	2.4	14.6	10.1	4.9	32.5	11.6
	1,140	44	168	87	74	407	84
	100.0	3.9	14.7	7.6	6.5	35.7	7.4
	14	0	2	2	0	6	2
	100.0	0.0	14.3	14.3	0.0	42.9	14.3
	3	0	0	0	0	2	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

	3,191	23	274	104	23	291
	100.0	0.7	8.6	3.3	0.7	9.1
	117	0	7	7	1	10
	100.0	0.0	6.0	6.0	0.9	8.5
	1,050	1	70	31	4	98
	100.0	0.1	6.7	3.0	0.4	9.3
	835	7	79	24	8	82
	100.0	0.8	9.5	2.9	1.0	9.8
	1,140	15	114	40	10	97
	100.0	1.3	10.0	3.5	0.9	8.5
	14	0	1	1	0	0
	100.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0
	3	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

《問 47×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

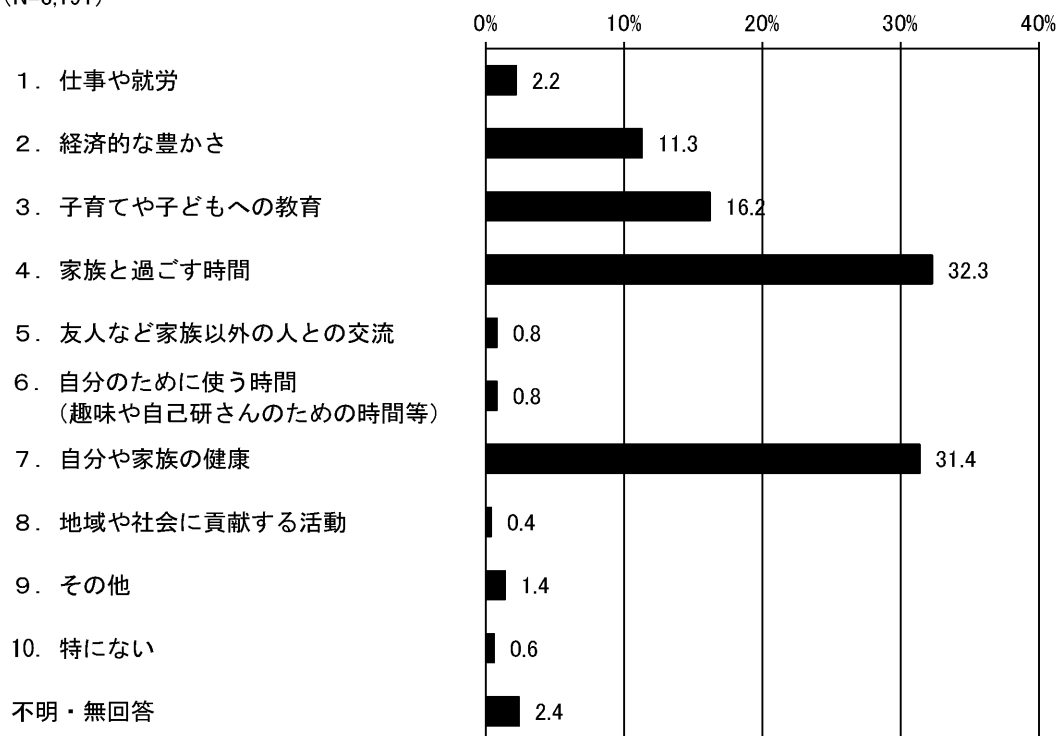
『1,001 万円以上』では「保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」、それ以外では「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高くなっています。

可処分所得	世帯数	割合	可処分所得	世帯数	割合	可処分所得	世帯数	割合
3,191	23	274	104	23	291			
100.0	0.7	8.6	3.3	0.7	9.1			
135	1	11	7	1	11			
100.0	0.7	8.1	5.2	0.7	8.1			
113	0	6	4	1	20			
100.0	0.0	5.3	3.5	0.9	17.7			
354	2	26	5	7	32			
100.0	0.6	7.3	1.4	2.0	9.0			
582	3	49	18	0	58			
100.0	0.5	8.4	3.1	0.0	10.0			
617	9	42	18	2	53			
100.0	1.5	6.8	2.9	0.3	8.6			
450	3	41	11	4	37			
100.0	0.7	9.1	2.4	0.9	8.2			
435	4	38	19	4	27			
100.0	0.9	8.7	4.4	0.9	6.2			
189	1	24	11	0	10			
100.0	0.5	12.7	5.8	0.0	5.3			
140	0	19	8	1	11			
100.0	0.0	13.6	5.7	0.7	7.9			

問 48 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。（○は1つ）

「4. 家族と過ごす時間」が32.3%と最も高く、次いで「7. 自分や家族の健康」が31.4%,
「3. 子育てや子どもへの教育」が16.2%となっています。

(N=3,191)



《問 48×家族類型別》

『ひとり親』『共働き（両親ともフルタイム）』『フルタイム・パート』では「家族と過ごす時間」，『専業主婦（夫）』『両親ともパート』では「自分や家族の健康」，『両親とも無職』では「経済的な豊かさ」の割合が最も高くなっています。

	3,191	70	362	517	1,031	27	27
	100.0	2.2	11.3	16.2	32.3	0.8	0.8
	117	6	26	21	29	1	2
	100.0	5.1	22.2	17.9	24.8	0.9	1.7
	1,050	34	90	153	384	4	8
	100.0	3.2	8.6	14.6	36.6	0.4	0.8
	835	20	112	132	261	10	8
	100.0	2.4	13.4	15.8	31.3	1.2	1.0
	1,140	10	125	205	343	12	8
	100.0	0.9	11.0	18.0	30.1	1.1	0.7
	14	0	3	0	3	0	1
	100.0	0.0	21.4	0.0	21.4	0.0	7.1
	3	0	2	0	0	0	0
	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

	3,191	1,003	12	45	19	78
	100.0	31.4	0.4	1.4	0.6	2.4
	117	25	0	3	2	2
	100.0	21.4	0.0	2.6	1.7	1.7
	1,050	326	6	18	4	23
	100.0	31.0	0.6	1.7	0.4	2.2
	835	250	2	14	4	22
	100.0	29.9	0.2	1.7	0.5	2.6
	1,140	387	4	8	8	30
	100.0	33.9	0.4	0.7	0.7	2.6
	14	4	0	2	1	0
	100.0	28.6	0.0	14.3	7.1	0.0
	3	1	0	0	0	0
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

《問 48×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

所得にかかわらず「家族と過ごす時間」「自分や家族の健康」の割合が高くなっています。『1,001万円以上』では「自分や家族の健康」に次いで「子育てや子どもへの教育」の割合が高くなっています。

3,191	70	362	517	1,031	27	27
100.0	2.2	11.3	16.2	32.3	0.8	0.8
135	2	26	20	39	1	3
100.0	1.5	19.3	14.8	28.9	0.7	2.2
113	8	20	14	26	1	2
100.0	7.1	17.7	12.4	23.0	0.9	1.8
354	7	53	41	109	2	5
100.0	2.0	15.0	11.6	30.8	0.6	1.4
582	17	75	91	198	8	3
100.0	2.9	12.9	15.6	34.0	1.4	0.5
617	10	70	99	209	7	4
100.0	1.6	11.3	16.0	33.9	1.1	0.6
450	9	39	77	148	0	2
100.0	2.0	8.7	17.1	32.9	0.0	0.4
435	6	37	68	158	4	2
100.0	1.4	8.5	15.6	36.3	0.9	0.5
189	5	15	41	55	1	2
100.0	2.6	7.9	21.7	29.1	0.5	1.1
140	3	4	40	35	0	3
100.0	2.1	2.9	28.6	25.0	0.0	2.1

3,191	1,003	12	45	19	78	
100.0	31.4	0.4	1.4	0.6	2.4	
135	38	2	1	1	2	
100.0	28.1	1.5	0.7	0.7	1.5	
113	35	1	3	0	3	
100.0	31.0	0.9	2.7	0.0	2.7	
354	119	2	5	1	10	
100.0	33.6	0.6	1.4	0.3	2.8	
582	161	1	5	4	19	
100.0	27.7	0.2	0.9	0.7	3.3	
617	196	0	5	3	14	
100.0	31.8	0.0	0.8	0.5	2.3	
450	148	4	7	4	12	
100.0	32.9	0.9	1.6	0.9	2.7	
435	145	1	6	2	6	
100.0	33.3	0.2	1.4	0.5	1.4	
189	63	0	5	0	2	
100.0	33.3	0.0	2.6	0.0	1.1	
140	45	1	5	3	1	
100.0	32.1	0.7	3.6	2.1	0.7	

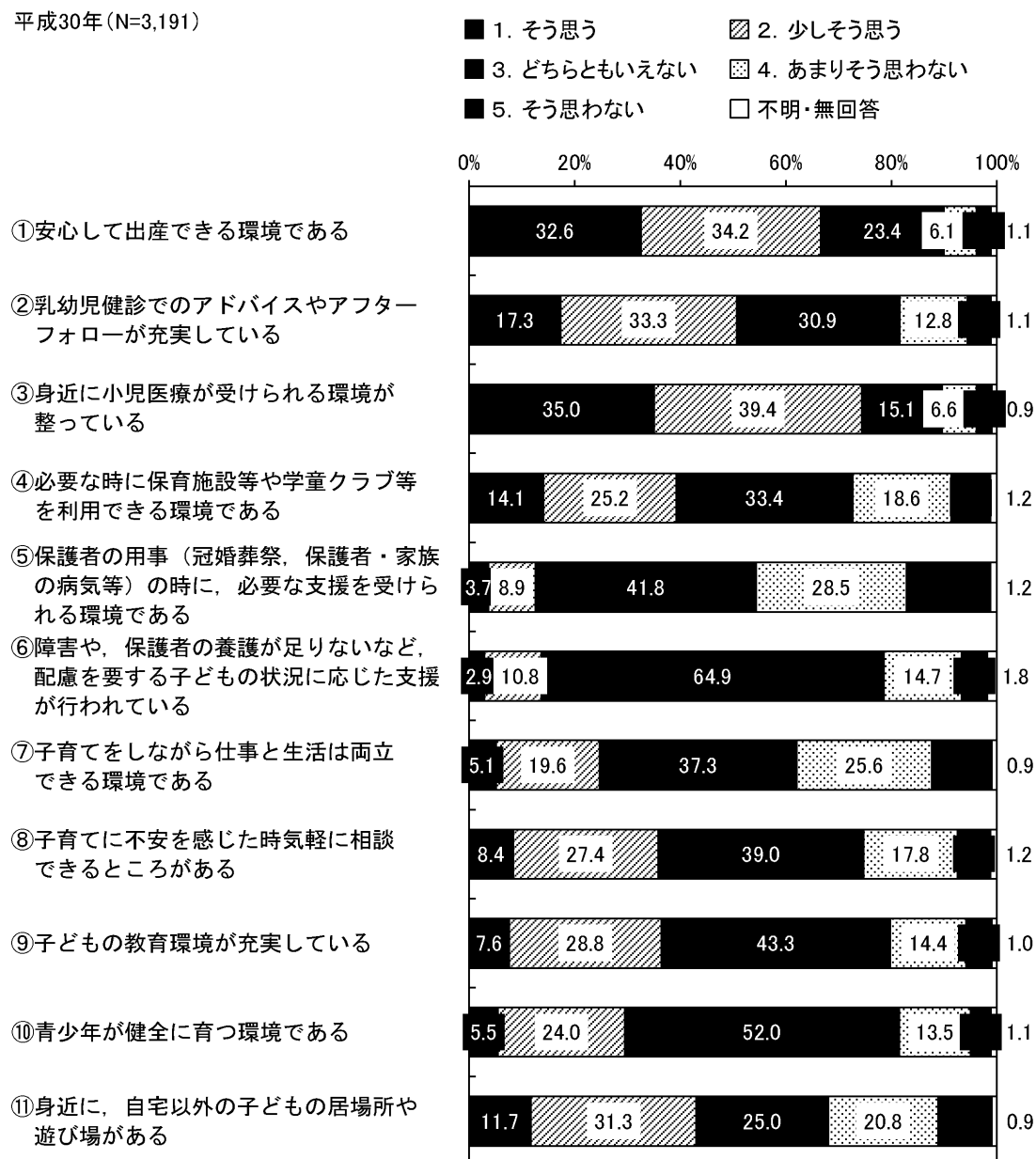
問 49 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いものをお答えください。

(〇はそれぞれ1つずつ)

『そう思う (「1. そう思う」と「2. 少しそう思う」の合計)』は、[③身近に小児医療が受けられる環境が整っている] が 74.4%と最も高く、次いで [①安心して出産できる環境である] が 66.8%，[②乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している] が 50.6%となっています。

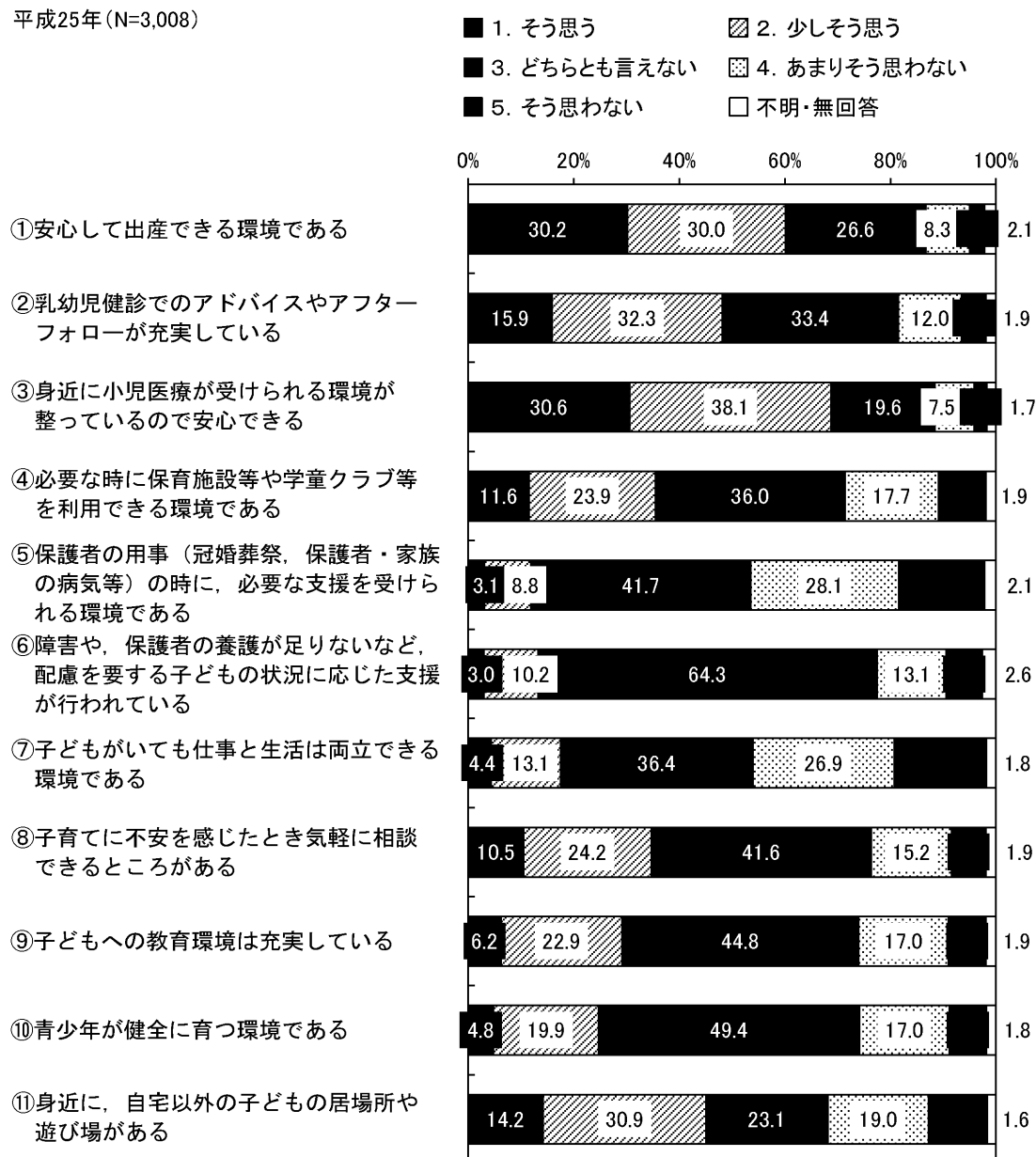
『そう思わない (「4. あまりそう思わない」と「5. そう思わない」の合計)』は、[⑤保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である] が 44.4%と最も高く、次いで [⑦子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である] が 37.0%，[⑪身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある] が 31.0%となっています。

平成30年(N=3,191)



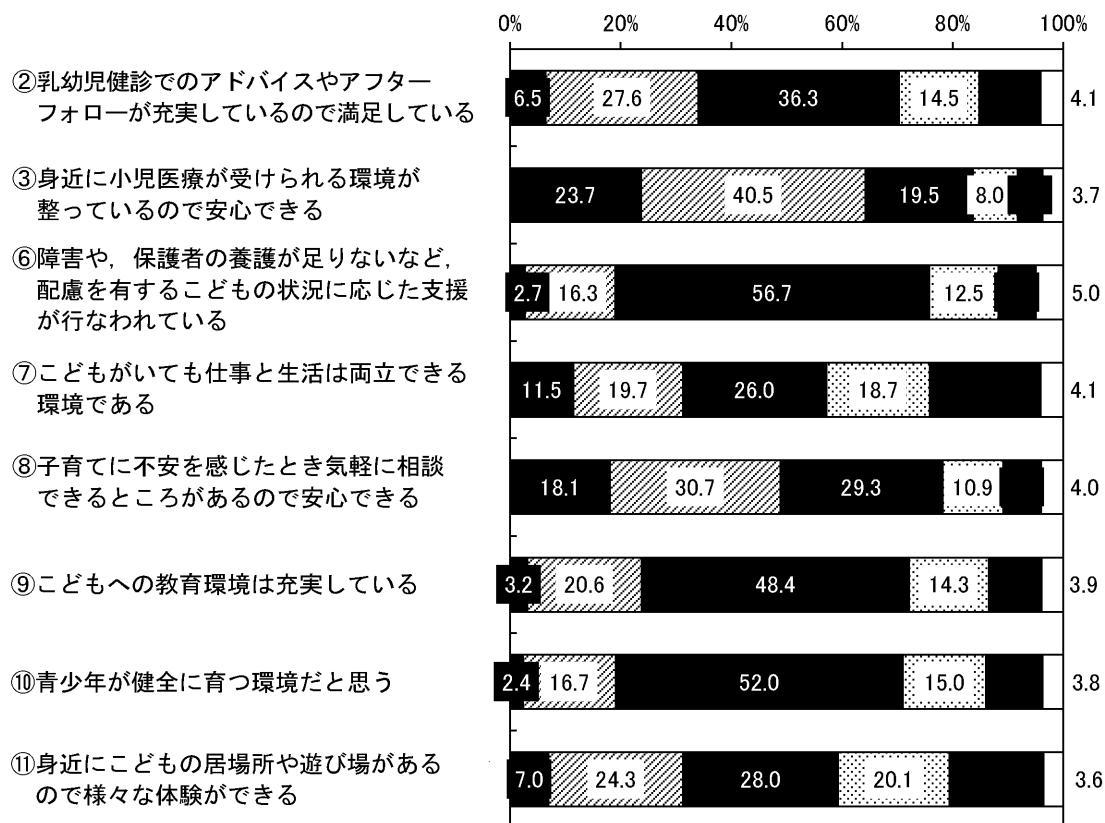
平成25年と比較すると、『そう思う（「1. そう思う」と「2. 少しそう思う」の合計）』では、
 [⑨子どもの教育環境が充実している]が7.3ポイント、[⑦子育てをしながら仕事と生活は両立
 できる環境である]が7.2ポイント高くなっています。

平成25年(N=3,008)



平成20年(N=2,742)

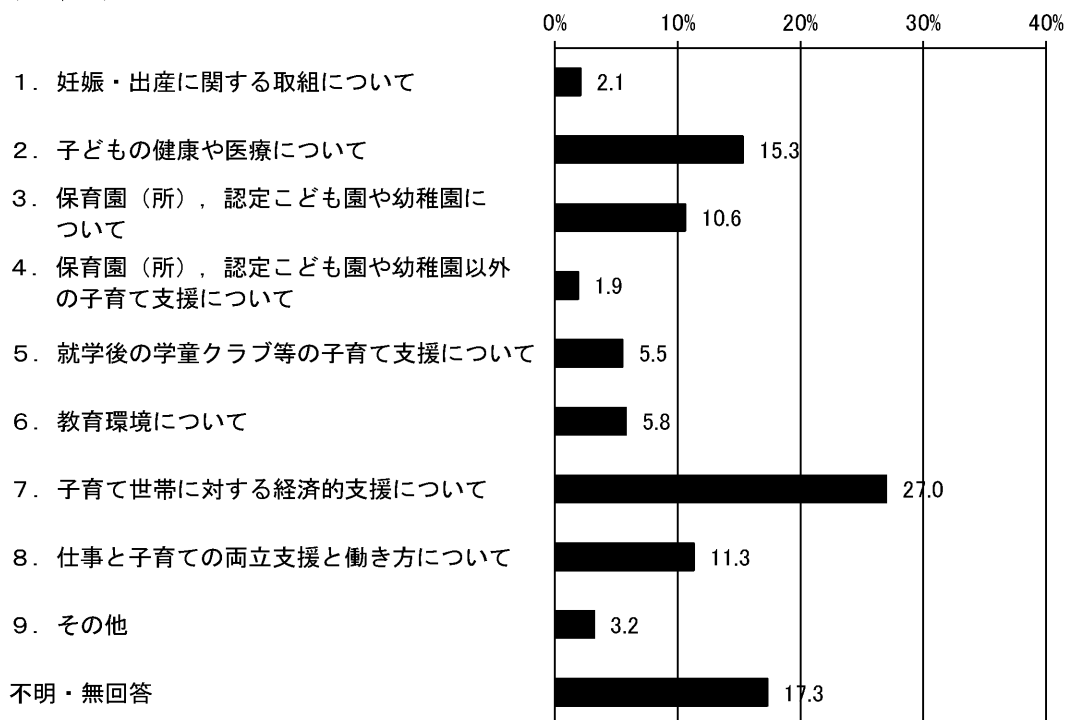
- 1. そう思う
- 3. どちらとも言えない
- 5. そう思わない
- ▨ 2. どちらかというと思う
- ▤ 4. どちらかというと思わない
- 不明・無回答



問 50 安心して子どもを生み，子どもを健やかに育てていくための行政の取組や，社会制度のあり方について，特に望むことやご意見がありましたら，ご自由にご記入ください。（○は1つ）

「7. 子育て世帯に対する経済的支援について」が27.0%と最も高く，次いで「2. 子どもの健康や医療について」が15.3%，「8. 仕事と子育ての両立支援と働き方について」が11.3%となっています。

(N=3,191)



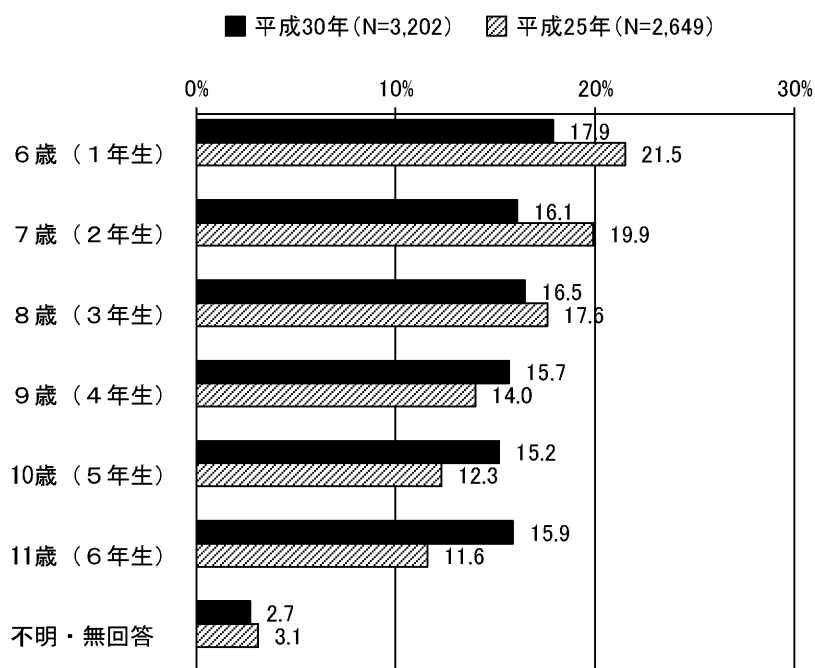
Ⅲ. 調査結果（小学生児童調査）

1 お子さまとご家族の状況について

問1 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。

「6歳（1年生）」が17.9%と最も高く、次いで「8歳（3年生）」が16.5%、「7歳（2年生）」が16.1%となっています。

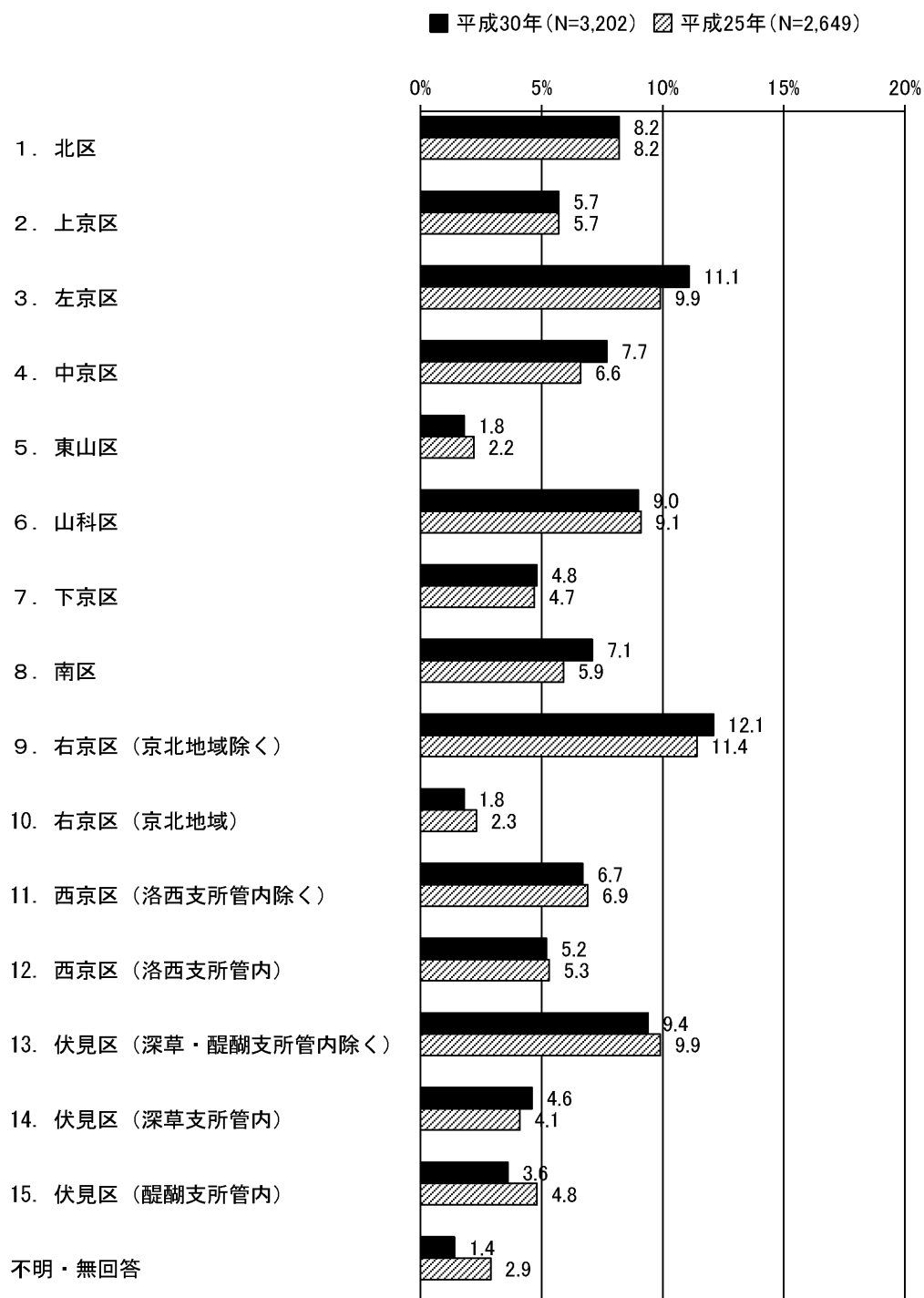
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問2 お住まいの区等はどちらですか。(〇は1つ)

「9. 右京区(京北地域を除く)」が12.1%と最も高く、次いで「3. 左京区」が11.1%,「13. 伏見区(深草・醍醐地区を除く)」が9.4%となっています。

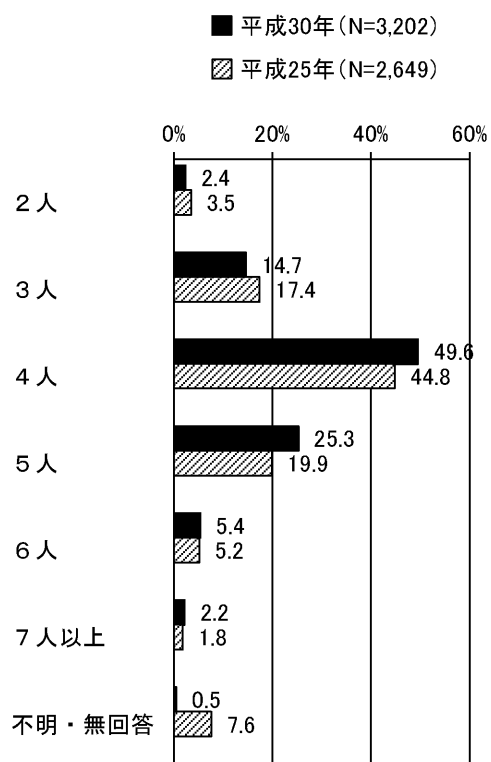
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問3 家族の人数（ご自身や宛名のお子さまも含む。）をご記入ください。

「4人」が49.6%と最も高く、次いで「5人」が25.3%、「3人」が14.7%となっています。
平成25年と比較すると、「5人」が5.4ポイント高くなっています。

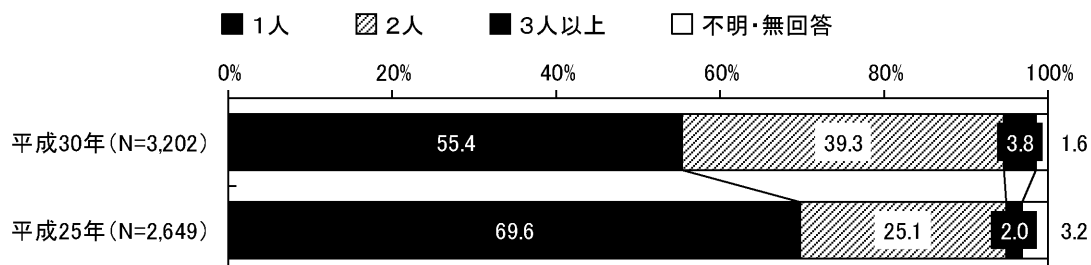
◆家族の人数



子どもの数は、小学生の子ども、小学校入学前の子ども、中学生以上の子どもいずれも「1人」の割合が最も高くなっています。

平成25年と比較すると、小学生の子どもは「1人」が14.2ポイント低く、「2人」が14.2ポイント高くなっています。

◆小学生の子ども数

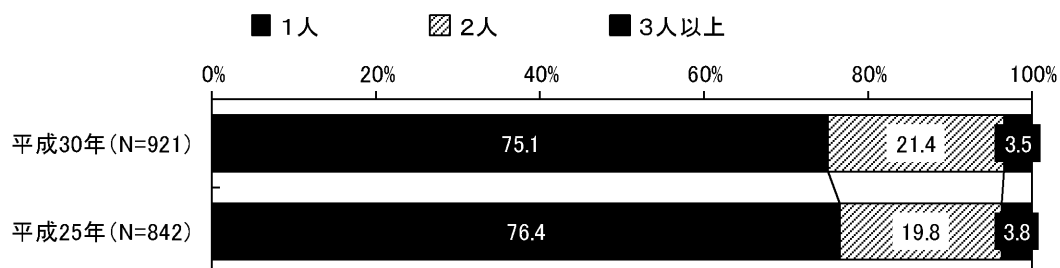


◆小学校入学前の子ども数



※不明・無回答除く

◆中学生以上の子ども数

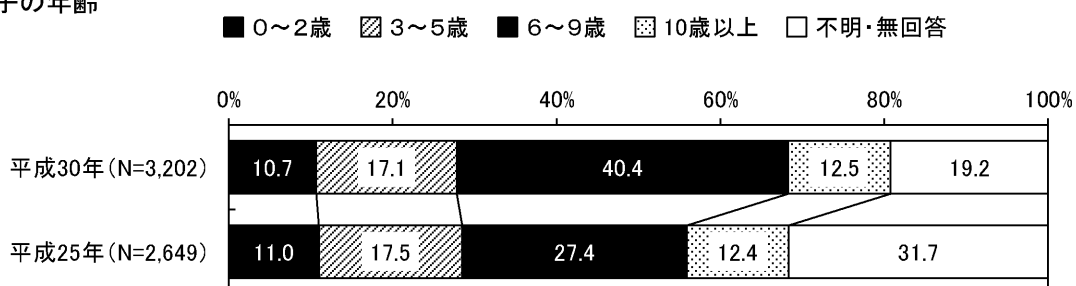


※不明・無回答除く

末子の年齢は、「6～9歳」が40.4%と最も高く、次いで「3～5歳」が17.1%、「10歳以上」が12.5%となっています。

平成25年と比較すると、「6～9歳」が13.0ポイント高くなっています。

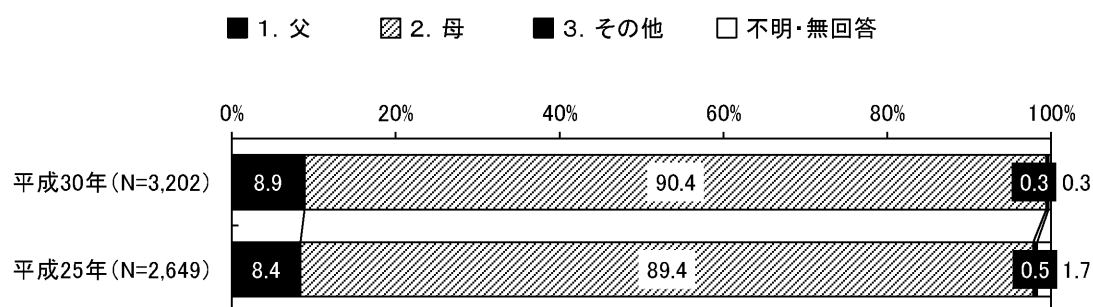
◆末子の年齢



問4 この調査票に記入されている方はどなたですか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。

「2. 母」が90.4%と最も高く、次いで「1. 父」が8.9%となっています。

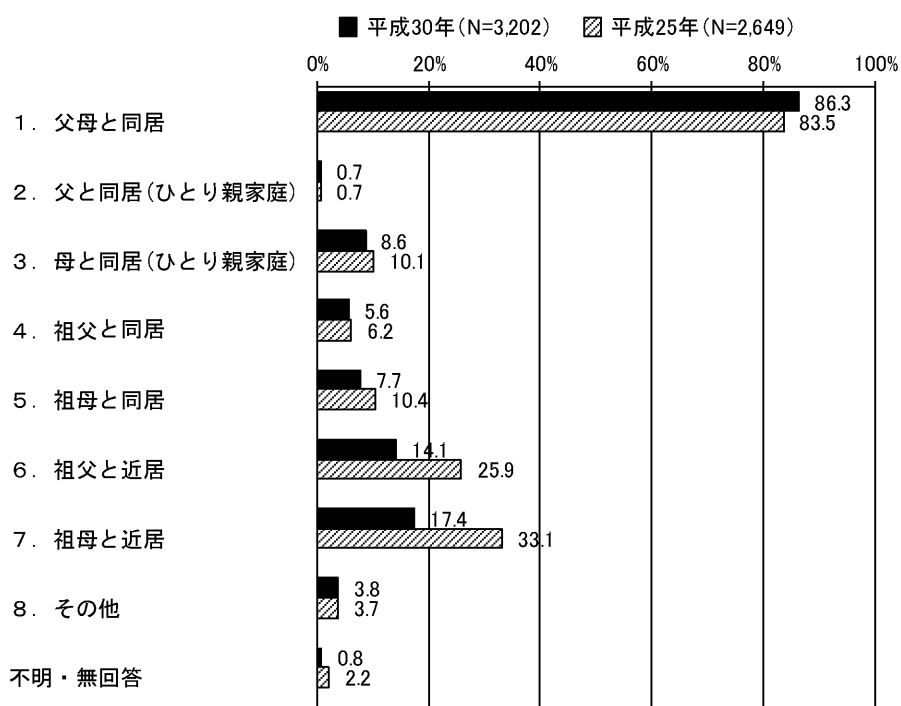
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問5(1) 宛名のお子さまとの同居・近居の状況についてお答えください（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（〇はいくつでも）※「近居」は、概ね徒歩30分以内で行き来できる範囲。

「1. 父母と同居」が86.3%と最も高く、次いで「7. 祖母と近居」が17.4%、「6. 祖父と近居」が14.1%となっています。

平成25年と比較すると、「6. 祖父と近居」が11.8ポイント、「7. 祖母と近居」が15.7ポイント低くなっています。

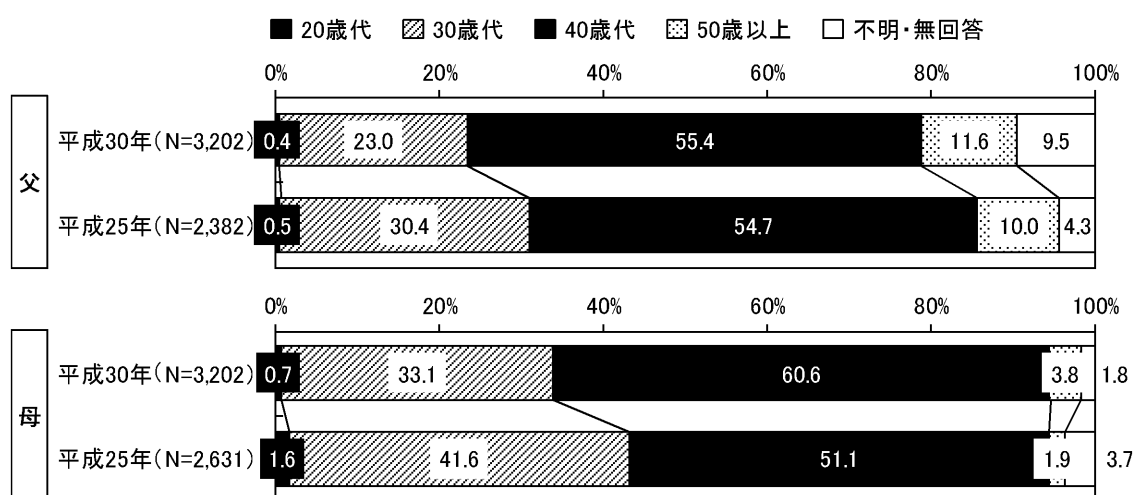


問5(2) 宛名のお子さまの父母の年齢をご記入ください。(平成30年9月1日現在)

父親では、「40歳代」が55.4%と最も高く、次いで「30歳代」が23.0%、「50歳以上」が11.6%となっています。

母親では、「40歳代」が60.6%と最も高く、次いで「30歳代」が33.1%、「50歳以上」が3.8%となっています。

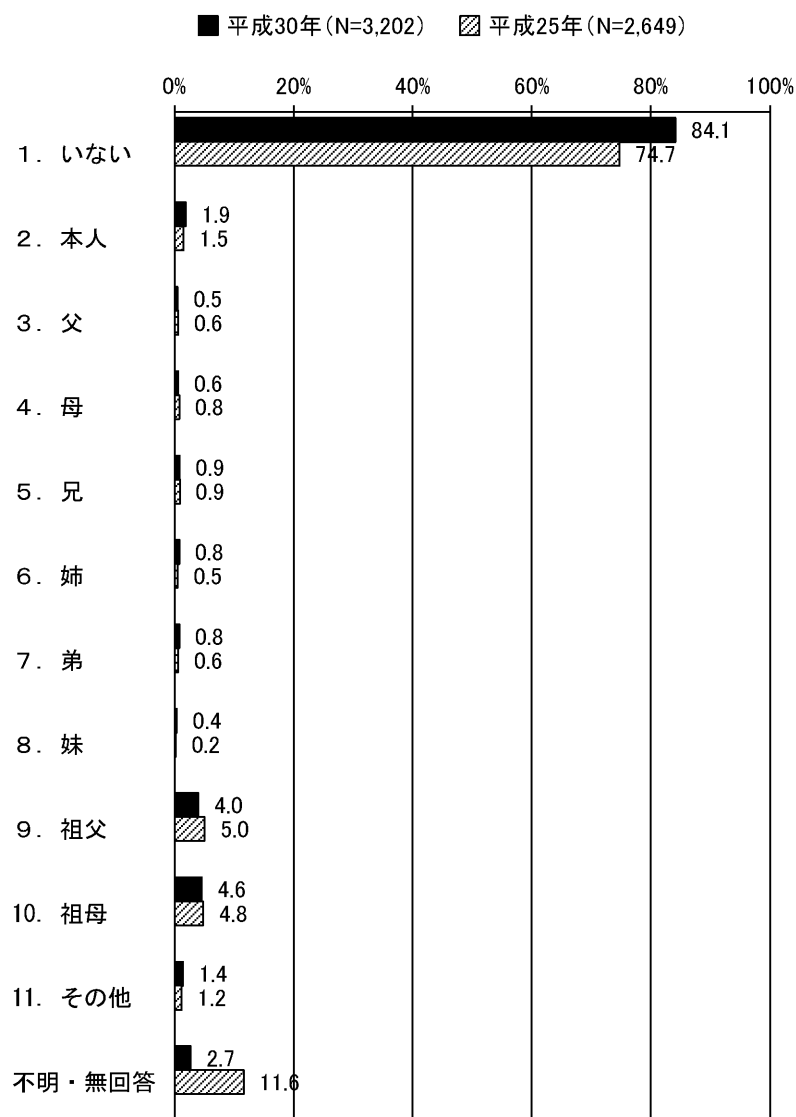
平成25年と比較すると、父親で「30歳代」が7.4ポイント低く、母親で「40歳代」が9.5ポイント高くなっています。



問6 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方はおられますか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（〇はいくつでも）

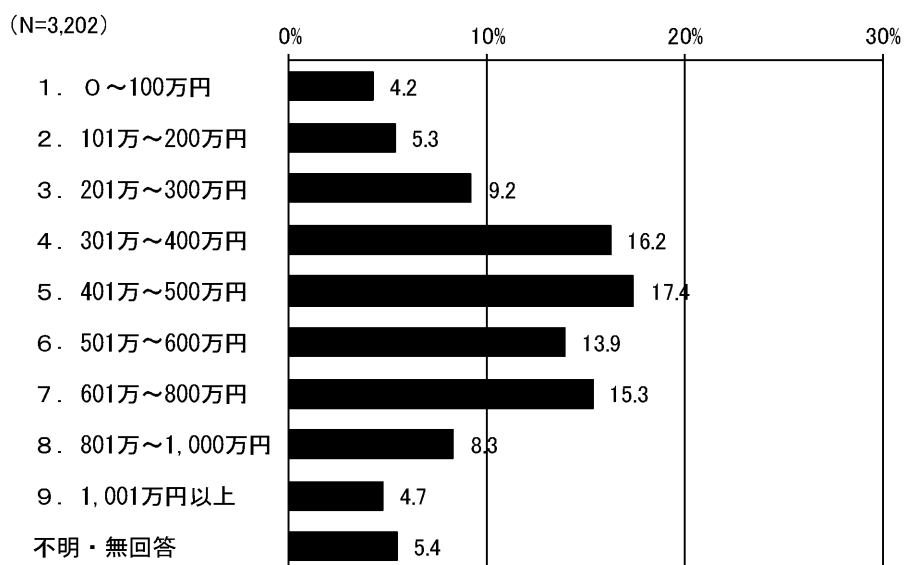
「1. いない」が84.1%と最も高く、次いで「10. 祖母」が4.6%,「9. 祖父」が4.0%となっています。

平成25年と比較すると、「1. いない」が9.4ポイント高くなっています。



問7 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（〇は1つ）

「5. 401万～500万円」が17.4%と最も高く、次いで「4. 301万～400万円」が16.2%, 「7. 601万～800万円」が15.3%となっています。



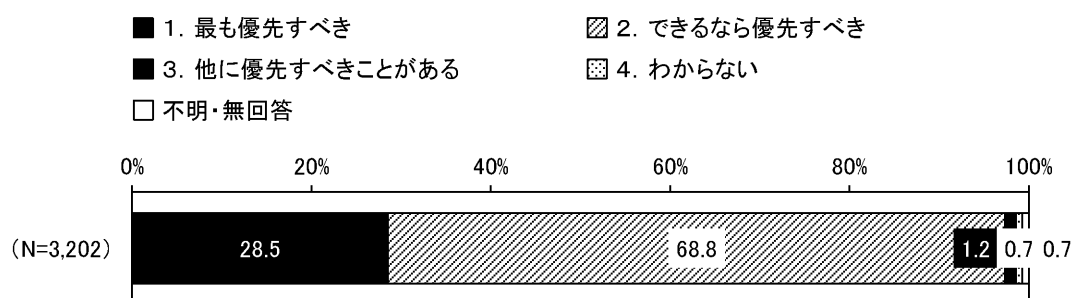
《問7×家族類型別》

『ひとり親』では「101万～200万円」, 『共働き（両親ともフルタイム）』では「601万～800万円」, 『フルタイム・パート』『専業主婦(夫)』では「401万～500万円」の割合が最も高くなっています。

	3,202	134	169	296	519	557	445	490	267	152	173
	100.0	4.2	5.3	9.2	16.2	17.4	13.9	15.3	8.3	4.7	5.4
ひとり親	297	72	94	42	35	20	11	8	5	2	8
	100.0	24.2	31.6	14.1	11.8	6.7	3.7	2.7	1.7	0.7	2.7
共働き	776	14	20	53	89	112	111	185	103	55	34
	100.0	1.8	2.6	6.8	11.5	14.4	14.3	23.8	13.3	7.1	4.4
パート・アルバイト	1,278	20	29	128	265	266	213	163	90	36	68
	100.0	1.6	2.3	10.0	20.7	20.8	16.7	12.8	7.0	2.8	5.3
専業主婦(夫)	770	18	15	63	120	147	104	126	65	55	57
	100.0	2.3	1.9	8.2	15.6	19.1	13.5	16.4	8.4	7.1	7.4
その他	11	1	4	2	4	0	0	0	0	0	0
	100.0	9.1	36.4	18.2	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	5	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0
	100.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0

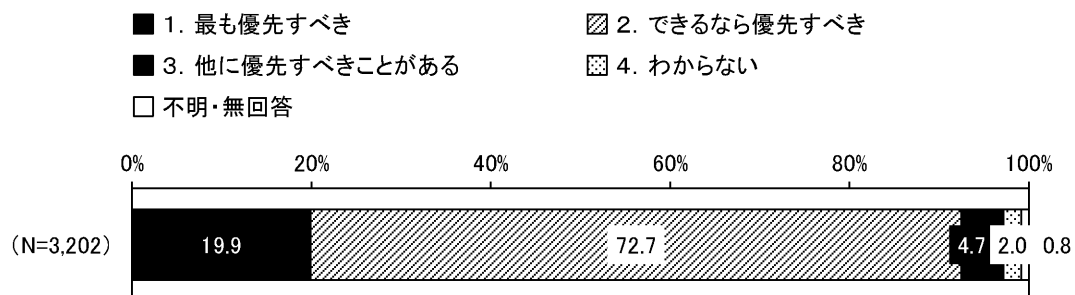
問8(1) 日々の生活の中で、子育てにける時間は優先すべきだと思いますか。(〇は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が68.8%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が28.5%、「3. 他に優先すべきことがある」が1.2%となっています。



問8(2) 日々の生活の中で、子育てにけるお金は優先すべきだと思いますか。(〇は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が72.7%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が19.9%、「3. 他に優先すべきことがある」が4.7%となっています。



問8(3) 世帯のお子さま全員の子育てについて、1か月にどのくらいの費用がかかりますか。

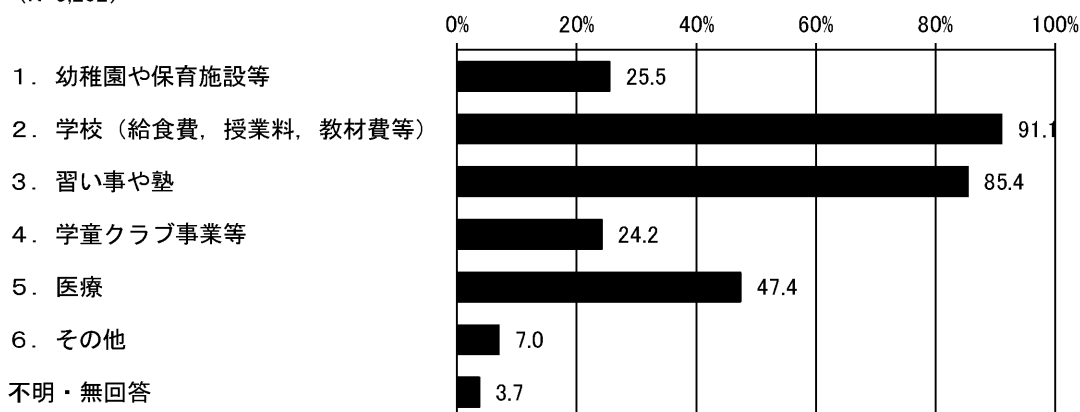
(〇はいくつでも)

また、おおよその金額(幼稚園の就園奨励費や子ども医療費支給制度による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実際に負担した額)をご記入ください。

「2. 学校(給食費、授業料、教材費等)」が91.1%と最も高く、次いで「3. 習い事や塾」が85.4%、「5. 医療」が47.4%となっています。

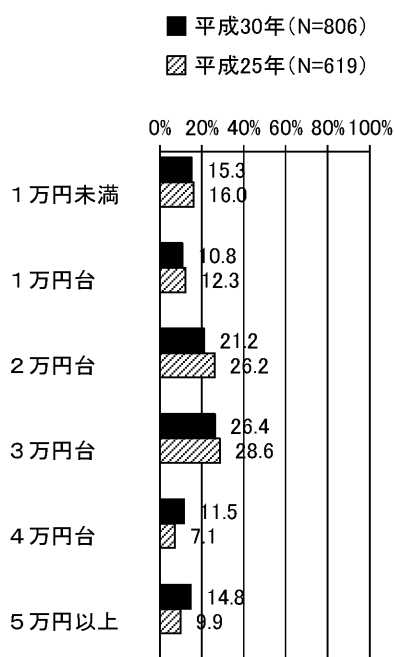
1か月あたりの費用については、『1. 幼稚園や保育施設等』では「3万円台」、『2. 学校(給食費、授業料、教材費等)』『3. 習い事や塾』『4. 学童クラブ事業等』では「1万円台」、『5. 医療』では「1万円未満」の割合が最も高くなっています。

(N=3,202)

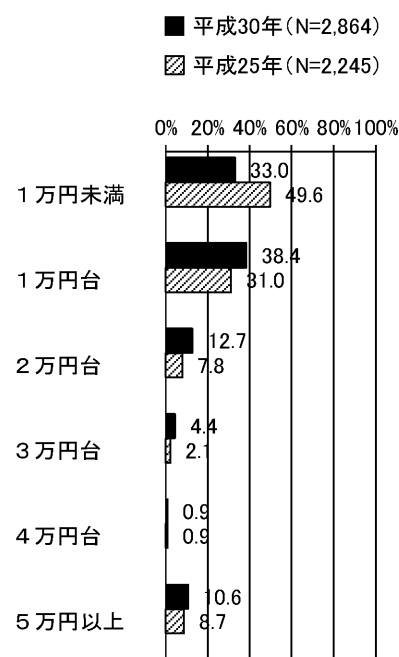


◆1か月あたりの費用

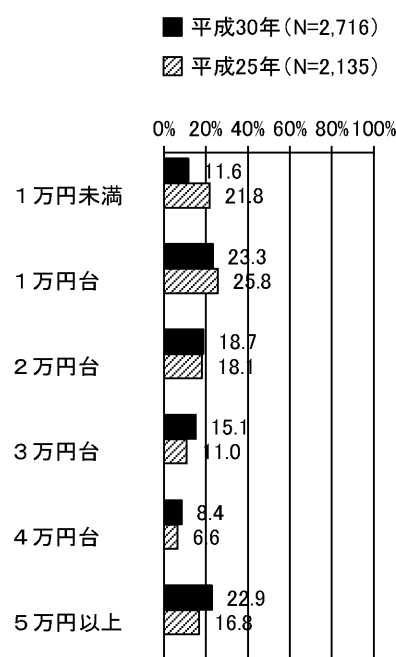
1. 幼稚園や保育施設等



2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)

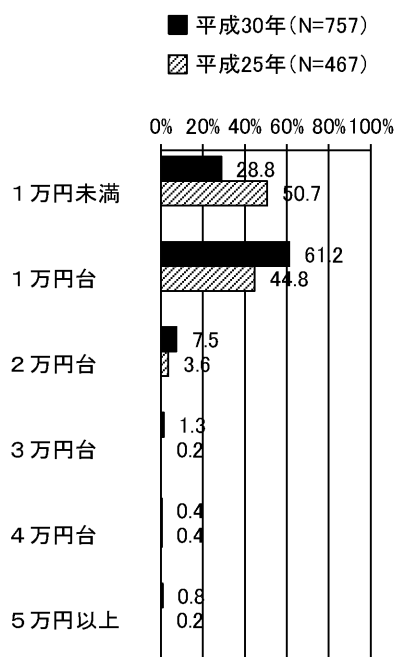


3. 習い事や塾



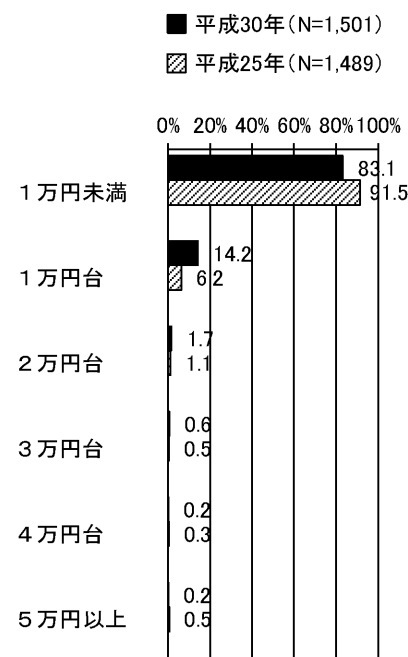
※不明・無回答除く

4. 学童クラブ事業等

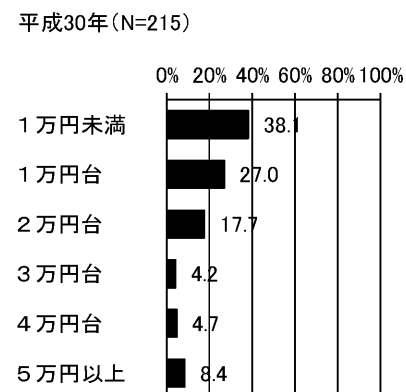


※不明・無回答除く

5. 医療



6. その他



《問8(3)×問1子どもの年齢(学年)別》

7歳(2年生)以下では「1万円台」、8歳(3年生)以上では「5万円以上」の割合が最も高くなっています。

3. 習い事や塾

	3,202	314	633	509	411	228	621	486
	100.0	9.8	19.8	15.9	12.8	7.1	19.4	15.2
	573	70	144	86	70	23	61	119
	100.0	12.2	25.1	15.0	12.2	4.0	10.6	20.8
	516	52	130	88	49	40	85	72
	100.0	10.1	25.2	17.1	9.5	7.8	16.5	14.0
	529	71	96	88	63	43	100	68
	100.0	13.4	18.1	16.6	11.9	8.1	18.9	12.9
	503	40	97	75	79	39	107	66
	100.0	8.0	19.3	14.9	15.7	7.8	21.3	13.1
	488	38	74	72	71	39	123	71
	100.0	7.8	15.2	14.8	14.5	8.0	25.2	14.5
	508	38	76	83	75	40	128	68
	100.0	7.5	15.0	16.3	14.8	7.9	25.2	13.4

《問 8 (3) × 家族類型別》

『ひとり親』『フルタイム・パート』『専業主婦(夫)』では「1 万円台」、『共働き（両親ともフルタイム）』では「5 万円以上」の割合が最も高くなっています。

3. 習い事や塾

	3,202	314	633	509	411	228	621	486
	100.0	9.8	19.8	15.9	12.8	7.1	19.4	15.2
	297	41	65	49	26	14	23	79
	100.0	13.8	21.9	16.5	8.8	4.7	7.7	26.6
	776	62	152	120	87	58	187	110
	100.0	8.0	19.6	15.5	11.2	7.5	24.1	14.2
	1,278	125	260	210	177	98	255	153
	100.0	9.8	20.3	16.4	13.8	7.7	20.0	12.0
	770	81	148	120	113	52	141	115
	100.0	10.5	19.2	15.6	14.7	6.8	18.3	14.9
	11	0	0	1	0	1	1	8
	100.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	72.7
	5	0	0	1	0	1	0	3
	100.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0

《問8(3)×問7世帯の昨年1年間の可処分所得別》

2. 学校（給食費、授業料、教材費等）について、0～300万円では「1万円未満」、301万～1,000万円では「1万円台」、『1,001万円以上』では「5万円以上」の割合が最も高くなっています。

3. 習い事や塾について、『0～100万円』では「2万円台」、101万～500万円では「1万円台」、501万円以上では「5万円以上」の割合が最も高くなっています。

2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)

	3,202	944	1,100	364	127	26	303	338
	100.0	29.5	34.4	11.4	4.0	0.8	9.5	10.6
	134	52	29	6	4	1	6	36
	100.0	38.8	21.6	4.5	3.0	0.7	4.5	26.9
	169	64	41	12	6	2	6	38
	100.0	37.9	24.3	7.1	3.6	1.2	3.6	22.5
	296	100	92	36	15	1	13	39
	100.0	33.8	31.1	12.2	5.1	0.3	4.4	13.2
	519	168	200	69	18	3	22	39
	100.0	32.4	38.5	13.3	3.5	0.6	4.2	7.5
	557	155	227	72	22	4	37	40
	100.0	27.8	40.8	12.9	3.9	0.7	6.6	7.2
	445	124	173	64	18	3	40	23
	100.0	27.9	38.9	14.4	4.0	0.7	9.0	5.2
	490	132	180	61	21	6	57	33
	100.0	26.9	36.7	12.4	4.3	1.2	11.6	6.7
	267	75	81	24	13	5	45	24
	100.0	28.1	30.3	9.0	4.9	1.9	16.9	9.0
	152	35	31	7	4	0	66	9
	100.0	23.0	20.4	4.6	2.6	0.0	43.4	5.9

3. 習い事や塾

	3,202	314	633	509	411	228	621	486
	100.0	9.8	19.8	15.9	12.8	7.1	19.4	15.2
	134	24	22	27	8	8	12	33
	100.0	17.9	16.4	20.1	6.0	6.0	9.0	24.6
	169	23	36	27	20	5	14	44
	100.0	13.6	21.3	16.0	11.8	3.0	8.3	26.0
	296	47	63	49	30	16	26	65
	100.0	15.9	21.3	16.6	10.1	5.4	8.8	22.0
	519	65	126	99	51	35	54	89
	100.0	12.5	24.3	19.1	9.8	6.7	10.4	17.1
	557	58	144	84	83	42	76	70
	100.0	10.4	25.9	15.1	14.9	7.5	13.6	12.6
	445	42	80	75	75	34	86	53
	100.0	9.4	18.0	16.9	16.9	7.6	19.3	11.9
	490	29	85	72	67	40	146	51
	100.0	5.9	17.3	14.7	13.7	8.2	29.8	10.4
	267	7	29	41	40	25	105	20
	100.0	2.6	10.9	15.4	15.0	9.4	39.3	7.5
	152	5	10	17	21	14	79	6
	100.0	3.3	6.6	11.2	13.8	9.2	52.0	3.9

《問 8 (3)×問 8 (2)子育てにけるお金の優先度別》

『最も優先すべき』では「5 万円以上」,『できるなら優先すべき』『他に優先すべきことがある』では「1 万円台」の割合が最も高くなっています。

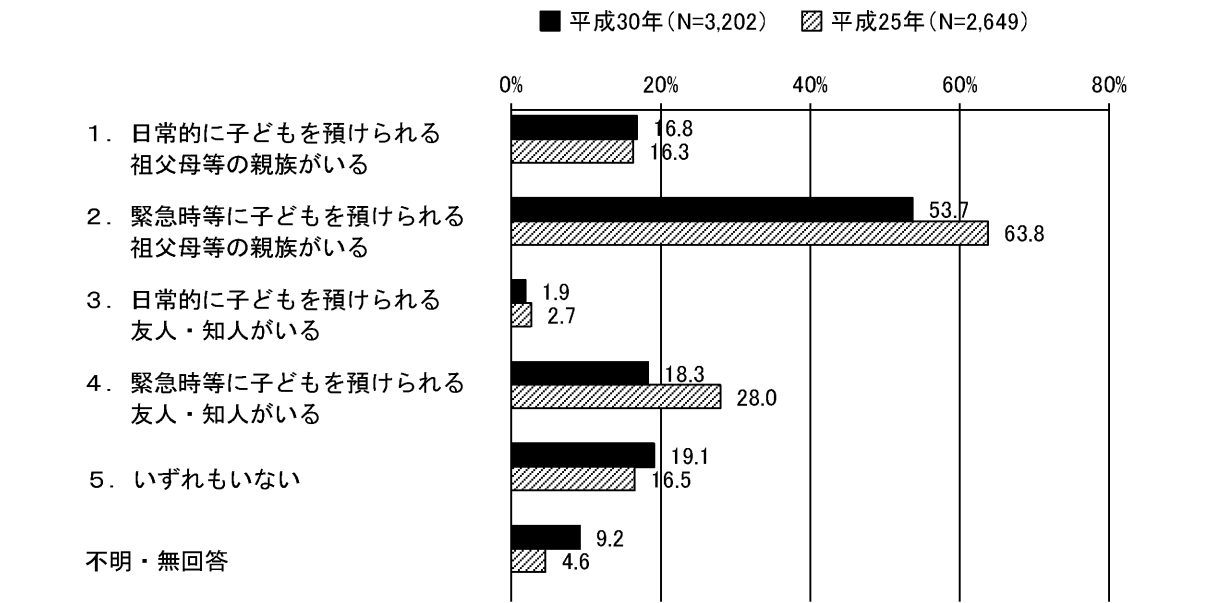
3. 習い事や塾

	3,202	314	633	509	411	228	621	486
	100.0	9.8	19.8	15.9	12.8	7.1	19.4	15.2
	637	51	108	94	98	37	180	69
	100.0	8.0	17.0	14.8	15.4	5.8	28.3	10.8
	2,327	238	468	387	279	181	421	353
	100.0	10.2	20.1	16.6	12.0	7.8	18.1	15.2
	149	19	34	19	20	7	15	35
	100.0	12.8	22.8	12.8	13.4	4.7	10.1	23.5
	63	4	14	8	14	3	3	17
	100.0	6.3	22.2	12.7	22.2	4.8	4.8	27.0

問 9(1) 日頃、お子さまを預けられる人についてお答えください。(〇はいくつでも) また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯(「9時～18時」のように 24 時間制で)をご記入ください。

「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が 53.7%と最も高く、次いで「5. いずれもない」が 19.1%、「4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる」が 18.3%となっています。

平成 25 年と比較すると、「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が 10.1 ポイント、「4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる」が 9.7 ポイント低くなっています。



《問 9(1)×家族類型別》

『両親とも無職』では「いずれもない」、それ以外では「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

	3,202	537	1,718	62	585	610	296
	100.0	16.8	53.7	1.9	18.3	19.1	9.2
	297	81	124	12	42	73	22
	100.0	27.3	41.8	4.0	14.1	24.6	7.4
	776	163	421	17	113	133	72
	100.0	21.0	54.3	2.2	14.6	17.1	9.3
	1,278	194	710	24	275	236	100
	100.0	15.2	55.6	1.9	21.5	18.5	7.8
	770	83	434	8	140	155	80
	100.0	10.8	56.4	1.0	18.2	20.1	10.4
	11	2	7	0	2	2	0
	100.0	18.2	63.6	0.0	18.2	18.2	0.0
	5	1	1	0	0	3	0
	100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0

《問 9(1)×問 5(1)同居・近居の状況別》

『父と同居(ひとり親家庭)』『祖父と同居』『祖母と同居』では「日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」、それ以外では「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

	3,202	537	1,718	62	585	610	296
	100.0	16.8	53.7	1.9	18.3	19.1	9.2
	2,763	419	1,535	46	522	509	249
	100.0	15.2	55.6	1.7	18.9	18.4	9.0
	21	7	6	0	3	6	4
	100.0	33.3	28.6	0.0	14.3	28.6	19.0
	276	74	118	12	39	67	18
	100.0	26.8	42.8	4.3	14.1	24.3	6.5
	179	83	61	3	22	13	33
	100.0	46.4	34.1	1.7	12.3	7.3	18.4
	248	116	100	4	30	18	32
	100.0	46.8	40.3	1.6	12.1	7.3	12.9
	451	143	313	8	67	18	25
	100.0	31.7	69.4	1.8	14.9	4.0	5.5
	556	184	382	9	84	21	37
	100.0	33.1	68.7	1.6	15.1	3.8	6.7
	122	39	50	3	20	22	15
	100.0	32.0	41.0	2.5	16.4	18.0	12.3

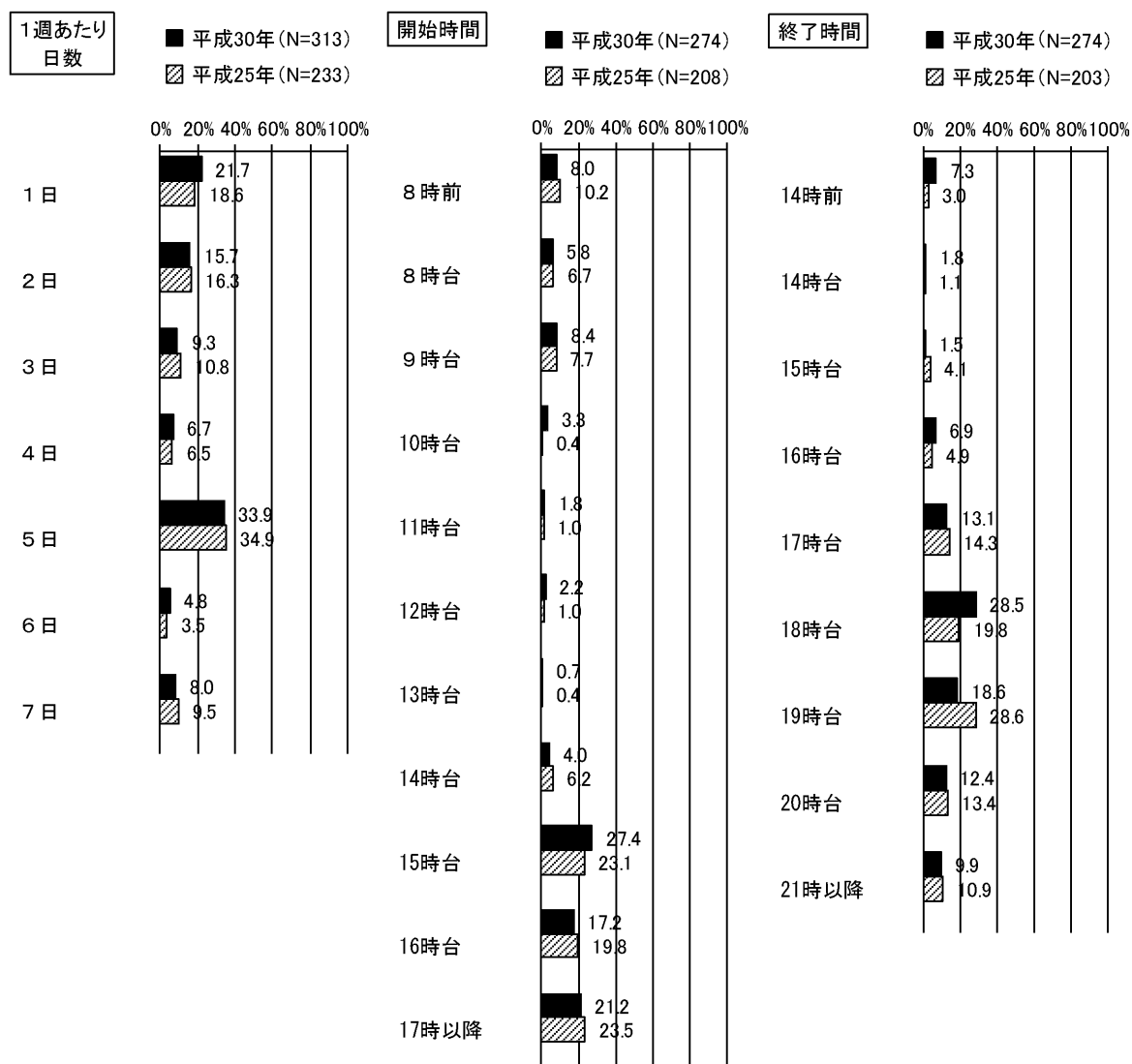
預けている日数・時間帯について、『1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる』方の1週あたりの日数は「5日」が33.9%と最も高く、次いで「1日」が21.7%,「2日」が15.7%となっています。

開始時間は、「15時台」が27.4%と最も高く、次いで「17時以降」が21.2%,「16時台」が17.2%となっています。

終了時間は、「18時台」が28.5%と最も高く、次いで「19時台」が18.6%,「17時台」が13.1%となっています。

◆預けている日数・時間帯

1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる



※不明・無回答除く

預けている日数・時間帯について、『3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる』方の1週あたりの日数は「1日」「2日」「5日」がそれぞれ3件ずつとなっています。

開始時間は「13時前」「16時台」がともに3件ずつ、「15時台」が2件、「17時台」が1件となっています。

終了時間は「19時台」が4件、「17時台」が3件、「17時前」「18時台」がともに1件ずつとなっています。

3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる

【1週あたり日数】

平成30年(N=9)

	件数
1日	3
2日	3
5日	3

【開始時間】

平成30年(N=9)

	件数
13時前	3
15時台	2
16時台	3
17時台	1

【終了時間】

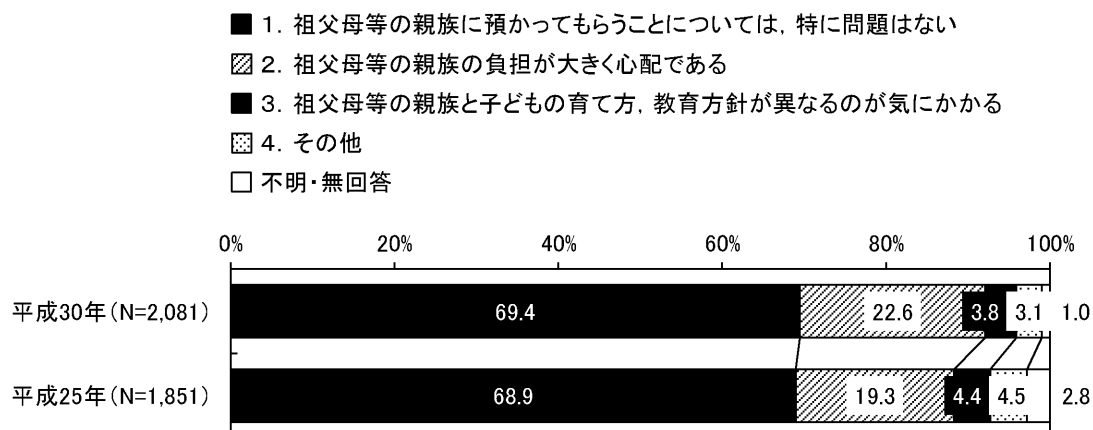
平成30年(N=9)

	件数
17時前	1
17時台	3
18時台	1
19時台	4

問 9(2) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

「1. 祖父母等の親族に預かってもらうことについては、特に問題はない」が 69.4%と最も高く、次いで「2. 祖父母等の親族の負担が大きく心配である」が 22.6%となっています。

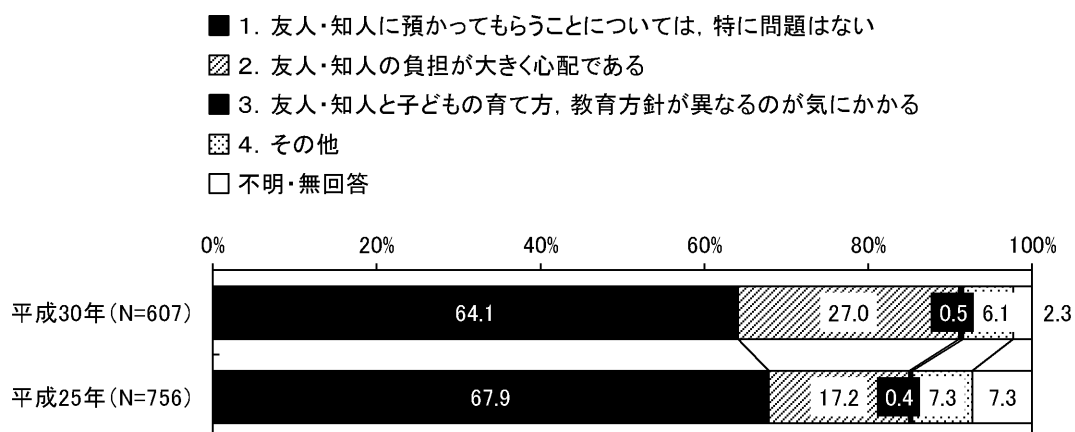
平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 9(3) 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

「1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が 64.1%と最も高く、次いで「2. 友人・知人の負担が大きく心配である」が 27.0%となっています。

平成 25 年と比較すると、「2. 友人・知人の負担が大きく心配である」が 9.8 ポイント高くなっています。

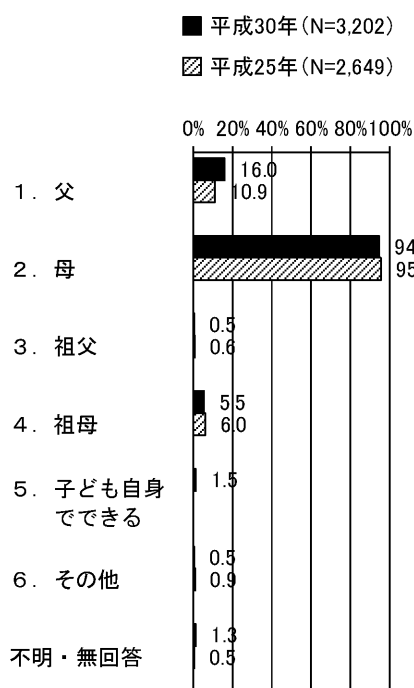


問 10 宛名のお子さまの育児や家事等に関わっている方はどなたですか。

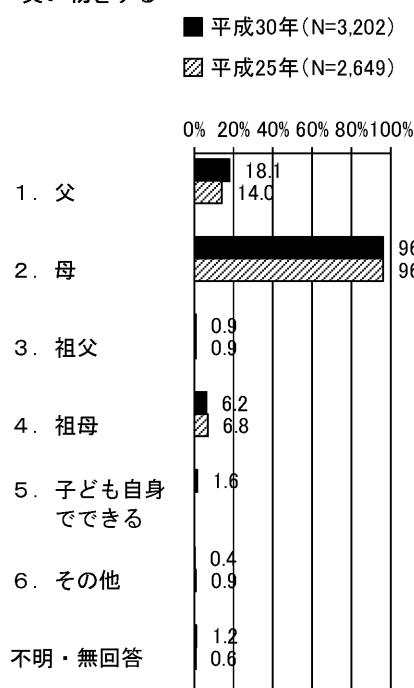
(○はそれぞれいくつでも)

『⑤子どもを風呂に入れる』『⑦子どもの衣類を替える』『⑨子どもを寝かしつける』では「5. 子ども自身でできる」の割合が最も高くなっています。それ以外の項目では「2. 母」の割合が最も高くなっています。

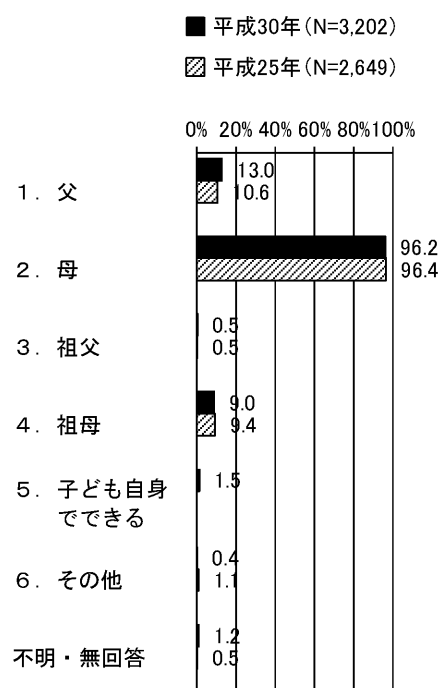
①洗濯をする



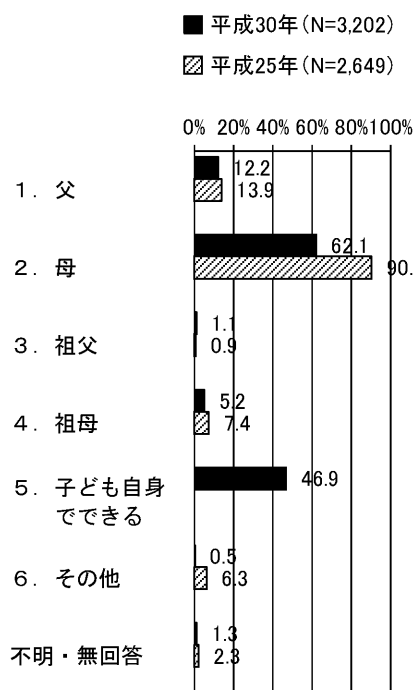
②食料品等の日常的な買い物をする



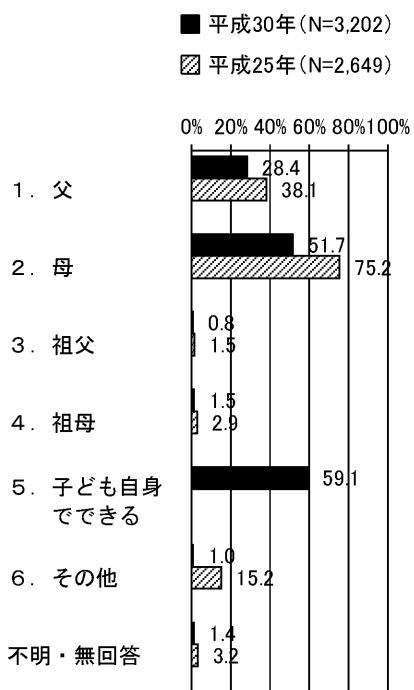
③家族や子どもの食事をつくる



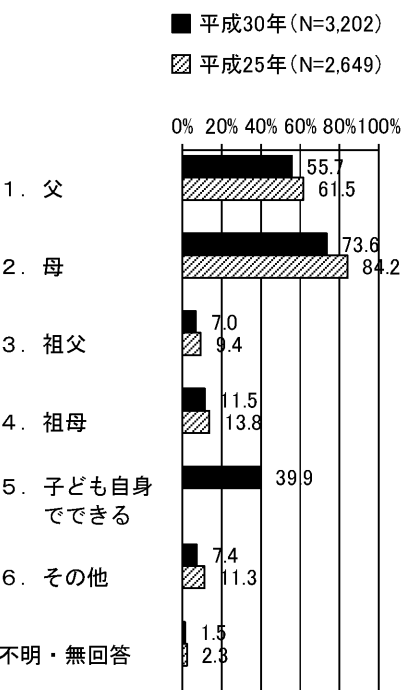
④子どもに食事を食べさせる



⑤子どもを風呂に入れる

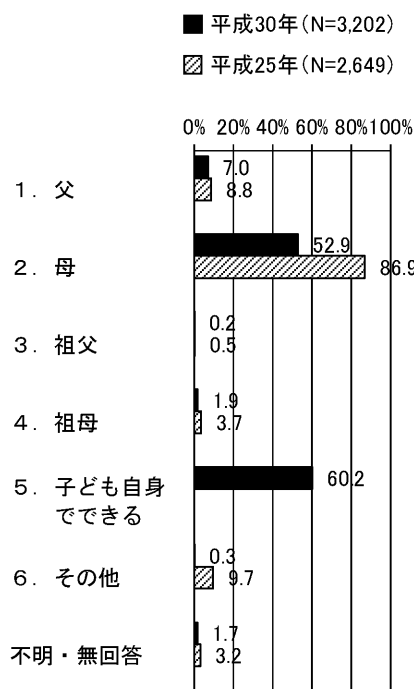


⑥子どもと遊ぶ

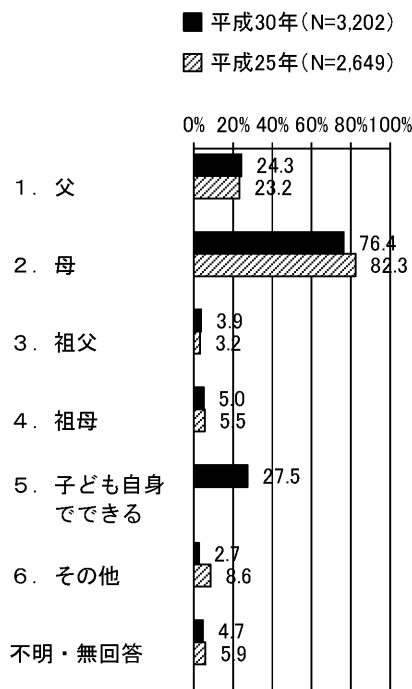


※「5. 子ども自身でできる」は平成30年のみの選択肢

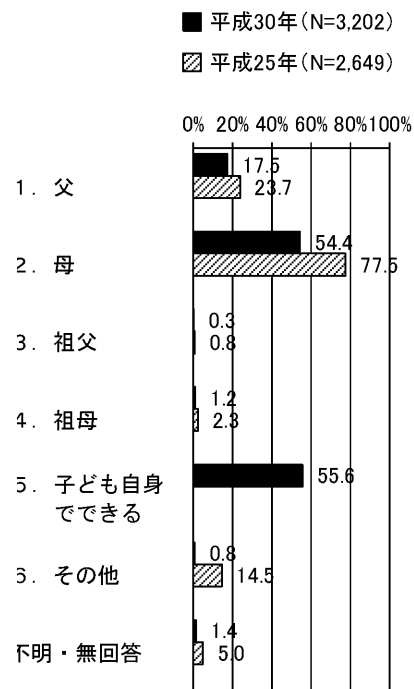
⑦子どもの衣類を替える



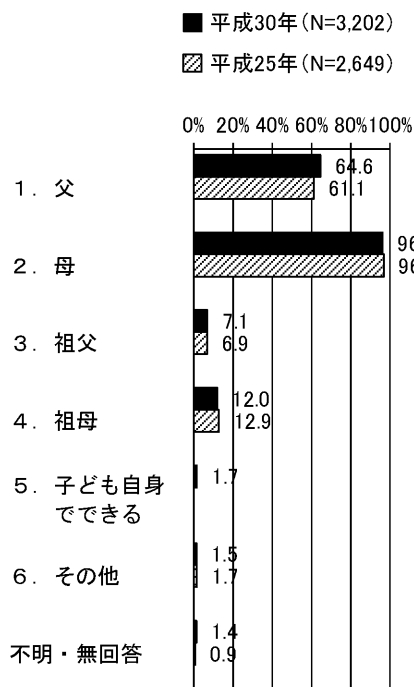
⑧学童クラブや習い事、塾等の
送り迎えをする



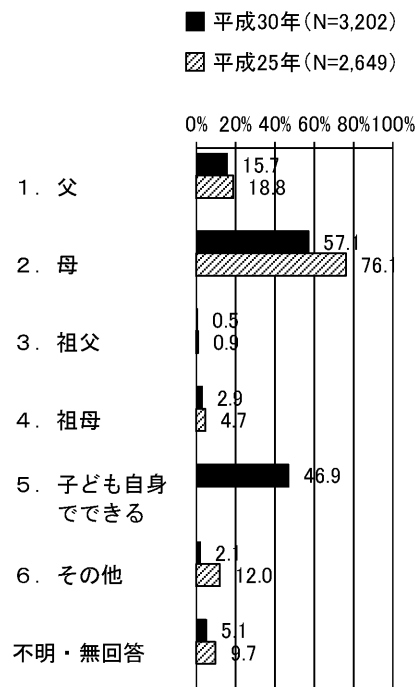
⑨子どもを寝かしつける



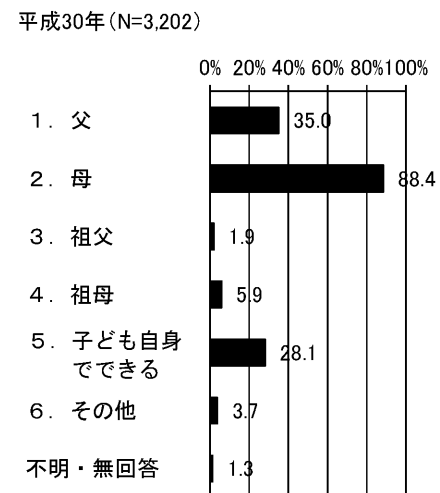
⑩子どもをしつける



⑪子どもに本を読み聞かせる

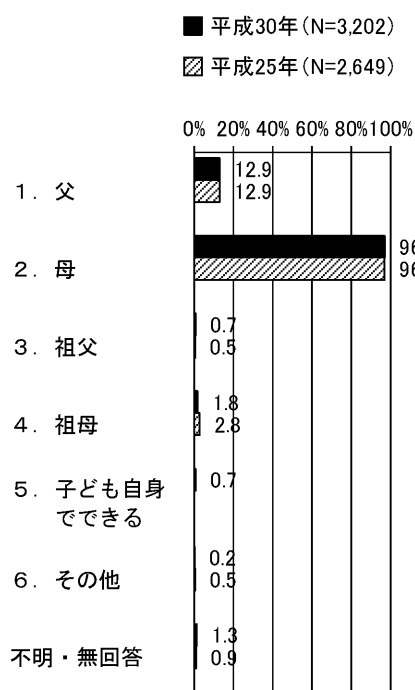


⑫子どもの宿題や勉強を見る

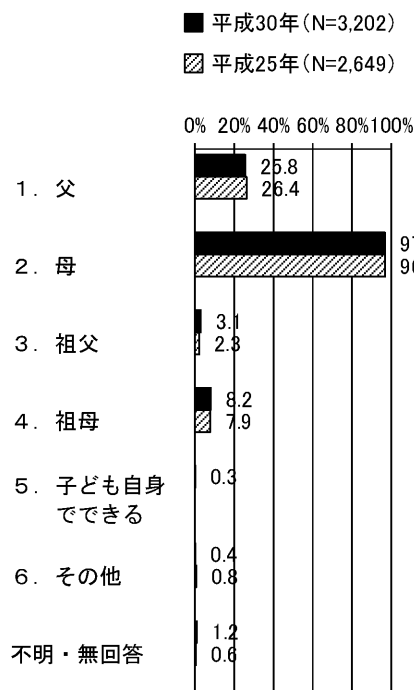


※「5. 子ども自身でできる」は平成30年のみの選択肢

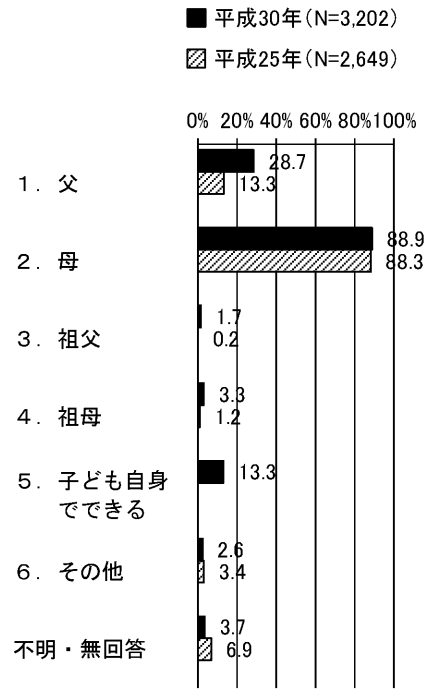
⑬ 予防接種や健診に連れて行く



⑭ 子どもが病気の際に看病したり
病院に連れて行ったりする



⑮ 子ども会や子育てサークル、
町内会や地蔵盆等の子どもに
関する地域活動に参加する



※「5. 子ども自身でできる」は平成30年のみの選択肢

《問 10×問 1 子どもの年齢（学年）別》

〔④子どもに食事を食べさせる〕について、9歳（4年生）以下では「母」、10歳（5年生）以上では「子ども自身でできる」の割合が最も高くなっています。

〔⑤子どもを風呂に入れる〕〔⑦子どもの衣類を替える〕について、7歳（2年生）以下では「母」、8歳（3年生）以上では「子ども自身でできる」の割合が最も高くなっています。

④子どもに食事を食べさせる

年齢（学年）	母	子ども自身でできる	その他	割合（％）	母	子ども自身でできる	その他	割合（％）
3,202	390	1,989	34	166	1,502	15	43	
100.0	12.2	62.1	1.1	5.2	46.9	0.5	1.3	
573	101	432	10	39	207	3	11	
100.0	17.6	75.4	1.7	6.8	36.1	0.5	1.9	
516	77	372	6	27	205	4	4	
100.0	14.9	72.1	1.2	5.2	39.7	0.8	0.8	
529	61	341	8	26	244	1	6	
100.0	11.5	64.5	1.5	4.9	46.1	0.2	1.1	
503	54	298	3	26	254	1	8	
100.0	10.7	59.2	0.6	5.2	50.5	0.2	1.6	
488	48	245	3	27	267	3	3	
100.0	9.8	50.2	0.6	5.5	54.7	0.6	0.6	
508	39	248	4	19	292	3	8	
100.0	7.7	48.8	0.8	3.7	57.5	0.6	1.6	

⑤子どもを風呂に入れる

年齢（学年）	母	子ども自身でできる	その他	割合（％）	母	子ども自身でできる	その他	割合（％）
3,202	909	1,655	27	49	1,893	33	45	
100.0	28.4	51.7	0.8	1.5	59.1	1.0	1.4	
573	247	435	6	9	204	7	8	
100.0	43.1	75.9	1.0	1.6	35.6	1.2	1.4	
516	194	365	3	6	226	12	3	
100.0	37.6	70.7	0.6	1.2	43.8	2.3	0.6	
529	158	288	8	15	314	6	6	
100.0	29.9	54.4	1.5	2.8	59.4	1.1	1.1	
503	134	232	3	12	341	2	10	
100.0	26.6	46.1	0.6	2.4	67.8	0.4	2.0	
488	79	159	3	6	363	3	4	
100.0	16.2	32.6	0.6	1.2	74.4	0.6	0.8	
508	74	136	3	1	398	2	11	
100.0	14.6	26.8	0.6	0.2	78.3	0.4	2.2	

⑦子どもの衣類を替える

年齢（学年）	母	子ども自身でできる	その他	割合（％）	母	子ども自身でできる	その他	割合（％）
3,202	225	1,695	7	60	1,929	11	54	
100.0	7.0	52.9	0.2	1.9	60.2	0.3	1.7	
573	70	382	2	15	280	4	9	
100.0	12.2	66.7	0.3	2.6	48.9	0.7	1.6	
516	49	329	2	15	275	3	4	
100.0	9.5	63.8	0.4	2.9	53.3	0.6	0.8	
529	33	285	1	10	325	1	10	
100.0	6.2	53.9	0.2	1.9	61.4	0.2	1.9	
503	32	265	0	11	303	0	10	
100.0	6.4	52.7	0.0	2.2	60.2	0.0	2.0	
488	20	209	1	5	329	3	6	
100.0	4.1	42.8	0.2	1.0	67.4	0.6	1.2	
508	16	179	0	3	372	0	13	
100.0	3.1	35.2	0.0	0.6	73.2	0.0	2.6	

〔⑨子どもを寝かしつける〕〔⑪子どもに本を読み聞かせる〕について、8歳（3年生）以下では「母」、9歳（4年生）以上では「子ども自身でできる」の割合が最も高くなっています。

⑨子どもを寝かしつける

	3,202	560	1,743	11	40	1,779	26	46
	100.0	17.5	54.4	0.3	1.2	55.6	0.8	1.4
	573	151	443	2	4	187	7	8
	100.0	26.4	77.3	0.3	0.7	32.6	1.2	1.4
	516	121	361	4	9	217	5	4
	100.0	23.4	70.0	0.8	1.7	42.1	1.0	0.8
	529	107	319	2	11	278	5	8
	100.0	20.2	60.3	0.4	2.1	52.6	0.9	1.5
	503	73	240	2	5	323	2	9
	100.0	14.5	47.7	0.4	1.0	64.2	0.4	1.8
	488	49	178	1	4	351	4	6
	100.0	10.0	36.5	0.2	0.8	71.9	0.8	1.2
	508	46	157	0	7	383	3	9
	100.0	9.1	30.9	0.0	1.4	75.4	0.6	1.8

⑪子どもに本を読み聞かせる

	3,202	504	1,828	16	94	1,502	68	162
	100.0	15.7	57.1	0.5	2.9	46.9	2.1	5.1
	573	149	475	2	22	139	8	15
	100.0	26.0	82.9	0.3	3.8	24.3	1.4	2.6
	516	101	370	5	27	173	11	27
	100.0	19.6	71.7	1.0	5.2	33.5	2.1	5.2
	529	84	329	3	16	243	14	25
	100.0	15.9	62.2	0.6	3.0	45.9	2.6	4.7
	503	67	253	4	14	272	13	28
	100.0	13.3	50.3	0.8	2.8	54.1	2.6	5.6
	488	39	176	1	7	307	10	29
	100.0	8.0	36.1	0.2	1.4	62.9	2.0	5.9
	508	46	179	1	8	335	9	31
	100.0	9.1	35.2	0.2	1.6	65.9	1.8	6.1

《問 10×問 25 子育てをしている今の気持ち別》

〔⑥子どもと遊ぶ〕〔⑩子どもをしつける〕〔⑫子どもの宿題や勉強を見る〕について、すべての区分で「母」の割合が最も高くなっていますが、子育てが楽しいと感じている方ほど「父」の割合が高くなる傾向がみられます。

⑥子どもと遊ぶ

	3,202	1,784	2,358	225	367	1,279	237	49
	100.0	55.7	73.6	7.0	11.5	39.9	7.4	1.5
	578	368	451	55	87	230	27	11
	100.0	63.7	78.0	9.5	15.1	39.8	4.7	1.9
	1,284	785	958	96	154	511	95	15
	100.0	61.1	74.6	7.5	12.0	39.8	7.4	1.2
	840	413	606	52	92	316	63	17
	100.0	49.2	72.1	6.2	11.0	37.6	7.5	2.0
	164	62	118	6	10	67	14	1
	100.0	37.8	72.0	3.7	6.1	40.9	8.5	0.6
	291	129	195	15	22	137	36	3
	100.0	44.3	67.0	5.2	7.6	47.1	12.4	1.0

⑩子どもをしつける

	3,202	2,069	3,080	227	383	54	48	46
	100.0	64.6	96.2	7.1	12.0	1.7	1.5	1.4
	578	406	554	46	72	9	11	9
	100.0	70.2	95.8	8.0	12.5	1.6	1.9	1.6
	1,284	917	1,246	103	165	21	17	13
	100.0	71.4	97.0	8.0	12.9	1.6	1.3	1.0
	840	459	804	49	93	12	9	17
	100.0	54.6	95.7	5.8	11.1	1.4	1.1	2.0
	164	70	155	9	15	6	5	2
	100.0	42.7	94.5	5.5	9.1	3.7	3.0	1.2
	291	182	278	20	35	6	6	4
	100.0	62.5	95.5	6.9	12.0	2.1	2.1	1.4

⑫子どもの宿題や勉強を見る

	3,202	1,122	2,830	60	188	899	119	42
	100.0	35.0	88.4	1.9	5.9	28.1	3.7	1.3
	578	245	510	11	38	164	21	8
	100.0	42.4	88.2	1.9	6.6	28.4	3.6	1.4
	1,284	472	1,150	27	74	379	40	14
	100.0	36.8	89.6	2.1	5.8	29.5	3.1	1.1
	840	256	748	16	54	210	32	14
	100.0	30.5	89.0	1.9	6.4	25.0	3.8	1.7
	164	39	141	2	10	39	13	2
	100.0	23.8	86.0	1.2	6.1	23.8	7.9	1.2
	291	91	245	4	12	94	12	3
	100.0	31.3	84.2	1.4	4.1	32.3	4.1	1.0

2 お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について

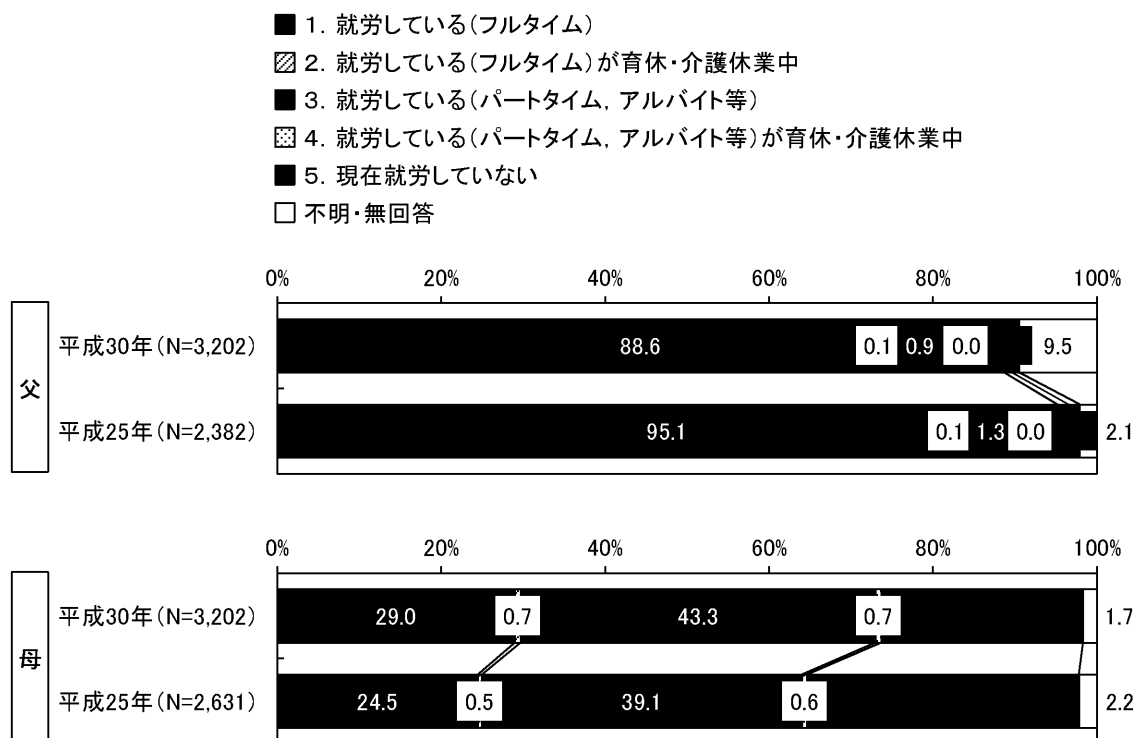
問 11(1) 父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）について、「1～5」の中からお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

併せて、就労している方は、[] に数字（時刻の場合は、「18 時頃」のように 24 時間制で）をご記入ください。また、就労時間については、30 分以上の端数は切上げ、30 分未満は切下げてご記入ください。

父親では、「1. 就労している（フルタイム）」が 88.6%と最も高くなっています。

母親では、「3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）」が 43.3%と最も高く、次いで「1. 就労している（フルタイム）」が 29.0%、「5. 現在就労していない」が 24.6%となっています。

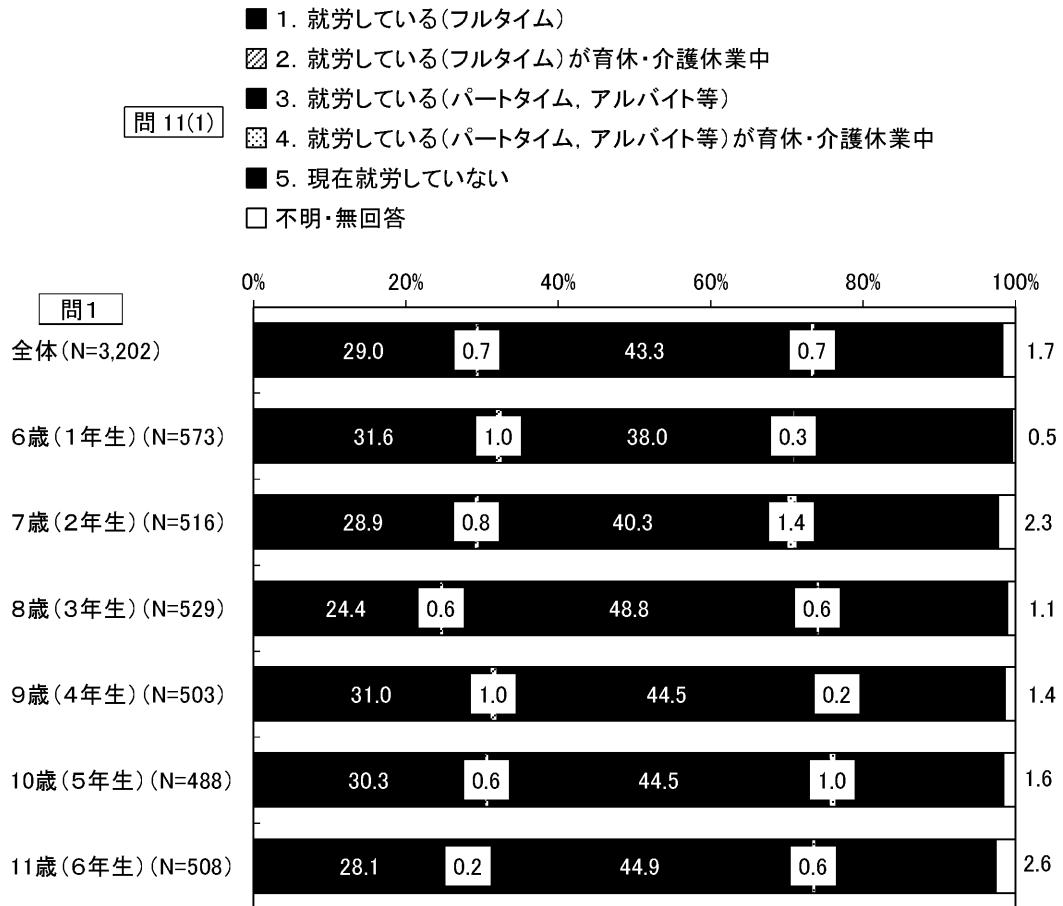
平成 25 年と比較すると、父親では「1. 就労している（フルタイム）」が 6.5 ポイント低くなっています。母親では「5. 現在就労していない」が 8.6 ポイント低くなっています。



《問 11(1)母親の就労状況×問 1 子どもの年齢（学年）別》

すべての区分で「3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）」の割合が最も高くなっています。

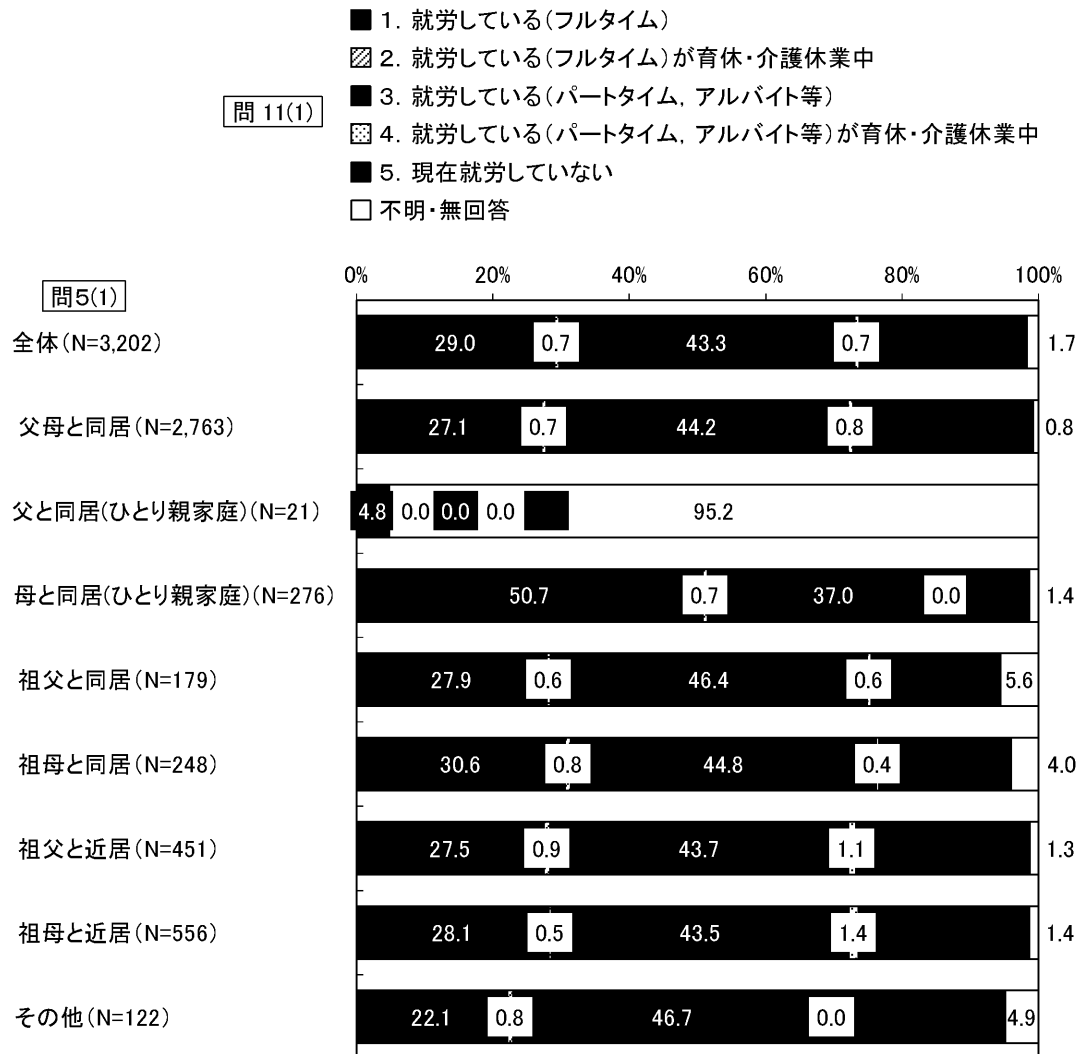
【母】



《問 11(1)母親の就労状況×問 5(1)同居・近居の状況別》

『母と同居(ひとり親家庭)』で「1. 就労している(フルタイム)」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

【母】



フルタイムで就労している父親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が50.5%と最も高く、次いで「6日」が37.3%となっています。

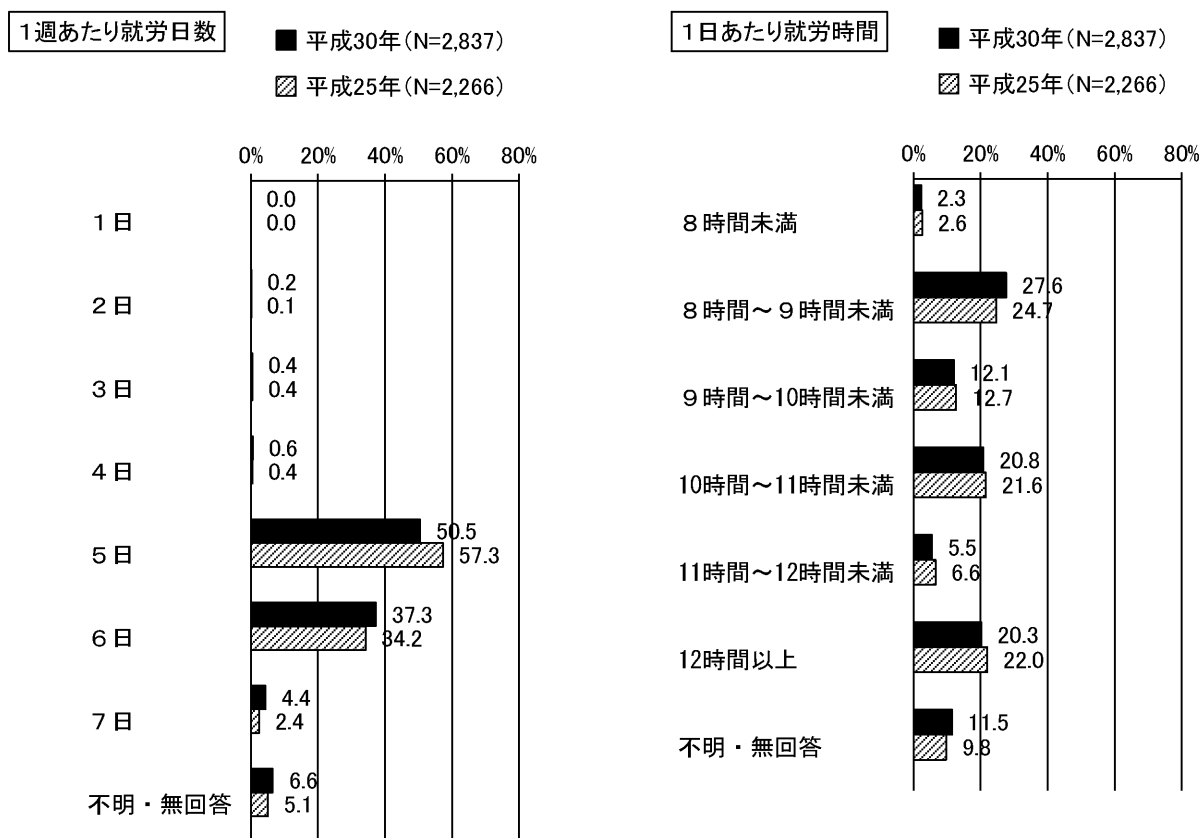
1日あたりの就労時間は、「8時間～9時間未満」が27.6%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」が20.8%、「12時間以上」が20.3%となっています。

家を出る時間は、「7時台」が33.1%と最も高く、次いで「8時台」が30.3%となっています。

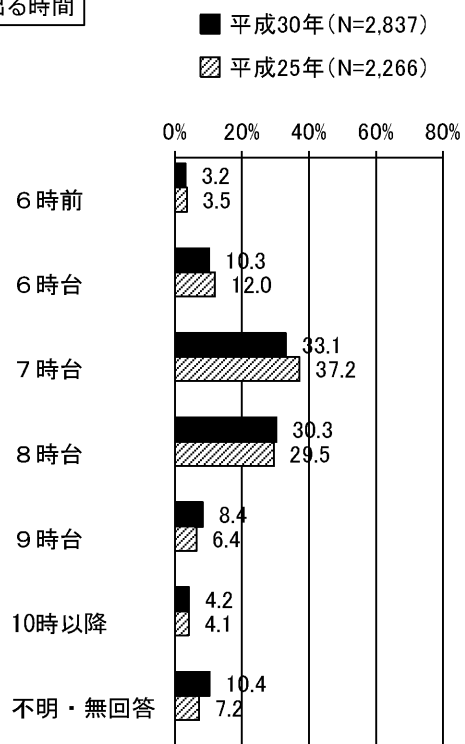
帰宅時間は、「20時台」が19.6%と最も高く、次いで「19時台」が16.0%、「21時台」が15.9%となっています。

◆フルタイムで就労している保護者の状況

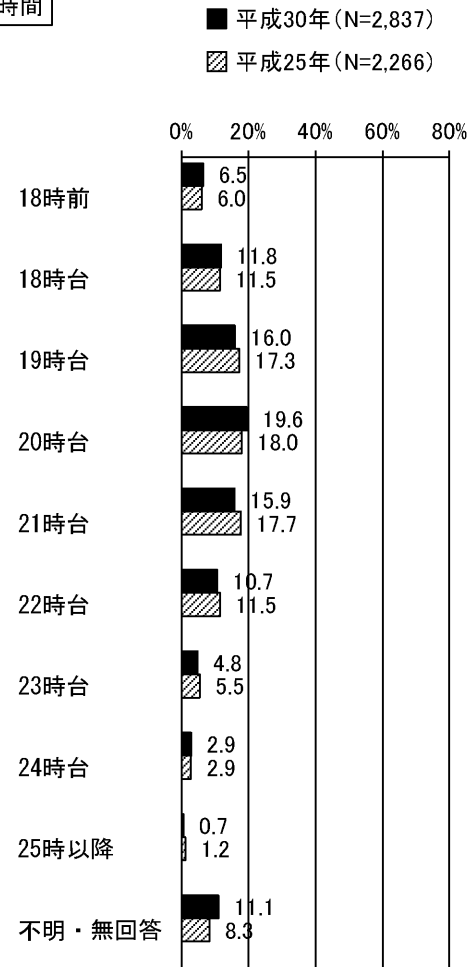
【父】



家を出る時間



帰宅時間



フルタイムで就労している母親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が68.2%と最も高く、次いで「6日」が20.6%となっています。

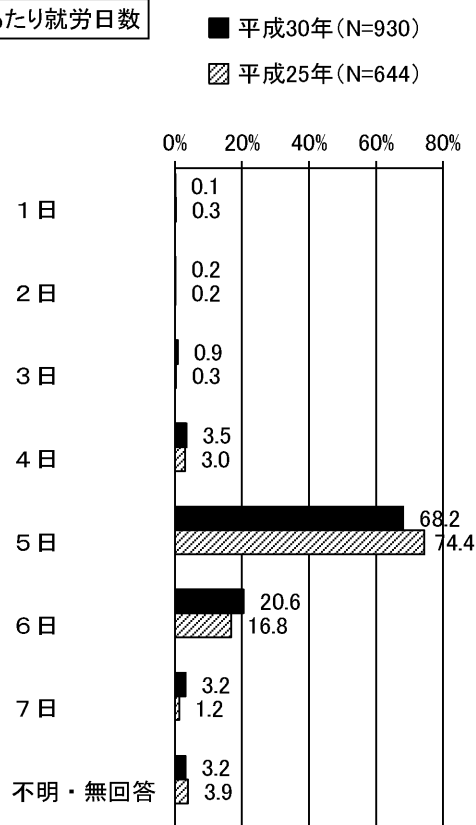
1日あたりの就労時間は、「8時間～9時間未満」が46.3%と最も高く、次いで「8時間未満」が25.2%となっています。

家を出る時間は、「8時台」が56.5%と最も高く、次いで「7時台」が16.9%となっています。

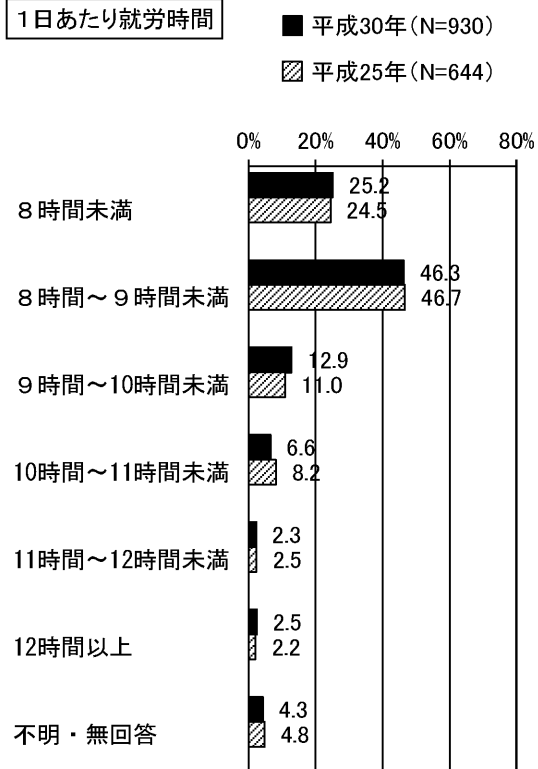
帰宅時間は、「18時台」が38.0%と最も高く、次いで「19時台」22.2%、「18時前」が20.9%となっています。

【母】

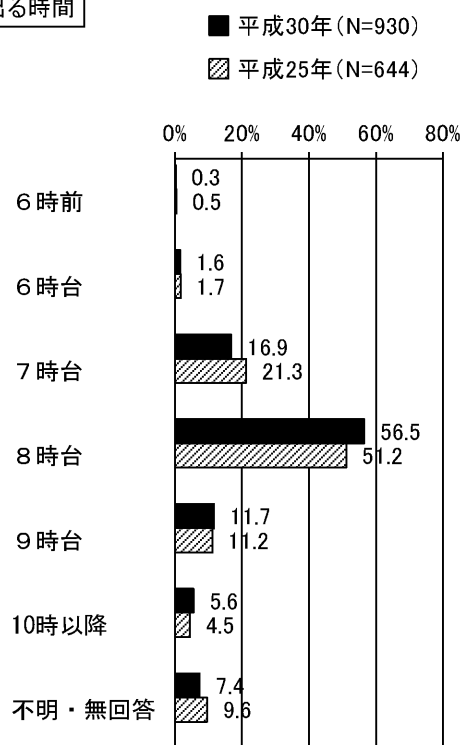
1週あたり就労日数



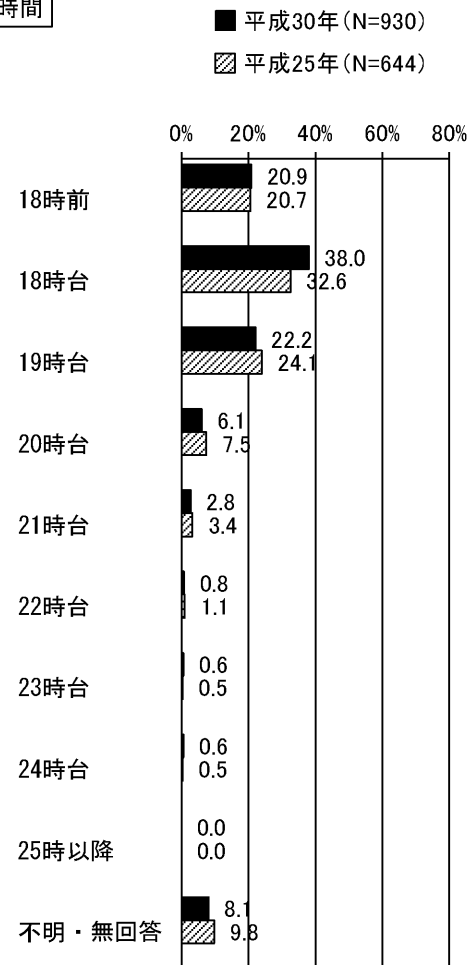
1日あたり就労時間



家を出る時間



帰宅時間



パートタイム、アルバイト等で就労している父親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が37.9%と最も高く、次いで「6日」が17.2%となっています。

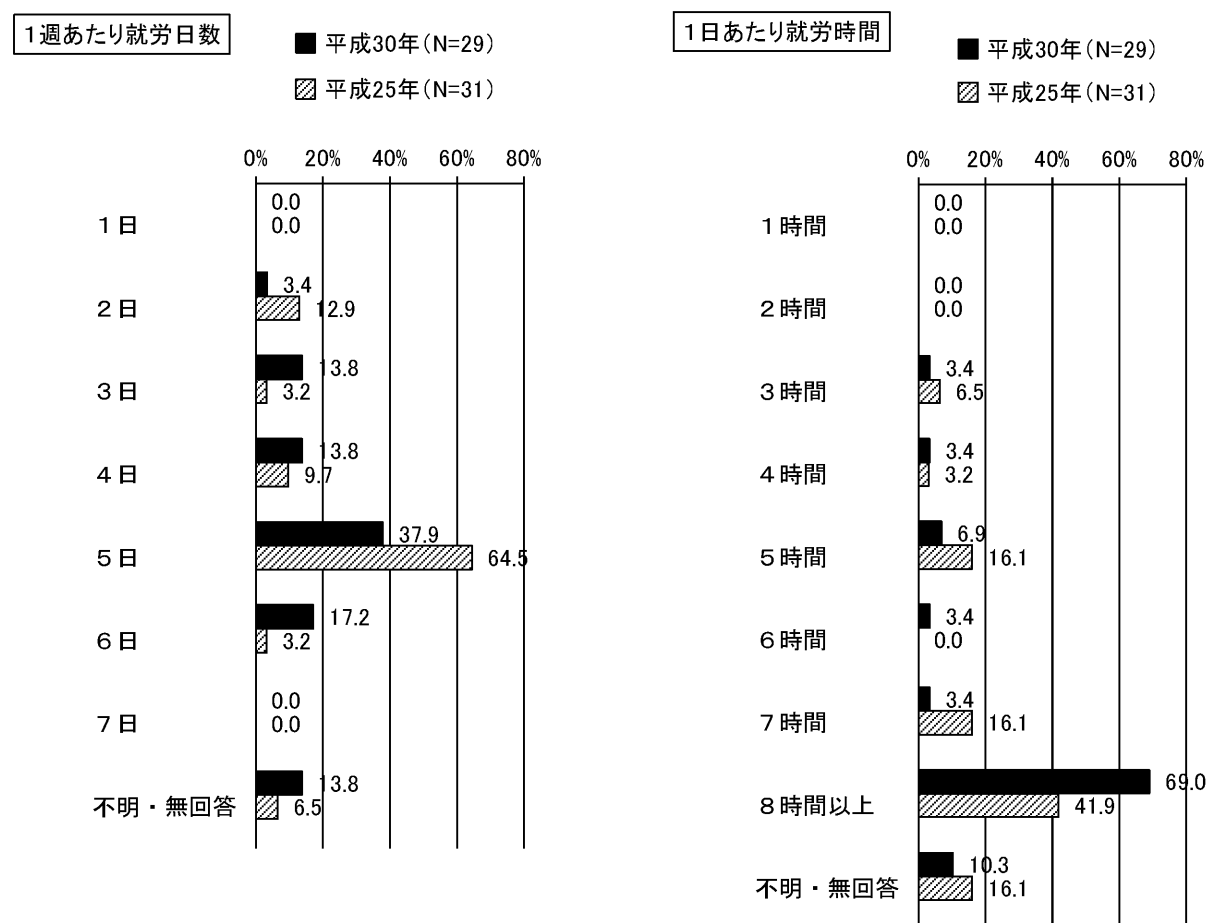
1日あたりの就労時間は、「8時間以上」が69.0%と最も高く、次いで「5時間」が6.9%となっています。

家を出る時間は、「7時台」が27.6%と最も高く、次いで「8時台」が17.2%となっています。

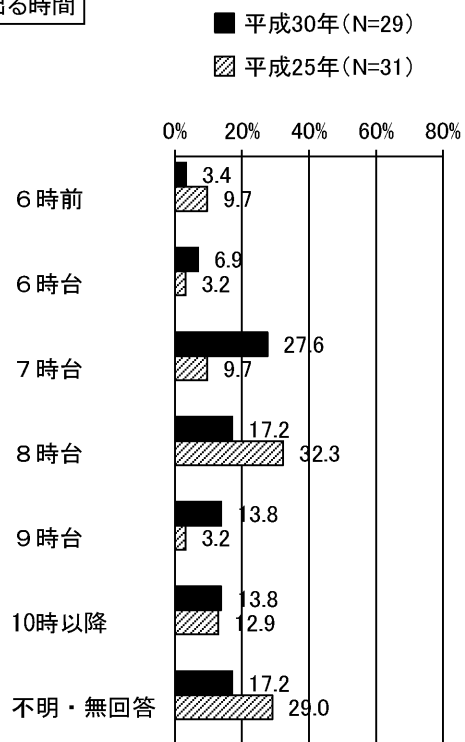
帰宅時間は、「17時前」が24.1%と最も高く、次いで「17時台」「19時台」が17.2%となっています。

◆パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況

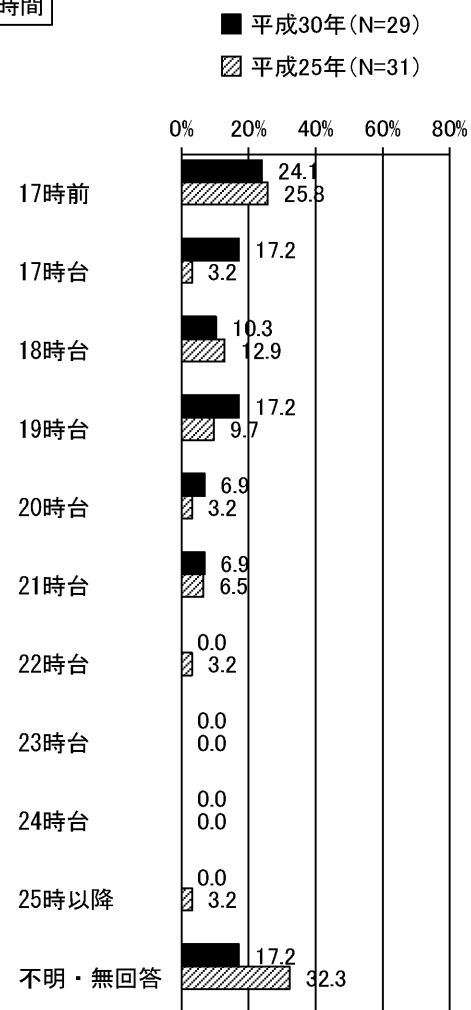
【父】



家を出る時間



帰宅時間



パートタイム、アルバイト等で就労している母親について、1週あたりの就労日数は、「4日」が30.6%と最も高く、次いで「5日」が30.1%、「3日」が21.2%となっています。

1日あたりの就労時間は、「5時間」が25.4%と最も高く、次いで「6時間」が21.9%、「4時間」が19.7%となっています。

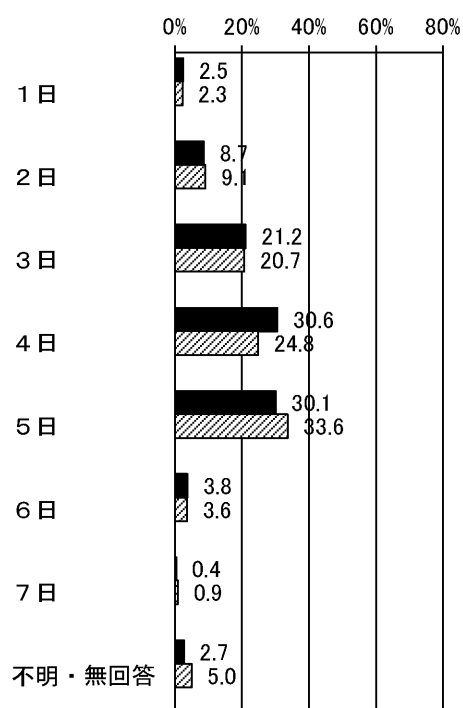
家を出る時間は、「8時台」が39.0%と最も高く、次いで「9時台」が36.7%となっています。

帰宅時間は、「17時前」が59.8%と最も高く、次いで「17時台」が19.4%となっています。

【母】

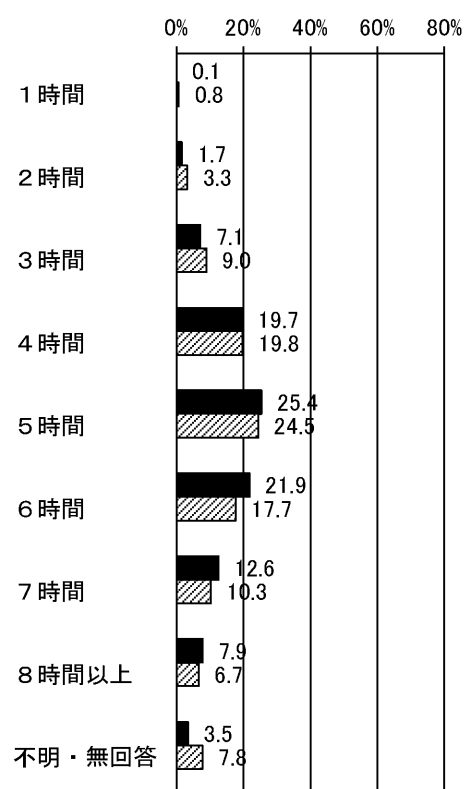
1週あたり就労日数

■ 平成30年(N=1,385)
▨ 平成25年(N=1,028)

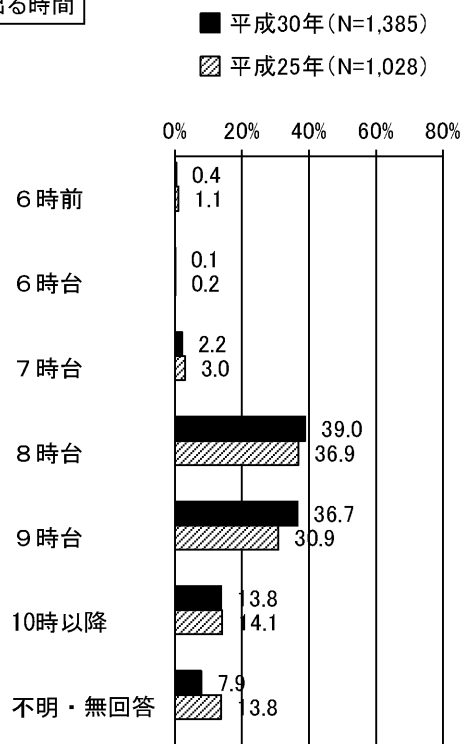


1日あたり就労時間

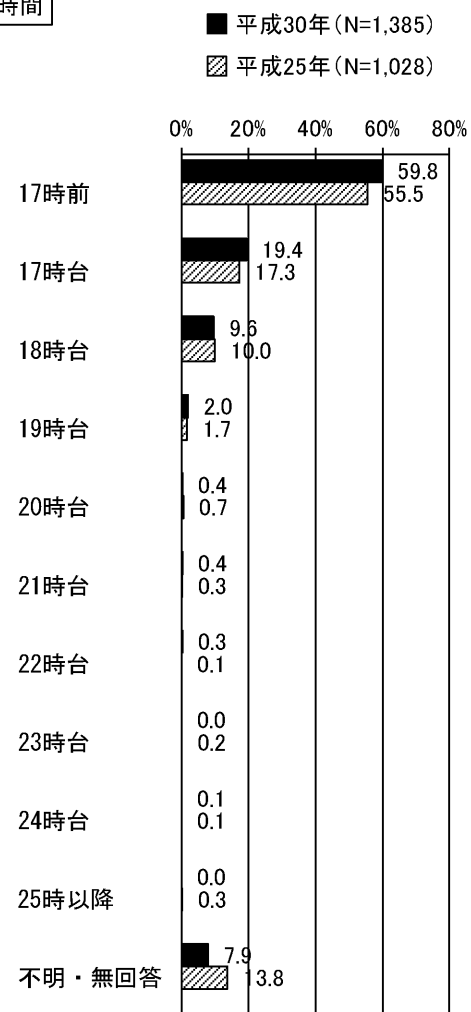
■ 平成30年(N=1,385)
▨ 平成25年(N=1,028)



家を出る時間



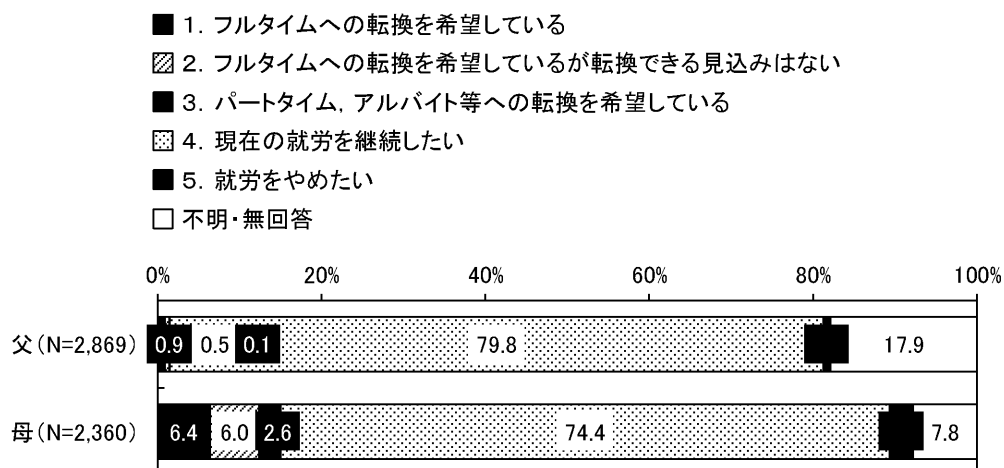
帰宅時間



問 11(2) フルタイムまたはパートタイム、アルバイト等への転換希望はありますか。
(〇はそれぞれ1つずつ)

父親では、「4. 現在の就労を継続したい」が79.8%と最も高くなっています。

母親では、「4. 現在の就労を継続したい」が74.4%と最も高く、次いで「1. フルタイムへの転換を希望している」が6.4%、「2. フルタイムへの転換を希望しているが転換できる見込みはない」が6.0%となっています。

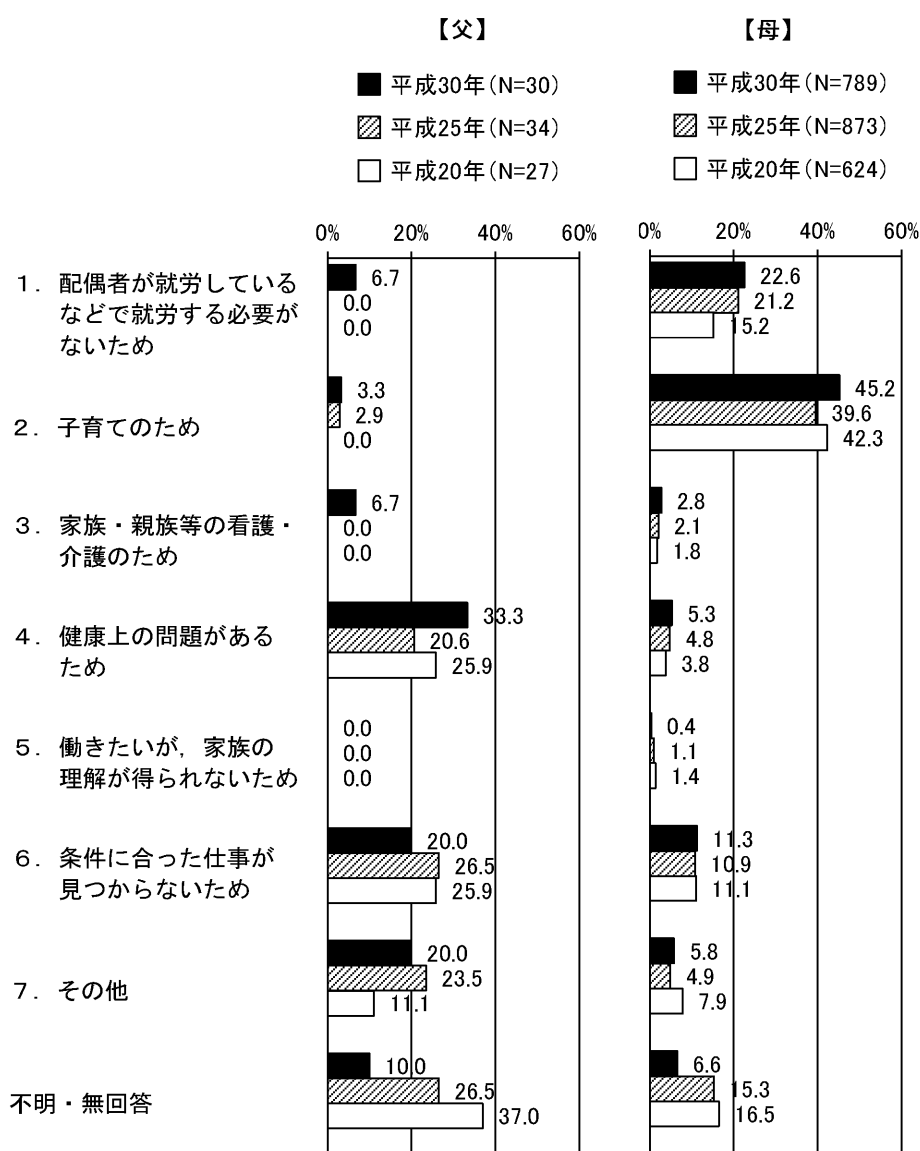


問 11(3) その方が、現在就労していない主な理由は何ですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

父親では、「4. 健康上の問題があるため」が 33.3%と最も高く、次いで「6. 条件に合った仕事が見つからないため」「7. その他」がともに 20.0%となっています。

母親では、「2. 子育てのため」が 45.2%と最も高く、次いで「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要があるため」が 22.6%,「6. 条件に合った仕事が見つからないため」が 11.3%となっています。

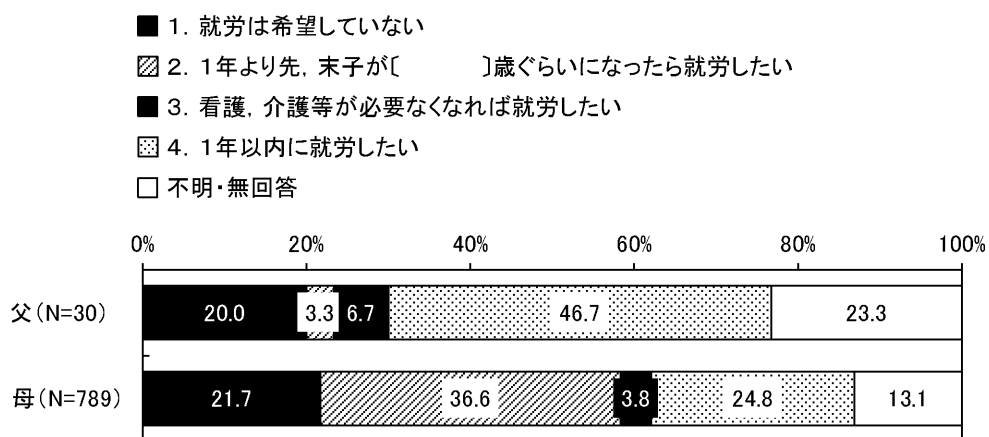
母親について、平成 25 年と比較すると、「2. 子育てのため」が 5.6 ポイント高く、平成 20 年と比較すると、「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要があるため」が 7.4 ポイント高くなっています。



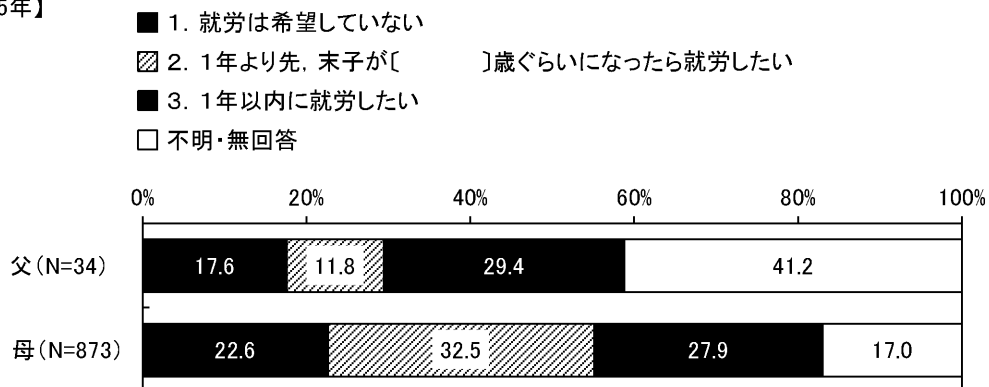
問 11(4) 現在就労していない方は今後、就労を希望していますか。(○はそれぞれ1つつ) 併せて、[]に数字をご記入ください。

父親では、「4. 1年以内に就労したい」が46.7%と最も高く、次いで「1. 就労は希望していない」が20.0%、「3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい」が6.7%となっています。

母親では、「2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい」が36.6%と最も高く、次いで「4. 1年以内に就労したい」が24.8%、「1. 就労は希望していない」が21.7%となっています。



【平成25年】



母親では、「6～7歳」が29.8%と最も高く、次いで「12～13歳」が14.5%、「2～3歳」が12.5%となっています。

◆(「2」の場合)末子の年齢

【父】

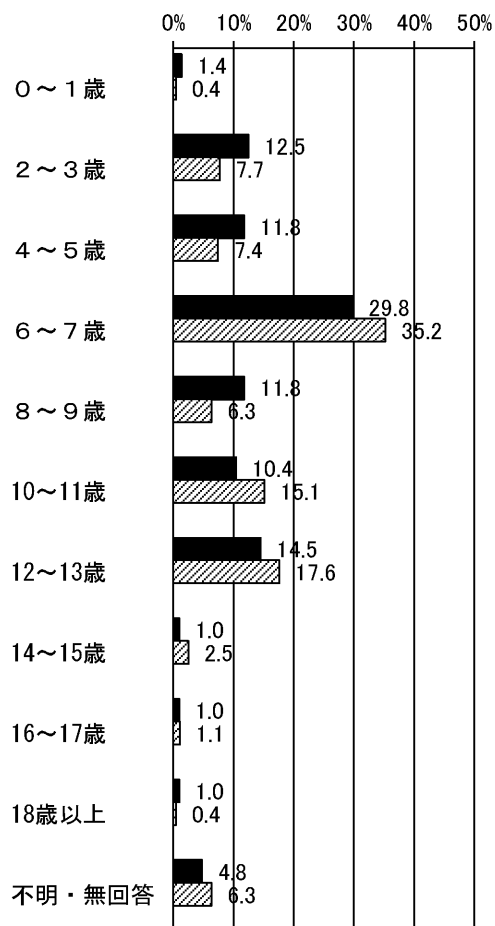
(N=1)

	件数
12～13歳	1

【母】

■ 平成30年(N=289)

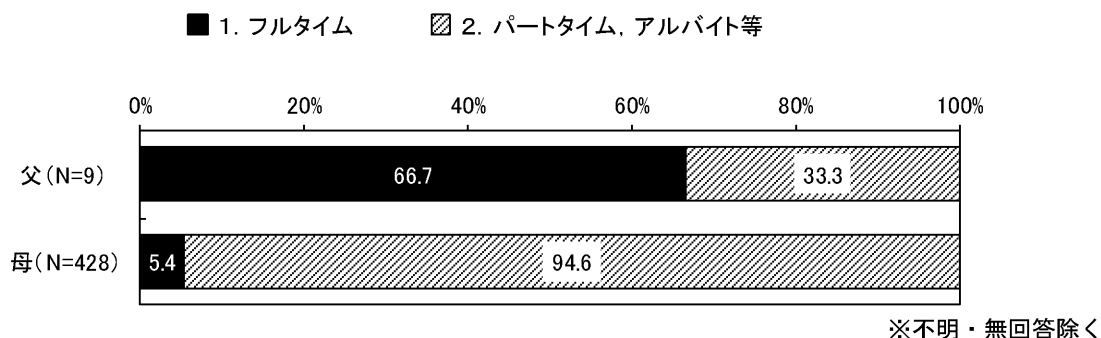
▨ 平成25年(N=284)



父親では、「1. フルタイム」が66.7%、「2. パートタイム, アルバイト等」が33.3%となっています。

母親では、「1. フルタイム」が5.4%、「2. パートタイム, アルバイト等」が94.6%となっています。

◆(「2～4」の場合)希望する就労形態



母親について、1週あたりの就労日数は、「3日」が48.9%と最も高く、次いで「4日」が26.9%、「5日」が17.3%となっています。1日あたりの就労時間は、「5時間」が42.0%と最も高く、次いで「4時間」が32.1%、「6時間」が16.0%となっています。

◆(「2. パートタイム, アルバイト等」での就労を希望する方)1週あたりの就労日数, 1日あたりの就労時間
【父】

1週あたり就労日数
(N=3)

	件数
4日	1
5日	1
不明・無回答	1

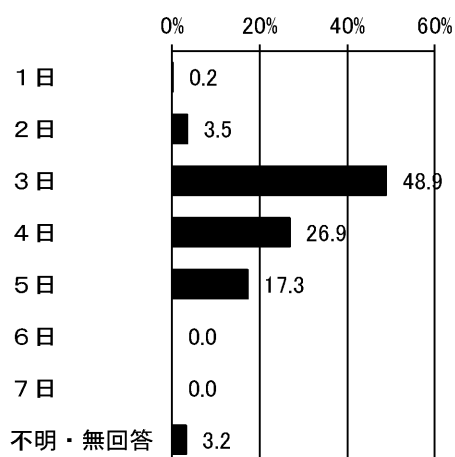
1日あたり就労時間
(N=3)

	件数
6時間	2
不明・無回答	1

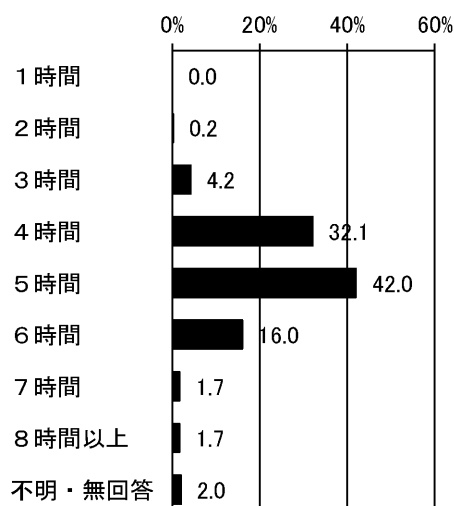
【母】

(N=405)

1週あたり就労日数



1日あたり就労時間



3 お子さまの状況について

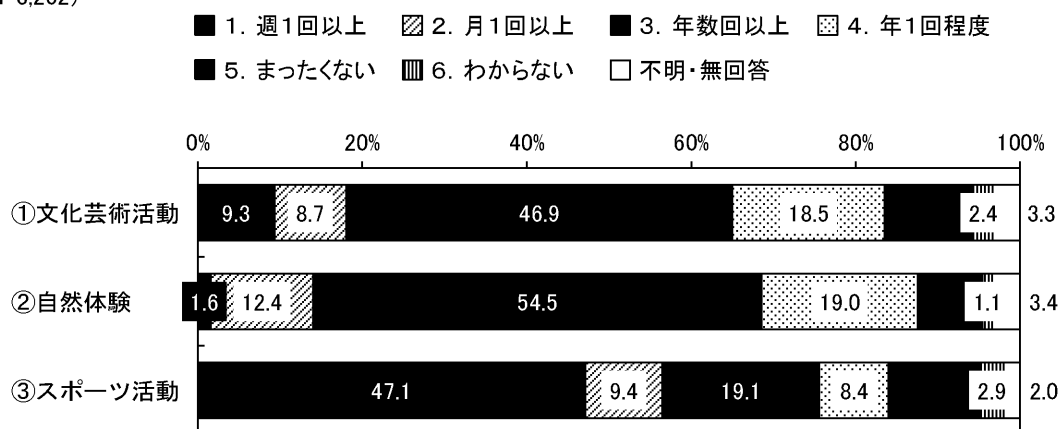
問 12 宛名のお子さまについて，学校の授業以外で，過去 1 年間に，自宅以外での文化芸術活動（映画，音楽，絵画，写真，演劇，能・狂言・歌舞伎などの鑑賞，体験など）や自然体験（山登り，海水浴，川遊び，キャンプなど），スポーツ活動を行う機会ほどの程度ありましたか。（○はそれぞれ 1 つずつ）

①文化芸術活動は「3. 年数回以上」が 46.9%と最も高く，次いで「4. 年 1 回程度」が 18.5%，「5. まったくない」が 10.7%となっています。

②自然体験は「3. 年数回以上」が 54.5%と最も高く，次いで「4. 年 1 回程度」が 19.0%，「2. 月 1 回以上」が 12.4%となっています。

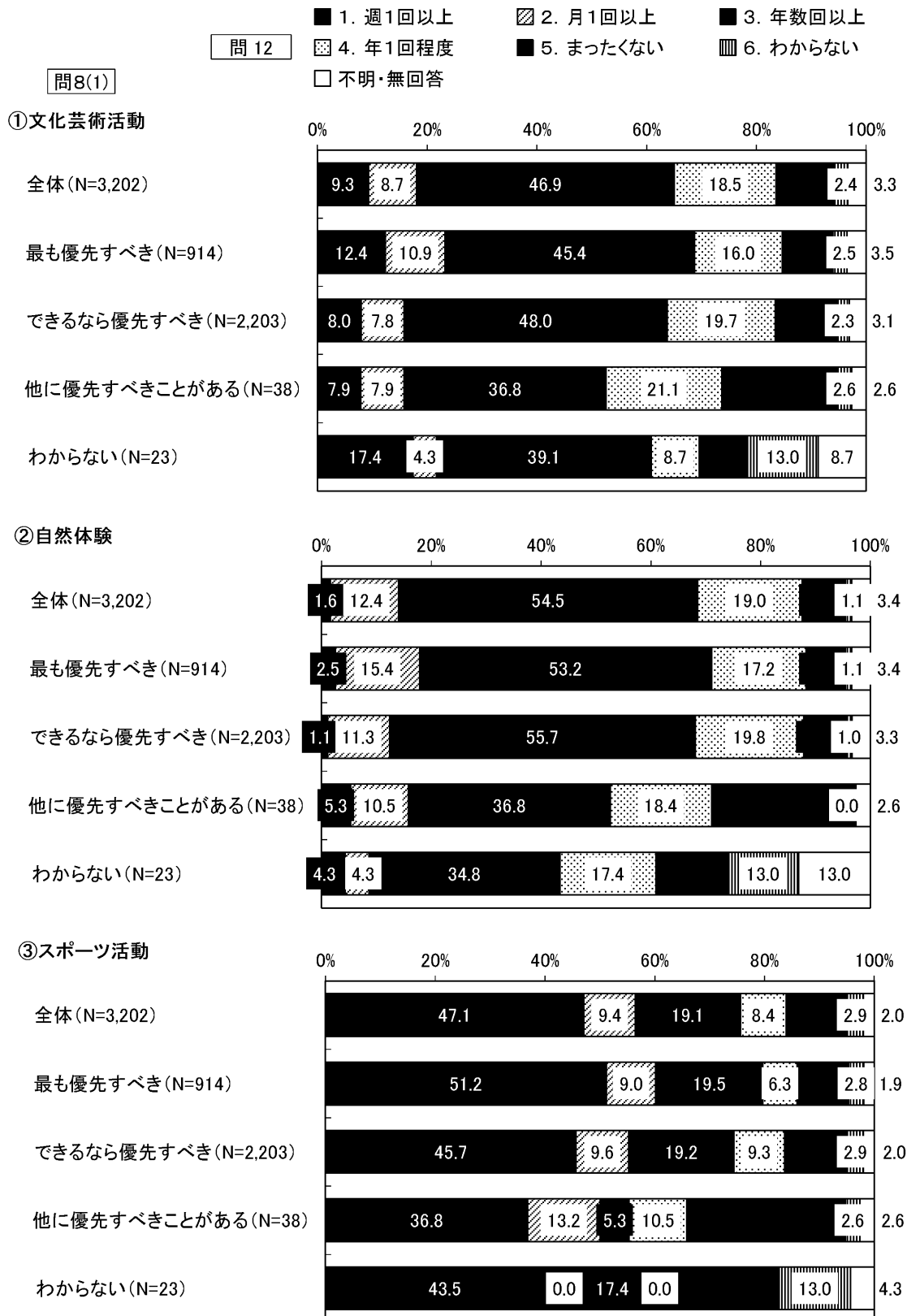
③スポーツ活動は「1. 週 1 回以上」が 47.1%と最も高く，次いで「3. 年数回以上」が 19.1%，「5. まったくない」が 11.1%となっています。

(N=3,202)



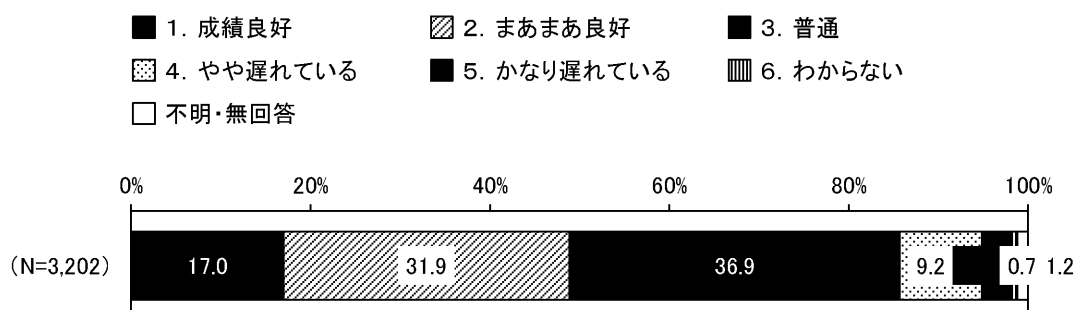
<<問 12×問 8(1)子育てにける時間の優先度別>>

いずれの活動も子育てにける時間の優先度が高いほど「5. まったくない」の割合が低くなる傾向がみられます。



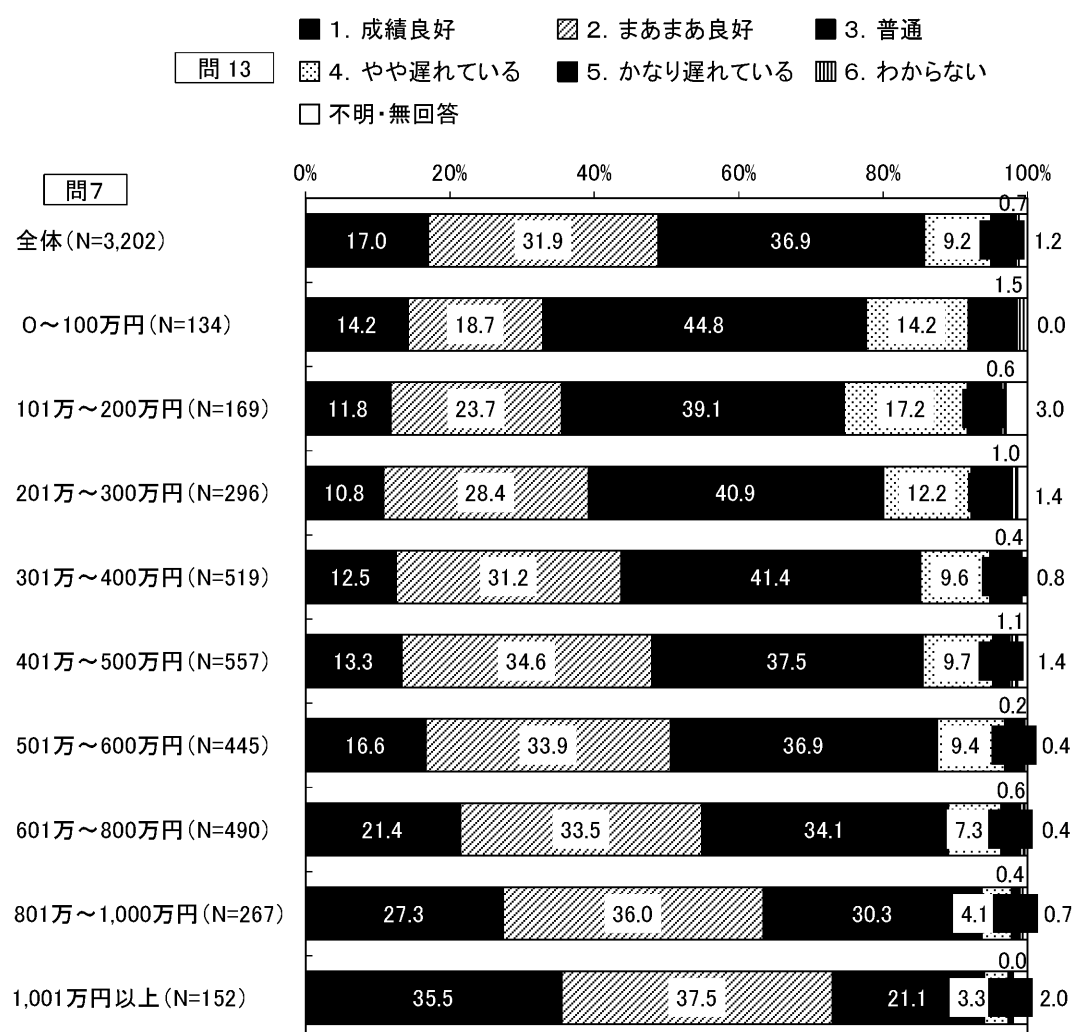
問 13 宛名のお子さまの学校での勉強の成績はどうか。(〇は1つ)

「3. 普通」が36.9%と最も高く、次いで「2. まあまあ良好」が31.9%, 「1. 成績良好」が17.0%となっています。



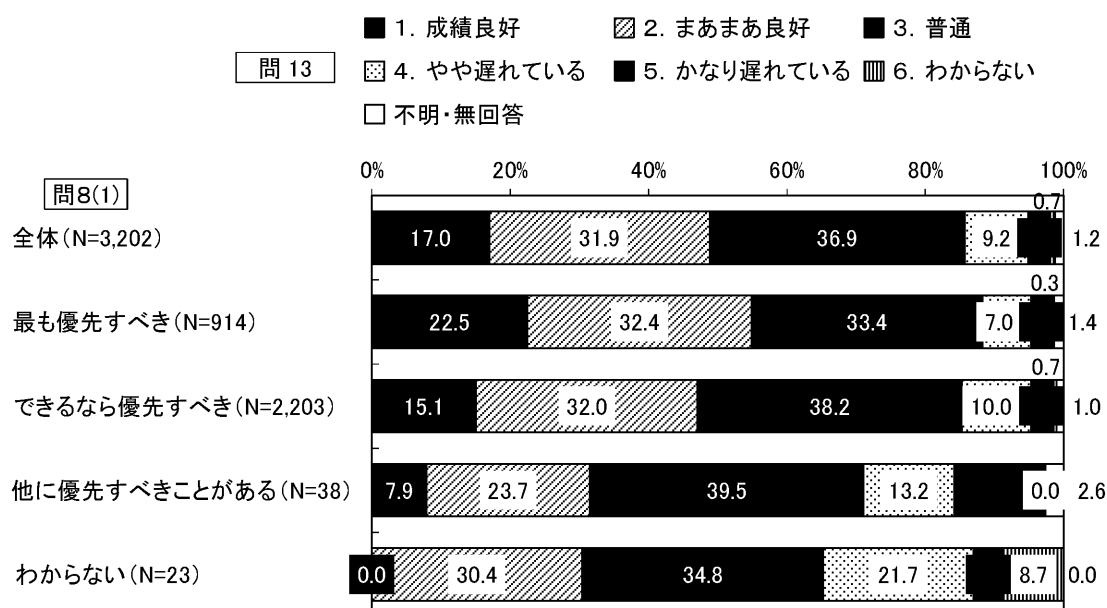
《問 13×問 7 世帯の昨年1年間の可処分所得別》

昨年1年間の可処分所得が高いほど『良好（「1. 成績良好」と「2. まあまあ良好」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



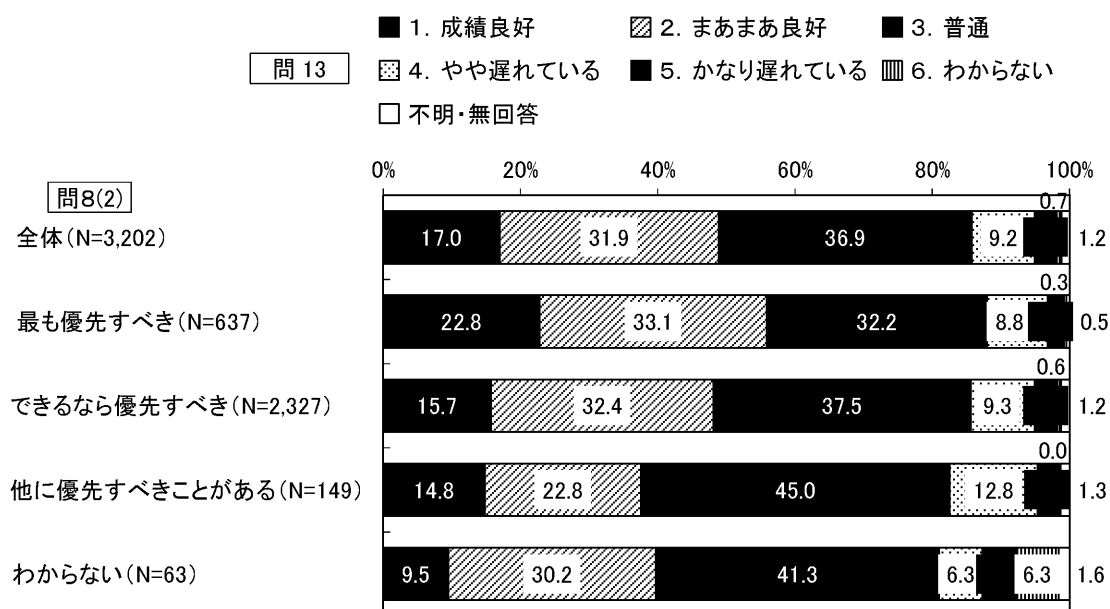
《問 13×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

子育てにかかる時間の優先度が高いほど『良好（「1. 成績良好」と「2. まあまあ良好」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



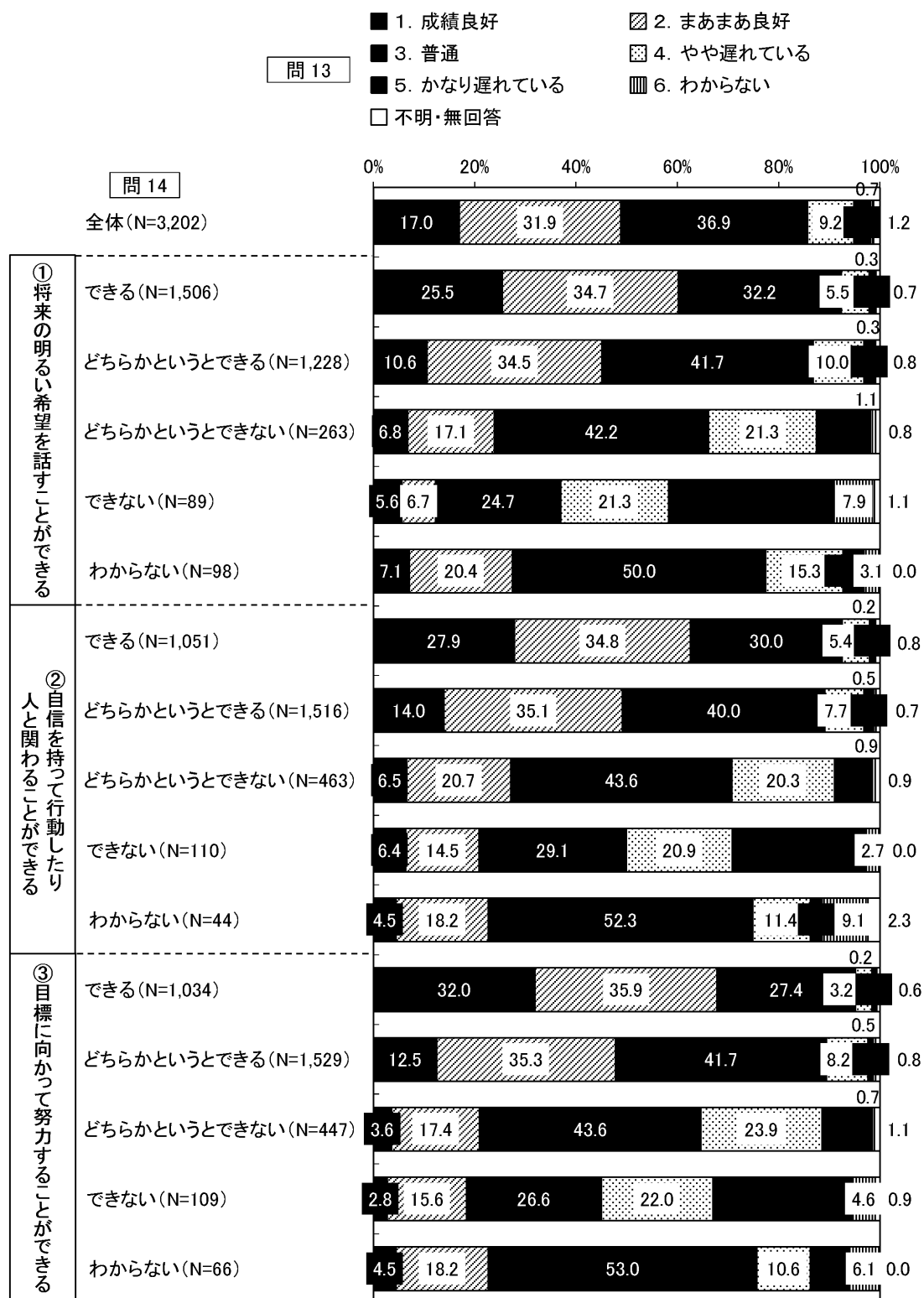
《問 13×問 8(2)子育てにかかるお金の優先度別》

子育てにかかるお金の優先度が高いほど『良好（「1. 成績良好」と「2. まあまあ良好」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 13×問 14 子どもの様子別》

子どもの自己肯定感が高いほど『良好（「1. 成績良好」と「2. まあまあ良好」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

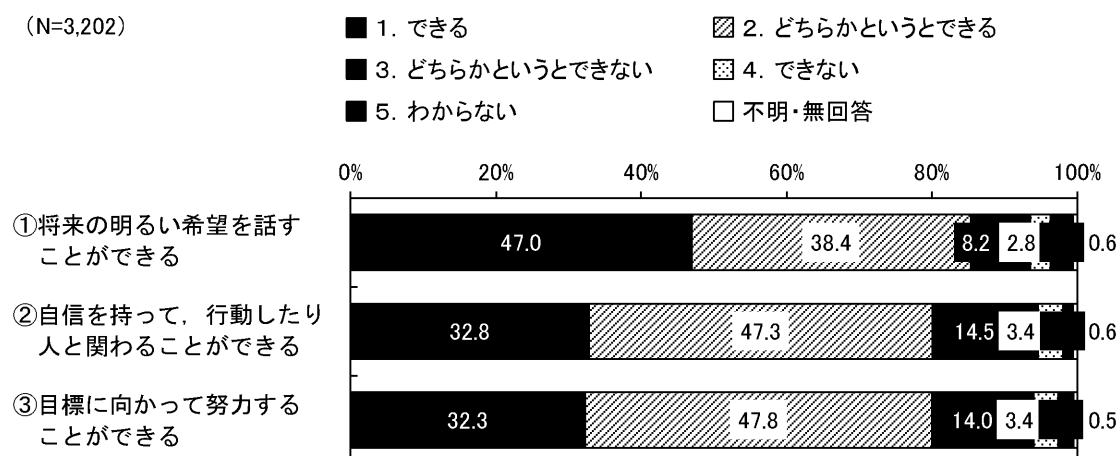


問 14 宛名のお子さまの様子について、それぞれお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

①将来の明るい希望を話すことができるでは、「1. できる」が47.0%と最も高く、次いで「2. どちらかというところ」が38.4%となっています。

②自信を持って、行動したり人と関わることができるでは、「2. どちらかというところ」が47.3%と最も高く、次いで「1. できる」が32.8%となっています。

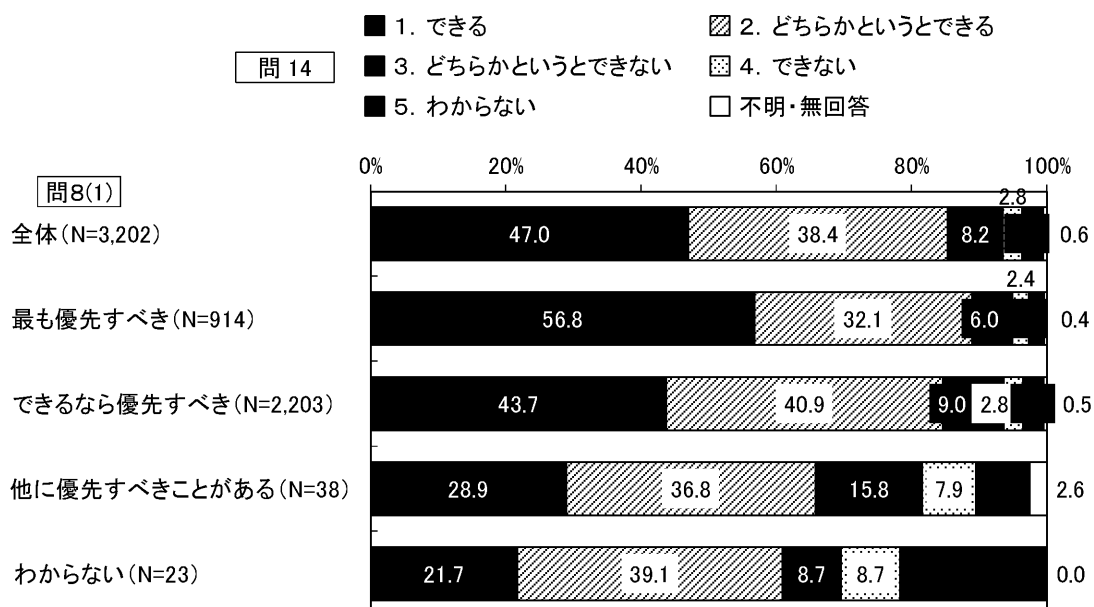
③目標に向かって努力することができるでは、「2. どちらかというところ」が47.8%と最も高く、次いで「1. できる」が32.3%となっています。



《問 14×問 8(1)子育てにける時間の優先度別》

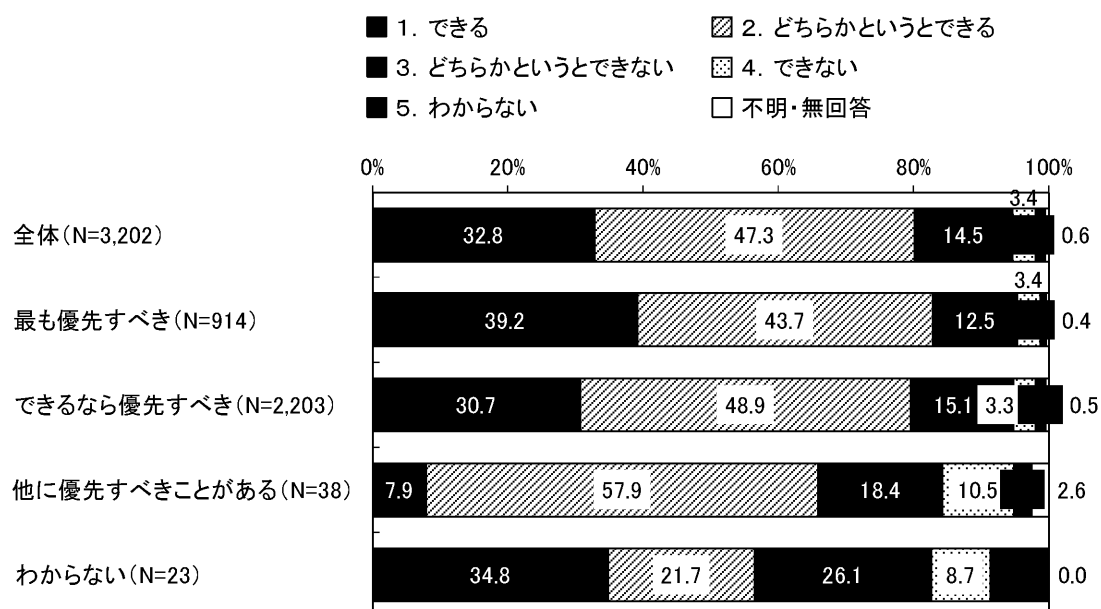
①将来の明るい希望を話すことができるについて、子育てにける時間の優先度が高いほど「1. できる」の割合が高くなる傾向がみられます。

①将来の明るい希望を話すことができる

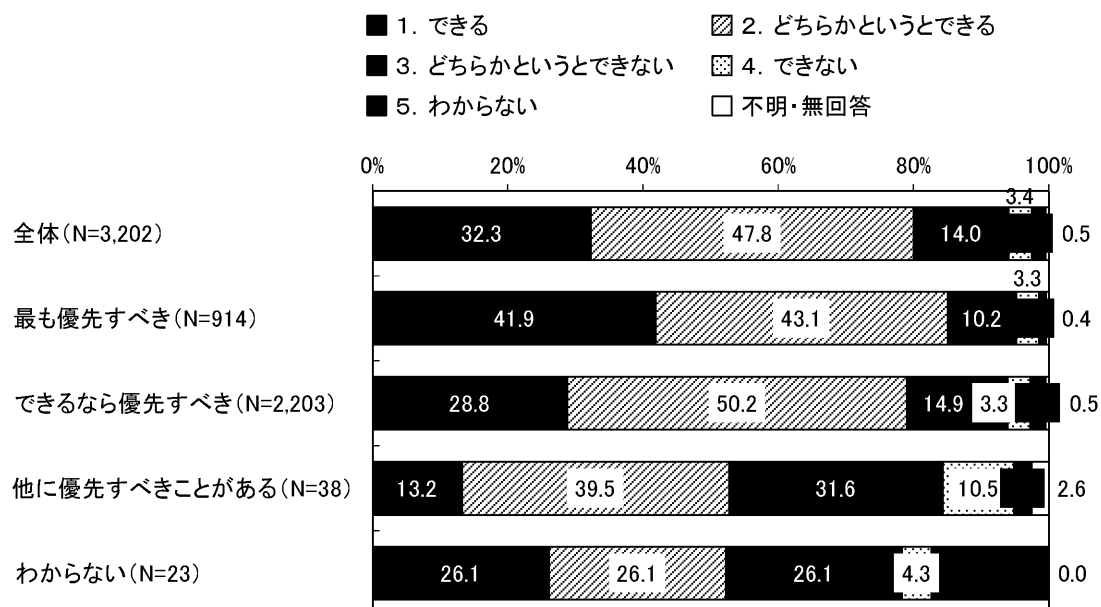


②自信を持って、行動したり人と関わることができる、③目標に向かって努力することができるについて、子育てにかける時間の優先度が高いほど「1. できる」の割合が高くなる傾向がみられます。

②自信を持って、行動したり人と関わることができる



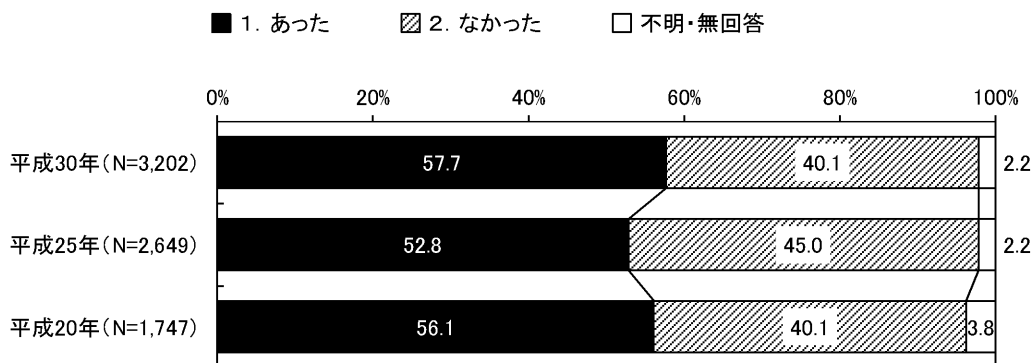
③目標に向かって努力することができる



4 お子さまの病気・病後時の対応について

問 15(1) この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。(○は1つ)

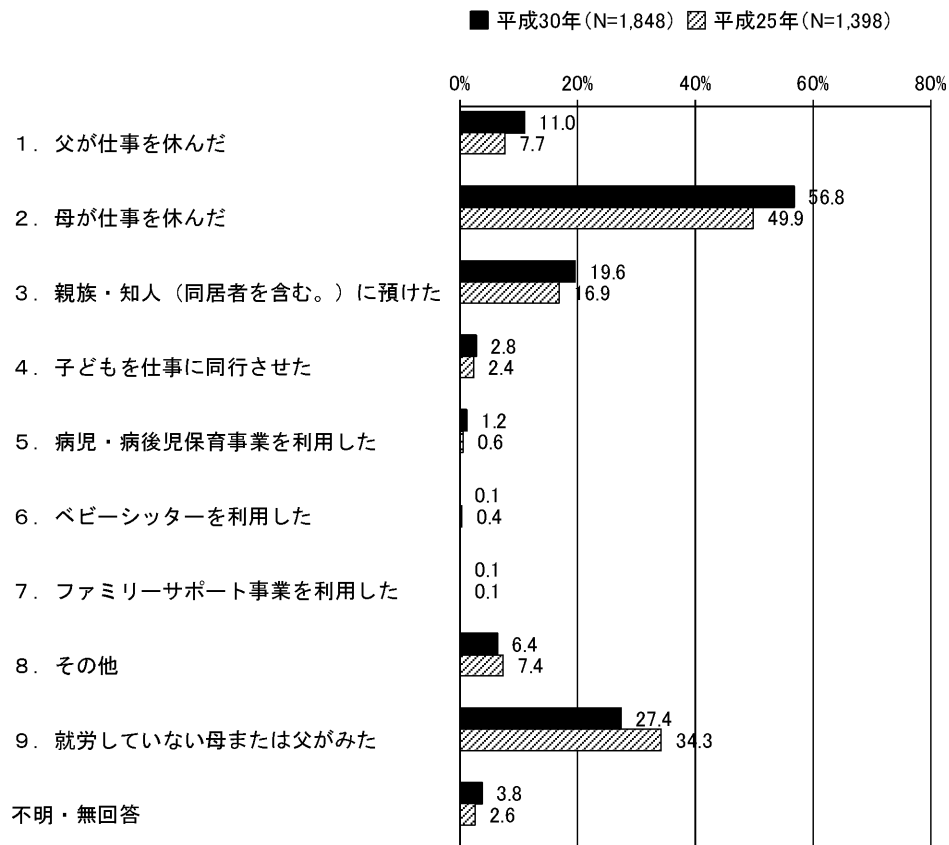
「1. あった」が57.7%、「2. なかった」が40.1%となっています。
平成25年と比較すると、「1. あった」が4.9ポイント高くなっています。



問 15(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(○はいくつでも)
また、それぞれの日数をご記入ください。

「2. 母が仕事を休んだ」が56.8%と最も高く、次いで「9. 就労していない母または父がみた」が27.4%、「3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が19.6%となっています。

平成25年と比較すると、「2. 母が仕事を休んだ」が6.9ポイント高く、「9. 就労していない母または父がみた」が6.9ポイント低くなっています。



《問 15(2)×問 5(1)同居・近居の状況別》

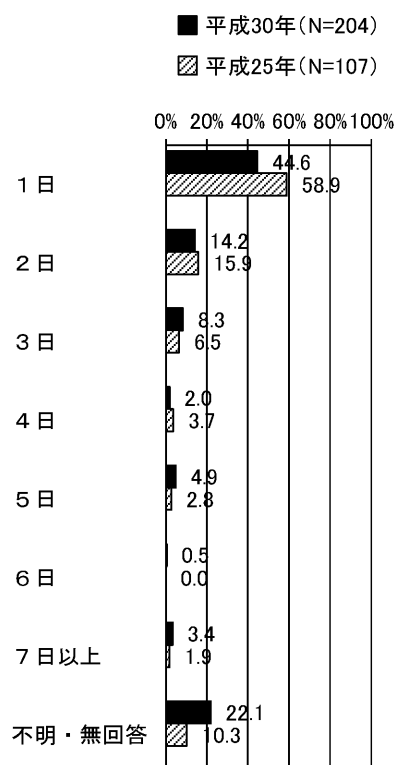
『父と同居(ひとり親家庭)』では「親族・知人(同居者を含む。)に預けた」、それ以外では「母が仕事を休んだ」の割合が最も高くなっています。

	1,848	204	1,049	362	51	22	2	1	119	506	70
	100.0	11.0	56.8	19.6	2.8	1.2	0.1	0.1	6.4	27.4	3.8
	1,595	190	907	279	42	17	2	1	100	472	54
	100.0	11.9	56.9	17.5	2.6	1.1	0.1	0.1	6.3	29.6	3.4
	11	3	0	6	0	0	0	0	2	0	1
	100.0	27.3	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1
	163	0	104	57	6	5	0	0	10	19	9
	100.0	0.0	63.8	35.0	3.7	3.1	0.0	0.0	6.1	11.7	5.5
	97	3	49	37	4	0	0	0	8	22	3
	100.0	3.1	50.5	38.1	4.1	0.0	0.0	0.0	8.2	22.7	3.1
	143	6	74	57	4	0	0	0	12	27	6
	100.0	4.2	51.7	39.9	2.8	0.0	0.0	0.0	8.4	18.9	4.2
	287	30	155	91	6	2	1	1	18	82	11
	100.0	10.5	54.0	31.7	2.1	0.7	0.3	0.3	6.3	28.6	3.8
	333	30	180	110	7	2	1	1	16	98	11
	100.0	9.0	54.1	33.0	2.1	0.6	0.3	0.3	4.8	29.4	3.3
	73	7	36	18	1	0	0	0	2	23	3
	100.0	9.6	49.3	24.7	1.4	0.0	0.0	0.0	2.7	31.5	4.1

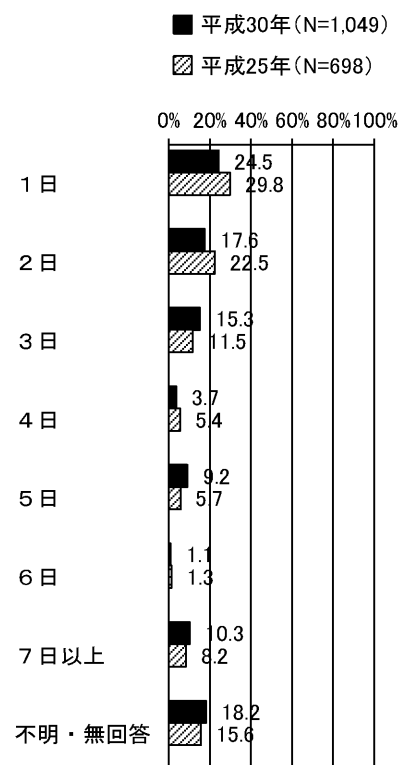
『1. 父が仕事を休んだ』『2. 母が仕事を休んだ』『3. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた』『4. 子どもを仕事に同行させた』『5. 病児・病後児保育事業を利用した』では「1日」,『9. 就労していない母または父がみた』では「7日以上」の割合が最も高くなっています。

◆年間の日数

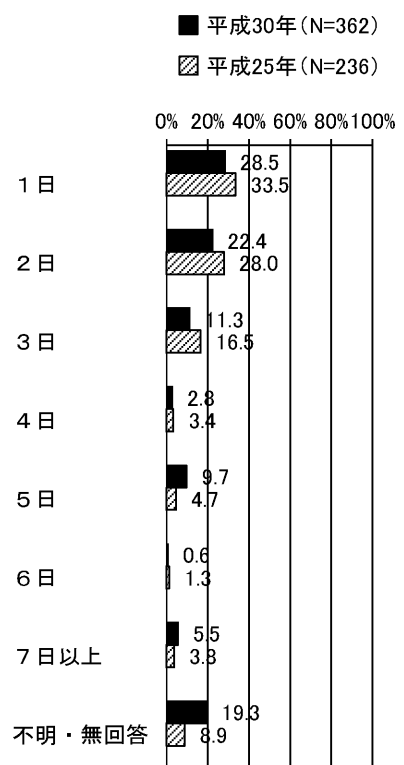
1. 父が仕事を休んだ



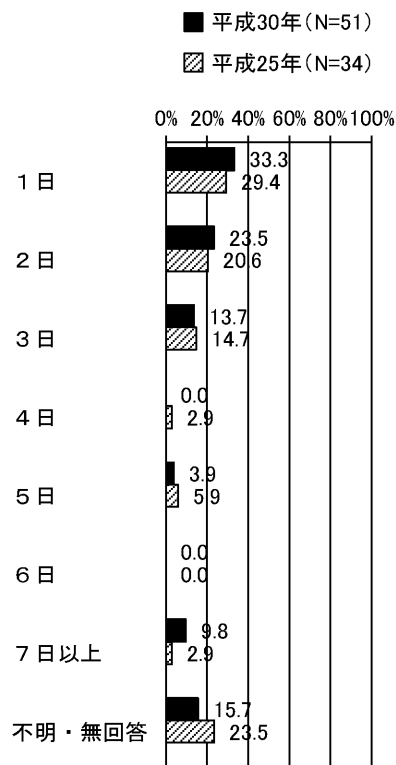
2. 母が仕事を休んだ



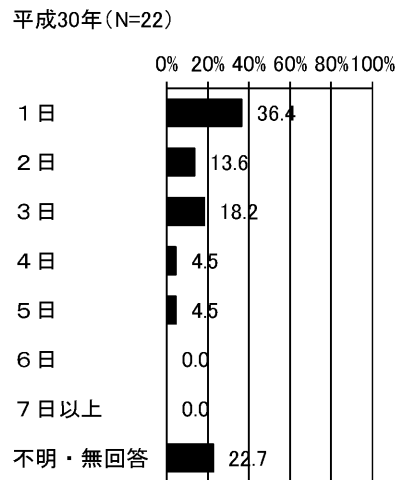
3. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた



4. 子どもを仕事に同行させた



5. 病児・病後児保育事業を利用した



6. ベビーシッターを利用した

平成30年 (N=2)

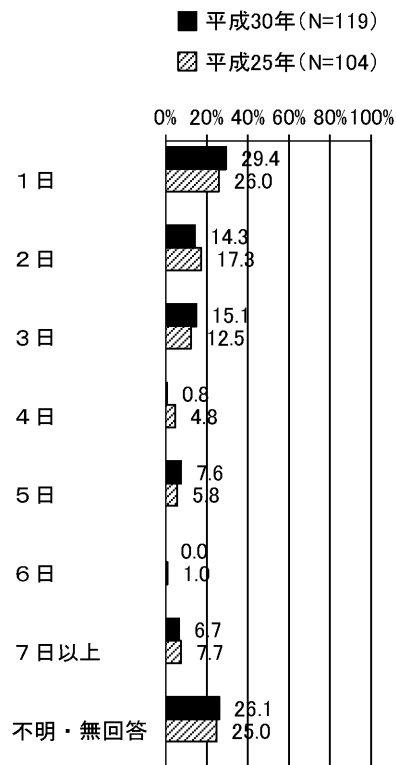
	件数
7日以上	1
不明・無回答	1

7. ファミリーサポート事業を利用した

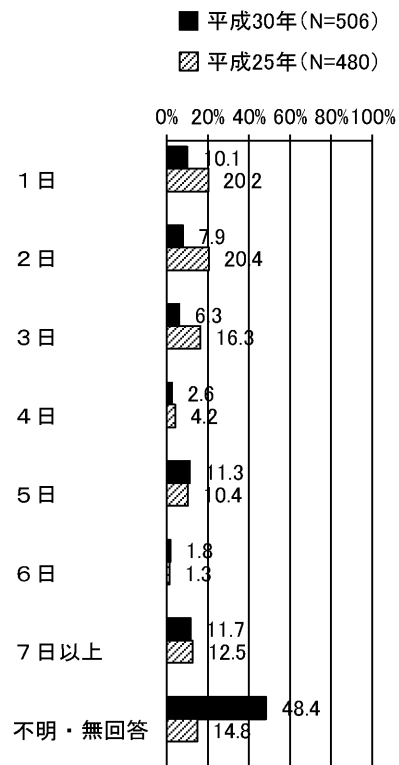
平成30年 (N=1)

	件数
1日	1

8. その他



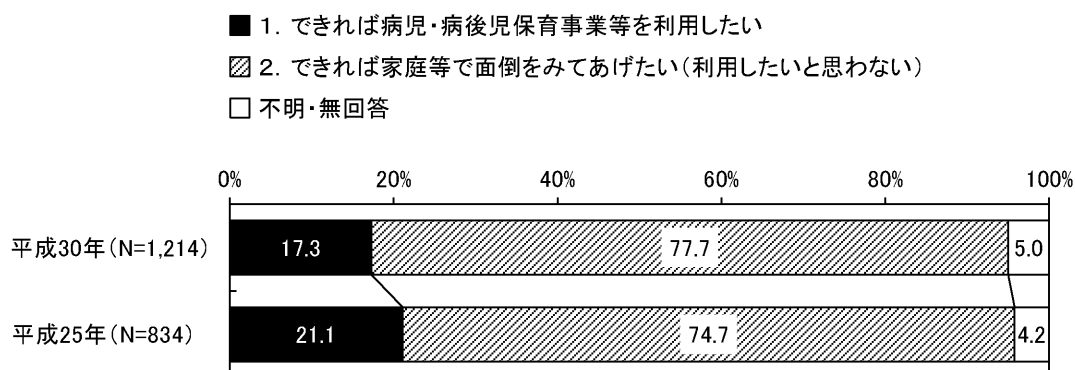
9. 就労していない母または父がみた



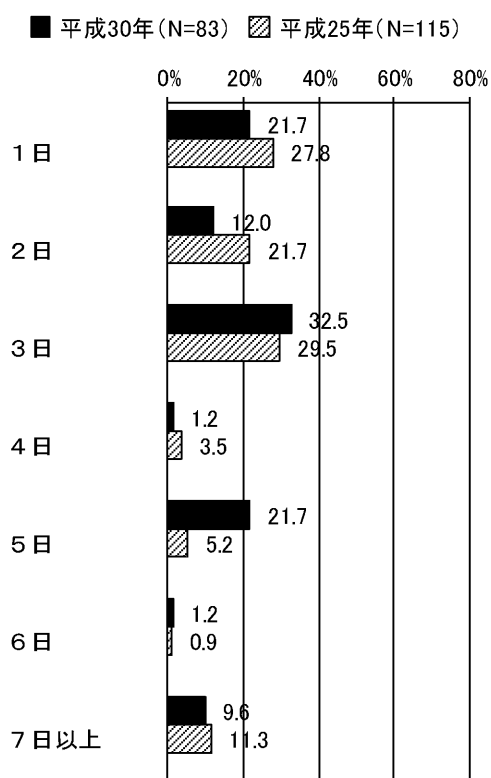
**問 15(3) その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたか。(○は1つ)
また利用したい日数についてもご記入ください。**

「1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」が 17.3%, 「2. できれば家庭等で面倒をみてあげたい(利用したいと思わない)」が 77.7%となっています。平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。

利用したい日数は、「3 日」が最も多く、次いで「1 日」「5 日」となっています。



◆(「1」の場合)利用したい日数



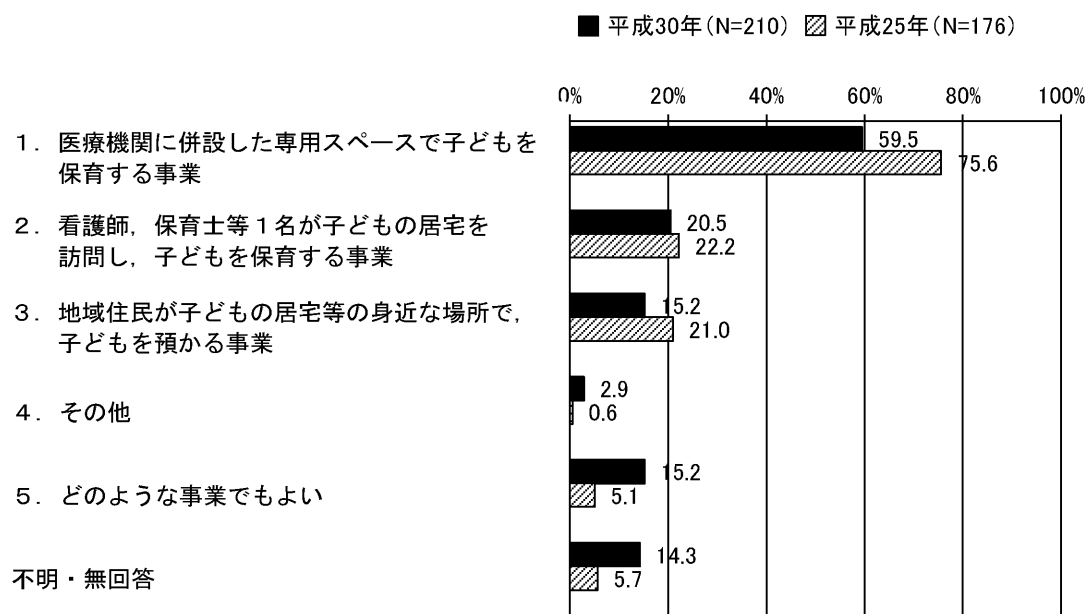
※不明・無回答除く

問 15(4) 病気または病後の子どもを預ける場合、どのような事業を希望しますか。

(〇はいくつでも)

「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が 59.5%と最も高く、次いで「2. 看護師、保育士等 1 名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業」が 20.5%となっています。

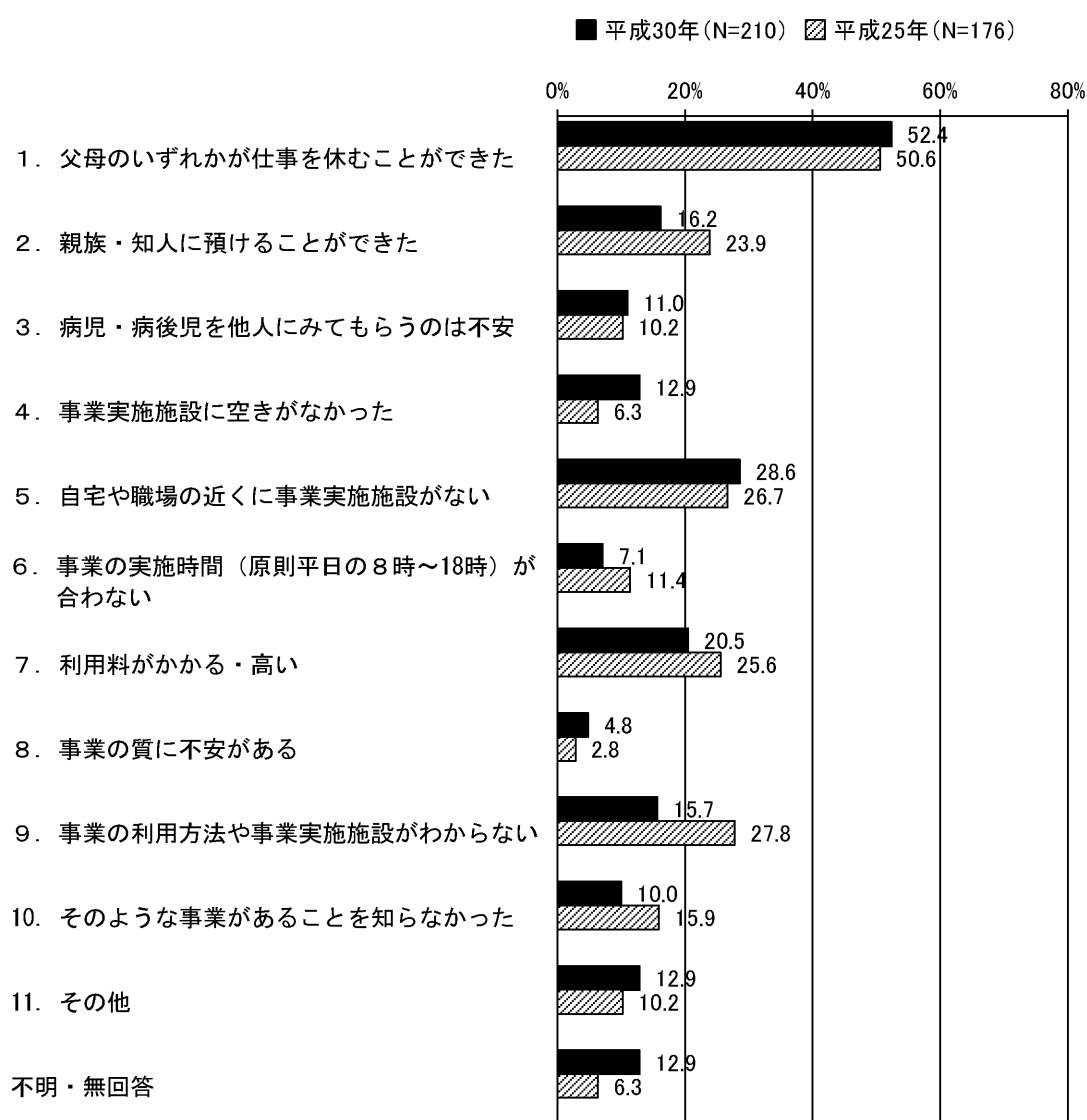
平成 25 年と比較すると、「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が 16.1 ポイント低く、「5. どのような事業でもよい」が 10.1 ポイント高くなっています。



問 15(5) 病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた」が52.4%と最も高く、次いで「5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない」が28.6%, 「7. 利用料がかかる・高い」が20.5%となっています。

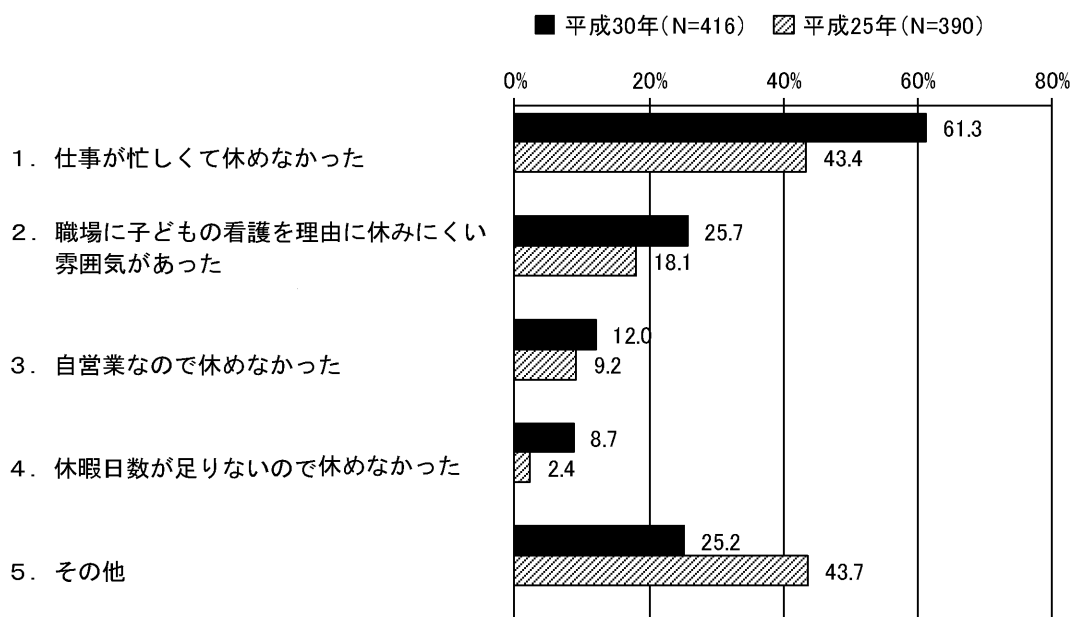
平成25年と比較すると, 「9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない」が12.1ポイント, 「2. 親族・知人に預けることができた」が7.7ポイント低くなっています。



問 15(6) 仕事を休めなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

その他を除き、「1. 仕事が忙しくて休めなかった」が 61.3%と最も高く、次いで「2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった」が 25.7%、「3. 自営業なので休めなかった」が 12.0%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 仕事が忙しくて休めなかった」が 17.9 ポイント、「2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった」が 7.6 ポイント高くなっています。



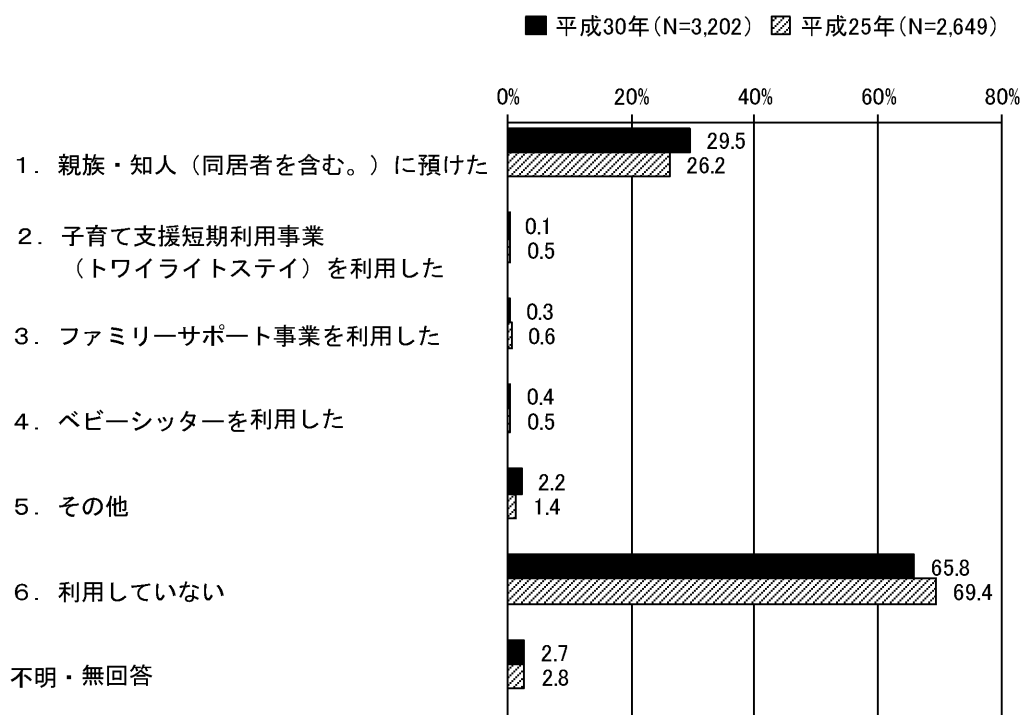
※不明・無回答除く

5 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて

問 16(1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。(○はいくつでも)
また、利用したことがある場合は、() 内にそれぞれの日数(半日程度でも1日としてカウント)をご記入ください。

「6. 利用していない」が 65.8%と最も高く、次いで「1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた」が 29.5%となっています。

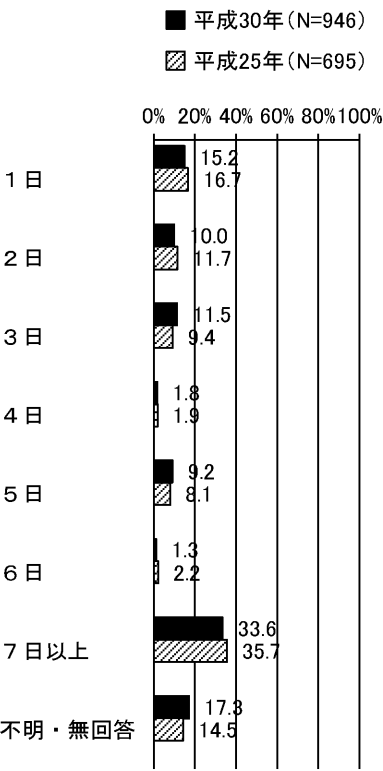
平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。



『1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた』『3. ファミリーサポート事業を利用した』『4. ベビーシッターを利用した』では「7日以上」の割合が最も高くなっています。

◆年間の日数

1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた

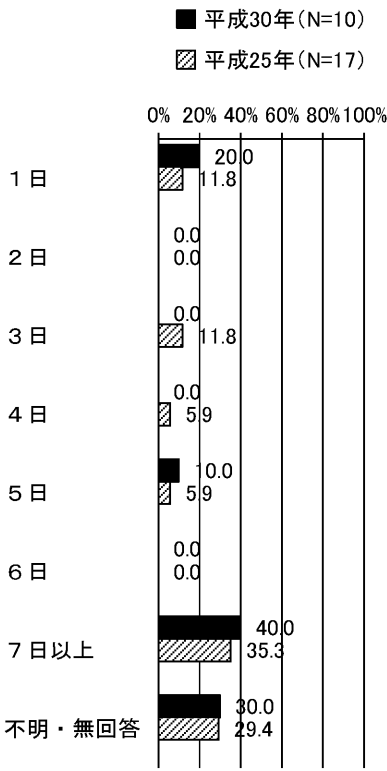


2. 子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）を利用した

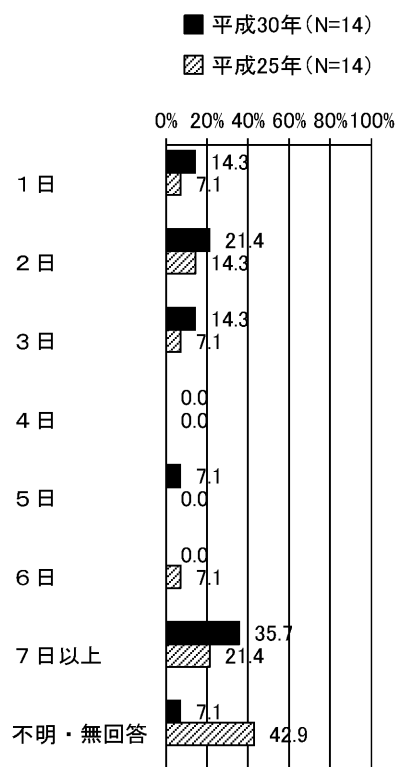
平成30年 (N=4)

	件数
1日	1
3日	1
6日	1
不明・無回答	1

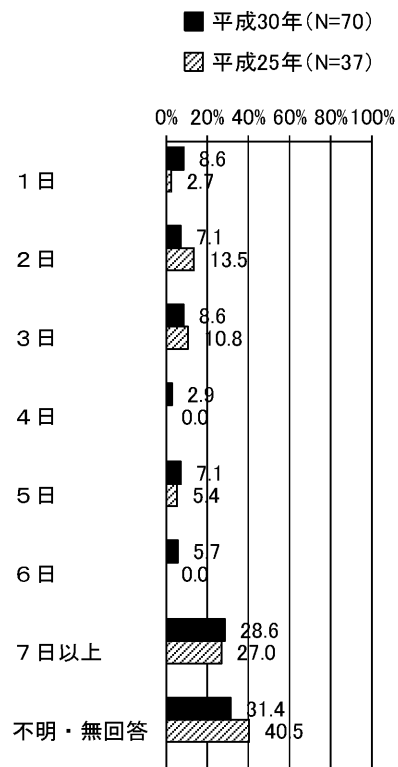
3. ファミリーサポート事業を利用した



4. ベビーシッターを利用した



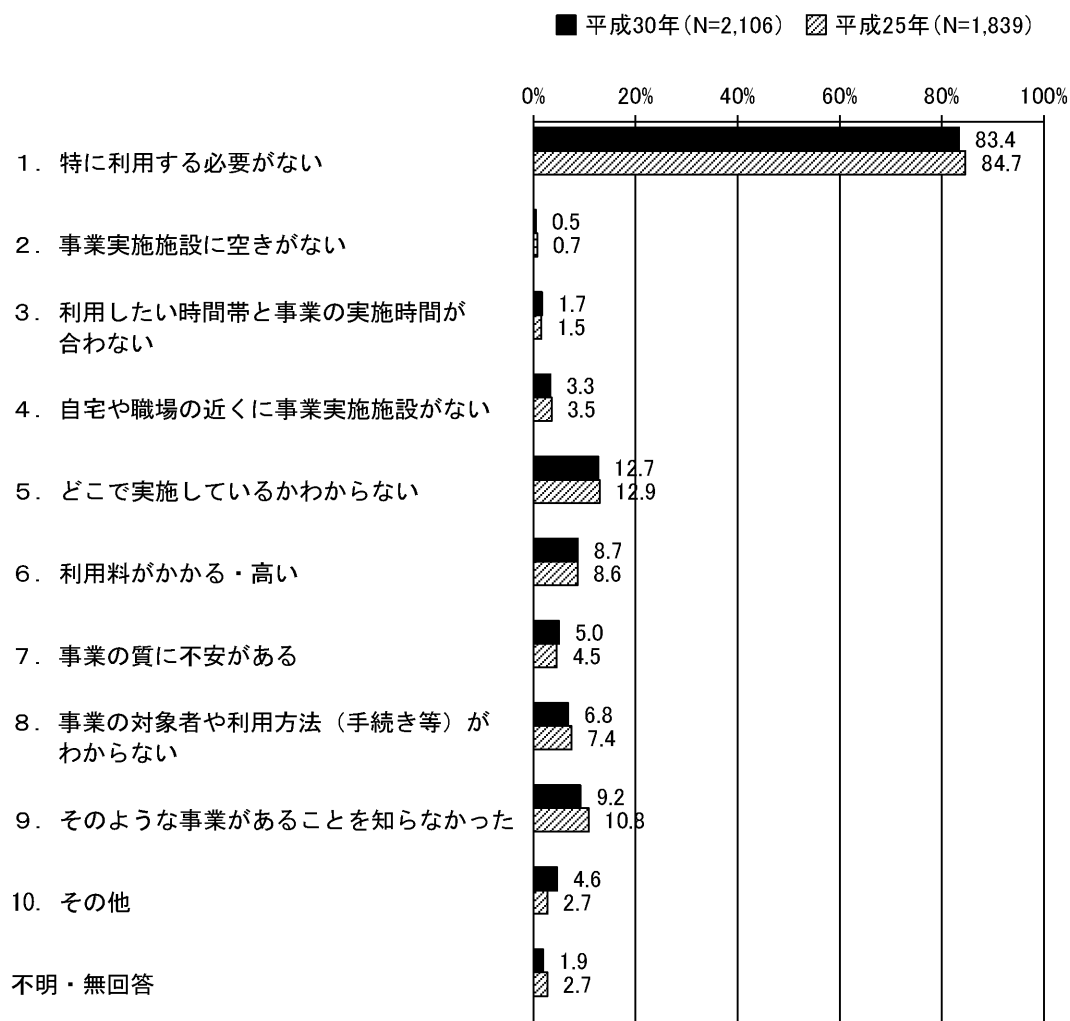
5. その他



問 16(2) 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 特に利用する必要がない」が83.4%と最も高く、次いで「5. どこで実施しているかわからない」が12.7%,「9. そのような事業があることを知らなかった」が9.2%となっています。

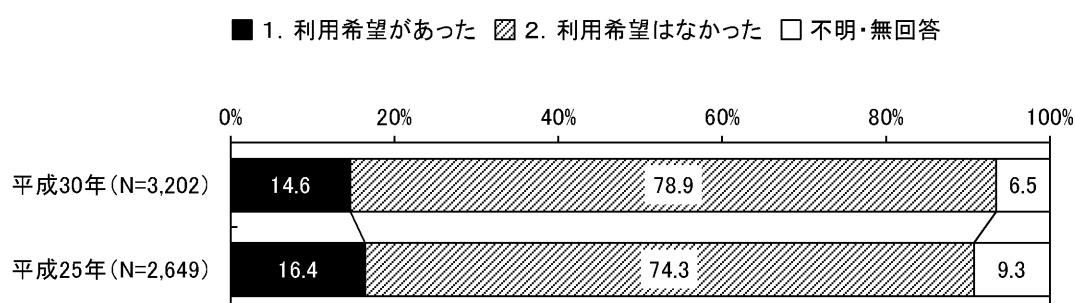
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



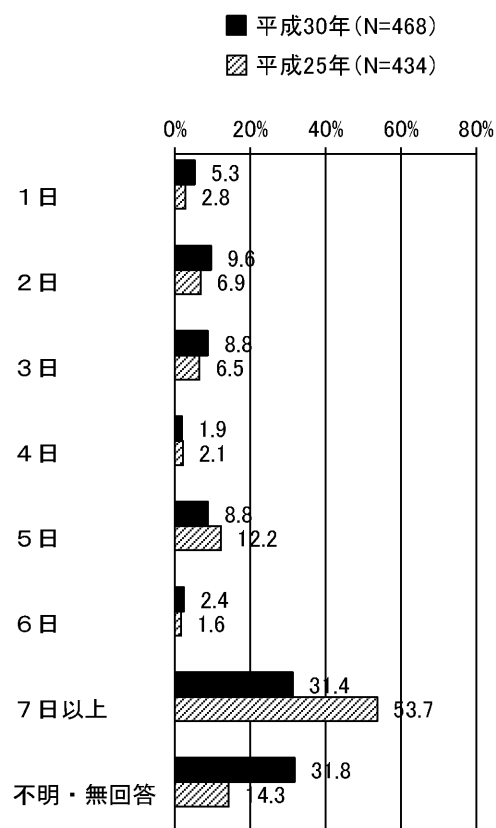
問 17(1) この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由により、宛名のお子さまを日中一時的に預かる事業を利用したいと思ったことはありますか。(〇は1つ)
 利用を希望した場合は、年間の希望日数とその理由別の希望日数(半日程度でも1日としてカウント)を()内にご記入ください。

「1. 利用希望があった」が14.6%、「2. 利用希望はなかった」が78.9%となっています。
 平成25年と比較すると、「2. 利用希望はなかった」が4.6ポイント高くなっています。

年間の希望日数は、「7日以上」が31.4%と最も高く、次いで「2日」が9.6%となっています。
 平成25年と比較すると、「7日以上」が22.3ポイント低くなっています。



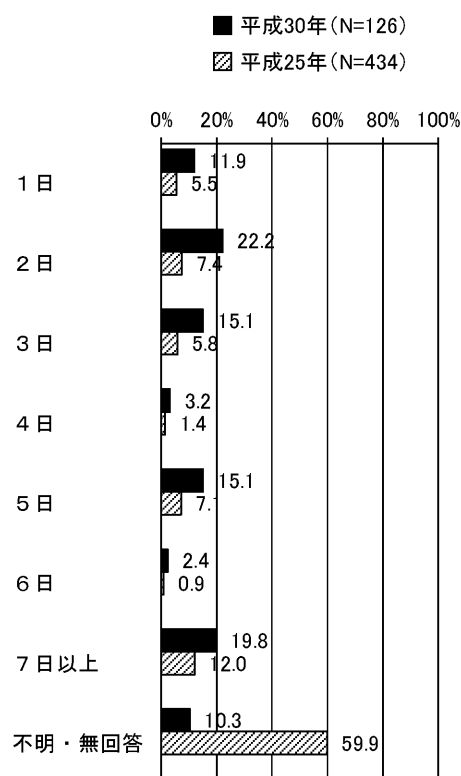
◆(「1」の場合)年間の希望日数



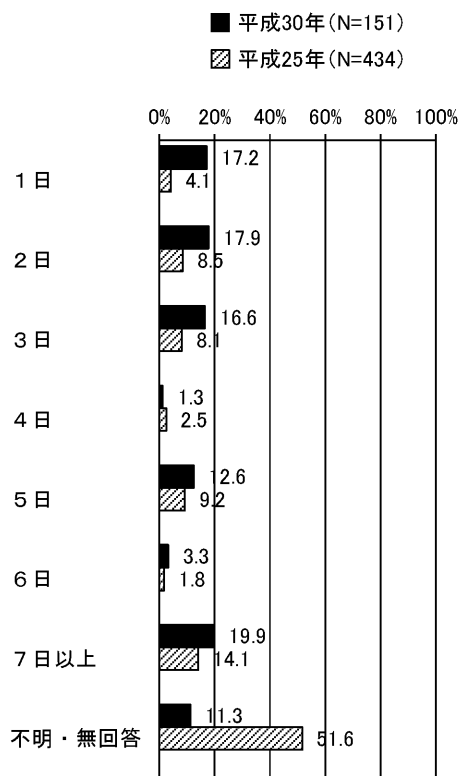
『①私用, リフレッシュ目的』を除き, 「7 日以上」の割合が最も高くなっています。

◆(「1」の場合)理由別の年間希望日数

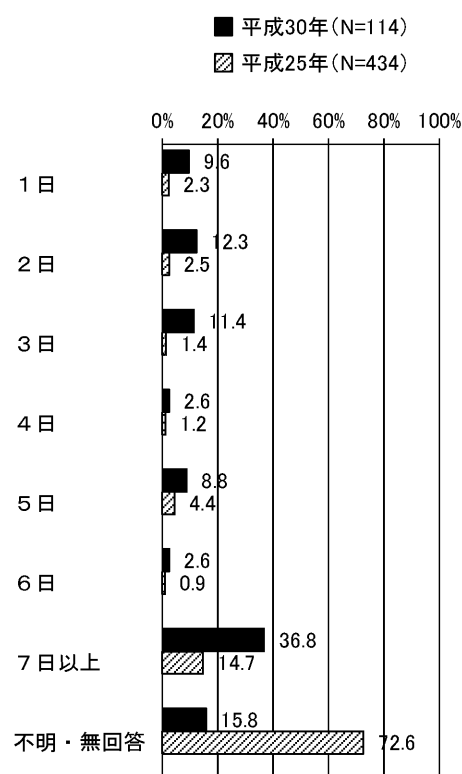
①私用, リフレッシュ目的



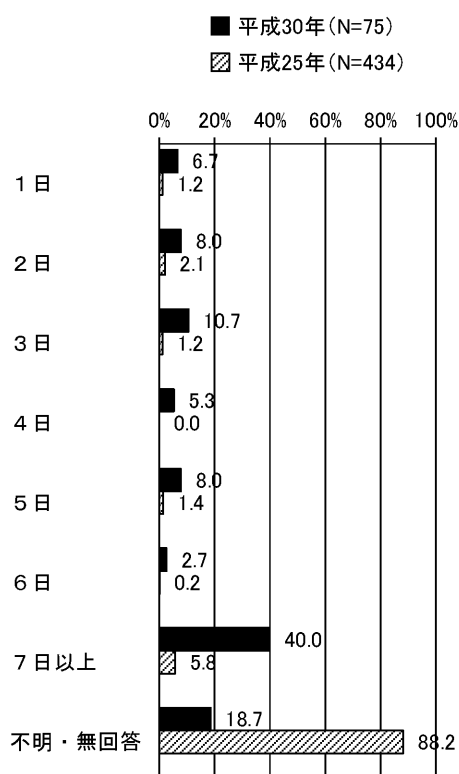
②冠婚葬祭, 兄弟姉妹の学校行事,
保護者や兄弟姉妹の病気等



③不定期の就労



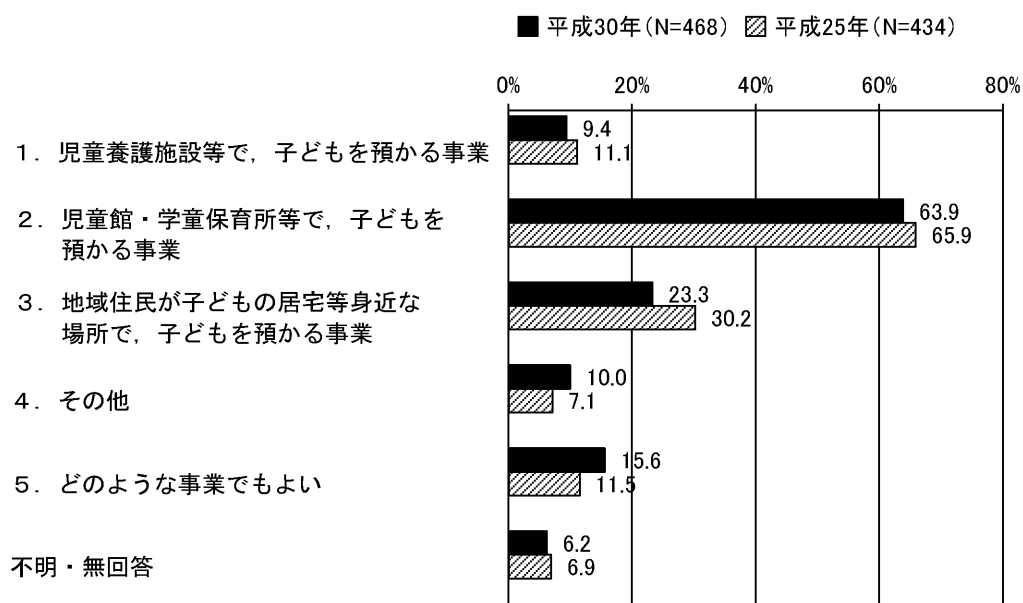
④その他



問 17(2) 日中に一時的にお子さまを預ける場合に利用したい事業はどれですか。
(〇はいくつでも)

「2. 児童館・学童保育所等で、子どもを預かる事業」が 63.9%と最も高く、次いで「3. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業」が 23.3%、「5. どのような事業でもよい」が 15.6%となっています。

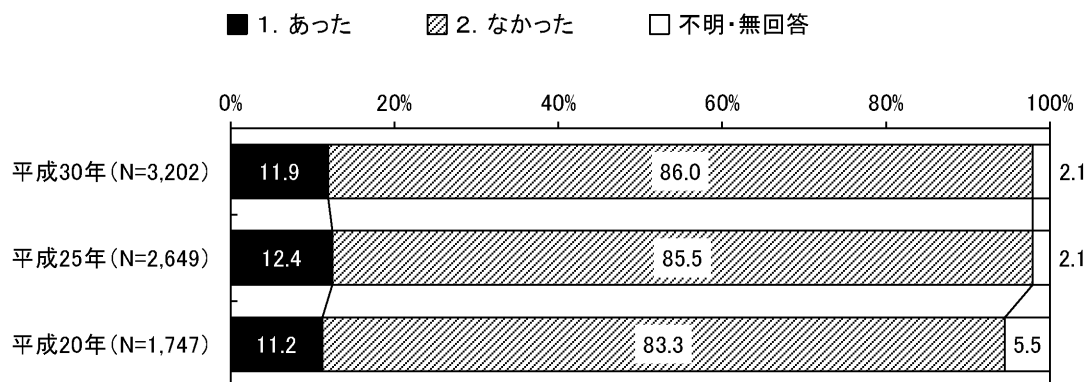
平成 25 年と比較すると、「3. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業」が 6.9 ポイント低くなっています。



6 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて

問 18(1) この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭，保護者・家族の病気等）により、宛名のお子さまを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む。）はありましたか。（○は1つ）

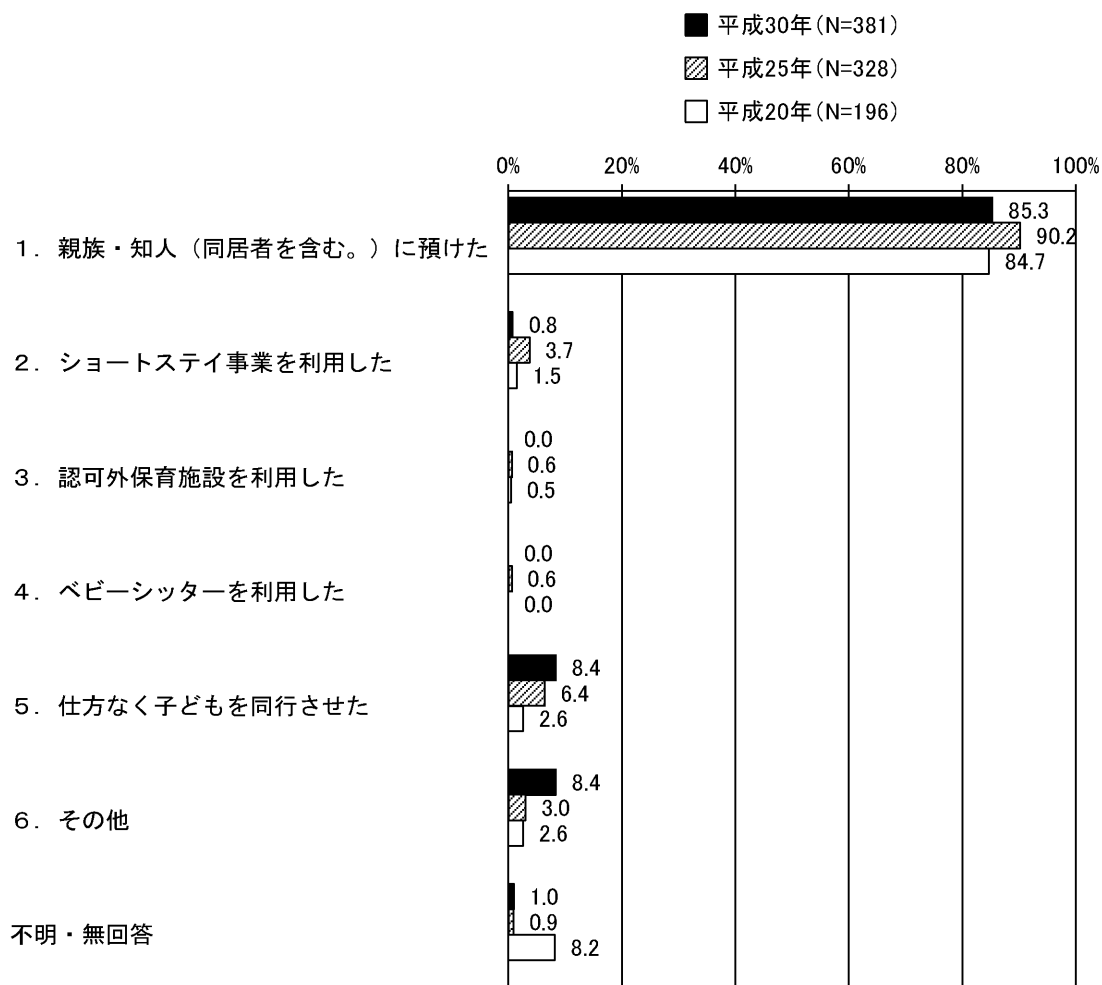
「1. あった」が11.9%，「2. なかった」が86.0％となっています。
過去調査と比較すると，特に大きな差はみられません。



**問 18(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(〇はいくつでも)
また、() 内にそれぞれの泊数をご記入ください。**

「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が 85.3%と最も高く、次いで「5. 仕方なく子どもを同行させた」「6. その他」が 8.4%となっています。

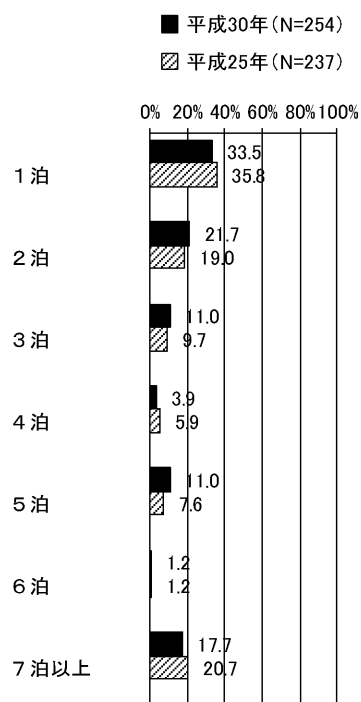
平成 20 年と比較すると、「5. 仕方なく子どもを同行させた」が 5.8 ポイント高くなっています。



年間の泊数は、『1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた』『5. 仕方なく子どもを同行させた』では「1日」の割合が最も高くなっています。

◆年間の泊数

1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた



2. ショートステイ事業を利用した

平成30年(N=3)

	件数
7泊以上	2
不明・無回答	1

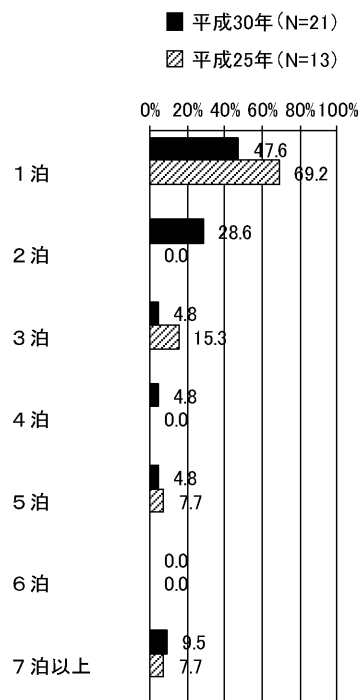
3. 認可外保育施設を利用した

有効回答はありません。

4. ベビーシッターを利用した

有効回答はありません。

5. 仕方なく子どもを同行させた



6. その他

平成30年(N=8)

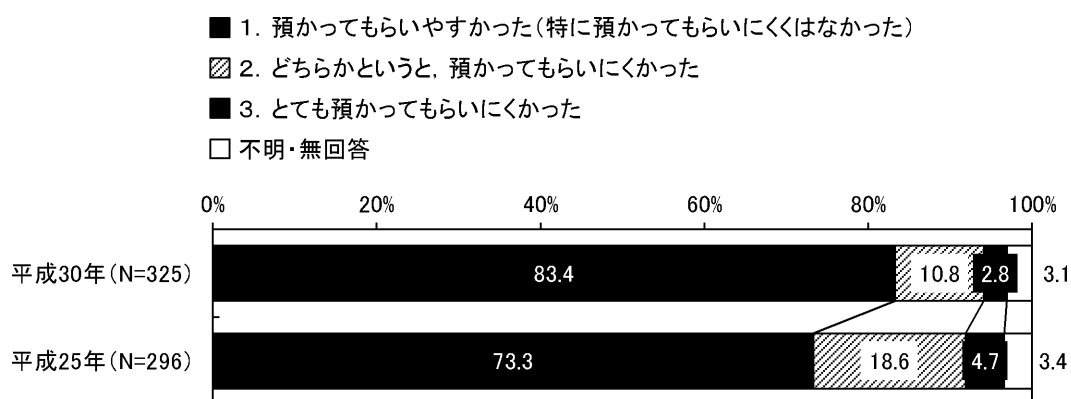
	件数
1泊	1
4泊	3
5泊	1
7泊以上	3

※不明・無回答除く

問 18(3) その際は預かってもらいやすい状況でしたか。(○は1つ)

「1. 預かってもらいやすかった（特に預かってもらいにくくはなかった）」が 83.4%と最も高く、次いで「2. どちらかという、預かってもらいにくかった」が 10.8%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 預かってもらいやすかった（特に預かってもらいにくくはなかった）」が 10.1 ポイント高くなっています。

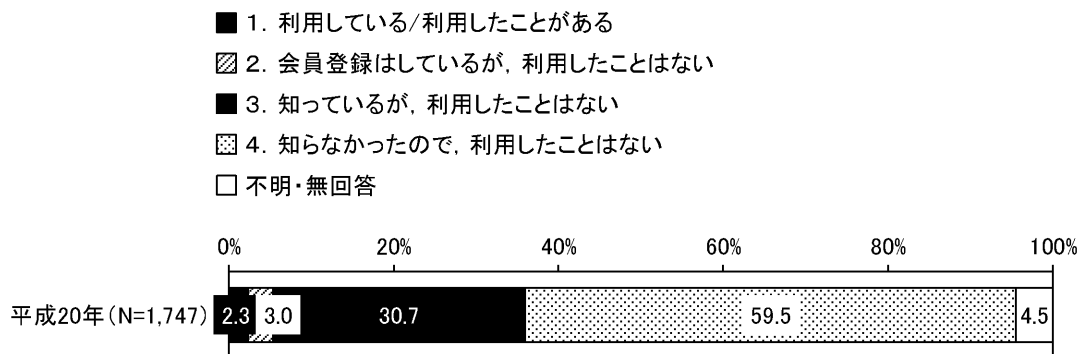
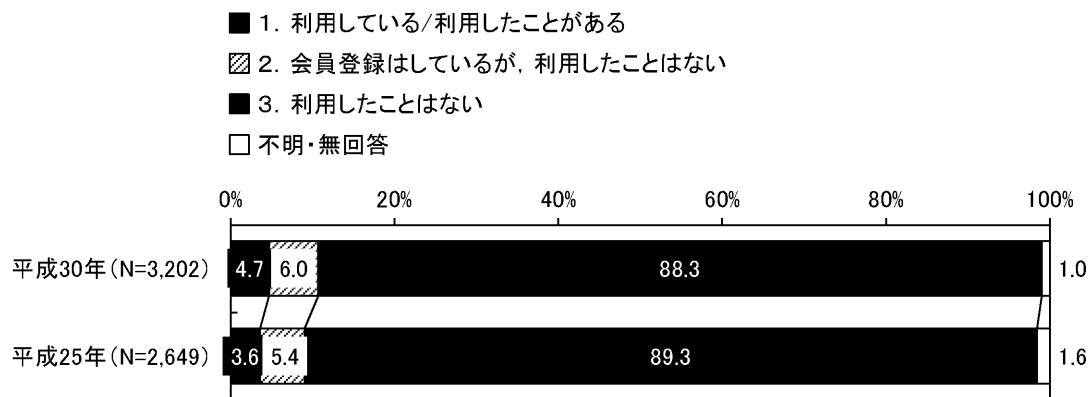


7 ファミリーサポート事業の利用について

問 19(1) ファミリーサポート事業を利用したことがありますか。(〇は1つ)

「3. 利用したことはない」が88.3%と最も高く、次いで「2. 会員登録はしているが、利用したことはない」が6.0%となっています。

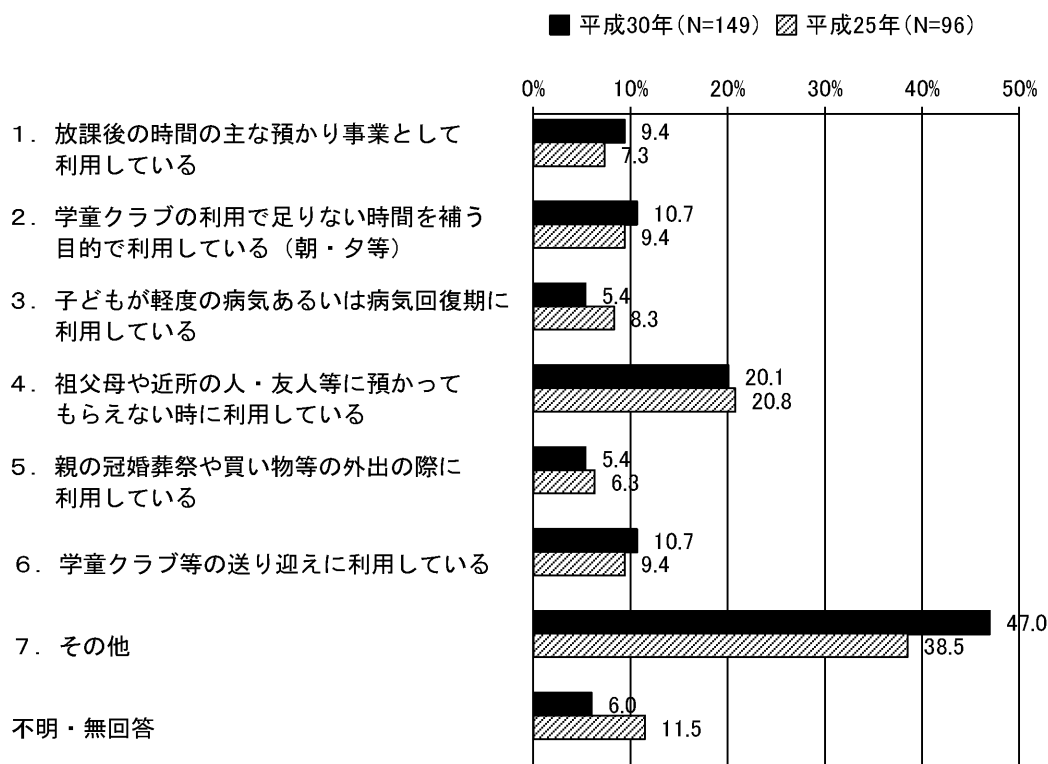
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 19(2) 事業を利用している目的は何ですか。(〇はいくつでも)

その他を除き、「4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している」が 20.1%と最も高く、次いで「2. 学童クラブの利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」「6. 学童クラブ等の送り迎えに利用している」が 10.7%となっています。

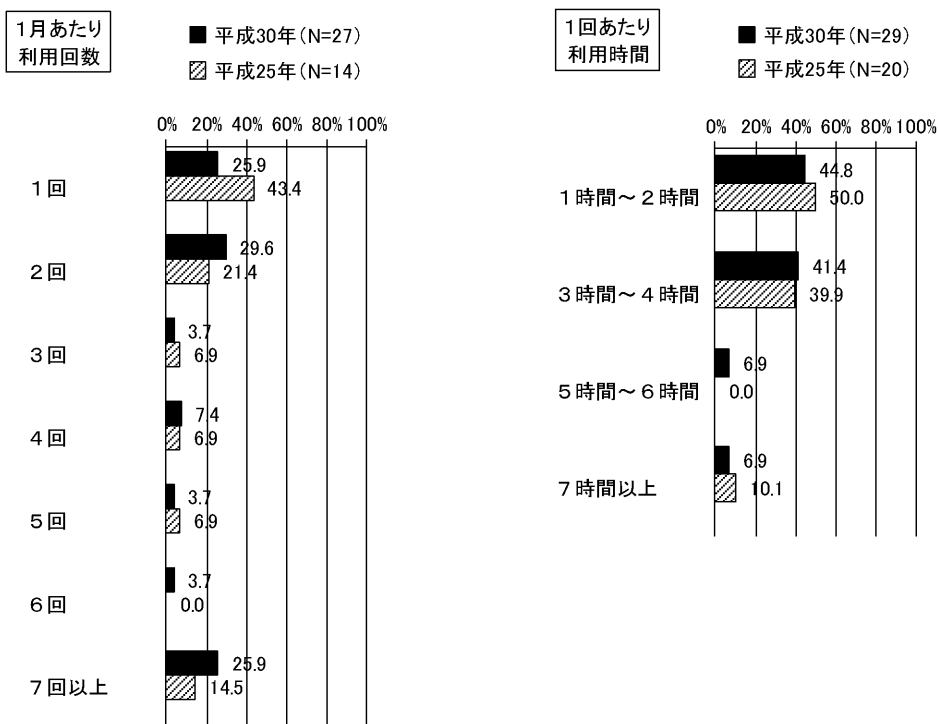
平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。



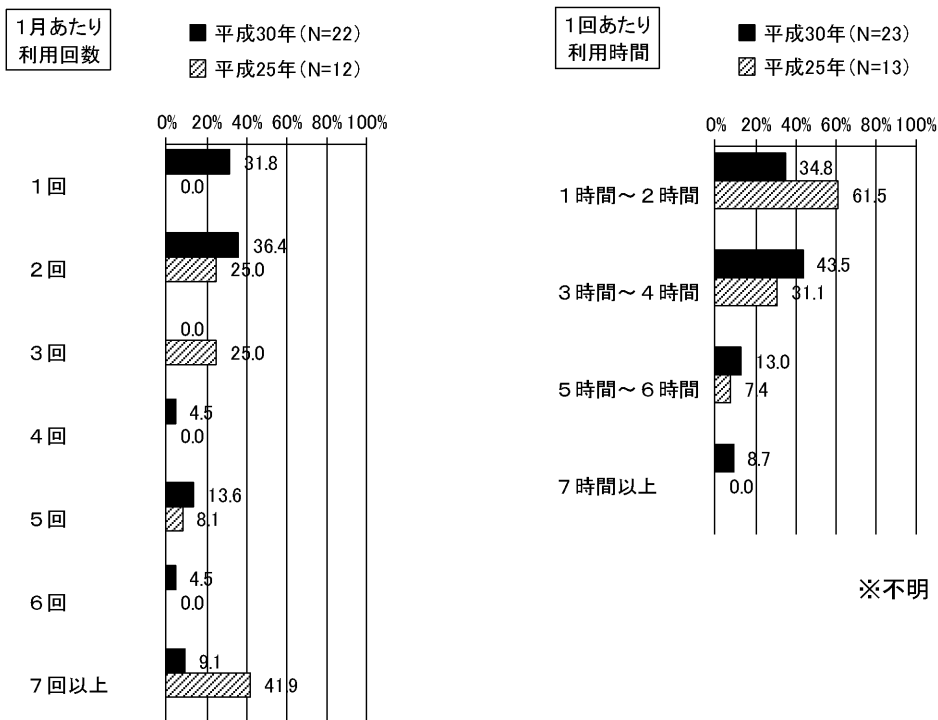
**問 19(3) 現在どの程度利用しており、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれの
() 内に回数と時間をご記入ください。**

1月あたりの利用回数は、①現在、②希望ともに「2回」の割合が最も高くなっています。1回あたりの利用時間は、①現在では「1時間～2時間」、②希望では「3時間～4時間」の割合が最も高くなっています。

①現在



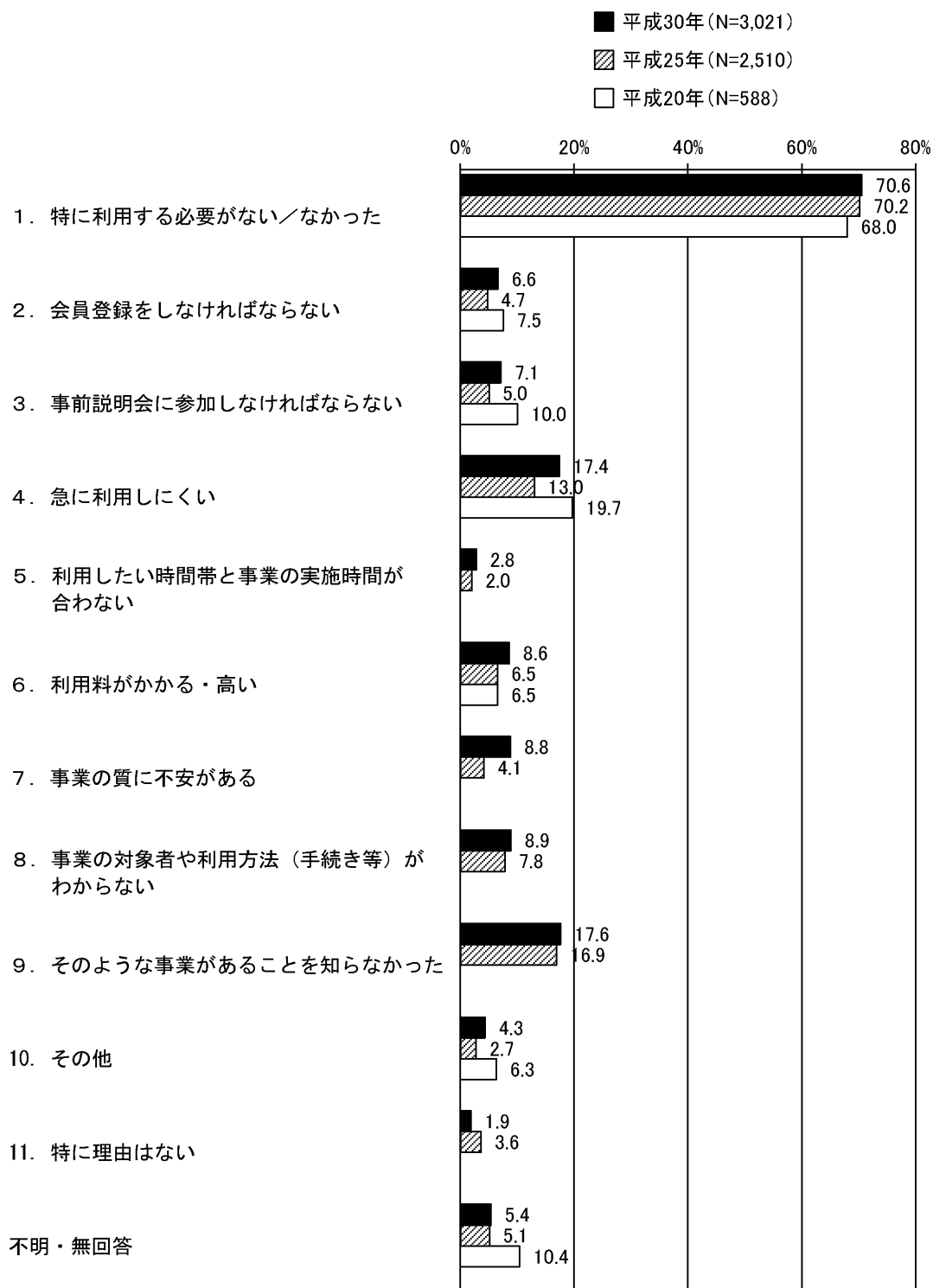
②希望



※不明・無回答除く

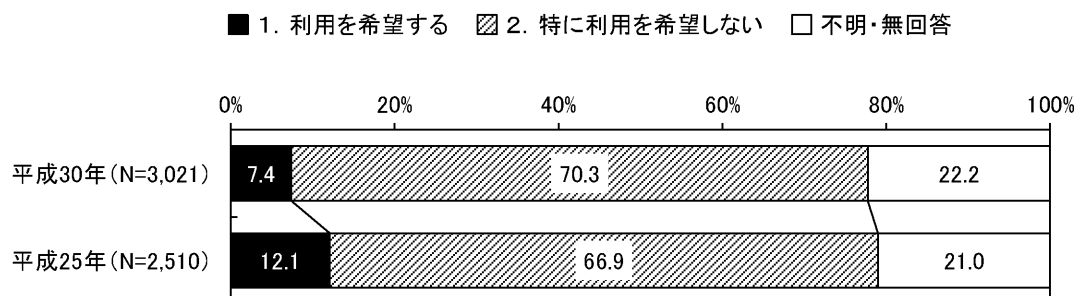
問 19(4) 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 特に利用する必要がない／なかった」が70.6%と最も高く、次いで「9. そのような事業があることを知らなかった」が17.6%、「4. 急に利用しにくい」が17.4%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 19(5) 今後、ファミリーサポート事業の利用を希望しますか。(〇は1つ)

「1. 利用を希望する」が7.4%、「2. 特に利用を希望しない」が70.3%となっています。
平成25年と比較すると、「1. 利用を希望する」が4.7ポイント低くなっています。

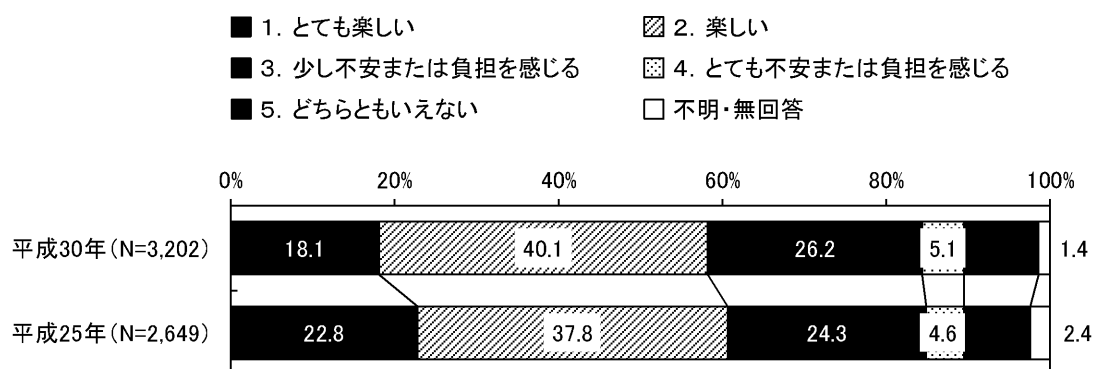


8 子育て支援・相談などについて

問 20 子育てをしている今の気持ちについてお答えください。(〇は1つ)

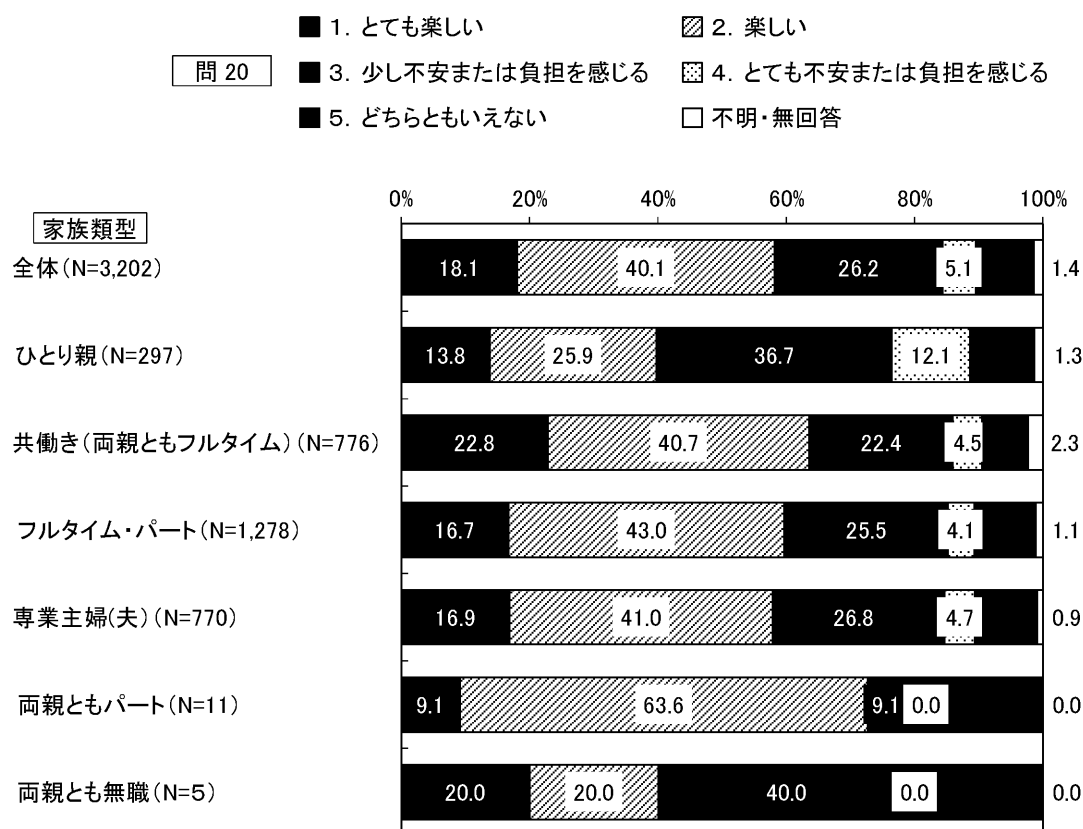
「2. 楽しい」が40.1%と最も高く、次いで「3. 少し不安または負担を感じる」が26.2%、「1. とても楽しい」が18.1%となっています。

平成25年と比較すると、「1. とても楽しい」が4.7ポイント低くなっています。



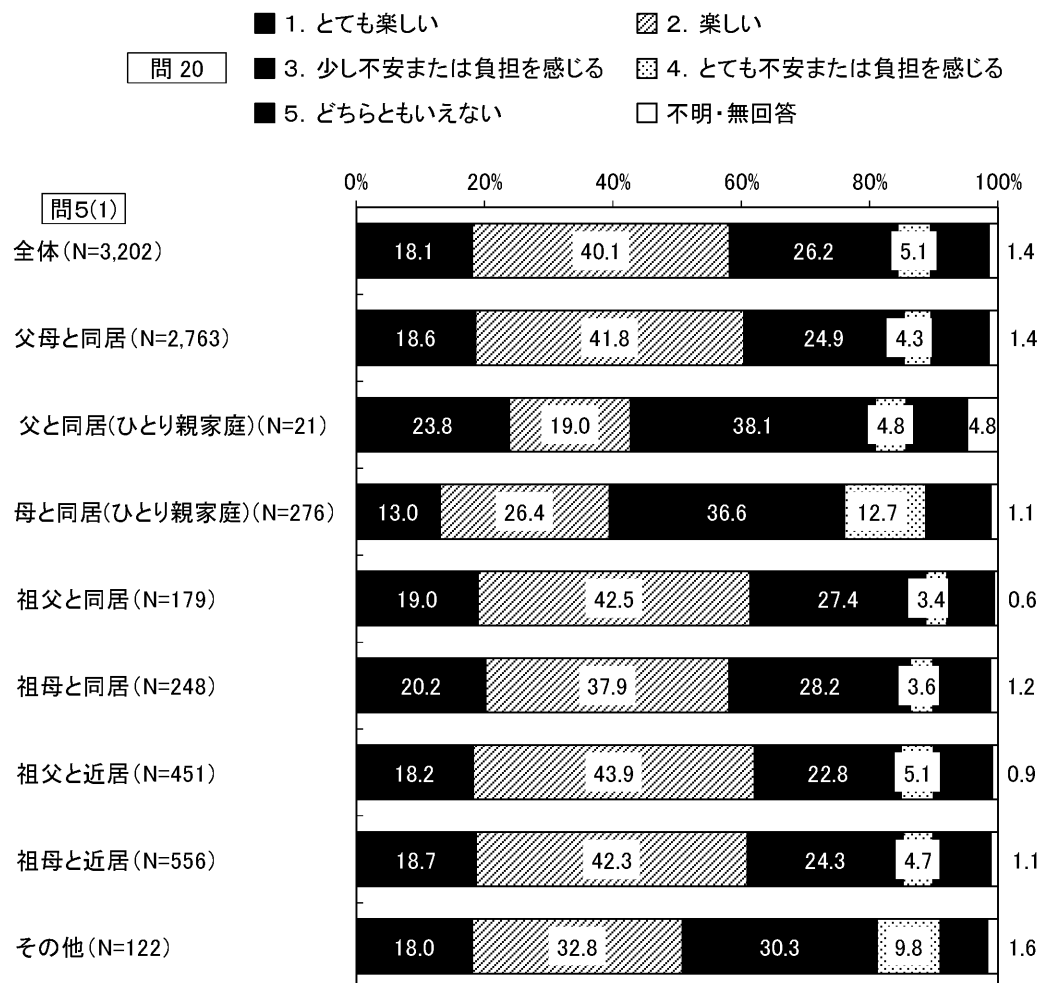
《問 20×家族類型別》

『ひとり親』『両親とも無職』では「3. 少し不安または負担を感じる」、それ以外では「2. 楽しい」の割合が最も高くなっています。



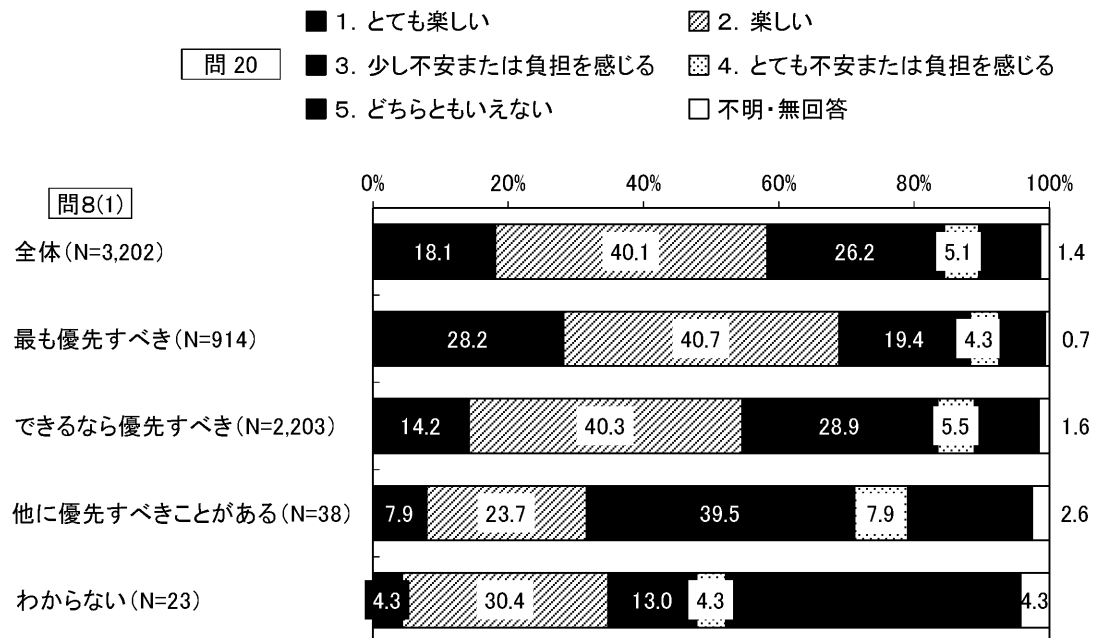
《問 20×問 5(1)同居・近居の状況別》

『父と同居(ひとり親家庭)』『母と同居(ひとり親家庭)』では「3. 少し不安または負担を感じる」, それ以外では「2. 楽しい」の割合が最も高くなっています。



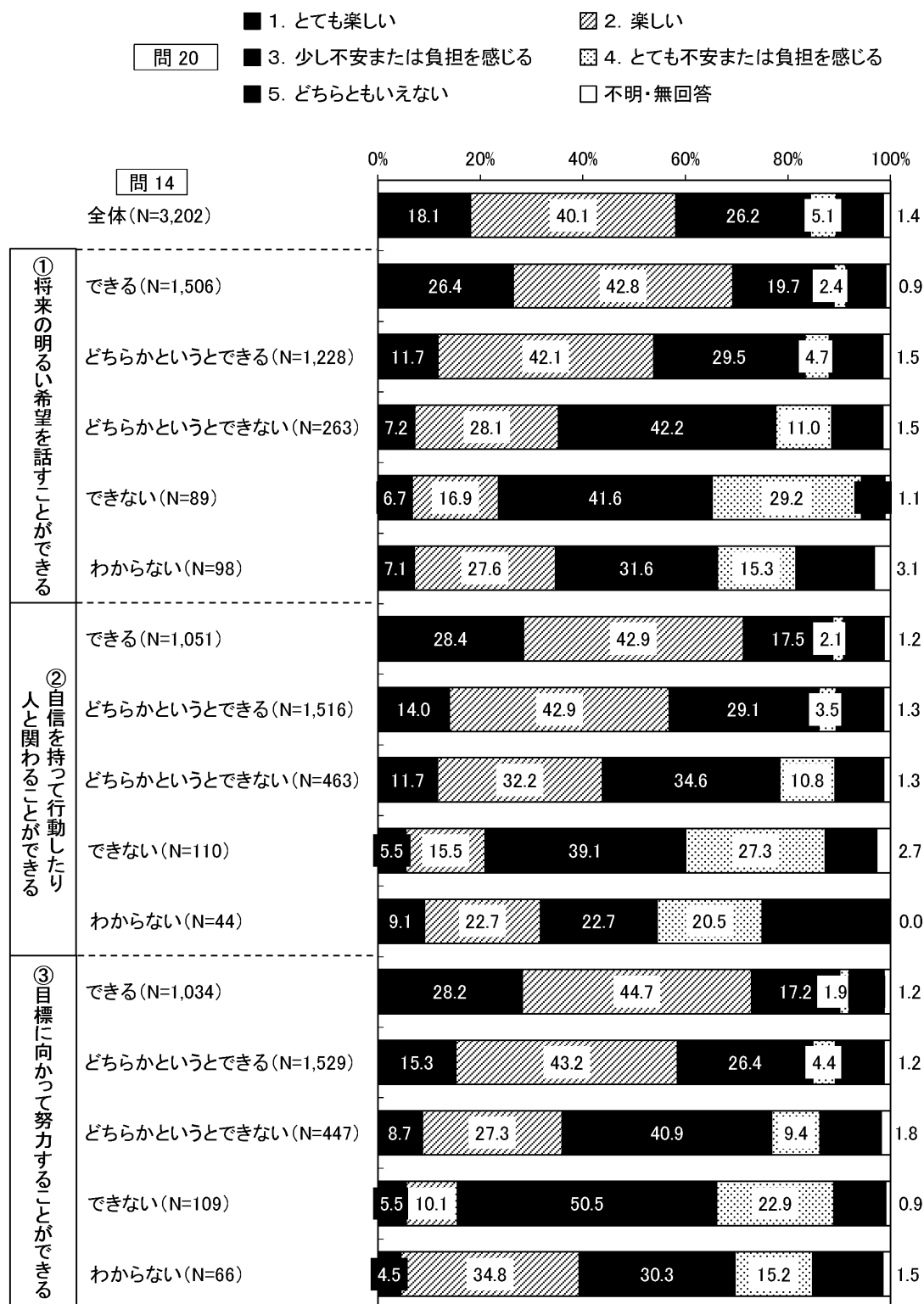
《問 20×問 8(1)子育てにける時間の優先度別》

子育てにける時間の優先度が高いほど『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



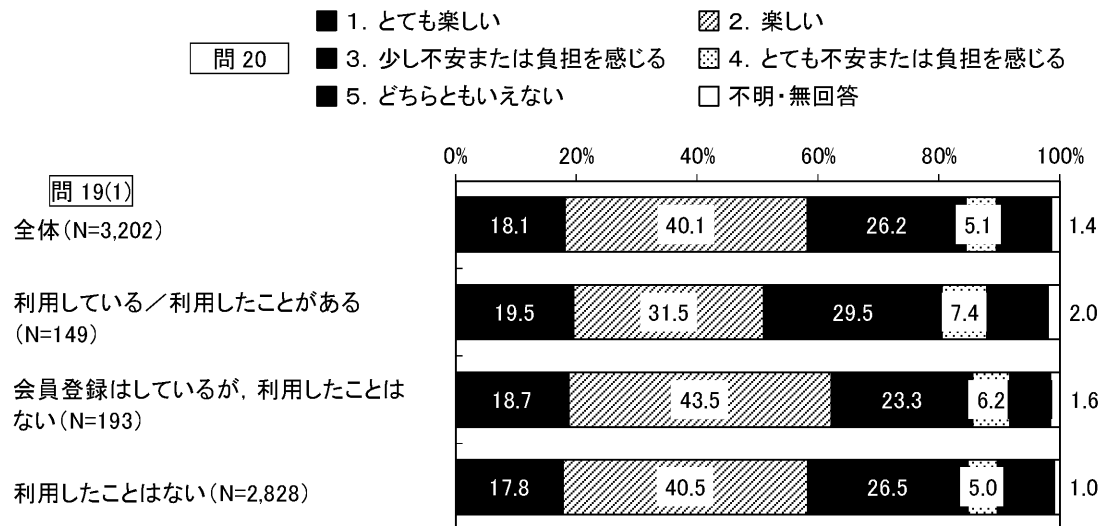
《問 20×問 14 子どもの様子別》

子どもの自己肯定感が高いほど『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 20×問 19(1)ファミリーサポート事業の利用経験別》

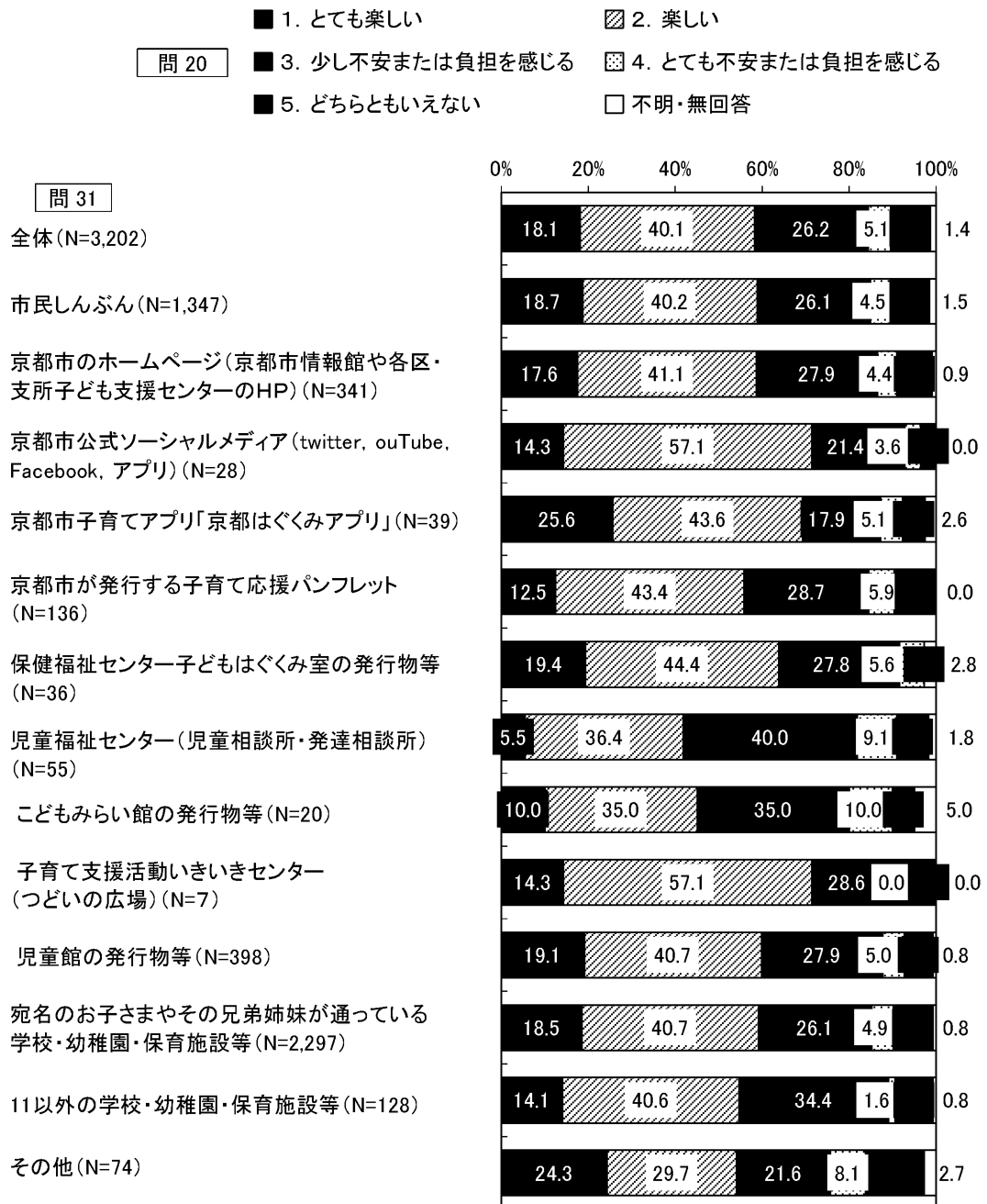
「利用している／利用したことがある」で『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』の割合が他の区分に比べ低くなっています。



<<問 20×問 31 子育てに関する情報の入手方法別>>

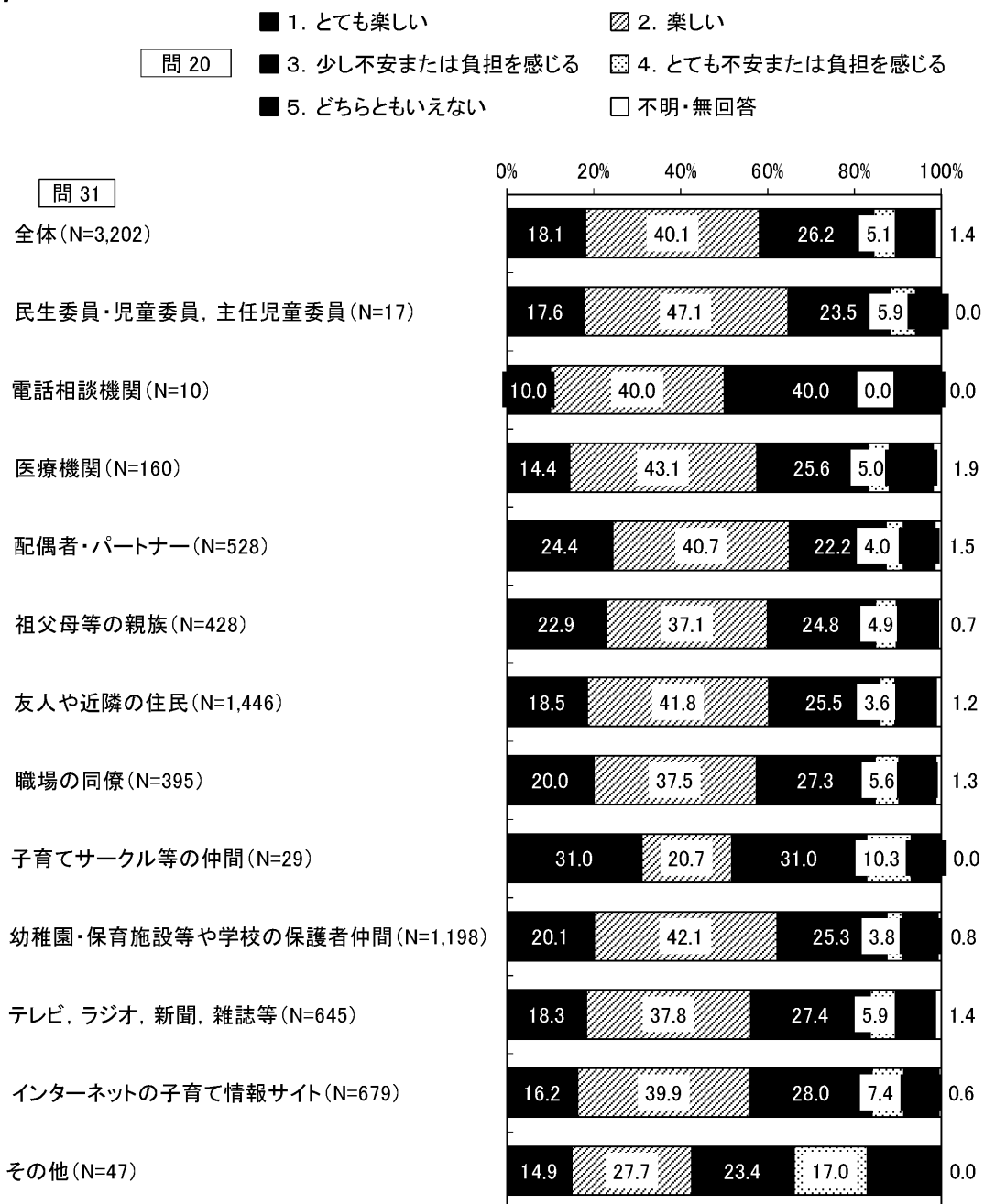
①行政では、[児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）][こどもみらい館の発行物等]で『不安または負担を感じる（「3. 少し不安または負担を感じる」と「4. とても不安または負担を感じる」の合計）』が4割を超えています。

①行政



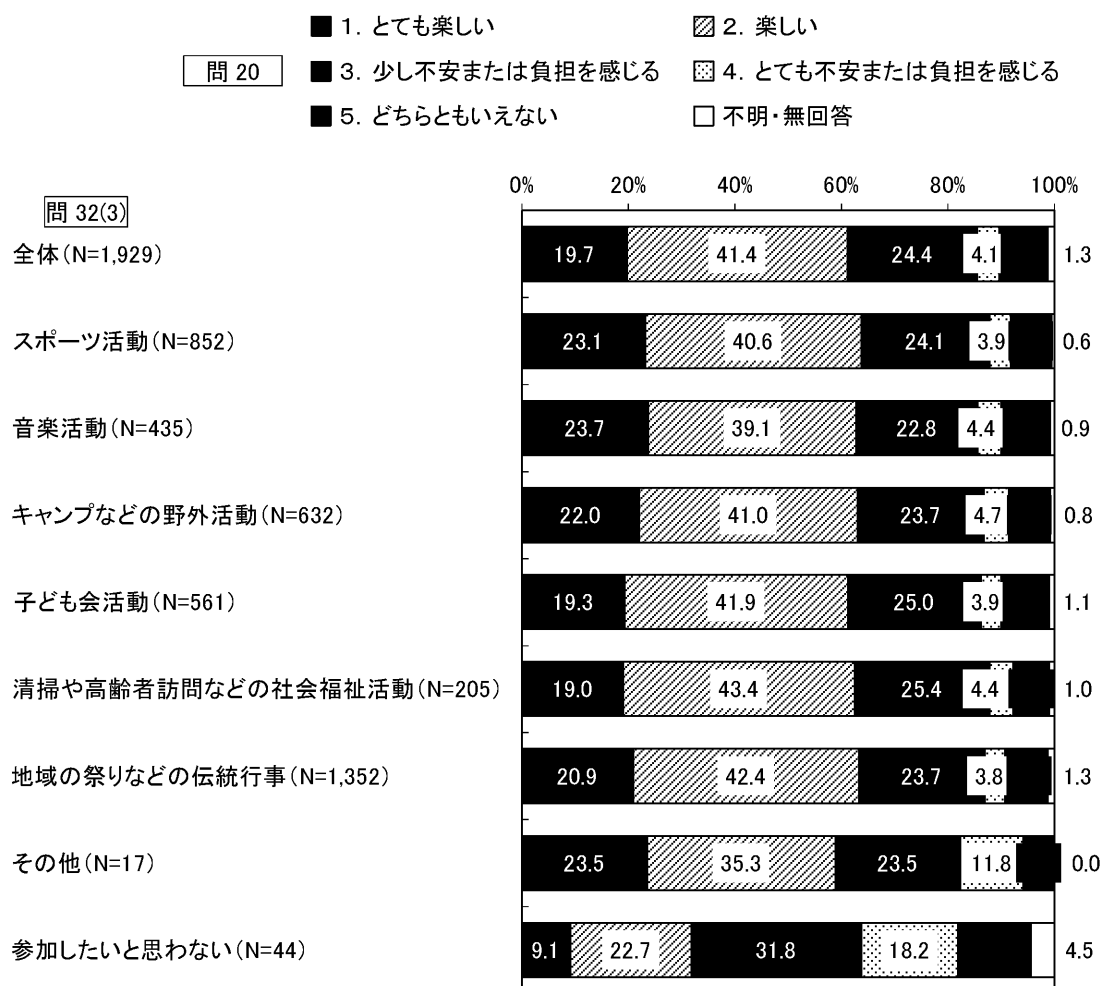
②民間では、情報の入手方法の違いによる大きな差はみられません。

②民間



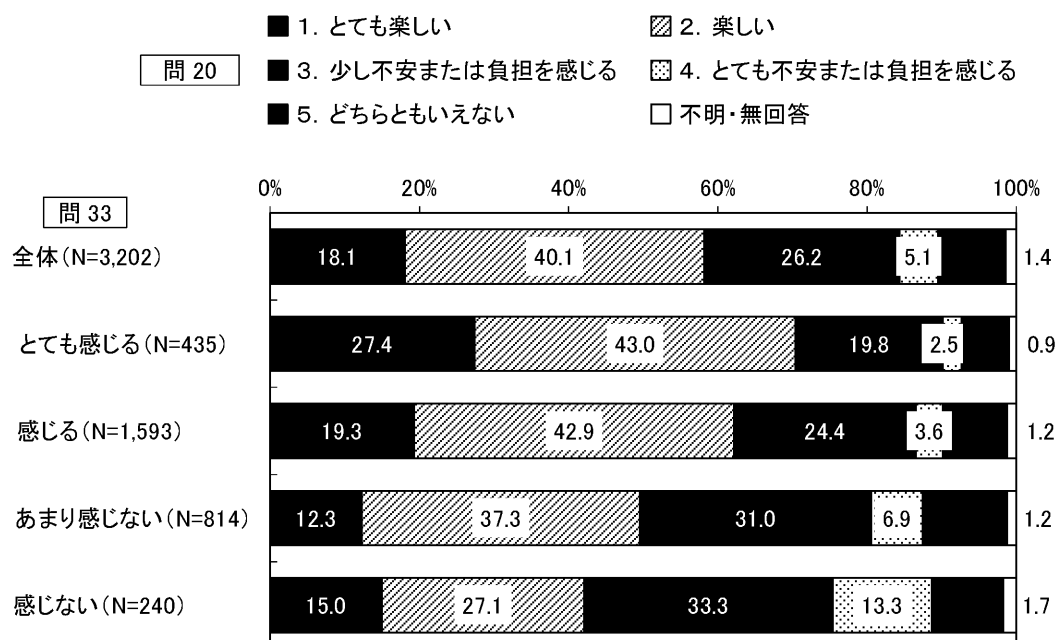
《問 20×問 32(3)参加しているまたは今後、参加したいと思う事業別》

「参加したいと思わない」で『楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）』の割合が他の区分に比べ低くなっています。



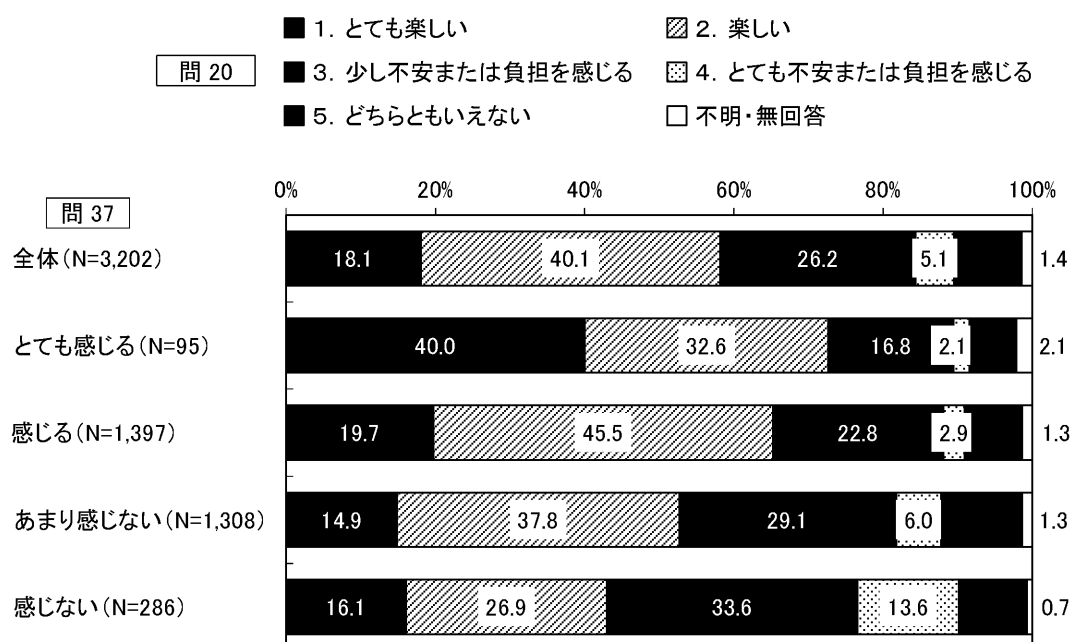
《問 20×問 33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じている方ほど『楽しい（「１．とても楽しい」と「２．楽しい」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



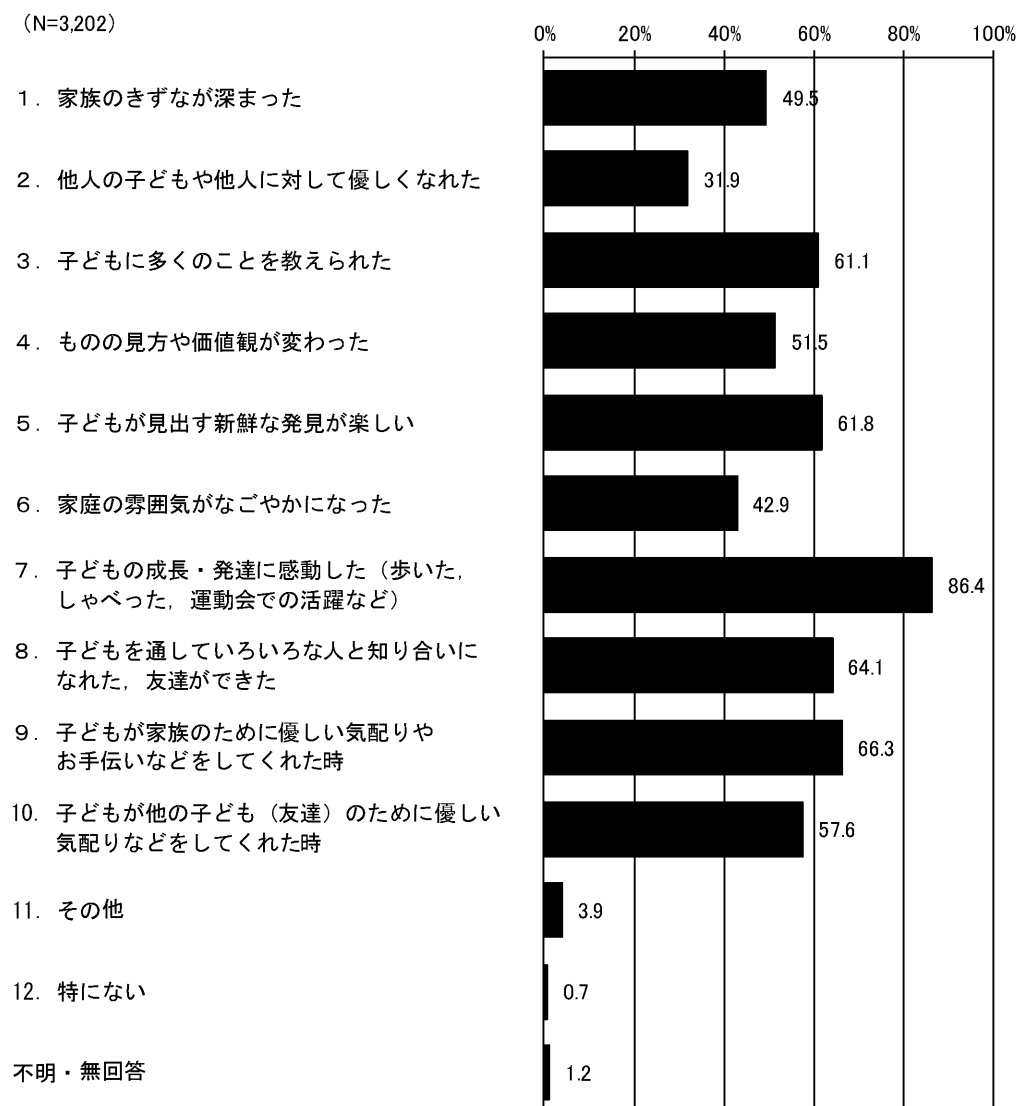
《問 20×問 37 京都市は子育てしやすいまちだと感じるか別》

京都市は子育てしやすいまちだと感じている方ほど『楽しい（「１．とても楽しい」と「２．楽しい」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



問 21 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と最も感じることを、感じる時についてお答えください。（〇はいくつでも）

「7. 子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」が 86.4%と最も高く、次いで「9. 子どもが家族のために優しい気配りやお手伝いなどをしてくれた時」が 66.3%、「8. 子どもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた」が 64.1%となっています。

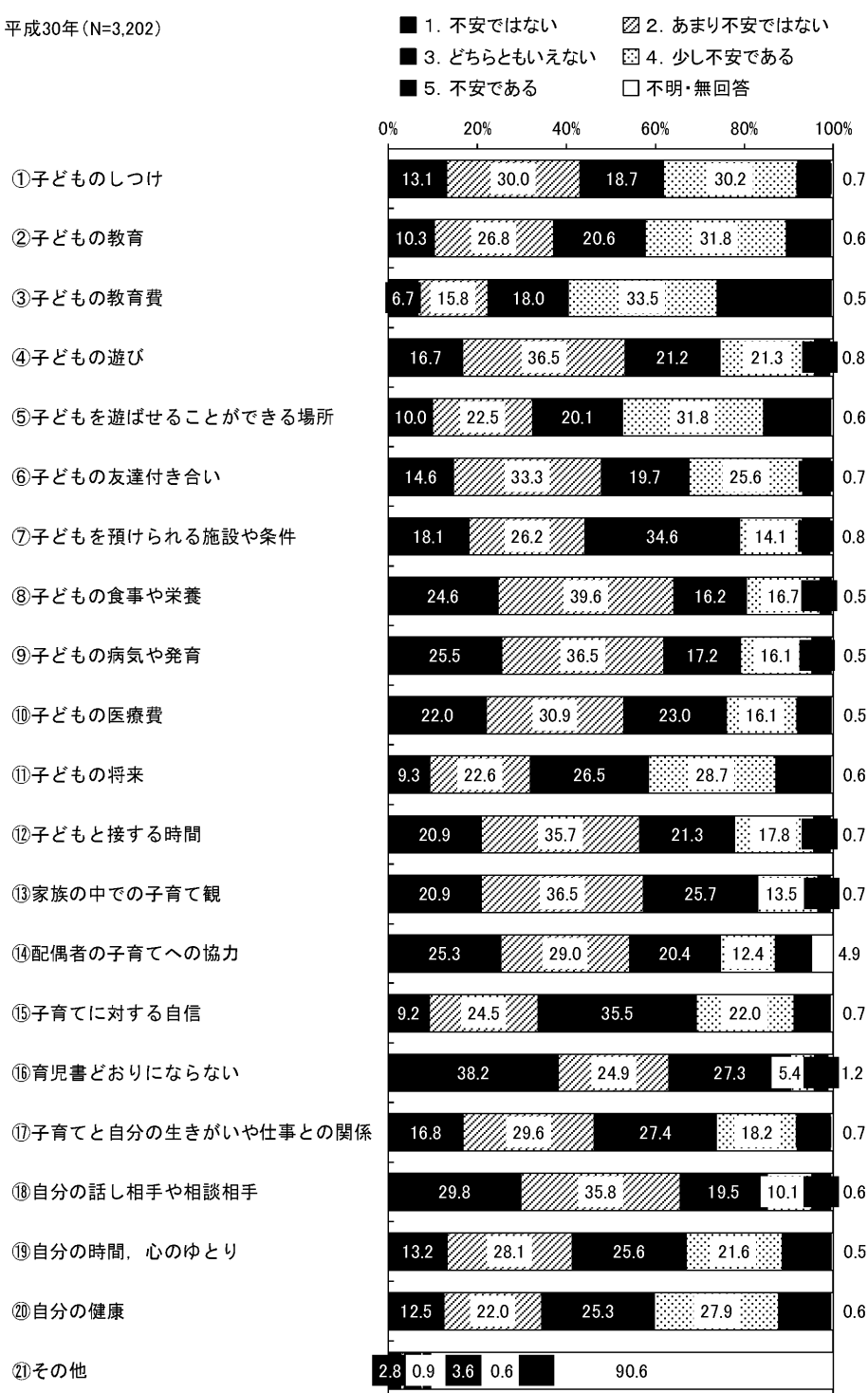


問 22 宛名のお子さまを育てていて、日頃不安に感じていることはありますか。(〇はそれぞれ1つつ)

『不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)』は、[③子どもの教育費]が59.1%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が46.9%、[②子どもの教育]が41.7%、[⑪子どもの将来]が41.0%となっています。

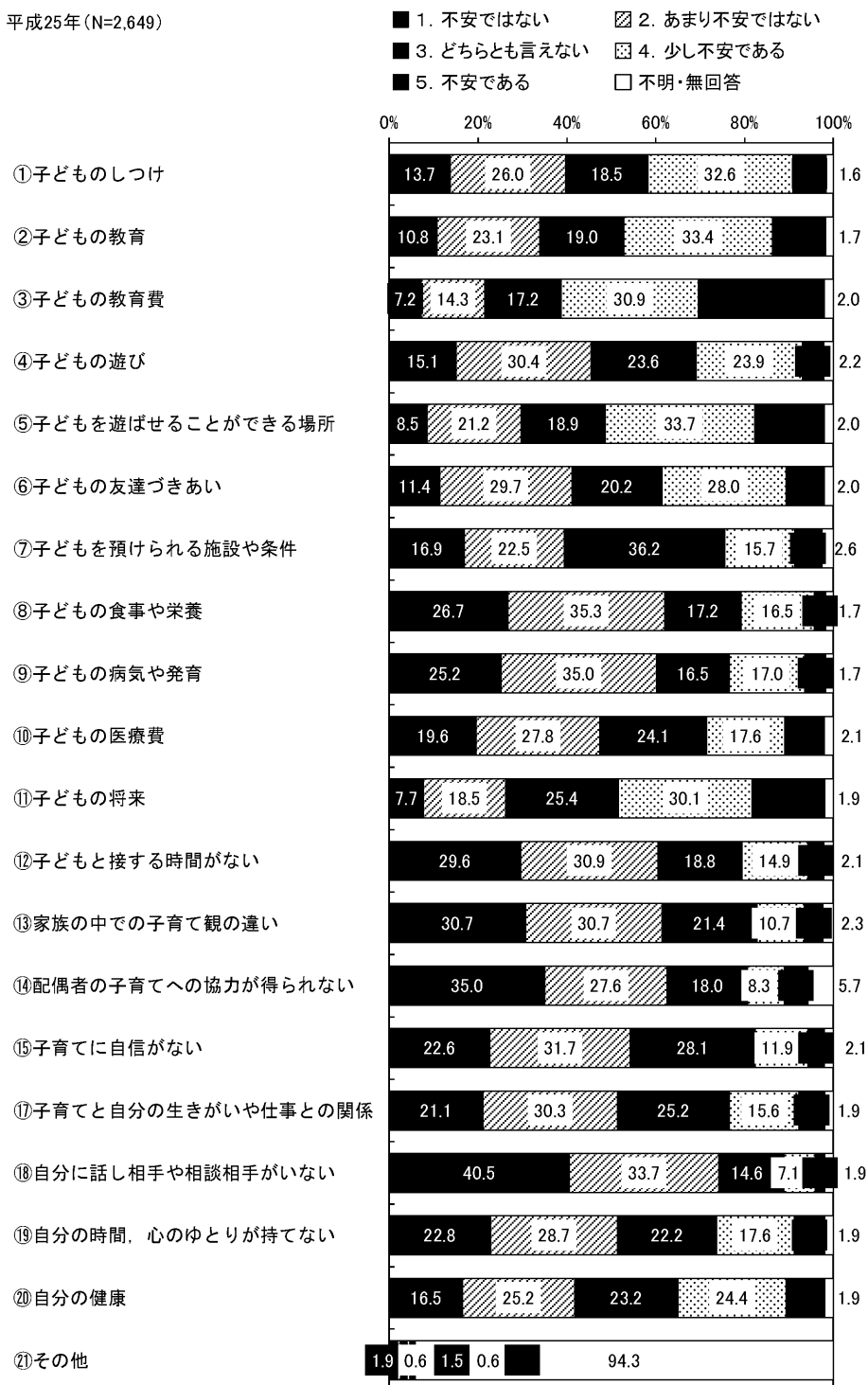
『不安ではない(「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計)』は、[⑱自分の話し相手や相談相手]が65.6%と最も高く、次いで[⑧子どもの食事や栄養]が64.2%、[⑯育児書どおりにならない]が63.1%となっています。

平成30年(N=3,202)



平成25年と比較すると、『不安ではない（「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計）』では、[⑮子育てに対する自信]が20.6ポイント、[⑲自分の時間、心のゆとり]が10.2ポイント低く、「④子どもの遊び」が7.7ポイント、「⑥子どもの友達付き合い」が6.8ポイント高くなっています。

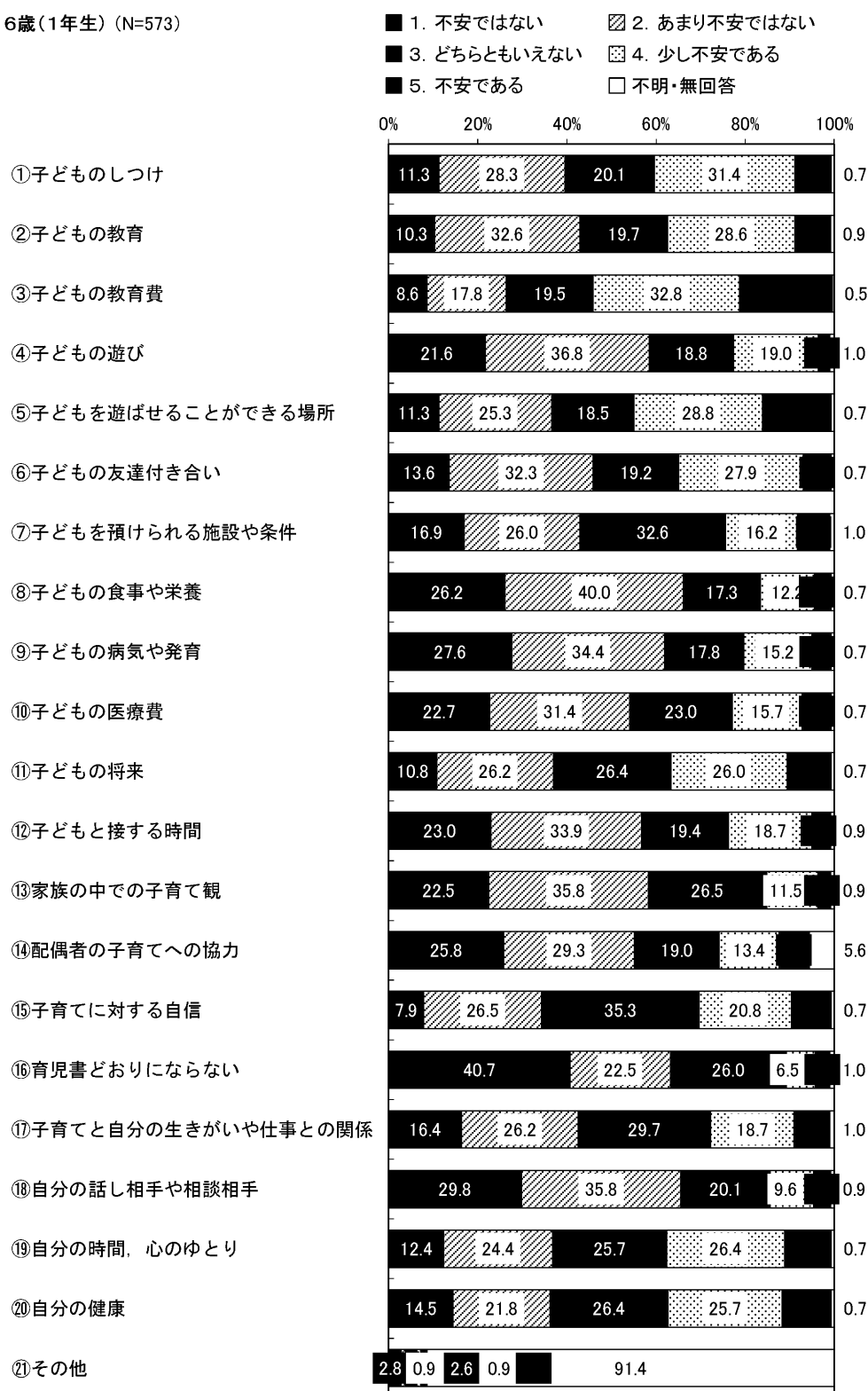
平成25年(N=2,649)



《問 22×問 1 子どもの年齢（学年）別》

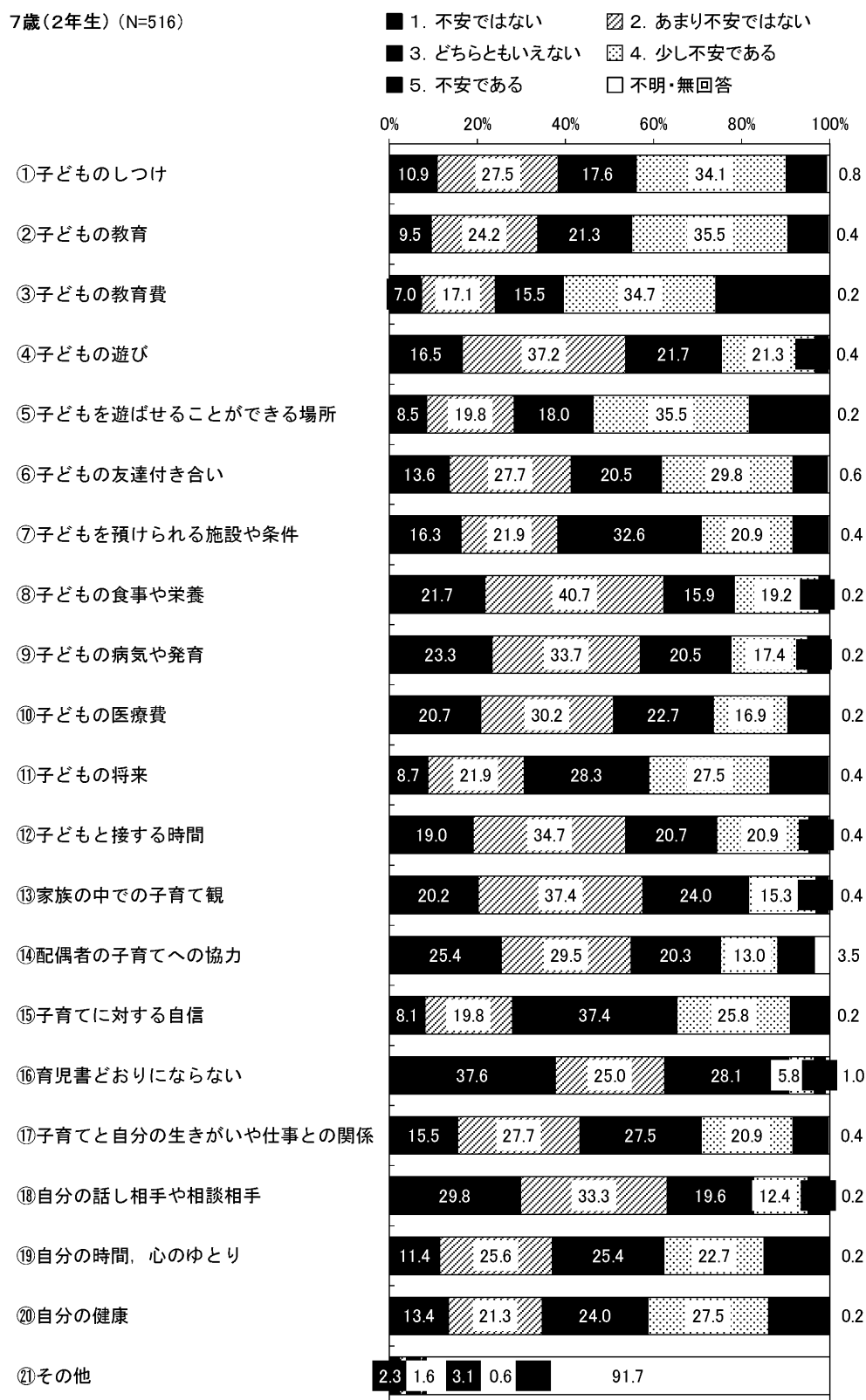
6 歳（1 年生）について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費] が 53.6% と最も高く、次いで [⑤子どもを遊ばせることができる場所] が 44.2%，[①子どものしつけ] が 39.6% となっています。

6 歳（1 年生）（N=573）



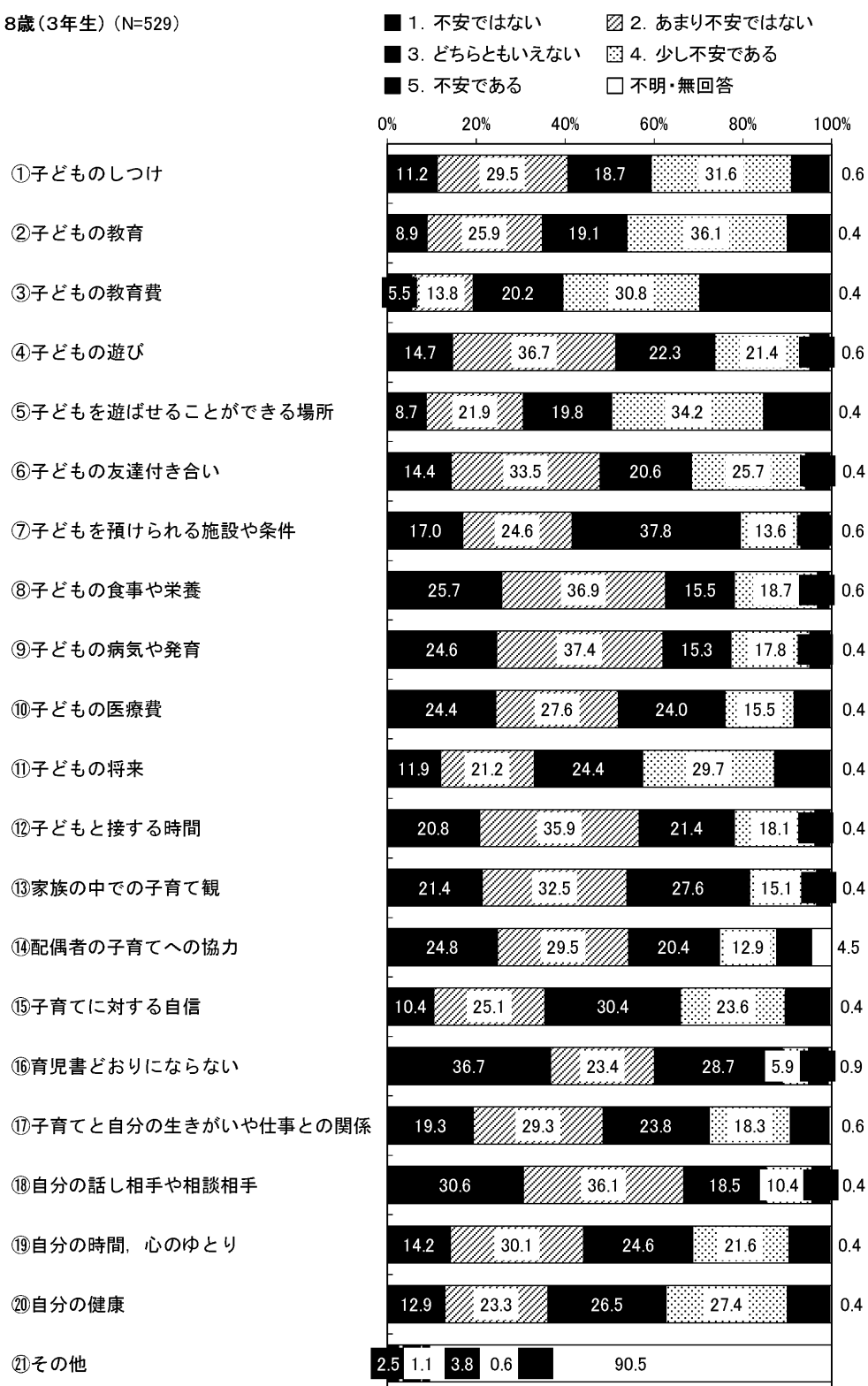
7歳（2年生）について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が60.3%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が53.5%，[②子どもの教育]が44.6%となっています。

7歳（2年生）（N=516）



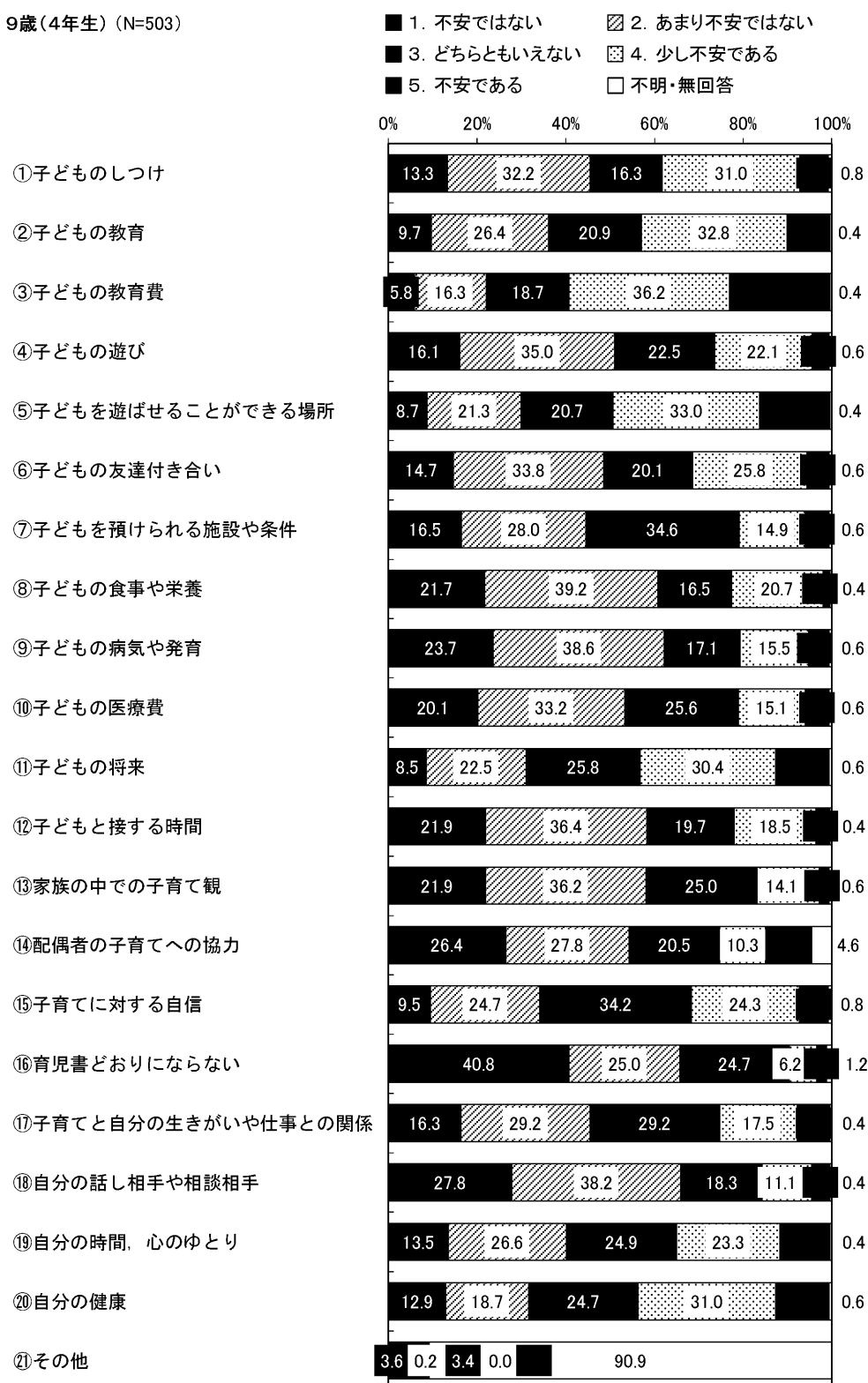
8歳（3年生）について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が60.1%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が49.1%、[②子どもの教育]が45.7%となっています。

8歳（3年生）（N=529）

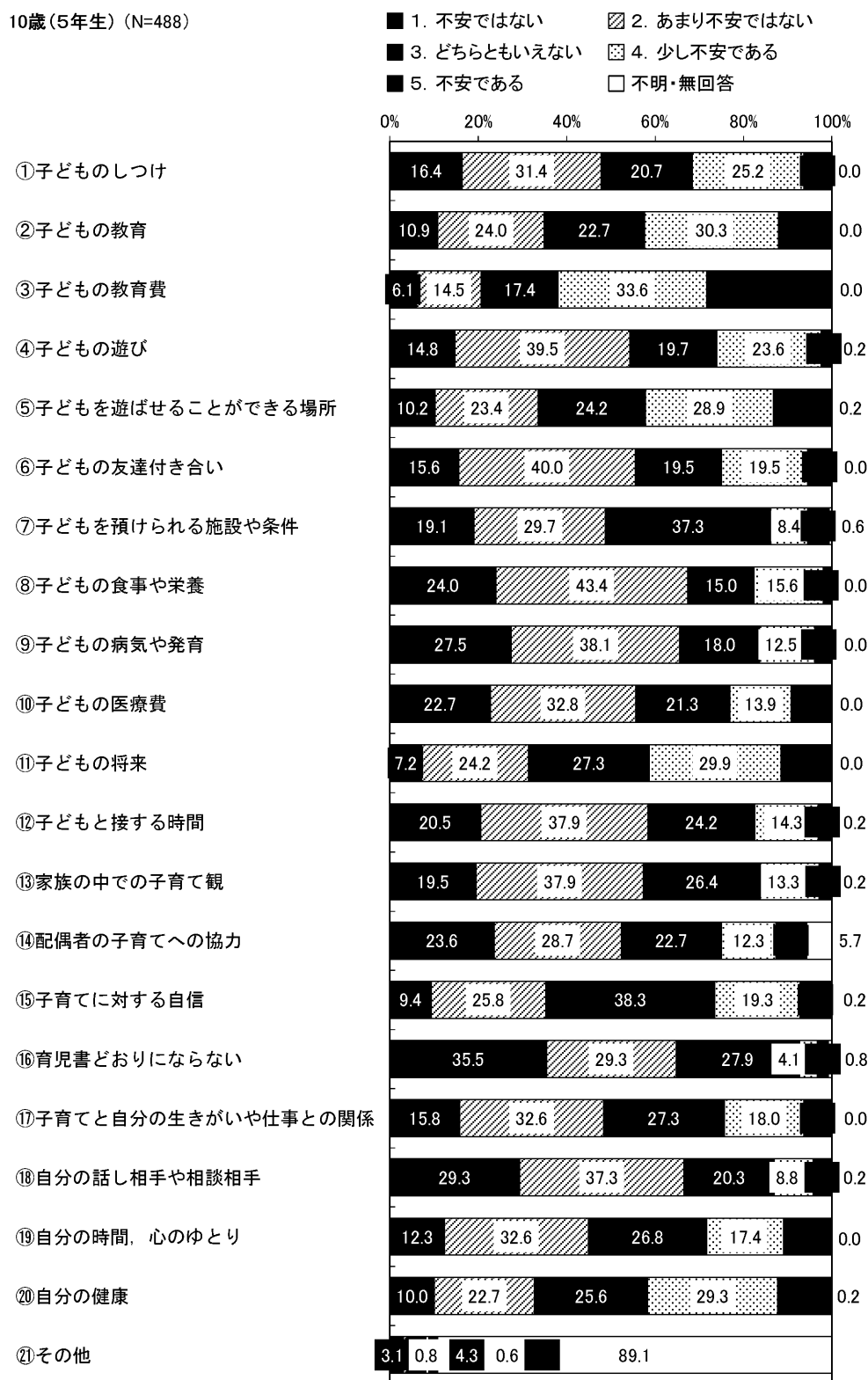


9歳（4年生）について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が58.9%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が48.9%、[②⑩自分の健康]が43.1%となっています。

9歳（4年生）（N=503）

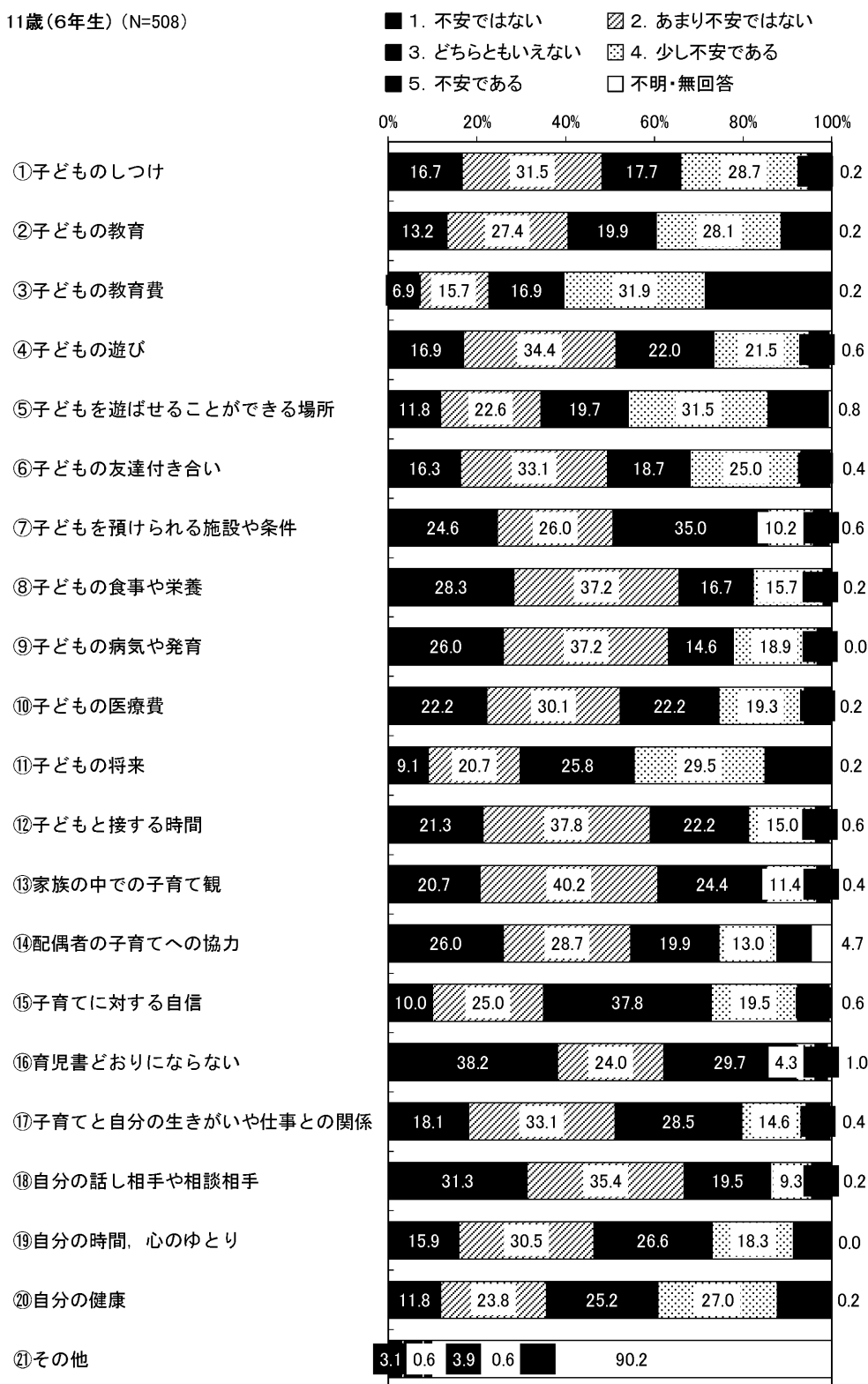


10歳（5年生）について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が61.9%と最も高く、次いで[②子どもの教育]が42.4%、[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が42.0%となっています。



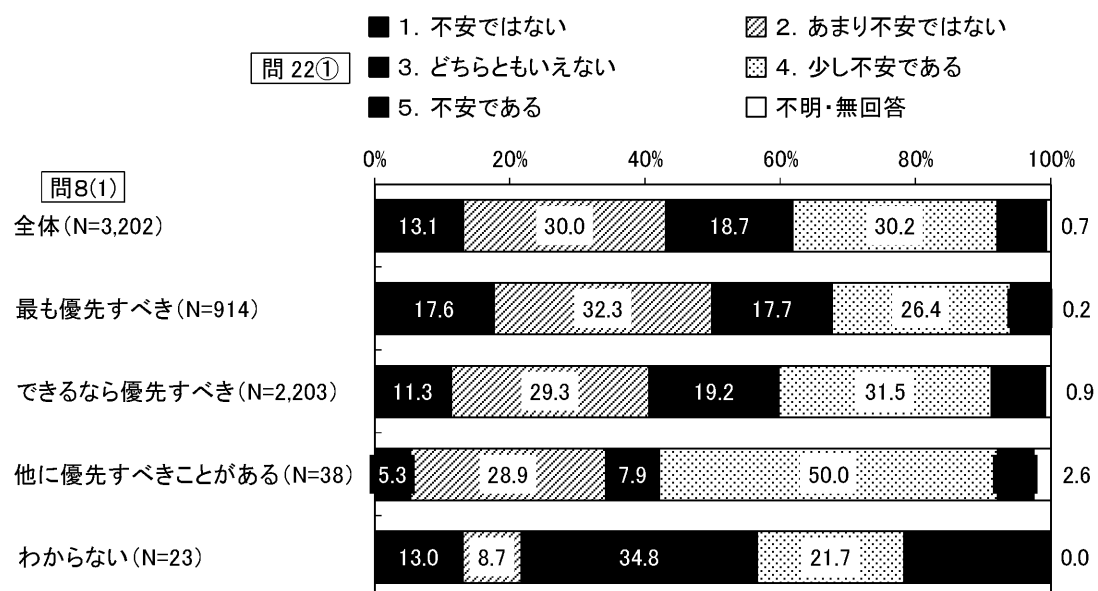
11歳（6年生）について、『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』は、[③子どもの教育費]が60.2%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が45.1%、[⑪子どもの将来]が44.3%となっています。

11歳（6年生）（N=508）



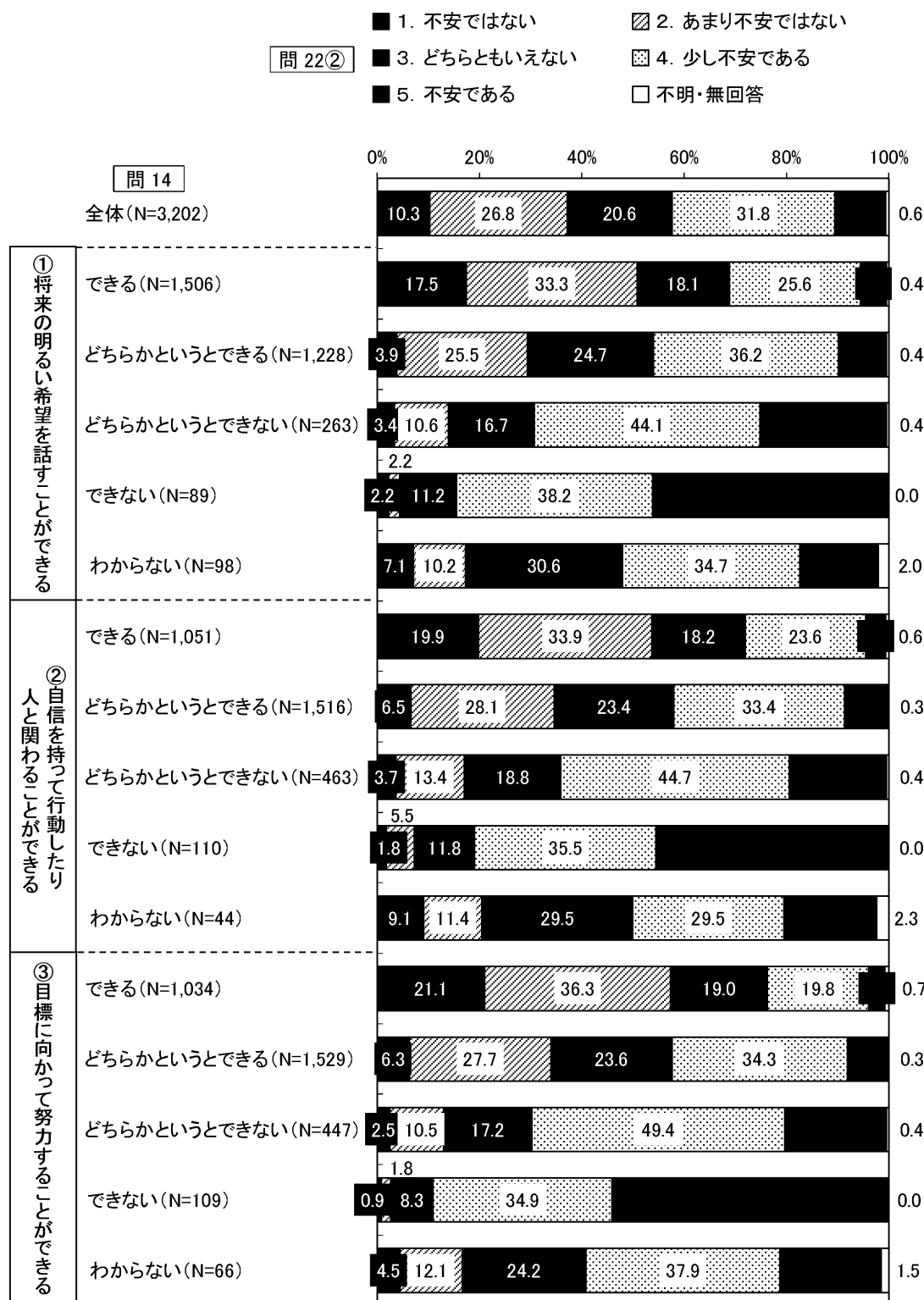
《問 22①子どものしつけ×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

①子どものしつけについて、子育てにかかる時間の優先度が高いほど『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



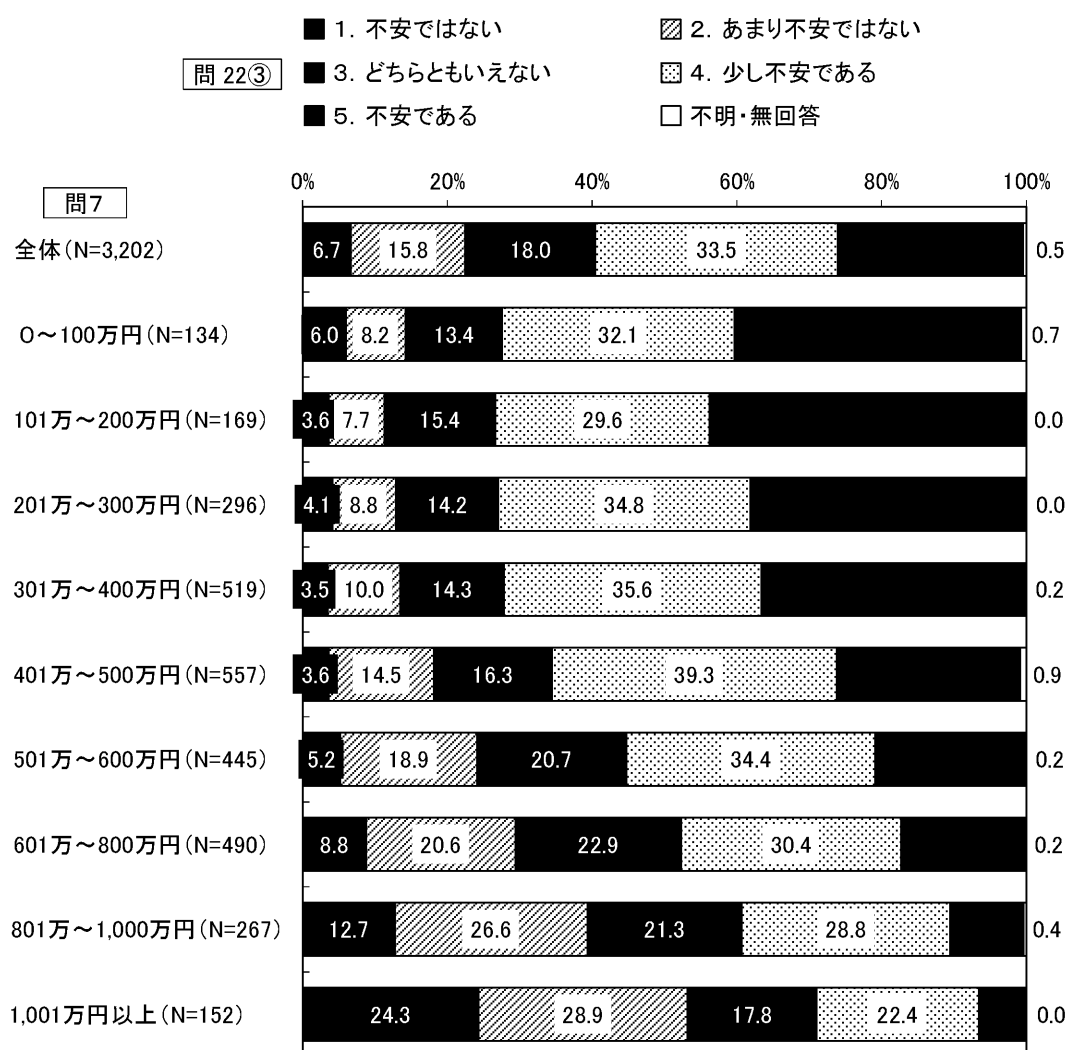
《問 22②子どもの教育×問 14 子どもの様子別》

②子どもの教育について、子どもの自己肯定感が高いほど『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



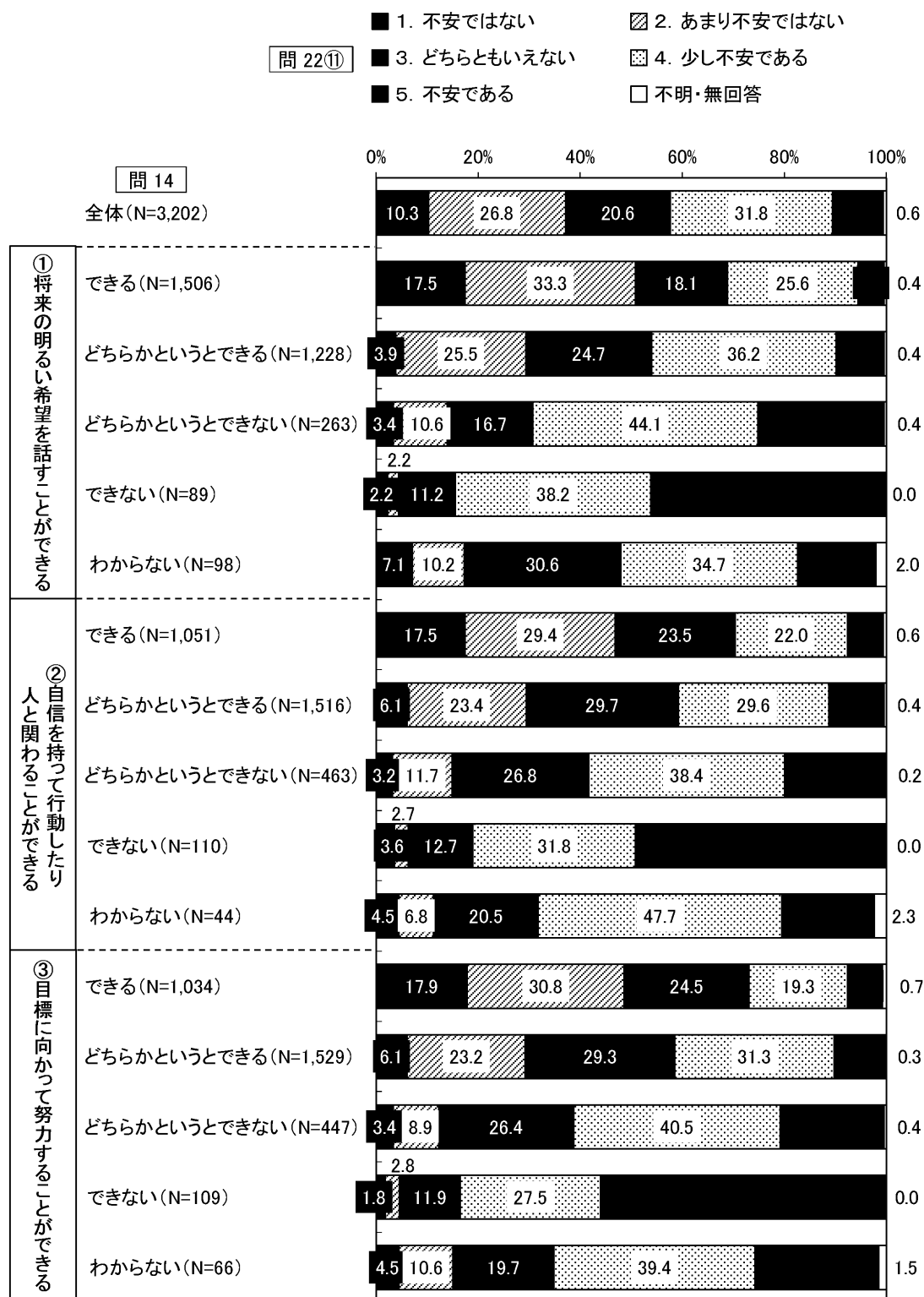
《問 22③子どもの教育費×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

③子どもの教育費について、昨年 1 年間の可処分所得が高いほど『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



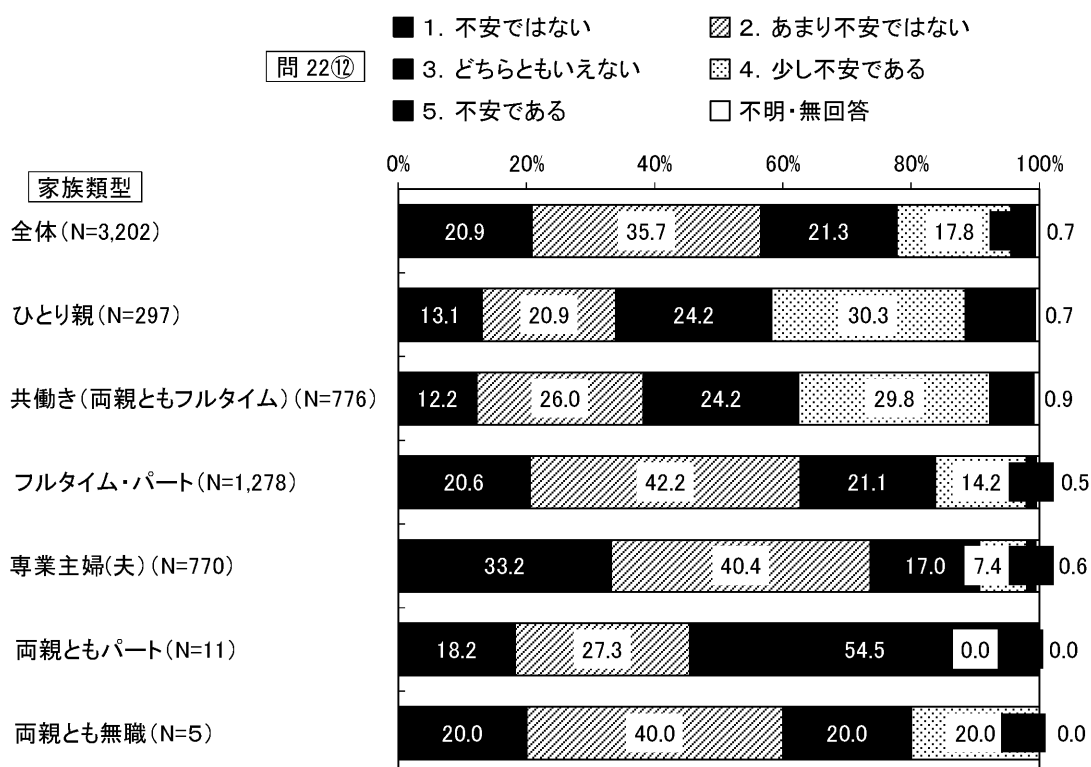
《問 22⑪子どもの将来×問 14 子どもの様子別》

⑪子どもの将来について、子どもの自己肯定感が高いほど『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



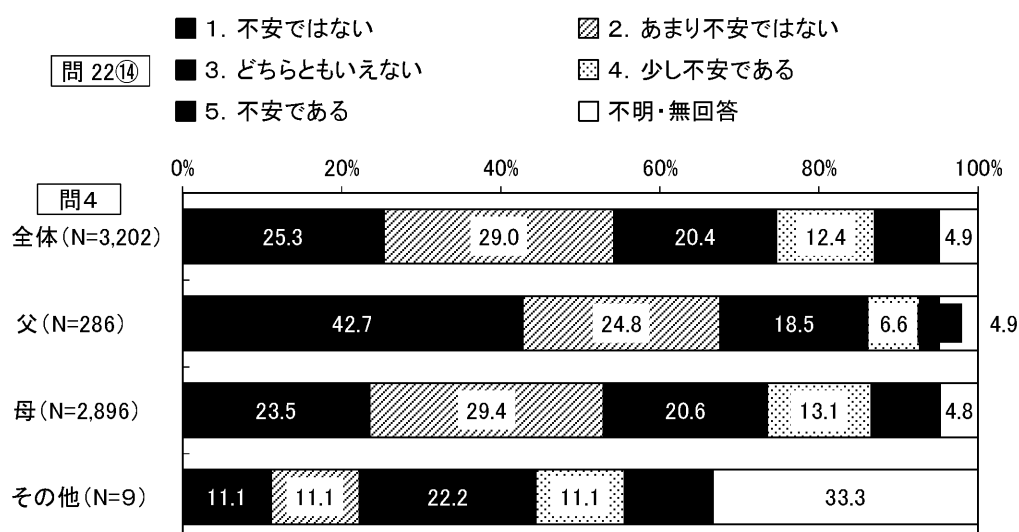
《問 22⑫子どもと接する時間×家族類型別》

⑫子どもと接する時間について、[ひとり親][共働き（両親ともフルタイム）]で『不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）』の割合が他の区分に比べ高くなっています。



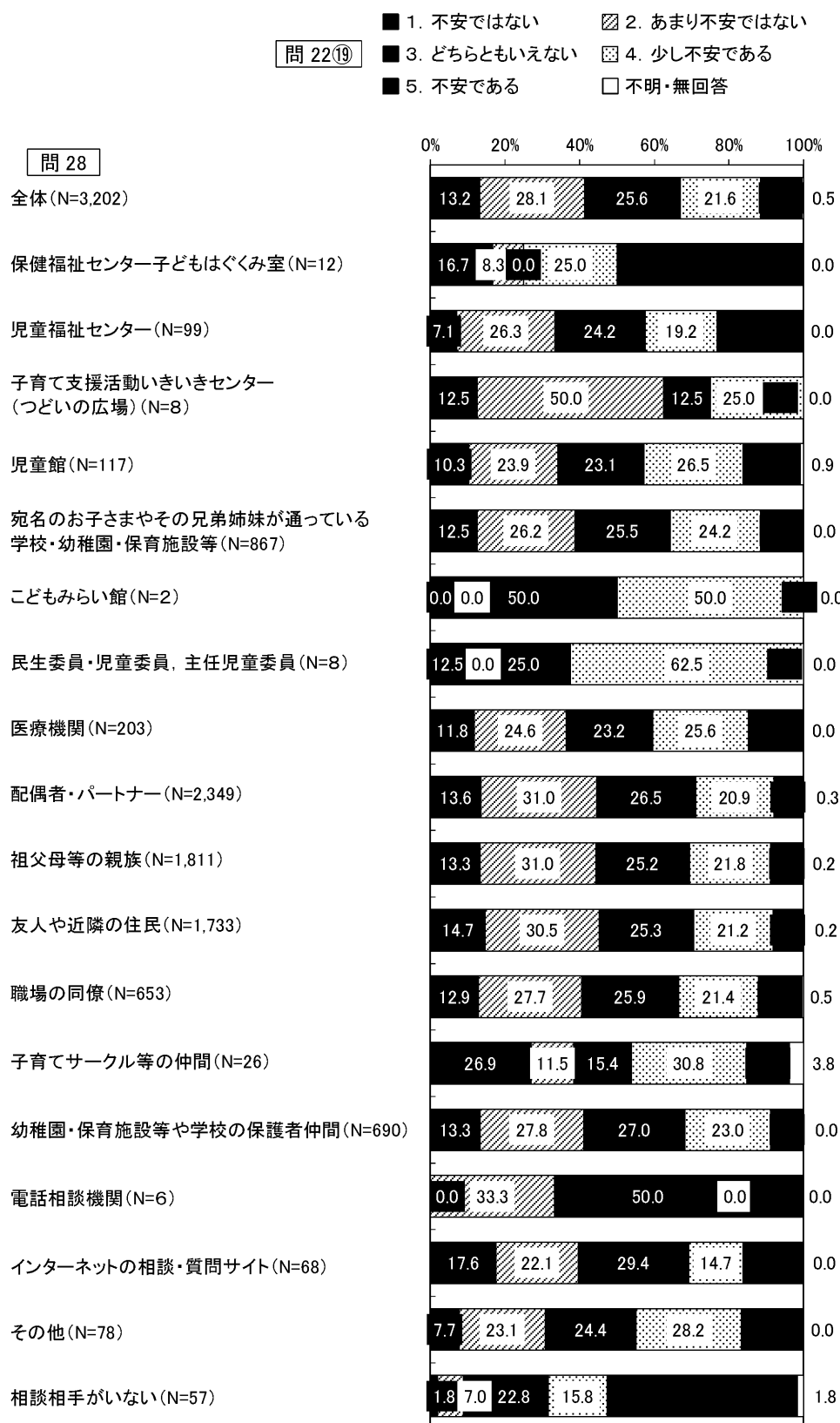
《問 22⑭配偶者の子育てへの協力×問 4 調査票の記入者別》

⑭配偶者の子育てへの協力について、『父』では「1. 不安ではない」の割合が『母』に比べ高くなっています。



《問 22⑱自分の時間、心のゆとり×問 28 相談先・相談相手別》

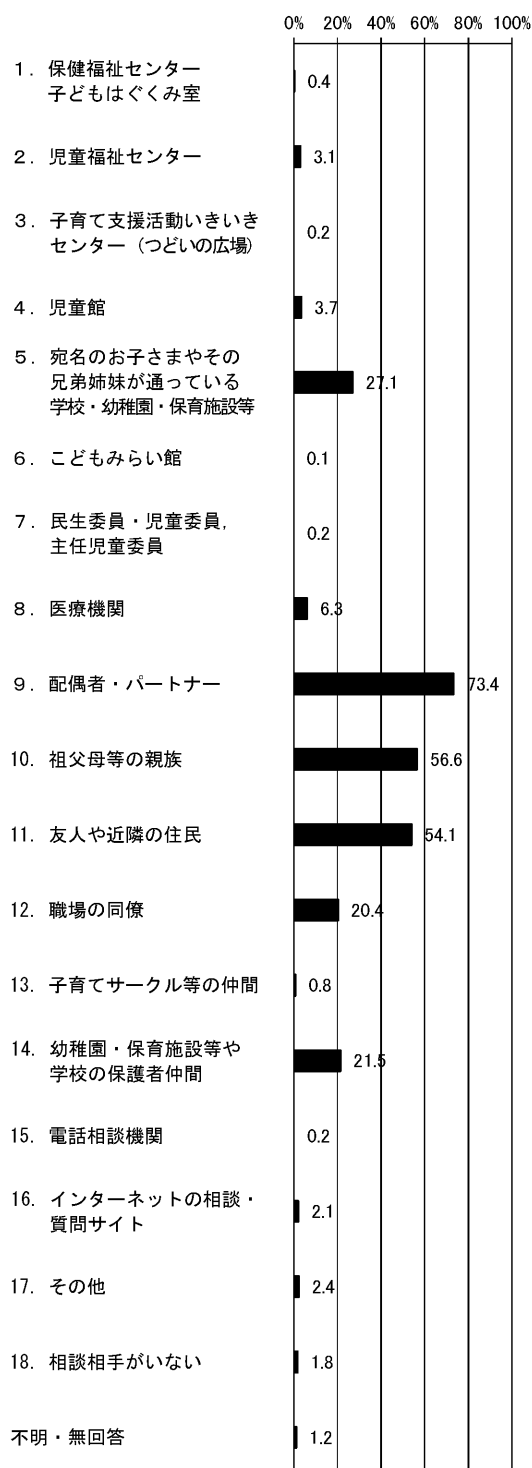
⑱自分の時間、心のゆとりについて、[相談相手がいない]では「5. 不安である」が5割を超えています。



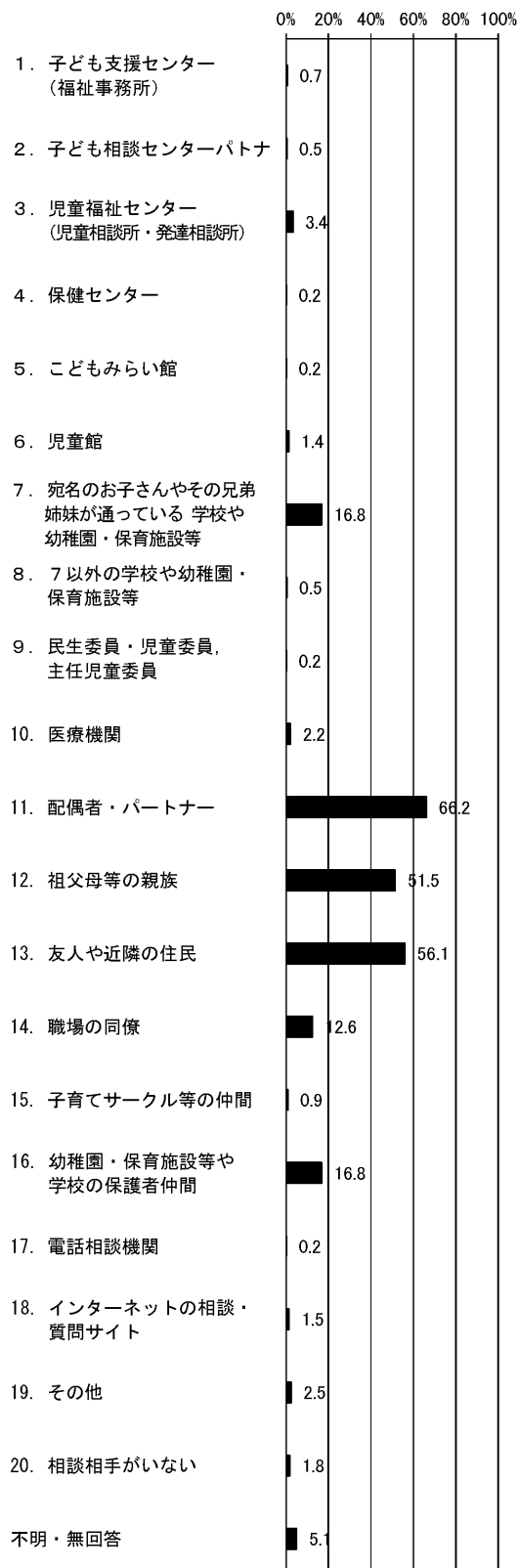
問 23 宛名のお子さまを育てるうえで、日頃気になることをどこに、または誰に相談していますか。(〇は3つまで)

「9. 配偶者・パートナー」が73.4%と最も高く、次いで「10. 祖父母等の親族」が56.6%、「11. 友人や近隣の住民」が54.1%となっています。

平成30年(N=3,202)



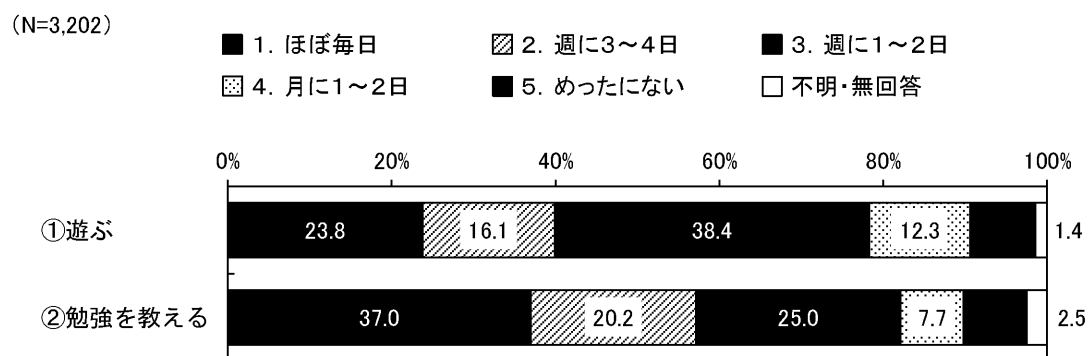
平成25年(N=2,649)



問 24 あなたは、宛名のお子さまと遊ぶまたは勉強を教える機会は、どの程度ありますか。
(〇はそれぞれ1つつつ)

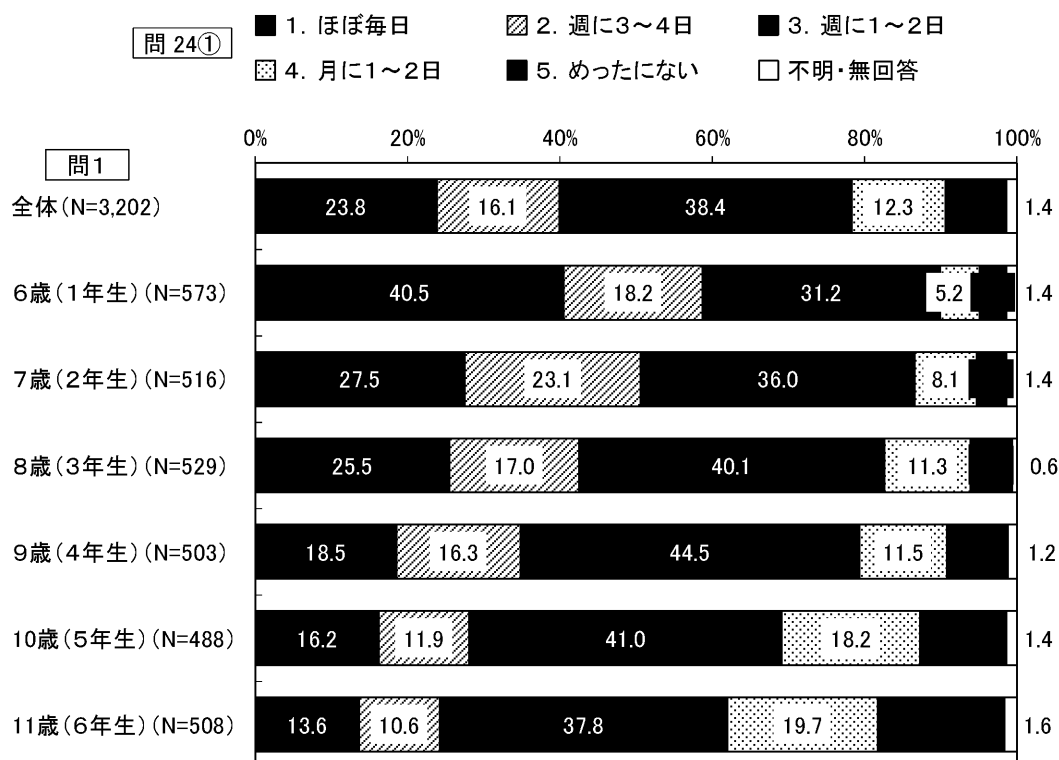
①遊ぶ機会は、「3. 週に1～2日」が38.4%と最も高く、次いで「1. ほぼ毎日」が23.8%、「2. 週に3～4日」が16.1%となっています。

②勉強を教える機会は、「1. ほぼ毎日」が37.0%と最も高く、次いで「3. 週に1～2日」が25.0%、「2. 週に3～4日」が20.2%となっています。



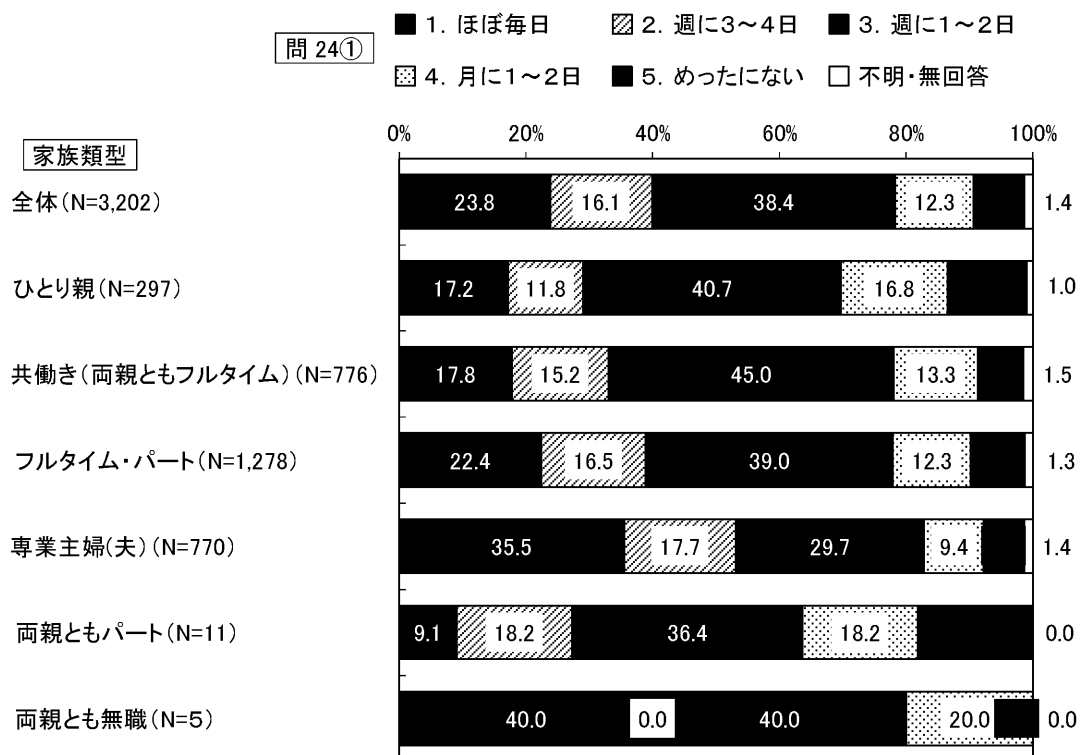
《問 24①遊ぶ×問 1 子どもの年齢（学年）別》

遊ぶ機会について、年齢（学年）が上がるほど「1. ほぼ毎日」の割合が低くなる傾向がみられます。



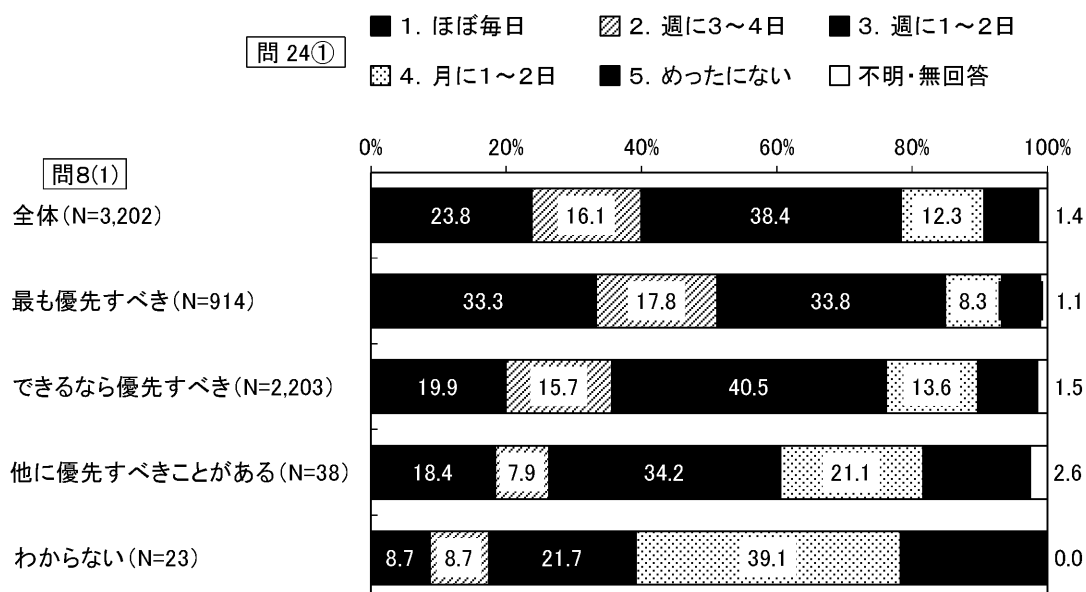
《問 24①遊ぶ×家族類型別》

遊ぶ機会について、『専業主婦（夫）』では「1. ほぼ毎日」、『両親とも無職』では「1. ほぼ毎日」「3. 週に1～2日」、それ以外では「3. 週に1～2日」の割合が最も高くなっています。



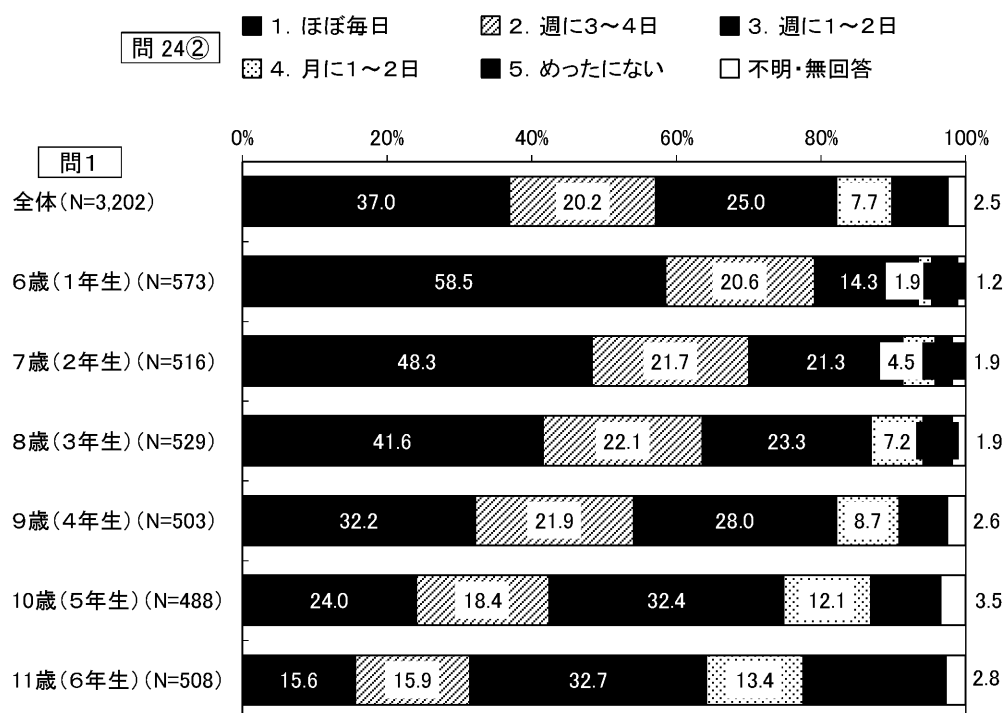
《問 24①遊ぶ×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

遊ぶ機会について、子育てにかかる時間の優先度が高いほど「1. ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向がみられます。



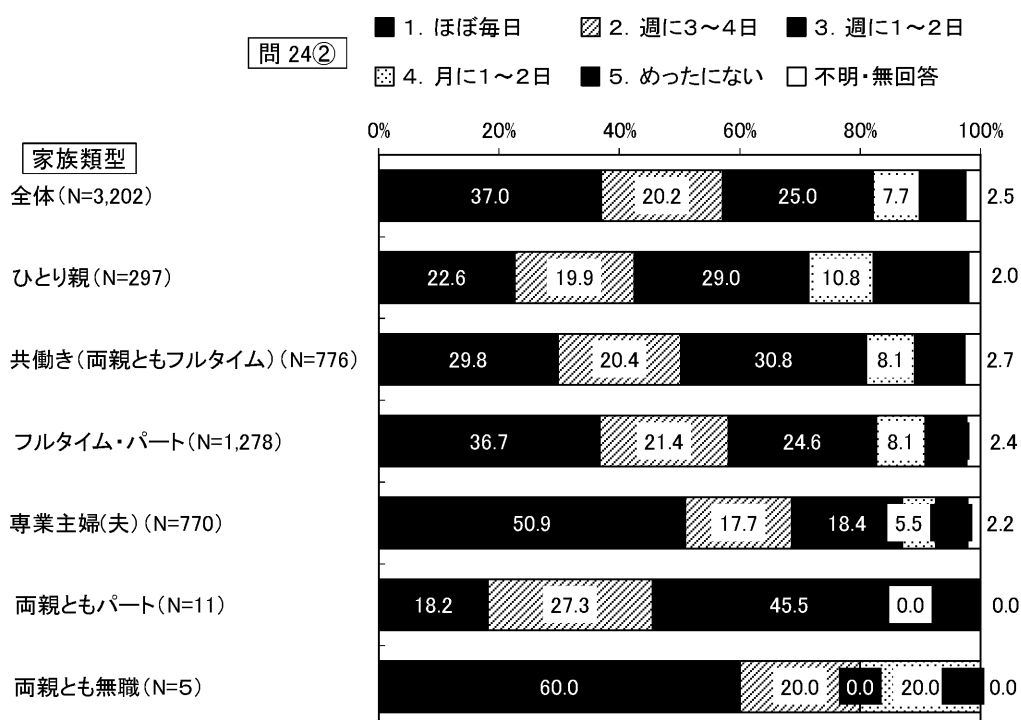
《問 24②勉強を教える×問 1 子どもの年齢（学年） 別》

勉強を教える機会について、年齢（学年）が上がるほど「1. ほぼ毎日」の割合が低くなる傾向がみられます。



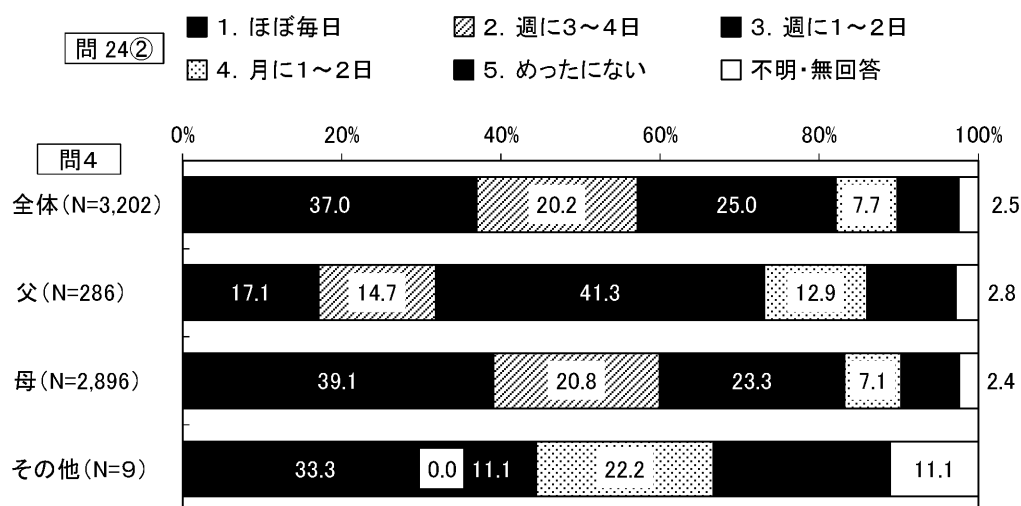
《問 24②勉強を教える×家族類型別》

勉強を教える機会について、『ひとり親』『共働き（両親ともフルタイム）』『両親ともパート』では「3. 週に1～2日」、それ以外では「1. ほぼ毎日」の割合が最も高くなっています。



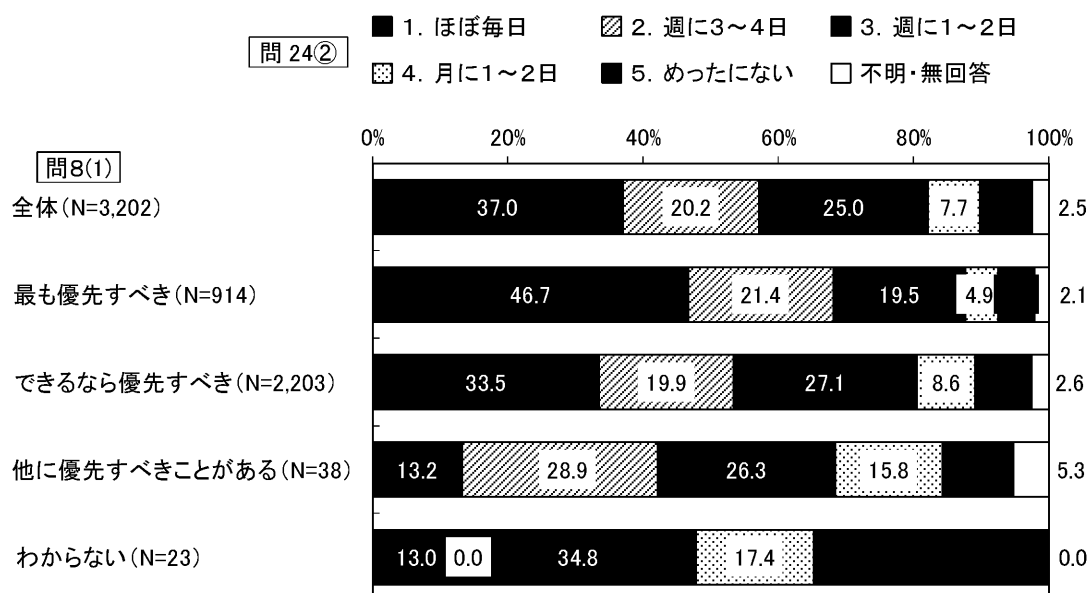
《問 24②勉強を教える×問 4 調査票の記入者別》

勉強を教える機会について、『父』では「3. 週に1～2日」、『母』では「1. ほぼ毎日」の割合が最も高くなっています。



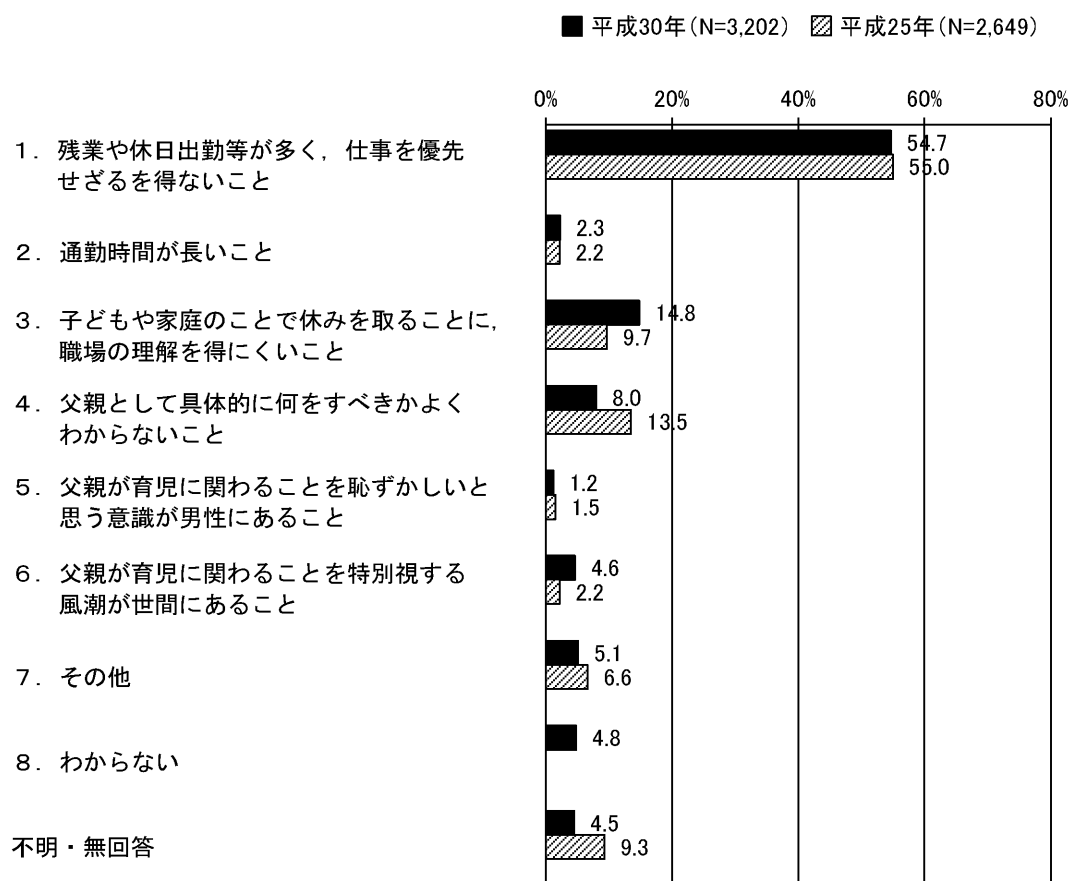
《問 24②勉強を教える×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

勉強を教える機会について、子育てにかかる時間の優先度が高いほど「1. ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 25 育児休業取得率に代表されるように、子育てへの関わりについては一般的に母親よりも父親の方が少ないと言われていますが、その理由をどのように考えますか。（○は1つ）

「1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」が54.7%と最も高く、次いで「3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと」が14.8%、「4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと」が8.0%となっています。



※「8. わからない」は平成30年のみの選択肢

《問 25×家族類型別》

『両親とも無職』では「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」「わからない」、それ以外では「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

	3,202	1,753	73	473	257	38	146	162	155	145
	100.0	54.7	2.3	14.8	8.0	1.2	4.6	5.1	4.8	4.5
	297	100	2	48	35	3	12	17	49	31
	100.0	33.7	0.7	16.2	11.8	1.0	4.0	5.7	16.5	10.4
	776	380	15	131	67	14	61	46	28	34
	100.0	49.0	1.9	16.9	8.6	1.8	7.9	5.9	3.6	4.4
	1,278	757	30	183	94	12	47	56	48	51
	100.0	59.2	2.3	14.3	7.4	0.9	3.7	4.4	3.8	4.0
	770	484	25	100	54	9	23	36	18	21
	100.0	62.9	3.2	13.0	7.0	1.2	3.0	4.7	2.3	2.7
	11	5	0	2	1	0	0	1	1	1
	100.0	45.5	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1
	5	2	0	1	0	0	0	0	2	0
	100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0

《問 25×問 4 調査票の記入者別》

『父』『母』ともに「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

	3,202	1,753	73	473	257	38	146	162	155	145
	100.0	54.7	2.3	14.8	8.0	1.2	4.6	5.1	4.8	4.5
	286	177	7	39	5	4	20	12	15	7
	100.0	61.9	2.4	13.6	1.7	1.4	7.0	4.2	5.2	2.4
	2,896	1,568	65	432	251	34	126	148	136	136
	100.0	54.1	2.2	14.9	8.7	1.2	4.4	5.1	4.7	4.7
	9	2	0	2	1	0	0	0	3	1
	100.0	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1

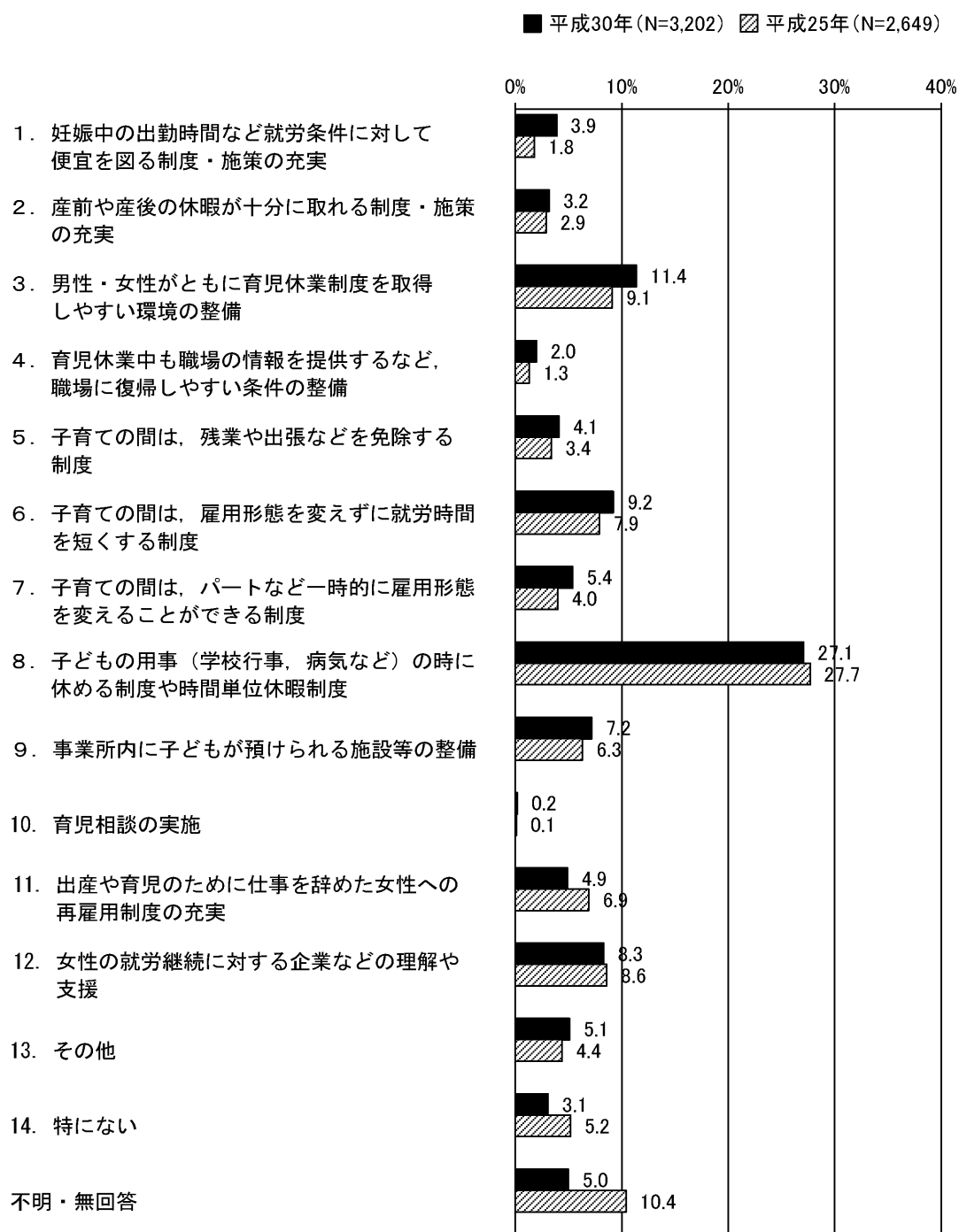
《問 25×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

父親がフルタイムで就労している家庭，母親がフルタイムで就労している家庭，母親がパートタイム，アルバイト等で就労している家庭，母親が現在就労していない家庭では「残業や休日出勤等が多く，仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

	3202	1,753	73	473	257	38	146	162	155	145
	1000	54.7	2.3	14.8	8.0	1.2	4.6	5.1	4.8	4.5
	2,837	1,644	70	406	218	35	130	134	93	107
	1000	57.9	2.5	14.3	7.7	1.2	4.6	4.7	3.3	3.8
	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0
	1000	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	29	13	0	3	2	0	2	5	2	2
	1000	44.8	0.0	10.3	6.9	0.0	6.9	17.2	6.9	6.9
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30	9	0	10	2	0	0	4	4	1
	1000	30.0	0.0	33.3	6.7	0.0	0.0	13.3	13.3	3.3
	930	425	17	162	90	15	63	58	46	54
	1000	45.7	1.8	17.4	9.7	1.6	6.8	6.2	4.9	5.8
	23	7	0	8	1	0	5	2	0	0
	1000	30.4	0.0	34.8	4.3	0.0	21.7	8.7	0.0	0.0
	1,385	784	31	199	107	14	50	62	74	64
	1000	56.6	2.2	14.4	7.7	1.0	3.6	4.5	5.3	4.6
	22	14	0	5	0	0	1	1	1	0
	1000	63.6	0.0	22.7	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0
	789	491	25	96	56	9	25	36	29	22
	1000	62.2	3.2	12.2	7.1	1.1	3.2	4.6	3.7	2.8

問 26 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に最優先で取り組むべきだと思いますか。（〇は1つ）

「8. 子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」が27.1%と最も高く、次いで「3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」が11.4%、「6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」が9.2%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



《問 26×家族類型別》

『両親ともパート』『両親とも無職』では「女性の就労継続に対する企業などの理解や支援」、それ以外では「子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高くなっています。

	3,202	125	101	365	65	130	293	173	868
	100.0	3.9	3.2	11.4	2.0	4.1	9.2	5.4	27.1
	297	8	7	23	5	17	26	12	81
	100.0	2.7	2.4	7.7	1.7	5.7	8.8	4.0	27.3
	776	44	17	94	16	42	100	37	186
	100.0	5.7	2.2	12.1	2.1	5.4	12.9	4.8	24.0
	1,278	42	48	173	24	42	102	73	348
	100.0	3.3	3.8	13.5	1.9	3.3	8.0	5.7	27.2
	770	28	26	71	17	23	60	44	234
	100.0	3.6	3.4	9.2	2.2	3.0	7.8	5.7	30.4
	11	0	0	0	0	0	1	2	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	18.2
	5	0	0	0	0	1	0	1	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
	3,202	229	8	156	266	163	99	161	
	100.0	7.2	0.2	4.9	8.3	5.1	3.1	5.0	
	297	26	1	9	31	13	15	23	
	100.0	8.8	0.3	3.0	10.4	4.4	5.1	7.7	
	776	42	2	18	60	64	13	41	
	100.0	5.4	0.3	2.3	7.7	8.2	1.7	5.3	
	1,278	91	2	68	116	53	42	54	
	100.0	7.1	0.2	5.3	9.1	4.1	3.3	4.2	
	770	66	2	57	53	31	25	33	
	100.0	8.6	0.3	7.4	6.9	4.0	3.2	4.3	
	11	1	0	0	3	1	1	0	
	100.0	9.1	0.0	0.0	27.3	9.1	9.1	0.0	
	5	0	0	0	2	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	

《問 26×問 4 調査票の記入者別》

『父』では「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」,『母』では「子どもの用事（学校行事, 病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高くなっています。

	3,202	125	101	365	65	130	293	173	868
	100.0	3.9	3.2	11.4	2.0	4.1	9.2	5.4	27.1
	286	14	15	70	6	17	31	10	39
	100.0	4.9	5.2	24.5	2.1	5.9	10.8	3.5	13.6
	2,896	111	86	295	58	109	261	163	825
	100.0	3.8	3.0	10.2	2.0	3.8	9.0	5.6	28.5
	9	0	0	0	1	2	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1

	3,202	229	8	156	266	163	99	161	
	100.0	7.2	0.2	4.9	8.3	5.1	3.1	5.0	
	286	16	1	5	11	23	11	17	
	100.0	5.6	0.3	1.7	3.8	8.0	3.8	5.9	
	2,896	211	6	149	254	140	87	141	
	100.0	7.3	0.2	5.1	8.8	4.8	3.0	4.9	
	9	1	0	1	1	0	1	1	
	100.0	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	

《問 26×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

父親がフルタイムで就労している家庭、母親がフルタイムで就労している家庭、母親がパートタイム、アルバイト等で就労している家庭、母親が現在就労していない家庭では「子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高くなっています。

3,202	125	101	365	65	130	293	173	868
100.0	3.9	3.2	11.4	2.0	4.1	9.2	5.4	27.1
2,837	114	93	342	55	109	265	158	765
100.0	4.0	3.3	12.1	1.9	3.8	9.3	5.6	27.0
3	0	0	1	0	0	0	0	1
100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
29	1	1	2	0	1	4	2	4
100.0	3.4	3.4	6.9	0.0	3.4	13.8	6.9	13.8
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30	0	0	1	2	3	3	1	9
100.0	0.0	0.0	3.3	6.7	10.0	10.0	3.3	30.0
930	46	22	100	21	51	112	35	234
100.0	4.9	2.4	10.8	2.3	5.5	12.0	3.8	25.2
23	3	0	2	0	4	4	3	1
100.0	13.0	0.0	8.7	0.0	17.4	17.4	13.0	4.3
1,385	47	49	174	28	47	108	83	383
100.0	3.4	3.5	12.6	2.0	3.4	7.8	6.0	27.7
22	0	1	7	1	0	0	3	4
100.0	0.0	4.5	31.8	4.5	0.0	0.0	13.6	18.2
789	29	26	74	15	23	61	46	237
100.0	3.7	3.3	9.4	1.9	2.9	7.7	5.8	30.0

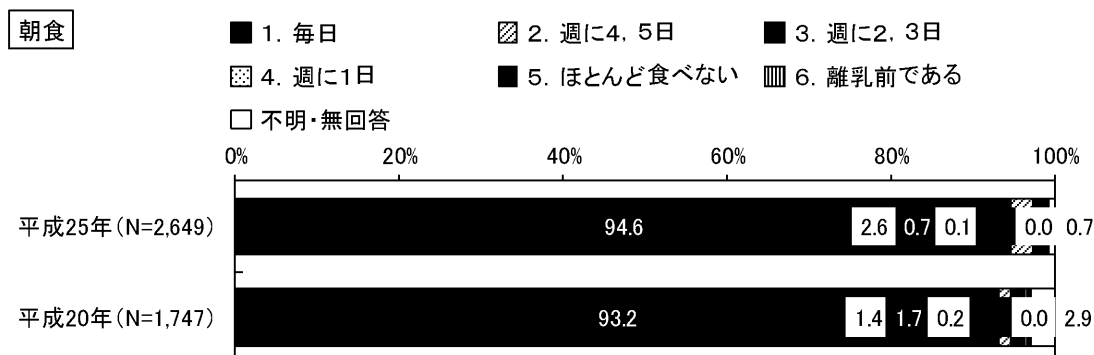
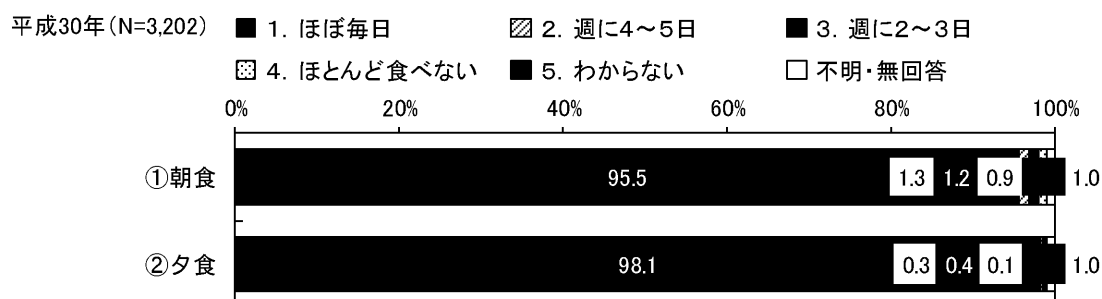
3,202	229	8	156	266	163	99	161	
100.0	7.2	0.2	4.9	8.3	5.1	3.1	5.0	
2,837	197	7	145	230	147	80	130	
100.0	6.9	0.2	5.1	8.1	5.2	2.8	4.6	
3	0	0	0	0	1	0	0	
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
29	5	0	0	4	2	2	1	
100.0	17.2	0.0	0.0	13.8	6.9	6.9	3.4	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30	2	0	0	5	1	0	3	
100.0	6.7	0.0	0.0	16.7	3.3	0.0	10.0	
930	61	3	19	77	72	16	61	
100.0	6.6	0.3	2.0	8.3	7.7	1.7	6.6	
23	0	0	2	3	1	0	0	
100.0	0.0	0.0	8.7	13.0	4.3	0.0	0.0	
1,385	97	2	74	128	56	52	57	
100.0	7.0	0.1	5.3	9.2	4.0	3.8	4.1	
22	1	0	0	1	1	1	2	
100.0	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	9.1	
789	68	2	60	55	32	28	33	
100.0	8.6	0.3	7.6	7.0	4.1	3.5	4.2	

問 27(1) 宛名のお子さまは朝食・夕食を1週間に何日程度食べていますか。

(○はそれぞれ1つつつ)

①朝食は「1. ほぼ毎日」が95.5%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日」が1.3%、「3. 週に2～3日」が1.2%となっています。

②夕食は「1. ほぼ毎日」が98.1%と最も高くなっています。

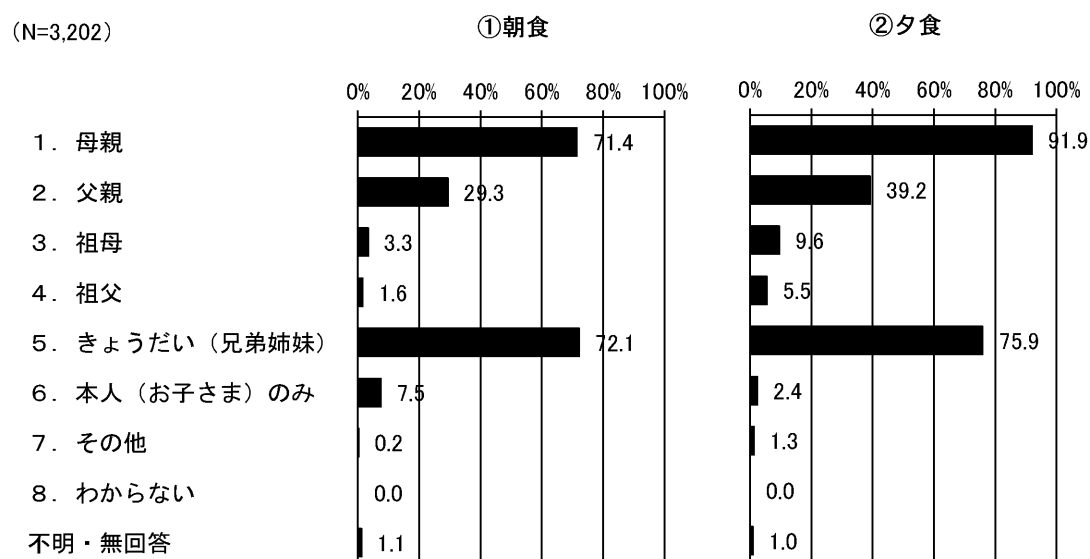


問 27(2) 宛名のお子さまは、朝食・夕食を誰と食べることが多いですか。

(○はそれぞれいくつでも)

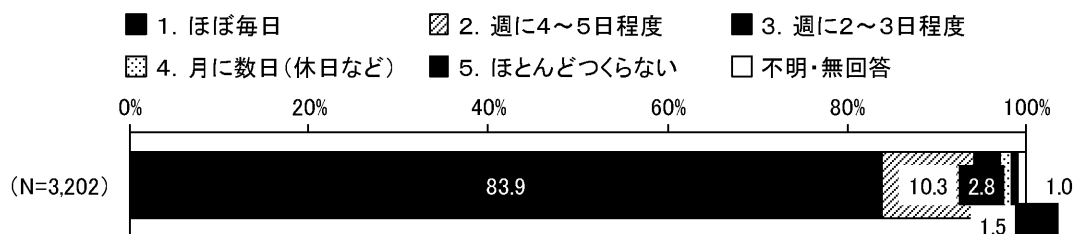
①朝食は「5. きょうだい(兄弟姉妹)」が72.1%と最も高く、次いで「1. 母親」が71.4%、「2. 父親」が29.3%となっています。

②夕食は「1. 母親」が91.9%と最も高く、次いで「5. きょうだい(兄弟姉妹)」が75.9%、「2. 父親」が39.2%となっています。



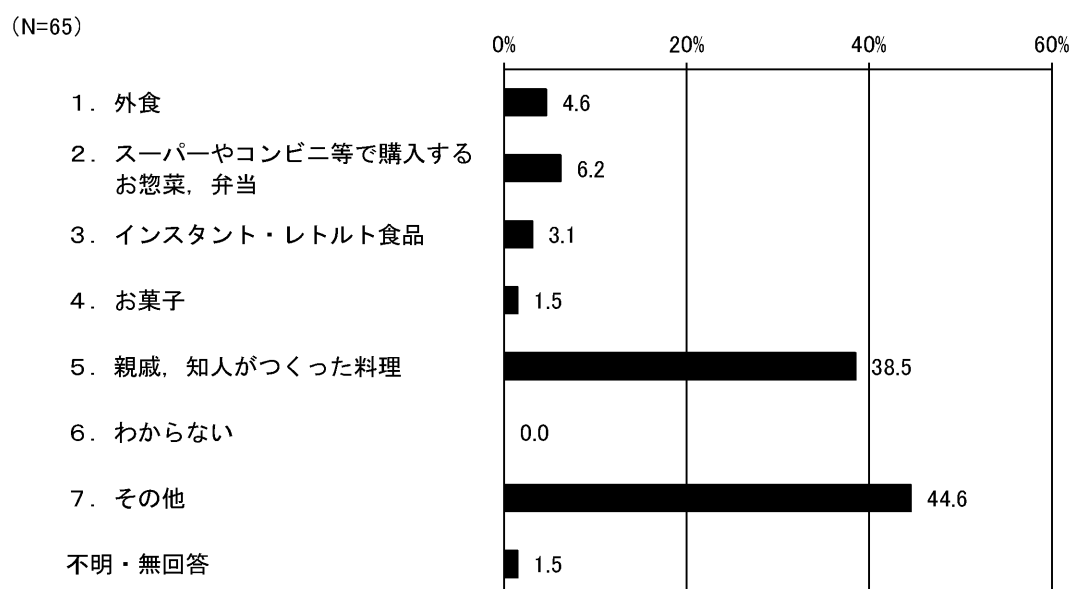
問 28(1) あなたのご家庭では、宛名のお子さまの夕食をつくる（料理する）ことがどの程度ありますか。（〇は1つ）

「1. ほぼ毎日」が83.9%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日程度」が10.3%、「3. 週に2～3日程度」が2.8%となっています。



問 28(2) 宛名のお子さまの食事で、最も多いものをお答えください。（〇は1つ）

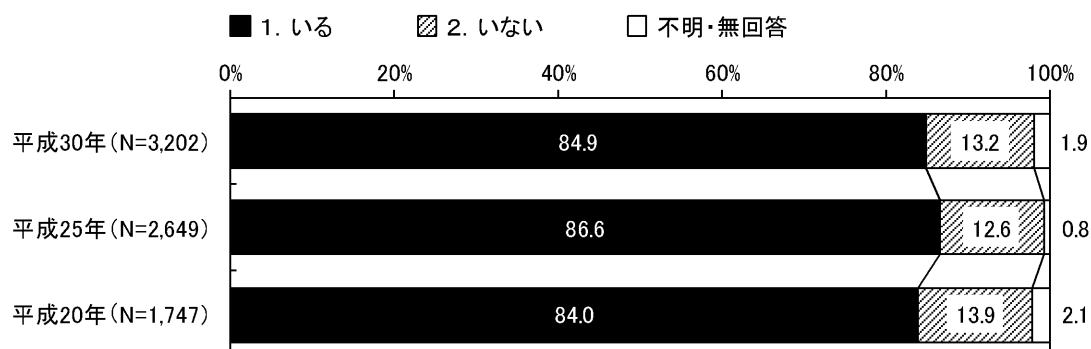
その他を除き、「5. 親戚，知人がつくった料理」が38.5%と最も高く、次いで「2. スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜，弁当」が6.2%、「1. 外食」が4.6%となっています。



問 29 宛名のお子さまには、かかりつけの医師がいますか。（〇は1つ）

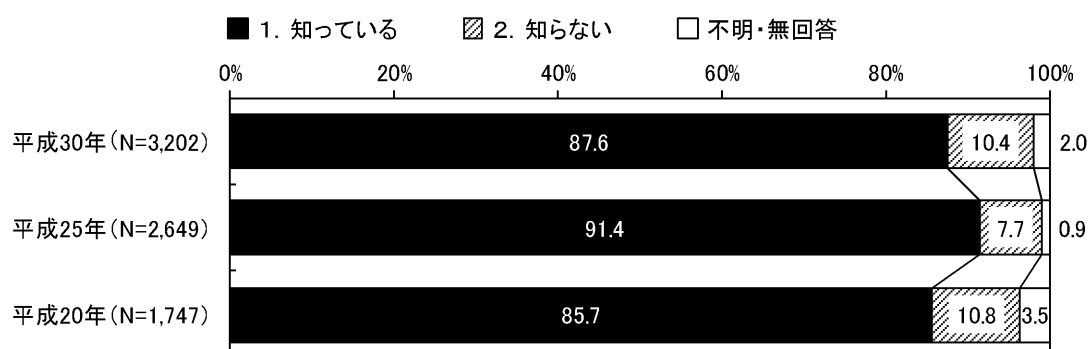
「1. いる」が84.9%、「2. いない」が13.2%となっています。

過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 30 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。(〇は1つ)

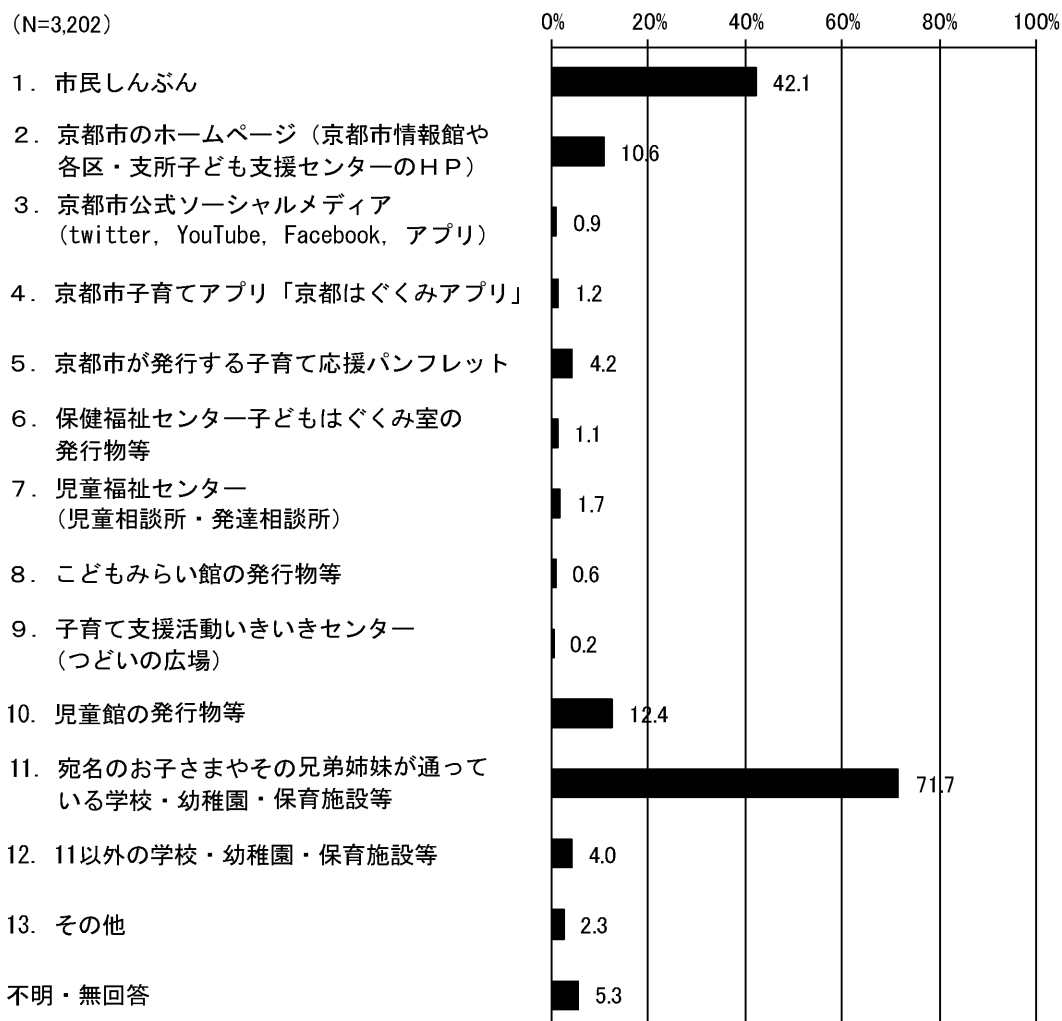
「1. 知っている」が87.6%、「2. 知らない」が10.4%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 31 子育てに関する情報の入手方法について、行政と民間のそれぞれでお答えください。(〇はそれぞれ2つまで)

①行政では「11. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等」が71.7%と最も高く、次いで「1. 市民しんぶん」が42.1%、「10. 児童館の発行物等」が12.4%となっています。

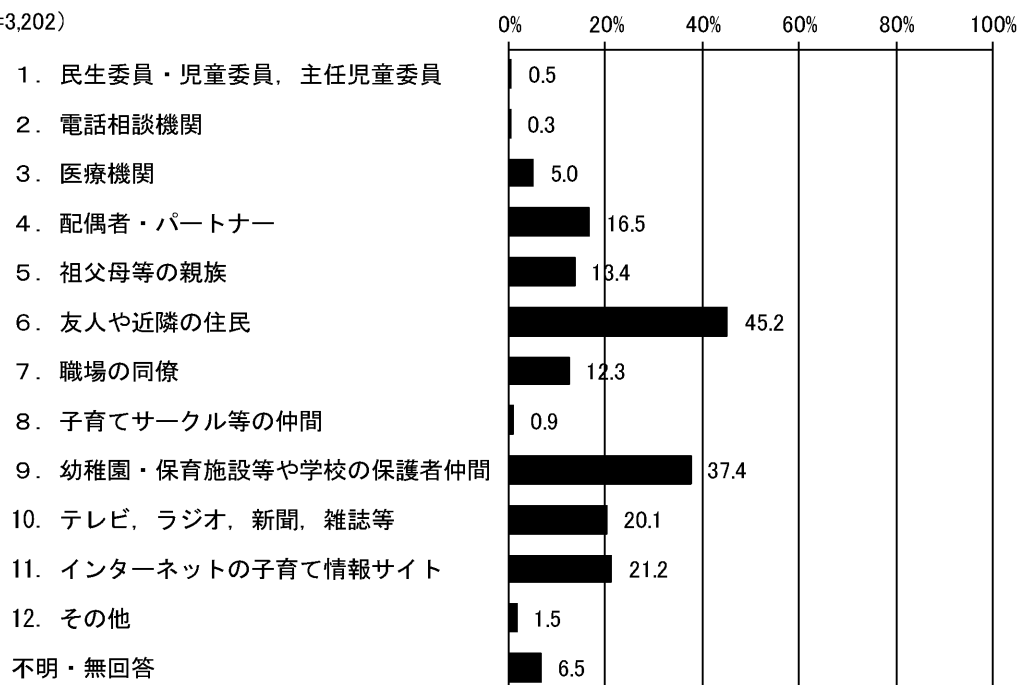
①行政



②民間では「6. 友人や近隣の住民」が45.2%と最も高く、次いで「9. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」が37.4%,「11. インターネットの子育て情報サイト」が21.2%,「10. テレビ, ラジオ, 新聞, 雑誌等」が20.1%となっています。

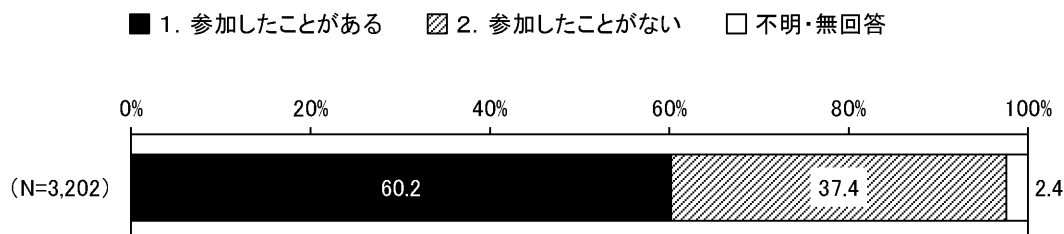
②民間

(N=3,202)



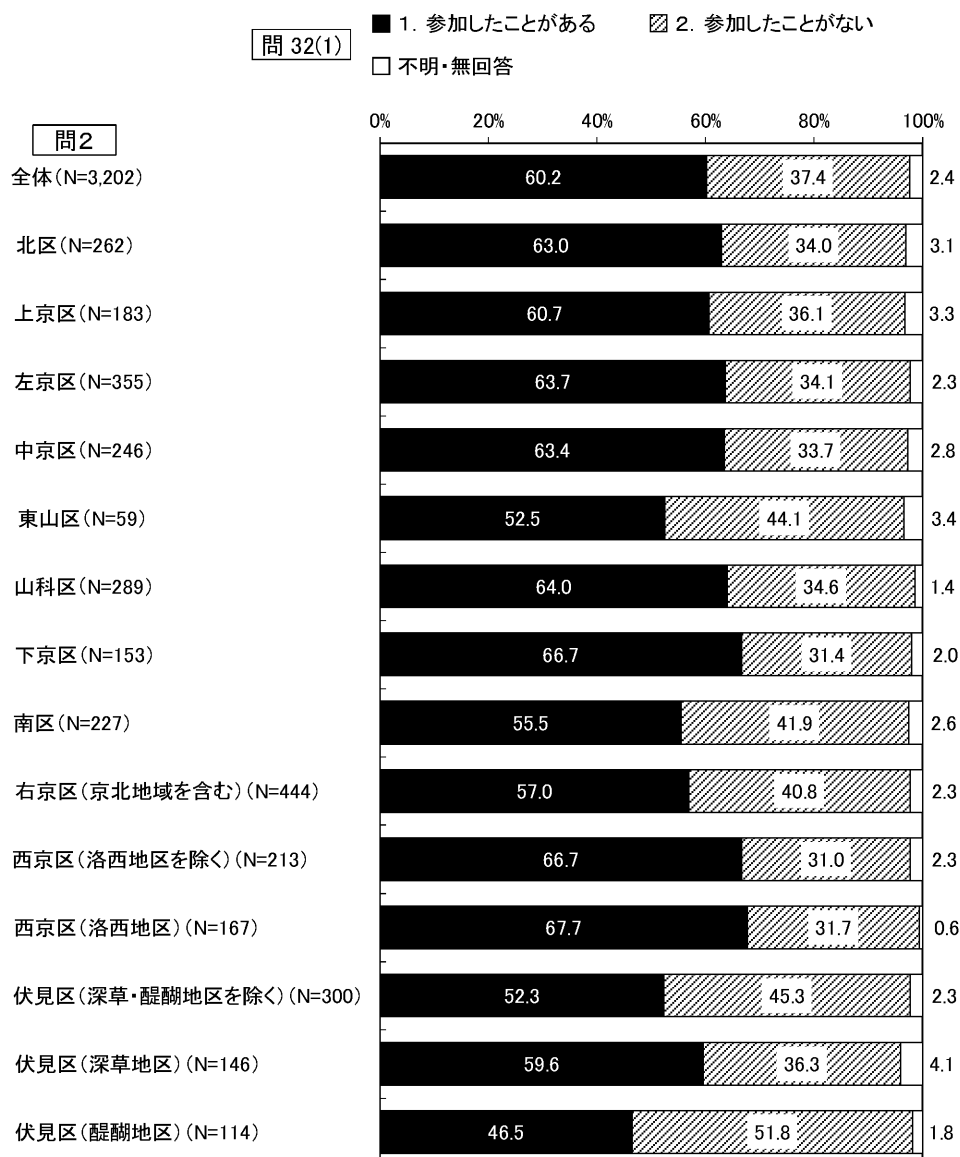
問 32(1) 宛名のお子さまと一緒に、地域で実施されている子育て世帯向けの事業に参加したことがありますか。(〇は1つ)

「1. 参加したことがある」が60.2%、「2. 参加したことがない」が37.4%となっています。



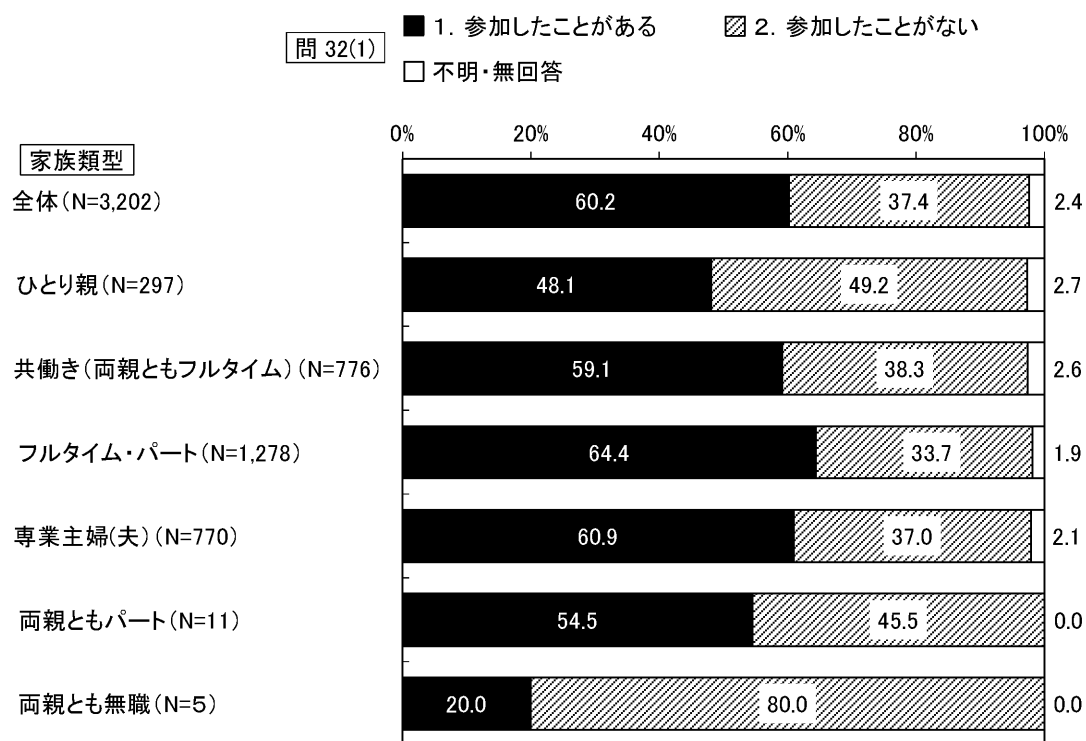
《問 32(1)×問 2 居住区別》

『伏見区(醍醐地区)』で「1. 参加したことがある」の割合が他の区分に比べ低くなっています。



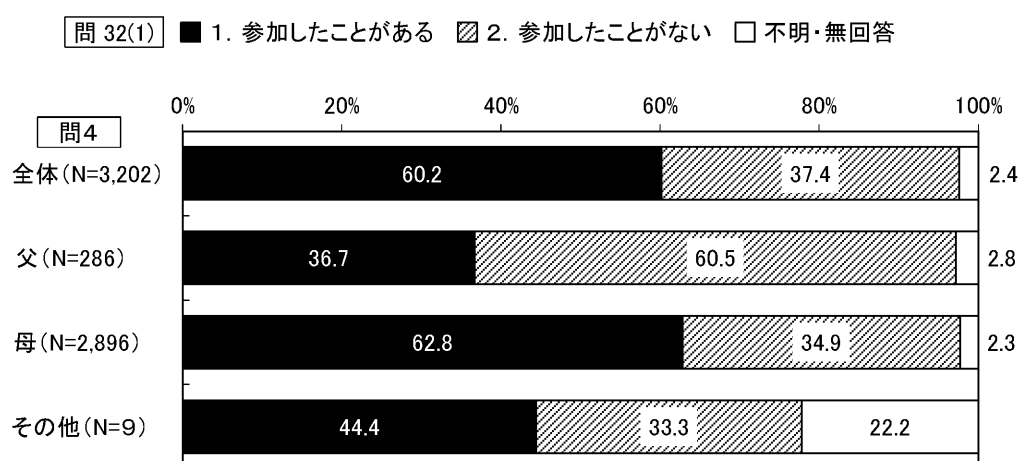
《問 32(1)×家族類型別》

『ひとり親』『両親とも無職』では「2. 参加したことがない」、それ以外では「1. 参加したことがある」の割合が高くなっています。



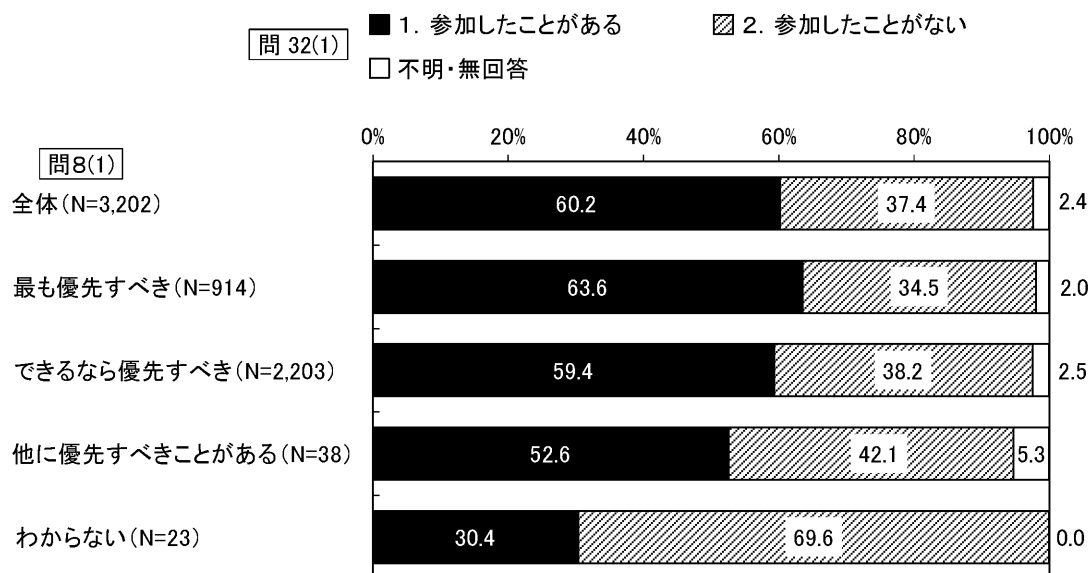
《問 32(1)×問 4 調査票の記入者別》

『父』では「2. 参加したことがない」、母では「1. 参加したことがある」の割合が高くなっています。



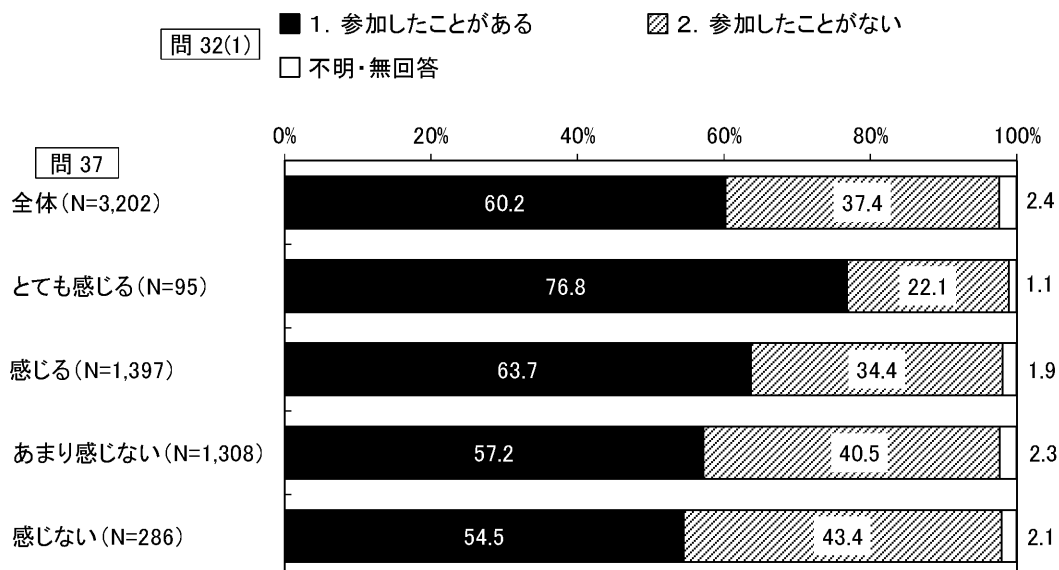
《問 32(1)×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

子育てにかかる時間の優先度が高いほど「1. 参加したことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 32(1)×問 37 京都市は子育てしやすいまちだと感じるか別》

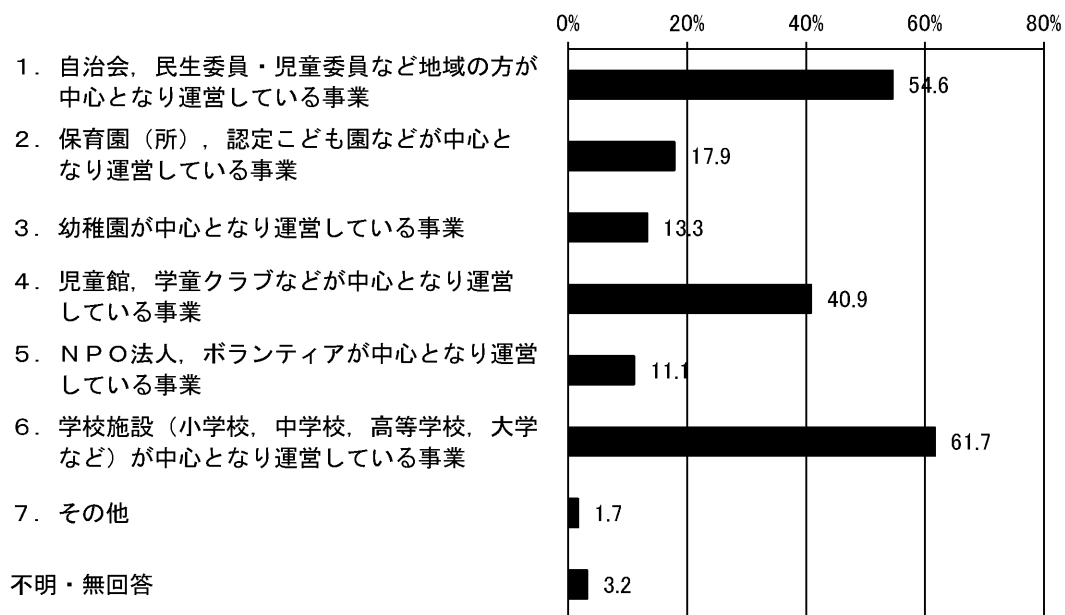
京都市は子育てしやすいまちだと感じている方ほど「1. 参加したことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 32(2) よく参加される事業の運営主体についてお答えください。(〇はいくつでも)

「6. 学校施設（小学校，中学校，高等学校，大学など）が中心となり運営している事業」が 61.7%と最も高く，次いで「1. 自治会，民生委員・児童委員など地域の方が中心となり運営している事業」が 54.6%，「4. 児童館，学童クラブなどが中心となり運営している事業」が 40.9%となっています。

(N=1,929)



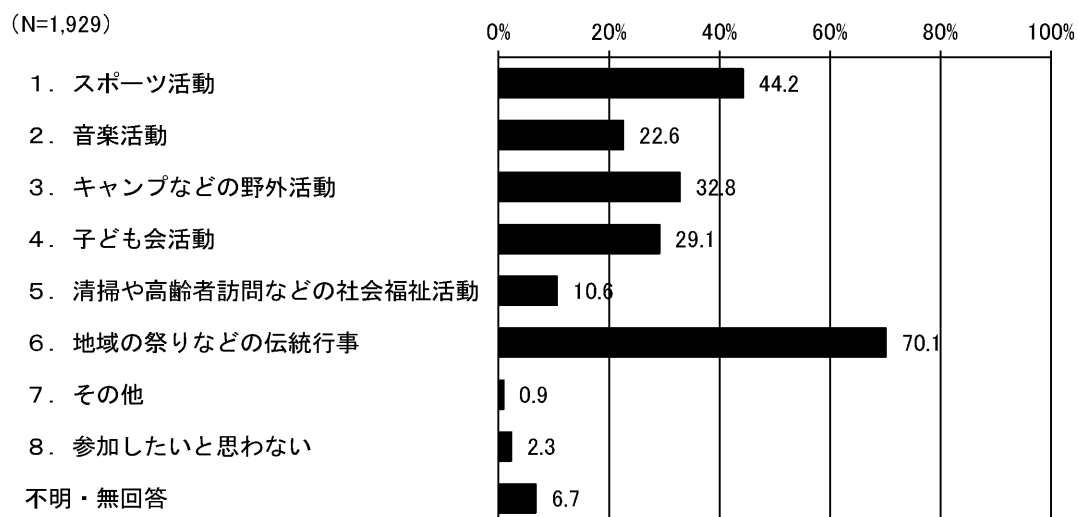
《問 32(2)×問 2 居住区別》

『東山区』『右京区（京北地域を含む）』『西京区（洛西地区を除く）』では「自治会，民生委員・児童委員など地域の方が中心となり運営している事業」，それ以外では「学校施設（小学校，中学校，高等学校，大学など）が中心となり運営している事業」の割合が最も高くなっています。

	1,929	1,053	345	257	788	215	1,190	32	62
	100.0	54.6	17.9	13.3	40.9	11.1	61.7	1.7	3.2
	165	68	33	24	62	20	122	2	3
	100.0	41.2	20.0	14.5	37.6	12.1	73.9	1.2	1.8
	111	65	14	19	33	18	69	2	2
	100.0	58.6	12.6	17.1	29.7	16.2	62.2	1.8	1.8
	226	118	31	27	94	27	132	8	9
	100.0	52.2	13.7	11.9	41.6	11.9	58.4	3.5	4.0
	156	78	26	28	57	28	90	2	6
	100.0	50.0	16.7	17.9	36.5	17.9	57.7	1.3	3.8
	31	17	7	4	12	5	14	0	1
	100.0	54.8	22.6	12.9	38.7	16.1	45.2	0.0	3.2
	185	102	42	20	66	22	116	1	4
	100.0	55.1	22.7	10.8	35.7	11.9	62.7	0.5	2.2
	102	57	21	15	41	16	61	5	3
	100.0	55.9	20.6	14.7	40.2	15.7	59.8	4.9	2.9
	126	64	23	16	62	10	71	3	5
	100.0	50.8	18.3	12.7	49.2	7.9	56.3	2.4	4.0
	253	153	36	34	121	20	142	3	9
	100.0	60.5	14.2	13.4	47.8	7.9	56.1	1.2	3.6
	142	97	23	15	63	8	89	1	6
	100.0	68.3	16.2	10.6	44.4	5.6	62.7	0.7	4.2
	113	66	18	8	46	7	72	2	7
	100.0	58.4	15.9	7.1	40.7	6.2	63.7	1.8	6.2
	157	79	26	25	71	19	106	1	1
	100.0	50.3	16.6	15.9	45.2	12.1	67.5	0.6	0.6
	87	48	21	13	34	9	56	0	5
	100.0	55.2	24.1	14.9	39.1	10.3	64.4	0.0	5.7
	53	28	20	6	15	5	34	2	1
	100.0	52.8	37.7	11.3	28.3	9.4	64.2	3.8	1.9

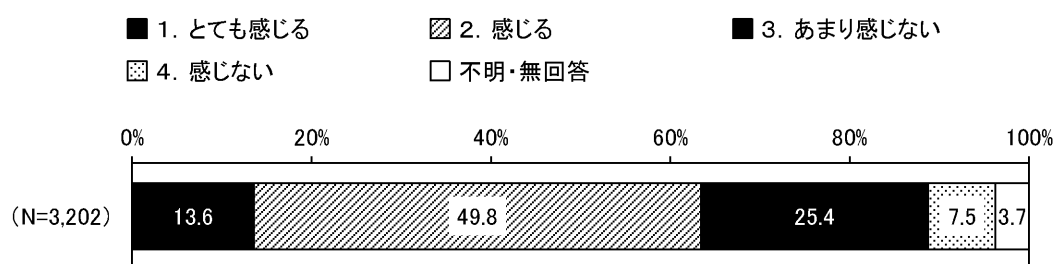
問 32(3) 参加しているまたは今後、参加したいと思う事業はどれですか。(○はいくつでも)

「6. 地域の祭りなどの伝統行事」が70.1%と最も高く、次いで「1. スポーツ活動」が44.2%, 「3. キャンプなどの野外活動」が32.8%となっています。



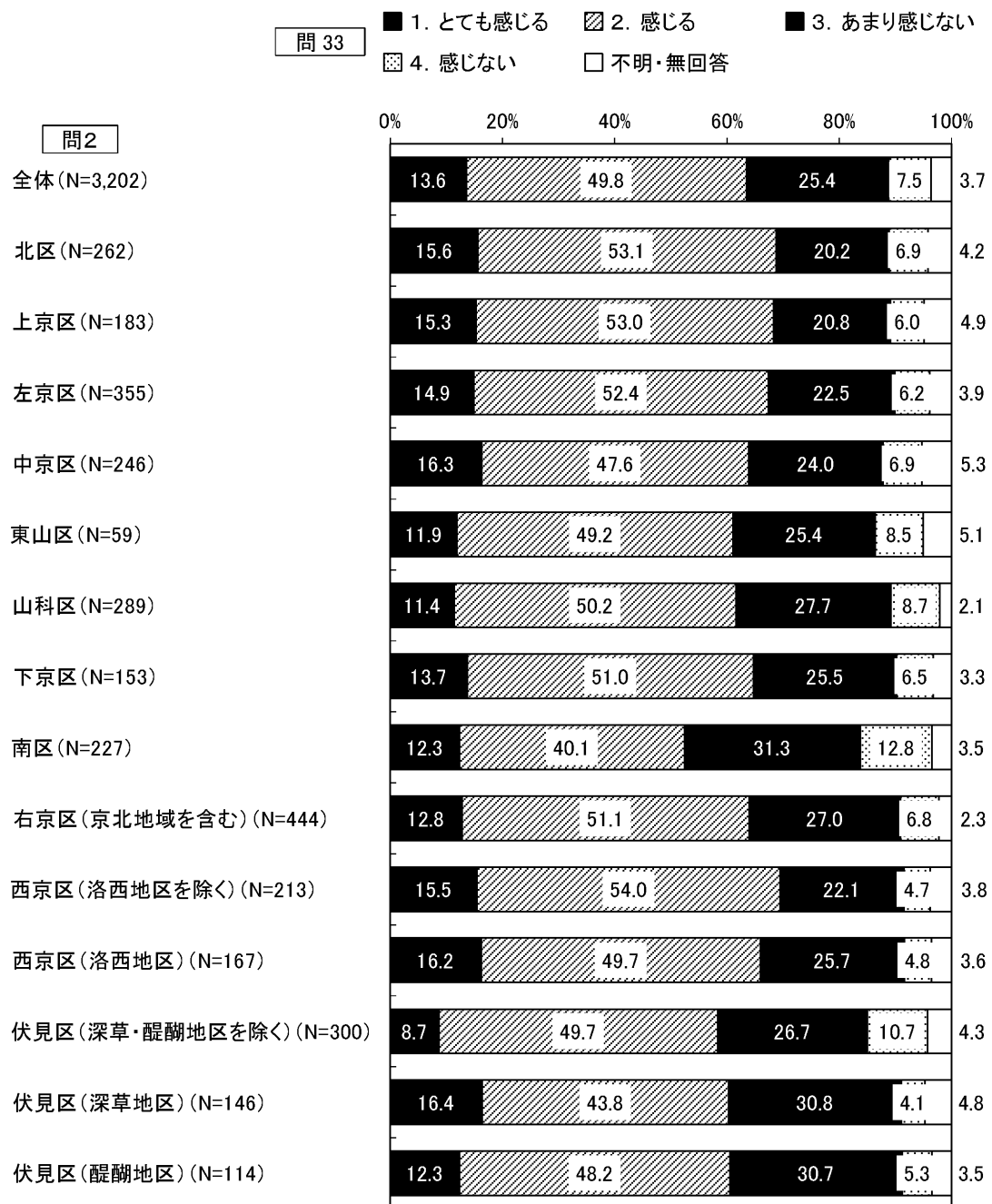
問 33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(○は1つ)

「2. 感じる」が49.8%と最も高く、次いで「3. あまり感じない」が25.4%, 「1. とても感じる」が13.6%となっています。



《問 33×問 2 居住区別》

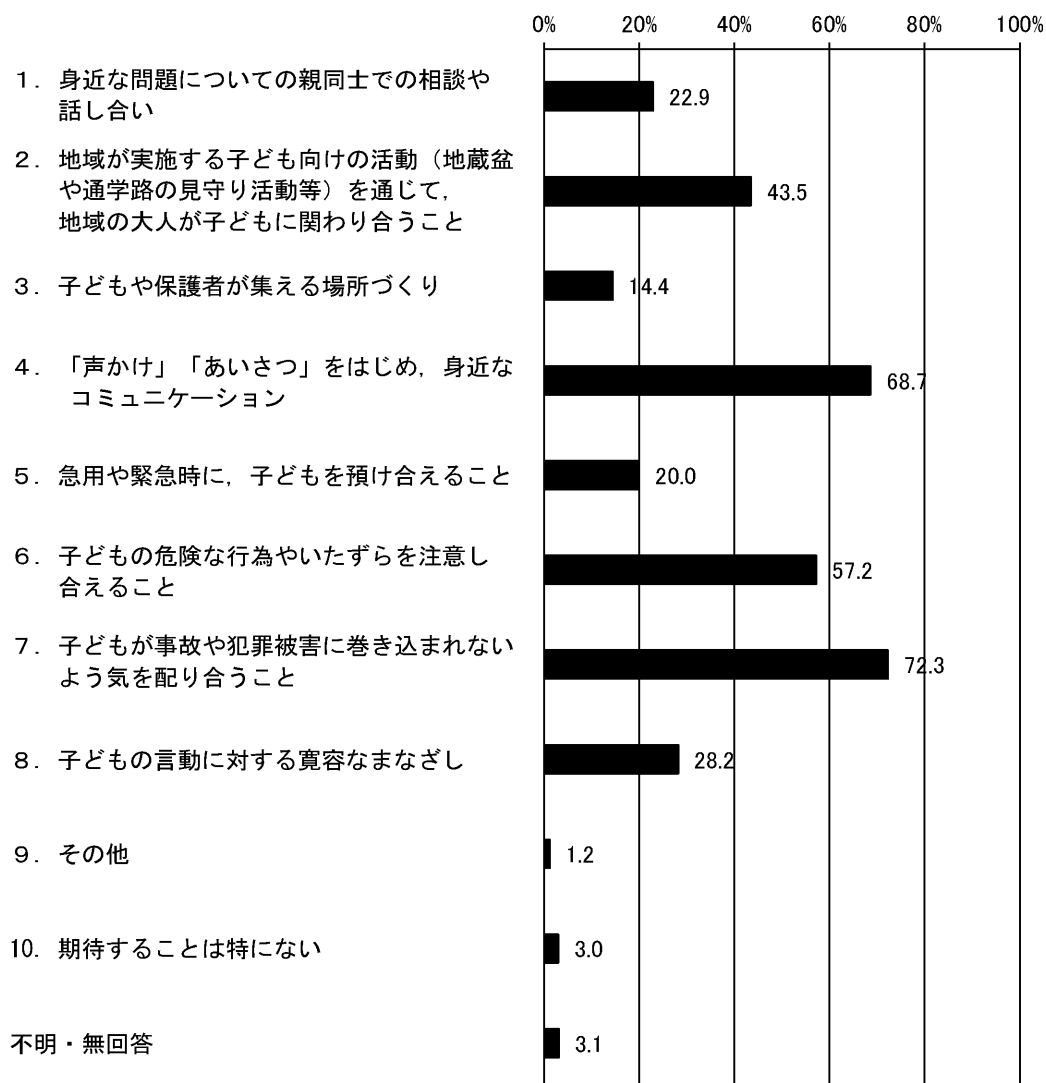
〔南区〕で『感じる（「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計）』の割合が他の区分に比べ低くなっています。



問 34 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

「7. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」が 72.3%と最も高く、次いで「4. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション」が 68.7%, 「6. 子どもの危険な行為やいたずらを注意し合えること」が 57.2%となっています。

(N=3,202)



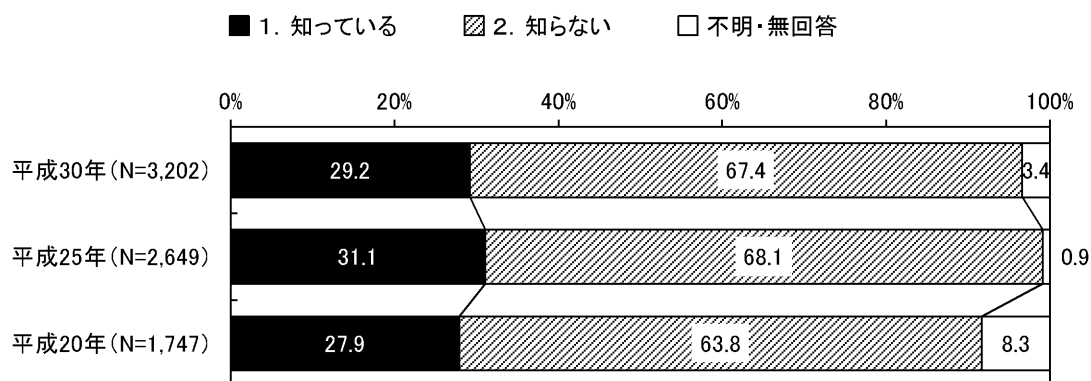
『とても感じる』では「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション」、それ以外では「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」の割合が最も高くなっています。

3,202	734	1,394	460	2,200	639	1,830
100.0	22.9	43.5	14.4	68.7	20.0	57.2
435	176	286	105	365	124	312
100.0	40.5	65.7	24.1	83.9	28.5	71.7
1,593	414	825	231	1,206	329	970
100.0	26.0	51.8	14.5	75.7	20.7	60.9
814	104	224	87	495	139	420
100.0	12.8	27.5	10.7	60.8	17.1	51.6
240	30	39	25	112	36	107
100.0	12.5	16.3	10.4	46.7	15.0	44.6

3,202	2,314	902	39	97	100
100.0	72.3	28.2	1.2	3.0	3.1
134	339	157	4	2	1
100.0	77.9	36.1	0.9	0.5	0.2
169	1,229	451	16	11	6
100.0	77.2	28.3	1.0	0.7	0.4
296	574	228	9	44	4
100.0	70.5	28.0	1.1	5.4	0.5
519	144	57	9	40	1
100.0	60.0	23.8	3.8	16.7	0.4

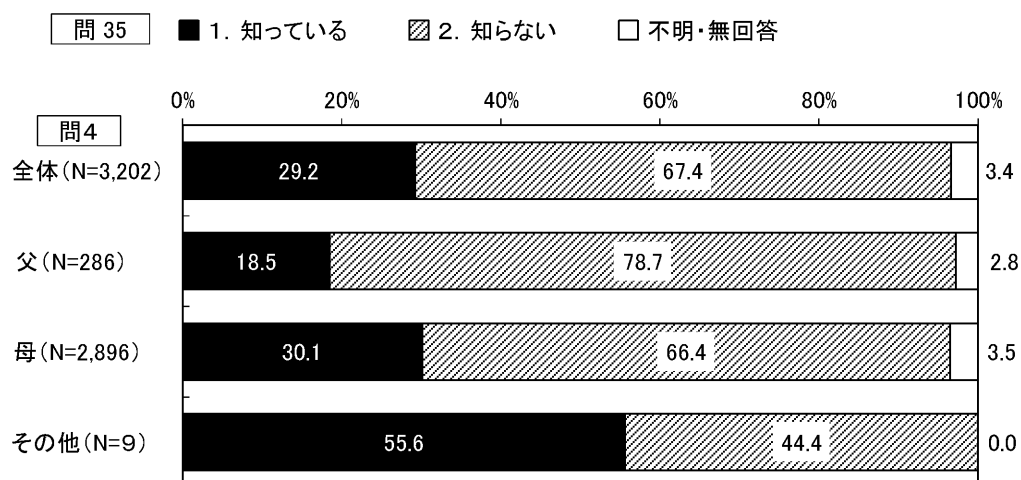
問 35 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてうかがいます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。(〇はそれぞれ 1 つずつ)

「1. 知っている」が 29.2%、「2. 知らない」が 67.4%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



《問 35×問 4 調査票の記入者別》

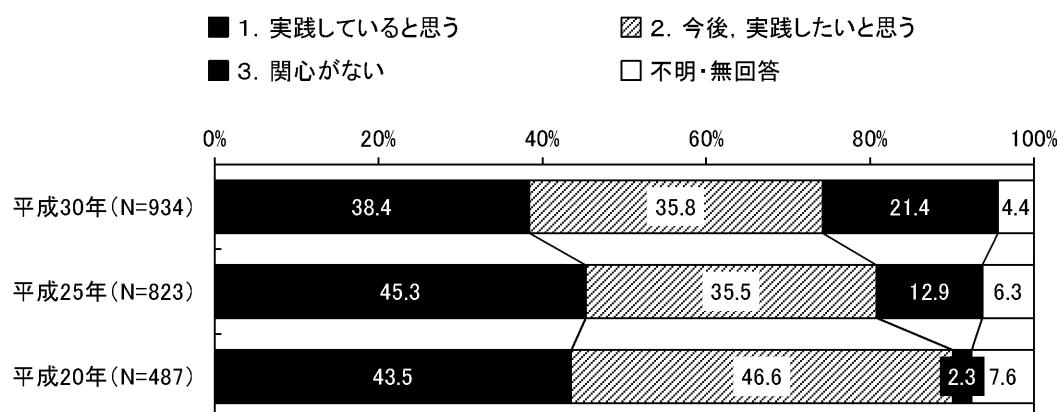
『父』では「1. 知っている」の割合が『母』に比べ低くなっています。



知っている方の憲章の実践について、「1. 実践していると思う」が 38.4%と最も高く、次いで「2. 今後、実践したいと思う」が 35.8%となっています。平成 25 年と比較すると、「3. 関心がない」が 8.5 ポイント高くなっています。

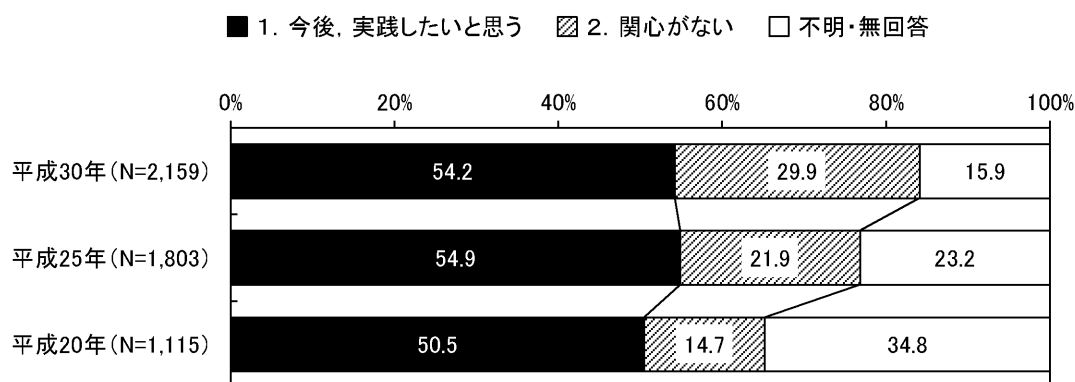
知らない方の憲章の実践について、「1. 今後、実践したいと思う」が 54.2%、「2. 関心がない」が 29.9%となっています。平成 25 年と比較すると、「2. 関心がない」が 8.0 ポイント高くなっています

◆(「1」の場合)憲章の実践について



※「3. 関心がない」…平成 20 年は「3. 実践しようと思わない」

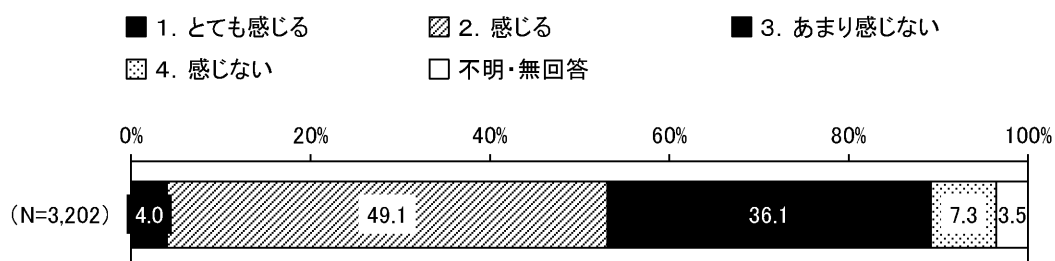
◆(「2」の場合)憲章の実践について



※「2. 関心がない」…平成 20 年は「2. 実践しようと思わない」

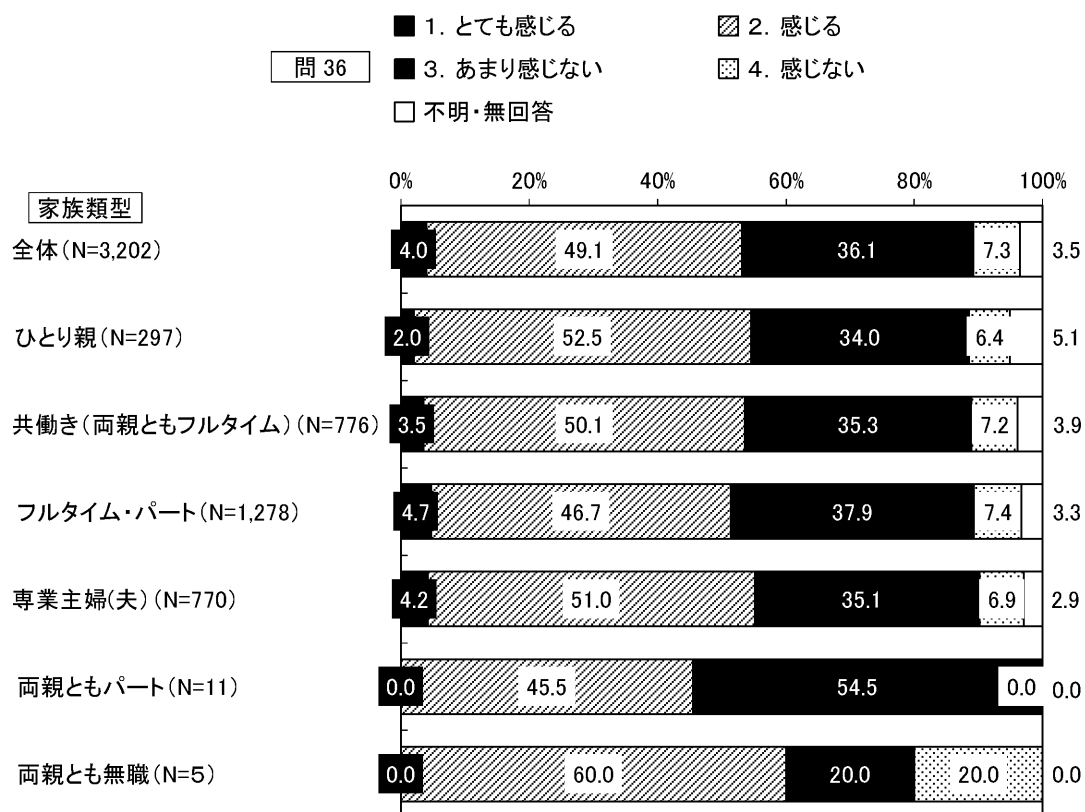
問 36 京都市は子どもにとって住みやすいと感じますか。(〇は1つ)

『感じる「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計』が 53.1%, 『感じない「3. あまり感じない」と「4. 感じない」の合計が 43.4%となっています。



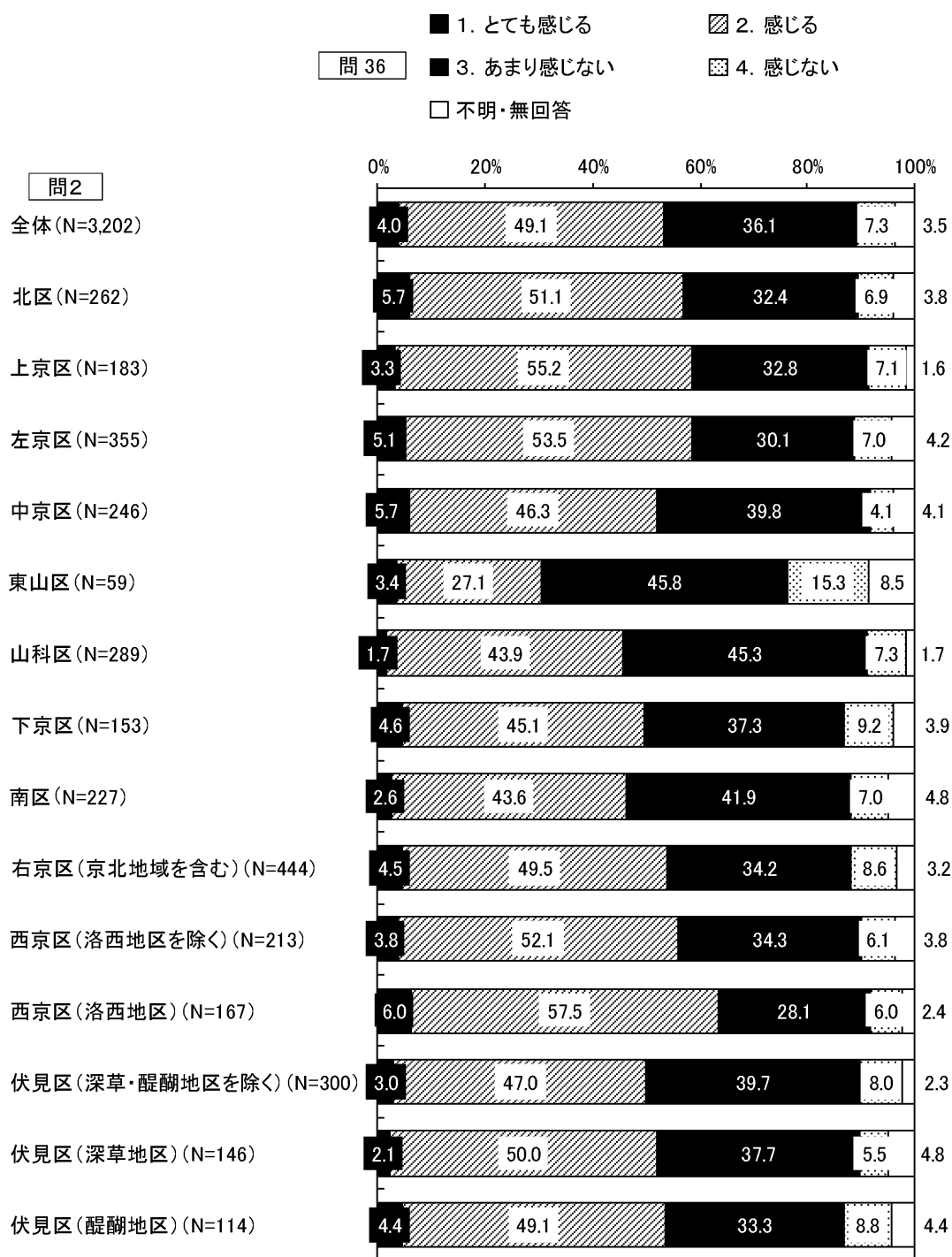
《問 36×家族類型別》

「フルタイム・パート」「両親ともパート」以外では『感じる』の割合が全体よりも高くなっています。



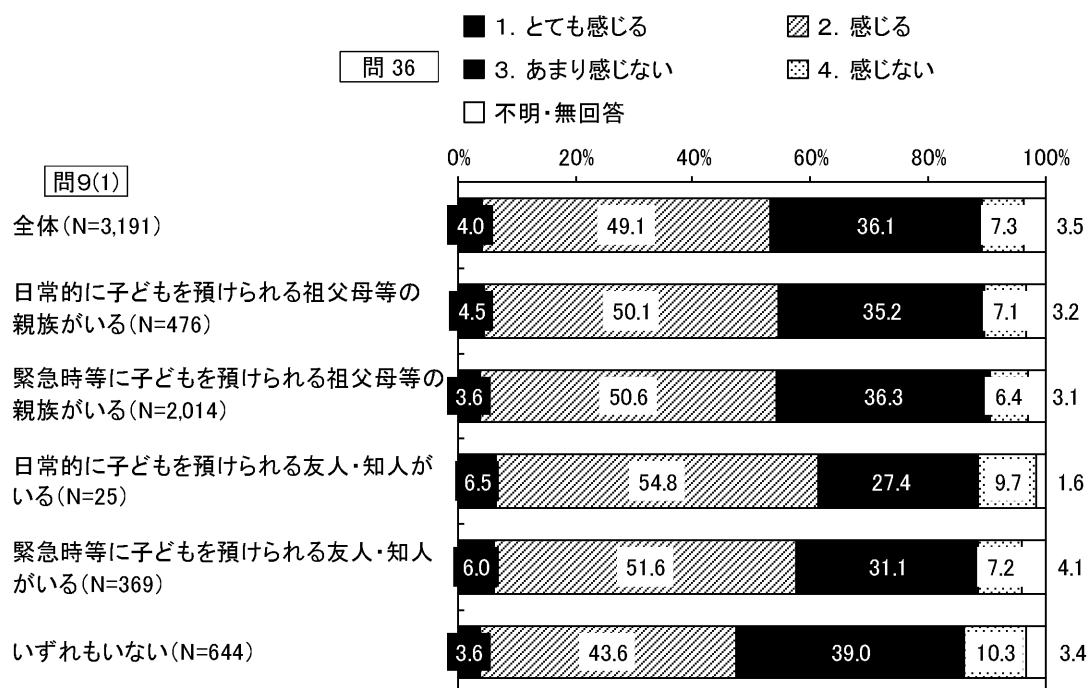
《問 36×問 2 居住区別》

「北区」「上京区」「左京区」「右京区（京北地域を含む）」「西京区」「伏見区（醍醐地区）」では『感じる』の割合が全体よりも高くなっています。



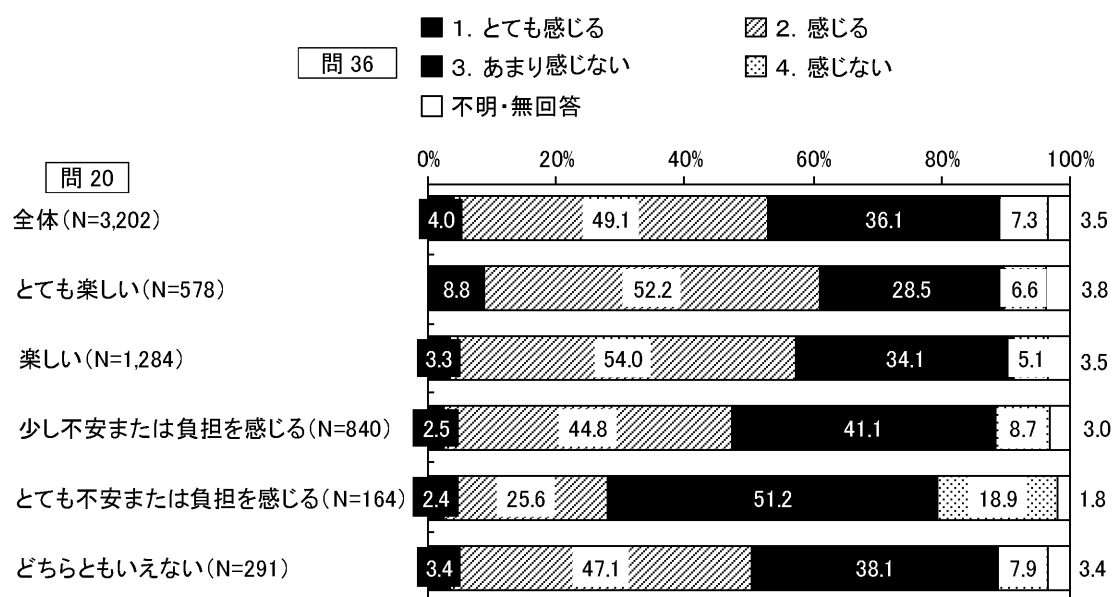
《問 36×問 9(1)日頃、子どもを預けられる人別》

「いずれもない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。また、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」では『感じる』の割合が全体よりも特に高くなっています。



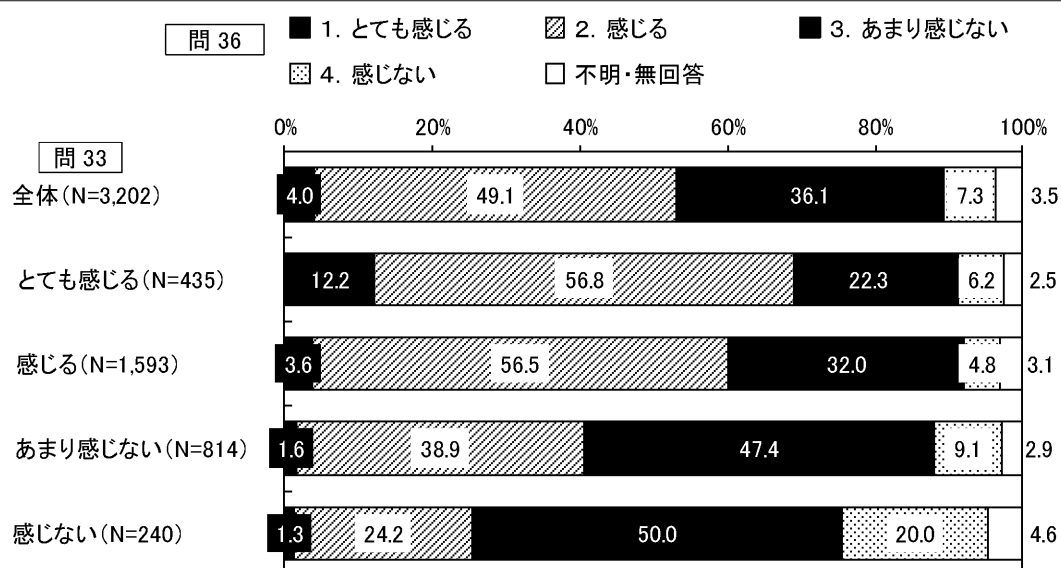
《問 36×問 20 子育てをしている今の気持ち別》

「とても楽しい」「楽しい」では『感じる』,「少し不安または負担を感じる」「とても不安または負担を感じる」「どちらともいえない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



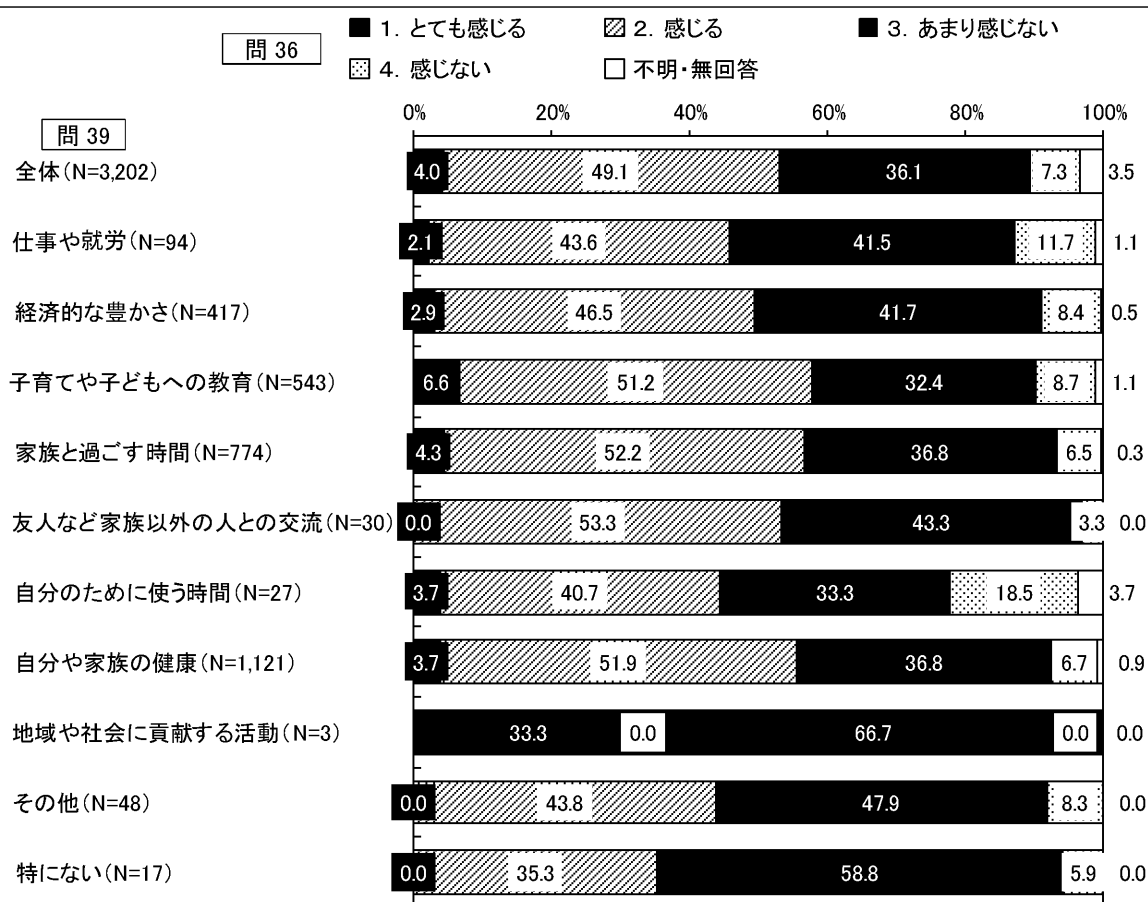
《問 36×問 33 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると「とても感じる」「感じる」では『感じる』の割合が、
「あまり感じない」「感じない」では『感じる』の割合が全体よりも高くなっています。



《問 36×問 39 最も重要だと考えている価値観別》

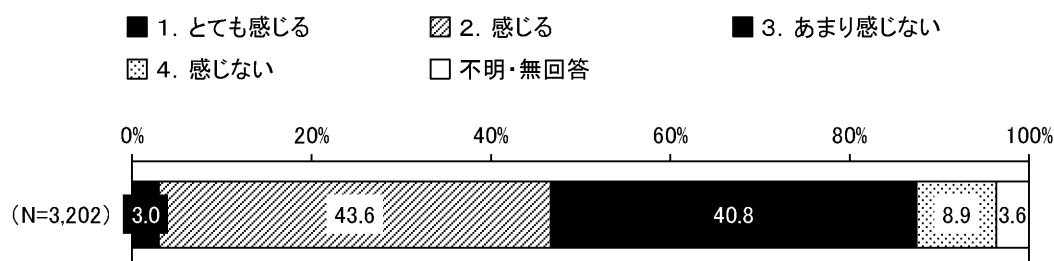
「子育てや子どもへの教育」「家族と過ごす時間」「自分や家族の健康」では『感じる』、それ以外では『感じる』の割合が全体よりも高くなっています。



※「友人など家族以外の人との交流」「自分や家族の健康」については、不明・無回答を除いた割合で全体と比較しています

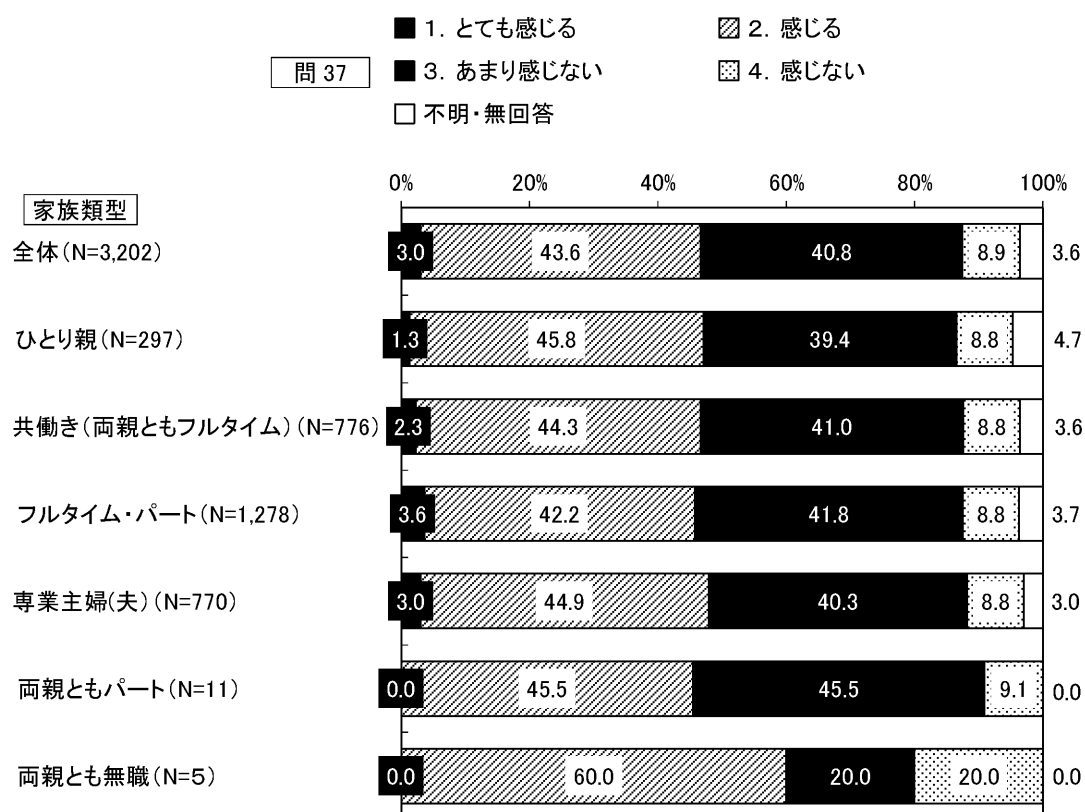
問 37 京都市は子育てしやすいまちだと感じますか。(〇は1つ)

『感じる「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計』が 46.6%, 『感じない「3. あまり感じない」と「4. 感じない」の合計が 49.7%となっています。



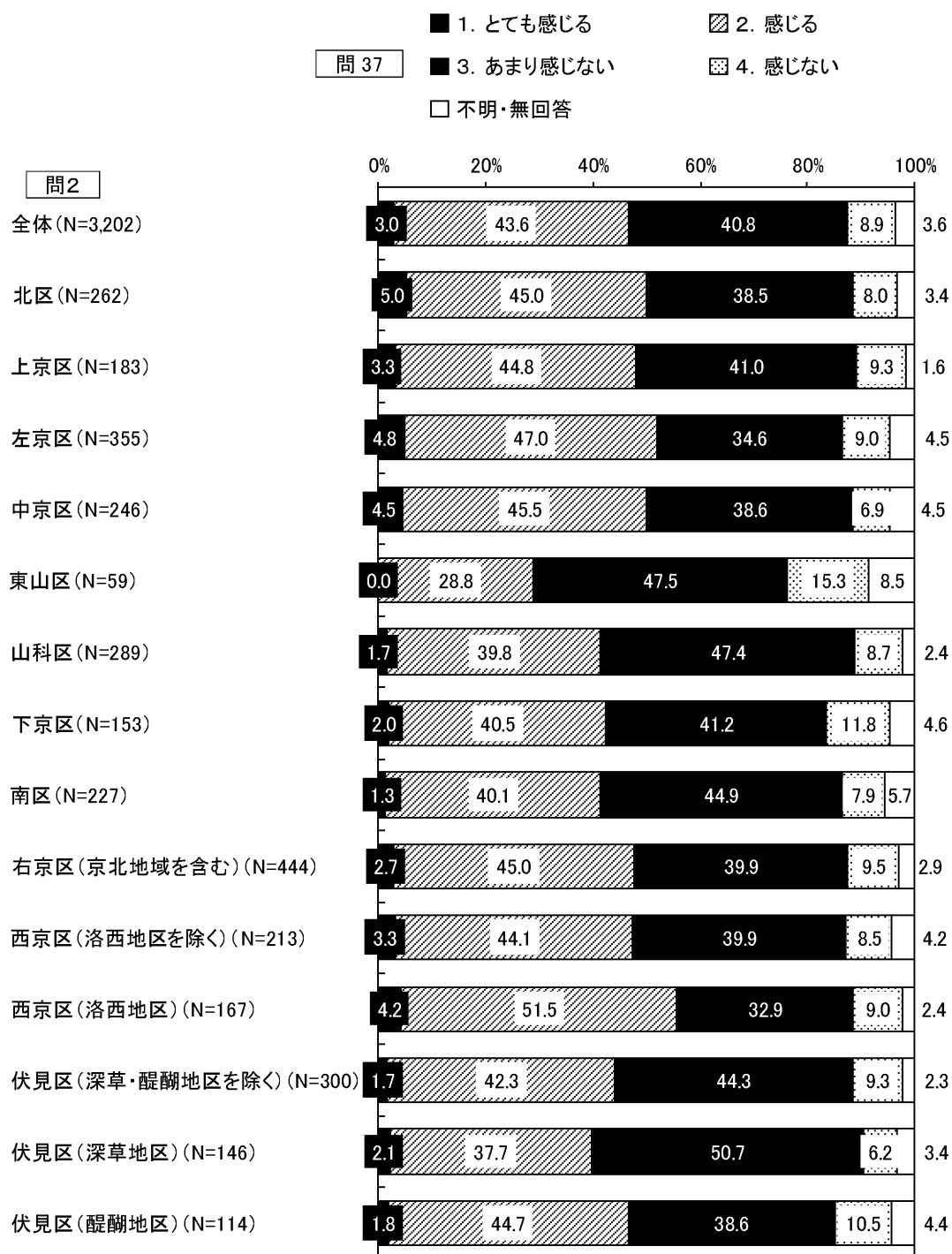
《問 37×家族類型別》

「共働き（両親ともフルタイム）」「フルタイム・パート」「両親ともパート」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



《問 37×問 2 居住区別》

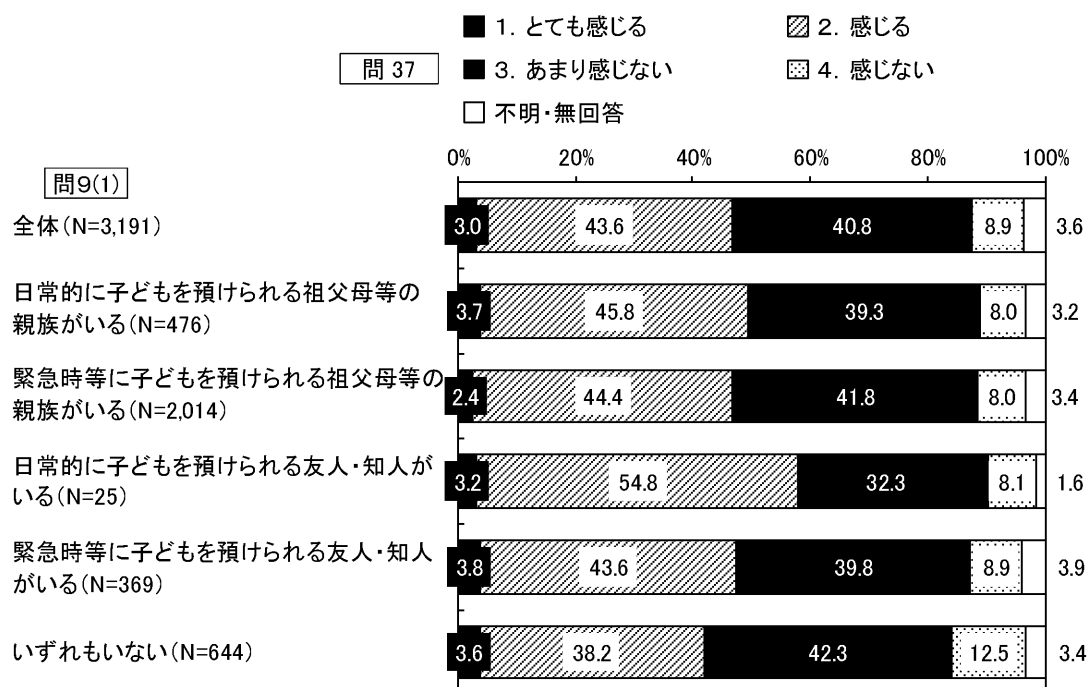
「北区」「上京区」「左京区」「中京区」「右京区（京北地域を含む）」「西京区」「伏見区（醍醐地区）」では『感じる』の割合が全体よりも高くなっています。



※「上京区」「伏見区（醍醐地区）」については、不明・無回答を除いた割合で全体と比較しています

《問 37×問 9(1)日頃、子どもを預けられる人別》

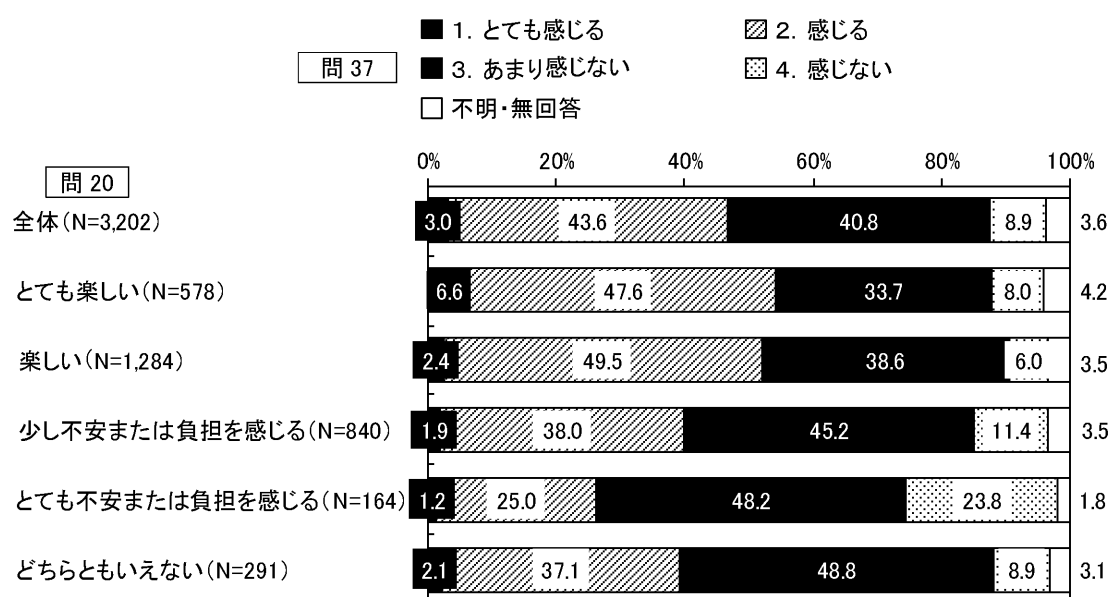
「いずれもない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。また、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」では『感じる』の割合が全体よりも特に高くなっています。



※「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」については、不明・無回答を除いた割合で全体と比較しています

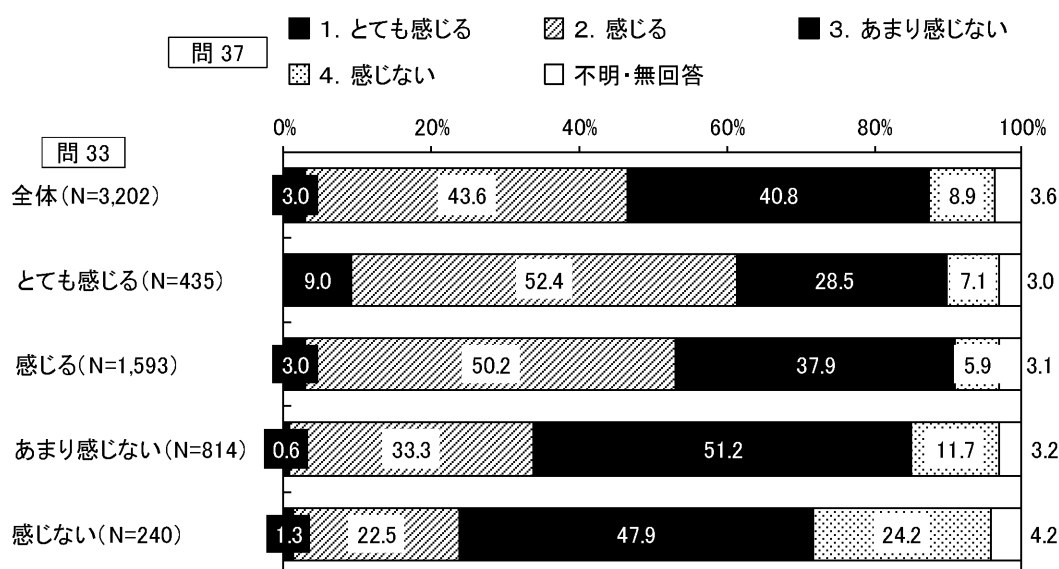
《問 37×問 20 子育てをしている今の気持ち別》

「とても楽しい」「楽しい」では『感じる』,「少し不安または負担を感じる」「とても不安または負担を感じる」「どちらともいえない」では『感じない』の割合が全体よりも高くなっています。



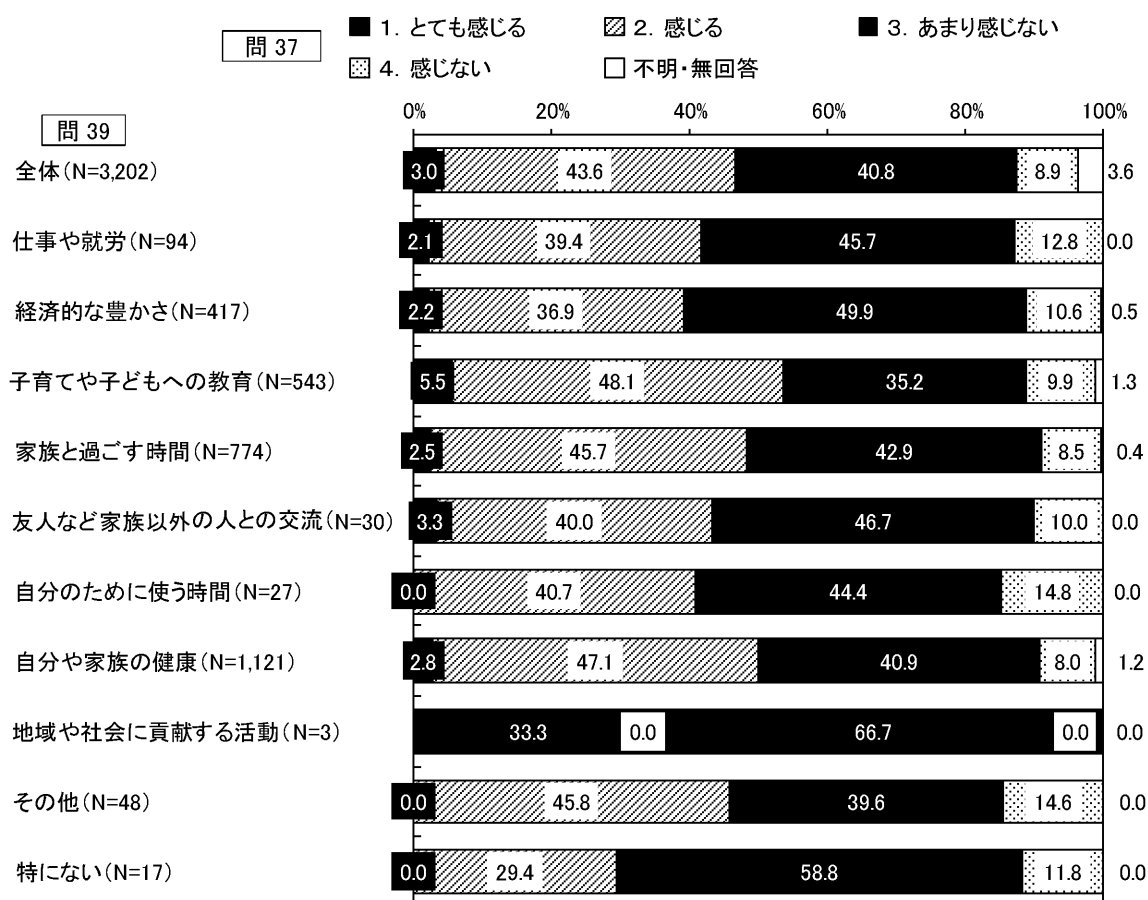
《問 37×問 33 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると「とても感じる」「感じる」では『感じる』の割合が、
「あまり感じない」「感じない」では『感じる』の割合が全体よりも高くなっています。



《問 37×問 39 最も重要だと考えている価値観別》

「子育てや子どもへの教育」「家族と過ごす時間」「自分や家族の健康」では『感じる』、それ以外では『感じる』の割合が全体よりも高くなっています。

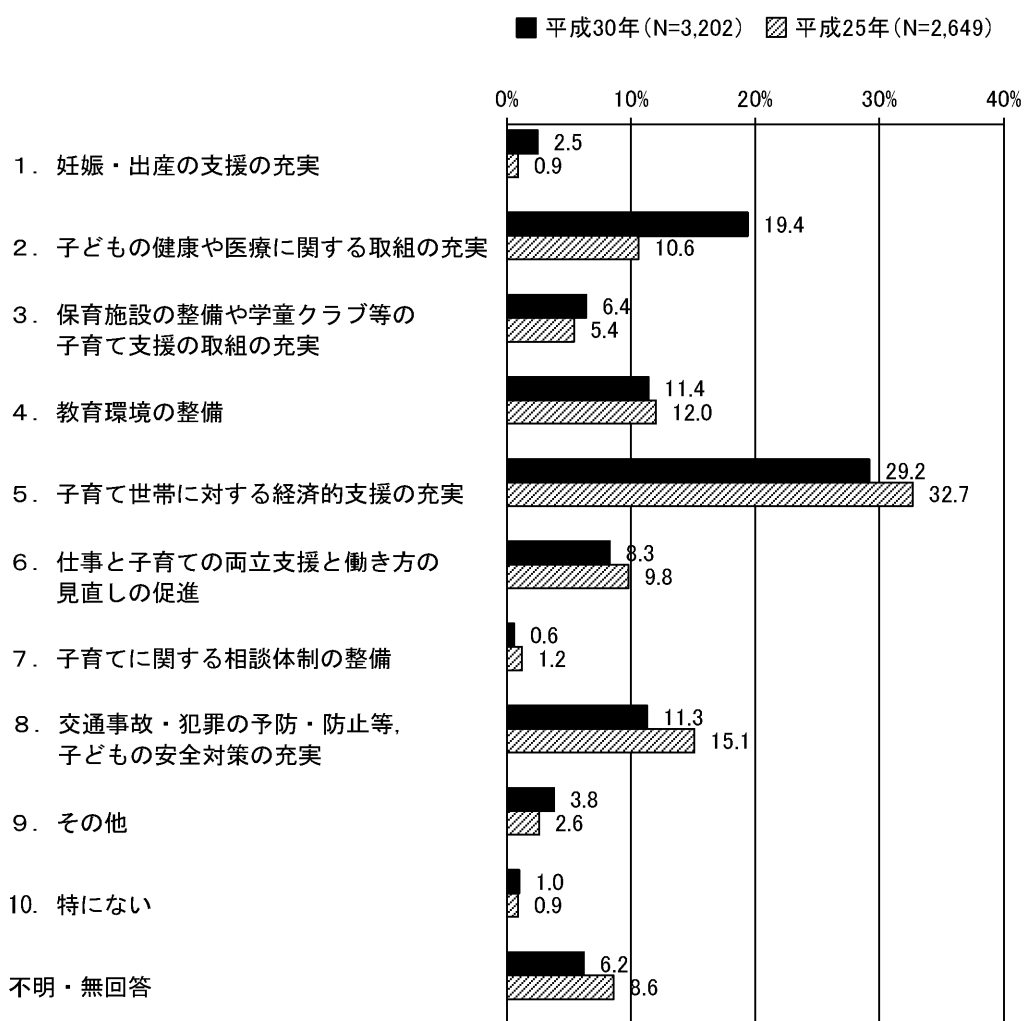


※「家族と過ごす時間」については、不明・無回答を除いた割合で全体と比較しています

問 38 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを最も期待しますか。(〇は1つ)

「5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実」が29.2%と最も高く、次いで「2. 子どもの健康や医療に関する取組の充実」が19.4%、「4. 教育環境の整備」が11.4%、「8. 交通事故・犯罪の予防・防止等, 子どもの安全対策の充実」が11.3%となっています。

平成25年と比較すると、「2. 子どもの健康や医療に関する取組の充実」が8.8ポイント高くなっています。



《問 38×家族類型別》

『両親とも無職』では「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」、それ以外では「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高くなっています。

	3,202	79	621	206	364	935	267
	100.0	2.5	19.4	6.4	11.4	29.2	8.3
	297	11	19	26	36	106	29
	100.0	3.7	6.4	8.8	12.1	35.7	9.8
	776	20	144	72	80	185	106
	100.0	2.6	18.6	9.3	10.3	23.8	13.7
	1,278	27	275	59	149	408	92
	100.0	2.1	21.5	4.6	11.7	31.9	7.2
	770	18	173	44	90	214	32
	100.0	2.3	22.5	5.7	11.7	27.8	4.2
	11	0	1	1	1	4	1
	100.0	0.0	9.1	9.1	9.1	36.4	9.1
	5	0	0	0	0	1	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0

	3,202	18	361	121	32	198
	100.0	0.6	11.3	3.8	1.0	6.2
	297	3	23	11	9	24
	100.0	1.0	7.7	3.7	3.0	8.1
	776	4	76	27	7	55
	100.0	0.5	9.8	3.5	0.9	7.1
	1,278	4	131	45	10	78
	100.0	0.3	10.3	3.5	0.8	6.1
	770	5	119	35	5	35
	100.0	0.6	15.5	4.5	0.6	4.5
	11	0	3	0	0	0
	100.0	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0
	5	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

《問 38×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

『801 万～1,000 万円』では「子どもの健康や医療に関する取組の充実」,『1,001 万円以上』では「交通事故・犯罪の予防・防止等,子どもの安全対策の充実」,それ以外では「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高くなっています。

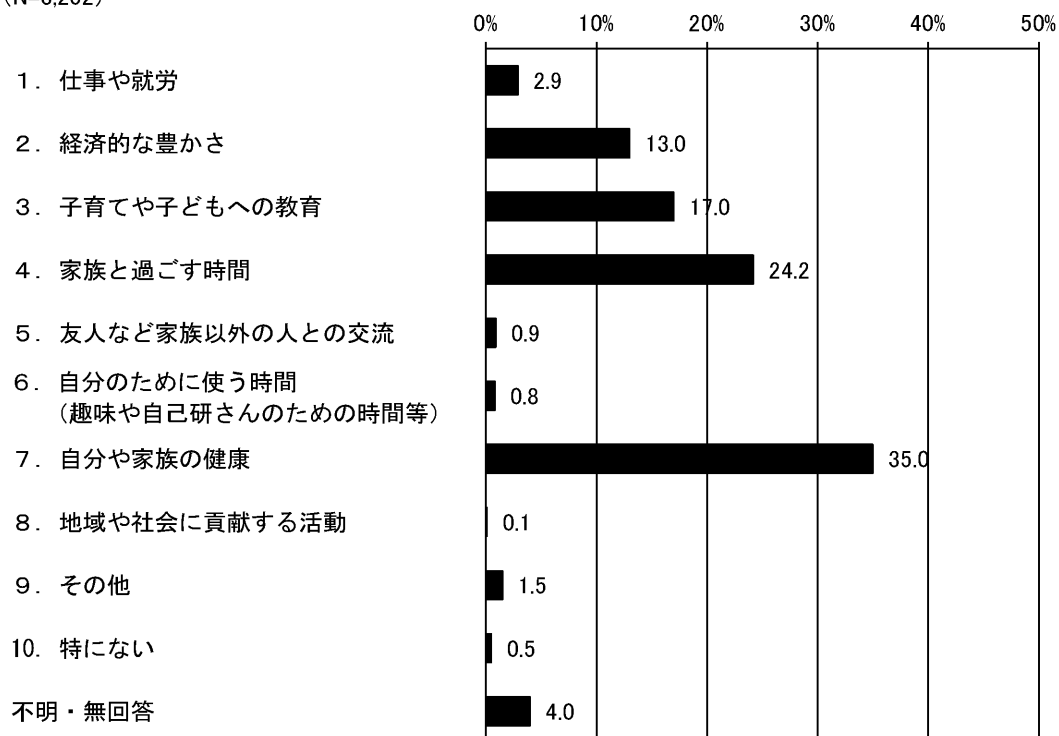
	3,202	79	621	206	364	935	267
	100.0	2.5	19.4	6.4	11.4	29.2	8.3
	134	6	12	7	10	46	16
	100.0	4.5	9.0	5.2	7.5	34.3	11.9
	169	5	9	12	21	68	15
	100.0	3.0	5.3	7.1	12.4	40.2	8.9
	296	13	57	14	34	114	19
	100.0	4.4	19.3	4.7	11.5	38.5	6.4
	519	8	118	20	48	197	39
	100.0	1.5	22.7	3.9	9.2	38.0	7.5
	557	11	112	36	65	172	42
	100.0	2.0	20.1	6.5	11.7	30.9	7.5
	445	11	97	27	51	117	41
	100.0	2.5	21.8	6.1	11.5	26.3	9.2
	490	11	108	34	42	127	40
	100.0	2.2	22.0	6.9	8.6	25.9	8.2
	267	3	46	30	42	36	31
	100.0	1.1	17.2	11.2	15.7	13.5	11.6
	152	4	26	14	24	19	13
	100.0	2.6	17.1	9.2	15.8	12.5	8.6

	3,202	18	361	121	32	198
	100.0	0.6	11.3	3.8	1.0	6.2
	134	3	13	4	7	10
	100.0	2.2	9.7	3.0	5.2	7.5
	169	1	15	4	1	18
	100.0	0.6	8.9	2.4	0.6	10.7
	296	2	20	9	0	14
	100.0	0.7	6.8	3.0	0.0	4.7
	519	1	37	13	9	29
	100.0	0.2	7.1	2.5	1.7	5.6
	557	3	62	23	2	29
	100.0	0.5	11.1	4.1	0.4	5.2
	445	4	51	19	3	24
	100.0	0.9	11.5	4.3	0.7	5.4
	490	1	70	18	6	33
	100.0	0.2	14.3	3.7	1.2	6.7
	267	3	41	14	2	19
	100.0	1.1	15.4	5.2	0.7	7.1
	152	0	32	11	2	7
	100.0	0.0	21.1	7.2	1.3	4.6

問 39 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。（〇は1つ）

「7. 自分や家族の健康」が 35.0%と最も高く、次いで「4. 家族と過ごす時間」が 24.2%、「3. 子育てや子どもへの教育」が 17.0%となっています。

(N=3,202)



《問 39×家族類型別》

『両親とも無職』では「子育てや子どもへの教育」「自分や家族の健康」、それ以外では「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。

	3,202	94	417	543	774	30	27
	100.0	2.9	13.0	17.0	24.2	0.9	0.8
	297	18	55	51	59	2	3
	100.0	6.1	18.5	17.2	19.9	0.7	1.0
	776	36	74	123	229	5	8
	100.0	4.6	9.5	15.9	29.5	0.6	1.0
	1,278	25	187	227	274	16	10
	100.0	2.0	14.6	17.8	21.4	1.3	0.8
	770	10	86	131	198	6	5
	100.0	1.3	11.2	17.0	25.7	0.8	0.6
	11	1	2	0	0	1	0
	100.0	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0
	5	0	0	2	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0

	3,202	1,121	3	48	17	128
	100.0	35.0	0.1	1.5	0.5	4.0
	297	86	0	3	4	16
	100.0	29.0	0.0	1.0	1.3	5.4
	776	242	1	18	4	36
	100.0	31.2	0.1	2.3	0.5	4.6
	1,278	465	2	16	5	51
	100.0	36.4	0.2	1.3	0.4	4.0
	770	302	0	8	3	21
	100.0	39.2	0.0	1.0	0.4	2.7
	11	4	0	1	1	1
	100.0	36.4	0.0	9.1	9.1	9.1
	5	2	0	0	0	0
	100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《問 39×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

『0～100 万円』では「家族と過ごす時間」「自分や家族の健康」、それ以外では「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。

また、所得が高くなるほど「経済的な豊かさ」の割合が低くなる傾向がみられます。

3,202	94	417	543	774	30	27
100.0	2.9	13.0	17.0	24.2	0.9	0.8
134	3	25	18	36	1	2
100.0	2.2	18.7	13.4	26.9	0.7	1.5
169	6	44	24	29	1	2
100.0	3.6	26.0	14.2	17.2	0.6	1.2
296	12	67	36	70	4	3
100.0	4.1	22.6	12.2	23.6	1.4	1.0
519	17	83	77	135	6	7
100.0	3.3	16.0	14.8	26.0	1.2	1.3
557	19	75	95	133	6	4
100.0	3.4	13.5	17.1	23.9	1.1	0.7
445	7	46	82	110	4	0
100.0	1.6	10.3	18.4	24.7	0.9	0.0
490	12	40	84	124	0	2
100.0	2.4	8.2	17.1	25.3	0.0	0.4
267	6	20	67	54	4	2
100.0	2.2	7.5	25.1	20.2	1.5	0.7
152	6	3	34	42	1	1
100.0	3.9	2.0	22.4	27.6	0.7	0.7

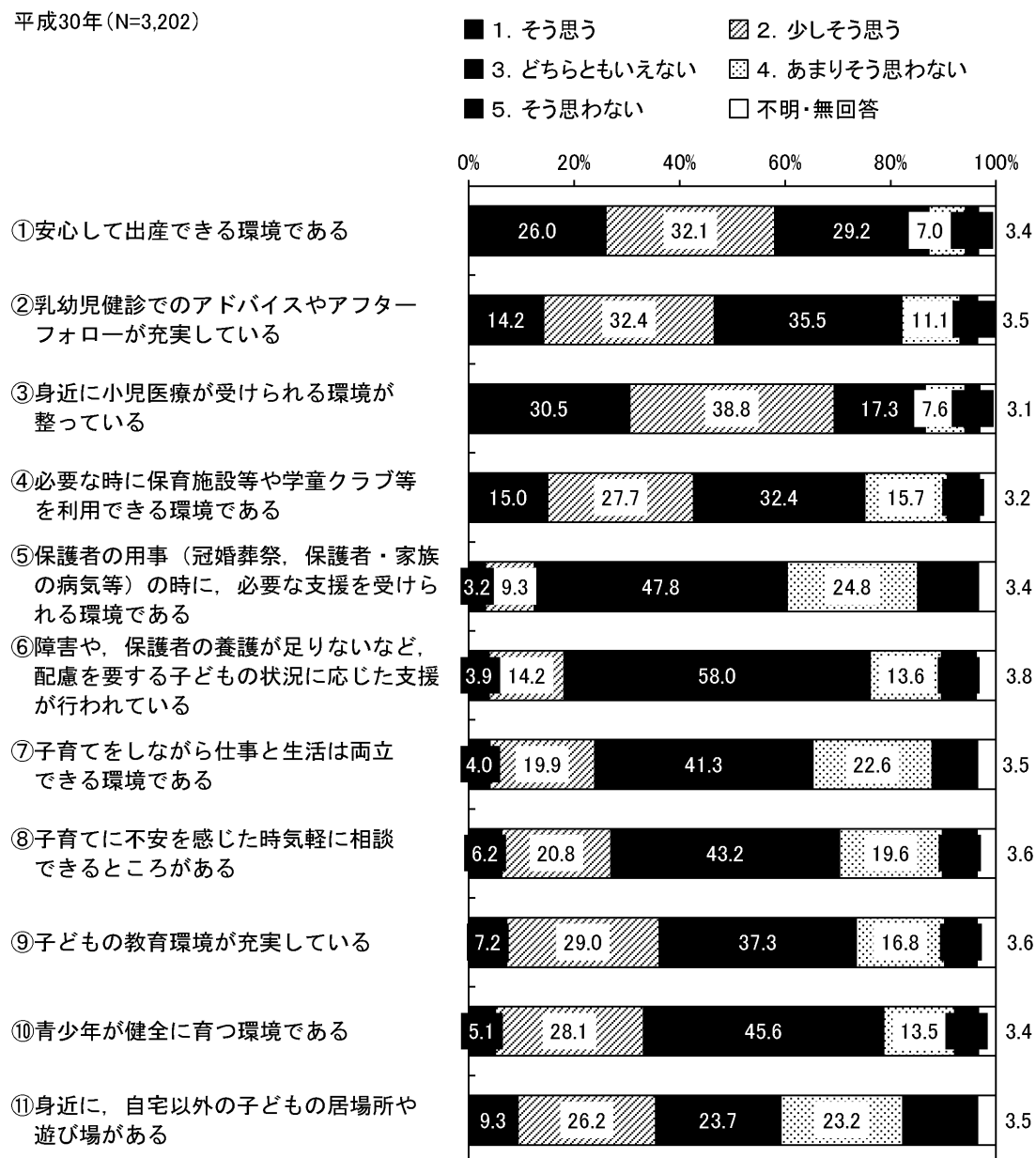
3,202	1,121	3	48	17	128
100.0	35.0	0.1	1.5	0.5	4.0
134	36	0	3	4	6
100.0	26.9	0.0	2.2	3.0	4.5
169	47	0	2	2	12
100.0	27.8	0.0	1.2	1.2	7.1
296	94	0	1	0	9
100.0	31.8	0.0	0.3	0.0	3.0
519	164	0	4	6	20
100.0	31.6	0.0	0.8	1.2	3.9
557	201	1	2	1	20
100.0	36.1	0.2	0.4	0.2	3.6
445	161	1	15	2	17
100.0	36.2	0.2	3.4	0.4	3.8
490	203	0	6	1	18
100.0	41.4	0.0	1.2	0.2	3.7
267	96	0	6	0	12
100.0	36.0	0.0	2.2	0.0	4.5
152	54	1	4	1	5
100.0	35.5	0.7	2.6	0.7	3.3

問 40 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いものをお答えください。(〇はそれぞれ1つつつ)

『そう思う(「1. そう思う」と「2. 少しそう思う」の合計)』は、[③身近に小児医療が受けられる環境が整っている]が69.3%と最も高く、次いで[①安心して出産できる環境である]が58.1%、[②乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している]が46.6%となっています。

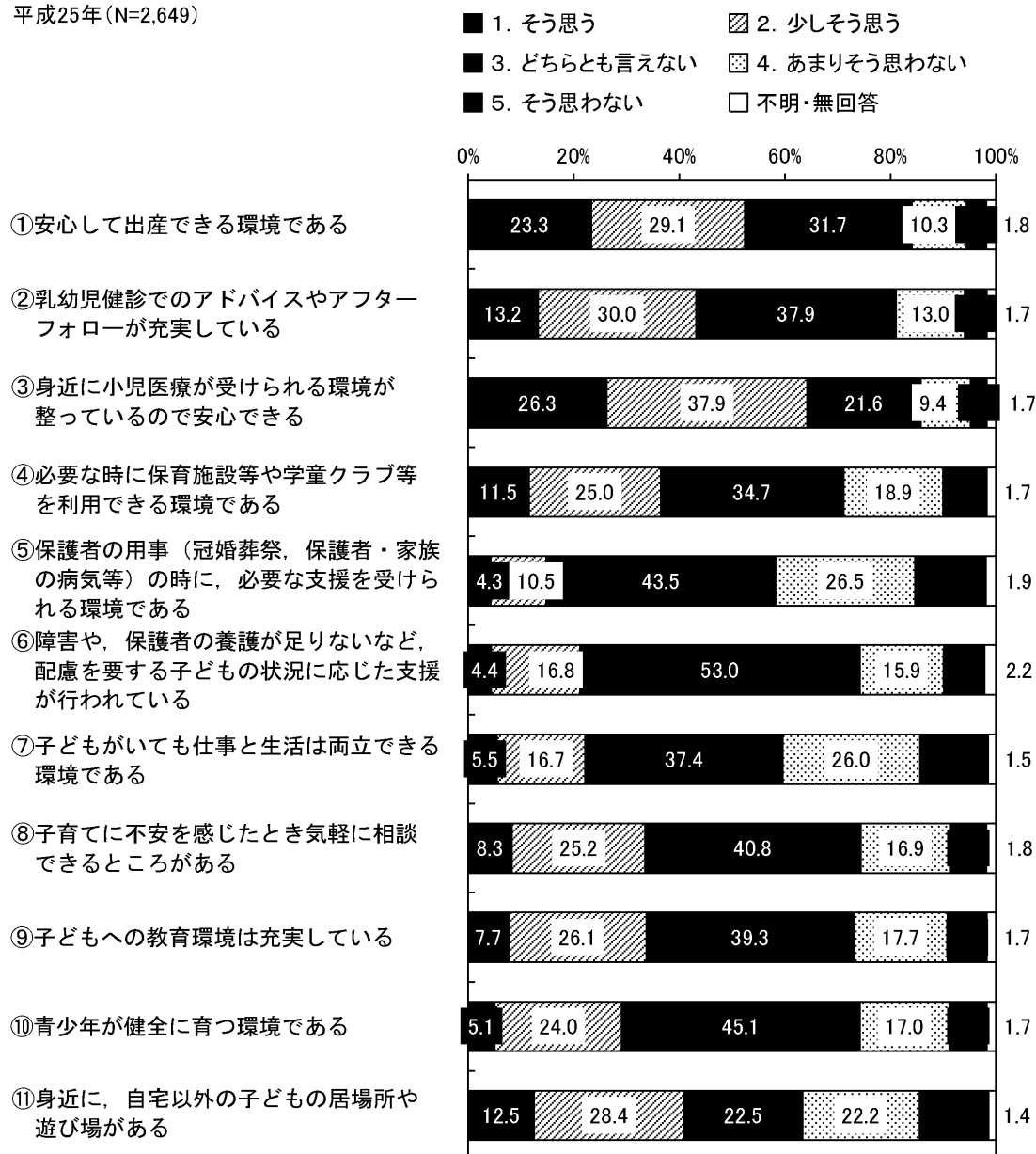
『そう思わない(「4. あまりそう思わない」と「5. そう思わない」の合計)』は、[⑪身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある]が37.3%と最も高く、次いで[⑤保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である]が36.2%、[⑦子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である]が31.2%となっています。

平成30年(N=3,202)



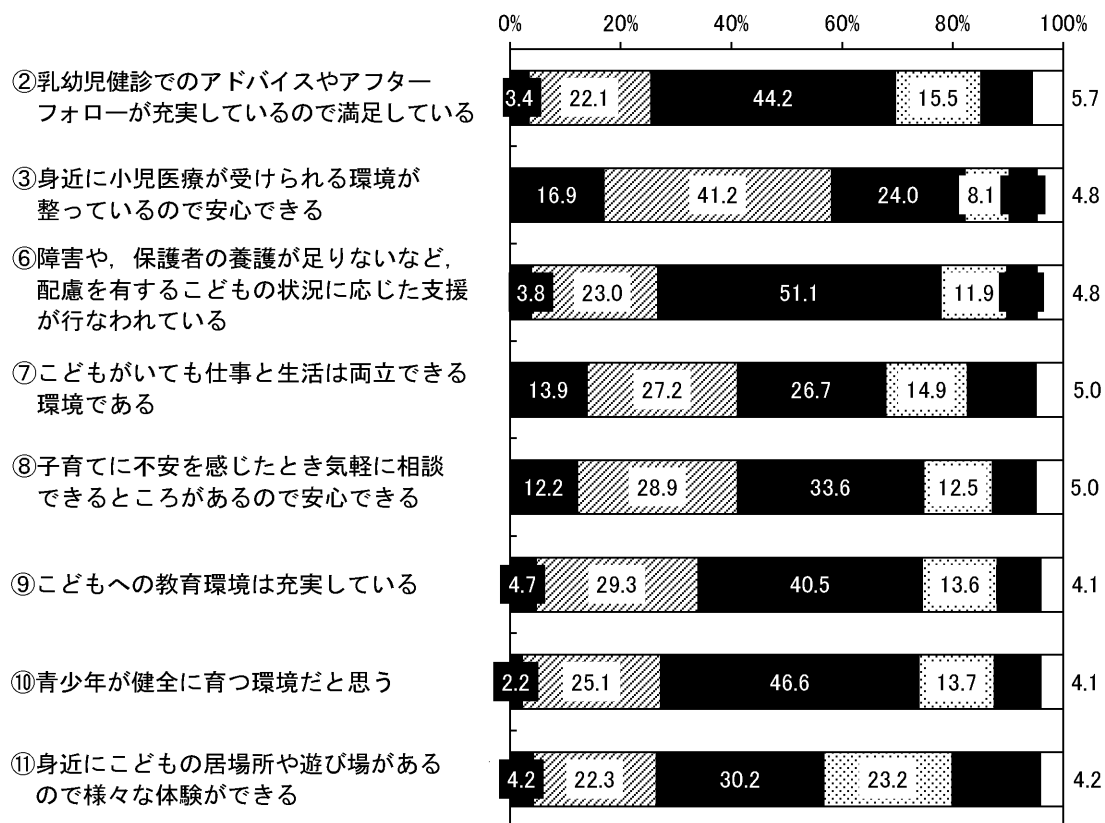
平成25年と比較すると、『そう思う（「1. そう思う」と「2. 少しそう思う」の合計）』では、
 [⑧子育てに不安を感じた時気軽に相談できるところがある]が6.5ポイント低く、[④必要な時に
 保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である]が6.2ポイント高くなっています。

平成25年(N=2,649)



平成20年(N=1,747)

- 1. そう思う
- 3. どちらとも言えない
- 5. そう思わない
- ▨ 2. どちらかというと思う
- ▤ 4. どちらかというと思わない
- 不明・無回答



問 41 安心して子どもを生み，子どもを健やかに育てていくための行政の取組や，社会制度のあり方について，特に望むことやご意見がありましたら，ご自由にご記入ください。（〇は1つ）

「7. 子育て世帯に対する経済的支援について」が29.0%と最も高く，次いで「2. 子どもの健康や医療について」が13.8%，「6. 教育環境について」が12.5%となっています。

(N=3,202)

